

タスクタイプ

# リファレンスマニュアル

バージョン:5.1.2.7

2010年12月



《法的な注意事項》

本書に記載した内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本書マニュアルの記載事項の誤り、または欠落により発 生した損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

本書は、株式会社ニューコムが事前に承諾している場合を除き、製品の使用許諾契約書に記載の条件に同意をされたライセンス所有者に対してのみ供給されるものです。

《著作権表示》

本書に関する著作権は、株式会社ニューコムへ独占的に帰属します。

株式会社ニューコムが事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本書またはその一部を無断で複製・転載・ 改編することを禁止します。

《商標表示》

本書に記載されている「dbSheetClient実行版」、「dbSheetClient開発版」、「dbSheetClientサーバ版」は株式会社ニ ューコムの製品です。

本書に記載されているマイクロソフト製品(Windows、Office、Excel等)は、米国Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標または商標です。

その他記載の各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

### § はじめに

ib🏏

本書は、「dbSheetClient 開発版」を使用して Web アプリケーションの開発をする立場の方のために、 タスクの定義に用いるタスクタイプに焦点をあてて解説し、開発者がタスクタイプについてより深く理解 して、スムーズに開発を進められるようにすることを目的としています。

本書は、3つのスキルを習得している方を前提としています。

- ↓ Windowsの基本的な操作を習得している方
- ↓ Microsoft Excel 2000 以上の基本的な操作を習得している方
- ↓ データベース(SQL文)を理解している方

また本書は、「dbSheetClient 開発版」の基本的操作を理解している方を前提としていますので、詳細 な操作方法等は特に明記していない場合があります。「dbSheetClient 開発版」の操作等については、『開 発版リファレンスマニュアル』を参照してください。

本書は、タスクタイプをより理解していただくために3編により構成されています。

【タスクタイプリファレンス編】(第1章、第2章)

タスクタイプの共通項目について、およびタスクタイプをタスクタイプ属性レベルまで細分化して説 明しています。

【クエリー定義リファレンス編】(第3章、第4章)

クエリー定義の共通項目と、クエリータイプ別の内容を説明しています。

【展開定義リファレンス編】(第5章、第6章)

展開定義について、その上位に位置するクエリータイプ別の内容とタスクタイプ別の内容を説明しています。

タスクタイプとクエリー定義と展開定義の関係に着目すると、以下のように二通りあります。

- タスクタイプークエリー定義一展開定義
   タスクタイプの配下にクエリー定義があり、さらにタスクタイプの配下にクエリー定義とセットで展
   開定義があるタイプです。
- タスクタイプー展開定義
   タスクタイプの配下に単独で展開定義があるタイプです。

タスクとは?

最低ひとつの処理(タスクタイプ)から構成される処理の集合体です。

ひとつのタスク番号(TASKNO)のもとに、処理順NOにしたがって複数のタスクタイプを組み合わせてひとつのタスクを作り上げます。ひとつのメインとなるタスクを中心に、複数のサブタスクを組み合わせてできるタスクもあります。

#### クエリー定義とは?

db

データベースにアクセス(照会、更新等)するための定義です。ひとつのタスクタイプに対して、クエ リー定義はひとつしか存在し得ません。(ここでいうタスクタイプとは、データベースに関連したものに 限られます。)

展開定義とは?

Excel シートに何らかの処理をするための定義です。タスクタイプの配下に単独で定義する場合と、クエリー定義と組み合わせて定義する場合とがあります。

クエリー定義とは異なり、ひとつの展開定義番号(DNO)のもとに、処理順 NO にしたがって複数の 展開定義を組み合わせることができます。

本書以外に開発・運用に必要なマニュアルを用意していますので、本書と合わせて活用してください。

『開発版リファレンスマニュアル』

『開発版テクニカルリファレンスマニュアル』

『サーバ版操作マニュアル』

『システム管理者用マニュアル』



#### § 目 次

§ はじめに	3
【タスクタイプリファレンス編】	32
第1章. タスク定義リファレンス共通事項	33
2.1 タスク定義の全項目について	
2.2 タスクタイプの機能分類と概要について	41
2.3 開始メッセージについて	
■ 画面イメージ	
■ 機 能	48
■ 使用上の注意	49
■ 補 足	
2.4 正常終了メッセージについて	
■ 画面イメージ	
■ 機 能	
■ 使用上の注意	
■ 補 足	
2.5 エラー処理について	51
■ 画面イメージ	51
■ 機 能	51
■ 使用上の注意	51
■ 補 足	51
2.6 キャンセル処理について	
■ 画面イメージ	
■ 機 能	
■ 使用上の注意	
■ 補 足	
2.7 セルのアドレス指定について	
■ セル指定属性	

■ セル位置の指定の仕方	
■ 補 足	
■ 使用例	
2.8 空白文字処理方法について	
29 自動計算について	58
■ 一連のタフク処理の途中で白動計質する方法	58
<ul> <li></li></ul>	
2.10 制限事項	
■ Excel シートに展開できる最大行数/最大列数	
第2章. タスクタイプ(属性別)	
211 201:SOL タフクタイプ屋性(昭会)	61
■	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	63
■ 補足	63
■ 使用例	
2.12 201:SQL タスクタイプ属性(更新)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.13 201:SQL タスクタイプ属性(指定更新)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.14 201:SQL タスクタイプ属性(削除)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	

■ 項目説明	
■ 使用上の注意	77
■ 補足	
■ 使用例	79
2.15 201: SQL タスクタイプ属性(SQL 更新)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	82
■ 補足	
■ 使用例	
2.16 202:入力画面 タスクタイプ属性(文字)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.17 202:入力画面 タスクタイプ属性(文字(範囲))	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	91
■ 補足	
■ 使用例	
2.18 202:入力画面 タスクタイプ属性(数値)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.19 202:入力画面 タスクタイプ属性(数値(範囲))	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	

■ 補足	101
■ 使用例	
2.20 202:入力画面 タスクタイプ属性(日付)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	105
2.21 202:入力画面 タスクタイプ属性(日付(範囲))	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	109
2.22 202:入力画面 タスクタイプ属性(時刻)	
■ 機能	111
■ 画面イメージ	111
■ 項目説明	111
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	113
2.23 202:入力画面 タスクタイプ属性(時刻(範囲))	
■ 機能	115
■ 画面イメージ	115
■ 項目説明	115
■ 使用上の注意	116
■ 補足	117
■ 使用例	117
2.24 202:入力画面 タスクタイプ属性(日付時刻)	
■ 機能	119
■ 画面イメージ	119
■ 項目説明	119
■ 使用上の注意	121
■ 補足	121
■ 使用例	

2.25 203:データ照会画面 タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
2.26 204:検索付データ照会画面 タスクタイプ属性(空白、拡張)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.27 205:検索付データ照会画面 I タスクタイプ属性(空白)	
■ 機能	147
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	151
■ 補足	
■ 使用例	
2.28 223:トランザクション タスクタイプ属性(開始、コミット、ロールバック)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	159
■ 項目説明	159
■ 使用上の注意	
■ 使用例	
<ol> <li>2.29 224: SQL - 括照会 タスクタイプ属性(開始、終了)</li> </ol>	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
<ul> <li>● 使用例</li> <li>2.30 230:集計表自動作成 タスクタイプ属性(なし)</li> </ul>	
<ul> <li>● 使用例</li> <li>2.30 230:集計表自動作成 タスクタイプ属性(なし)</li> <li>■ 機能</li> </ul>	
<ul> <li>● 使用例</li> <li>2.30 230:集計表自動作成 タスクタイプ属性(なし)</li> <li>■ 機能</li> <li>■ 面石イメージ</li> </ul>	
<ul> <li>● 使用例</li> <li>2.30 230:集計表自動作成 タスクタイプ属性(なし)</li> <li>■ 機能</li> <li>■ 画面イメージ</li> <li>■ 項目説明</li> </ul>	

■ 使用上の注意	167
■ 補足	167
■ 使用例	
2.31 301:起動モード タスクタイプ属性(複数指定)	
■ 機能	171
■ 画面イメージ	171
■ 項目説明	172
■ 使用上の注意	173
■ 補足	174
■ 使用例	175
2.32 301:起動モード タスクタイプ属性(画面)	
■ 機能	177
■ 画面イメージ	177
■ 項目説明	178
■ 使用上の注意	178
■ 補足	179
■ 使用例	179
2.33 301:起動モード タスクタイプ属性(SQL 後自動計算)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.34 301:起動モード タスクタイプ属性(ビジーチェック)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.35 301:起動モード タスクタイプ属性(ボタンエリア)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	190
■ 使用上の注意	191
■ 補足	191

2.36       301: 起動モード タスクタイブ属性 (Excel 最大化)       193         ● 個能       193         ● 画面イメージ       193         ● 項目説明       193         ● 使用上の注意       194         博夏       195         ● 使用       195         ● 使用       196         ● 使用       197         ● 使用       198         ● 回面イメージ       199         ● 使用       199         ● 個能       199         ● 回面イメージ       199         ● 回面イメージ       199         ● 回面イメージ       199         ● 個目的       200         ● 使用上の注意       201         ● 使用例       202         238       301: 起動モード タスクタイプ属性 (セッション総続時間)       203         ● 回面イメージ       203         ● 回面イメージ       203         ● 回面イメージ       204         ● 初定       204         ● 使用       205         ● 個面イメージ       205         ● 個面イメージ       205         ● 回面イメージ       205         ● 回面イメージ       207         ● 使用       207         ● 個目説明       207         ● 個面イメージ       207	■ 使用例	192
「機能」       193         画面イメージ       193         頃目説明       193         岐伊上の注意       194         補定       195         使用       195         使用       196         237       301:起動モード タスクタイブ属性(定義メモリー格納)       199         ● 画面イメージ       199         ● 画面イメージ       199         ● 画面イメージ       199         ● 個面イメージ       199         ● 国面イメージ       199         ● 国面イメージ       199         ● 個面イメージ       201         使用       202         238       301:起動モード タスクタイブ属性(セッション維納時間)       203         ● 個面イメージ       204         使用       205         ● 個面イメージ       204         ● 使用       205         ● 個面イメージ       204         ● 使用       205         ● 個面イメージ       206         ● 個目説明       207         ● 個面イメージ       207         ●	2.36 301: 起動モード タスクタイプ属性(Excel 最大化)	
画面イメージ       193         項目説明       193         項目説明       193         使用       194         補足       195         使用例       196         2.37       301:記動モードタスクタイプ属性(定義メモリー格納)       199         ● 機能       199         ● 面面イメージ       199         ● 面面イメージ       200         使用月の       201         ● 使用例       202         2.38       301:記動モードタスクタイプ属性(セッション総統時間)       203         ● 運面イメージ       203         ● 使用       204         ● 使用       204         ● 使用       204         ● 使用       205         ● 原       205         ● 原       207         ● 使用	■ 機能	
項目税明       193         使用上の注意       194         補足       195         使用例       196         237       301:起動モード タスクタイプ属性(定義メモリー格納)       199         激縮       199         画面イメージ       199         (使用例       202         238       301:起動モード タスクタイプ属性(セッション継続時間)       203         (使用例       202         238       301:起動モード タスクタイプ属性(セッション継続時間)       203         (使用例       203         (使用例       203         (使用)       204         (使用)       205         (使用)       205         (使用)       205         (使用)       206         (使用)       207         (使用)       207         (使用)       207         (使用)       207         (使用)       207         (使用)       209         画面イメージ       209         画面イメージ       209	■ 画面イメージ	
・使用上の注意       194         補足       195         ・使用例       196         2.37       301:記動モードタスクタイプ属性(定義メモリー格納)       199         ・「備能       199         ・「個市       201         ・使用上の注意       201         ・使用       201         ・使用       201         ・使用       202         2.38       301:記動モードタスクタイプ属性(セッション総続時間)       203         ・備能       203         ・使用別       203         ・使用別       203         ・「「日説明       203         ・使用」の注意       204         ・使用別       203         ・「「「日」の注意       204         ・使用別       205         ・「備能       205         ・「「「日」の注意       205         ・「「「「日」の注意       207         ・「「「「日」の注意       207         ・「「「「日」」」」」       207         ・「「「「日」」」」」       209         ・「「「日」」」       209         ・「「「日」」」       201         ・「「「日」」」」       201         ・「「」」」       201         ・「」」       201         ・「」」       201         ・「」」       201         ・「」」	■ 項目説明	
補足       195         使用例       196         237       301: 記動モード タスクタイプ属性(定義メモリー格納)       199         ● 蘭面イメージ       199         ● 蘭面イメージ       199         ● 頃目説明       200         ● 使用上の注意       201         ● 使用例       202         238       301: 起動モード タスクタイプ属性(セッション継続時間)       203         ● 微能       203         ● 個目的       203         ● 個目の       203         ● 個目の       203         ● 個目の       203         ● 個目の       203         ● 個目別       203         ● 個目別       203         ● 個目別       203         ● 個目別       203         ● 個目の       203         ● 個目の       203         ● 個目の       204         ● 健用別       204         ● 健用別       204         ● 使用例       205         ● 個目記       205         ● 個目記       206         ● 使用日の注意       207         ● 個目別       206         ● 使用別       207         ● 個目別       207         ● 健用別       207         ● 健用別       209	■ 使用上の注意	
・使用例       196         2.37       301:記動モードタスクタイプ属性(定義メモリー格納)       199         ・「使用例       199         ・「項目説明       200         ・受用上の注意       201         ・使用例       202         2.38       301:記動モードタスクタイプ属性(セッション継続時間)       203         ・機能       203         ・機能       203         ・「使用例       203         ・「使用例       203         ・「使用」の注意       203         ・「使用」の注意       204         ・使用」       205         ・「使用例       204         ・使用」       205         ・「使用例       204         ・使用       205         ・「項目説明       206         ・「使用例       207         ・「使用例       207         ・「使用       207         ・「使用       207         ・「使用       209         ・「個能       209         ・「個能       209         ・「個能       209         ・「日       201         ・ 「日       201	■ 補足	
2.37       301:記動モードタスクタイブ属性(定義メモリー格納)       199         ● 欄能       199         ● 国面イメージ       199         ● 国目説明       200         ●使用上の注意       201         ● 体能       202         2.38       301:記動モードタスクタイブ属性(セッション継続時間)       203         ● 使用の       203         ● 使用しつ注意       203         ● 使用の       204         ● 使用の       204         ● 使用の       204         ● 使用の       205         ● 酸能       205         ● 面面イメージ       205         ● 項目説明       206         ● 使用り       207         ● 使用り       207         ● 使用り       207         ● 使用しの注意       207         ● 使用しの注意       209         ● 運用目       209         ● 運用しの注意       210         ● 使用し	■ 使用例	
- 機能       199         画面イメージ       199         項目説明       200         使用人の注意       201         補足       201         使用例       202         2.38       301: 起動モード タスクタイプ属性 (セッション継続時間)       203         ● 機能       203         ● 原用との注意       203         ● 使用しの注意       204         ● 使用       203         ● 使用       203         ● 使用       203         ● 使用       203         ● 使用       204         ● 使用       205         ● 通目説明       206         ● 使用       207         ● 確能       209         ● 回面イメージ       209         ● 回面イメージ       209	2.37 301:起動モード タスクタイプ属性(定義メモリー格納 )	
● 画面イメージ       199         項目説明       200         ● 使用上の注意       201         ● 使用例       202         2.38       301: 起動モード タスクタイブ属性 (セッション継続時間)       203         ● 機能       203         ● 面面イメージ       203         ● 直目説明       203         ● 直面イメージ       203         ● 直目説明       203         ● 復化上の注意       204         ● 使用例       205         ● 面面イメージ       205         ● 項目説明       206         ● 使用例       207         ● 検出       207         ● 使用例       207         ● しの注意       209         ● 画面イメージ       209         ● 画面イメージ       209         ● 画面イメージ       209         ● 回面イメージ       209         ● 回面イメージ       209         ● 回面イメージ       210         ● 検出       210	■ 機能	
● 項目説明       200         ● 使用上の注意       201         ● 補足       201         ● 使用例       202         2.38       301: 起動モード タスクタイブ属性 (セッション継続時間)       203         ● 慣能       203         ● 面面イメージ       203         ● 項目説明       203         ● 項目説明       203         ● 項目説明       203         ● 項目説明       203         ● 使用ク」       204         ● 使用例       205         ● 面面イメージ       205         ● 項目説明       206         ● 使用例       207         ● 確定       207         ● 随面イメージ       209         ● 面面イメージ       209         ● 面面イメージ       209         ● 面面イメージ       209         ● 面面イメージ       210	■ 画面イメージ	
●使用上の注意       201         補足       201         ●使用例       202         238       301:起動モードタスクタイプ属性(セッション継続時間)       203         ●厳能       203         ●使用Lの注意       204         ●使用Lの注意       203         ●酸能       204         ●使用例       204         ●使用       204         ●使用       204         ●使用       204         ●使用       204         ●使用       204         ●使用       204         239       301:記動モードタスクタイプ属性(規定外パラメータ区切)       205         ●横能       205         ●「使用       205         ●「使用       206         ●使用       207         ●使用       207         ●使用       207         ●「使用       209         ●「回面「メージ	■ 項目説明	200
●補足       201         使用例       202         2.38       301:起動モードタスクタイプ属性(セッション継続時間)       203         ● 繊能       203         ● 面面イメージ       203         201       203         ● 使用上の注意       204         239       301:起動モードタスクタイプ属性(規定外バラメータ区切)       204         239       301:起動モードタスクタイプ属性(規定外バラメータ区切)       205         ● 機能       205         ● 使用上の注意       205         ● 使用例       206         ● 使用Lの注意       207         ● 使用例       207         ● 体能       207         ● 使用例       207         ● 体能       209         ● 横能       209         ● 横能       209         ● 面面イメージ       209         ● 面面イメージ       209         ● 面面イメージ       209         ● 体能       209         ● 面面イメージ       209         ● 面面イメージ       209         ● 体能       210         ● 使用上の注意       210         ● 使用人の注意       210         ● 補足       211         ● 使用例       211	■ 使用上の注意	201
●使用例       202         2.38       301:起動モードタスクタイプ属性(セッション継続時間)       203         ● 適面イメージ       203         ●項目説明       203         ●使用の       203         ●使用の       204         ●使用の       204         ●使用の       204         239       301:起動モードタスクタイプ属性(規定外パラメータ区切)       205         ●機能       205         ●面面イメージ       205         ●面面イメージ       205         ●面面イメージ       205         ●面面イメージ       205         ●面面イメージ       207         ●使用の       207         ●使用の       207         ●「韓国       206         ●使用の       207         ●「秋能       207         ●「東谷       209         ●面面イメージ       209         ●「日島説明       210         ●「東日郎明       210         ●「東日郎明       211         ●「使用例       211         24.1       301: 記動モード タスクタイプ属性 (セッションエラー処理)	■ 補足	201
2.38       301:起動モードタスクタイプ属性(セッション継続時間)       203         ●機能       203         ●面面イメージ       203         ●項目説明       203         ●使用の       204         2.39       301:起動モードタスクタイプ属性(規定外バラメータ区切)       205         ●機能       205         ●面面イメージ       205         ●使用の       205         ●機能       205         ●面面イメージ       205         ●しい注意       207         240       301:起動モードタスクタイプ属性(「採用」文字変更)       207         240       301:起動モードタスクタイプ属性(「採用」文字変更)       209         ●機能       209       209         ●機能       209       209         ●横配       210       211         240       301:起動モードタスクタイプ属性(「採用」文字変更)       209         ●面面イメージ       209       209         ●個面イメージ       210       211         ●使用の       211       211         ●使用の       211       211	■ 使用例	202
- 機能       203         画面イメージ       203         項目説明       203         ・使用上の注意       204         神足       204         使用例       204         2、39       301:起動モードタスクタイブ属性(規定外バラメータ区切)       205         ・機能       205         ・● 使用上の注意       205         ・● 使用上の注意       206         ・● 使用上の注意       207         ・● 使用例       207         ● 使用目の注意       207         ● 使用例       209         ● 個面イメージ       209         ● 個目説明       210         ● 使用上の注意       210         ● 作用列       211         ● 使用列       211         ● (使用列       211         ● (世利列       211         ● 241       301: 記動モード タスクタイブ属性 (セッションエラー処理)       213	2.38 301:起動モード タスクタイプ属性(セッション継続時間)	
画面イメージ	■ 機能	
● 項目説明	■ 画面イメージ	
●使用上の注意       .204         ●補足       .204         ●使用例       .204         2.39       301:起動モードタスクタイプ属性(規定外パラメータ区切)       .205         ●随面イメージ       .205         ●項目説明       .206         ●使用上の注意       .207         ●補足       .207         ●使用例       .207         ●「使用例       .207         ●「使用上の注意       .209         ●「使用上の注意       .210         ●「使用●       .210         ●「使用●       .210         ●「使用●       .211         ●「使用●       .211         ●「使用●       .211         ●「使用●       .211         ●「使用●       .211	■ 項目説明	203
<ul> <li>補足</li></ul>	■ 使用上の注意	
<ul> <li>●使用例</li></ul>	■ 補足	204
2.39       301:起動モードタスクタイプ属性(規定外パラメータ区切)       205         ●機能       205         ●面面イメージ       206         ●使用上の注意       207         ●使用例       207         ●使用例       207         2.40       301:起動モードタスクタイプ属性(「採用」文字変更)       209         ●機能       209         ●してメージ       209         ●使用人の注意       209         ●してメージ       209         ●して、       210         ●して、       210         ●して、       211         ●して、       211         ●して、       211         ●して、       213	■ 使用例	204
<ul> <li>機能</li></ul>	2.39 301:起動モード タスクタイプ属性(規定外パラメータ区切)	
画面イメージ       205         項目説明       206         使用上の注意       207         補足       207         使用例       207         2.40       301: 起動モード タスクタイプ属性 (「採用」文字変更)       209         機能       209         ●面面イメージ       209         ● 使用上の注意       210         ● 使用上の注意       210         ● 使用人の注意       210         ● 使用人の注意       210         ● 使用上の注意       210         ● 使用人の注意       210         ● 241       301: 起動モード タスクタイプ属性 (セッションエラー処理)         241       301: 起動モード タスクタイプ属性 (セッションエラー処理)	■ 機能	205
●項目説明       206         ●使用上の注意       207         ●補足       207         ●使用例       207         2.40       301:起動モードタスクタイプ属性(「採用」文字変更)       209         ●機能       209         ● しの注意       209         ● 使用上の注意       209         ● 使用上の注意       210         ● 使用上の注意       210         ● 使用       211         ● 使用例       211         ● 使用例       213	■ 画面イメージ	
<ul> <li>使用上の注意</li></ul>	■ 項目説明	
<ul> <li>補足</li></ul>	■ 使用上の注意	
<ul> <li>使用例</li></ul>	■ 補足	
<ul> <li>2.40 301:起動モード タスクタイプ属性(「採用」文字変更) 209</li> <li>●機能 209</li> <li>●面面イメージ 209</li> <li>●項目説明 210</li> <li>●使用上の注意 211</li> <li>●使用例 211</li> <li>2.41 301:起動モード タスクタイプ属性(セッションエラー処理) 213</li> </ul>	■ 使用例	207
<ul> <li>機能</li></ul>	2.40 301:起動モード タスクタイプ属性(「採用」文字変更)	
<ul> <li>画面イメージ</li></ul>	■ 機能	209
■ 項目説明       210         ■ 使用上の注意       210         ■ 補足       211         ■ 使用例       211         2.41       301 : 起動モード タスクタイプ属性(セッションエラー処理)	■ 面面イメージ	209
<ul> <li>■ 使用上の注意</li></ul>	■ 項目説明	
<ul> <li>■ 補足</li></ul>	● 使用上の注意	
<ul> <li>● 使用例</li></ul>	■ 補足	
2.41 301:起動モード タスクタイプ属性(セッションエラー処理)	■ 使用例	
	2.41 301:起動モード タスクタイプ属性(セッションエラー処理)	

■ 機能	
■ 画面イメージ	213
■ 項目説明	213
■ 使用上の注意	214
■ 補足	215
■ 使用例	216
2.42 301:起動モード タスクタイプ属性(ログ保存)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	219
■ 使用例	
2.43 301:起動モード タスクタイプ属性(管理タイマー間隔設定)	
★¥465	221
= 腐п	
□□□ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	222
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.44 301:起動モード タスクタイプ属性(サーバ時刻取得)	
★¥462	225
■ 画面イメージ	225
□□□ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	226
■ 使用上の注意	226
■ 補足	
■ 使用例	
2.45 301:起動モード タスクタイプ属性(マクロ実行禁止)	
	990
= 10388 ■ 両面イメージ	
■ 個山 1 ス ク	
<ul> <li>□ 項日式 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</li></ul>	230
= 读□⊥♡/⊥志	
■ m ~	
■ נקמען	
2.46       301:起動モード タスクタイプ属性(終了処理制御)	
■ 機能	233
■ 画面イメージ	

■ 項目説明	
■ 使用上の注意	235
■ 補足	235
■ 使用例	236
2.47 301: 起動モード タスクタイプ属性(Excel 操作)	
■ 機能	237
■ 画面イメージ	237
■ 項目説明	238
■ 使用上の注意	239
■ 補足	239
■ 使用例	239
2.48 301: 起動モード タスクタイプ属性(開始終了時自動計算)	
■ 機能	241
■ 画面イメージ	241
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.49 301:起動モード タスクタイプ属性(改行表示)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	247
■ 使用例	
2.50 301:起動モード タスクタイプ属性(ショートカットキー制御)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
2.51 302:メニュー制御 タスクタイプ属性(ウィンドウ)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	

2.52       301: 記録モード タスクタイブ属性 (外4が)や数) エラー! ブックマークが定義されていません。         ● 復船       エラー! ブックマークが定義されていません。         ● 面面イメージ       エラー! ブックマークが定義されていません。         ● 頃目没!       エラー! ブックマークが定義されていません。         ● 使用した注意       エラー! ブックマークが定義されていません。         ● 使用した注意       エラー! ブックマークが定義されていません。         ● 使用した注意       エラー! ブックマークが定義されていません。         ● 使用       エラー! ブックマークが定義されていません。         ● 使用       …         ● 2033: 終行処理       ※271         ● 使用       …         ● 二       …         ● 二       …         ● 使用       …         ● 二       …         ● 二       …         ● 二       …         ● 二       …         ● 二       …         ●	■ 使用例	
機能       エラー! ブックマークが定義されていません。         画面マメージ       エラー! ブックマークが定義されていません。         項目説明       エラー! ブックマークが定義されていません。         使用上の注意       エラー! ブックマークが定義されていません。         **       エラー! ブックマークが定義されていません。         使用例       エラー! ブックマークが定義されていません。         253       302: メニュー制御 タスクタイプ属性(起動)       267         ●       機能       267         ●       運商イメージ       267         ●       運動マンジ       267         ●       運動マンジ       267         ●       運動税用       267         ●       (中上の注意       268         ●       (中上の注意       268         ●       (中日の)       270         254       303: 総プ処理 タスクタイプ属性(総工、ログインに戻る)       271         ●       (中日の)       272         ●       (中日の)       272         ●       (中日の)       275         ●       (日日の)       275         ●       (中日の)       276	2.52 301:起動モード タスクタイプ属性(タイムアウト秒数)	エラー! ブックマークが定義されていません。
画面イメージ       エラー! ブックマークが定義されていません、         項目説明       エラー! ブックマークが定義されていません、         (使用の注意       エラー! ブックマークが定義されていません、         (様用例       エラー! ブックマークが定義されていません、         (使用例       267         (項目説明       267         (回面イメージ)       267         (使用)       270         (使用)       271         (使用)       272         (使用)       272         (使用)       273         255       304: ハイバー実行制鋼 タスクタイクスクタイプ属性(有効、無効)       275         (使用)       275         (使用)       275         (使用)       276         (使用)       277         (使用)       277         (使用)       277      <	■ 機能	エラー! ブックマークが定義されていません。
項目税明       エラー! ブックマークが定義されていません。         使用上の注意       エラー! ブックマークが定義されていません。         補足       エラー! ブックマークが定義されていません。         使用例       エラー! ブックマークが定義されていません。         253       302: メニュー制御 タスクタイプ属性(起動)       267         機能       267         項目説明       268         使用上の注意       268         使用       270         254       303: 総了処理 タスクタイプ属性(総子、ログインに戻る)       271         ● 使用例       270         254       303: 総了処理 タスクタイプ属性(総子、ログインに戻る)       271         ● 使用例       271         ● 面面イメージ       271         ● 使用例       272         使用例       272         ● 使用例       272         ● 使用例       272         ● 使用例       273         255       304: ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       276         ● 運動ボインジ       275         ● 使用例       276         ● 使用       277         ■ 個目説明       276         ● 使用       277         ● 使用	■ 画面イメージ	エラー! ブックマークが定義されていません。
●使用上の注意       エラー! ブックマークが定義されていません。         補足       エラー! ブックマークが定義されていません。         使用例       エラー! ブックマークが定義されていません。         2.53       302: メニュー制御 タスクタイブ属性(起動)       267         機能       267         画面イメージ       267         項目説明       268         補足       267         項目説明       268         一使用人の注意       269         使用上の注意       269         使用上の注意       270         254       303: 総了処理 タスクタイプ属性(総訂、ログインに戻る)       271         ● 使用上の注意       272         ●使用上の注意       272         ●使用」の注意       272         ●使用       273         255       304: ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ●機能       276         ●使用       275         ●使用       275         ●「使用       275         ●「使用       275         ●「使用       275         ●「使用       276         ●「使用       275         ●「使用       275         ●「使用       276         ●「使用       276         ●「使用       277         ●「使用       278         ●「使用 <t< td=""><td>■ 項目説明</td><td>エラー! ブックマークが定義されていません。</td></t<>	■ 項目説明	エラー! ブックマークが定義されていません。
<ul> <li>補足 エラー! ブックマークが定義されていません。</li> <li>使用例 エラー! ブックマークが定義されていません。</li> <li>253 302: メニュー制御 タスクタイプ属性(起動)</li> <li>267</li> <li>機能 267</li> <li>画面イメージ 267</li> <li>●使用例 270</li> <li>264</li> <li>303:総了処理 タスクタイプ属性(総丁、ログインに戻る)</li> <li>271</li> <li>●使用例 271</li> <li>●面面イメージ 271</li> <li>●機能 271</li> <li>●個能 271</li> <li>●面面イメージ 271</li> <li>●使用人の注意 272</li> <li>●使用人の注意 272</li> <li>●使用例 272</li> <li>●使用人の注意 273</li> <li>255 304: ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効) 275</li> <li>●面面イメージ 275</li> <li>●面面イメージ 275</li> <li>●面面イメージ 275</li> <li>●面面イメージ 275</li> <li>●回面イメージ 275</li> <li>●回面イメージ 275</li> <li>●目説明 275</li> <li>●目説明 276</li> <li>●使用人の注意 276</li> <li>●使用人の注意 276</li> <li>●使用人の注意 277</li> <li>256 310: メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替) 279</li> <li>●個記</li> <li>●279</li> <li>●機能 271</li> <li>●279</li> <li>●機能 271</li> <li>●279</li> <li>●機能 271</li> <li>●279</li> <li>●機能 270</li> <li>●279</li> <li>●機能 270</li> <li>●279</li> <li>●機能 270</li> <li>●279</li> <li>●</li> <li>●279</li> <li>●</li> &lt;</ul>	■ 使用上の注意	エラー! ブックマークが定義されていません。
・使用例       エラー! フックマークが定義されていません。         2.53       302: メニュー制御 タスクタイプ属性(起動)       267         ・酸能       267         ・面面イメージ       267         ・項目説明       268         ・使用上の注意       268         ・使用例       270         2.54       303:総了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         ・使用例       272         ・使用上の注意       272         ・使用例       272         ・使用例       272         ・使用       272         ・使用例       273         2.55       304: ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ・しき説       275         ・「項目説明       276         ・使用例       275         ・「項目説明       276         ・使用例       277         2.56       310: メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、臨す、ボタン切替)       276         ・使用       279          ・酸能       279          ・ロシー       279          ・ロシー       279          ・ロシー       279          ・ロシー       280          ・ロシー       281          ・ロシー       281	■ 補足	エラー! ブックマークが定義されていません。
253       302:メニュー制御 タスクタイブ属性(起動)       267         ● 機能       267         ● 画面イメージ       267         ● 使用しの注意       268         ● 使用       268         ● 使用       269         ● 使用       270         254       303:終了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         ● 機能       271         ● 個用       270         254       303:終了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         ● 個用       272         ● 使用       271         ● 個用       272         ● 使用       272         ● 使用       272         ● 使用例       273         255       304: ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ● 機能       275         ● 面面イメージ       275         ● 面面イメージ       275         ● 個別       275         ● 機能       276         ● 使用       276         ● 使用       277         ● 優能       276         ● 運動       277         ● 機能       276         ● 使用       277         ● 優先       279         ● 電目       279         ● 電目       279	■ 使用例	エラー! ブックマークが定義されていません。
●機能       267         画面イメージ       207         項目説明       268         使用上の注意       268         補足       269         使用例       270         254       303: 終了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         ●面面イメージ       271         ●面面イメージ       271         ●面面イメージ       272         使用上の注意       272         ●使用       273         255       304: ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ●面面イメージ       275         ●面面イメージ       275         ●面面イメージ       275         ●面面イメージ       276         ●使用しの注意       276         ●使用       276         ●使用       276         ●「使用       276         ●「使用       277         256       310: メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ●「機能       276         ●「使用       279         ●「日齢明       279         ●「日齢明       279         ●「日齢明       280         ●「使用       281         ●「使用       281         ●「位用       281         ●「使用       281	2.53 302:メニュー制御 タスクタイプ属性(起動)	
画面イメージ       267         項目説明       268         使用上の注意       268         補足       269         使用例       270         254       303: 総丁処理 タスクタイブ属性(終了、ログインに戻る)       271         一個面イメージ       271         ●面面イメージ       271         ●面面イメージ       271         ●面面イメージ       271         ●使用例       272         ●使用例       272         ●使用例       273         255       304: ハイパー実行制御 タスクタイブ属性(有効、無効)       275         ●面面イメージ       275         ●個面(メージ       275         ●しの注意       276         ●使用例       275         ●「使用例       275         ●「使用例       275         ●「使用例       275         ●「使用例       276         ●「使用       277         ●「使用       276         ●「使用       277         ●「しの注意       276         ●「使用       277         ●「使用       277         ●「使用       277         ●「使用       277         ●「使用       277         ●「「「」」       278         ●「「」」       279	■ 機能	
●項目説明       268         ●使用しの注意       269         ●使用例       270         254       303: 終了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         ●機能       271         ●面イメージ       271         ●面イメージ       271         ●使用人の注意       272         ●使用人の注意       272         ●使用例       273         255       304: ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ●「使用例       275         ●「使用       275         ●面イメージ       275         ●「使用       275         ●面イメージ       275         ●面面イメージ       276         ●「使用       276         ●「使用       276         ●「使用       276         ●「使用       277         256       310: メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ●「回面イメージ	■ 画面イメージ	
●使用上の注意       268         補足       269         ●使用例       270         2.54       303:総了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         ●適面イメージ       271         ●適面イメージ       271         ●使用上の注意       272         ●使用例       272         ●使用例       273         2.55       304:ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ●機能       275         ●面面イメージ       275         ●面面イメージ       275         ●項目説明       276         ●使用人の注意       276         ●使用       276         ●「使用       276         ●使用       276         ●「使用       276         ●「使用       276         ●使用例       277         2.56       310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ●面面イメージ       280         ●使用       280         ●使用       281         ●福田       281	■ 項目説明	
●補足       269         ●使用例       270         2.54       303:総了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         ●適面イメージ       271         ●適目影明       272         ●使用上の注意       272         ●使用例       273         2.55       304:ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ●適面イメージ       275         ●頃目脱明       276         ●使用       275         ●項目脱明       276         ●使用       275         ●「夏目影明       276         ●使用       276         ●「使用Lの注意       276         ●「東日       276         ●使用例       277         2.56       310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ●「夏目影明       279         ●面面イメージ       279         ●面面イメージ       279         ●面面イメージ       279         ●両目影明       280         ●使用       280         ●使用       281         ●福尾       281         ●「復興       281         ●「夏目影明       281         ●「夏目影明       281         ●「夏目       281         ●「夏目       281 <tr< td=""><td>■ 使用上の注意</td><td></td></tr<>	■ 使用上の注意	
●使用例       270         2.54       303: 終了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         ●機能       271         ●面面イメージ       271         ●項目説明       272         ●使用例       272         ●使用例       273         2.55       304: ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ●機能       275         ●面面イメージ       275         ●面面イメージ       275         ●項目説明       276         ●使用人の注意       275         ●面面イメージ       275         ●面面イメージ       276         ●使用しの注意       276         ●使用の       277         2.56       310: メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ●「規能       279         ●面面イメージ       279         ●使用例       279         ●使用例       280         ●使用       280         ●使用の       281         ●福定       281         ●相定       281         ●相定       281         ●使用の       281	■ 補足	
2.54 303:終了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)       271         - 機能       271         画面イメージ       271         項目脱明       272         使用上の注意       272         ●使用例       273         2.55 304:ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ● 機能       275         ● 使用しの注意       275         ● 使用しの注意       275         ● したり注意       276         ● 使用の       276         ● 使用しの注意       276         ● 使用の       276         ● 使用の       276         ● したり注意       276         ● 使用の       276         ● 使用の       277         2.56 310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ● 面面イメージ       279         ● 面面イメージ       279         ● しの注意       280         ● 使用しの注意       281         ● 補足       281         ● 相足の       281         ● 使用の       281         ● 使用の       281         ● 使用の       281	■ 使用例	
機能	2.54 303:終了処理 タスクタイプ属性(終了、ログイン	に戻る)
画面イメージ       .271         項目説明       .272         使用上の注意       .272         補足       .272         使用例       .273         2.55       304 : ハイパー実行制御 タスクタイプ属性 (有効、無効)       .275         機能       .275         ●面面イメージ       .276         使用上の注意       .276         ・使用例       .276         ●使用例       .276         ●面面イメージ       .276         ●使用例       .277         2.56       .310 : メインボタン表示 タスクタイプ属性 (有効、無効、隠す、ボタン切替)       .279         ●面面イメージ       .279         ●面面イメージ       .279         ●面面イメージ       .279         ●面面イメージ       .279         ●目説明       .280         ●使用しつ注意       .281         ●使用例       .281         ●注の注意       .281         ●使用例       .281	■ 機能	
<ul> <li>項目説明</li></ul>	 ■ 画面イメージ	
●使用上の注意       .272         補足       .273         2.55       304:ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       .275         ●機能       .275         ●面面イメージ       .276         ●使用上の注意       .276         ●使用人の注意       .276         ●使用人の注意       .276         ●使用例       .276         ●使用例       .277         2.56       310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       .279         ●使用例       .279         ●使用しの注意       .279         ●使用人の注意       .279         ●使用例       .279         ●使用しの注意       .279         ●したり注意       .280         ●使用上の注意       .281         ●補足       .281         ●有回       .281         ●使用例       .281         ●た用例       .281	■ 項目説明	
<ul> <li>補足</li></ul>	■ 使用上の注意	
<ul> <li>使用例</li></ul>	■ 補足	
2.55       304:ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)       275         ● 機能       275         ● 面面イメージ       276         ● 使用上の注意       276         ● 使用例       277         2.56       310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ● 横能       279         ● 面面イメージ       279         ● 横能       279         ● 個面イメージ       279         ● 個面イメージ       279         ● 個面イメージ       279         ● 個目説明       280         ● 使用上の注意       281         ● 補足       281         ● 補足       281         ● 有用例       281	■ 使用例	
<ul> <li>機能</li></ul>	2.55 304:ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、	無効)
● 画面イメージ	■ 林田谷市	275
● 項目説明       276         ● 使用上の注意       276         ● 補足       276         ● 使用例       277         2.56       310 : メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ● 機能       279         ● 横眼の       279         ● 横眼の       279         ● 横能       279         ■ 面イメージ       279         ■ 項目説明       280         ● 使用上の注意       281         ■ 補足       281         ● 使用例       281         ● 使用例       281	_ ⋈Ⅲ	275
● 使用上の注意       276         ■ 補足       276         ● 使用例       277         2.56       310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         ■ 機能       279         ■ 面イメージ       279         ■ 項目説明       280         ● 使用上の注意       281         ■ 補足       281         ■ 有足       281         ● 使用例       281         2.57       311: サブボタン表示 タスクタイプ属性(表示、クリア)	■ 項目説明	276
補足       276         使用例       277         2.56       310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替)       279         機能       279         画面イメージ       279         項目説明       280         使用上の注意       281         補足       281         2.57       311:サブボタン表示 タスクタイプ属性(表示、クリア)	<ul> <li>         ・</li> <li></li></ul>	276
<ul> <li>使用例</li></ul>	<ul> <li>▲ 補足</li> </ul>	
<ul> <li>2.56 310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替) 279</li> <li>機能 279</li> <li>画面イメージ 279</li> <li>項目説明 280</li> <li>使用上の注意 281</li> <li>補足 281</li> <li>使用例 281</li> <li>2.57 311:サブボタン表示 タスクタイプ属性(表示、クリア) 283</li> </ul>	■ 使用例	
<ul> <li>機能</li></ul>	2.56 310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、	無効、隠す、ボタン切替)
<ul> <li>■面イメージ</li></ul>	■ 林田谷市	279
<ul> <li>■ 項目説明</li></ul>	 ■ 画面イメージ	279
<ul> <li>■ 使用上の注意</li></ul>	■ 項目説明	280
<ul> <li>■ 補足</li></ul>	■ 使用上の注意	281
<ul> <li>■ 使用例</li></ul>	■ 補足	281
2.57 311:サブボタン表示 タスクタイプ属性(表示、クリア)	■ 使用例	
	2.57 311:サブボタン表示 タスクタイプ属性(表示、ク	ッリア)

■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.58 315:ループ処理 タスクタイプ属性(ループ開始位置)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.59 315:ループ処理 タスクタイプ属性(ループ終了位置)	
	295
= 12018	
<ul> <li>■ 面 「 /</li></ul>	
<ul> <li>■ 使日前均</li> <li>■ 使日上の注音</li> </ul>	
= 反用工の江高	
■ (市)2	296
2.60       317:条件判定分岐 タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.61 318: メッセージ表示 タスクタイプ属性((空白))	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.62 318:メッセージ表示 タスクタイプ属性(エラー判定)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	

■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.63 319:スクリーン制御 タスクタイプ属性(更新、停止)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.64 320:サブタスク実行 タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.65 321:ログ情報書込 タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.66 322:ファイルアップロード タスクタイプ属性(画像、EXCEL ブック、テキス	ト、実行ファイル
以外、ユーザ指定)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.67 323:ファイルダウンロード タスクタイプ属性(画像、EXCEL ブック、テキス	ト、実行ファイル
以外、ユーザ指定)	
	997
= 100 mm m	

■ 項目説明	27
■ 使用上の注意	29
■ 補足	30
■ 使用例	31
2.68 324:ファイル属性取得 タスクタイプ属性(なし)	33
■ 機能	33
■ 画面イメージ	33
■ 項目説明	33
■ 使用上の注意	35
■ 補足	35
■ 使用例	36
2.69 325:メール送信 タスクタイプ属性(なし)33	39
■ 機能	39
■ 画面イメージ	39
■ 項目説明	40
■ 使用上の注意	41
■ 補足	41
■ 使用例	42
2.70 330:画像 PDF 表示 タスクタイプ属性(内部ブラウザ、外部ブラウザ、内部ブラウザ閉じる) 34	43
■ 機能	43
■ 画面イメージ	43
■ 項目説明	43
■ 使用上の注意	44
■ 補足	44
■ 使用例	45
2.71 340:ファイル選択ダイアログ タスクタイプ属性(読込用、保存用)	17
■ 機能	47
■ 画面イメージ	47
■ 項目説明	47
■ 使用上の注意	49
■ 補足	49
■ 使用例	50
2.72 341:サーバフォルダ削除 タスクタイプ属性(フォルダ削除、ファイル削除)35	51
■ 機能	51
■ 画面イメージ	51
■ 項目説明	51
■ 使用上の注意	53

## dbSheetClient

■ 補足	353
■ 使用例	354
273 342:ファイル操作 タスクタイプ属性(フォルダコピー,フォルダ移動,フォルダ)	細除. ファイル
コピー、ファイル移動、ファイル削除)	355
■ 機能	
<ul> <li>■ 回回1 メーン</li> <li>■ 西口詳四</li> </ul>	
■ 使用工の注意	
■ 備田園	
■ 区田内	
2.74 401:直接展開 タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	361
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.75 402: ピボットテーブル タスクタイプ属性(ウィザード、更新)	
	262
<ul> <li>■ 両面イメージ</li> </ul>	
<ul> <li>■ 面 「 ハ</li></ul>	
<ul> <li></li></ul>	
= 夜/12.9/2/22	365
■ 使用例	
	0.07
2.76 403: シート切替 タスクタイノ属性(なし)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.77 404:保存 タスクタイプ属性(空白)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	

■ 使用例	375
2.78 405: 一括入出力 タスクタイプ属性(CSV 入力)	377
■ 機能	377
■ 画面イメージ	377
■ 項目説明	377
■ 使用上の注意	379
■ 補足	379
■ 使用例	380
2.79 405:一括入出力 タスクタイプ属性(CSV 出力)	381
	381
- ⋈131 ··································	381
- 四回「ハーノ	389
<ul> <li>■ 使田上の注音</li> </ul>	38/
= 区心工の江窓	38/
■ (市田)	385
2.80 406:印刷 タスクタイプ属性(ダイアログ、プレビュー、直接印刷)	387
■ 機能	387
■ 画面イメージ	387
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	390
■ 使用例	391
2.81 406:印刷 タスクタイプ属性(プリンタ設定、プリンター覧取得、デフォルトプリンタ制御)	393
■ 機能	393
■ 画面イメージ	394
■ 項目説明	395
■ 使用上の注意	396
■ 補足	397
■ 使用例	398
2.82 407:ブック制御 タスクタイプ属性(参照用オープン)	401
■ 機能	401
■ 画面イメージ	401
■ 使用上の注意	
■ 使用例	406
2.83 407:ブック制御 タスクタイプ属性(参照用クローズ)	408

■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.84 407:ブック制御 タスクタイプ属性(複数シート表示)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.85 407:ブック制御 タスクタイプ属性(複数シート閉じる)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.86 407:ブック制御 タスクタイプ属性(オープン制御指定)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.87 407:ブック制御 タスクタイプ属性(処理対象ブック切替)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.88 407:ブック制御 タスクタイプ属性(サブ処理用オープン)	
■ 機能	436
■ 画面イメージ	436

■ 項目説明	437
■ 使用上の注意	438
■ 補足	439
2.89 407:ブック制御 タスクタイプ属性(サブ処理用クローズ)	
■ 機能	440
■ 画面イメージ	440
■ 項目説明	441
■ 使用上の注意	441
■ 補足	441
2.90 408:位置合わせ印刷 タスクタイプ属性(ダイアログ、プレビュー、直接印刷)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	442
■ 項目説明	443
■ 使用上の注意	444
■ 使用例	
2.91 409:シートコピー タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	450
■ 画面イメージ	450
■ 項目説明	450
■ 使用上の注意	452
■ 補足	452
■ 使用例	453
2.92 410:コピー タスクタイプ属性 (全部、数式、値、書式、入力規則、コメント、罫線を除<	くすべて、
列幅、数式と数値の書式、値と数値の書式、書式・コメント・入力規則・列幅)	
■ 大继台行	456
= 12818	
- 回回 1 / / ク	456
<ul> <li>■ 使用上の注意</li> </ul>	457
= (2/11-2)/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/	458
= Ⅲ之	459
	400
2.93 411: クリア タスクタイノ属性(全部、数式と値、書式、コメント)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	461
■ 使用上の注意	461
■ 補足	
■ 使用例	

2.94 412:セル保護 タスクタイプ属性(ON、OFF)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.95 413:シート保護 タスクタイプ属性(ON、OFF)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.96 414: 行列指定 タスクタイプ属性(高さ、列幅、複数指定)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.97 415: 行表示 タスクタイプ属性(表示しない、再表示)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.98 416:列表示 タスクタイプ属性(表示しない、再表示)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.99 417:自動計算 タスクタイプ属性(再計算実行)	
■ 機能	

■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.100 417:自動計算 タスクタイプ属性(ON、OFF)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.101 418:並べ替え タスクタイプ属性(ダイアログ、自動)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.102 419:ジャンプ タスクタイプ属性(カーソル移動、先頭、保持)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.103 420: セル位置取得 タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	
====================================	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	512
2.104 421:範囲取得 タスクタイプ属性(選択、名前)	
■ 機能	514
 ■ 画面イメージ	
■ 頂口設品	515
■ 块日砘吻	

<ul> <li>補足</li></ul>
<ul> <li>使用例</li></ul>
<ul> <li>2.105 422:図の挿入 タスクタイプ属性(ピクセル指定、ミリ指定、セルサイズ)</li></ul>
<ul> <li>機能</li></ul>
<ul> <li>画面イメージ</li></ul>
<ul> <li>項目説明</li></ul>
<ul> <li>使用上の注意</li></ul>
<ul> <li>補足</li></ul>
<ul> <li>使用例</li></ul>
<ul> <li>2.106 423:図のクリア タスクタイプ属性(ALL、個別)</li></ul>
<ul> <li>■ 機能</li></ul>
<ul> <li>■ 画面イメージ</li></ul>
■ 項目説明
■ 使用上の注意
■ 補足
■ 使用例
2.107 424:行列挿入 タスクタイプ属性(行挿入、列挿入、セル行挿入、セル列挿入)
■ 機能
■ 画面イメージ
■ 項目説明
■ 使用上の注意
■ 補足
■ 使用例
2.108 425:チェックボックス設定 タスクタイプ属性(追加)536
■ 機能
■ 画面イメージ
■ 項目説明
■ 使用上の注意
■ 補足
■ 使用例
2109 J25:チェックボックフ設定 タフクタイプ屋性(削除) 5J2
<ul> <li>2.100 420・9 1 9 (h) (h) (h) (h) (h) (h) (h) (h) (h) (h)</li></ul>
<ul> <li>2.103 420・9 199 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 /</li></ul>
<ul> <li>2.103 420.9 1990 1990 1990 1990 1990 1990 1990 1</li></ul>
<ul> <li>2.103 年20.9 エラジボラジス設定 ジスラジ トシ属住 (南麻の)</li></ul>

■ 使用例	543
2.110 426:ハイパータスク実行設定 タスクタイプ属性(セルにリンク設定)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	544
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	546
■ 補足	
■ 使用例	548
2.111 426:ハイパータスク実行設定 タスクタイプ属性(セルのリンク削除)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	553
■ 使用上の注意	554
■ 補足	
■ 使用例	555
2.112 426:ハイパータスク実行設定 タスクタイプ属性(実行ボタン追加)	
■ 機能	558
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	564
2.113 426:ハイパータスク実行設定 タスクタイプ属性(実行ボタン削除)	
■ 機能	568
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	569
■ 使用上の注意	570
■ 補足	570
■ 使用例	571
2.114 427:イメージ保存 タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	574
■ 画面イメージ	574
■ 項目説明	575
■ 使用上の注意	576
■ 補足	577
■ 使用例	578
2.115 429:イメージクリア タスクタイプ属性(なし)	

dby

■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.116 430: EXCEL コマンド タスクタイプ属性(複数指定)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.117 430: EXCEL コマンド タスクタイプ属性(ファイル ペ	ージ設定、編集 検索 その他複数指定
可能なタイプ)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.118 430: EXCEL コマンド タスクタイプ属性(ツール_入力)	後のセル移動方向)
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
<ul><li>2.119 430: EXCEL コマンド タスクタイプ属性(データ_オー 解除) 598</li></ul>	トフィルタ設定、データ_オートフィルタ
	EUO
<ul> <li>■ 103 HE</li> <li>■ 面面イメージ</li> </ul>	598
■ 項日説明	598
■ 使用上の注意	599
■ 補足	599
■ 使用例	
2.12U 5U1・外部アノリ起動 タスクタイノ属性(なし)	

■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.121 502: クリップボード操作 タスクタイプ属性(コピー、貼り付け、クリア	)
■ 機能	606
■ 画面イメージ	606
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.122 503:マクロ起動 タスクタイプ属性(なし)	
■ 機能	612
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	613
■ 補足	
■ 使用例	614
2.123 504:外部 DLL 呼び出し タスクタイプ属性(なし)	616
■ 機能	616
■ 画面イメージ	616
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.124 601:データ保守実行 タスクタイプ属性(開始、終了)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
2.125 701:タイマー処理 タスクタイプ属性(再計算実行、タスク実行、停止、	再開、クリア)628
■ 機能	
■ 画面イメージ	

■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
■ 使用例	
【クエリー定義リノアレンス編】	
第3章.クエリー定義リファレンス共通事項	
3.1.クエリー定義の全項目について	
3.2.クエリータイプについて	
第4章 クエリータイプ	
2126 クエリータイプ:昭会	644
	644
■ 両面イイー♡	644
■ 酒日説旧	644
<ul> <li>■ (4)</li> <li>□ (4)</li>     &lt;</ul>	645
= (2/13-20)/2/20	645
	2.12
2.127 クエリータイノ:更新	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
2.128 クエリータイプ:指定更新	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
2.129 クエリータイプ:削除	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 使用上の注意	
■ 補足	
2.130 クエリータイプ:SQL 更新	

■ 機能	654
■ 画面イメージ	654
■ 項目説明	654
■ 使用上の注意	655
■ 補足	655
【展開定義リファレンス編】	656
第5章 展開定義リファレンス共通事項	657
5.1.展開定義の全項目について	
5.2.定義区分、タイプ、タスク・展開属性について	
5.3.セル展開範囲定義名 について	
第6章 展開定義	665
2.131 定義区分:クエリー定義 タイプ(照会、SQL 更新)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 補足	
2.132 定義区分: クエリー定義 タイプ (更新、指定更新、削除)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 補足	
2.133 定義区分:タスク定義 タイプ(401:直接展開)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	672
■ 補足	673
2.134 定義区分:タスク定義 タイプ(410:コピー)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 補足	
2.135 定義区分:タスク定義 タイプ(411:クリア、412:セル保護)	
■ 機能	678

■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 補足	
2.136 定義区分:タスク定義 タイプ(414:行列指定)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 補足	
2.137 定義区分:タスク定義 タイプ(415:行表示、416:列表示)	
■ 機能	
■ 画面イメージ	
■ 項目説明	
■ 補足	
§ 付録	
A.改版履歴	



【タスクタイプリファレンス編】

第1章 タスク定義リファレンス共通事項

第2章 タスクタイプ (属性別)



#### 第1章. タスク定義リファレンス共通事項

タスク定義シートの作成において共通的な内容を、9つの節にまとめています。

- 2.1 タスク定義の全項目について
- 2.2 タスクタイプの機能分類と概要について
- 2.3 開始メッセージについて
- 2.4 正常終了メッセージについて
- 2.5 エラー処理について
- 2.6 キャンセル処理について
- 2.7 セルのアドレス指定について
- 2.8 空白文字処理方法について
- 2.9 自動計算について
- 2.10 制限事項

タスク定義は、タスクタイプ及びタスクタイプ属性によって定義に必要な項目が変わります。ここでは、 タスク定義シート全般で、定義する項目について説明します。

タスク定義シートで設定する項目は、次の通りです。

db

項目名	内容
TASKNO	タスク定義を管理する番号です。
タスク 選択(F4)	メニューやボタンがクリックされた時に実行するTASKNOを設定し
	ます。詳細は、メニュー定義のTASKNOを参照してください。
タスク名	タスクに名前をつけることができます。
処理順NO	TASKNO ごとに定義される処理の順番を昇順に指定します。
	随時、順番を入れ替えることができます。
タスクタイプNO	dbSheetClient が提供するタスクタイプの番号を指定します。
選択 (F4)	タスクタイプ名と連動しています。
タスクタイプ名	dbSheetClient が提供するタスクタイプの名前を指定します。
選択 (F4)	タスクタイプ NO と連動しています。
タスクタイプ属性	タスクタイプごとに、各処理の実行モードを選択します。詳細は、
タスク属性 )選択(F4)	『第2章 タスクタイプ(属性別)』を参照してください。
	例 201 SQL のタスクタイプ属性
	dbSheetClient (選択)     タスクタイブ属性     タスクタイブ属性     オート     マックタイプ     マックターズ     マックス     マックターズ     マックス     マックス     マックターズ     マックス     マ
	0001: 照合 0002: 更新 0003: 甘定更新
	0004: 削除 *** 0005: SQL更新
BKNO	ブック運用定義に登録されている管理番号を設定します。
運用ブック 選択(F4)	
ブック名	「BKNO」を設定すると、ブック定義のブック名が表示されます。
運用ブック 選択(F4)	
シート名	Excel ブックのシート名を設定します。
<u>シート名</u> 選択(F4)	

【次ページに続く】

項目名	内容
シート保護有無	Excel ブックのシートにシート保護がかけられている時に、「有り」を
選択 (F4)	設定します。
	保護がかけられているシートに対して保護を解除しないまま、データ
	の入力やコピー、クリアなどをおこなうとエラーになるので、保護の
	解除指定が必要となります。
	シート保護有りでパスワード設定している場合「シート保護解除
	PW」の設定項目にパスワードを入力します。
	シートに保護をかけることによって、数式を保護したり、数式の内
	容を非表示にすることができます。
	また、Enter キーや TAB キーを使うと、入力可能なセルだけを自
	動的に選んでカーソル移動するようになります。
	dbSheetClient では「シート保護有無」が「有り」の時には、タス
	ク処理の開始前にシート保護を解除し、タスク処理の終了時にシート
	の保護を掛けなおします。
	セルの保護とシートの保護設定は、Excel のメニューの「書式-セ
	ルー保護」でセルにロックを設定した後、「ツールー保護ーシートの保
	護」で保護を設定します。保護する内容も細かく指定することができ
	ます。詳細は Excel の解説書で確認してください。
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。
MNO	タスクタイプの 302.メニュー制御で使用される設定項目で、メニュ
メニュー 選択(F4)	ーをタスクから起動する時にメニューNO を指定します。
BSNO	タスクタイプの311.サブボタン表示、403.シート切替で使用される
ボタン 選択(F4)	設定項目で、サブボタンを表示する時に、表示させるボタンセット NO
	(BSNO)を指定します。

【前ページより続く】

d de la companya de l

【次ページに続く】

<u>dþy</u>

項目名	内容
QNO	クエリーを実行するためのタスクタイプが設定されている時、クエリ
<u>カエリー</u> 違択(F4)	ー番号を指定します。 C dbSheetClient (深序) 000 0001: 原件リスト取り込み (照会) 0002: 社員運行 (課会) 0004: 勤続国覧 (現会)
	<ul> <li>新規作成時</li> <li>「ケワリックします。クエリー定義が開きます。</li> <li>「ひ」</li> <li>をクリックします。新規のクエリーが設定されます。</li> <li>クエリー名に「MNU_{メニュー名}」が入ります。</li> <li>任意の名前に変更することができます。</li> <li>クエリー名の設定と同時に、QNOの設定項目セルに自動採番</li> <li>で入力されます。</li> <li>「反素] でタスク定義に戻ると QNO が設定されています。</li> <li>「クエリー名」も入力されます。</li> <li>定義呼び出し時</li> <li>選択して[OK] をクリックするとクエリー定義の一覧が表示されます。</li> <li>「クエリー名」も入力されます</li> </ul>
クエリー名	「QNO」を設定すると、「クエリー名」には、クエリー定義の「クエ
クエリー 選択(F4)	リー名」が表示されます。
DNO	展開定義に定義されたDNOを設定します。
展開 _ 選択(F4)	選択(F4)をクリックすると展開定義の一覧が表示されます。
	選択して [OK] をクリックするとDNOが入力されます。
処理条件判定セル	タスクごとに 実行する/実行しない を制御するためのセルを指定
定義名 選択(F4)	します。
	セルの内容が、「実行する」(true) の時には実行し、「実行しない」
	(false)の時には実行しないで、次のタスクに移ります。
定義有効無効フラグ <sup>選択</sup> <sup>(4)</sup>	このタスク定義の内容を有効か無効かの設定をします。
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角 512 文字)

【次ページに続く】

<sup>【</sup>前ページより続く】
<u>dþy</u>

項目名	内容	
画面名称	タスクタイプ 202.入力画面、203.データ照会画面、204.検索付デー	
	タ照会画面、205.検索付データ照会画面 I を実行した時に表示する画	
	面のタイトル名を入力します。	
	(例)	
	「勤怠管理システム 日付入力画面」 「省略時」	
	© dbS-日村入力両面         図           勤怒管理システム         日村を入力してください。           キャンセル         日村を入力してください。	
	2003年7月4日 💌	
	※日付の右の▼をクリックするとカレンダーが開きます。 <mark>採用</mark> ※日付の右の▼をクリックするとカレンダーが開きます。 <mark>採用</mark>	
セル指定属性	パラメータの設定の仕方を、「直接」、「間接」、「間接アドレス」から	
選択 (F4)	指定します。	
	直接 定義内容をそのまま使用します。	
	間接 定義内容にはセルを指定します。	
	指定セルに格納された内容(値)を使用します。	
	間接アドレス 定義内容にはセルを指定します。	
	指定セルにはさらにセル(アドレス)を指定します。	
	そのアドレスが示すセルに格納された内容(値)を	
	使用します。	
	(詳細は『タスクリファレンスマニュアル「2.7 セルのアドレス指定	
	について」』を参照してください。)	
汎用パラメータ1~20	タスクタイプによって、必要な設定項目が変わってきます。	
選択 (F4)	※『第2章 タスクタイプ(属性別)』を参照してください。	
開始判定セル	条件判定をおこなうためのセルを設定します。	
定義名 選択(F4)	タスクタイプが、317.条件判定分岐、318.メッセージ表示、406.	
	印刷の時に使用します。	
	開始判定セルの値は O~10 の値に変化するように設定する必要があ	
	ります。	
	※ タスクタイプ317.条件判定分岐についての詳細は、『開発版テク	
	ニカルマニュアル「2.1.6 タスクタイプ別の処理 ④条件判定分岐を	
	持つタスクタイプ」』を参照してください。	
処理対象セル範囲	タスク処理の対象となるセル範囲を設定します。	
定義名 遵訳(F4)	タスクタイプ 405.一括入出力、411.クリア、412.セル保護、418.	
	並べ替えで使用します。	

<sup>【</sup>前ページより続く】

<sup>【</sup>前ページより続く】

項目名	内容	
空白文字処理方法	データの前後の空白文字の処理方法を指定します。	
選択 (F4)	空白 何もしません。	
	左削除(LTRIM) データの前の部分を処理します。	
	右削除(RTRIM) データの後の部分を処理します。	
	左右削除(TRIM) データの前後の部分を処理します。	
ジャンプ先セル	ジャンプ先のセルを設定します。	
定義名 	タスクタイプ 403.シート切替、419.ジャンプで使用します。	
	タスク実行時に、指定したセルにジャンプします。	
TASKJUMPNO1	他のタスクをサブルーチンとして実行することができます。	
~10	タスクタイプ317.条件判定分岐、320.サブタスク実行、406.印刷(直	
定義名 	接印刷)で使用します。	
開始時メッセージセル	タスクの開始時にメッセージを表示することができます。	
定義名 ] 遺訳(F4)	メッセージを入力したセルを指定します。	
	※「開始時メッセージセル」と「開始時メッセージ」の両方に指定さ	
	れている場合には、「開始時メッセージセル」を優先します。	
開始時メッセージ	タスクの開始時にメッセージを表示することができます。	
	メッセージを直接入力します。	
	(例)	
	1     開始時メッセージセル       2     開始時メッセージ	
	■ dbSheetClient (陳認) 🔣	
	登録してよいですか? [はい]を選択すると処理を開始します。	
正常終了時メッセージセ	タスクを正常に終了した時にメッセージを表示することができます。	
Л	メッセージを入力したセルを指定します。	
定義名 遵択(F4)	※「正常終了時メッセージセル」と「正常終了時メッセージ」の両方	
	に指定されている場合には、「正常終了時メッセージセル」を優先しま	
	ਰੁੱ.	
正常終了時メッセージ	タスクを正常に終了した時にメッセージを表示することができます。	
	メッセージを直接入力します。	
	扬山	
	3 正常終了時メッセージセル	
	4   止常終了時メッセージ   正常に登録できました。	
	■ dbSheetClient ( X	

<u>dþy</u>

項目名		内容
エラー判定セル	エラーが発生した時にき	ソステムが標準出力するメッセージを格納する
定義名 選択(F4)	ための Excel シートのセルを指定します。	
	◆ 注意事項	
	①エラー内容をもとにし	って、開発者がその後のエラー処理を設定する
	必要があります。	
	②保護していないシー	~を指定してください。
	詳細は、『2.5 エラー処	理について』を参照してください。
エラー発生時の処理指定	エラーが発生した時に、	その後の処理をどのようにするかを設定しま
選択 (F4)	す。	
	中断	処理を中断します。
	継続	継続して処理を実行します。
	エラータスク実行	エラータスクを実行後に、処理を中断します。
	エラータスク実行継続	エラータスクを実行後に、継続して処理を実
		行します。
エラーメッセージセル	タスクのエラー発生時に	こメッセージを表示することができます。
定義名 選択(F4)	メッセージを入力したも	2ルを指定します。
	※「エラーメッセージセル」と「エラーメッセージ」の両方に指定さ	
	れている場合には、「エ	ラーメッセージセル」を優先します。
エラーメッセージ	タスクのエラー発生時にメッセージを表示することができます。	
	メッセージを直接入力します。	
	例	
	7 エラーメッセージセル 8 エラーメッセージ エラーが発生しました。	
	■ dbSheetClient (確認) 🛛 🔀	
	1 エラーが発生しました。	
	ОК	
エラー処理TASKNO	エラーが発生した時に家	≷行させるタスク NO を設定します。
52.5 選択(F4)		

<sup>【</sup>前ページより続く】

dby

タイトル		内容
キャンセルエラー有無	キャンセルメッセージを表示させたい時は、「有り」を設定します。	
選択 (F4)	「有り」の場合、[キャンセル]をクリックした時、「キャンセルメッ	
	セージセル」または「キャン	セルメッセージ」で設定されているキャ
	ンセルメッセージを表示しま	す。
	詳細は、『2.6 キャンセル処	理について』を参照してください。
キャンセルメッセージセ	キャンセルのメッセージを表	示することができます。
ル	メッセージを入力したセルを	指定します。
定義名 [選択(F4)	※「キャンセルメッセージセ	2ル」と「キャンセルメッセージ」の両方
	に指定されている場合には、	「キャンセルメッセージセル」を優先しま
	ज.	
キャンセルメッセージ	キャンセルのメッセージを表示することができます。	
	メッセージを直接入力します。	
キャンセル発生時の処理	キャンセルが発生した時に、	その後の処理をどのようにするかを設定
指定	します。	
選択 (F4)	中断	処理を中断します。
	継続	継続して処理を実行します。
	キャンセルタスク実行	キャンセルタスクを実行後に、処理を中
		断します。
	キャンセルタスク実行継続	キャンセルタスクを実行後に、継続して
		処理を実行します。
キャンセル処理TASK	キャンセルが発生した時に実行させるタスク NO を設定します。	
NO		
タフク 選択(F4)		

黄色 の項目は、全タスクタイプの共通項目です。それ以外は、第2章のタスクタイプ別の記載内容を参照してください。

<sup>【</sup>前ページより続く】

タスクタイプは、タスク定義の設定行の機能を決定付けます。

タスクタイプの機能別分類表

dby

DBアクセス	ファイル操作	その他の機能
201 SQL	322 ファイルアップロード	301 起動モード
203 データ照会画面	323 ファイルダウンロード	321 ログ情報書込
204 検索付データ照会画面	324 ファイル属性取得	325 メール送信
205 検索付データ照会画面 I	340 ファイル選択ダイアログ	330 画像 PDF 表示
223 トランザクション	341 サーバフォルダ削除	501 外部アプリ起動
224 SQL-括照会	342 ファイル操作	502 クリップボード操作
230 集計表自動作成		503 マクロ起動
		504 外部 DLL 呼び出し
		601 データ保守実行
処理順制御	Excel 制御	
302 メニュー制御	202 入力画面	415 行表示
303 終了処理	319 スクリーン制御	416 列表示
304 ハイパー実行制御	401 直接展開	417 自動計算
310 メインボタン表示	402 ピボットテーブル	418 並べ替え
311 サブボタン表示	403 シート切替	419 ジャンプ
315 ループ処理	404 保存	420 セル位置取得
317 条件判定分岐	405 一括入出力	421 範囲取得
318 メッセージ表示	406 印刷	422 図の挿入
320 サブタスク実行	407 ブック制御	423 図のクリア
	408 位置合わせ印刷	424 行列挿入
	409 シートコピー	425 チェックボックス設定
	410 ⊐ピー	426 ハイパータスク設定
	411 クリア	427 イメージ保存
	412 セル保護	429 イメージクリア
	413 シート保護	430 Excel コマンド
	414 行列指定	
イベント処理		
701 タイマー処理		

タスクタイプの概要は、次の通りです。

DBアクセス

dby

タスクタイプ	タスクタイプの概要説明
201 SQL	<ol> <li>データベース・データを読取り、Excel シートに表示します。</li> <li>Excel シート・データを元に、データベース・データを更新、追加、 削除します。</li> </ol>
203 データ照会画面	<ul> <li>・データベース・データを小型の画面(ウィンドウ)に表示します。</li> <li>その中からオペレータが1件のデータ(レコード)を選択します。</li> <li>それを Excel シートに表示します。</li> </ul>
204 検索付データ照会 画面 DB ⇔ □□□ ⇔ 図	<ul> <li>データベース・データを小型の画面(ウィンドウ)に表示します。</li> <li>その中からオペレータが複数件のデータ(レコード)を選択します。</li> <li>それを Excel シートに表示します。</li> </ul>
205 検索付データ照会 画面 I DB ⇔ デ ⇔ 図	<ul> <li>・データベース・データを小型の画面(ウィンドウ)に表示します。</li> <li>その中からオペレータが複数件のデータ(レコード)を選択します。</li> <li>それを Excel シートに表示します。</li> </ul>
223 トランザクション	<ol> <li>トランザクション処理の開始をします。</li> <li>トランザクション処理のコミット(更新完了)をします。</li> <li>※トランザクション処理開始後、エラーになると、</li> <li>ロールバックします(開始時の状態に戻します)。</li> </ol>
224 SQL-括照会 DB 🔿 💽	データベース・データを読取り、Excel シートに表示する複数の処 理に対して、一回の処理として実施し、高速に処理します。 1. SQLー括照会処理の開始をします。 2. SQLー括照会処理の終了をします。
230 集計表自動作成	・データベース・データの集計結果を、Excel シートに表示します。 ※集計表の元になるデータを読込むSQL文を設定し、そのデータを自動 的にカウントし、集計結果をシートに表示する。

フ ノ探们

タスクタイプ	タスクタイプの概要説明
322 ファイルアップ □-ド □	<ul> <li>ファイルをクライアントからサーバに転送(コピー)します。</li> <li>※アップロード先は、クライアントでも可能です。</li> </ul>
323 ファイルダウン □-ド □→ □	<ul> <li>ファイルをサーバからクライアントに転送(コピー)します。</li> <li>※ダウンロードするファイルは、クライアントにあっても可能です。</li> </ul>
324 ファイル属性取得	<ul> <li>クライアント及びサーバのファイル情報を取得します。</li> <li>取得ファイル情報:フォルダ名、ファイル名、ファイルサイズ</li> <li>作成日時、更新日時、最終アクセス日時</li> </ul>
340 ファイル選択 ダイアログ	<ul> <li>クライアントのファイルを選択するためのダイアログを表示します。</li> <li>選択すると、選択ファイル名、フォルダ名をシートにセットします。</li> </ul>

d

	2/1	サーバフォルダ	・ クライアント及びサーバのフォルダマはファイルの削除をします	
	54	削除		
	342	ファイル操作	次のファイル操作ができます。	
	042		・ファイルコピー ・ファイル移動 ・ファイル削除	
		HDD		
			※クライアフト/ リーハ间のコピー、移動はてきません。	
処	理順制行	卸		
	タスク	タイプ	タスクタイプの概要説明	
	302	メニュー制御	1. タスク定義によってメニューをクリックしたように、そのメニュー定	
			義のシートとボタンに切り替えます。	
			2 メニュー(エリア)の表示/非表示を切替えます。	
	202	終了加理 しんしょう しょうしょう ひょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう ひょうしょう しょうしょう ひょうしょう ひょう ひょうしょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひ		
	303	於」処理	1. ノイーレーシート・クライアクトを終」しより。 2. ログノン画面(ゴロジェクトの際担)まで豆のます	
	004			
	304	ハイハー実行制御	・ ハイハーダスク実行を有効にするか無効にするか、を指定します。	
	310	メインボタン表示	1. 通常のボタン(メインボタン)を無効 又は 非表示(使用不可)にし、	
			それを有効(使用可)に戻せます。	
			2. 別のボタン(セット)に切り替えができます。	
	311	サブボタン表示	<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	
			(使用不可)に戻します。	
	315	ループ処理	<ul> <li>・ 幾つかのタスクタイプをブロック化し、それを繰り返し実行します</li> </ul>	
	010		風り返し形能け、次の涌りです。 鍋り返し形能け、次の涌りです。	
	11	ープ開始		
	61			
	料	収し処理	For(·····) While(終了余件) do	
	Л	ープ終了		
	_	$\diamond$	while(終了条件)	
	317	冬佐判定分岐	・ セルの値:n (1~10) に関連付けたタフクを実行します	
	017			
	*		とかの値がと口ならは、何じしなどか。	
		930	いずれの場合して、次のタスクを美行しより。	
	210	✓ メッセージまテ	1 わりの店:(1,10)に関連付けたメッセンジをまこし 加速を中断	
	010	<b>ハッヒーン衣小</b>	1. ビルの週・IIII1~IUIに因注りリルスツビーンで衣小U、処理を中断 」 キオ	
	🗖 dbShe	eetClient ( 🔀		
	Hello,W	lorld	セルの恒かセロならは、次のタスクか美行します。	
		ОК	2.決まったメッセージを表示して、次のタスクを実行します。	
	_		(図は、省略)	
	320	サブタスク実行	・ 時に作成してあるタフクを順次 宇行します	
	020			
	サブタス			
	行			
	V	<b>x</b> , j imate	\[         \]     \[	
	403	シート切替	<ul> <li>シートとボタンセットを切り替えます。</li> </ul>	
			カーソルの位置も設定できます。	
			※シートの切り替えのみを機能させることも可能です。	
	シー	ト シート		
	А	В		

# Excel 制御

di X

タスクタイプ	タスクタイプの概要説明
202 入力画面	・ 小型の画面(ウィンドウ)を表示し、それにデータを入力します。
	ボタンクリックにより、その入力データをセルに設定(出力)します。
	※日付の場合、カレンダーの日付のクリックで日付入力ができます。
319 スクリーン制御	・ Excel の画面更新を再開 又は 停止をします。
	※dbSheetClient においては、これを制御して画面のちらつきを防止し
	ます。
401 直接展開 展開定義 x 2 401 直接展開 1 x 2	・ セルに、値や数式を設定(セット)します。
402 ピボットテーブル	・ Excel のピボットテーブルの参照データの更新 や ウィザードを開き
日11 (13 へし) 赤上数 高品名 随着 相当者 アールブレイ アッサム ダーブリン 単計 川川利 田中山 0 20 10 50	ます。
世代日本代 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
404 保存	・表示しているシートを Excel ブックとして保存します。
	隠れているシートもまとめて保存できます。
405 一括入出力	1. CSV(TSV)ファイルを指定したシートのセル位置に読込みます。
	2. 指定したシートのセル範囲のデータを CSV (TSV) ファイルとして出
	力します。
	※CSVは、カンマ区切り、TSVは、タブ区切りの意味です。
406 印刷	・ 表示しているシートを印刷します。
	※隠れているシートを指定して、印刷できます。
408 位置合わせ印刷	・ 表示しているシートを印刷します。
	※隠れているシートを指定して、印刷できます。
409 シートコピー	<ul> <li>・ (ブック定義に登録している)メインブックと(タスクタイプ:ブッ</li> </ul>
メイン         参照用           ブック         ブック	ク制御で定義している)参照用ブックの間でシートコピーができます。
410 ⊐ピー	・ シート上の1つのセル又は矩形のセル範囲を、別のセル位置にコピー
A B C A B C	します。
$\begin{array}{c} 1 \\ 2 \\ \end{array}$	コピー内容:全部、数式、値、書式、入力規則、コメント、・・・・
	※空白セルを無視したコピー、行列を入れ替えるコピーが可能です。
411 クリア	・ シート上の1つのセル又は矩形のセル範囲 等を、クリア(消去)し
	ます。
2 × 2	クリア内容:全部、書式、数式と値、コメント
412 セル保護	・ 「シートの保護」をしているシート上の1つのセル又は矩形の
A B C         1         2         入力可	セル範囲 等のセルの保護 又は セルの保護の解除 をします。
413 シート保護	・ 特定のシートの保護 又は シートの保護の解除をします。
A     B     C       1     1       2     2       保護解除     保護	

# 【前ページより続く】

d de la companya de l

タスクタイプ	タスクタイプの概要説明
A B C       A B C         1       1         2       2	<ul> <li>特定行(行の範囲)の行の高さを設定します。</li> <li>特定列(列の範囲)の列幅を設定します。</li> </ul>
415 行表示 A B C 2 3	・ 特定行(行番号の範囲)を非表示 又は 再表示します。
416 列表示 A B D 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	・ 特定列(列番号の範囲)を非表示 又は 再表示します。
417 自動計算	<ul> <li>Excel の自動計算を制御します。</li> <li>(ツール ⇒ オプション ⇒ 計算方法:自動)</li> <li>※dbSheetClient においては、これを制御して処理スピードの低下を防止します。</li> </ul>
418 並べ替え 1 2 A A 2 3 B 3 1 C A B C 1 1 C 2 2 A 3 3 B	・ Excel の並べ替えが使用できます。
419 ジャンプ X Y Z 7 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	<ul> <li>特定のセルをアクティブセル(カーソル位置)にします。</li> <li>※シートの表示させたい位置にスクロールします。</li> </ul>
<b>420 セル位置取得</b> 4 5 6 D E F 7 シート:Z、行:7、列:5	<ul> <li>・ 選択している(アクティブ)セルのセル情報(シート名、行番号、列番号)を指定したセルに設定(出力)します。</li> <li>アクティブセルが範囲選択の場合、左上のセル情報が適用します。</li> </ul>
<b>421 範囲取得</b> 3 4 5 C D E 明始(行:3、列:3) 終了(行:4、列:5)	<ul> <li>・ 選択している(アクティブ)セルが範囲指定の場合、左上セルと右下 セルの下記の情報を、指定したセルに設定(出力)します。</li> <li>・シート名</li> <li>・セルアドレス</li> <li>・行番号</li> <li>・列番号</li> </ul>
422 図の挿入 A B C 1 2	・サーバ 又は クライアントにある画像ファイルを Excel のセルに挿入 します。
423 図のクリア A B C 1 愛 こ こ 1 2	・ セルに挿入された画像をクリア(消去)します。
424 行列挿入 A B C 1 a b c 2 1 2 3	・ 行の挿入、列の挿入、セル範囲の挿入をします
425 チェックボックス A B C 1 □ TRUE 2 □ FALSE	<ul> <li>・シート上にチェックボックスを配置し、リンクするセルを設定します。</li> <li>※チェックボックスの操作により、リンクするセルに True、False が設定(出力)され利用できます。</li> </ul>
426 ハイパータスク A B C 1 GO 2 GO 3 GO	<ul> <li>セル 又は ボタン (額縁のオートシェイプ) にハイパーリンクを設定し、指定したボタンクリックと同等の機能を持たすことができます。</li> </ul>

<u>dþy</u>

タスクタイプ	タスクタイプの概要説明
427 イメージ保存 1 A B C 2 ☆	・ 指定したセル範囲のイメージを画像ファイルとして出力します。
429 イメージクリア ▲ B C 2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	<ul> <li>・ 手動で描画したイメージ(オブジェクト:図やクリップアート、オートシェイプ、コントロール、ワードアート等)をクリアします。</li> <li>・ 422.図の挿入、425.チェックボックス設定、426.ハイパータスク実行設定で挿入した図をクリアします。</li> </ul>
430 Excel コマンド	<ul> <li>Excelのメニューで提供される標準機能を呼び出してダイアログ画面を表示したり、機能を実行したりします。</li> <li>1 複数指定: 他のタスクタイプ属性によって提供される機能を、複数まとめて指定するための機能です。</li> </ul>

その他の機能

タスクタイプ	タスクタイプの概要説明
301 起動モード 321 ログ情報書込 1 LOG 2 メッセージ → □ LOG	<ul> <li>・ プロジェクト全体に関わる下記の設定ができます。(一部機能を掲載)</li> <li>a 起動時の画面[最大化]</li> <li>b ボタンエリアを非表示</li> <li>c 「採用」ボタンの文字変更([検索付]データ照会画面、入力画面)</li> <li>・ 操作内容をシート上のセルに設定し、それをログ情報として、サーバに書込みます。</li> </ul>
525 メール送信 1 MAIL 2 メッセージ □ □ □ □ □ □ □ □	・ メール内容(件名、本文、宛先 等)を Excel シートに設定し、それ をメール送信します。
330 画像 PDF 表示 ■	<ul> <li>PDF ファイル、画像ファイル、ホームページを表示します。</li> <li>シート表示部分の一部のエリア 又は 別ウィンドウに表示します。</li> </ul>
501 外部アプリ起動	<ul> <li>クライアント 又は サーバのプログラムを起動します。</li> <li>関連付けられたファイルを指定して、それを開くことができます。</li> </ul>
502 クリップボード 操作	<ul> <li>セル範囲の値をクリップボードにコピーし、それを別のセルへの貼り 付けが可能です。</li> </ul>
503 マクロ起動	・ Excel ブックに定義されているマクロの起動が可能です。
504 外部 DLL 呼び出し	<ul> <li>クライアント内の DLL の呼び出しが可能です。</li> </ul>
601 データ保守実行	<ul> <li>「データ保守定義」で定義した「データ保守」を起動できます。</li> <li>その画面はシートエリアの一部に表示します。</li> </ul>

<sup>【</sup>前ページより続く】

イベント処理

di X

タスクタイプ	タスクタイプの概要説明
701 タイマー処理	<ul> <li>タイマー処理(一定の時間間隔で処理を繰り返す)で、Excelの再計 算実行、指定した TASKNOのタスクの実行ができます。</li> <li>※タイマー処理の開始日時、終了日時が設定でき、時間間隔は、1秒以上の設定ができます。</li> </ul>

タスク開始時に表示するメッセージを指定します。

### ■ 画面イメージ

	タスク定義編集画面の範囲			
	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
x	開始メッセージセル			
У	開始メッセージ			

タスク定義の縦型編集画面で設定する行は、タスクタイプにより異なります。

# ■ 機能

タスクの実行確認メッセージを表示する「確認のダイアログ画面」を表示します。
 省略時は表示しません。



2 開始メッセージのダイアログ画面を表示のした時、アクティブにするボタンの指定が可能です。
 メッセージの後に "|" (バーティカルバー、縦棒)と「YES」または、「NO」を付加します。
 (例)

アクティブボタン	設定したメッセージ	ダイアログ画面
「はい(Y)」	"更新処理をしますか? YES" (省略した場合も同様)	dbSheetClient (確認)          2       更新処理をしますか?         はい(*)       いいえ(*)
「いいえ(N)」	"更新処理をしますか?INO"	dbSheetClient (確認)          2       更新処理をしますか?         はい(火)       いいえ(い)

- ③ ボタンをクリックした時のタスクの動作を制御します。
  - 「はい(Y)」ボタンの場合は、設定行とそれ以降のタスクは実行します。
  - 「いいえ(N)」ボタンの場合は、設定行とそれ以降のタスクをキャンセルします。
     キャンセル時の指定がある場合は、キャンセル処理を実行します。
     (詳しくは、『2.6 キャンセル処理について』を参照してください。)

# 使用上の注意

- 「開始メッセージセル」に指定できるセルは、直接指定のセルのみです。
   (セルの指定については、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。)
- ② 「開始メッセージセル」と「開始メッセージ」を指定した場合は、「開始メッセージセル」が優先されます。
- ③ 連続するタスクの途中で開始メッセージを指定した場合、実行時に「いいえ(N)」を選択しても、設定行以前に実行したタスクは、キャンセルされません。キャンセルする場合は、キャンセル時に実行するタスクを指定してください。

(キャンセルについては、『2.6 キャンセル処理について』を参照してください。)

# ■ 補足

① 「開始メッセージセル」は、状況によりメッセージの内容を変更する場合に指定します。

タスク正常終了時に表示するメッセージを指定します。

### ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
х	正常終了時メッセージセル			
v	正常終了時メッセージ			

タスク定義の縦型編集画面で設定する行は、タスクタイプにより異なります。

#### ■ 機能

 タスクが正常終了した確認メッセージを表示する「確認のダイアログ画面」を表示します。省略時 は表示しません。

🗖 dbSheetClient ( 🔀
更新処理が完了しました。
OK

② 「OK」ボタンをクリックすると、ダイアログ画面を閉じます。

# ■ 使用上の注意

- ① 「正常終了時メッセージセル」に指定できるセルは、直接指定のセルのみです。
- ② 「正常終了時メッセージセル」と「正常終了時メッセージ」を指定した場合は、「正常終了時メッセージセル」が優先されます。

#### ■ 補足

② 「正常終了時メッセージセル」は、状況によりメッセージの内容を変更する場合に指定します。

タスク実行時にエラーが発生した場合の処理を定義します。

# ■ 画面イメージ

	タスク定義編集画面の範囲			
	А	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容
v	エラー判定セル			
w	エラー発生時の処理指定			
х	エラーメッセージセル			
У	エラーメッセージ			
7	エラー処理TASKNO			

タスク定義の縦型編集画面で設定する行は、タスクタイプにより異なります。

#### ■ 機能

- 「エラー判定セル」が未指定の場合は、システム共通のエラーメッセージを表示し処理を中断します。
- ② 「エラー判定セル」とエラーメッセージの指定がある場合は、指定のメッセージを表示し、エラー メッセージの指定がない場合はシステム共通のエラーメッセージを表示します。 メッセージ表示後、「エラー発生時の処理指定」に応じた処理を実行します。
- ③ 「エラー発生時の処理指定」と実行される処理

エラー発生時の処理指定	設定したメッセージ
中断	処理を中断するため、設定行以降の処理を実行しません。
継続	設定行の処理をスキップし、次行のタスクから処理を継続実行しま
	す。
エラータスク実行	設定行の処理をスキップし、指定タスクの処理を実行しますが、次行
	以降のタスクは処理を行いません。
エラータスク実行継続	設定行の処理をスキップし、指定タスクの処理を実行します。その後、
	次行のタスクから処理を継続実行します。

### ■ 使用上の注意

- ① 「エラーメッセージセル」に指定できるセルは、直接指定のセルのみです。
- 「エラーメッセージセル」と「エラーメッセージ」を指定した場合は、「エラーメッセージセル」が 優先されます。
- ③ 「エラー判定セル」は、保護シートを指定してください。

# ■ 補足

- ① 「エラーメッセージセル」は、状況によりメッセージの内容を変更する場合に指定します。
- ② エラー処理 TASKNO は、作成済みのタスクを指定します。

開始メッセージの選択で"いいえ(N)"を選択した場合など、タスクがキャンセルされた時の処理を定義します。

#### ■ 画面イメージ

	タスク定義編集画面の範囲			
	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
v	キャンセルエラー有無			
w	キャンセルメッセージセル			
х	キャンセルメッセージ			
У	キャンセル発生時の処理指定			
z	キャンセル処理TASKNO			

タスク定義の縦型編集画面で設定する行は、タスクタイプにより異なります。

# ■ 機能

- 「キャンセルメッセージ有無」が"空白"でキャンセルメッセージを指定している場合は、そのメ ッセージを表示します。その後は、「キャンセル発生時の処理指定」に応じた処理を実行します。
- ② 「キャンセルメッセージ有無」が"無し"の場合は、キャンセルメッセージを表示しません。その
   後は、「キャンセル発生時の処理指定」に応じた処理を実行します。
- ③ 「キャンセルメッセージ有無」が"有り"でキャンセルメッセージを指定している場合は、そのメ ッセージを表示し、キャンセルメッセージを指定していない場合は、システム共通のキャンセルメ ッセージを表示します。その後は、「キャンセル発生時の処理指定」に応じた処理を実行します。

キャンセル発生時の処理指定	設定したメッセージ			
(省略)	処理を中断するため、設定行以降の処理を実行しません。			
中断	処理を中断するため、設定行以降の処理を実行しません。			
継続	設定行の処理をスキップし、次行のタスクから処理を継続実行しま			
	す。			
キャンセルタスク実行	設定行の処理をスキップし、指定タスクの処理を実行しますが、次行			
	以降のタスクは処理を行いません。			
キャンセルタスク実行継続	設定行の処理をスキップし、指定タスクの処理を実行します。その後、			
	次行のタスクから処理を継続実行します。			

④ 「エラー発生時の処理指定」と実行される処理

# ■ 使用上の注意

- 「キャンセルメッセージセル」に指定できるセルは、直接指定のセルのみです。
- 「キャンセルメッセージセル」と「キャンセルメッセージ」を指定した場合は、「キャンセルメッセージセル」が優先されます。

# 補足

dby

- ① 「エラーメッセージセル」は、状況によりメッセージの内容を変更する場合に指定します。
- ② キャンセル処理 TASKNO は、作成済みのタスクを指定します。
- ③ キャンセルが有効になるタスクタイプ

タスクタイプ	キャンセルを有効にするためのタスク定義と操作
タスクタイプ共通	タスク定義の開始メッセージを指定した場合、実行時に「いいえ(N)」
	をクリック。
202:入力画面	特に指定なし。実行時に「キャンセル」をクリック。
203:データ照会画面	特に指定なし。実行時に「キャンセル」をクリック。
204:検索付データ照会画面	特に指定なし。実行時に「キャンセル」をクリック。
205:検索付データ照会画面 I	特に指定なし。実行時に「キャンセル」をクリック。
315:ループ処理	「タスクタイプ属性:ループ開始位置」 の汎用パラメータ 13(処理制
	御画面)を"表示する"に指定。処理制御画面表示中に「中止する」を
	クリック。
322:ファイルアップロード	汎用パラメータ 1(元・ファイル名)を空白、または汎用パラメータ
	2(元・ダイアログ表示)を"有り"に指定。ファイル選択ダイアログ
	表示中に「キャンセル」をクリック。
	汎用パラメータ 5(上書き確認)を "確認" に指定。上書き確認ダイア
	ログ表示中に「いいえ(N)」をクリック。
323:ファイルダウンロード	汎用パラメータ 1(元・ファイル名)を空白、または汎用パラメータ
	2(元・ダイアログ表示)を"有り"に指定。ファイル選択ダイアログ
	表示中に「キャンセル」をクリック。
	汎用パラメータ 4(先・ダイアログ表示)を"有り"に指定。ファイル
	選択ダイアログ表示中に「キャンセル」をクリック。保存先指定の選
	択ダイアログ表示中に「キャンセル」をクリック。
	汎用パラメータ 5(上書き確認)を "確認" に指定。上書き確認ダイア
	ログ表示中に「いいえ(N)」をクリック。
324:ファイル属性取得	汎用パラメータ1(ファイル名)を空白、または汎用パラメータ2(ダイ
	アログ表示)を"有り"に指定。ファイル選択ダイアログ表示中に「キ
	ャンセル」をクリック。
340:ファイル選択ダイアログ	特に指定なし。ファイル選択ダイアログ表示中に「キャンセル」をク
	リック。
341:サーバフォルダ削除	汎用パラメータ 5(削除確認)を "確認" に指定。 削除確認メッセージ
	ダイアログで「いいえ」をクリック
342:ファイル操作	汎用パラメータ 2(ダイアログ表示)を"有り"に指定。ファイル(フ
	ォルダ)選択ダイアログ表示中に「キャンセル」をクリック。
	汎用パラメータ 9(強制実行確認)を "確認" に指定。確認ダイアログ
	表示中に「いいえ(N)」をクリック。

<u>dþy</u>

# dbSheetClient

【前ページより続く】

タスクタイプ	キャンセルを有効にするためのタスク定義と操作			
404:保存	汎用パラメータ 2(ダイアログ表示)を"有り"に指定。ファイル選択			
	ダイアログ表示中に「キャンセル」をクリック。			
	汎用パラメータ 12(上書き確認)を"確認"に指定。上書き確認			
	アログ表示中に「いいえ(N)」をクリック。			
405:一括入出力	汎用パラメータ 1 (ファイル名)を空白、または汎用パラメータ 2(ダイ			
	アログ表示)を"有り"に指定。ファイル(フォルダ)選択ダイアログ			
	表示中に「キャンセル」をクリック。			
	汎用パラメータ 13(上書き確認)を "確認" に指定。上書き確認ダイ			
	アログ表示中に「いいえ(N)」をクリック。			
406:印刷	タスクタイプ属性を"ダイアログ"に指定。印刷ダイアログ表示ロ			
	「キャンセル」をクリック			
407:ブック制御	タスクタイプ属性を "参照用オープン" または "サブ処理用オープン"			
	に指定。汎用パラメータ 1(ブックファイル名)を空白、または汎用パ			
	ラメータ 2(ダイアログ表示)を"有り"に指定。ファイル(フォルダ)			
	選択ダイアログ表示中に「キャンセル」をクリック。			
408:位置合わせ印刷	タスクタイプ属性を"ダイアログ"に指定。印刷ダイアログ表示中に			
	「キャンセル」をクリック			

タスク定義の汎用パラメータや展開定義で、値の指定方法は3種類あります。その指定方法の違いについて説明します。

# ■ セル指定属性

定義シート内に値を設定する方式を直接指定と言います。また、Excel シート内に値を設定し、定義シ ートはそのセル位置を設定する方式を間接指定と言います。そして、Excel シートのセルの示すセル位置 に値を設定し、定義シートは最初のセル位置を設定する方式を間接アドレス指定と言います。これらは「セ ル指定属性」でその方式を選択します。

セル指定属性	意味
直接	直接指定方式(定義シート内に値を設定する方式)
間接	間接指定方式(Excel シート内に値を設定する方式)
間接アドレス	間接アドレス方式(Excel シートのセルの指し示すセル位置に値を設定する方式)

# ■ セル位置の指定の仕方

Excel シート内のアドレスのことをセル位置と言います。そのセル位置を表す記入方法についてまとめました。

記入例	意味
A1、	Excel 標準の A1 形式によるセル位置(絶対アドレス指定:\$A\$1、
A3:D4、	\$A\$3:\$D\$4)、ただしシート名を指定する場合は、シート名+"!"(びっ
Sheet1!A1	くりマーク)+セルアドレスを記入します。
	A B 1 2
R1C1	R1C1 形式:行と列を数値で記入します(絶対アドレス指定:\$R\$1\$C\$1)
R1C1:R4C3	1 2 1 2
@メッセージ 1	Excel内に登録した名前定義を使用(名前定義で"A1"を"メッセージ1"
または、	という別名を登録している)
メッセージ 1	メッセージ1     ・     <

# | 補足

- 「セル指定属性」のある「タスク定義シート」の汎用パラメータや「展開定義シート」のセル範囲 以外で、セル位置を指定する場合は直接指定となります。
- ② "@"(アットマーク)が付いている場合は、名前定義と判断します。

# 使用例

タスクタイプ「メッセージ表示」とタスクタイプ「クリア」を例に、値を指定する場合とセル位置を指定 する場合の使用例です。

#### 【直接指定方式】

(タスク定義) (展開定義)										
タスク定義編集画面の範囲								展開定義編集画面の範囲		
	А	В	С	D			А	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容		1	タイトル	サプ	*	内容
14	セル指定属性			直接		10	シート名			得意先マスタ
15	汎用パラメータ1	表示メッセージ		Hello, world!	1	14	セル指定属性			直接
						15	セル範囲			A2

(タスク定義): 汎用パラメータ1の内容をメッセージ表示ダイアログに表示します。

(展開定義):展開定義のセル範囲に指定したセル("A2")がクリアされます。シート名で指定したシ ートが対象となります。ただし、名前定義の場合は、名前定義の内容に従います。

#### 【間接方式】

(タスク定義)

(展開定義)

	タスク定義編集画面の範囲						展開定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D		A	В	C	D
1	タイトル	サプ	*	内容	1	タイトル	サプ	*	内容
9	ブック名		*	Samplexis	10	シート名			得意先マスタ
10	シート名			メッセージ表示	14	セル指定属性			間接
14	セル指定属性			間接	15	セル範囲			B2
15	汎用パラメータ1	表示メッセージ		B1					
								Т	
	A	В				A	В		
1		Hello, world!			1				
2					2		A1		
3					3				
4					4				
5					5				

(タスク定義)汎用パラメータ1で指定したセル("B1")の値をメッセージ表示ダイアログに表示しま す。シート名で指定したシートが対象となります。ただし、名前定義の場合は、名前定義 の内容に従います。

(展開定義)展開定義のセル範囲に指定したセル("B2")の値に対応するセル("A1"「赤枠」)がクリ アされます。シート名で指定したシートが対象となります。ただし、名前定義の場合は、名 前定義の内容に従います。

#### 【間接アドレス方式】

(?	タスク定義)					(	展開定義)			
		タスク定義編集画面の範囲						展開定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D			A	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容		1	タイトル	サブ	*	内容
9	ブック名		*	Samplexis	1	0	シート名			得意先マスタ
10	シート名			メッセージ表示	1	4	セル指定属性			間接アドレス
14	セル指定属性			間接アドレス	1	5	セル範囲			B3
15	汎用パラメータ1	表示メッセージ		B3						
	A	В					A	В		
1		Hello, world!				1				
2						2				
3		B1				3		B4		
4						4		A181		
5	I					5				

(タスク定義)汎用パラメータ1で指定したセルの値が示すセル("B3")の値に対応するセル("B1") の値がメッセージ表示ダイアログに表示されます。シート名で指定したシートが対象とな ります。ただし、名前定義の場合は、名前定義の内容に従います。

(展開定義)展開定義のセル範囲に指定したセル("B3")の値が示すセル("B4")↑値に対応するセル ("A1:B1"「赤枠」)がクリアされます。シート名で指定したシートが対象となります。た だし、名前定義の場合は、名前定義の内容に従います。 Excel シートにデータを展開する場合、セル内の値の半角空白が含まれている時の処理を指定します。

半角空白文字処理方法とその処理内容は次の通りです。	$(\triangle$	:半角空白〉
---------------------------	--------------	--------

設定値	処理前のデータ	処理後のデータ	説明
{空白}	△△あいうえお△△	△△あいうえお△△	そのままで変更がありません。
左削除(LTRIM)	△△あいうえお△△	あいうえお△△	先頭の半角空白を削除します。
右削除(RTRIM)	△△あいうえお△△	△△あいうえお	末尾の半角空白を削除します。
左右削除(TRIM)	△△あいうえお△△	あいうえお	前後の半角空白を削除します。

#### 空白文字処理が実行されるタスクタイプ

db

タスクタイプ	タスクタイプ属性
SQL	照会
データ照会画面	(なし)
検索付データ照会画面	すべてのタスクタイプ属性
検索付データ照会画面Ⅱ	(なし)
一括入出力	CSV 入力

dbSheetClient では、一連のタスク処理が終了するまで、Excel の「自動計算機能」と「画面更新」を 停止しています。

タスクが終了した時に「自動計算機能」と「画面更新」が行われるようになります。タスク実行時のパフ ォーマンスを良くするためです。



タスク実行後に「自動計算機能」と「画面更新」を実行

### ■ 一連のタスク処理の途中で自動計算する方法

自動計算する方法は、3つあります。

- ① タスクタイプ「417:自動計算」にて自動計算方法を指定する
- ② タスク定義の汎用パラメータで自動計算方法を指定する
   (詳細は、『第2章 タスクタイプ(属性別)』の該当タスクタイプの節を参照してください。)
- ③ 展開定義で、自動計算方法を指定する

# ■ 自動計算のタイミング

ib🏏

自動計算の指定	タスクタイプ属性	タイミング	備考
タスク定義	前再計算、シート前再計算	タスク実行前に再計算	
	後再計算、シート後再計算	タスク実行後に再計算	
	前後再計算	タスク実行の前後に再計算	
展開定義	前再計算、シート前再計算	展開実行前に再計算	タスク処理の
	後再計算、シート後再計算	展開実行後に再計算	展開処理で再
	前後再計算	展開実行の前後に再計算	計算
タスクタイプ「自動計算」	再計算実行	その時点で再計算	
	ON	以降、常に再計算	
	OFF	常に再計算しない	

再計算は、タスクタイプ「自動計算」の「ON/OFF」以外、1度だけ行います。

タスクタイプ「自動計算」の詳細は、『2.100 417:自動計算』を参照してください。

ここでは、タスクタイプに関連した制限事項を提示します。それ以外の制限については、『開発版テクニ カルリファレンスマニュアル「9.1 制限事項」』を参照してください。

# ■ Excel シートに展開できる最大行数/最大列数

Excel シートに展開できる最大行数/最大列数には、次表の制限があります。

	Excel2000-2003	Excel2007
最大行数	65,536 行	1,048,576 行
最大列数	255 列	16,384 列

# ■ その他制限事項

タスクタイプ201の更新時に、項目行の後に、空白行が20行以上入った場合には、エラーが発生することがあります。(Excel 側の制限)

Excel2000 では、URL 指定のブックをメインブックとして利用しているときに、 複数シート表示でエラーが発生する。→制限事項:DBS サーバ指定を利用してください。

404.保存で、ブック全体の保存や、一部保存を行ったときに、シートの保護が解除されるケースがあるます。 原因:タスクの途中では、「保護:有り」の指定で、一度シートの保護を解除すると、タスク終了まで、保護 を解除したままにしているため。

対応:「保護:有り」は使用せずに、413.シート保護 を利用して、404.保存の直前で、保護をかけなおすように指定してください。

Excel2007 以上のバージョンでは、シートコピーは非常に時間がかかります。 シートコピーを30回以上連続的に実行すると、メモリーオーバフローで異常終了する。

# 第2章. タスクタイプ(属性別)

dby

タスク定義は、タスクタイプ及びタスクタイプ属性によって、設定可能な項目が変わります。タスク毎 に定義可能な項目の説明や使用例を記載しています。

# 2.11 201:SQL タスクタイプ属性(照会)

■ 機能

db

- データベースからクエリー定義で指定された SQL 文を実行してデータを取得します。さらに、取得したデータを展開定義で指定された Excel のセル位置に展開します。
- ② 取得したデータ件数を、展開定義で指定された Excel のセル位置に展開します。
- ③ データ展開前に、前回展開した領域の値のみをクリアします。なお、展開定義側の指定でクリアし ない指定も可能です。詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照して ください。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	データ照会		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	201		
6	タスクタイプ名		*	SQL		
7	タスクタイプ属性		*	膈会		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	QNO			6		補足①
12	クエリー名			データ読込		補足①
13	DNO			7		補足(2)
14	処理条件判定セル	実行判定		@データ照会開始判定		
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					
17	汎用バラメータ20	自動計算		シート後再計算	再計算しない	補足③
18	空白文字処理方法			右削除(RTRIM)		

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■ 項目説明			
TASKNO		任意(省略不可) (注~	1、2)
タスク名		自動表示します。(省日	格不可)
処理順 NO		任意(省略不可) 同一久	ヲスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイ	プ NO	" <b>201</b> "を入力します。	。(省略不可)(注1、3)
タスクタイ	プ名	" <b>SQL</b> "は自動表示しま	ちす。 (省略不可)
タスクタイ	プ属性	" <b>照会</b> "を入力します。	(省略不可)
BKNO		タスク実行する Exce	ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用が	定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名		BKNO 設定によりブ	ック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名		タスク実行時に表示す	「るなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)	
QNO		実行する SQL 文が定	義してある QNO を指定します。QNO はクエ
		リー定義にて登録しま	き。(注1、7)
クエリー名		自動表示します。(省日	格不可)
DNO		実行時にExcelに展開	するセル位置が定義してある DNO を指定しま
		す。DNO は展開定義	にて登録します。(注1、8)
処理条件判	定セル	タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
		ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
		セルの値:" <b>True</b> " =	=実行する、" <b>False</b> " =実行しない
定義有効無	効フラグ	タスクを実行させたく	ない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)	
		① 有効	
		② 無効	
コメント欄		開発時のメモ書きや修	逐正記録などに使用します。
汎用パラメ	ータ1	データ展開のないスト	~アドプロシージャのクエリー定義の場合に指
		定します。	
		① (空白)	
		② SELECT 無し	
汎用パラメ	ータ 20	自動計算のタイミング	「を指定します。
		本タスクまたは以降の	タスクで、セルの内容を参照して実行する場合
		に指定します。(注1、	. 6)
		① 前再計算	④ シート前再計算
		② 後再計算	⑤ シート後再計算
		③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
空白文字処	理方法	データの前後にある羊	¥角空白文字を除外する場合の方法を指定しま
		す。(注1、5)	
		① (空白)	③ 右削除(RTRIM)
		② 左削除(LTRIM)	④ 左右削除(TRIM)

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ

ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.8 空白文字処理方法について』を参照してください。
- (注6)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。
- (注7)詳細は、『【クエリー定義リファレンス編】』を参照してください。
- (注8) 詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① Excel シート上にデータを展開するには、必ず展開定義を設定してください。
- ② 一度に取得できるデータサイズは2GBです。
   通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
   秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)
- ③ Excel シートに展開できる最大行数、最大列数については、『2.10 制限事項』を参照してください。
- ④ オートフィルタを設定している領域では、正常にデータ展開(表示)することができません。オートフィルタは解除した状態でデータ展開(表示)してください。
   オートフィルタの解除については、『2.120.430: EXCEL コマンド』を参照してください。
- ⑤ Excelの展開先セルや取得件数のセルに数式がある場合は、上書きされます。

■ 補足

- ① クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ② 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ③ 汎用パラメータ 20(自動計算):自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

④ 汎用パラメータ1(ストアド実行):展開のないストアドプロシージャを実行する場合、処理時間が かかる場合があります。その場合は、"SELECT 無し"を設定します。なお、本パラメータを指定 した場合は、展開データの取得は行いわれません。

# ■ 使用例

「タスクタイプ:SQL(照会)」を実行した結果です。

	商品	<b>ג</b> ק	<i>9</i>			デ 読	ータベース内の「商 込み、Excel シート	品マスタ」テ ・に展開します	ーブルを	
商品コード	商品名	単位	単価	分類	DBS_STATUS	DBS CREATE USER	DBS_CREATE_DATE	DBS UPDATE USER	DBS_UPDATE_DATE	
1	商品1	個	1,250	1	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.82	7
2	商品2	箱	1,350	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.82	7
3	商品3	箱	1,450	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.82	7
4	商品4	箱	1,650	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.82	7
5	商品5	箱	1.750	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.82	7

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義
- 展開定義(展開一覧定義を含みます)
- Excelシート

タスク定義の例

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	T	
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	データ照会		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	201		
6	タスクタイプ名		*	SQL		
7	タスクタイプ属性		*	照会		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		Α
10	シート名			デモシート		
11	QNO			2		В
12	クエリー名			データ読込		
13	DNO			3		
14	処理条件判定セル	実行判定		\$データ照会開始判定		С
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					
17	汎用パラメータ20	自動計算			]	_
18	空白文字処理方法			右削除(RTRIM)		D

A·····・ このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名("Sample.xls")です。

B……… 実行時に表示するシート名を指定します。省略も可能です。

C······ タスクを実行する/実行しない、を制御するためのセルを指定します。セルの値が TRUE の場合は実行し、FALSE の場合は実行しないで次の処理に移ります。

D·····・ 右削除(RTRIM)は下記のようになります。

 $(\triangle: 半角空白文字)$ 元データ:  $\triangle 日本 \triangle \Delta \Rightarrow$ 展開データ:  $\triangle 日本$ 

クエリー定義の例

dby

	クエリー定義編集画面の範囲										
	A B C D										
1	タイトル	サブ	*	内容							
2	クエリー名		*	データ読込							
3	クエリータイプ		*	照会							
4	クエリー属性		*	Query							
5	DBNO		*	1							
6	エイリアス名			SampleDB							
7	テーブル名										
8	BKNO	旧仕様									
9	ブック名	旧仕様									
10	取得データ件数セル	旧仕様									
11	SQL文			SELECT * FROM 商品マスタ							
12	排他制御タイプ										
13	定義有効無効フラグ										
14	コメント欄										

クエリー定義については、『第3章 クエリー定義リファレンス共通事項』、『第4章 クエリータイプ』 を参照してください。

展開定義の例

		展開定義編集画面の	範囲		
	A	В	С	D	
1	タイトル	サブ	*	内容	
2	DNO		*	7	
3	データ展開名			データ照会_展開	
4	処理順NO			1	
5	定義区分			クエリー定義	
6	タイプ			照会	
7	タスク・展開属性			Query	
8	データ項目名				
9	数式OR值				
10	定義有効無効フラグ				
11	コメント欄				
12	シート名			デモシート	
13	セル指定属性				
14	セル範囲			@データ位置	
15	セル展開範囲定義名			@データエリア	
16	シート保護有無				
17	シート保護解除PW				
18	自動計算方法				
19	行列方向	データ行列方向			
20	更新行OR列数指示セル	取得データ件数セル			

A…… 取得データを展開する開始位置のセルを指定します。

B…… 取得データの展開範囲を名前定義する場合に指定します。

展開定義については、『第5章 展開定義リファレンス共通事項』、『第6章 展開定義』を参照してくだ さい。

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



B······ 展開定義のセル展開範囲名、名前定義= "データエリア"

C······ タスクの処理条件判定セル、名前定義="データ照会開始判定"、セルの数式の結果が"True"、 "False"になるようにします。



# 2.12 201:SQL タスクタイプ属性(更新)

■ 機能

db🟏

- ① 表形式で表示された Excel シート上のデータを元に、データベースを更新、追加、削除します。
- ② クエリー定義において、「全データ更新」と「修正データのみ」を選択することで、次のようなデー タ更新を行います。
  - ・全データ更新: Excel シート上の全データをサーバに送信して、データ(レコード)の更新 および追加をします。
  - ・修正データのみ: Excel シート上のデータステータスをもとに修正データのみをサーバに送信して、データ(レコード)の更新、追加および削除をします。
- ③ Excel シート上のデータの範囲は、展開定義の下記の項目で行い、このデータを元にデータベース・ データを更新します。
  - ・データ範囲の左上のセル位置(セル範囲)
  - ・データ件数(更新行 OR 列数指示セル)
- ④ 展開定義でデータ件数の設定をしないと、1件:先頭データ(レコード)のみの更新となります。
- 画面イメージ

	A					
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	2		
3	タスク名		*	データ更新		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	201		
6	タスクタイプ名		*	SQL		
7	タスクタイプ属性		*	更新		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	QNO			8		補足①
12	クエリー名			データ書込		補足①
13	DNO			9		補足②
14	処理条件判定セル	実行判定		@データ更新開始判定		
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					
17	汎用パラメータ20	自動計算		シート後再計算	再計算しない	補足③

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明	
处理順 NO	
タスクタイプ NO	"201"を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	"SQL"は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	" <b>更新</b> "を入力します。 (省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
QNO	実行する SQL 文が定義してある QNO を指定します。QNO はクエ
	リー定義にて登録します。(注1、6)
クエリー名	自動表示します。(省略不可)
DNO	実行時にExcelに展開するセル位置が定義してあるDNOを指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1、7)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
汎用パラメータ 20	
	本タスクまたは以降のタスクで、セルの内容を参照して実行する場合
	に指定します。(注1、5)
	<ol> <li>前再計算</li> <li>シート前再計算</li> </ol>
	<ol> <li>② 後再計算</li> <li>⑤ シート後再計算</li> </ol>
	③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算
(注1)詳細は、『開発版リフ	ァレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ
ート名を使っている気	<b>主義」を参照して下さい。。</b>

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

(注6)詳細は、『【クエリー定義リファレンス編】』を参照してください。 (注7)詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

(注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

68

#### ■ 使用上の注意

- ① Excel シート上のデータ項目は、更新テーブルのフィールドと同一の並びでなければなりません。
- ② Excel シート上のデータを更新データとするために、必ず展開定義を設定してください。
- ③ 一度に更新できるデータサイズは2GBです。
   通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
   秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)

#### ■ 補足

- クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ② 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ③ 汎用パラメータ20(自動計算):自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

# ■ 使用例

db

「タスクタイプ:SQL(更新)」を実行した結果です



#### 定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義
- 展開定義(展開一覧定義を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

		タスク定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D
	タイトル	サブ	*	内容
1	TASKNO		*	2
2	タスク名		*	データ更新
3	処理順NO		*	2
4	タスクタイプNO		*	201
5	タスクタイプ名		*	SQL
6	タスクタイプ属性		*	更新
7	BKNO		*	3
8	ブック名		*	Samplexis —
9	シート名			デモシート
10	GNO			8 —
11	クエリー名			データ書込
12	DNO			9 —
13	処理条件判定セル	実行判定		@データ更新開始判定 ―
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント欄			
16	汎用バラメータ20	自動計算		シート後再計算
17	空白文字処理方法			

A·····・ 使用するブック定義に登録済のブックファイル名("Sample.xls")です。

B·····・・ 使用するクエリー定義の QNO を指定します。

C·····・・ 使用する展開定義の DNO を指定します。

D······ タスクを実行する/実行しない、を制御するためのセルを指定します。セルの値が TRUE の 場合は実行し、FALSE の場合は実行しないで次の処理に移ります。 クエリー定義の例

dby

		クエリー定義編集画面の範囲			
	A	В	С	D	
1	タイトル	サブ	*	内容	
2	クエリー名		*	データ更新	
3	クエリータイプ		*	更新	
4	クエリー属性		*	Query	
5	DBNO		*	1	
6	エイリアス名			SampleDB	
7	テーブル名		*	商品マスタ ―	
8	BKNO				
9	ブック名				
10	SQL文			UPDATE	
11	トランザクション処理				
12	排他制御タイプ				
13	更新処理形態				
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	悲観ロック解除QINO				
17	日付時刻NULL指定	NULL指定		NULL	

A·····・ 更新するテーブル名を設定します。

B ······ タスクタイプ属性が「更新」の場合、UPDATE と設定します。

C·····・ 更新処理形態:未設定ですが「全データ更新」となります。

クエリー定義については、『第3章 クエリー定義リファレンス共通事項』、『第4章 クエリータイプ』 を参照してください。

展開定義の例

	展開定義編集画面の筆	ô囲		
A	В	С	D	
1	サブ	*	内容	
2 DNO		*	9	
<ol> <li>データ展開名</li> </ol>			データ更新_展開	
4 処理順NO			1	
5 定義区分			クエリー定義	
6 <i>9</i> 17			更新	
7 タスク・展開属性			Query —	
<ol> <li>データ項目名</li> </ol>				
9 数式OR值				
10 定義有効無効フラグ				
1 コメント欄				
I <u>2</u> シート名	更新専用シート名		デモシート ―	
13 セル指定属性				
14 セル範囲	データ更新開始位置		@データ位置 ―	
15 セル展開範囲定義名				
16 シート保護有無			有り	
17 シート保護解除PW				
18 自動計算方法				
19 行列方向	データ行列方向			
20 更新行OR列数指示セル			@データ数 ―	

A······ タスクタイプ属性が「更新」の場合、Query と設定します。

B ·····・ 更新データが存在するシート名を設定します。

C ·····・ 更新用シート上のデータ更新開始位置を指定します。

D ·····・ 更新用シート上の「更新行 OR 列数指示セル」を設定します。

省略した場合、データ数:1件として、処理されます。

展開定義については、『第5章 展開定義リファレンス共通事項』、『第6章 展開定義』を参照してくだ さい。 Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



B······ 展開定義のセル範囲、名前定義= "データ位置"

C······ 展開定義の更新行 OR 列数指示セル、名前定義="データ数"

次に、クエリー定義にて「更新処理形態」に"修正データのみ"を指定した場合の例を示します。 タスク定義と展開定義は同一です。

クエリー定義の例

dby

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	クエリー名		*	データ更新	
3	クエリータイプ		*	更新	
4	クエリー属性		*	Query	
5	DBNO		*	1	
6	エイリアス名			SampleDB	
7	テーブル名		*	商品マスタ	
8	BKNO				
9	ブック名				
10	SQL文			UPDATE	
11	トランザクション処理				
12	排他制御タイプ				
13	更新処理形態			修正データのみ ―――	-
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	悲観ロック解除QNO				
17	日付時刻NULL指定	NULL指定		NULL	

A……… 更新処理形態:「修正データのみ」を設定します。

商品⊐一	ド商品名	単位	単価	分類	DBS_STATUS	DBS_CREATE_USER	DBS_CREATE_DATE	DBS_UPDATE_USER	DBS_UPDATE_DATE
	1 商品1	個	1,250	1	1	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827
	2 商品2	箱	1,350	2	(2	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827
	3 商品3	箱	1,450	2	1	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827
	4 商品4	箱	1,650	2	1	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827
	5 商品5	箱	1,750	2	(99	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2009-05-30 16:00:52.827

Excel 更新用シート上のデータがこのようになっている場合、DBS\_STATUS の値が "2"のデータを 更新または追加レコード、"99"のデータを削除レコードと判定し、それらを更新するデータとしてサー バに送信して更新を行います。

(DBS\_STATUS が"1"のレコードは変更なし、としてサーバには送信されません。)


■ 機能

1b)

タスクタイプ属性:更新と類似ですが、次の点が異なります。

Excel シート上のデータ項目は、更新するテーブルのフィールドの一部でかまいません。

シート上に配置する項目は、次の通りです。

- 1 プライマリーキー項目
- 2 更新する項目 及び データベースのテーブル定義で NULL 値不可の項目
- 3 同時実行制御フィールド(5項目)
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3		
3	タスク名		*	データ指定更新		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	201		
6	タスクタイプ名		*	SQL		
7	タスクタイプ属性		*	指定更新		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	QNO			10		補足①
12	クエリー名			データ指定書込		補足①
13	DNO			11		補足(2)
14	処理条件判定セル	実行判定		◎データ指定更新開始判定		
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					
17	汎用バラメータ20	自動計算		シート後再計算	再計算しない	補足(3)
18	空白文字処理方法					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

## ■ 項目説明

タスクタイプ属性が「指定更新」である以外は、タスクタイプ属性「更新」と同様です。

## ■ 使用上の注意

- ① Excel シート上のデータを更新データとするために、必ず展開定義を設定してください。
- ② 一度に更新できるデータサイズは2GBです。
   通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
   秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)

# ■ 補足

dby

- ① クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ② 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ③ 汎用パラメータ 20(自動計算):自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

## ■ 使用例

「タスクタイプ:SQL(指定更新)」を実行した結果です

商品コード商品名	単価	DBS_STATUS	DBS_CREATE_USER	DBS_CREATE_DATE	DBS_UPDATE_USER	DBS_UPDATE_DATE
1 商品1	1250	1	demouser1	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser1	DT2007-05-30 16:00:52.827
2 商品2	2000	1	demouser1	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser1	DT2007-05-30 16:00:52.827
商品で	29			Excel シートデー の「商品マスタ」	-タを元に、デ・ テーブルを更!	ータベース内 新します。

#### 定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義
- 展開定義(展開一覧定義を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

タスク定義編集画面の範囲							
	A	В	С	D			
1	タイトル	サブ	*	内容			
2	TASKNO		*	3			
3	タスク名		*	データ指定更新			
4	処理順NO		*	1			
5	タスクタイプNO		*	201			
3	タスクタイプ名		*	SQL			
7	タスクタイプ属性		*	指定更新			
3	BKNO		*	3			
	ブック名		*	Samplexis			
С	シート名			デモシート			
	QNO			10 —			
2	クエリー名			データ指定書込			
3	DNO			11			
4	処理条件判定セル	実行判定					
5	定義有効無効フラグ						
6	コメント欄						
7	汎用バラメータ20	自動計算		シート後再計算			
8	空白文字処理方法						

A·····・ このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名("Sample.xls")です。

B·····・ このタスクで使用するクエリー定義の QNO を指定します。

C·····・ このタスクで使用する展開定義の DNO を指定します。

クエリー定義の例

db

クエリー定義編集画面の 範囲							
	A	В	С	D			
1	タイトル	サブ	*	内容			
2	クエリー名		*	データ更新			
3	クエリータイプ		*	更新			
4	クエリー属性		*	Query			
5	DBNO		*	1			
6	エイリアス名			SampleDB			
7	テーブル名		*	商品マスタ ――			
8	BKNO						
9	ブック名						
10	SQL文			UPDATE			
11	トランザクション処理						
12	排他制御タイプ						
13	更新処理形態						
14	定義有効無効フラグ						
15	コメント欄						
16	悲観ロック解除QNO						
17	日付時刻NULL指定	NULL指定		NULL			

A·····・ 更新するテーブル名を設定します。

B ······ タスクタイプ属性が「指定更新」の場合、UPDATE と設定します。

C·····・ 更新処理形態:未設定ですが「全データ更新」となります。

クエリー定義については、『第3章 クエリー定義リファレンス共通事項』、『第4章 クエリータイプ』 を参照してください。

展開定義の例

展開定義編集画面の範囲						
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容		
2	DNO		*	11		
3	データ展開名			データ指定更新_展開		
4	処理順NO			1		
5	定義区分			クエリー定義		
6	タイプ			指定更新		
7	タスク・展開属性			Query		
8	データ項目名					
9	数式OR值					
10	定義有効無効フラグ					
11	コメント欄					
2	シート名	更新専用シート名		デモシート		
13	セル指定属性					
14	セル範囲	データ更新開始位置		@データ位置		
15	セル展開範囲定義名					
16	シート保護有無			有り		
17	シート保護解除PW					
18	自動計算方法					
19	行列方向	データ行列方向				
20	更新行OR列数指示セル			@データ数		

A······ タスクタイプ属性が「指定更新」の場合、Query と設定します。

B ·····・ 更新データが存在するシート名を設定します。

C ·····・ 更新用シート上のデータ更新開始位置を指定します。

D ·····・ 更新用シート上の「更新行 OR 列数指示セル」を設定します。

省略した場合、データ数:1件として、処理されます。

展開定義については、『第5章 展開定義リファレンス共通事項』、『第6章 展開定義』を参照してくだ さい。



- ① 表形式で表示された Excel シート上のデータを元に、データベース・データを削除します。
- ② Excel シート上のデータ範囲を展開定義の下記項目で指定し、この指定内容を元にデータベース・ データを削除します。
  - ・データ範囲の左上のセル位置(セル範囲)
  - ・データ件数(更新行 OR 列数指示セル)
- ③ 展開定義でデータ件数の設定をしないと、1件:先頭データ(レコード)のみの削除となります。
- 画面イメージ

ib🏏

	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4		
3	タスク名		*	データ削除		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	201		
6	タスクタイプ名		*	SQL		
- 7 -	タスクタイプ属性		*	削除		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	QNO			12		補足①
12	クエリー名			データ削除		補足①
13	DNO			13		補足(2)
14	処理条件判定セル	実行判定		のデータ削除開始判定		
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					
17	汎用バラメータ20	自動計算		シート後再計算	再計算しない	補足③
18	空白文字処理方法					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

タスクタイプ属性が「削除」である以外は、タスクタイプ属性「更新」と同様です。

## ■ 使用上の注意

- ① Excel シート上のデータ項目は、更新テーブルのフィールドと同一の並びでなければなりません。
- ② Excel シート上のデータを更新(削除)データとするために、必ず展開定義を設定してください。
- ③ 一度に更新できるデータサイズは2GBです。
   通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
   秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)

# ■ 補足

dby

- ① クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ② 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ③ 汎用パラメータ 20(自動計算):自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

## ■ 使用例

db

「タスクタイプ:SQL(削除)」を実行した結果です



#### 定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義
- 展開定義(展開一覧定義を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

タスク定義編集画面の範囲							
	A	B	С	D			
1	タイトル	サブ	*	内容			
2	TASKNO		*	4			
3	タスク名		*	データ削除			
4	処理順NO		*	1			
5	タスクタイプNO		*	201			
6	タスクタイプ名		*	SQL			
7	タスクタイプ属性		*	削除			
8	BKNO		*	3			
9	ブック名		*	Samplexis —			
0	シート名			デモシート			
1	QNO			12 —			
2	クエリー名			データ削除			
З	DNO			<b>1</b> 3 —			
4	処理条件判定セル	実行判定					
15	定義有効無効フラグ						
16	コメント欄						
17	汎用バラメータ20	自動計算		シート後再計算			
18	空白文字処理方法						

A·····・ このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名("Sample.xls")です。

B·····・ このタスクで使用するクエリー定義の QNO を指定します。

C·····・ このタスクで使用する展開定義の DNO を指定します。

クエリー定義の例

db

		クエリー定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容
	クエリー名		*	データ削除
	クエリータイプ		*	削除
	クエリー属性		*	Query
5	DBNO		*	1
	エイリアス名			SampleDB
	テーブル名		*	商品マスタ
	BKNO			
	ブック名			
	SQL文			UPDATE
	トランザクション処理			
2	排他制御タイプ			
	更新処理形態			
	定義有効無効フラグ			
5	コメント欄			
ì	悲観ロック解除GNO			
7	日付時刻NULL指定	NULL指定		

A······ SQL 文は、UPDATE と設定します。(DELETE では、ありません。) クエリー定義については、『第3章 クエリー定義リファレンス共通事項』、『第4章 クエリータイプ』 を参照してください。

展開定義の例

		展開定義編集画面の範	ĒĦ	·
	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	DNO		*	13
3	データ展開名			データ削除_展開
4	処理順NO			1
5	定義区分			クエリー定義
6	タイプ			指定更新
7	タスク・展開属性			Query
8	データ項目名			
9	数式OR值			
0	定義有効無効フラグ			
1	コメント欄			
2	シート名	更新専用シート名		デモシート
13	セル指定属性			
4	セル範囲	データ更新開始位置		@データ位置 -
15	セル展開範囲定義名			
16	シート保護有無			有り
17	シート保護解除PW			
8	自動計算方法			
19	行列方向	データ行列方向		
20	更新行OR列数指示セル			@データ数

A······ 名前定義:データ位置の行から名前定義:データ件数 分のデータが削除されます。

展開定義については、『第5章 展開定義リファレンス共通事項』、『第6章 展開定義』を参照してくだ さい。



■ 機能

ih Sala

- ① クエリー定義のSQL文に、更新や削除等の任意のSQL文を設定して実行します。
- ② クエリー定義でデータ取得の SQL 文を指定して実行する場合、展開定義で指定された Excel のセ ル位置にデータを展開します。
- ③ 取得したデータ件数を、展開定義で指定された Excel のセル位置に展開します。
- ④ データ展開前に、前回展開した領域の値のみをクリアします。展開定義側の指定でクリアしない指 定も可能です。詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照してください。

■ 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4		
3	タスク名		*	データ削除		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	201		
6	タスクタイプ名		*	SQL		
7	タスクタイプ属性		*	削除		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	GNO			12		補足①
12	クエリー名			データ削除		補足①
13	DNO			13		補足(2)
14	処理条件判定セル	実行判定		@データ削除開始判定		
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					
17	汎用バラメータ20	自動計算		シート後再計算	再計算しない	補足③
18	空白文字処理方法					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

タスクタイプ属性が「SQL 更新」である以外は、タスクタイプ属性「更新」と同様です。

※ SQL更新は、dbSheetClient での標準の更新処理以外で、使用することを目的としております。 開発者自身が自由にクエリー文を作成(トランザクションを使用したい場合はこの中にて作成) するために用意されております。

- 使用上の注意
  - ① Excel シート上にデータを展開するには、必ず展開定義を設定してください。
  - ② 一度に取得できるデータサイズは2GBです。
     通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
     秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)
  - ③ Excel シートに展開できる最大行数、最大列数については、『2.10 制限事項』を参照してください。
  - ④ オートフィルタを設定している領域では、正常にデータ展開(表示)することができません。オートフィルタは解除した状態でデータ展開(表示)してください。
     オートフィルタの解除については、『2.120.430: EXCEL コマンド』を参照してください。
  - ⑤ Excel の展開先セルや取得件数のセルに数式がある場合は、上書きされます。

#### ■ 補足

- ① クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ② 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ③ 汎用パラメータ 20(自動計算):自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

④ データを取得するSQL文を設定しない場合は、展開定義は不要です。

**dbSheetClient** 

■ 使用例

db



#### 定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義

#### タスク定義の例

		タスク定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	+	内容
2	TASKNO		*	2
3	タスク名		*	データSQL更新
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	201
6	タスクタイプ名		*	SQL
7	タスクタイプ属性		*	SQL更新
8	BKNO		*	3
9	ブック名		*	Samplexis —
10	シート名			デモシート
11	QNO			14 —
12	クエリー名			データSQL書込
13	DNO			15 —
14	処理条件判定セル	実行判定		
15	定義有効無効フラグ			
16	コメント欄			
17	汎用バラメータ20	自動計算		
18	空白文字処理方法			

A·····・ このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名("Sample.xls")です。

B·····・ このタスクで使用するクエリー定義の QNO を指定します。

C·····・ このタスクで使用する展開定義の DNO を指定します。

クエリー定義の例

db

		クエリー定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	クエリー名		*	データSQL更新
3	クエリータイプ		*	SQL更新
4	クエリー属性		*	Query
5	DBNO		*	1
6	エイリアス名			SampleDB
7	テーブル名			
8	BKNO			
9	ブック名			
10	取得データ件数セル			
11	SQL文			UPDATE 商品マスタ SET 商品名
12	排他制御タイプ			
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			

A······ SQL 文は、次の通りです。

UPDATE	商品マスタ	SET	商品名='AAA'	WHERE	商品コード = 100
別の SQL 文(	の例を示します	す。			
UPDATE	商品マスタ	SET	商品名='AAA'	WHERE	商品コード = 100
SELECT >	* From 商	品マス	<i>А</i>		

2行目(SELECT \* From 商品マスタ)は、更新結果を読み出しています。

読み出したデータをシートに表示するためには、展開定義が必要になります。

クエリー定義については、『第3章 クエリー定義リファレンス共通事項』、『第4章 クエリータイプ』 を参照してください。

展開定義の例はここでは示しません。

展開定義については、『第5章 展開定義リファレンス共通事項』、『第6章 展開定義』を参照してくだ さい。

# 2.16 202:入力画面 タスクタイプ属性(文字) ■ 機能 ① 文字の入力画面を表示し、入力された文字や文字列を Excel の指定のセル位置に展開します。 ② 表示する入力画面の画面名称、入力初期データ、入力ガイダンス、「採用」ボタンの表示文字を任意

⇒「画面名称」、「汎用パラメータ1」、「汎用パラメータ3」、「汎用パラメータ6」の設定。

③ 入力画面起動時のかな漢字変換(IME)を制御することが可能です。
 ⇒「汎用パラメータ5」の設定。

に変更することが可能です。

④ 入力画面で、パスワード入力のように入力した文字を "\*"で表示することが可能です。
 ⇒「汎用パラメータ7」の設定。

■ 画面イメージ

db

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3105		
3	タスク名		*	入力画面(文字)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性			文字		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SamplexIs		
10	シート名			入力画面_文字	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(文字)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	入力初期値		文字データ1	初期値なし	補足①
19	汎用パラメータ3	入力ガイダンス		文字(列)を入力してください	ガイダンスなし	
20	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
21	汎用パラメータ5	かな漢字制御		ON		
22	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更		決定	採用	補足②
23	汎用パラメータア	パスワード表示			通常表示	
24	汎用パラメータ11	入力値セットセル		@入力画面_文字_展開位置	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

## ■ 項目説明

TASKNO	.任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	. TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	.任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	." <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	.タスクタイプ NO 設定により"入力画面"が自動設定されます。
タスクタイプ属性	." <b>文字</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNOはブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)

dby

シート保護有無	シートに保護がかけら	られている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)	
	② 有り	
シート保護解除PW	シートの保護解除に/	パスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)	
処理条件判定セル	タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	くない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。 通常は未入力
	です。(注1、2)	
	① <b>有効</b>	
	② 無効	
コメント欄	開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
画面名称	入力画面に表示する	<b>タイトル</b> を指定します。
セル指定属性	入力されたデータを	<b>展開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し</b>
	ます。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ 1	入力画面起動時に表示	示する <b>入力初期データ</b> を指定します。
汎用パラメータ 3	入力画面に表示する	<b>ヘカガイダンス</b> を指定します。
汎用パラメータ 4	本タスクタイプの実行	5前後の再計算方法を指定します。(注1、5)
	① 前再計算	④ シート前再計算
	2後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ 5	入力画面起動時のかな	€漢字変換(IME)の制御方法を指定します。
	① <b>ON</b>	⑤ 半角カタカナ
	2 OFF	⑥ <b>全角英数</b>
	③ ひらがな	⑦ 半角英数
	④ 全角カタカナ	
汎用パラメータ 6	入力画面の「採用」オ	ドタンの <b>表示文字</b> を指定します。
汎用パラメータ 7	入力画面で入力文字?	を"*"で表示させたい場合(パスワード表示)
	は、" <b>ON</b> "を指定しま	<b>व</b> .
	① (空白)	
	2 <b>ON</b>	
汎用パラメータ 11	入力されたデータを展	展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定します。(「セル
	指定属性」で指定した	こ方法で指定します。)
(注1)詳細は、『開発版リファレ	/ンスマニュアル』 「	「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ
ート名を使っている定義	」を参照して下さい。。	
(注2)詳細は、『2.1 タスク定義	慮の全項目について』を	を参照してください。
(注3)詳細は、『2.2 タスクター	イプの機能分類と概要に	こついて』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

(注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - 入力された文字や文字列を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
  - ② 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎用パラメータ4」の設定を行ってください。
- 補足

dby

- 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして表示します。
- ② 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字 数は4~5文字程度までとなります。

■ 使用例

◎「入力(文字)」ボタンを押して「文字入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する 使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3)タスク定義
- 4) Excel シートの定義

1)メニュー定義の例

db

表示NO 階層	メニュー名	BKNO ブック名	シート 名	TASKNO	BSNO
320 4	1-1)入力画面(文字)	1 Sample.xls	入力画面_文字	0	320

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ポタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
320	1	入力(文字)	31.05	入力画面(文字)			

3)タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
31 05 /	、力画面(文字)	1	202	入力画面	文字	1	Sample.xls	入力画面_文字

※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	31 05
3	タスク名		ж	入力画面(文字)
- 4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		ж	202
6	タスクタイブ名		ж	入力画面
- 7 -	タスクタイブ属性			文字
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			入力画面_文字
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	画面名称			入力画面(文字)
17	セル指定属性			
18	汎用バラメータ1	入力初期値		文字データ1
19	汎用バラメータ3	入力ガイダンス		文字(列)を入力してください
20	汎用バラメータ4	自動計算		後再計算
21	汎用バラメータ5	かな漢字制御		ON
22	汎用バラメータ6	「採用」の文字変更		決定
23	汎用バラメータ7	バスワード 表示		
24	汎用バラメータ11	入力値セットセル		@入力画面_文字_展開位置

「名前の定義」で定義した展開先	
セルの名前を指定します。	

4) Excel シートの定義(Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「入力画面\_文字」)

	А	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J	К	L
1								/				
2		入力	画面	(文字)				/				
3												
4				一酸能:)	て字の人力	画面を表示	$b, A \pi e \pi E y$	<u>(子(列)をE</u> :	xcelの指定のセルに	展開します	•	
5							/					
6				操作:	1.【人力	(文字)」ボタ	こをクリックする	と、「文字用	人力画面」が表示さ	nます。		
7					2. 人力種	で文字(列	を人力し、「決定	日本タンをク	リックしてくたさい。			
8					所定の	フィールトレ		皮崩されま	g .			
9							/					
11			0.7	ウウルカあ	<del>7</del> 5	安宁,	/					
10			Ψ.		<u>H</u>	XT.						
13							$\sim$	<u> </u>				
14									<			
15							スカレた	データの	展開先セルタ F	ivcel M	「名前	
16							10/50/2				. רטרי	
							の定義」	で、"入た	)画面_文字_展開	見位置"と	いう	
							名前を定	義してお	きます。			

# 2.17 202:入力画面 タスクタイプ属性(文字(範囲))

■ 機能

db

- ① 文字の範囲指定(From~To)が可能な入力画面(入力領域が2つ)を表示し、入力された文字や文 字列を Excel の指定のセル位置(2箇所)に展開します。
- ② 表示する入力画面の画面名称、入力初期データ、入力ガイダンス、「採用」ボタンの表示文字を任意 に変更することが可能です。
  - ⇒「画面名称」、「汎用パラメータ1/2」、「汎用パラメータ3」、「汎用パラメータ6」の設定。
- ③ 入力画面起動時のかな漢字変換(IME)を制御することが可能です。
  - ⇒「汎用パラメータ5」の設定。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3115		
3	タスク名		*	入力画面(文字-範囲)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性		*	文字(範囲)		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			入力画面_文字範囲	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(文字範囲)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	入力初期值From		範囲データ1	初期値なし	補足①
19	汎用パラメータ2	入力初期値To		範囲データ2	初期値なし	補足①
20	汎用パラメータ3	入力ガイダンス		文字(列)範囲を入力してください	ガイダンスなし	
21	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
22	汎用パラメータ5	かな漢字制御		全角カタカナ		
23	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更			採用	補足②
24	汎用パラメータ11	文字範囲From		@入力画面_文字範囲_展開位置1	エラー	
25	汎用パラメータ12	文字範囲To		@入力画面_文字範囲_展開位置2	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)				
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。				
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)				
タスクタイプ NO	" <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)				
タスクタイプ名	.タスクタイプ NO 設定により" <b>入力画面</b> "が自動設定されます。				
タスクタイプ属性	." <b>文字(範囲)</b> "を指定します。(省略不可)				
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。				
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)				
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)				
シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)				
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)				
	① (空白)				
	② <b>有り</b>				

db

シート保護解除PW	.シートの保護解除に/	パスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)	
処理条件判定セル	.タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、" <b>False</b> " =実行しない
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたく	、ない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① 有効	
	② 無効	
コメント欄	.開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
画面名称	.入力画面に表示する <b>5</b>	<b>タイトル</b> を指定します。
セル指定属性	.入力されたデータを展	<b>誤開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し</b>
	ます。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ1	.入力画面起動時の入力	〕領域(From 側)に表示する <b>入力初期データ</b> を指
	定します。	
汎用パラメータ2	.入力画面起動時の入力	]領域(To 側)に表示する <b>入力初期データ</b> を指定
	します。	
汎用パラメータ3	.入力画面に表示する <b>入</b>	<b>、カガイダンス</b> を指定します。
汎用パラメータ4	.本タスクタイプの実行	f前後の再計算方法を指定します。(注1、5)
	① 前再計算	<ol> <li>シート前再計算</li> </ol>
	②後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ5	.入力画面起動時のかな	☆漢字変換(IME)の制御方法を指定します。
	① <b>ON</b>	⑤ 半角カタカナ
	2 OFF	⑥ <b>全角英数</b>
	③ ひらがな	⑦ 半角英数
	④ 全角カタカナ	
汎用パラメータ6	.入力画面の「採用」オ	、タンの <b>表示文字</b> を指定します。
汎用パラメータ11	.入力されたデータ(Fre	om 側)を展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定し
	ます。(「セル指定属性	t」で指定した方法で指定します。)
汎用パラメータ12	.入力されたデータ(Tc	っ 側)を展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定しま
	す。(「セル指定属性」	で指定した方法で指定します。)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5) 詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - 入力された文字や文字列を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
  - ② 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎 用パラメータ4」の設定を行ってください。
  - ③ 入力された2つのデータを展開するセル位置(アドレス)は、同一シートに指定する必要があります。
- 補足
  - 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして、対応する入力領域に表示します。
  - ② 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字 数は4~5文字程度までとなります。

## ■ 使用例

dby

◎「入力(文字-範囲)」ボタンを押して範囲入力用の「文字入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 4) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO ブック名	シート 名	TASKNO	BSNO
325 4	1-2)入力画面(文字範囲)	1 Sample.xls	入力画面_文字範囲	0	325

#### 2)ボタン定義の例

dby

BSNO ボタンNO	ポタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
325 1	入力(文字-範囲)	3115	入力画面(文字-範囲)			

#### 3) タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO ブック名	シート名
3115	入力画面(文字-範囲)	1	202	入力画面	文字(範囲)	1 Sample.xls	入力画面_文字範囲

※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)





# 2.18 202:入力画面 タスクタイプ属性(数値)

■ 機能

db

- ① 数値用の入力画面を表示し、入力された数値を Excel の指定のセル位置に展開します。
- ② 表示する入力画面の画面名称、入力初期データ、入力ガイダンス、「採用」ボタンの表示文字を任意 に変更することが可能です。

⇒「画面名称」、「汎用パラメータ1」、「汎用パラメータ3」、「汎用パラメータ6」の設定。

- ③ 入力画面で、パスワード入力のように入力した数字を "\*"で表示することが可能です。
   ⇒「汎用パラメータ7」の設定。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3125		
3	タスク名		*	入力画面(数値)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性			数値		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			入力画面_数值	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(数値)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	入力初期値		100	初期値なし	補足①
19	汎用パラメータ3	入力ガイダンス		数値を入力してください	ガイダンスなし	
20	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
21	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更		決定	採用	補足②
22	汎用パラメータ7	パスワード表示			通常表示	
23	汎用パラメータ11	入力値セットセル		@入力画面_数值_展開位置	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	.任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	.任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。 (省略不可)
タスクタイプ NO	." <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により"入力画面"が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>数値</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>

**dbSheetClient** 

シート保護解除PW	.シートの保護解除に/	ペスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)	
処理条件判定セル	タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	、ない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① 有効	
	② 無效	
コメント欄	.開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
画面名称	.入力画面に表示する <b>5</b>	<b>9イトル</b> を指定します。
セル指定属性	.入力されたデータを展	<b>€開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し</b>
	ます。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス
	② <b>間接</b>	
汎用パラメータ1	、入力画面起動時に表示	示する <b>入力初期データ</b> を指定します。
汎用パラメータ3	.入力画面に表示する <b>入</b>	<b>ヘカガイダンス</b> を指定します。
汎用パラメータ4	.本タスクタイプの実行	う前後の再計算方法を指定します。(注1、5)
	① 前再計算	<ol> <li>④ シート前再計算</li> </ol>
	② 後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ6	.入力画面の「採用」オ	ベタンの <b>表示文字</b> を指定します。
汎用パラメータ7	入力画面で入力文字を	モ "*"で表示させたい場合(パスワード表示)
	は、" <b>ON</b> "を指定しま	す。
	① (空白)	
	2 ON	
汎用パラメータ11	.入力されたデータを展	€開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定します。(「セ
	ル指定属性」で指定し	った方法で指定します。)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - 入力された数値を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護有無」 /「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
  - ② 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎
     用パラメータ4」の設定を行ってください。

■ 補足

db

- 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして表示します。
- ② 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字 数は4~5文字程度までとなります。

■ 使用例

◎「入力(数値)」ボタンを押して「文字入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する 使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 4) Excel シートの定義

1)メニュー定義の例

dbs

表示NO 階層	メニュー名	BKNO ラック名	シート名	TASKNO	BSNO
				TRONING	DOIGO
330 4	1-3)入力画面(数値)	1 Sample.xls	入力画面_数値	0	330

## 2)ボタン定義の例

BSNO ボタンNO	ポタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
330 1	入力(数値)	3125	入力画面(数値)			

3)タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
31 25 🗸	入力画面(数値)	1	202	入力画面	数値	1	Sample.xls	入力画面_数值

※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	3125
3	タスク名		ж	入力画面(数値)
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	202
6	タスクタイプ名		ж	入力画面
- 7	タスクタイブ属性			数値
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			入力画面_数值
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	画面名称			入力画面(数値)
17	セル指定属性			
18	汎用バラメータ1	入力初期値		100
19	汎用バラメータ3	入力ガイダンス		数値を入力してください
20	汎用バラメータ4	自動計算		後再計算
21	汎用バラメータ6	「採用」の文字変更		決定
22	汎用バラメータ7	バスワード表示		
23	汎用バラメータ11	入力値セットセル		@入力画面_数値_展開位置

「名前の定義」で定義した展開先	L
セルの名前を指定します。	

4) Excel シートの定義(Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「入力画面\_数値」)

🧟 サンプルアプリケーション【デバッグ】use		ual5 <i>8</i> 1												
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧	プロジェク	ウト: 🕇	ナンブルフ	アプリケーション			~		<	> 100 x O 5	0 🔿 75 🔿 100 🔿 '	150 〇 範囲ス	к~-д
		7.7	h (進生()	0										
			JOXIE	•										
メニュー 再 ステップ停止			_	_										
> 1-3)入力画面(数値)	Pos	and a second second	t date and d	Drug war B	BI CZ IBT	Dri Laure and								
Menu	x San	nple.xis [	11/2:05-1	秋 <b>0</b> 粤方	日「星換モー	- [-] = db5.#1			1					
	4	A	В	C	D	E	F	G		H	I	J	K	L
: ▼X_1-を選択していたてい。▼	1		1 -	<b>TT</b>	(#+1+)									
□ 1)入力画面(202) ▲	2		~	шш	(数10)				1					
- 1-1)人力画面(文字)	3				148. At	あはの1ヵ		1 1+++	+++++	***	の北ウのありに	200 ++		
- 1-2)人刀画面(乂子車	4				10丈用6 : 1	欧胆の人力	画面で表示		()と数1	E CEXCER	の指定のセルに	佐)用しま 9 。		
- 1-3)人刀画面(数10)	5				49.00-	1. [].	( #4, /#) + #7	by of but	h+7 4	F #4- /+ FD		- the state		
	0				\$FTF:	1.1/1	「数11月」小	メノをクリッ	7980	、「数12用	「人力回回」が衣	Reflag.		
1-6) 入力画面(日付)	6					2. 人力		1 + + + + +	モー体が見	アセクリック	t t			
1-7) 入力面面(時刻)	9					TALES	24 1011	сдлен	C IEN. 8	RINC418	90			
1-8)入力面面(時刻)	10													
- 1-9)入力画面(日付日	11			3 2	が値入力面	i क	数值:		100					
自動作成	12			• •			8/112	/						
1)集計表自動作成(230)	13							/						
処理タスク制御用タスクタイプ	14						/							
自 1・メニュー関係	15				-									
						ותג	たデー	-201	<b>主閉</b> 4	キセル	を Evcel (	の「夕前		
						/())(	JICJ							
						の守言	まして	יד גיי	क क	粉估	屏朗位罢,	という		
						UJÆF	, ک L	ΧЛ	œœ.	_女/但_	_ 成 用 凹 固	رانات		
						名前な	を定義し	しておる	きます	す。				

# 2.19 202:入力画面 タスクタイプ属性(数値(範囲))

■ 機能

db

- ① 数値用の範囲指定(From~To)が可能な入力画面(入力領域が2つ)を表示し、入力された数値を Excelの指定のセル位置(2箇所)に展開します。
- ② 表示する入力画面の画面名称、入力初期データ、入力ガイダンス、「採用」ボタンの表示文字を任意 に変更することが可能です。
  - ⇒「画面名称」、「汎用パラメータ1/2」、「汎用パラメータ3」、「汎用パラメータ6」の設定。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3135		
3	タスク名		*	入力画面(数値-範囲)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性			数値(範囲)		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			入力画面_数值範囲	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(数値範囲)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	入力初期値From		100	初期値なし	補足①
19	汎用パラメータ2	入力初期値To		999	初期値なし	補足①
20	汎用パラメータ3	入力ガイダンス		数値範囲を入力してください	ガイダンスなし	
21	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
22	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更			採用	補足②
23	汎用パラメータ11	数值From		@入力画面_数值範囲_展開位置1	エラー	
24	汎用パラメータ12	数值To		@入力画面_数值範囲_展開位置2	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>入力画面</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>数値(範囲)</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)

**dbSheetClient** 

処理条件判定セル	タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	くない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① <b>有効</b>	
	② 無効	
コメント欄	開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
画面名称	入力画面に表示する	<b>9イトル</b> を指定します。
セル指定属性	入力されたデータを展	<b>ξ開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し</b>
	ます。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ1	入力画面起動時の入力	コ領域(From 側)に表示する <b>入力初期データ</b> を指
	定します。	
汎用パラメータ2	入力画面起動時の入力	り領域(To 側)に表示する <b>入力初期データ</b> を指定
	します。	
汎用パラメータ3	入力画面に表示する	<b>\カガイダンス</b> を指定します。
汎用パラメータ4	本タスクタイプの実行	5前後の再計算方法を指定します。(注1、5)
	① 前再計算	<ol> <li>④ シート前再計算</li> </ol>
	②後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ6	入力画面の「採用」7	ドタンの <b>表示文字</b> を指定します。
汎用パラメータ11	入力されたデータ(Fr	om 側)を展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定し
	ます。(「セル指定属性	主」 で指定した方法で指定します。)
汎用パラメータ12	入力されたデータ(To	っ 側)を展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定しま
	す。(「セル指定属性」	で指定した方法で指定します。)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- 入力された数値を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護有無」 /「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
- ② 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎
   用パラメータ4」の設定を行ってください。
- ③ 入力された2つのデータを展開するセル位置(アドレス)は、同一シートに指定する必要があります。

■ 補足

dby

- 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして、対応する入力領域に表示します。
- ② 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字 数は4~5文字程度までとなります。
- 使用例
  - ◎「入力(数値-範囲)」ボタンを押して範囲入力用の「数値入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 4) Excel シートの定義

1)メニュー定義の例

表示NO 階	層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート 名	TASKNO	BSNO
335	4	1-4)入力画面(数値範囲)	1	Sample.xls	入力画面_数值範囲	0	335

## 2)ボタン定義の例

 BSNO ボタンNO
 ボタン名表示名
 TASKNO
 タスク名
 権限レペル
 定義有効無効フラグ
 ガイダンス

 335
 1
 入力(数値-範囲)
 3135
 入力画面(数値-範囲)
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 5
 5
 4
 4
 4
 5
 5
 4
 3
 5
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4
 4<

З

dby/

)タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート 名
3135	入力画面(数値-範囲)	1	202	入力画面	数値(範囲)	1	Sample.xls	入力画面_数値範囲

※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

2 TASKI				
I Z I NON	10		*	3135
3 タスク	名		ж	入力画面(数値-範囲)
4 処理川	ĮNO		*	1
5 タスク	タイプNO		ж	202
6 タスク	タイプ名		*	入力画面
7 タスク	タイプ属性			数値(範囲)
8 BKNO			ж	1
9 ブック:	<u>څ</u>		*	Sample.xls
10 シート	名			入力画面_数値範囲
11 シート	保護有無			
12 シート	保護解除PW			
13 処理系	≧件判定セル	実行判定		
14 定義有	前効無効フラグ			
15 コメン	- 欄			
16 画面名	6称			入力画面(数値範囲)
17 セル推	定属性			
18 汎用パ	(ラメータ1	入力初期値From		100
19 汎用/	ドラメータ2	入力初期値To		999
20 汎用パ	(ラメータ3	入力ガイダンス		数値範囲を入力してください
21 汎用/	(ラメータ4	自動計算		後再計算
22 汎用パ	ドラメータ6	「採用」の文字変更		
23 汎用/	「ラメータ11	数値From		@入力画面_数値範囲_展開位置1
24  汎用ノ	、ラメータ12	数値To		@入力画面_数值範囲_展開位置2
	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前	E義した展開先セ Dを指定します。		
Excel シー	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ	E義した展開先セ すを指定します。 イル:「Sample.xk	5]	シート:「入力画面_数値範囲」)
Excel シー	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E	E義した展開先セ すを指定します。 イル:「Sample.xks F G	6	シート:「人力画面_数値範囲」) H I J K
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E Jaa(数値-範囲)	E義した展開先セ iを指定します。 イル:「Sample.xks F G	6	シート:「     力画面_数値範囲」)       H     I       J     K
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E D T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	E義した展開先セ iを指定します。 イル:「Sample.xks F G	6	シート:「人力画面_数値範囲」) H I J K
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E Dam(数値-範囲) 機能:数値(範囲)の	E義した展開先セ すを指定します。 イル:「Sample.xk F G 入力画面を表示し、入力を	5J	シート:「人力画面_数値範囲」) H I J K た数値をExcelの指定のセルに展開します。
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E <b>更面(数値-範囲)</b> 優能:数値(範囲)の 操作:1.「入力( 2.入力個(	E義した展開先セ すを指定します。 イル:「Sample.xk F G 入力画面を表示し、入れる 数値-範囲)」ボタンをクリ・ 2箇所)で数値を入れし、		・シート:「     ・力画面_数値範囲」)       H     I     」       K     K       た数値をExcelの指定のセルに展開します。       すると、「数値(範囲)用入力画面」が表示されます。       用」ボタンをクリックしてください。
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E Dam(数値-範囲) 機能:数値(範囲)の 操作:1.「入力( 2.入力欄( 所定の)	E義した展開先セ すを指定します。 イル:「Sample.xk F G 入力画面を表示し、入れる 数値 範囲)」ボタンをクリッ 2箇所)で数値を入力し、 7ィールドに入力された値が	S」 S」 「 S」	・シート:「        力画面_数値範囲」)           H       I       J       K         た数値をExcelの指定のセルに展開します。                  すると、「数値(靴間)用入力画面」が表示されます。                 間」ボタンをクリックしてください。
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E <b>D</b> 西面(数値-範囲) 機能:数値(範囲)の 操作:1.「入力( 2.入力個 所定の	E義した展開先セ すを指定します。 イル:「Sample.xk F G 入力画面を表示し、入れる 数値-範囲)」ボタンをクリッ 2箇所)で数値を入力し、 フィールドに入力された値が		・シート:「人力画面_数値範囲」)         H       I         J       K         た数値をExcelの指定のセルに展開します。         すると、「数値(筆曲)用入力画面」が表示されます。         川ボタンをクリックしてください。         開されます。
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E <b>D</b> 西面(数値-範囲) 優能:数値(範囲) ④ 数値(範囲)	<ul> <li>              ま義した展開先セ             うを指定します。          </li> <li>             イル:「Sample.xks          </li> <li>             ケーム         </li> <li>             なんの面面を表示し、入かる         </li> </ul> <li>             なんの面面を表示し、入かる         <ul> <li>             なんの面面を表示し、入かる         </li> </ul> </li> <li>             なんの面面を表示し、入かる         <ul> <li>             なんののののののののののののののののののののののののの</li></ul></li>	S」 S」 「採展	シート:「     力画面_数値範囲」)       H     I       J     K       た数値をExcel0     指定のセルに展開します。       すると、「数値(範囲)用入力画面」が表示されます。       用」ボタンをクリックしてください。       開されます。
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E <b>戸面面(数値-範囲)</b> 優能:数値(範囲) ④数値(範囲)	<ul> <li>         E義した展開先セ     </li> <li>         jを指定します。     </li> <li>         イル:「Sample.xks     </li> <li>         F G     </li> <li>         入力画面を表示し、入力された値が     </li> <li>         数値:     </li> </ul>	S」 S S S S S M S M M M M M M M M M M M M M	シート:「       力画面_数値範囲」)         H       I       J       K         た数値をExcel0       指定のセルに展開します。          すると、「数値(範囲)用入力画面」が表示されます。          川ボタンをクリックしてください。          (開されます。
Excel シー AB	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E Da面(数値-範囲) 優能:数値(範囲) ④ 数値(範囲)	<ul> <li>         E義した展開先セ うを指定します。         </li> <li>             イル:「Sample.xks         F G         </li> <li>             入力画面を表示し、入力された値が な値・範囲)」ボタンをクリッ・         </li> <li>             2箇所)で数値を入力し、             7 (-ルドに入力された値が      </li> </ul>		シート:「       力画面_数値範囲」)         H       I       J       K         た数値をExcel0 指定のセルに展開します。            すると、「数値(範囲)用入力画面」が表示されます。            川ボタンをクリックしてください。
Excel シー AB	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E つす面(数値-範囲) 優能:数値(範囲) ④数値(範囲)	<ul> <li>議した展開先セ</li> <li>技指定します。</li> <li>イル:「Sample.xks</li> <li>F</li> <li>G</li> <li>入力画面を表示し、入力さいた値が 2(         <ul> <li>次値・範囲)」ボタンをクリッ・</li> <li>26所)で数値を入力し、</li> <li>2(             <li>つ・レドに入力さいた値が</li> <li>数値:</li> </li></ul> </li> </ul>		シート:「人力画面_数値範囲」)       H     I       J     K       た数値をExcelの指定のセルに展開します。       すると、「数値(範囲)用入力画面」が表示されます。       用」ボタンをクリックしてください。       聞されます。
Excel シー A B 入力	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b>	<ul> <li>議した展開先セ</li> <li>技指定します。</li> <li>イル:「Sample.xls</li> <li>F</li> <li>G</li> <li>入力画面を表示し、入力さいた値が 数値:</li> <li>入力したデー・</li> </ul>		シート:「     力画面_数値範囲」)       H     I       K     J       K     K       J     K       K     K       J     K       K     K       J     K       K     K       K     K       J     K       K     K <t< td=""></t<>
Excel シー AB	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>E</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b> <b>D</b>	<ul> <li>議した展開先セ</li> <li>技指定します。</li> <li>イル:「Sample.xls</li> <li>F G</li> <li>入力画面を表示し、入力の、</li> <li>2箇所)で数値を入力し、</li> <li>21ールドに入力された値が</li> <li>数値:</li> <li>入力したデー・</li> <li>「名前の定義</li> </ul>		シート:「       力画面_数値範囲」)         H       I       J       K         た数値をExcelの指定のセルに展開します。            すると、「数値(靴囲)用入力画面」が表示されます。            ガンをクリックしてください。             の展開先セル(2箇所)を Excel の       で、"入力画面_数値範囲_展開位置
Excel シー AB	「名前の定義」で定 ル(2箇所)の名前 トの定義(Excelファ C D E <b>戸面面(数値-範囲)</b> 優能:数値(範囲) ④数値(範囲)	<ul> <li>議した展開先セ</li> <li>技指定します。</li> <li>イル:「Sample.xks</li> <li>F G</li> <li>入力画面を表示し、入力の</li> <li>2箇所)で数値を入力し、 2(一ルドに入力された値が 数値:</li> <li>入力したデー・ 「名前の定義 1"、"入力画</li> </ul>		シート:「       力画面_数値範囲」)         H       I       J       K         た数値をExcel0 指定のセルに展開します。       F       F       F       F         た数値をExcel0 指定のセルに展開します。       F       F       F       F       F         た数値をExcel0 指定のセルに展開します。       F

# 2.20 202:入力画面 タスクタイプ属性(日付)

■ 機能

db

- ① 日付用の入力画面を表示し、入力された日付を Excel の指定のセル位置に展開します。
- ② 表示する入力画面の画面名称、入力初期データ、入力ガイダンス、「採用」ボタンの表示文字を任意 に変更することが可能です。

⇒「画面名称」、「汎用パラメータ1」、「汎用パラメータ3」、「汎用パラメータ6」の設定。

## ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3145		
3	タスク名		*	入力画面(日付)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性			日付		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			入力画面_日付	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(日付)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	入力初期値		2009/07/01	初期値なし	補足①
19	汎用パラメータ3	入力ガイダンス		日付を入力してください	ガイダンスなし	
20	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
21	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更		決定	採用	補足②
22	汎用パラメータ11	入力値セットセル		@入力画面_日付_展開位置	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	…任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	… TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	…任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	…" <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	…タスクタイプ NO 設定により" <b>入力画面</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	…"日付"を指定します。(省略不可)
BKNO	…タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	…BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	…タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	…シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)

**dbSheetClient** 

処理条件判定セル	.タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、"False"=実行しない
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたく	、ない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① <b>有効</b>	
	② 無效	
コメント欄	.開発時のメモ書きや修	逐正記録などに使用します。
画面名称	.入力画面に表示する	<b>9イトル</b> を指定します。
セル指定属性	.入力されたデータを展	<b>ξ開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し</b>
	ます。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス
	② <b>間接</b>	
汎用パラメータ1	.入力画面起動時に表示	示する <b>入力初期データ</b> を指定します。
汎用パラメータ3	.入力画面に表示する <b>2</b>	<b>しカガイダンス</b> を指定します。
汎用パラメータ4	.本タスクタイプの実行	う前後の再計算方法を指定します。(注1、5)
	① 前再計算	<ol> <li>④ シート前再計算</li> </ol>
	② 後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ6	.入力画面の「採用」オ	ボタンの <b>表示文字</b> を指定します。
汎用パラメータ11	.入力されたデータを展	ξ開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定します。(「セ
	ル指定属性」で指定し	った方法で指定します。)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - 入力された日付を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護有無」 /「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
  - ② 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎
     用パラメータ4」の設定を行ってください。
- 補足
  - 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして表示します。
  - ② 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字 数は4~5文字程度までとなります。

■ 使用例

dby

◎「入力(日付)」ボタンを押して「日付入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する 使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2) ボタン定義
- 3) タスク定義
- 4) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
340 4	1-5)入力画面(日付)	1 Sample.xls	入力画面_日付	0	340

2)ボタン定義の例

BSNO ボタンNO ボタン名表示	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
340 1 入力(日付)	31 45	入力画面(日付)			

3) タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
31 45	入力画面(日付)	1	202	入力画面	日付	1	Sample.xls	入力画面_日付

#### ※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

dby



106

# 2.21 202:入力画面 タスクタイプ属性(日付(範囲))

■ 機能

db

- ① 日付用の範囲指定(From~To)が可能な入力画面(入力領域が2つ)を表示し、入力された日付を Excelの指定のセル位置(2箇所)に展開します。
- ② 表示する入力画面の画面名称、入力初期データ、入力ガイダンス、「採用」ボタンの表示文字を任意 に変更することが可能です。
  - ⇒「画面名称」、「汎用パラメータ1/2」、「汎用パラメータ3」、「汎用パラメータ6」の設定。

## ■ 画面イメージ

	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3155		
3	タスク名		*	入力画面(日付-範囲)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性			日付(範囲)		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			入力画面_日付範囲	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(日付範囲)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	入力初期値From		2009/04/01	初期値なし	補足①
19	汎用パラメータ2	入力初期值To		2009/06/30	初期値なし	補足①
20	汎用パラメータ3	入力ガイダンス		日付範囲を入力して下さい	ガイダンスなし	
21	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
22	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更			採用	補足②
23	汎用パラメータ11	日付From		@入力画面_日付範囲_展開位置1	エラー	
24	汎用パラメータ12	日付To		@入力画面_日付範囲_展開位置2	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>入力画面</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	." <b>日付(範囲)</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)

**dbSheetClient** 

処理条件判定セル	タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、" <b>False</b> " =実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	くない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① <b>有効</b>	
	② 無効	
コメント欄	開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
画面名称	入力画面に表示する	<b>タイトル</b> を指定します。
セル指定属性	入力されたデータを展	展開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し
	ます。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ1	入力画面起動時の入力	り領域(From 側)に表示する <b>入力初期データ</b> を指
	定します。	
汎用パラメータ2	入力画面起動時の入力	り領域(To 側)に表示する入力初期データを指定
	します。	
汎用パラメータ3	入力画面に表示する	<b>\カガイダンス</b> を指定します。
汎用パラメータ4	本タスクタイプの実行	う前後の再計算方法を指定します。(注1、5)
	① 前再計算	④ シート前再計算
	2後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ6	入力画面の「採用」7	ドタンの <b>表示文字</b> を指定します。
汎用パラメータ11	入力されたデータ(Fr	om 側)を展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定し
	ます。(「セル指定属性	生」で指定した方法で指定します。)
汎用パラメータ12	入力されたデータ(To	o 側)を展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定しま
	す。(「セル指定属性」	で指定した方法で指定します。)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4) 詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- 入力された日付を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護有無」
   /「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
- ② 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎
   用パラメータ4」の設定を行ってください。
- ③ 入力された2つのデータを展開するセル位置(アドレス)は、同一シートに指定する必要があります。
■ 補足

db

- 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして、対応する入力領域に表示します。
- ② 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字 数は4~5文字程度までとなります。
- 使用例
  - ◎「入力(日付-範囲)」ボタンを押して範囲入力用の「日付入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 4) Excel シートの定義

1)メニュー定義の例

<u>us</u>

表示N∩ 階層	メニュー名	BKNO ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
20100 1010			<u> </u>	17601010	00110
345 4	1-6)入力画面(日付範囲)	1 Sample.xls	入力画面_日付範囲	0	345

## 2)ボタン定義の例

BSNO ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
345 1	入力(日付-範囲)	3155	入力画面(日付-範囲)			

3)タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
3155	入力画面(日付-範囲)	1	202	入力画面	日付(範囲)	1	Sample.xls	入力画面_日付範囲

#### ※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容	
2	TASKNO		*	3155	
3	タスク名		*	入力画面(日付-範囲)	
4	処理順NO		ж	1	
5	タスクタイプNO		*	202	
6	タスクタイプ名		ж	λ力画面	
7	クロック レント レーン しんしょう クロング クロング しんしょう クロング 日本 しんしょう 日本 しんしょう 日本 しんしょう 日本 しんしょう しんしょ しんしょ				
0			Ψ		
0	BNNU ゴ ちタ		*		
9	フック名		ж	Sample.xls	
10	シート名			人刀画面_日何範囲	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	スピート 相				
16	国际名称			入力両面(日付範囲)	
10					
17	ゼル指定偶性				
18	汎用バラメータ1	人力初期值From		2009/04/01	
19	汎用バラメータ2	入力初期値To		2009/06/30	
20	汎用バラメータ3	入力ガイダンス		日付範囲を入力して下さい	
21	汎用バラメータ4	自動計算		後再計算	
22	汎用バラメータ6	「採田」の文字変更			
23	汎田パラメータ11	日付Emm		@入力画面 日付範囲 展開位置1	
20	辺田 バーシューク10				
4) Exce	<ul> <li>シートの定義(Excelファ・</li> <li>B C D E</li> </ul>	1111 : [Sample.xls	;J	・シート:「入力画面_日付範囲」) 	L
2	入力面面(日付-範囲)		/		
3		/			
4	機能: 日付(範囲)の入力	1画面を表示し、入力され	ħΕ	]付をExcelの指定のセルに展開します。	]
5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	操作:       1.「入力(日付         2. 入力欄(2箇         所定のフィー         ⑥ 日付(範囲)	- 範囲)」ボタンをクリック 所) で日付を入力し、「採 - ルFIE 入力された値が 付: 入力したデータ		と、「日付(範囲)用入力画面」が表示されます。 ボタンをクリックしてください。 されます。 ~ 展開先セル(2箇所)を Excel の	
		「名前の定義」 1"、 "入力画面	ר קו	、"入力画面_日付範囲_展開位置 日付範囲 展開位置 2"という名前を	

## 2.22 202:入力画面 タスクタイプ属性(時刻)

■ 機能

db

- ① 時刻用の入力画面を表示し、入力された時刻を Excel の指定のセル位置に展開します。
- ② 表示する入力画面の画面名称、入力初期データ、入力ガイダンス、「採用」ボタンの表示文字を任意 に変更することが可能です。

⇒「画面名称」、「汎用パラメータ1」、「汎用パラメータ3」、「汎用パラメータ6」の設定。

## ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3165		
3	タスク名		*	入力画面(時刻)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性			時刻		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SamplexIs		
10	シート名			入力画面_時刻	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(時刻)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	入力初期値		12:00:00	初期値なし	補足①
19	汎用パラメータ3	入力ガイダンス		時刻を入力してください	ガイダンスなし	
20	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
21	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更		決定	採用	補足②
22	汎用パラメータ11	入力値セットセル		@入力画面_時刻_展開位置	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

## ■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>入力画面</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>時刻</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② 有り
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)

**dbSheetClient** 

処理条件判定セル	.タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたく	くない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	カです。(注1、2)	
	① 有効	
	② 無効	
コメント欄	.開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
画面名称	.入力画面に表示する <b>ダ</b>	<b>9イトル</b> を指定します。
セル指定属性	.入力されたデータを展	<b>ξ開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し</b>
	ます。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ1	.入力画面起動時に表示	示する <b>入力初期データ</b> を指定します。
汎用パラメータ3	.入力画面に表示する <b>2</b>	<b>\カガイダンス</b> を指定します。
汎用パラメータ4	.本タスクタイプの実行	5前後の再計算方法を指定します。(注1、5)
	① 前再計算	<ol> <li>シート前再計算</li> </ol>
	② 後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ6	.入力画面の「採用」オ	ボタンの <b>表示文字</b> を指定します。
汎用パラメータ11	.入力されたデータを展	ξ開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定します。(「セ

ル指定属性」で指定した方法で指定します。)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - 入力された時刻を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護有無」 /「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
  - ② 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎
     用パラメータ4」の設定を行ってください。
  - ③ 時刻として入力するデータは、時分秒を "hhimmiss" の形式で入力してください。
- 補足
  - 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして表示します。
  - ② 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字

数は4~5文字程度までとなります。

■ 使用例

dby

◎「入力(時刻)」ボタンを押して「時刻入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する 使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 4) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO ブック名	シート 名	TASKNO	BSNO
350 4	1-7)入力画面(時刻)	1 Sample.xls	入力画面_時刻	0	350

2)ボタン定義の例

 BSNO
 ボタンNO
 ボタン名表示名
 TASKNO
 タスク名
 権限レペル
 定義有効急効フラグ
 ガイダンス

 350
 1
 入力(時刻)
 3165
 入力画面(時刻)

3) タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイプ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
31.65	入力画面(時刻)	1	202	入力画面	時刻	1	Sample.xls	入力画面_時刻

#### ※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

dby



## 2.23 202:入力画面 タスクタイプ属性(時刻(範囲))

■ 機能

db

- ① 時刻用の範囲指定(From~To)が可能な入力画面(入力領域が2つ)を表示し、入力された時刻を Excelの指定のセル位置(2箇所)に展開します。
- ② 表示する入力画面の画面名称、入力初期データ、入力ガイダンス、「採用」ボタンの表示文字を任意 に変更することが可能です。
  - ⇒「画面名称」、「汎用パラメータ1/2」、「汎用パラメータ3」、「汎用パラメータ6」の設定。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3175		
3	タスク名		*	入力画面(時刻-範囲)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性			時刻(範囲)		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			入力画面_時刻範囲	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(時刻範囲)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	入力初期值From		9:00:00	初期値なし	補足①
19	汎用パラメータ2	入力初期值To		17:00:00	初期値なし	補足①
20	汎用パラメータ3	入力ガイダンス		時刻範囲を入力してください	ガイダンスなし	
21	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
22	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更			採用	補足②
23	汎用パラメータ11	時間From		@入力画面_時刻範囲_展開位置1	エラー	
24	汎用パラメータ12	時間To		@入力画面_時刻範囲_展開位置2	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>入力画面</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>時刻(範囲)</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)

**dbSheetClient** 

処理条件判定セル	タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、"False"=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	くない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① <b>有効</b>	
	② 無効	
コメント欄	開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
画面名称	入力画面に表示する	<b>9イトル</b> を指定します。
セル指定属性	入力されたデータを展	<b>展開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し</b>
	ます。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ1	入力画面起動時の入力	コ領域(From 側)に表示する <b>入力初期データ</b> を指
	定します。	
汎用パラメータ2	入力画面起動時の入力	り領域(To 側)に表示する <b>入力初期データ</b> を指定
	します。	
汎用パラメータ3	入力画面に表示する	<b>\カガイダンス</b> を指定します。
汎用パラメータ4	本タスクタイプの実行	<b>5前後の再計算方法を指定します。(注1、5)</b>
	① 前再計算	<ol> <li>④ シート前再計算</li> </ol>
	②後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ6	入力画面の「採用」7	ドタンの <b>表示文字</b> を指定します。
汎用パラメータ11	入力されたデータ(Fr	om 側)を展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定し
	ます。(「セル指定属性	主」 で指定した方法で指定します。)
汎用パラメータ12	入力されたデータ(To	っ 側)を展開する <b>セル位置(アドレス)</b> を指定しま
	す。(「セル指定属性」	で指定した方法で指定します。)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- 入力された時刻を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護有無」
   /「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
- ② 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎
   用パラメータ4」の設定を行ってください。
- ③ 入力された2つのデータを展開するセル位置(アドレス)は、同一シートに指定する必要があります。

- ④ 時刻として入力するデータは、時分秒を "hhimmiss" の形式で入力してください。
- 補足

dby

- 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして、対応する入力領域に表示します。
- ② 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字 数は4~5文字程度までとなります。
- 使用例
  - ◎「入力(時刻-範囲)」ボタンを押して範囲入力用の「時刻入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 4) Excel シートの定義

1)メニュー定義の例

dby

-							
表示NO	階層	メニュー名	BKNO	ラック名	シート名	TASKNO	BSNO
955	1078	1_0) 】 力面面(時刻範囲)	1	Comple y/e	1 中面面 時刻範囲		255
300	4	1-0/八기画面(吋刻配団/	I	Sample.xis	八万画面_吋刻鸭田	0	300

## 2)ボタン定義の例

BSNO ボ	タンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
355	1	入力(時刻-範囲)	3175	入力画面(時刻-範囲)			

3)タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO ブック名	シート名
3175	入力画面(時刻-範囲)	1	202	入力画面	時刻(範囲)	1 Sample.xls	入力画面_時刻範囲

### ※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

	1	タイトル	サフ	*	内容	
	2	TASKNO		*	31 75	
	3	タスク名		*	入力面面(時刻 -範囲)	
-	7	処理順NO		*		
-	- -	人口・主川県(NO)		ste	100	
-	0	22.221.2NU		*	202	
_	6	タスクタイフ名		*	人刀画面	
	7	タスクタイプ属性			時刻(範囲)	
	8	BKNO		*	1	
	9	ブック名		*	Sample vis	
-	10	シートタ			3. 古面面時刻範囲	
-	10				八기画面_时刻轮团	
-	11					
	12	シート保護解除PW				
	13	処理条件判定セル	実行判定			
	14	定義有効無効フラグ				
	15	コメント 櫚				
-	16	両面々称			入力雨雨(時刻筋囲)	
-	10	回出名称			人力画面(時刻範囲)	
-	17	セル指定偶性	2			
	18	汎用バラメータ1	人力初期値From		9:00:00	
	19	汎用バラメータ2	入力初期値To		17:00:00	
	20	汎用バラメータ3	入力ガイダンス		時刻範囲を入力してください	
	21	汎田パラマーク4	白勐計賞		後面計算	
-	00			•		
-	22	川田 パーマージロ	「休用」の文士友文		。] 十字字 唯制的网 展明体黑。	
-	23	汎用ハラメータ11	時间From		@人刀画面_時刻範囲_展開位直1	
	24	)汎用バラメータ12	時間To		@人力画面_時刻範囲_展開位置2	
				./		
4) Ex			F G	⁄ا		< 1
1	А					、 L
2		入力面面(時刻-範囲)	/			
3						
4		機能:時刻(範囲)の入	力画面を表示し、入力され	ht-	時刻をExcelの指定のセルに展開します。	
5						
6		<b>操作: 1.「入力(時</b> 3	創一範囲)」ボタッタクリック	っする	ると「時刻(範囲)田入力画面」が表示され;	± d .
7		2. 入力欄(2)	寄所)で時刻を入力し、[4	採田	「ボタンをクリックしてください。	
8		所定のフィ	ールドに入力された値が	展開	ingt.	
9						
10			/			
11		⑧ 時刻(範囲) B	<b>持間:</b>		~	
12					$\overline{)}$	
13				-		
14						
15			_ 入力したデー4	70	)展開先セル(2筒所)を Excel	$\sigma$
			「名前の定義	17	で、"入力画面 時刻範囲 展開位	7置
			1"、"入力画而	- 有「	時刻範囲 展開位置 2"という名前	те Г
						-
			定義しておきる	ます	-	

## 2.24 202:入力画面 タスクタイプ属性(日付時刻)

■ 機能

db

① 日付と時刻を同時に入力できる入力画面を表示し、入力された日付や時刻を指定形式のデータで
 Excelの指定のセル位置に展開します。
 コデータの指定形式は「洞田パラン」を11,10,7000

⇒データの指定形式は「汎用パラメータ 11~19」で設定。

② 表示する入力画面の画面名称、「採用」ボタンの表示文字を任意に変更することが可能です。
 ⇒「画面名称」、「汎用パラメータ6」の設定。

## ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3185		
3	タスク名		*	入力画面(日付時刻)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	202		
6	タスクタイプ名		*	入力画面		
7	タスクタイプ属性			日付時刻		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			入力画面_日付時刻	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			入力画面(日付時刻)	既定のタイトル	
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ4	自動計算		後再計算	再計算しない	
19	汎用パラメータ6	「採用」の文字変更			採用	補足①
20	汎用パラメータ11	YYYY/MM/DD HH:MM:SS			未指定とする	補足②
21	汎用パラメータ12	YYYY/MM/DD		@入力画面_日付時刻_展開位置1	未指定とする	補足②
22	汎用パラメータ13	YYYY			未指定とする	補足②
23	汎用パラメータ14	MM			未指定とする	補足②
24	汎用パラメータ15	DD			未指定とする	補足②
25	汎用パラメータ16	hhimmiss		@入力画面_日付時刻_展開位置2	未指定とする	補足②
26	汎用パラメータ17	hh			未指定とする	補足②
27	汎用パラメータ18	mm			未指定とする	補足②
28	汎用パラメータ19	SS			未指定とする	補足②

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

## ■ 項目説明

TASKNO	.任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>202</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>入力画面</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>日付時刻</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>

di X

シート保護解除PW	シートの保護解除	にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指					
	定します。(注2)	)					
処理条件判定セル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・ タスク実行を条件	キにより制御する場合にシートのセル位置を指定し					
	ます。セルの値に	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)					
	セルの値:" <b>True</b>	a" =実行する、" <b>False</b> " =実行しない					
定義有効無効フラグ	タスクを実行させ	たくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入					
	力です。(注1、	2)					
	① 有効						
	② 無効						
コメント欄	開発時のメモ書き	や修正記録などに使用します。					
画面名称	入力画面に表示す	「る <b>タイトル</b> を指定します。					
セル指定属性	入力されたデータ	?を展開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し					
	ます。(注4)						
	① 直接	③ 間接アドレス					
	②間接						
汎用パラメータ4	本タスクタイプの	)実行前後の再計算方法を指定します。(注1、5)					
	① 前再計算	<ol> <li>④ シート前再計算</li> </ol>					
	②後再計算	⑤ シート後再計算					
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算					
汎用パラメータ6	入力画面の「採用	]」ボタンの <b>表示文字</b> を指定します。					
汎用パラメータ11	入力されたデータ	…入力されたデータを"YYYY/MM/DD hhimmiss"の形式で展開する					
	セル位置(アドレ)	2)を指定します。(「セル指定属性」で指定した方法					
	で指定します。)						
汎用パラメータ12	入力されたデータ	っを"YYYY/MM/DD"の形式で展開するセル位置(ア					
	<b>ドレス</b> )を指定し	ます。(「セル指定属性」で指定した方法で指定しま					
	す。)						
汎用パラメータ13	入力されたデータ	9を"YYYYY"の形式で展開するセル位置(アドレス)を					
	指定します。(「セ	2ル指定属性」 で指定した方法で指定します。)					
汎用パラメータ14	入力されたデータ	っを"MM"の形式で展開するセル位置(アドレス)を指					
	定します。(「セル	指定属性」で指定した方法で指定します。)					
汎用パラメータ15	入力されたデータ	9を"DD"の形式で展開する <b>セル位置(アドレス</b> )を指					
	定します。(「セル	指定属性」で指定した方法で指定します。)					
汎用パラメータ16	入力されたデータ	ヲを"hh:mm:ss"の形式で展開する <b>セル位置(アドレ</b>					
	<b>ス)</b> を指定します。	(「セル指定属性」 で指定した方法で指定します。)					
汎用パラメータ17	入力されたデータ	9を"hh"の形式で展開する <b>セル位置(アドレス</b> )を指					
	定します。(「セル	指定属性」で指定した方法で指定します。)					
汎用パラメータ18	入力されたデータ	9を"mm"の形式で展開する <b>セル位置(アドレス</b> )を指					
	定します。(「セル	指定属性」で指定した方法で指定します。)					
汎用パラメータ19	入力されたデータ	?を"ss"の形式で展開するセル位置(アドレス)を指定					
	します。(「セル指	『定属性」 で指定した方法で指定します。)					

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- 入力画面では「汎用パラメータ11~19」で展開先のセル位置が指定されているデータ形式に対応するデータのみが入力可能となります。
  - (例:汎用パラメータ16のみが指定されている場合は、時刻データのみが入力可能となります。)
- ② 入力された日付と時刻を展開するセルに保護がかかっている場合は、保護の解除指定(「シート保護 有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
- ③ 入力画面の表示前や実行後(入力データをセルに展開後)、再計算が必要な場合は必要に応じて、「汎用パラメータ4」の設定を行ってください。

■ 補足

- 入力画面の「採用」ボタンの表示文字を変更する場合、ボタンサイズの制限により表示できる文字 数は4~5文字程度までとなります。
- ② 入力されたデータを展開するセルに既に値が入っていた場合は、その値を入力画面起動時の入力初 期データとして表示します。

### ■ 使用例

dby

- 「入力(日付時刻)」ボタンを押して「日付時刻入力画面」を表示し、入力したデータを所定のセルへ 展開する
- ② 「入力(時刻のみ)」ボタンを押して「日付時刻入力画面」(時刻のみ入力可)を表示し、入力したデータを所定のセルへ展開する

使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3)タスク定義
- 4) Excel シートの定義

1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
360 4	1-9)入力画面(日付時刻)	1	Sample.xls	入力画面_日付時刻	0	360

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ボタン	/名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
360	1	入力(	日付時刻)	3185	入力画面(日付時刻)			
360	2	入力(	時刻のみ)	3195	入力画面(時刻のみ)			

dby





## 2.25 203:データ照会画面 タスクタイプ属性(なし)

■ 機能

db

クエリー定義で指定された SQL 情報を実行し、その読み込みデータを下図の選択用の画面(ウィンドウ)に表示します。

画面名称	~		汎用	パラ	メータ	タ11(照	会画面の樹	餔国)		>		
バルカン (コイールド名)	02	dbS-デ・ 圏人デ・	- 夕照 st - タのう	〕 選択								
(初期値)		検索項目 検索値 検索結果	名例)	生年月 1977/	18 01/01 38	件		置付け	キャンセル 選択	]	ק×∈״ו∉	」汎用パラメータ 14
		NO 5 38 7	名前 佐藤 渡部 中田	□郎 ×郎 □二	性別 男 男 男	生年月日 1966/04/23 1967/04/08 1969/10/12 1972 (20 / 21 / 21 / 21 / 21 / 21 / 21 / 21 /	携帯 090267272** 090334455** 090536475**	dbS_st 1 1 1	atus		5 12 (照会	デフォルトでは、 採用ボタンです。
	   	29 27 37 11 15	新庄 市橋 清水 市場 芦田	♥▽郎 □二 *太郎 ▽ ○子	労 男 男 男 女	1976/03/21 1976/04/21 1976/07/10 1976/09/10 1977/01/01	080498739** 080321421** 090875412** 080473109**	1 1 1 1 1			画面の縦幅	
	<	3 1 14	佐々木 清水 田中	:富▽ ◇太郎 →朗	- 男 男	1977/01/06 1977/01/07 1977/01/21	090273773** 090475767** 090321232**	1 1 1	>	~		

(ア) 選択用の画面(ウィンドウ)の表示データの中から、1件のデータを選択(クリック)し、採 用ボタンをクリックします。

(イ)展開定義で指定された Excel のセル位置にデータを展開します。

- ② データ展開前に、前回展開した領域の値のみをクリアします。展開定義側の指定でクリアしない指 定も可能です。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	31		
3	タスク名		*	データ照会		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	203		
6	タスクタイプ名		*	データ照会画面		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	demoAxls		
10	シート名			カード形式	開始時のシート名	
11	QNO			31		補足①
12	クエリー名			個人マスタ選択		補足①
13	DNO			31		補足②
14	処理条件判定セル	実行判定				
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					
17	画面名称			個人データの選択	データ照会	
18	セル指定属性					
19	汎用パラメータ1	フィールド名		生年月日	初期フィールド名無し	
20	汎用バラメータ2	初期値		1977/01/01	初期値無し	
21	汎用バラメータ11	照会画面の橫幅		495	580	
22	汎用バラメータ12	照会画面の縦幅		560	500	
23	汎用パラメータ13	最大化表示				
24	汎用バラメータ14	「採用」の文字変更		選択	採用	補足③
25	汎用バラメータ20	自動計算			再計算しない	補足④
26	空白文字処理方法				何もしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■ 項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	"203"を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	" <b>データ照会画面</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
QNO	実行する SQL 文が定義してある QNO を指定します。 QNO はクエ
	リー定義にて登録します。(注1、7)
クエリー名	自動表示します。(省略不可)
DNO	実行時に Excel に展開するセル位置が定義してある DNO を指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1、8)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	
画面名称	データ照会画面のタイトルを入力します。(■機能 参照)
セル指定属性	入力されたデータを展開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し
	ます。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	「位置づけ」用のフィールド名を指定します。(■機能 参照)
	設定時、クエリー定義の設定がしてあれば、項目名選択(F4)ボタ
	ンのクリックで選択設定ができます。
汎用パラメータ 2	「位置づけ」用の初期値を指定します。(■機能 参照)
汎用パラメータ 11	データ照会画面の横幅を、ピクセル(画素)数で指定します。
	(■機能 参照)
汎用パラメータ 12	データ照会画面の縦幅を、ピクセル(画素)数で指定します。
	(■機能 参照)

と指定します。データ照会画面を最大化表示させたい時、"最大化"と 指定します。 ① 改行なし ③ 最大化 ④ 最大化+改行 ② 改行あり "最大化"を指定した場合は、汎用パラメータ11~12は無効です。 汎用パラメータ14 ......実行時データ選択を完了する時、クリックするボタンの名称を設定し ます。(■機能 参照) 本タスクまたは以降のタスクで、セルの内容を参照して実行する場合 に指定します。(注1、6) 前再計算 ④ シート前再計算 2後再計算 ⑤ シート後再計算 ③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算 空白文字処理方法......データの前後にある半角空白文字を除外する場合の方法を指定しま す。(注1、5) ① (空白) ③ 右削除(RTRIM) ② 左削除(LTRIM) ④ 左右削除(TRIM)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.8 空白文字処理方法について』を参照してください。
- (注6)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。
- (注7) 詳細は、『【クエリー定義リファレンス編】』を参照してください。
- (注8) 詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

- 使用上の注意
  - ① Excel シート内にデータを展開するには、必ず展開定義を設定してください。
  - ② 一度に取得できるデータサイズは2GBです。
     通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
     秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)
  - ③ Excel シートに展開できる最大行数、最大列数については、『2.10 制限事項』を参照してください。
  - ④ オートフィルタを設定している領域は、オートフィルタをかけない状態でデータ展開(表示)します。そうしないと、正常にデータ展開(表示)できません。
     オートフィルタの解除については、『2.120.430: EXCEL コマンド』参照してください。

## ■ 補足

dhS

- ① クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ② 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ③ 採用ボタンの表示文字「採用」を別の文字に変更できます。ボタンのサイズの関係で、表示できる 文字数は、4~5文字程度までです。
- ④ 汎用パラメータ 20(自動計算):自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

⑤ 「改行なし」の場合は、初期表示の最大列幅は200ピクセルです。

■データ照会画面のデータ選択機能

dby

データ照会画面では、「採用」ボタンのクリックで1件のデータを選択するか、キャンセルボタンのクリ ックで選択しないことができます。

クエリー定義の SQL 文によって表示データが決定しているので、操作によって表示順は変わりますが、 表示データ件数は変わりません。

選択を支援する機能は、大別して2つあります。

1.フィールド名をクリックすると、クリックしたフィールドの昇順表示、降順表示が交互に切り替わり ます。そのあと、スクロールして目的のデータを見つけます。



2.「位置付け」

フィールド(検索項目名)とデータ(検索値)を指定し、そのデータにカーソルを移動させます。 操作法は、次の通りです。

まず検索項目を、コンボボックスを開いて設定します。(表示データのフィールド名から選択できます。) 次に検索値を入力し、位置付けボタンをクリックします。この操作でデータが見つかると、カーソルが移 動(位置付け)します。(この時、検索対象フィールドの昇順表示になります。)

この機能を適宜使って目的のデータを見つけたら「採用」ボタン(上記画面イメージでは「選択」ボタン) をクリックすると、展開定義に従ってデータを展開(表示)します。

#### 3. 「表示データのスクロール」

下記の操作を行うことで、表示データをスクロールすることができいます。

列の移動のキーボード操作			
←	前列に移動		
$\rightarrow$	次列に移動		
CTRL+←	先頭列に移動		
CTRL+→	最終列に移動		

行の移動のキーボード操作				
1	前行に移動			
$\downarrow$	次行に移動			
CTRL+↑	先頭行に移動			
CTRL+↓	最終行に移動			

### 使用例

db)

「タスクタイプ:データ照会画面」を実行した結果です。



定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義
- 展開定義(展開一覧定義を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

Ú.		タスク定義編集画面の筆	٥Ħ		
	A	В	С	D	
1	タイトル	サブ	*	内容	and the second se
2	TASKNO		*	31	
З	タスク名		*	データ照会	
4	処理順NO		*	1	
5	977917N0		*	203	
6	タスクタイプ名		*	データ照会画面	
7	タスクタイプ属性				
8	BKNO		*	1	Contraction of the Contraction o
9	ブック名		*	demoAxls	Α
10	シート名			カード形式	
11	QNO			31	-
12	クエリー名			個人マスタ選択	
13	DNO			31	0.000
14	処理条件判定セル	実行判定			- (
15	定義有効無効フラグ				
16	コメント欄				
17	画面名称			個人データの選択・	
18	セル指定属性				
19	汎用バラメータ1	フィールド名		生年月日	
20	汎用バラメータ2	初期値		1977/01/01	
21	汎用バラメータ11	照会画面の横幅		495	0.000
22	汎用バラメータ12	照会画面の縦幅		560	G
23	汎用バラメータ13	改行・最大化表示			
24	汎用バラメータ14	「採用」の文字変更		選択	
25	汎用バラメータ20	自動計算			
26	空白文字処理方法				

A·····・ このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名("demoA.xls")です。

- B······ 実行時に表示するシート("カード形式")を指定省略すると、表示するシートはかわりません。
- C·····・ 画面名称("個人マスタ選択")を設定します。
- D·····・ 位置付けフィールド名("生年月日")を設定します。
- E·····・ 位置付けフィールドの初期値("1077/01/01")を設定します。
- F·····・ データ照会画面の横幅("495")を設定します。
- G………データ照会画面の横幅("560")を設定します。
- H………「採用」ボタンの表示名("選択")を設定します。

#### クエリー定義の例

		クエリー定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	クエリー名		*	個人マスタ選択
3	クエリータイプ		*	照会
4	クエリー属性		*	Query
5	DBNO		*	1
6	エイリアス名			demoA
7	テーブル名			KojinMas
8	BKNO	旧仕様		
9	ブック名	旧仕様		
10	取得データ件数セル	旧仕様		
11	SQL文			SELECT [Seqe] NO. [Namae] #
12	排他制御タイプ			
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			

A······ 次のような SQL 文を設定します。フィールド名を変更することも可能です。 SELECT [Seqe] NO, [Namae] 名前, [Seibetsu] 性別, [Tanjobi] 生年月日, [Keitai] 携帯, [dbS\_status], [dbS\_create\_user], [dbS\_create\_date], [dbS\_update\_user], [dbS\_update\_date] FROM [KojinMas] ※フィールド名: Seqe を NO に変更します。他の項目も同様です。

#### 展開定義の例

db

カード形式表示なので、下図のように展開定義(縦型表示ではない)は、複数行の設定になります。 下図では、設定してない列は、省略しています。

1	DNO データ展	開名 処理順N	0 定義区分	タイブ	タスク・展開属性	データ項目名	シート名	セル指定属性 セル範	囲 シート保護有無
2	31 展開_個人マス	夕選択	1 クエリー定義	照会	データ	NO	カード形式	R12C6	有り
З	31 展開_個人マス	タ選択	2 クエリー定義	照会	データ	名前	カード形式	R12C9	有り
4	31 展開_個人マス	夕選択	3 クエリー定義	照会	データ	性別	カード形式	R12C10	有り
5	31 展開_個人マス	夕選択	4 クエリー定義	照会	データ	生年月日	カード形式	R1 4C9	有り
6	31 展開_個人マス	夕選択	5 クエリー定義	照会	データ	携帯	カード形式	R16C9	有り
						N		\     \	
						×Α			N R

- A······ データ項目名は、SQL 文でフィールド名を変換した場合、変換後のフィールド名を設定します。
- B·····・ セル範囲は、データを出力するセルアドレスを設定します。 ここでは R1C1 形式で設定していますが、A1 形式の設定もできます。 ※R12C6 は、F12 と同一で、12 行目の 6 列目のセルを表示しています。

また、ブックを開いて、セルに名前定義してから、その定義名を使用することも可能です。 この場合、定義名選択(F4)ボタンのクリックで選択設定できます。



## 2.26 204:検索付データ照会画面 タスクタイプ属性(空白、拡張)

■ 機能

dby

クエリー定義で指定された SQL 情報を実行し、その読み込みデータを下図の選択用の画面(ウィンドウ)に表示します。

7	一夕照会•商品	フィールド名	検索方	式 厚	<mark>制始条</mark>	件 終了	<u>条件</u>	7	1 <sup>1~4</sup>
112 7 0 0 0 0 0 0	条件① 検索条件 項目名(列) / 単価 分類 商品名 単位	検索条件③         検索方式         ※ 範囲指定 >         ※ 範囲指定 >         ※ 範囲指定 >         ※ 範囲指定 >         ※ 完全一致 >	開始	ė –	~	終了値	検索実行           条件初期化           キャンセル	汎用パラ	
Ê	て選択 全て解除	建択件数:	25	件				¥.	汎用パラメ-
	選択 商品コード	商品名	単位	単価	分類	dbs_status	DBS_CREATE_USE	V.	、(「採用」の文
	✓ 1	商品1	(B	1443.0000	3	1	demouser		]デフォルト
	2	商品2	íð	1449.0000	1	1	demouser	4	ノノオルト
扒	3	商品3	ſð	1450.0000	1	1	demouser		採用ボタン
の	4	商品4	箱	11650.0000	4	1	demouser	調	L
た	5	商品5	箱	1500.0000	1	1	demouser		
10	6	商品合	箱	2000.0000	1	1	demouser	画	
	7	商品7	10	2000.0000	2	1	demouser	団 団	
U) T	8	商品と	相	1260.0000	2	1	demouser	1 2	
	9	商品タ	相	2100.0000	2	1	demouser	躛	
	IU ■ 11	RenoolU ★ B = 11	相	1280.0000	2	-	demouser	迥	
- vy	M 10	(Pilos II) 	不目	2000.0000	2	1	demouser	ΙĽ	
7	12	Helion 12 森田10	本日	2000.0000	2	1	demouser		
		商品1/	*B #25	2100.0000	2	1	demouser		
	15	商品15	***	2350,0000	2	1	demouser		
ツー	16	商品16	箱	2000.0000	2	1	demouser		
ク	17	商品17	新日	1750.0000	2	1	demouser		
	18	商品18	箱	1150,0000	2	1	demouser	<b>9</b>	スクタイプ属性
	✓ 19	商品19	箱	2000.0000	2	1	demouser 💌	N/m	惕合
<					1977) 1	- 02	>	V L	

(ア) 選択用の画面

(ウィンドウ)の表示データ

タスクタイプ属性: <空白>の場合

※検索方式の設定ができません。

の中から、複数件のデータを選択(チェックボックスにチェックを入れる)し、採用ボタンを クリックします。

(イ) 展開定義で指定された Excel のセル位置にデータを展開します。

~

① 単価 ② 分類 ③ 商品名

④ 単位

② データ展開前に、前回展開した領域の値のみをクリアします。展開定義側の指定でクリアしない指 定も可能です。

# ■ 画面イメージ

dby

1		タスク定義編集画面の筆				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サブ	+	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	2200		
З	タスク名		*	検索付照会(204)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	204		
6	タスクタイプ名		*	検索付データ照会画面		
7	タスクタイプ属性			拡張		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SampleタスクタイプV4xls		
10	シート名			検索付データ照会	開始時のシート名	
11	QNO			2200		補足①
12	クエリー名			検索付照会(204)		補足①
13	DNO			2200		補足②
14	処理条件判定セル	実行判定				
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄				The second second second second second	
17	画面名称			データ照会・商品マスタ	データ検索・照会	
18	セル指定属性					
19	汎用パラメータ1	検索条件1		単価  範囲指定 変更不可		補足③
20	汎用パラメータ2	検索条件2		分類  範囲指定		
21	汎用パラメータ3	検索条件3		商品名  中間一致変更不可		
22	汎用パラメータ4	検索条件4		単位  完全一致		
23	汎用パラメータ5	検索条件5				
24	汎用パラメータ6	検索条件6				
25	汎用パラメータ7	検索条件7	0.0.0.0.0.0			
26	汎用パラメータ8	検索条件8				
27	汎用バラメータ9	検索条件9				
28	汎用バラメータ10	検索条件10				
29	汎用パラメータ11	検索条件11				
30	汎用パラメータ12	検索条件12				
31	汎用バラメータ13	照会画面の横幅			580、拡張:673	
32	汎用パラメータ14	照会画面の縦幅			500、拡張:673	
33	汎用パラメータ15	改行・最大化表示	0.0.0.0.0.0		改行・最大化しない	
34	汎用バラメータ16	照会選択モード			全部選択	補足④
35	汎用パラメータ17	検索条件展開セル名			展開しない	補足⑤
36	汎用バラメータ18	「採用」の文字変更			採用	補足6
37	汎用パラメータ19	条件設定エリア			表示	補足⑦
38	汎用バラメータ20	自動計算		後再計算	再計算しない	補足圖
39	空白文字処理方法				向もしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可)(注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>204</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>検索付データ照会画面</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	次から選択します。(補足③ 参照)。
	① (空白)
	② 拡張
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
QNO	実行する SQL 文が定義してある QNO を指定します。QNO はクエ
	リー定義にて登録します。(注1、7)
クエリー名	自動表示します。(省略不可)
DNO	実行時にExcelに展開するセル位置が定義してあるDNOを指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1、8)

di X

**dbSheetClient** 

処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
画面名称	.データ照会画面のタイトルを入力します。(■機能 参照)
セル指定属性	.入力されたデータを展開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し
	ます。(注4)
	<ol> <li>直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	.検索条件を入力します。(■機能、補足③ 参照)
	検索付データ照会(F4)ボタンのクリックが有効です。
	(タスクタイプ属性が「拡張」の場合)
汎用パラメータn	検索条件を入力します。(■機能、補足③ 参照)
	n が、12まで、設定できます。
	実行時の画面で、検索条件①タブ→n=1~4
	実行時の画面で、検索条件②タブ→n=5~8
	実行時の画面で、検索条件③タブ→n=9~12
	の検索条件が表示します。
	検索付データ照会(F4)ボタンのクリックが有効です。
	(タスクタイプ属性が「拡張」の場合)
	各項目の検索条件が全て満足されなければ、選択表示されません。
	開始条件、終了条件の両方とも未入力の場合は、満足したとします。
	(AND 条件)
汎用パラメータ 13	.データ照会画面の横幅を、ピクセル(画素)数で指定します。
	(■機能 参照)
汎用パラメータ 14	データ照会画面の縦幅を、ピクセル(画素)数で指定します。
	(■機能 参照)
汎用パラメータ 15	.データ照会画面内のデータ行の改行を有効にさせたい時、"改行あり"
	と指定します。データ照会画面を最大化表示させたい時、"最大化"と
	指定します。
	① 改行なし ③ 最大化
	② 改行あり ④ 最大化+改行
	省略時は、改行なし、標準画面サイズ です。
	"最大化"を指定した場合は、汎用パラメータ 13~14 は無効です。

汎用パラメータ 16	照会選択モードは、炎	Rの選択肢から指定します。
	① 選択解除不可	
	② 初期選択無し	
汎用パラメータ 17	選択条件をシートに展	<b>€開(表示)するセル位置を設定します。</b>
	ここで設定したセル	立置を左上とするセル範囲に選択条件を出力し
	ます。	
汎用パラメータ 18	実行時データ選択を完	了する時、クリックするボタンの名称を設定し
	ます。(■機能 参照	)
汎用パラメータ 19	画面上部の検索条件影	定エリアを表示するかどうかを選択します。
	① 表示する	
	② 表示しない	
汎用パラメータ 20	自動計算のタイミング	「を指定します。
	本タスクまたは以降の	)タスクで、セルの内容を参照して実行する場合
	に指定します。(注1)	、6)
	① 前再計算	<ol> <li>④ シート前再計算</li> </ol>
	②後再計算	⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
空白文字処理方法	データの前後にある	半角空白文字を除外する場合の方法を指定しま
	す。(注1、5)	
	① (空白)	③ 右削除(RTRIM)
	② 左削除(LTRIM)	④ 左右削除(TRIM)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.8 空白文字処理方法について』を参照してください。
- (注6)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。
- (注7)詳細は、『【クエリー定義リファレンス編】』を参照してください。
- (注8) 詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ① Excel シート内にデータを展開するには、必ず展開定義を設定してください。
  - ② 一度に取得できるデータサイズは2GBです。
     通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
     秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)
  - ③ Excel シートに展開できる最大行数、最大列数については、『2.10 制限事項』を参照してください。
  - ④ オートフィルタを設定している領域は、オートフィルタをかけない状態でデータ展開(表示)しま

す。そうしないと、正常にデータ展開(表示)できません。

db

- オートフィルタの解除については、『2.120.430: EXCEL コマンド』参照してください。
- ⑤ SELECT 文では、サブクエリーに対しては、対応していません。

## ■ 補足

- ① クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ② 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ③ 検索条件は、入力パターンが2通りあり、タスクタイプ属性によって変わります。

タスクタイプ属性	設定パターン
(空白)	フィールド名 開始条件 終了条件 変更不可
拡張	フィールド名 開始条件 終了条件 <mark> 検索方式</mark>  変更不可

#### 各要素は、次の通りです。

フィールド名	表示データのフィールド名を指定します。
検索方式	次の選択肢があります。(タスクタイプ属性:(空白)の場合、範囲指定と同等です。) 範囲指定、前方一致、後方一致、中間一致、完全一致、Null、NoNull
開始条件	検索条件:範囲指定の場合、最小値を設定します。 検索条件:範囲指定 以外の場合、検索値を設定します。
終了条件	検索条件:範囲指定の場合、最大値を設定します。 検索条件:範囲指定 以外の場合、設定しません。
変更不可	実行時、項目名(フィールド名)、検索方式(検索条件)の 変更の有無(変更可、変更不可)を指定します。
	区切り記号で、半角の縦棒です

検索条件は、フィールド名のデータを次のように検索し(絞り込み)ます。

ここでは、フィールド名: 社員 ID (文字列)、開始条件: 20、終了条件: 29 と仮定します。

検索方式	検索結果	SQL 文の WHERE 句
範囲指定	社員ⅠD≧20 かつ社員ⅠD≦29 社員ⅠD	BETWEEN '20' AND '29'
前方一致	社員 ID の先頭部分が 20(開始条件)で始まっている	社員 ID LIKE '20%'
後方一致	社員 ID の末尾部分が 20(開始条件)で終わっている	社員 ID LIKE '%20'
中間一致	社員 ID のどこかに 20(開始条件)を含んでいる	社員 ID LIKE '%20%'
完全一致	社員 ID=20	社員 ID = '20'
Null		社員 ID IS Null
NoNull		社員 ID IS NOT Null

※フィールド名のデー型が数値、日付の場合、検索方式:前方一致、後方一致、中間一致でエラー となります。

④ 汎用パラメータ 16(照会選択モード)は選択内容によって、以下のような違いがあります。

指定内容	動作
(空白)	選択を指示するチェックボックスのチェックが入った状態で表示します。
選択解除不可	選択を指示するチェックボックスが非表示となり、「採用」ボタンクリックで全
	て選択となります。
初期選択無し	選択を指示するチェックボックスのチェックが入らない状態で表示します。

- ⑤ a. 12 個の検索条件の内容を、サブ欄:検索条件展開セル名を左上のセル位置としてシートに 展開(表示)します。
  - b. 検索条件が設定されていない場合でも、12個分出力されるので、5列×12行の展開(表示) エリアが必要です。
  - c. 展開(表示)する列の順序は、NO、フィールド名、開始条件、終了条件、検索方式です。
  - d. タスク定義のシート名と違うシートに展開(表示)する時は、別シートのセルに名前定義し、 その名前を設定します。
- ⑥ 採用ボタンの表示文字「採用」を別の文字に変更できます。ボタンのサイズの関係で、表示できる 文字数は、4~5文字程度までです。
- ⑦ 非表示にすると検索条件設定のエリア非表示になります。
- ⑧ 汎用パラメータ20(自動計算):自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

⑨ 「改行なし」の場合、初期表示の最大列幅は 200 ピクセルです。

検索付データ照会画面のデータ選択機能

検索付データ照会画面では、「採用」ボタンのクリックで複数件のデータを選択するか、 キャンセルボタンのクリックで選択しないことができます。

クエリー定義の SQL 文によって表示データが決定しているので、表示順を変えたり、表示データ件数を 減じたりすることはできますが、SQL で取得した以上のデータを表示することはできません。 選択を支援する機能は、大別して2つあります。

1.フィールド名をクリックすると、クリックしたフィールドの昇順表示、降順表示が交互に切り替わり ます。その際、選択用チェックボックスのチェックは、全て外れます。



Z d		検索付データ	照会					_		_	_ 0
Ŧ	一只	#フィ-	ール	ド名		検索方	ī式	開妙	台条件	終.	了条件
拾ら	安冬体	10 检索条	0 1	赤冬桂雨				<u> </u>		1	· · · · ·
		道目(2,50D)	19 19	检索方4		RRaé	(# )		総 <b>フ</b> 値 🚺		検索実行
1	単価	P	×	範囲指定	V	(HI)G		~	WC 1 18		冬(在2018B(F
0	分類		~	範囲指定	~			~			#ITTOMIL
3	商品	名		中間一致	~			~		- 1	キャンセル
۲	単位		~	完全一致	~	0		~			
\$	て選	祝全て解除	8	選択件	:数:	25	件			(	採用
	選択	商品コード	商品	2	_	単位	単価	分類	dbs_status	DBS	CREATE_US
		1	商品1			12	1443.0000	3	1	demo	user
T	1	2	商品2			個	1449.0000	1	1	demo	user
	<b>V</b>	3	商品3			個	1450.0000	1	1	demo	user
	~	4	商品4			箱	11650.0000	4	1	demo	user
	~	5	商品5			箱	1500.0000	1	1	demo	user
	¥	6	商品6			箱	2000.0000	1	1	demo	user
	~	7	商品7			個	2000.0000	2	1	demo	user
	<b>V</b>	8	商品8			箱	1260.0000	2	1	demo	user
	1	9	商品9			箱	2100.0000	2	1	demo	user
	1	10	商品1	0		箱	1280.0000	2	1	demo	user
	<b>V</b>	11	商品1	1		箱	2000.0000	2	1	demo	user
	2	12	商品1	2		箱	2000.0000	2	1	demo	user
	¥	13	商品1	3		箱	2150.0000	2	1	demo	user
	1	14	商品1	4		箱	2000.0000	2	1	demo	user
	1	15	商品1	5		箱	2350.0000	2	1	demo	user
	1	16	商品1	6		箱	2000.0000	2	1	demo	user
	~	17	商品1	7		箱	1750.0000	2	1	demo	user
	1	18	商品1	8		箱	1150.0000	2	1	demo	user
	<b>V</b>	19	商品1	9		箱	2000.0000	2	1	demo	user



2. 表示データを検索する(絞り込む)機能があります。

フィールド(項目名)と検索方式と開始値、終了値を指定し、検索実行ボタンをクリックすると、表示デ ータが絞り込まれます。操作法は、次の通りです。

まず検索項目を、コンボボックスを開いて設定します。(表示データのフィールド名から選択できます。) 次に、検索方式と開始条件、終了条件を指定します。(補足③参照)

(検索条件を初期状態に戻す場合は、条件初期化ボタンをクリックします。)

検索実行ボタンをクリックすると表示データが絞り込まれ、チェックボックスのチェックは、初期状態に 戻ります。

上記の機能を適宜使って、目的のデータにチェックを付けます。

(全て選択ボタンをクリックしてから不要なものをクリックしてチェックを外す、または 全て解除ボタンをクリックしてから必要なものをクリックしてチェックを付けます。) 必要なデータ全てにチェックを付けてから「採用」ボタンをクリックすると、展開定義に従ってデータを 展開(表示)します。

### 3.「表示データのスクロール」

<u>d</u>

下記の操作を行うことで、表示データをスクロールすることができいます。

列の移動のキーボード操作						
+	前列に移動					
$\rightarrow$	次 刃 に 移動  <b< th=""></b<>					
CTRL+←						
CTRL+→	最終列に移動					

行の移動のキーボード操作							
↑	前行に移動						
↓	次行に移動						
CTRL+↑	先頭行に移動						
CTRL+↓	最終行に移動						

■ 使用例

db

「タスクタイプ:SQL(照会)」を実行した結果です。

	商品マン	マタ				データベース内 検索付データ展
😂 曲S-救索付データ	E A					のデータが Exc
テータ照会・間前	1779					
項目名(PD) の 単価 の 分類 の 単位	検索方式           ●<           ● </th <th>NRAS I</th> <th></th> <th>終了値</th> <th></th> <th></th>	NRAS I		終了値		
全て選択(全て解除	8 検索結果:	0	件		\$6, <b>9</b> 1	
選択 商品コード	商品名	単位	単価 分類	DBS_STATUS	DBS_CREATE_U	
	商品1	18	1250.0000 1	1	demouser	
	商品3	箱	1450.0000 2	1	demouser	
1 4	106254	箱	1650.0000 2	1	demouser	
		箱	1750.0000 2	1	demouser	
5	#1665					
5 6	商品5 商品6	箱	1998.0000 2	1	demouser	
5 6 7	商品6 商品7	箱 箱	1998.0000 2 2000.0000 2	1	demouser demouser	
5 6 7 8	新設5 約最6 新設7 約最8	箱箱	1998.0000 2 2000.0000 2 1260.0000 2	1	demouser demouser demouser	
5 6 7 8 9	商品5 商品5 商品7 商品9 商品9	箱 箱 箱	1998.0000 2 2000.0000 2 1290.0000 2 1995.0000 2	1 1 1 1	demouser demouser demouser demouser	

データベース内の「商品マスタ」テーブルを読込み、 検索付データ展開画面に表示し、選択された複数件 のデータが Excel シートに展開します。

名前定義: 商品マスタ先 (C17 セルス	頭位置 を名前定	義)						i i	名前定義: 商品マスタエリア		
i i	AB	С	D	F	F	G	Н	I	J	К	I
	1	_						-			
	2 204	4. 検索	付データ照会								
	3										
	16	商品コー	ド 商品名	単位	単価	分類	DBS_STATUS	DBS_CREATE_USER	BBS_CREATE_DATE	DBS_UPDATE_USER	DBS_UPDATE_DATE
	17	1	商品1	個	1250	1	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827
	18	2	商品2	箱	1350	2	1	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	19	3	商品3	箱	1450	2	1	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	20	4	商品4	箱	1650	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	21	5	商品5	箱	1750	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	22	6	商品6	箱	1998	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	23	7	商品7	箱	2000	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	24	8	商品8	箱	1260	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	25	9	商品9	箱	1985	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	26	10	商品10	箱	1280	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	27	11	商品11	箱	1999	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	28	12	商品12	箱	1000	2	1	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	29	13	商品13	箱	2150	2	1	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	30	14	商品14	箱	2000	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	31	15	商品15	箱	2350	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義
- 展開定義(展開一覧定義を含みます)
- Excel シート
db

		タスク定義編集画面の範囲			
	A	В	С	D	
1	タイトル	サブ	*	内容	
2	TASKNO		*	2200	1
3	タスク名		*	検索付照会(204)	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	204	
6	タスクタイプ名		*	検索付データ照会画面	
7	タスクタイプ属性			拡張	
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	SampleタスクタイプV4xls	— A
10	シート名			検索付データ照会	
11	QNO			2200	В
12	クエリー名			検索付照会(204)	
13	DNO			2200	
14	処理条件判定セル	実行判定			
15	定義有効無効フラグ				
16	コメント欄				
17	画面名称			データ照会・商品マスタ	— C
18	セル指定属性	[			_
19	汎用パラメータ1	検索条件1		単価   範囲指定 変更不可	
20	汎用パラメータ2	検索条件2		分類  範囲指定	
21	汎用パラメータ3	検索条件3		商品名   中間一勁変更不可	
22	汎用パラメータ4	検索条件4		単位  完全一致	
23	汎用パラメータ5	検索条件5			
24	汎用パラメータ6	検索条件6			
25	汎用パラメータ7	検索条件7			
26	汎用バラメータ8	検索条件8			
27	汎用バラメータ9	検索条件9			
28	汎用パラメータ10	検索条件10			
29	汎用パラメータ11	検索条件11			
30	汎用パラメータ12	検索条件12			
31	汎用バラメータ13	照会画面の備幅			
32	汎用バラメータ14	照会画面の纐嵋			
33	汎用パラメータ15	改行・最大化表示			
34	汎用パラメータ16	照会選択モード			
35	汎用バラメータ17	検索条件展開セル名			
36	汎用バラメータ18	「採用」の文字変更			
37	汎用パラメータ19	条件設定エリア			
38	汎用バラメータ20	自動計算		後再計算	
39	空白文字処理方法		a contra		

A·····・ このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名

(Sample タスクタイプ V4.xls)です。

- B······ 実行時に表示するシート("検索付データ照会")を指定省略すると、表示するシートはかわりません。
- C······ 画面名称("データ照会・商品マスタ")を設定します。
- D..... 検索条件を入力します。この場合、検索条件4まで入力しています。

#### クエリー定義の例

		クエリー定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	クエリー名		*	集計表自動作成1230)_集計表作成2
3	クエリータイプ		*	照会
4	クエリー属性		*	Query
5	DBNO		*	1
6	エイリアス名			SampleDB
7	テーブル名			集計表テーブル
8	BKNO	旧仕様		
9	ブック名	旧仕様		
10	取得データ件数セル	旧仕様		
11	SQL文			SELECT [地球], [大陸], [国], [エリ
12	排他制御タイプ			
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			

タスク定義の例

#### 展開定義の例

dbs

8		展開定義編集画面の範	Ħ			
1	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	2020	
2	DNO		*	2200		
3	データ展開名			展開_検索付照会(204)	10000	
4	処理順NO		and a second	1	23-23	
5	定義区分			クエリー定義	000	
6	タイプ			照会		
7	タスク・展開属性			全選択データー括		
8	データ項目名					
9	数式OR值				0.0	
10	定義有効無効フラグ					
11	コメント欄					
12	シート名			検索付データ照会		
13	セル指定属性					Α
14	セル範囲			の商品マスタ先頭位置		
15	セル展開範囲定義名			の商品マスタエリア	_	R
16	シート保護有無				1.1.1.1.	D
17	シート保護解除PW				10.00	
18	自動計算方法					
19	行列方向	データ行列方向		行		
20	更新行OR列数指示セル	取得データ件数セル		@商品マスタ取得件数セル	-	С

A…… 表示データ表示エリアの左上のセル位置を指定します。

B······表示エリアを補足するセル範囲で、Excelの名前定義した名前を指定します。

C…… 取得したデータ件数を設定するセル位置または名前定義を指定します。

# 2.27 205:検索付データ照会画面 II タスクタイプ属性(空白)

■ 機能

db

クエリー定義で指定された SQL 情報を実行し、その読み込みデータを下図の選択用の画面(ウィンドウ)に表示します。

		dbS-検索付デー	い用ハフメーク 2005	913	(照云画	圓の	傾幅)			いてまた。 派用パラメータ
		テータ照会・商品	フィールド名	検索方	式 開	附条	件 終了	<b>柔件</b>	<b>p</b> - 1	1~12
	Г	項目名(列)	検索方式	検索	値			14±=		
	0	) 単価	▶ 範囲指定 ▶		-	~				
	Q	) 分類	🛛 範囲指定 🔽			~		条件初期化	Ĭ	
	-	商品名	▼ 中間一致 ▼		1.2				H	
	0	単位	🗙 完全一致 💌					**721	$\sim$	
	Ĺ	26						+5 -	U	
	L	全て選択全て解	<b>滁</b> 選択件数:	25	件			**	X	汎用パラメータ
		選択 商品コード	商品名	単位	単価	分類	dbs_status	DBS_CREATE_USEF		(「採用」の文字図
55		1	商品1	18	1443.0000	3	1	demouser	17)	ベラネリト マリ
西		2	商品2	18	1449.0000	1	1	demouser	4	テノオルトロ
折		3	商品3	ſð	1450.0000	1	1	demouser	$\sim$	採用ボタンです
の		☑ 4	商品4	箱	11650.0000	4	1	demouser	词 词	
た		5	商品5	箱	1500.0000	1	1	demouser		
め		6	商品6	箱	2000.0000	1	1	demouser	Œ	
		7	商品7	18	2000.0000	2	1	demouser	国	
0)		8	商品8	箱	1260.0000	2	1	demouser	9	
+		9	商品9	箱	2100.0000	2	1	demouser	夏	
I		10	商品10	箱	1280.0000	2	1	demouser	Ē	
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		11	商品11	箱	2000.0000	2	1	demouser	$\sim$	
5		12	商品12	箱	2000.0000	2	1	demouser		
		13	商品13	箱	2150.0000	2	1	demouser		
	-	14	商品14	箱	2000.0000	2	1	demouser		
ッ		15	商品15	箱	2350.0000	2	1	demouser		
	_	16	商品16	箱	2000.0000	2	1	demouser		
		17	商品17	箱	1750.0000	2	1	demouser		
스		18	商品18	箱	1150.0000	2	1	demouser	1	
		19	商品19	箱	2000.0000	2	1	demouser	V	

- (ア)選択用の画面(ウィンドウ)の表示データの中から、複数件のデータを選択(チェックボック スにチェックを入れる)し、採用ボタンをクリックします。
- (イ) 展開定義で指定された Excel のセル位置にデータを展開します。
- ② データ展開前に、前回展開した領域の値のみをクリアします。展開定義側の指定でクリアしない指 定も可能です。

# ■ 画面イメージ

dby

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	2200		
З	タスク名		*	新検索付照会(205)		
4	処理順NO		*	1		
5	920917N0		*	205		
6	タスクタイプ名		*	検索付データ照会画面		
7	BKNO		*			
8	ブック名		*	SampleタスクタイプV4xls	and the assessment of the second second	
9	シート名		0.000	検索付データ照会	開始時のシート名	
10	GNO			2200		補足①
11	クエリー名			検索付照会(205)		補足①
12	DNO			2200		補足②
13	処理条件判定セル	実行判定	0			
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	画面名称			データ照会・商品マスタ	データ検索・照会	
17	セル指定属性					
18	汎用バラメータ1	検索条件1		単価   範囲指定 変更不可		補足③
19	汎用バラメータ2	検索条件2		分類   範囲指定		
20	汎用バラメータ3	検索条件3		商品名II中間一致変更不可		
21	汎用バラメータ4	検索条件4	0	単位  完全一致		
22	汎用バラメータ5	検索条件5				
23	汎用バラメータ6	検索条件6				
24	30月パラメータ7	検索条件7				
25	汎用バラメータ8	検索条件8				
26	汎用バラメータ9	検索条件9	_			
27	汎用バラメータ10	検索条件10				
28	汎用バラメータ11	検索条件11				
29	汎用バラメータ12	検索条件12	0			
30	汎用バラメータ13	照会画面の橫幅			580、拡張673	
31	汎用パラメータ14	照会画面の縦幅			500、拡張673	
32	汎用パラメータ15	改行・最大化表示			最大化しない	
33	汎用パラメータ16	照会選択モード			全部選択	補足④
34	汎用パラメータ17	検索条件展開セル名			展開しない	補足⑤
35	汎用パラメータ18	「採用」の文字変更			採用	補足圖
36	汎用パラメータ19	条件設定エリア			表示	補足⑦
37	汎用パラメータ20	自動計算	0	後再計算	再計算しない	補足⑧
38	空白文字処理方法				同もしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可)(注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>205</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>検索付データ照会画面Ⅱ</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	入力しません。
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
QNO	.実行する SQL 文が定義してある QNO を指定します。QNO はクエ
	リー定義にて登録します。(注1、7)
クエリー名	自動表示します。(省略不可)
DNO	.実行時にExcelに展開するセル位置が定義してあるDNOを指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1、8)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)

di X

dbSheetClient

	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	. 開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
画面名称	データ照会画面のタイトルを入力します。(■機能 参照)
セル指定属性	.入力されたデータを展開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し
	ます。(注4)
	<ol> <li>         ① 直接         ③ 間接アドレス     </li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	.検索条件を入力します。(■機能、補足③ 参照)
	検索付データ照会(F4)ボタンのクリックが有効です。
汎用パラメータ n	.検索条件を入力します。(■機能、補足③ 参照)
	n が、12 まで、設定できます。
	実行時の画面で、検索条件→n=1~12の検索条件が表示します。
	検索付データ照会(F4)ボタンのクリックが有効です。
	各項目の検索条件が全て満足されなければ、選択表示されません。
	開始条件、終了条件の両方とも未入力の場合は、満足したとします。
	(AND 条件)
汎用パラメータ 13	.データ照会画面の横幅を、ピクセル(画素)数で指定します。
	(■機能 参照)
汎用パラメータ 14	.データ照会画面の縦幅を、ピクセル(画素)数で指定します。
	(■機能 参照)
汎用パラメータ 15	.データ照会画面内のデータ行の改行を有効にさせたい時、" <b>改行あり</b> "
	と指定します。データ照会画面を最大化表示させたい時、" <b>最大化</b> "と
	指定します。
	① 改行なし ③ 最大化
	<ol> <li>② 改行あり</li> <li>④ 最大化+改行</li> </ol>
汎用パラメータ 16	.照会選択モードは、次の選択肢から指定します。
	① 選択解除不可
	② 初期選択無し

di X

汎用パラメータ 17	選択条件をシートに	展開(表示)するセル位置	置を設定します。
	ここで設定したセル	レ位置を左上とするセル範	囲に選択条件を出力し
	ます。		
汎用パラメータ 18	実行時データ選択を	完了する時、クリックする	るボタンの名称を設定し
	ます。(■機能 参	照)	
汎用パラメータ 19	画面上部の検索条件	+設定エリアを表示するかと	ごうかを選択します。
	① 表示する		
	② 表示しない		
汎用パラメータ 20	自動計算のタイミン	ノグを指定します。	
	本タスクまたは以降	<b>译のタスクで、セルの内容</b> を	を参照して実行する場合
	に指定します。(注	1、6)	
	① 前再計算	④ シート前再計算	
	② 後再計算	⑤ シート後再計算	
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算	
空白文字処理方法	データの前後にある	る半角空白文字を除外する	場合の方法を指定しま
	オ (汁1 5)		
	$9 \circ (T = 1, 0)$		
	9。(注1、3) ① (空白)	③右削除(RTRIM)	
	9。(注1、5) ① (空白) ② 左削除(LTRIM)	③右削除(RTRIM) ④左右削除(TRIM)	
	9。(注1、5) ① (空白) ② 左削除(LTRIM)	③右削除(RTRIM) ④ 左右削除(TRIM)	
(注9)詳細は、『開発版リファレ	9。(注中、5) ① (空白) ② <b>左削除(LTRIM)</b> ッンスマニュアル』	③ 右削除(RTRIM) ④ 左右削除(TRIM) 「第2部 第4章 4.7	7各定義の編集方法のシ
(注9)詳細は、『開発版リファレ ート名を使っている定義	9。(注1、5) ① (空白) ② <b>左削除(LTRIM)</b> /ンスマニュアル』 」を参照して下さい。	③ <b>右削除(RTRIM)</b> ④ <b>左右削除(TRIM)</b> 「第2部 第4章 4. 7	7各定義の編集方法のシ
(注9) 詳細は、『開発版リファレ ート名を使っている定義 (注10)	9。(注1、5) ① (空白) ② <b>左削除(LTRIM)</b> ンスマニュアル』 」を参照して下さい。 詳細は、	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 「</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> </ul>	7各定義の編集方法のシ 目について』を参照して
(注9) 詳細は、『開発版リファレ ート名を使っている定義 (注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9。(注1、5) ① (空白) ② <b>左削除(LTRIM)</b> ンスマニュアル』 」を参照して下さい。	3 右削除(RTRIM) ④ 左右削除(TRIM) 「第2部 第4章 4. 「 『2.1 タスク定義の全項目	7各定義の編集方法のシ 目について』を参照して
<ul> <li>(注9) 詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	9。(注下、5) ① (空白) ② <b>左削除(LTRIM)</b> ハンスマニュアル』 」を参照して下さい。 ・・・・・詳細は、	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 「</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> </ul>	7各定義の編集方法のシ 目について』を参照して 能分類と概要について』
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	9。(注1、5) ① (空白) ② <b>左削除(LTRIM)</b> /ンスマニュアル』 」を参照して下さい。 詳細は、	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 「</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> </ul>	7各定義の編集方法のシ 目について』を参照して 能分類と概要について』
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義。</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	9。(注下、5) ① (空白) ② <b>左削除(LTRIM)</b> ンスマニュアル』 」を参照して下さい。 詳細は、 詳細は、	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 7</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指数</li> </ul>	7 各定義の編集方法のシ 目について』を参照して 能分類と概要について』 Eについて』を参照して
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義。</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	9。(注1、5) ① (空白) ② <b>左削除(LTRIM)</b> ンスマニュアル』 」を参照して下さい。 詳細は、 詳細は、	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 7</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指数</li> </ul>	7 各定義の編集方法のシ 目について』を参照して 単分類と概要について』 Eについて』を参照して
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義。</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>9.(注下、5)</li> <li>① (空白)</li> <li>② 左削除(LTRIM)</li> <li>ハンスマニュアル』</li> <li>」を参照して下さい。</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> </ul>	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 「</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指数</li> <li>『2.8 空白文字処理方法は</li> </ul>	7各定義の編集方法のシ 目について』を参照して 能分類と概要について』 Eについて』を参照して
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ol> <li>(空白)</li> <li>(空白)</li> <li>左削除(LTRIM)</li> <li>シスマニュアル』</li> <li>を参照して下さい。</li> <li>・・・・・・詳細は、</li> <li>・・・・・・・・詳細は、</li> <li>・・・・・・・・詳細は、</li> </ol>	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 「</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指数</li> <li>『2.8 空白文字処理方法に</li> </ul>	7各定義の編集方法のシ 目について』を参照して 皆分類と概要について』 Eについて』を参照して こついて』を参照してく
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義。</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>9。(注下、5)</li> <li>① (空白)</li> <li>② 左削除(LTRIM)</li> <li>シスマニュアル』</li> <li>」を参照して下さい。</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> </ul>	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 7</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指統</li> <li>『2.8 空白文字処理方法は</li> <li>『2.9 自動計算について』</li> </ul>	7 各定義の編集方法のシ 目について』を参照して 能分類と概要について』 を参照してください。
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義。</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>9。(注下、5)</li> <li>① (空白)</li> <li>② 左削除(LTRIM)</li> <li>シスマニュアル』</li> <li>」を参照して下さい。</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> </ul>	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 7</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指統</li> <li>『2.8 空白文字処理方法は</li> <li>『2.9 自動計算について』</li> <li>『【クエリー定義リファレ</li> </ul>	7各定義の編集方法のシ 目について』を参照して ど分類と概要について』 を参照してください。 ンス編】』を参照してく
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義.</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>9.(注下、5)</li> <li>① (空白)</li> <li>② 左削除(LTRIM)</li> <li>ハンスマニュアル』</li> <li>レスマニュアル』</li> <li>レる参照して下さい。</li> <li>・・・・・詳細は、</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 「</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指統</li> <li>『2.8 空白文字処理方法に</li> <li>『2.9 自動計算について』</li> <li>『(クエリー定義リファレ</li> </ul>	7各定義の編集方法のシ 目について』を参照して 能分類と概要について』 を参照してください。 ンス編]』を参照してく
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義。</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>9.(注下、5)</li> <li>① (空白)</li> <li>② 左削除(LTRIM)</li> <li>ハンスマニュアル』</li> <li>レて下さい。</li> <li>レて下さい。</li> <li>・・・・・詳細は、</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 7</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指統</li> <li>『2.8 空白文字処理方法は</li> <li>『2.9 自動計算について』</li> <li>『【欠エリー定義リファレンス器</li> </ul>	7 各定義の編集方法のシ 目について』を参照して を参照してのいて』を参照して こついて』を参照してく たる参照してください。 ンス編】』を参照してくださ
<ul> <li>(注9)詳細は、『開発版リファレート名を使っている定義。</li> <li>(注10) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>9.(注1、5)</li> <li>① (空白)</li> <li>② 左削除(LTRIM)</li> <li>ハンスマニュアル』</li> <li>」を参照して下さい。</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> <li>詳細は、</li> </ul>	<ul> <li>③ 右削除(RTRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>④ 左右削除(TRIM)</li> <li>「第2部 第4章 4. 7</li> <li>『2.1 タスク定義の全項目</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.2 タスクタイプの機能</li> <li>『2.7 セルのアドレス指統</li> <li>『2.8 空白文字処理方法は</li> <li>『2.9 自動計算について』</li> <li>『【クエリー定義リファレンス都</li> <li>『【展開定義リファレンス都</li> </ul>	7 各定義の編集方法のシ 目について』を参照して と分類と概要について』 を参照してください。 ンス編】』を参照してくださ

- 使用上の注意
  - ① Excel シート内にデータを展開するには、必ず展開定義を設定してください。
  - ② 一度に取得できるデータサイズは2GBです。
     通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
     秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)
  - ③ Excel シートに展開できる最大行数、最大列数については、『2.10 制限事項』を参照してください。
  - ④ オートフィルタを設定している領域は、オートフィルタをかけない状態でデータ展開(表示)します。そうしないと、正常にデータ展開(表示)できません。
     オートフィルタの解除については、『2.120.430: EXCEL コマンド』参照してください。
  - ⑤ SELECT 文では、サブクエリーに対しては、対応していません。

### ■ 補足

db🟏

- ① クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ② 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ③ 検索条件は、入力パターンがあります。

タスクタイプ属性	設定パターン
入力しません	フィールド名 開始条件 終了条件 検索方式 変更不可

#### 各要素は、次の通りです。

フィールド名	表示データのフィールド名を指定します。
検索方式	次の選択肢があります。
	範囲指定、前方-致、後方-致、中間-致、完全-致、Null、NoNull
開始条件	検索条件:範囲指定の場合、最小値を設定します。
	検索条件:範囲指定 以外の場合、検索値を設定します。
終了条件	検索条件:範囲指定の場合、最大値を設定します。
	検索条件:範囲指定 以外の場合、設定しません。
変更不可	実行時、項目名(フィールド名)、検索方式(検索条件)の
	変更の有無(変更可、変更不可)を指定します。
	区切り記号で、半角の縦棒です

検索条件は、フィールド名のデータを次のように検索し(絞り込み)ます。

ここでは、フィールド名:社員ID(文字列)、開始条件:20、終了条件:29と仮定します。

検索方式	検索結果	SQL 文の WHERE 句
範囲指定	社員ⅠD≧20 かつ社員ⅠD≦29 社員ⅠD	BETWEEN '20' AND '29'
前方一致	社員 ID の先頭部分が 20(開始条件)で始まっている	社員 ID LIKE '20%'
後方一致	社員 ID の末尾部分が 20(開始条件)で終わっている	社員 ID LIKE '%20'
中間一致	社員 ID のどこかに 20(開始条件)を含んでいる	社員 ID LIKE '%20%'
完全一致	社員 ID=20	社員 ID = '20'
Null		社員 ID IS Null
NoNull		社員 ID IS NOT Null

※フィールド名のデー型が数値、日付の場合、検索方式:前方一致、後方一致、中間一致でエラー となります。

④ 汎用パラメータ 16(照会選択モード)は選択内容によって、以下のような違いがあります。

指定内容	動作
(空白)	選択を指示するチェックボックスのチェックが入った状態で表示します。
選択解除不可	選択を指示するチェックボックスが非表示となり、「採用」ボタンクリックで全
	て選択となります。
初期選択無し	選択を指示するチェックボックスのチェックが入らない状態で表示します。

- ⑤ a. 12 個の検索条件の内容を、サブ欄:検索条件展開セル名を左上のセル位置としてシートに 展開(表示)します。
  - b. 検索条件が設定されていない場合でも、12個分出力されるので、5列×12行の展開(表示) エリアが必要です。
  - c. 展開(表示)する列の順序は、NO、フィールド名、開始条件、終了条件、検索方式です。
  - d. タスク定義のシート名と違うシートに展開(表示)する時は、別シートのセルに名前定義し、 その名前を設定します。
- ⑥ 採用ボタンの表示文字「採用」を別の文字に変更できます。ボタンのサイズの関係で、表示できる 文字数は、4~5文字程度までです。
- ⑦ 非表示にすると検索条件設定のエリア非表示になります。
- ⑧ 汎用パラメータ20(自動計算):自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

▶ 検索付データ照会画面のデータ選択機能

検索付データ照会画面では、「採用」ボタンのクリックで複数件のデータを選択するか、 キャンセルボタンのクリックで選択しないことができます。

クエリー定義の SQL 文によって表示データが決定しているので、表示順を変えたり、表示データ件数を 減じたりすることはできますが、SQL で取得した以上のデータを表示することはできません。 選択を支援する機能は、大別して2つあります。

1. フィールド名をクリックすると、クリックしたフィールドの昇順表示、降順表示が交互に切り替わります。その際、選択用チェックボックスのチェックは、全て外れます。

	፼ dbS-検索付デー データ照会・商	々照会 日フィールド名	検索ア	5式 開始条	件 終了	?条件	検索実行ボタン
全て選択ボタン	項目名の(1) ① 単価 ② 分類 ③ 商品名 ④ 単位 全て選択 全で	検索方式         検索方式           < 範囲指定            < 範囲指定            < 範囲指定            < 範囲指定            < 第二十二            < 完全一致            < 洗金一致	検索 25		K		<ul> <li>条件初期化ボタン</li> <li>キャンセルボタン</li> <li>「採用」ボタン</li> </ul>
全(解除ホタン	選択 商品コード	商品名	単位	単価 分類	dbs_status	DBS_CREATE_USEF	「フィールド名」
	1	商品1	(8	1443.0000 3	1	demouser	
	2	商品2	íð	1449.0000 1	1	demouser	
	3	商品3	íð	1450.0000 1	1	demouser	スクロールハー
	☑ 4	商品4	箱	11650.0000 4	1	demouser	
	5	商品5	箱	1500.0000 1	1	demouser	
	6	商品6	箱	2000.0000 1	1	demouser	
	7	商品7	18	2000.0000 2	1	demouser	
	8	商品8	箱	1260.0000 2	1	demouser	
	9	商品9	箱	2100.0000 2	1	demouser	
	10	商品10	箱	1280.0000 2	1	demouser	
	11	商品11	箱	2000.0000 2	1	demouser	
	12	商品12	箱	2000.0000 2	1	demouser	
	13	商品13	箱	2150.0000 2	1	demouser	
	14	商品14	箱	2000.0000 2	1	demouser	
	15	商品15	箱	2350.0000 2	1	demouser	
	16	商品16	箱	2000.0000 2	1	demouser	
	17	商品17	箱	1750.0000 2	1	demouser	
	18	商品18	箱	1150.0000 2	1	demouser	
	< ☑ 19	商品19	箱	2000.0000 2	1	demouser	

2. 表示データを検索する(絞り込む)機能があります。

フィールド(項目名)と検索方式と開始値、終了値を指定し、検索実行ボタンをクリックすると、表示デ ータが絞り込まれます。操作法は、次の通りです。

まず検索項目を、コンボボックスを開いて設定します。(表示データのフィールド名から選択できます。) 次に、検索方式と開始条件、終了条件を指定します。(補足③参照)

(検索条件を初期状態に戻す場合は、条件初期化ボタンをクリックします。)

検索実行ボタンをクリックすると表示データが絞り込まれ、チェックボックスのチェックは、初期状態に 戻ります。

上記の機能を適宜使って、目的のデータにチェックを付けます。

(全て選択ボタンをクリックしてから不要なものをクリックしてチェックを外す、または
 全て解除ボタンをクリックしてから必要なものをクリックしてチェックを付けます。)
 必要なデータ全てにチェックを付けてから「採用」ボタンをクリックすると、展開定義に従ってデータを

展開(表示)します。

## ■ 使用例

dby

「タスクタイプ:SQL(照会)」を実行した結果です。



データベース内の「商品マスタ」テーブルを読込み、 検索付データ展開画面に表示し、選択された複数件 のデータが Excel シートに展開します。

名前定義:									_			
商品マスタ先	頭位置								:	名前定義:		
(C17 セルを名前定義)					i	商品マスタエリア						
,		_									1	
	A	B	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	L
	1											
	2 2	204	. 検索付	データ照会								
	3											
	16	T.	新品コード	商品名	単位	単価	分類	DBS_STATUS	DBS_CREATE_USER	▶ DBS_CREATE_DATE	DBS_UPDATE_USER	DBS_UPDATE_DATE
	17		(1	商品1	個	1250	1	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	18		2	商品2	箱	1350	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	19		3	商品3	箱	1450	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827
	20		4	商品4	箱	1650	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	21		5	商品5	箱	1750	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827
	22		6	商品6	箱	1998	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827
	23		7	商品7	箱	2000	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	24		8	商品8	箱	1260	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	25		9	商品9	箱	1985	2	1	de mouse r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	26		10	商品10	箱	1280	2	1	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827
	27		11	商品11	箱	1999	2	1	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	28		12	商品12	箱	1000	2	1	de mo use r	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	29		13	商品13	箱	2150	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	30		14	商品14	箱	2000	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827
	31		15	商品15	箱	2350	2	1	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827	demouser	DT2007-05-30 16:00:52.827

#### 定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義
- 展開定義(展開一覧定義を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

db

		タスク定義編集画面の範	ĒĦ	
	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	+	内容
2	TASKNO		*	2200
3	タスク名		*	新検索付照会(205)
4	処理順NO		*	1
5	970917N0		*	205
6	タスクタイプ名		*	検索付データ照会画面
7	BKNO		*	1
8	ブック名		*	SampleタスクタイプV4xls
9	シート名			検索付データ照会
0	QNO			2200
11	クエリー名			検索付照会(205)
12	DNO			2200
13	処理条件判定セル	実行判定		
4	定義有効無効フラグ			
5	コメント欄			
6	画面名称			データ照会・商品マスタ
17	セル指定属性	01010-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0	21010101010	
8	汎用バラメータ1	検索条件1		単価  範囲指定変更不可
9	汎用バラメータ2	検索条件2		分類  範囲指定
20	汎用バラメータ3	検索条件3		商品名Ⅲ中間 <mark>一</mark> 致変更不可
21	汎用パラメータ4	検索条件4		単位  完全一致
22	汎用バラメータ5	検索条件5		
3	汎用バラメータ6	検索条件6		
4	汎用バラメータ7	検索条件7		
25	汎用パラメータ8	検索条件8	01010101010	
26	汎用パラメータ9	検索条件9		
27	汎用パラメータ10	検索条件10		
28	汎用バラメータ11	検索条件11		
29	汎用パラメータ12	検索条件12		
30	汎用バラメータ13	照会画面の横幅		
31	汎用バラメータ14	照会画面の縦幅		
32	汎用バラメータ15	改行・最大化表示		
33	汎用パラメータ16	照会選択モード	010101010	
34	汎用パラメータ17	検索条件展開セル名		
35	汎用パラメータ18	「採用」の文字変更		
36	汎用パラメータ19	条件設定エリア		
37	汎用パラメータ20	自動計算		後再計算
38	空白文字叭理方法			

A······ このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名 (Sample タスクタイプ V4.xls)です。

- B······ 実行時に表示するシート("検索付データ照会")を指定省略すると、表示するシートはかわりません。
- C·····・ 画面名称("データ照会・商品マスタ")を設定します。
- D.....検索条件を入力します。この場合、検索条件4まで入力しています。

#### クエリー定義の例

クエリー定義編集画面の範囲					
	A	В	С	D	
1	タイトル	サブ	*	内容	
2	クエリー名		*	集計表自動作成1230)_集計表作成2	
3	クエリータイプ		*	照会	
4	クエリー属性		*	Query	
5	DBNO		*	1	
6	エイリアス名			SampleDB	
7	テーブル名			集計表テーブル	
8	BKNO	旧仕様			
9	ブック名	旧仕様			
10	取得データ件数セル	旧仕様			
11	SQL文			SELECT [地球], [大陸], [国], [エリ	
12	排他制御タイプ				
13	定義有効無効フラグ				
14	コメント欄				

#### 展開定義の例

dbs

		展開定義編集画面の範	Ħ		
	A	В	C	D	
1	タイトル	サブ	+	内容	
2	DNO		*	2200	
3	データ展開名			展開_新検索付照会(205)	
4	処理順NO		arara di la n	1	
5	定義区分			クエリー定義	50.
6	タイプ			照会	
7	タスク・展開属性			全選択データー括	
8	データ項目名				
9	数式OR值				
10	定義有効無効フラグ				
11	コメント欄				
12	シート名			検索付データ照会	
13	セル指定属性				
14	セル範囲			@商品マスタ先頭位置	
15	セル展開範囲定義名			@商品マスタエリア	
16	シート保護有無				
17	シート保護解除PW				0
18	自動計算方法				
19	行列方向	データ行列方向		ħ	
20	更新行OR列数指示セル	取得データ件数セル		@商品マスタ取得件数セル	

A…… 表示データ表示エリアの左上のセル位置を指定します。

B······表示エリアを補足するセル範囲で、Excelの名前定義した名前を指定します。

C…… 取得したデータ件数を設定するセル位置または名前定義を指定します。



# 2.28 223:トランザクション タスクタイプ属性(開始、コミット、ロールバック)

■ 機能

db

- タスク定義、1行のDBデータ更新処理は、トランザクション処理になっていますが、タスク定義: 複数行のDBデータ更新処理をまとめてトランザクション処理にするのがこのタスクタイプ:トランザクションです。
- トランザクション処理の開始とコミットの指定をします。
   エラーになった場合、ロールバックします。
- ③ 独自の判定により、コミットせずにロールバックすることが可能です。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1720		
3	タスク名		*	トランザクション(223)_更新		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	223		
6	タスクタイプ名		*	トランザクション		
7	タスクタイプ属性		*	開始		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SampleタスクタイプV4xls		
10	シート名			トランザクション	開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

## ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>223</b> "を入力します。(省略不可) (注1、2)
タスクタイプ名	" <b>トランザクション</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	次から指定します。
	<ol> <li>開始</li> <li>③ ロールバック</li> </ol>
	② コミット
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するシートを選択します。(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、3)
	セルの値:"True"=実行する、"False"=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効

2 無効

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意

ib🏏

トランザクション処理として、指定できるタスクタイプ【タスクタイプ属性】と、指定できないものは、次の通りです。

トランザクション処理の指定可能	トランザクション処理の指定不可		
SQL【更新】、SQL【指定更新】、	SQL【照会】、SQL【SQL更新】		
SQL【削除】	SQL以外のタスクタイプ		

- ② 複雑な処理のトランザクション処理をする時は、タスクタイプ属性:SQL更新とし、そのクエリー 定義のSQL文の中に記述します。
- ③ トランザクション処理の中のエラーメッセージの設定は、トランザクション【コミット】の設定行に設定します。

#### ■ 使用例

2個のタスクタイプ【タスクタイプ属性】:SQL【更新】をトランザクション処理する例です。



定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- Excel シート

タスク定義の例

2 1720トランザクション(223)更新 1 223トランザクション 開始 1 Sample タスクタイプV4.xlsトランザク	
	ション
3   1/20トラノリクショノ(223),受利 2 201 SQL 受利 L I SampleダスクダイフV4.XIS	
4 1720トランザクション(223)更新 3 201 SQL 更新 1 Sample タスクタイプV4.xls	
5 1720トランザクション(223) 更新 4 223トランザクション コミット 1 Sample タスクタイプV4.xlsトランザク	ション

A······トランザクション【開始】とトランザクション【コミット】の間に更新処理のタスク設定行 を挿入します。

### 2.29 224: SQL 一括照会 タスクタイプ属性(開始、終了)

■ 機能

db

- ① データベースからデータを取得する複数の処理に対して、一回の処理で、データを取得します。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	15171		
3	タスク名		*	SQL-括照会(224)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	224		
6	タスクタイプ名		*	SQL一括照会		
7	タスクタイプ属性		*	開始		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SampleタスクタイプV4.xls		
10	シート名			SQL一括照会	開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	. " <b>224</b> "を入力します。(省略不可) (注1、2)
タスクタイプ名	. " <b>SQL 一括照会</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	、次から指定します。
	① 開始
	② 終了
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するシートを選択します。(注1、2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、3)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
	カです。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

■ 使用上の注意

dby

 SQLー括照会では、データを取得する処理を対象にしています。指定できるタスクタイプ【タス クタイプ属性】と、指定できないものは、次の通りです。

SQLー括照会処理の指定可能	SQLー括照会処理の指定不可					
SQL【照会】、	SQL【SQL更新】(更新)、SQL【更新】、SQL【削除】、					
SQL【SQL更新】(照会)	SQL【指定更新】、SQL以外のタスクタイプ					

#### ■ 補足

 高速に処理するため、SQLー括照会では、複数のタスクのSQL文を一つのSQL文にまとめて 一度にデータを取得します。次にそれぞれのセルに配置します。

■ 使用例

SQL 【照会】、SQL 【SQL更新】(照会)の2つの処理をSQL-括照会処理する例です。



定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- Excel シート

タスク定義の例

1	TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイプNO	タスクタイプ名	タスクタイプ属性	BKNO	ブック名	シート名
2	15171	SQL一括照会(224)	1	224	SQL一括照会	開始	1	SampleタスクタイプV4.xls	SQL一括照会
3	15171	SQL一括照会(224)	2	201	SQL	照会し	1	SampleタスクタイプV4.xls	SQL一括照会
4	15171	SQL一括照会(224)	3	201	SQL	SQL更新 了	<b>1</b>	SampleタスクタイプV4.xls	SQL一括照会
5	15171	SQL一括照会(224)	4	224	SQL一括照会	終了	Z	SampleタスクタイプV4.xls	SQL一括照会

A······ SQL-括照会【開始】とSQL-括照会【終了】の間に、照会処理のタスク設定行 を挿入します。 230:集計表自動作成

dby

2.30



	シートパ	ターシ					
	地球	大陸	地域	1月	2月	3月	
	北半球	アジア	東京	100	200	300	
			東京	150	200	250	
			千葉	200	250	300	
<b>X</b>	7		ソウル	200	200	250	
		集計:アジア		650	850	1100	←集計行
汎用パラメータ 19[サ		北アメリカ	マンハッタン	300	350	350	
ブ欄⇒明細全行表示]			オンタリオ	200	250	300	
で、空白にするか、し		集計:北アメ	リカ	500	600	650	←集計行
ないか設定します。	集計:北半球			1150	1450	1750	←集計行
$\overline{}$	南半球	オセアニア	NSW	400	450	450	
2	•		キャンベラ	300	300	400	
		集計:オセア.	ニア	700	750	850	←集計行
	集計:南	半球		700	750	850	←集計行
	総合計			1850	2200	2600	←集計行

163

■ 画面イメージ

dby

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	411		
3	タスク名		*	集計表自動作成(230)_集計表作成2		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	230		
6	タスクタイプ名		*	集計表自動作成		
7	BKNO		*	1		
8	ブック名		*	SampleタスクタイプV4.xls		
9	シート名			集計表自動作成	開始時のシート名	
10	シート保護有無					
11	シート保護解除PW					
12	QNO			411		補足①
13	クエリー名			集計表自動作成(230)_集計表作成2		補足①
14	DNO			411		補足②
15	処理条件判定セル	実行判定				
16	定義有効無効フラグ					
17	コメント欄					
18	セル指定属性					
19	汎用パラメータ1	集計1:項目名		地球		
20	汎用パラメータ2	集計1:色、高さ		オレンジ		
21	汎用パラメータ3	集計2:項目名		大陸		
22	汎用パラメータ4	集計2:色、高さ		ローズ		
23	汎用パラメータ5	集計3:項目名		国		
24	汎用パラメータ6	集計3:色、高さ		薄い水色		
25	汎用パラメータ7	集計4:項目名		エリア		
26	汎用パラメータ8	集計4:色、高さ		ペールブルー		
27	汎用パラメータ9	集計5:項目名		地域		
28	_ 汎用パラメータ10	集計5:色、高さ		ラベンダー		
29	汎用パラメータ11	明細行の高さ			そのまま	
30	汎用パラメータ12	明細表示開始項目		支店		
31	汎用パラメータ13	合計表示開始項目		1月		
32	汎用パラメータ14	総合計行の出力		する	しない	
33	汎用パラメータ15	総合計行の色、高さ		ライム		
34	汎用パラメータ16	タイトル行の出力		する	しない	
35	汎用パラメータ17	タイトル行の色、高さ		薄いオレンジ 20		
36	汎用パラメータ18	罫線の太さ		太 綱 極細		
37	汎用パラメータ19	明細全行表示		する	する	
38	汎用パラメータ20	行フラグ出力		する	しない	補足③

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>230</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	" <b>集計表自動作成</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	入力しません。
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
QNO	実行する SQL 文が定義してある QNO を指定します。 QNO はクエ
	リー定義にて登録します。(注1、5)
クエリー名	自動表示します。(省略不可)

di X

DNO	.実行時にExcelに展開するセル位置が定義してあるDNOを指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1、6)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	カです。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	.入力されたデータを展開するセル位置(アドレス)指定の属性を指定し
	ます。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	最上位の集計項目(フィールド名)を指定します。(■機能 参照)
	設定時、クエリー定義の設定がしてあれば、項目名選択(F4)ボタ
	ンのクリックで選択設定ができます。
汎用パラメータ 2	汎用パラメータ 1 で指定している集計項目の集計行の背景色と行の
	高さを指定します。スタイル選択(F4)ボタンのクリックが有効です。
汎用パラメータ3	.第2位の集計項目(フィールド名)を指定します。(■機能 参照)
	設定時、クエリー定義の設定がしてあれば、項目名選択(F4)ボタ
	ンのクリックで選択設定ができます。
汎用パラメータ 4	汎用パラメータ3で指定している集計項目の集計行の背景色と行の
	高さを指定します。スタイル選択(F4)ボタンのクリックが有効です。
汎用パラメータ 9	第5位の集計項目(フィールド名)を指定します。(■機能 参照)
	設定時、クエリー定義の設定がしてあれば、項目名選択(F4)ボタ
	ンのクリックで選択設定ができます。
汎用パラメータ 10	汎用パラメータ9で指定している集計項目の集計行の背景色と行の
	高さを指定します。スタイル選択(F4)ボタンのクリックが有効です。
汎用パラメータ 11	明細行(タイトル行以外の行)のシート上の行の高さを設定します。
	Excel で設定する行の高さの数値を指定します。(書式⇒行⇒高さ)
汎用パラメータ 12	設定している集計項目で最下位の項目の右隣りの項目を指定します。
	設定時、クエリー定義の設定がしてあれば、項目名選択(F4)ボタ
	ンのクリックで選択設定ができます。(■機能を参照)
汎用パラメータ 13	数値項目で、最も左の項目を指定します。(■機能 参照)
	設定時、クエリー定義の設定がしてあれば、項目名選択(F4)ボタ
	ンのクリックで選択設定ができます。
汎用パラメータ 14	総合計行の出力の有無を指定します。
	ී <b>ජ</b> ර
	② しない

db

**dbSheetClient** 

汎用パラメータ 15	…総合計行の背景色と行の高さを設定します。
	Excel で設定する行の高さの数値を指定します。(書式⇒行⇒高さ)
スタイル選択(F4)ボタンのクリッ	クが有効です。
汎用パラメータ 16	…タイトル行(フィールド名行)の出力の有無を指定します。
	<ol> <li>• <b>す</b>る</li> </ol>
	2 しない
汎用パラメータ 17	…タイトル行の背景色と行の高さを設定します。
	Excelで設定する行の高さの数値を指定します。(書式⇒行⇒高さ)
スタイル選択(F4)ボタンのクリッ	クが有効です。
汎用パラメータ 18	…集計表の罫線の太さを指定します。
	外枠、内側横、内側縦で別の罫線の太さの指定ができます。
	セル罫線選択(F4)ボタンのクリックが有効です。
	① <b>外側の指定</b> なし、極細、細、太
	② 内側横の指定 なし、極細、細、太
	③ <b>内側縦の指定</b> なし、極細、細、太
汎用パラメータ 19	…集計行以外の行の集計項目データを表示するか、しないかを指定
	します。(■機能 参照)
	① する
	2 しない
汎用パラメータ 20	…行フラグを出力するか、しないかを指定します。
	① する

- ② しない
- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5) 詳細は、『【クエリー定義リファレンス編】』を参照してください。
- (注6)詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- ① Excel シート内にデータを展開するには、必ず展開定義を設定してください。
- ② 一度に取得できるデータサイズは2GBです。
   通信速度が低速の場合は、タイムオーバーになることがあります。DB定義でのデフォルトは30
   秒です。30秒以上時間を必要とする場合には、秒数(接続タイムアウト時間)を変更してください。(『開発版リファレンスマニュアル「4.7 各定義の編集方法 ■データベース定義」』を参照してください。)
- ③ Excel シートに展開できる最大行数、最大列数については、『2.10 制限事項』を参照してください。

#### ■ 補足

- クエリー定義については、【クエリー定義リファレンス編】をご覧ください。
- ③ 展開定義については、【展開定義リファレンス編】を参照してください。
- ④ 汎用パラメータ 20(行フラグ出力)で"する"を指定した場合、出力各行の最終列に次の番号を出力します。

0	明細行	4	集計4の集計行
1	集計1の集計行	5	集計5の集計行
2	集計2の集計行	6	総合計行
З	集計3の集計行		

### ■ 使用例

db

「タスクタイプ:データ照会画面」を実行した結果です。



定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含む)
- クエリー定義
- 展開定義(展開一覧定義を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

■画面イメージを参照してください。

クエリー定義の例

db

		クエリー定義編集画面の範囲		
	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	クエリー名		*	集計表自動作成1230)_集計表作成2
3	クエリータイプ		*	照会
4	クエリー属性		*	Query
5	DBNO		*	1
6	エイリアス名			SampleDB
7	テーブル名			集計表テーブル
3	BKNO	旧仕様		
9	ブック名	旧仕様		
0	取得データ件数セル	旧仕様		
1	SQL文			SELECT [地球], [大陸], [国], [エリ
2	排他制御タイプ			
З	定義有効無効フラグ			
4	コメント欄			

A······ 次のような SQL 文を設定します。フィールド名を変更することも可能です。
SELECT [地球], [大陸], [国], [エリア], [地域], [支店], [1月], [2月], [3月], '=RC[-3] + RC[-2] + RC[-1]' as "1QT", [4月], [5月], [6月], '=RC[-3] + RC[-2] + RC[-1]' as "2QT", [7月], [8月], [9月], '=RC[-3] + RC[-2] + RC[-1]' as "3QT", [10月], [11月], [12月], '=RC[-3] + RC[-2] + RC[-1]' as "4QT", '=RC[-1] + RC[-5] + RC[-9] + RC[-13]' as 年間計 FROM [集計表テーブル] ※上記の赤字の部分は、セルに文字列(Excel の数式)を設定(出力)しています。なお、この数式は、R1C1 形式で設定しています。

展開定義の例

	展開定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D	
1	タイトル	サブ	*	内容	
2	DNO		*	411	
3	データ展開名			集計表自動作成1230)_集計表作成2	
4	処理順NO			1	
5	定義区分			タスク定義	
6	タイプ			集計表自動作成	
7	タスク・展開属性			Query	
8	データ項目名				
9	数式OR值				
10	定義有効無効フラグ				
11	コメント欄				
12	シート名			集計表自動作成	
13	セル指定属性				
14	セル範囲			@集計自動作成位置	
15	セル展開範囲定義名				
16	シート保護有無				
17	シート保護解除PW				
18	自動計算方法				
19	行列方向	データ行列方向			

『6.1 定義区分: クエリー定義 クエリータイプ (照会、SQL 更新)』を参照してください。







■ 機能

db

起動モード(タスクタイプ301)のタスクタイプ属性の中で、以下のタスクタイプ属性の機能を一度に 複数指定する制御をします。

- 1. 実行画面
- 2. SQL後自動計算
- 3. ビジーチェック
- 4. ボタンエリア
- 5. Excel 最大化
- 6. 定義メモリー格納
- 7. セッション継続時間
- 8. 規定外パラメータ区切
- 9. 「採用」文字変更
- 10. ログ保存
- 11. 管理タイマー間隔設定
- 12. サーバ時刻取得
- 13. マクロ実行禁止
  - ⇒「汎用パラメータ1~5」、「汎用パラメータ7」、「汎用パラメータ9~15」の設定。

※各タスクタイプ属性の機能の詳細については、個々のタスクタイプリファレンスを参照してください。

「汎用パラメータ6」、「汎用パラメータ8」は、旧仕様相互のためにありますが実行しません。

■ 画面イメージ

	A	В	С	D		•
1	タイトル	サプ	*	内容	空白時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	起動モード(複数指定)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	複数指定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			デモシート		
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	実行画面		最大化	現状維持	補足①
16	汎用パラメータ2	自動計算切替		OFF	現状維持	補足②
17	汎用パラメータ3	ビジーチェック		NEW	現状維持	補足③
18	汎用パラメータ4	ボタンエリア		表示	現状維持	補足④
19	汎用パラメータ5	Excel最大化		OFF	現状維持	補足⑤
20	汎用パラメータ6	リボン保護シート			常にリポン表示なし	バージョン4では無効
21	汎用パラメータ7	定義メモリー格納		クエリー定義以外	現状維持	補足⑥
22	汎用パラメータ8	PageUpDown制御			常に無効化	バージョン4では無効
23	汎用パラメータ9	セッション継続時間		10	現状維持	補足⑦
24	汎用パラメータ10	規定外パラメータ区切		使用しない	現状維持	補足⑧
25	汎用パラメータ11	「採用」文字変更		決定	現状維持	補足⑨
26	汎用パラメータ12	ログ保存		ON	現状維持	補足⑪
27	汎用パラメータ13	管理タイマー間隔設定		500	現状維持	補足①
28	汎用パラメータ14	サーバ時刻取得		GET	何もしない	補足⑫
29	汎用パラメータ15	マクロ実行禁止		ON	何もしない	補足(3)

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■ 項目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"301"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	"複数指定"を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	
	① 最大化
汎用パラメータ 2	SQL(照会)実行後の再計算の自動実行の制御を指定します。
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 3	ビジーチェックの方式を指定します。
	① OLD
	2 NEW
汎用パラメータ 4	ボタンエリアの表示状態を指定します。
	① 表示
	② 非表示
汎用パラメータ 5	Excel 最大化を指定します。
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 7	定義メモリー格納を指定します。
	1 ALL
	② クエリー定義以外

汎用パラメータ 9	.セッション継続時間を <b>分単位(整数)</b> で指定します。
汎用パラメータ 10	.規定外パラメータ区切を指定します。
	① 使用しない
	② 使用する
汎用パラメータ 11	.「採用」ボタンの表示文字を指定します。
汎用パラメータ 12	.ログ保存を指定します。
	2 OFF
汎用パラメータ 13	.管理タイマー間隔設定を <b>ミリ秒単位(整数)</b> で指定します。
汎用パラメータ 14	.サーバ時刻取得を指定します。
	1 GET
汎用パラメータ 15	.マクロ実行禁止を指定します。
	2 OFF

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② 起動モード(タスクタイプ 301)のタスクタイプ属性の中でも、「セッションエラー処理」については、個別に指定してください。
- ③ 「Excel 最大化」については、本タスクタイプの機能では、
   ON : dbSheetClient 実行画面を隠し Excel 画面のみにする
   OFF:通常の dbSheetClient 実行画面+Excel 画面にする
   のみが指定可能です。その他の機能(Excel 画面の状態やdbSheetClient 実行画面の表示サイズ等)
   について細かく指定する場合は、「Excel 最大化」を個別に指定してください。
- ④ 「定義メモリー格納」については、本タスクタイプの機能では、

ALL :全ての定義を格納する

クエリー定義以外:クエリー定義以外を格納する のみが指定可能です。各定義(ボタン定義、タスク定義、クエリー定義、展開定義)について細か く指定する場合は、「定義メモリー格納」を個別に指定してください。

#### ■ 補足

- 「汎用パラメータ 1」で、画面(起動時の dbSheetClient の実行画面のサイズ)を指定します。
   「最大化」を指定すると、画面を最大化します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- ② 「汎用パラメータ2」で、SQL後自動計算を指定します。
   「ON」または「OFF」のいずれかを指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- ③ 「汎用パラメータ3」で、ビジーチェックを指定します。
   「OLD」または「NEW」のいずれかを指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- ④ 「汎用パラメータ4」で、ボタンエリアを指定します。
   「表示」または「非表示」のいずれかを指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- ⑤ 「汎用パラメータ5」で、Excel 最大化を指定します。 「ON」または「OFF」のいずれかを指定します。 省略した場合は、現状の状態を保持します。
- 「汎用パラメータ7」で、定義メモリー格納を指定します。
   「ALL」または「クエリー定義以外」のいずれかを指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- ⑦ 「汎用パラメータ9」で、セッション継続時間を指定します。
   自動的にセッション継続要求を出す時間間隔を分単位(整数)で指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- ⑤ 「汎用パラメータ 10」で、規定外パラメータ区切を指定します。
   「使用しない」または「使用する」のいずれかを指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- ⑤ 「汎用パラメータ 11」で、「採用」文字変更を指定します。
   入力画面、データ照会画面、検索付データ照会画面、検索付データ照会画面IIの「採用」ボタンの
   表示文字を指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- 「汎用パラメータ 12」で、ログ保存を指定します。
   「ON」または「OFF」のいずれかを指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- ① 「汎用パラメータ 13」で、管理タイマー間隔設定を指定します。
   管理タイマーの間隔をミリ秒単位(整数)で指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。
- 「汎用パラメータ 14」で、サーバ時刻取得を指定します。
   「GET」を指定します。省略した場合は、何もしません。
- 「汎用パラメータ 15」で、マクロ実行禁止を指定します。
   「ON」または「OFF」のいずれかを指定します。
   省略した場合は、現状の状態を保持します。

### ■ 使用例

db🟏

◎起動時に以下の複数の機能を一度に設定する使用例を示します。

- ① 起動時の dbSheetClient の実行画面のサイズを「最大化」に指定する。
- ② ボタンエリアを「非表示」に指定する。
- ③ 定義メモリー格納を全て「ON」に指定する。
- ④ セッション継続時間を10分に指定する。
- ⑤ 「採用」文字変更で"決定"を指定する。
- ⑥ ログ保存を「ON」に指定する。
- ⑦ 管理タイマー間隔設定を1000ミリ秒(1秒)に指定する。
- ⑧ マクロ実行禁止を「ON」に指定する。

◎定義するシート:

1)開始終了定義

2) タスク定義

1)開始終了定義の例

TASKNO	タスク名	BKNO	ブック名	権限レベル	オーブンクローズ	定義有効煮効フラグ	コメント 橿
1000	起動モード	1	Sample.xls		ブロジェクト オープン		

2) タスク定義の例(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	1000
3	タスク名		ж	起動モード
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイブ名		*	起動モード
- 7	タスクタイブ属性		*	複数指定
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	実行画面		最大化
16	汎用バラメータ2	自動計算切替		
17	汎用バラメータ3	ビジーチェック		
18	汎用バラメータ4	ボタンチェック		非表示
19	汎用バラメータ5	Excel最大化		
20	汎用バラメータ6	リボン保護シート		
21	汎用バラメータ7	定義メモリー格納		ALL
22	汎用バラメータ8	PageUpDown制御		
23	汎用バラメータ9	セッション継続時間		10
24	汎用バラメータ10	規定外バラメータ区切		
25	汎用バラメータ11	「採用」文字変更		決定
26	汎用バラメータ12	ログ保存		ON
27	汎用バラメータ13	管理タイマー間隔設定		1000
28	汎用バラメータ14	サーバ時刻取得		
29	汎用バラメータ15	マクロ実行禁止		ON



# 2.32 301:起動モード タスクタイプ属性(画面)

■ 機能

dby

起動時の dbSheetClient の実行画面の状態(「標準」/「最大化」)を制御します。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

_						
タスク定義編集画面の範囲						
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4100		
3	タスク名		*	起動モード(画面)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	画面		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	実行画面		最大化	標準	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) タスクタイプ属性......"画面"を指定します。(省略不可) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) シート名......基準とするシートを指定します。 (注1、2) ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接 ① 最大化

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ・ 起動直後に設定を変更して実行画面を表示させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定 義してください。
  - ② 起動時の実行画面の状態(「標準」/「最大化」)は、ユーザがログイン画面の「環境設定」画面で、 実行画面の設定①「実行画面を起動時に最大化する。」を変更することでも可能です。

■ 補足

b8

「汎用パラメータ1」で、起動時の実行画面の状態を指定します。
 最大化:起動時に実行画面を最大化表示にします。
 (空白):「標準」指定となり、起動時に実行画面をノーマル(標準)表示にします。

### ■ 使用例

◎起動時の dbSheetClient の実行画面の状態を「最大化」表示にする使用例を示します。

※標準時(デフォルト時)の起動時の dbSheetClient の実行画面(右上部分)



※「最大化」表示設定後の起動時の dbSheetClient の実行画面(右上部分)

	「最大化」表示の	 D時は、
🔿 75 🔿 100 🔿 150 🔿 範囲スーム	「元に戻す(縮小)	)」ボタ
	ンになります。	

◎定義するシート:

1) 開始終了定義

2) タスク定義

1) 開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オープンクローズ
 定義有効気効フラグ
 コメント
 個

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクトオープン
 イロジェクト
 イロシュシー
 イロション
 イロシュシー
 イロション
 イロション
 イロシュシー
 イロション
 イロシ

2) タスク定義の例(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1000
3	タスク名		ж	起動モード
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイプ名		ж	起動モード
- 7 -	タスクタイプ属性		ж	画面
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	実行画面		最大化


## 2.33 301: 起動モード タスクタイプ属性 (SQL 後自動計算)

■ 機能

dby

タスクタイプ 201: SQL タスクタイプ属性(照会)を実行して Excel シートにデータを展開した後、 再計算を自動実行するかどうか(「ON」/「OFF」)を制御します。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4105		
3	タスク名		*	起動モード(SQL後自動計算)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	SQL後自動計算		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	自動計算切替		ON	OFF	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) タスクタイプ属性...... "SQL後自動計算"を指定します。(省略不可) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) シート名......基準とするシートを指定します。 (注1、2) ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接 ① **ON** 2 OFF

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② タスクタイプ 201: SQL タスクタイプ属性(照会)に対応するデータの展開定義フィールドで展 開定義ごとに、必要に応じて再計算実行の制御をすることも可能です。
- ③ 本タスクタイプで再計算の自動実行を「ON」にした場合、SQLのデータ照会が行われるたびに再 計算が実行され、処理スピードが遅くなる原因にもなりますので注意してください。

■ 補足

db

「汎用パラメータ1」で、SQL(照会)実行後の再計算の自動実行の制御を指定します。
 ON : 再計算の自動実行を行います。
 OFF: 再計算の自動実行を行いません。
 省略した場合は、「OFF」指定になります。

### ■ 使用例

◎起動時に SQL 後自動計算を「ON」に設定する使用例を示します。 ◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1) 開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オープンクローズ
 定義有効気効フラグ
 コメント
 種

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクトオープン

 <

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1000
3	タスク名		ж	起動モード
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイブ名		ж	起動モード
-7-	タスクタイブ属性		ж	SQL後自動計算
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	自動計算切替		ON



## 2.34 301:起動モード タスクタイプ属性(ビシーチェック)

■ 機能

dby

メニューやボタンをクリックした時に行う Excel のビジーチェック(Excel で入力中かどうかを判定し 画面を点滅するかどうか)の方式(「OLD」/「NEW」)を制御します。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4110		
3	タスク名		*	起動モード(ビジーチェック)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	ビジーチェック		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	ビジーチェック		NEW	NEW	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスク名...... TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。 タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) (注1、2) 処理条件判定セル.......タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接 汎用パラメータ1.....ビジーチェックの方式を指定します。 ① OLD 2 NEW

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- 補足

dby

- 「汎用パラメータ1」で、ビジーチェックの方式を指定します。
   OLD:ビジーチェックの際に Excel 画面が点滅する方式になります。
   NEW:ビジーチェックの際に Excel 画面の点滅が抑制される方式になります。
   省略した場合は、「NEW」指定になります。
- 使用例

◎起動時に Excel のビジーチェックの方式を「OLD」に設定する使用例を示します。

◎定義するシート:

1) 開始終了定義

2) タスク定義

1)開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オーブンクローズ
 定義有効無効フラグ
 コメント 個

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクトオープン

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1000
3	タスク名		ж	起動モード
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	301
6	タスクタイブ名		ж	起動モード
7	タスクタイブ属性		*	ビジーチェック
8	BKNO		*	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	ビジーチェック		OLD



## 2.35 301:起動モード タスクタイプ属性(ボタンエリア)

■ 機能

db

dbSheetClientの実行画面のボタンエリアの表示状態(「表示」/「非表示」)を制御します。 ⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	空白時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4115		
3	タスク名		*	起動モード(ボタンエリア)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	ボタンエリア		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	ボタンエリア		非表示	表示	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

項	目説明	
	TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
	タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
	処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
	タスクタイプ NO	"301"を指定します。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
	タスクタイプ属性	" <b>ボタンエリア</b> "を指定します。(省略不可)
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
		ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
		セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有效
		② 無效
	コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
	セル指定属性	汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置
		(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
		<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
		② 間接
	汎用パラメータ 1	ボタンエリアの表示状態を指定します。
		① 表示
		② 非表示

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② 本タスクタイプでボタンエリアの表示状態を「非表示」にした場合、Excelの表示エリアが広がりますが、ボタン表示がなくなるため、通常のボタン操作からのタスク実行ができなくなります。この場合、ハイパータスク実行の機能(タスクタイプ426)を利用して、Excel画面(セル上)に設定したボタンからタスクを実行させる必要があります。
- 補足
  - 「汎用パラメータ1」で、ボタンエリアの表示状態を指定します。
     表示 : ボタンエリアを表示します。
     非表示: ボタンエリアを非表示にします。
     省略した場合は、「表示」指定になります。

#### ■ 使用例

dby

◎起動時の dbSheetClient の実行画面のボタンエリアの表示状態を「非表示」にする使用例を

示します。

※未設定時(デフォルト時)の起動時の dbSheetClient の実行画面



※ボタンエリアを「非表示」設定後の起動時の dbSheetClient の実行画面

😾 サンブルアブリケーションレナハックコロ	iser:Mai	nualb 1								
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧	プロジ:	ር/ንት፡	サンブルアブリケ	-990			~	<	>
> 1)照会	💽 Sa	mple.xls	[読み	取り専用][2	互換モード] - db	S.#1				
Menu		A	В	С	D	E	F	G	Н	
▼メニューを選択してください。▼	1									
□ トップ(サンプル集・入門編 ▲	2		20	1.1 SQ	し/照会					
◎ データベース制御用タス	3									_
= 1. SQL(201)	4			機能 :	クエリー定義	義の定義	情報を取	得して	SQL文を実行	ŕυ
- 1)照会	5								_	
2)更新カード型	6				※テータを	取得した領	<b>&amp;、直ち</b>	Excel	シートにデー	5
3)更新リスト型	7				選択された	テータだに	ナをExce	シート	に展開するこ	ح.
- 4)指定更新	8									
5)削除	9			操作: db	SheetClient	で作成さ	れている	ボタン	をクリックして	ς.
- 6)SQL更新	10					<u> </u>				_
- 7)トランザクション	11				SULIXIA	· · · · C	DBからデ	ータを	取得します。	
	13				クリア	····	2得した:	データを	ミクリアします	
- 1)方 - 9.照会(2	14					Τ				-

◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1) 開始終了定義の例

TASKNO	タスク名	BKNO	ブック名	権限レベル	オーブンクローズ	定義有効煮効フラグ	コメント 欄
1000	起動モード	1	Sample.xls		ブロジェクト オーブン		

1	<u> </u>	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	1000
3	タスク名		ж	起動モード
- 4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイプ名		ж	起動モード
7	タスクタイブ属性		ж	ボタンエリア
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	ボタンエリア		非表示



- 機能
  - ① dbSheetClient 実行画面の状態(「ON」: dbSheetClient 実行画面を隠し Excel 画面のみ/ 「OFF」: 通常の dbSheetClient 実行画面+Excel 画面)を制御します。
     ⇒「汎用パラメータ 1」の設定。
  - ② Excel 画面の状態(「標準」: Excel 画面をノーマル(標準)表示/「最大」: Excel 画面を最大化表示)
     を制御します。(①が、「ON: 非表示」のときのみ有効)
     ⇒「汎用パラメータ2」の設定。
  - ③ dbSheetClient 実行画面のアイコンのタスクバー表示状態(「表示」/「非表示」)を制御します。
     ⇒「汎用パラメータ3」の設定。(①が、「ON:非表示」のときのみ有効)
  - ④ dbSheetClient 実行画面の表示サイズ(横/縦)や表示位置を制御します。
     ⇒「汎用パラメータ 4~6」の設定。(①が、「oN: 非表示」のときのみ有効)
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の	範囲			2
	A	B	C	D		
1	タイトル	サブ	+	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4120		
З	タスク名		*	起動モード(Excel最大化)		
4	処理順NO		*	1 Constant and the second second		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	Excel最大化		
8	BKINO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名		<u> </u>		開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	最大化ON/OFF		ON		補足①
16	汎用パラメータ2	Excelのサイズ		最大		補足②
17	30月パラメータ3	アイコン		非表示	非表示	補足③
18	汎用パラメータ4	橫幅サイズ	0.0.0.0.0.0	0	<ul> <li>〇(通常の樹幅サイズ)</li> </ul>	補足④
19	汎用パラメータ5	縦サイズ		0	○(通常の縦サイズ)	補足⑤
20	汎用バラメータ6	表示位置		左上	左下	補足圖

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

### ■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>301</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>Excel 最大化</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)

**dbSheetClient** 

処理条件判定セル	タスク実行を条件に。	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=	=実行する、"False"=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	、ない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① <b>有効</b>	
	2 無効	
コメント欄	開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
セル指定属性	汎用パラメータの各I	頁目をセル上から指定する場合、そのセル位置
	(アドレス)指定の属性	を指定します。(注4)
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ 1	dbSheetClient 実行i	画面の状態(Excel 最大化)を指定します。
	1) <b>ON</b>	
	2 OFF	
汎用パラメータ 2	Excel 画面の状態を推	定します。
	① 標準	
	② 最大	
汎用パラメータ3	dbSheetClient 実行	画面のアイコンのタスクバー表示状態を指定し
	ます。	
	① 表示	
	② 非表示	
汎用パラメータ 4	dbSheetClient 実行i	画面の横幅サイズ( <b>0/120以上の数値</b> )を指
	定します。	
汎用パラメータ 5	dbSheetClient 実行	画面の縦サイズ(0/1/2/3/4/5 以上の数値)
	を指定します。	
汎用パラメータ6	dbSheetClient 実行i	画面の表示位置を指定します。
	① 左上	③ 右上
	② 左下	④ 右下

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② 本タスクタイプで dbSheetClient 実行画面を隠し Excel 画面のみにした場合、メニューやボタン 表示がなくなるため、通常の操作からのタスク実行ができなくなります。この場合、ハイパータス ク実行の機能(タスクタイプ 426)を利用して、Excel 画面(セル上)に設定したボタンからタス

クを実行させる必要があります。

③ Excel 最大化モードの指定のときには、ASP データ保守の画面を表示することはできません。

■ 補足

- 「汎用パラメータ1」で、dbSheetClient 実行画面の状態を指定します。
   ON : dbSheetClient 実行画面を隠し Excel 画面のみにします。
   OFF : 通常の dbSheetClient 実行画面+Excel 画面にします。
   省略した場合は、現状維持(何もしない)になります。
- ② 「汎用パラメータ2」で、Excel 画面の状態を指定します。
   標準: Excel 画面をノーマル(標準)表示にします。
   最大: Excel 画面を最大化表示にします。
   省略した場合は、「最大」指定になります。
   「標準」を指定した場合、ディスプレイ画面から上と左右は約10ピクセル分狭いサイズで表示します。
   ③ 「汎用パラメータ3」で、dbSheetClient実行画面のアイコンのタスクバー表示状態を指定します。

あいが、アメージら」CCuben Rectorient (実行画面のアイコンをタスクバーに表示します。
 ま表示 : dbSheetClient 実行画面のアイコンをタスクバーに表示します。
 省略した場合は、「非表示」指定になります。
 「表示」を指定した場合、タスクバーの dbSheetClient のアイコンをクリックすることで、実行画面を表示させることができます。
 「非表示」を指定した場合は、Alt+TAB キーで dbSheetClient のアイコンを選択し、実行画面を表示させることができます。

- ④ 「汎用パラメータ 4」で、dbSheetClient 実行画面の横幅サイズを以下の値で指定します。
   O :通常の標準状態の横幅(ディスプレイの解像度にしたがって自動調整)
   120以上の数値:横幅をピクセル値で指定。(120以下よりも横幅は狭くなりません)
   省略した場合は、「O」通常の標準状態の横幅指定になります。
- ⑤ 「汎用パラメータ5」で、dbSheetClient 実行画面の縦サイズを以下の値で指定します。
  - **0** : 通常の標準状態の縦サイズ(ディスプレイの解像度にしたがって自動調整)
  - 1 : タイトル文字だけを表示。
  - 2 :メニュー部分までの縦サイズで表示。(約60ピクセル)
  - **3** : ボタンの上の段までの縦サイズで表示。(約90ピクセル)
  - 4 :ボタンの下の段までの縦サイズで表示。(約120ピクセル)
  - 5 以上の数値:縦サイズをピクセル値で指定。(5~120までの数値は、ボタンエリアまでの範囲 となります)

省略した場合は、「O」通常の標準状態の縦サイズ指定になります。 ボタンエリアの表示状態が「OFF」になっている場合は、必要に応じてピクセル値を直接指定して 微調整してください。

⑥ 「汎用パラメータ 6」で、dbSheetClient 実行画面の表示位置を指定します。
 "左上"、"左下"、"右上"、"右下"のいずれかを指定します。
 省略した場合は、「左下」指定になります。

#### ■ 使用例

dby

◎起動時の dbSheetClient の実行画面を隠して Excel 画面のみの状態にし、Excel 画面を「最大化」 表示にする使用例を示します。



※未設定時(デフォルト時)の起動時の dbSheetClient の実行画面

※設定後の起動時の dbSheetClient の実行画面(Excel 画面のみの状態で「最大化」表示)



◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義

1)開始終了定義の例

db 2

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オープンクローズ
 定義有効気効フラグ
 コメント
 福

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクト オープン

1	ቃብኑ ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1000
3	タスク名		*	起動モード
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイプ名		ж	起動モード
- 7 -	タスクタイブ属性		*	Excel最大化
8	BKNO		*	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	最大化ON/OFF		ON
16	汎用バラメータ2	Excelのサイズ		最大
17	汎用バラメータ3	アイコン		
18	汎用バラメータ4	横幅サイズ		
19	汎用バラメータ5	縦サイズ		
20	汎用バラメータ6	表示位置		



## 2.37 301:起動モード タスクタイプ属性(定義メモリー格納)

■ 機能

dby

規定以外の4つのプロジェクト定義情報(ボタン定義、タスク定義、クエリー定義、展開定義)をメモリーに格納するかどうか(「ON」:格納する/「OFF」:格納しない)を制御します。

⇒「汎用パラメータ1~4」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4130		
3	タスク名		*	起動モード(定義メモリ格納)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	定義メモリー格納		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SamplexIs		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	ボタン定義		ON	OFF	補足①
16	汎用パラメータ2	タスク定義		ON	OFF	補足②
17	汎用パラメータ3	クエリー定義		ON	OFF	補足③
18	汎用パラメータ4	展開定義		ON	OFF	補足④

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

db🏏

■ 項日の	79	
TA	4SKNO	.任意。(省略不可)(注1、2)
タ.	スク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処	理順 NO	.任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タ.	スクタイプ NO	." <b>301</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タ.	スクタイプ名	.タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
タ.	スクタイプ属性	. " <b>定義メモリー格納</b> "を指定します。(省略不可)
Bh	<no< th=""><th>.タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。</th></no<>	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブ	ック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シ	ート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
		(注1、2)
処	理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
		ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
		セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定	義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有効
		② 無效
ם.	メント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
コ. セ.	メント欄 ル指定属性	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。 .汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置
コ. セ,	メント欄 ル指定属性	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。 .汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
コ. セ,	メント欄 ル指定属性	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> </ul>
コ. セ.	メント欄	<ul> <li>・開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>・汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> </ul>
コ. セ, 沉,	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1	<ul> <li>・開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>・汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>・《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> </ul>
コ. セ, 汎	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>. 《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> </ul>
コ. セ, 汎)	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> </ul>
コ. セ. 汎)	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1 用パラメータ 2	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《タスク定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> </ul>
コ. セ. 沉, 派,	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1 用パラメータ 2	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《タスク定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> </ul>
コ. セ, 汎)	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1 用パラメータ 2	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《タスク定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> </ul>
コ. セ, 汎 , 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1 用パラメータ 2 用パラメータ 3	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置</li> <li>(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《タスク定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《クエリー定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> </ul>
コ. セ. 汎) 派, 派,	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1 用パラメータ 2 用パラメータ 3	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《タスク定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《クエリー定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> </ul>
コ. セ. 汎) 汎)	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1 用パラメータ 2 用パラメータ 3	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《クエリー定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>《クエリー定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> </ul>
コ. セ, 沉, 瓜, 瓜, 瓜, 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1 用パラメータ 2 用パラメータ 3 用パラメータ 4	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>④ 間接</li> <li>④ (ボタン定義)》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>④ (クエリー定義)》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>④ (クエリー定義)》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>④ (人)</li> <li>④ (人)</li> <li>④ (人)</li> <li>④ (人)</li> <li>〇 (人)&lt;</li></ul>
コ. セ, 汎, 派, 派, 派,	メント欄 ル指定属性 用パラメータ 1 用パラメータ 2 用パラメータ 3 用パラメータ 4	<ul> <li>開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</li> <li>汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4)</li> <li>① 直接 ③ 間接アドレス</li> <li>② 間接</li> <li>④ 間接</li> <li>④ (ボタン定義) 情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>④ (クエリー定義) 情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> <li>② OFF</li> <li>④ OFF</li> <li>④ ON</li> <li>② OFF</li> <li>④ ON</li> <li>② OFF</li> <li>● (原開定義) 情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。</li> <li>① ON</li> </ul>

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
  - ② メニュー定義や運用定義などの情報は起動時にメモリーに格納していますが、ボタン定義、タスク 定義、クエリー定義、展開定義の情報は、起動時の処理時間を短縮するためとメモリー使用量を抑 えるためにデフォルトでは格納していません。すべての定義情報をメモリーに格納すると、操作中 のレスポンスが向上します。プロジェクトの定義情報量やPCのメモリー容量、起動時間などを考 慮して設定を変更してください。

⇒物理メモリーや利用可能メモリーについては、dbSheetClientのシステムが管理する「dbS\_パ ラメータ」シートにそれぞれセットしていますので、これらの値を利用して、格納するしないを判 断することも可能です。

⇒起動時間や処理時間については、ログフォルダに処理時間ログファイルを保存しており、「エラー メッセージ画面」からこのファイルを表示して確認することができます。

- ③ 各定義情報をメモリーに格納する場合、一度に全ての定義情報を格納しても、処理のタイミングを 利用して、個別に格納しても問題ありません。
- ④ 各定義情報をメモリーに格納する設定になっている場合、開発版でデバッグ実行を行いながら定義 編集でこれらの定義を変更した場合は、「再」ボタンをクリックして、変更した定義情報を再ロード する必要があります。
- 補足
  - 「汎用パラメータ 1」で、《ボタン定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。
     ON:メモリーに格納します。
     OFF:メモリーに格納しません。
     省略した場合は、「OFF」指定になります。
  - ② 「汎用パラメータ2」で、《タスク定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。
     ON :メモリーに格納します。
     OFF:メモリーに格納しません。
     省略した場合は、「OFF」指定になります。
  - ③ 「汎用パラメータ3」で、《クエリー定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。
     ON :メモリーに格納します。
     OFF:メモリーに格納しません。
     省略した場合は、「OFF」指定になります。
  - ④ 「汎用パラメータ 4」で、《展開定義》情報をメモリーに格納するかどうかを指定します。
     ON :メモリーに格納します。
     OFF:メモリーに格納しません。
     省略した場合は、「OFF」指定になります。

#### ■ 使用例

dby

◎起動時に4つのプロジェクト定義情報(ボタン定義、タスク定義、クエリー定義、展開定義)を 全てメモリーに格納する設定の使用例を示します。

◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1)開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オープンクローズ
 定義有効気効フラグ
 コメント 個

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクト オープン

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1000
3	タスク名		ж	起動モード
-4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイブNO		*	301
6	タスクタイプ名		ж	起動モード
- 7 -	タスクタイブ属性		ж	定義メモリー格納
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	ボタン定義		ON
16	汎用バラメータ2	タスク定義		ON
17	汎用バラメータ3	クエリー定義		ON
18	汎用バラメータ4	展開定義		ON

### 2.38 301:起動モード タスクタイプ属性(セッション継続時間)

■ 機能

dby

dbSheetClientからサーバに、自動的にセッション継続要求を出す時間間隔(分単位)を制御します。 ⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4140		
3	タスク名		*	起動モード(セッション継続時間)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	セッション継続時間		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	セッション継続時間		10	5(分)	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	.任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	. TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	.任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	." <b>301</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	.タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	. " <b>セッション継続時間</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、"無効"を指定します。通常は未入
	カです。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	、汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	① 直接     ③ 間接アドレス
	② 間接

汎用パラメータ 1 ....... 自動的にセッション継続要求を出す時間間隔を**分単位(整数)**で指定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意

ib🏏

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② dbSheetClientのメニューやボタンが操作された時は、サーバに対して自動的にセッションチェックが行われますが、Excel 側だけの編集作業を長時間行っている時には、セッションが切断される可能性があるため、標準では5分ごとに自動的にセッション継続要求を出しています。この5分ごとの間隔を本タスクタイプにより変更することができます。 なお、サーバ側は IIS の設定で標準ではセッションの有効時間(タイムアウト)は20分ですが、IISの設定やWeb.config で変更することができます。
- 補足
  - 「汎用パラメータ 1」で、自動的にセッション継続要求を出す時間間隔を分単位(整数)で指定します。省略した場合は、5(分)指定になります。

#### ■ 使用例

◎起動時にセッション継続要求を出す時間間隔を10分に設定する使用例を示します。

◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1)開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オープンクローズ
 定義有効気効フラグ
 コメント

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクト オープン
 イロジェクト

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1 000
3	タスク名		ж	起動モード
- 4 -	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイブ名		ж	起動モード
- 7 -	タスクタイブ属性		ж	セッション継続時間
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	セッション継続時間		10

## 2.39 301:起動モード タスクタイプ属性(規定外パラメータ区切)

■ 機能

dby

dbSheetClientのシステムが使用する「dbS\_パラメータ」シートで、パラメータ変数の区切記号として、 規定外(^以外)の記号の使用有無(「使用しない」/「使用する」)を制御します。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4145		
3	タスク名		*	起動モード(規定外パラメータ区切)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	規定外パラメータ区切		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	規定外パラメータ区切		使用しない	使用しない	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスク名...... TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。 タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) (注1、2) 処理条件判定セル.......タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接 るかどうか("使用しない"/"使用する")を指定します。 ① 使用しない

- ② 使用する
- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

db🟏

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② 「dbS\_パラメータ」シートに設定したパラメータ変数は、SQL 文にそのパラメータ変数を指定して値の受け渡しができますが、パラメータ変数の規定では ^パラメータ変数 ^ のように規定の区切記号で囲むことを推奨しています。これは、SQL 文の解析処理で処理スピードを上げるために、^ が使用されていない時はパラメータの変換処理を行わないようにしているためです。もし、パラメータ変数の区切記号に ^ を使用しない場合や別の区切り記号等を使用した場合は、本タスクタイプで規定外の記号を「使用する」に指定してください。ただし、レスポンスを上げるためには規定の記号を使用するようにしてください。
- 補足
  - 「汎用パラメータ 1」で、パラメータ変数の区切記号として、規定外(^以外)の記号を使用する かどうかを指定します。
     使用しない: ^以外の記号は使用しない設定になります。
     使用する : ^以外の記号を使用する設定になります。
     省略した場合は、「使用しない」指定になります。
- 使用例

◎起動時にパラメータ変数の区切記号として、規定外(^以外)の記号を「使用する」設定の使用例を示します。

◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1) 開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オーブンクローズ
 定義有効無効フラグ
 コメント
 個

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクト オープン

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	1000
3	タスク名		*	起動モード
-4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	301
6	タスクタイプ名		*	起動モード
- 7 -	タスクタイブ属性		*	規定外バラメータ区切
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	規定外バラメータ区切		使用する



### 2.40 301:起動モード タスクタイプ属性(「採用」文字変更)

■ 機能

dby

入力画面(タスクタイプ202)、データ照会画面(タスクタイプ203)、検索付データ照会画面(タスク タイプ204)、検索付データ照会画面II(タスクタイプ205)で表示する「採用」ボタンの表示文字を 制御します。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4150		
3	タスク名		*	起動モード(「採用」文字変更)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	「採用」文字変更		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	「採用」文字変更		決定	採用	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) タスクタイプ属性......."「採用」文字変更"を指定します。(省略不可) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) シート名......基準とするシートを指定します。 (注1、2) ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

会画面Ⅱで表示する「採用」ボタンの表示文字を指定します。

- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
  - ② 入力画面(タスクタイプ202)、データ照会画面(タスクタイプ203)、検索付データ照会画面(タ スクタイプ204)、検索付データ照会画面II(タスクタイプ205)の「採用」ボタンの表示文字を 一律に変更します。各画面個別に変更させたい場合は、それぞれの画面のタスクタイプの汎用パラ メータの設定で変更することができます。

■ 補足

db

- 「汎用パラメータ 1」で、入力画面、データ照会画面、検索付データ照会画面、検索付データ照会 画面Iで表示する「採用」ボタンの表示文字を指定します。省略した場合は、初期設定の「採用」 になります。
- 使用例

◎起動時に、入力画面(タスクタイプ 202)、データ照会画面(タスクタイプ 203)、検索付データ 照会画面(タスクタイプ 204)、検索付データ照会画面Ⅱ(タスクタイプ 205)で表示する「採用」 ボタンの表示文字を "OK" に設定する使用例

を示します。

🔮 dbS-文字入力画i 入力画面(文字)

※未設定時(デフォルト時)の入力画面、データ照会画面、検索付データ照会画面、検索付データ照 会画面Iの例

(各画面の「採用」ボタンの表示文字が"採用"になっています。)

キャンセル

採用 テータ照会・社員マスタ 検索項目名(列) >> 選択してください。 \* 位置付け キャンセル 検索値 検索結果 件 採用 7 
 社員名
 社員名力力
 性数

 福島、真理子
 フクシマ マリコ
 女

 田島・暗信
 ダジマ ハルノブ
 男

 北海道、道夫、ホッカイドウ、ミチオ
 男
 社員コード 性別 生年月日 郵便番号 住所1 東京都千代田区 1987/12/05 100-1258 1960/12/05 100-0010 東京都港区3丁 1972/01/23 120-0003 東京都足立区名 
 和田園(2)
 加(2)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 ( 北春 知幸 キタハル トモユキ 男

Q	🥲 dbS-検索付データ照会 📃 🗖 🔀											
5	データ	照会・商品、	778									
検												
		項目名(列)		検索方式	開始(	<u>ē</u>	_	終了値	検索実行			
C	単価		~	範囲指定 🗸			~		条件初期化			
8	分類		~	範囲指定 🖌			~					
G	商品。	2	~	中間一致 🗸			~		キャンセル			
(4	甲位		*	完全一致 🖌			~					
	全て 選択	そして解除	]	検索結果:	27	件			採用			
	選択	商品コード	商品名	5	単位	単価	分類	DBS_STATUS	DBS_CREATE_U			
۶.	~		商品1		18	1250.0000	1	1	demouser			
	<b>v</b>	2	商品2		箱	1350.0000	2	1	demouser			
	<b>v</b>	3	商品3		箱	1450.0000	2	1	demouser			
	<b>v</b>	4	商品4		箱	1650.0000	2	1	demouser			
	<b>v</b>	5	商品5		箱	1750.0000	2	1	demouser			
	<b>V</b>	6	商品6		箱	1998.0000	2	1	demouser			
		7	商品7		箱	2000.0000	2	1	demouser			
		8	商品8		箱	1260.0000	2	1	demouser			
	<b>V</b>	9	商品9		箱	1985.0000	2	1	demouser			
		10	商品1	0	箱	1280.0000	2	1	demouser 🖌 🗸			
<			Ш				ΝÇ		>			



※「採用」ボタンの表示文字を "OK" に設定後の各画面の例

🖉 dbS-	- 文字入力画	iā				×												_
入力画面(文字) キャンセル						· .	2	❷ dbS-検索付データ照会										
								データ照会・商品マスタ										
						19 0 0	<ul> <li>!索条件</li> <li>) 単価</li> <li>) 分類</li> <li>) 商品</li> <li>) 単価</li> </ul>	<b>4① 検</b> 項目名 名	索条件( (列))	② 検 ~	索条件③ 検索方式 範囲指定 ∨ 範囲指定 ∨ 中間一致 ∨	開始1	(ē	~	終了値	検索実 条件初期 キャンセ	(テ 引化 ル	
テータ照会・神	社員マスタ							/ 単位 全て選:	択 全	て解除	]	<u>元主-</u> 致 ▼ 検索結果:	27	件	~		ОК	٦
検索項目名(列) 検索値	>> 選択してく	ださい。	~	位置付け		キャンセル		選択	商品コー	-ド	商品名	5	単位	単価	分類	DBS_STATUS	DBS_CREAT	E_UK 🔨
検索結果	7	件			,	ОК			1 2		商品1 商品2		個箱	1250.0000	1 2	1	demouser demouser	- =
41 <del>4</del> - 10	1.8.5	18511	ALC I						3		商品3		箱	1450.0000	2	1	demouser	
社員コード	社員名 短月 古理子	社員名力ナ	性別	生年月日 1007/10/05	郵便番号 100-1950	1王所1 東京教子(6四区)	_		4		商品4		箱	1650.0000	2	1	demouser	_
2	抽题 長柱丁 田島 時信	カジラ ハルノヴ	奥	1960/12/00	100-1208	東京都学校田区: 東京都漫区3丁日	_		5		商品5		箱	1750.0000	2	1	demouser	- 1
3	北海道 道夫	ホッカイドウ ミチオ	男	1972/01/23	120-0003	東京都足立区谷			2		間面の		78 atr	1998.0000	2	1	demouser	-11
4	秋田信子	アキタノブコ	 女			per rurrenten er	—		9		19100/ 76도오		78 95	1260.0000	2	1	demouser	-1
5	京橋 智子	キョウバシ トモコ	女						0		商品の		*8 \$5	1985.0000	2	1	demouser	- 1
6	福岡 孝	フクオカ タカシ	男						10		商品1(	0	箱	1280.0000	2	1	demouser	
7	北春 知幸	キタハル トモユキ	男				<		1.2			-			-			>
						>												

◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1) 開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オープンクローズ
 定義有効気効フラグ
 コメント 個

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクトオープン

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1000
3	タスク名		ж	起動モード
-4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		*	301
6	タスクタイプ名		ж	起動モード
- 7 -	タスクタイプ属性		*	「採用」文字変更
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	「採用」文字変更		OK

## 2.41 301:起動モード タスクタイプ属性(セッションエラー処理)

■ 機能

db

- ① セッションエラーが発生した時のエラー画面のタイプ(再試行&終了/再試行/終了)やエラーメッセージ内容、ボタンの表示文字、画面の高さサイズを制御します。
   ⇒「汎用パラメータ1」、「汎用パラメータ3~6」の設定。
- ② セッションエラー画面の「終了」ボタン選択後の処理(何もしない/終了画面表示/ログイン画面に戻る/終了/タスク実行)の制御をします。
   ⇒「汎用パラメータ2」、「TASKJUMPNO1」の設定。
- 画面イメージ

タスク定義編集画面の範囲						
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4155		
3	タスク名		*	起動モード(セッションエラー処理)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	セッションエラー処理		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	画面タイプ		再試行&終了	再試行&終了	補足①
16	汎用パラメータ2	終了時の処理		終了画面表示	何もしない	補足②
17	汎用パラメータ3	メッセージ		セッションエラーが発生しました。	規定のメッセージ	補足③
18	汎用パラメータ4	再試行ボタン表示		再試行	再試行する	補足④
19	汎用パラメータ5	終了ボタン表示		終了	終了する	補足⑤
20	汎用パラメータ6	画面の高さ			標準の高さ	補足⑥
21	TASKJUMPNO1	タスク実行			タスク実行しない	補足⑦

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

.任意。(省略不可)(注1、2)
TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
.任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
."301"を指定します。(省略不可)(注1、3)
.タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
." <b>セッションエラー処理</b> "を指定します。(省略不可)
.タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
(注1、2)
.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない

定義有効無効フラグ	…タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入			
	力です。(注1、2)			
	① <b>有効</b>			
	② 無効			
コメント欄	開発時のメモ書きや	修正記録などに使用します。		
セル指定属性	汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置			
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)			
	① 直接	③ 間接アドレス		
	② 間接			
汎用パラメータ1	セッションエラー画	面タイプを指定します。		
	① 再試行 & 終了	③ 終了		
	② 再試行			
汎用パラメータ2	セッションエラー画	面の「終了する」ボタンを選択した後の処理を指		
	定します。			
	① 何もしない	④ ログインに戻る		
	② 終了画面表示	⑤ タスク実行		
	③ 終了する			
汎用パラメータ3	セッションエラー画	面に表示する <b>メッセージ</b> を指定します。		
汎用パラメータ4	…「再試行する」ボタ	ンの <b>表示文字</b> を指定します。		
汎用パラメータ5	「終了する」ボタンの <b>表示文字</b> を指定します。			
汎用パラメータ6	セッションエラー画面の高さ( <b>130以上の数値</b> )を指定します。			
TASKJUMPNO1	「汎用パラメータ2」	」で「タスク実行」を指定した時に実行する <b>タス</b>		
	<b>ク NO</b> を指定します	•		

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② セッションの接続チェックは、プロジェクトの起動時、メニューやボタンをクリックした時、定期 的なセッション継続要求(デフォルト5分)などで行っています。これらのタイミングで、瞬断や ネットワーク環境に異常が生じると、セッションエラーが発生しますが、サーバ側の IIS で設定され ている時間(標準では20分)以内にエラーの問題が解決した場合は、セッションの再接続を行い 継続して処理を実行することができます。これらのことを考慮して、セッションエラー画面をカス タマイズしてください。

- 補足
  - ① 「汎用パラメータ 1」で、セッションエラー画面タイプを指定します。
    - 再試行 &終了 :「再試行する」ボタンと「終了する」ボタンを表示します。
    - 再試行 :「再試行する」ボタンだけを表示します
    - 終了 :「終了する」ボタンだけを表示します。
  - ② 「汎用パラメータ 2」で、セッションエラー画面の「終了する」ボタンを選択した後の処理を指定します。
    - 何もしない :セッションエラー画面を閉じるだけにします。
    - **終了画面表示** : dbSheetClientの「終了画面」を表示します。
    - **終了する** :実行モードを終了し、dbSheetClientを終了します。
    - ログインに戻る :実行モードを終了し、dbSheetClientの「ログイン画面」を表示します。
    - タスク実行 :「TASKJUMPNO1」で指定したタスクを実行します。
  - ③ 「汎用パラメータ3」で、セッションエラー画面に表示するメッセージを指定します。
     ※入力欄では改行ができないため、改行して複数行で表示させたい時は、改行文字として
     (br) または (BR) を入力してください。
  - ④ 「汎用パラメータ4」で、「再試行する」ボタンの表示文字を指定します。
     例)"リトライ"と入力すると、「リトライ」と表示します。
  - ⑤ 「汎用パラメータ5」で、「終了する」ボタンの表示文字を指定します。
     例) "OK"と入力すると、「OK」と表示します。
  - ⑤ 「汎用パラメータ6」で、セッションエラー画面の高さ(130以上の数値)を指定します。
     ※標準では、画面タイプが「再試行&終了」または「再試行」の場合は220、「終了」の場合は
     174になります。
  - ⑦ 「TASKJUMPNO1」で、「汎用パラメータ 2」で「タスク実行」を指定した時に実行するタスク NO を指定します。
    - ※指定したタスク実行後に、自動的には dbSheetClient の「終了画面」は表示しないので、自動 終了させたい場合は、終了処理(タスクタイプ 303)を組み込んでください。

#### ■ 使用例

dby

◎起動時に、セッションエラー画面の「再試行する」ボタン及び「終了する」ボタンの表示文字を変更し、 「終了する」ボタンを選択した後の処理を、「終了画面表示」に設定する使用例を示します。

※未設定時(デフォルト時)のセッションエラー処理画面の状態



◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1)開始終了定義の例

FASKNO	タスク名	BKNO	フック名	権限レベル	オーブンクローズ	定義有効煮効フラク	コメント 欄
1000	起動モード	1	Sample.xls		プロジェクト オーブン		

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1000
3	タスク名		ж	起動モード
-4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイブ名		ж	起動モード
- 7 -	タスクタイブ属性		ж	セッションエラー処理
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	画面タイブ		
16	汎用バラメータ2	終了時の処理		終了画面表示
17	汎用バラメータ3	メッセージ		
18	汎用パラメータ4	再試行ボタン表示		再接続確認
19	汎用バラメータ5	終了ボタン表示		終了画面へ
20	汎用バラメータ6	画面の高さ		
21	TASKJUMPNO1	タスク実行		
# 2.42 301:起動モード タスクタイプ属性(ログ保存)

■ 機能

db

dbSheetClientの実行版でログを保存させるかどうか(「ON」/「OFF」)を制御します。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

dbSheetClientの実行版でログファイルとして保存するファイルの最大数を指定します。

⇒「汎用パラメータ2」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の筆	ΰĦ			
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4160		
3	タスク名		*	起動モード(ログ保存)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	ログ保存		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
0	シート名				開始時のシート名	
1	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄	01	000000000000000000000000000000000000000			
4	セル指定属性					
5	汎用バラメータ1	ログ保存		ON	OFF	補足①
6	汎用バラメータ2	ログ保存ファイル数			100	

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスク名...... TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。 タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) タスクタイプ属性......"ログ保存"を指定します。(省略不可) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) (注1、2) ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接 汎用パラメータ1 ...................................実行版でログを保存させるかどうかの制御を指定します。 ① **ON** 2 OFF 汎用パラメータ 2................ログ保存ファイル数 (ログファイルとして保存するファイルの最大数

を指定します。)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② ユーザがログイン画面の「環境設定」画面で、その他の設定①「実行モードで操作ログを保存する。」 を「ON」(チェック)した場合は、本タスクタイプで「OFF」を設定してもログ保存は行われます。
- ③ 開発版のデバッグ実行時には自動的にタスクタイプごとの処理ログやエラーログを保存しますが、 実行版のデフォルトではログイン画面の「環境設定」画面で、その他の設定①「実行モードで操作 ログを保存する。」が「OFF」(チェックなし)になっているため、ログは保存されません。ユーザ の環境設定に関わらずログを保存させたい場合は、本機能で「ON」を設定してください。
- 補足
  - 「汎用パラメータ 1」で、実行版でログを保存させるかどうかを指定します。
     ON : 本タスクタイプを実行した時点からログを保存します。
     OFF : 本タスクタイプを実行した時点でログの保存を停止します。
     省略した場合は、「OFF」指定になります。
    - ② 「汎用パラメータ2」で、「ログファイルとして保存するファイルの最大数を指定します。」を変更した場合、100個ログファイルが作成済みの時に30に変更した場合は、 100-30=70個のログファイルは更新対象から外れますので手動にて削除してください。 本バージョン以前の不要なログファイルは、手動にて削除してください。
- 使用例

◎起動時にログを「ON」(保存する)に設定する使用例を示します。

◎定義するシート:

- 1)開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1) 開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オーブンクローズ
 定義有効気効フラグ
 コメント 個

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクトオープン

2) タスク定義の例(縦型表示の内容)

1	タイトル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	4160
З	タスク名		*	起動モード(ログ保存)
4	処理順NO		*	1
5	970917N0		*	301
6	タスクタイプ名		*	起動モード
7	タスクタイプ属性		*	ログ保存
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Samplexis
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	ログ保存		ON
16	汎用バラメータ2	ログ保存ファイル数		



# 2.43 301:起動モード タスクタイプ属性(管理タイマー間隔設定)

■ 機能

dby

- ① dbSheetClient が常時使用する管理タイマーの間隔(ミリ秒単位)を制御します。
   ⇒「汎用パラメータ 1」の設定。
- ② 管理タイマーは、ハイパータスク実行やタイマー処理のほか、Excelの状態監視にも使用します。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4165		
3	タスク名		*	起動モード(管理タイマー間隔設定)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	管理タイマー間隔設定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	管理タイマー間隔設定		1000	500	補足①

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスク名...... TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。 タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) タスクタイプ属性......"管理タイマー間隔設定"を指定します。(省略不可) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) (注1、2) 処理条件判定セル.......タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接

汎用パラメータ1 ...... 管理タイマーの間隔をミリ秒単位(整数)で指定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

db

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② タイマーの間隔のデフォルト値を500(ミリ秒)に設定しています。 タイマーの間隔<500(ミリ秒):操作中のマウスクリックレスポンス向上、CPUの負荷増加 タイマーの間隔>500(ミリ秒):操作中のマウスクリックレスポンス低下、CPUの負荷低下 プロジェクトの内容やユーザのPCの性能などを考慮して、最適な値を設定してください。
- ③ タイマー処理(タスクタイプ701)でも、この管理タイマーを利用しています。このためタイマー 処理を使用する場合、700(0.7 秒)などの値に変更すると、1秒間隔でタイマー処理を正確に 行うようなことができなくなります。タイマー処理を使用する場合は、タイマー処理の時間間隔も 考慮して変更してください。
- 補足
  - 「汎用パラメータ1」で、管理タイマーの間隔をミリ秒単位(整数)で指定します。100(ミリ 秒)以上の値が有効です。デフォルト(未設定)時は、500(ミリ秒)になっています。

# ■ 使用例

◎起動時に管理タイマーの間隔を1000ミリ秒(1秒)に設定する使用例を示します。

◎定義するシート:

- 1) 開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1)開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オーブンクローズ
 定義有効気効フラグ
 コメント
 個

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクト
 プレジェクト
 プレジェクト
 プロジェクト
 <td

2) タスク定義の例(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	1000
3	タスク名		ж	起動モード
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイブNO		ж	301
6	タスクタイプ名		ж	起動モード
- 7 -	タスクタイブ属性		ж	管理タイマー間隔設定
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	管理タイマー間隔設定		1000



# 2.44 301:起動モード タスクタイプ属性(サーバ時刻取得)

■ 機能

dby

サーバの時刻を取得し、dbSheetClientのシステムが管理する「dbS\_パラメータ」シートの所定の場所 (セル)に、タイムラグ(サーバ時刻 – PC時刻)、サーバ時刻、PC時刻をセットします。 ⇒「汎用パラメータ」に設定する内容はありません。

■ 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4170		
3	タスク名		*	起動モード(サーバ時刻取得)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	サーバ時刻取得		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	…任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	…" <b>301</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	…" <b>サーバ時刻取得</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	…タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:"True"=実行する、"False"=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

## ■ 使用上の注意

- ① dbSheetClientでは、プロジェクトの起動時にも、自動的にサーバ時刻とPC時刻を取得し「dbS\_パラメータ」シートに書き込んでいます。PC時刻はプロジェクトが起動した後でもユーザが故意に変更したり、またPCごとにずれが発生したりします。このため、タイマー処理(タスクタイプ701)を利用して、設定した時刻に正確にタスクを実行させたい場合は、タスク実行前に本タスクタイプを利用して最新の時刻を取得してください。
- 補足
  - 本タスクタイプ実行時点のサーバ時刻、PC時刻を取得し、「dbS\_パラメータ」シートの19番目のC~E列に、タイムラグ(サーバ時刻 PC時刻)、サーバ時刻、PC時刻をそれぞれ書き込みます。タイムラグの値は、プラスの時にはサーバ時刻よりもPC時刻が遅れており、値がマイナスの時にはPC時刻が進んでいることを意味します。

#### ■ 使用例

dbs

◎「サーバ時刻取得」ボタンを押して、dbSheetClientのシステムが管理する「dbS\_パラメータ」 シートの所定の場所(セル)に、現時点のタイムラグ(サーバ時刻 – PC時刻)、サーバ時刻、 PC時刻がセットされることを確認する使用例を示します。



- 1)メニュー定義
  - 2)ボタン定義
  - 3)タスク定義
- 1)メニュー定義の例

表示N∩ 階層	メニュー名	BKNO	ラック名	シート名	TASKNO	BSNO
 201001010	<u> </u>	101410	L	~ 1 U	17,01,110	00110
560 4	6)起動モード(サーバ時刻取得)	1	Sample.xls	dbS_バラメータ	0	560

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ボタン名表	示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
560	1	サーバ時刻	取得	5600	起動モード(サーバ時刻取得)			

#### 3)タスク定義の例

 TASKNO
 タスク名
 処理願NO
 タスクタイブNO
 タスクタイブ名
 タスクタイブス
 タスクタイブス
 シート名

 5600
 起動モード(サーバ時刻取得)
 1
 301
 起動モード
 サーバ時刻取得
 1
 Sample.xls dbS\_パラメータ

#### ※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

1	ቃイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	5600
3	タスク名		ж	起動モード(サーバ時刻
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイプ名		ж	起動モード
-7-	タスクタイプ属性		ж	サーバ時刻取得
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			dbS_バラメータ
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント 欄			



# 2.45 301:起動モード タスクタイプ属性(マクロ実行禁止)

■ 機能

db

dbSheetClientの実行時にマクロ実行の禁止の有無(「ON」/「OFF」)を制御します。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4330		
3	タスク名		*	起動処理		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	マクロ実行禁止		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	マクロ実行禁止		ON	OFF	補足①

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスク名...... TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。 タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) (注1、2) 処理条件判定セル.......タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接 汎用パラメータ1.....マクロの実行を禁止させるかどうかの制御を指定します。 ① **ON** 2 OFF

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- dbSheetClientでは、Excel 側のセキュリティ設定に関わりなく、デフォルトではマクロの実行が 可能になっています。このため、マクロの実行を最初から禁止させたい時は、Excel のブックが開 く前に本タスクタイプで「ON」(マクロ実行禁止)を設定しておく必要があります。そのためには、 「開始終了定義」の「プロジェクトオープン」の設定で、本タスクタイプを定義してください。
- ② マクロ実行禁止を「ON」にすると、マクロ起動(タスクタイプ 503)は利用できなくなりますの で注意してください。
- ③ Excel のブックが開いた後にマクロ実行禁止の状態を変更(ON→OFF、OFF→ON)しても、その ままでは状態は変わりません。ブックを再オープンすることにより状態が変わりますので注意して ください。
- ④ 「Excel 2000」では、本タスクタイプの機能は無効になっています。このため、マクロの実行が 常に可能となりますので注意してください。

■ 補足

- 「汎用パラメータ 1」で、マクロの実行を禁止させるかどうかを指定します。
   ON :マクロ実行を禁止状態にします。
   OFF:マクロ実行を禁止しない状態にします。
   デフォルト(未設定)時は、「OFF」状態になっています。
- ② 「改行なし」の場合、初期表示の最大列幅は200ピクセルです。

#### ■ 使用例

db

◎起動時にマクロの実行を禁止(「ON」)に設定する使用例を示します。

※マクロの実行を禁止(「ON」)設定後、マクロ起動(タスクタイプ 503)を利用して マクロを実行しようとすると、以下のようにエラーメッセージが表示され、マクロが実行 できないようになります。



◎定義するシート:

- 1) 開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1)開始終了定義の例

 TASKNO
 タスク名
 BKNO
 ブック名
 権限レベル
 オーブンクローズ
 定義有効無効フラグ
 コメント 個

 1000
 起動モード
 1
 Sample.xls
 プロジェクトオープン

2) タスク定義の例(縦型表示の内容)

1	ያイトル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1000
3	タスク名		ж	起動モード
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	301
6	タスクタイブ名		*	起動モード
-7-	タスクタイブ属性		ж	マクロ実行禁止
8	BKNO		*	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			有効
13	コメント 欄			
14	セル指定属性			
15	汎用バラメータ1	マクロ実行禁止		ON

# 2.46 301:起動モード タスクタイプ属性(終了処理制御)

■ 機能

dby

dbSheetClientの終了ボタンがクリックされた時に実行するタスクを制御します。

⇒「汎用パラメータ 1」、「TASKJUMPNO1」の設定。

■ 画面イメージ

		カフカウ美紀集画西の範囲				
	٨		C	D		
1		<u> </u>	*	内容	省略時の処理	特記書道
2	TASKNO		*	1000	0.0.0,0,2,2	1000 0 10
3	タスク名		*	起動モード		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	終了処理制御		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ			有効		
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	実行後の処理		終了	何もしない	補足①
16	TASKJUMPNO1	実行タスクNO		1010	何もしない	

■ 項目	説明		
	TASKNO	…任意。(省略不可)(注	E1、2)
	タスク名	TASKNO 設定により	0タスク名は自動設定されます。
	処理順 NO	…任意。同一タスク内 <sup>-</sup>	で処理する順番を指定します。(省略不可)
	タスクタイプ NO	…" <b>301</b> "を指定します。	(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	… タスクタイプ NO 設	定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
	タスクタイプ属性	…" <b>終了処理制御</b> "を指定	とします。(省略不可)
I	BKNO	… タスク実行する Exce	el ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用	定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブ	ック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	…タスク実行時に表示す	するなど、基準とするシートを指定します。
		(注1、2)	
	処理条件判定セル	…タスク実行を条件に	より制御する場合にシートのセル位置を指定し
		ます。セルの値によっ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
		セルの値:" <b>True</b> " =	=実行する、"False" =実行しない
1	定義有効無効フラグ	…タスクを実行させた。	くない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
		力です。(注1、2)	
		① 有効	
		② 無効	
	コメント欄	…開発時のメモ書きや	多正記録などに使用します。
	セル指定属性	… 汎用パラメータの各	項目をセル上から指定する場合、そのセル位置
		(アドレス)指定の属性	を指定します。(注4)
		① 直接	③ 間接アドレス
		2 間接	
	汎用パラメータ 1	「TASKJUMPNO1	」で指定したタスク実行後の処理を指定します。
		① 終了	③ 何もしない
		② ログインに戻る	
	TASKJUMPNO1	dbSheetClient の総	る了ボタンがクリックされた時に実行する <b>タスク</b>
		<b>NO</b> を指定します。	

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- ① 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
- ② 「汎用パラメータ 1」で、「何もしない」を指定した場合は、「TASKJUMPNO1」で指定するタス クの中に、終了処理(タスクタイプ 303)を組み込んでください。+

■ 補足

db

「汎用パラメータ 1」で、「TASKJUMPNO1」で指定したタスク実行後の処理を指定します。
 終了 : 実行モードを終了し、dbSheetClient を終了します。
 ログインに戻る : 実行モードを終了し、dbSheetClient の「ログイン画面」を表示します。
 何もしない : 何も実行しません。

### ■ 使用例

db

◎起動時に、dbSheetClientの終了ボタンがクリックされた時にメッセージ("終了ボタンがクリックされました。")を表示して、実行モードを終了する設定の使用例を示します。

※「終了処理制御」設定後、dbSheetClientの終了ボタンをクリックした時の画面



「OK」ボタンを押すと、dbSheetClientの

実行モードを終了します。

#### ◎定義するシート:

- 1) 開始終了定義
- 2) タスク定義
- 1)開始終了定義の例

TASKNO	タスク名	BKNO	ブック名	権限レベル	オーブンクローズ	定義有効煮効フラグ	コメント 欄
1000	起動モード	1	Sample.xls		プロジェクト オープン		

# タスク定義の例(縦型表示の内容) ※TASKNO:1000 定義の詳細

#### ※TASKNO:1010 定義の詳細

タイトル	サブ	* 内容		1 <u>91</u>	サブ	*	内容
TASKNO		* 1000		2_TASKNO		*	1010
タスク名		* 起動モード		アタスク名		*	起動モード_終了処理制御
処理順NO		* 1		4 処理順NO		*	1
タスクタイプNO		* 301		5 タスクタイブNO		*	318
タスクタイプ名		* 起動モード		6 タスクタイブ名		*	メッセージ表示
タスクタイプ属性		* 終了処理制御		7 タスクタイブ属性			
BKNO		* 1	1	8 BKNO		*	1
ブック名		* Sample.xls		9 ブック名		*	Sample.xls
シート名				10 シート名			
処理条件判定セル	実行判定			11 処理条件判定セル	実行判定		
定義有効無効フラグ		有効		12 定義有効無効フラグ			
コメント 欄				13 コメント 欄			
セル指定属性				14 セル指定属性			直接
汎用バラメータ1	実行後の処理	終了		15 汎用バラメータ1	表示メッセージ	1	終了ボタンがクリックされました。
TASKJUMPNO1	実行タスクNO	1010		16 汎用バラメータ11	自動計算		
	X112X / NO	1000	11 I	10 Martin 222 211	LL 3001 71		

# 2.47 301:起動モード タスクタイプ属性(Excel 操作)

■ 機能

db

タスク実行中の全 Excel シートについて操作を(「許可」/「禁止」)を制御します。

(省略時は、「禁止」です。)

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		カフカウ美炉作両両の笠田				
		ダベクル我補未回回の配囲				
	A	B	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4120		
3	タスク名		*	起動モード(Excel操作)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	Excel操作		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
20	汎用パラメータ1	Excel操作		許可	禁止	補足①

-	項目説明	
	TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
	タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
	処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
	タスクタイプ NO	"301"を指定します。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
	タスクタイプ属性	" <b>Excel 操作</b> "を指定します。(省略不可)
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
		ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
		セルの値:" <b>True</b> " =実行する、" <b>False</b> " =実行しない
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有效
		② 無効
	コメント欄	
	セル指定属性	
		(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
		① 直接     ③ 間接アドレス
		② 間接
	汎用パラメータ 1	Excel 操作の状態を指定します。
		① 許可
		② 禁止

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

■ 補足

dby

- 「汎用パラメータ 1」で、タスク実行中の Excel 操作について指定します。
   許可:タスク実行中の Excel 操作を許可します。
   禁止:タスク実行中の Excel 操作を禁止します。
   省略した場合は、「禁止」指定になります。
- 使用例

定義例は、「■画面イメージ」を参照してください。



**dbSheetClient** 

# 2.48 301:起動モード タスクタイプ属性(開始終了時自動計算)

■ 機能

db

タスク実行中の開始終了時自動計算について操作を(「実行」/「停止」)を制御します。

(省略時は、「禁止」です。)

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

j -		タスク定義編集画面の範	Ħ		1	
	A	В	C	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4120		
З	タスク名		*	起動モード(開始終了時自動計算)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	開始終了時自動計算		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
20	汎用バラメータ1	開始終了時自動計算		実行	実行	補足①

■  項目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"301"を指定します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>開始終了時自動計算</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>         ① 直接         ③ 間接アドレス     </li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	開始終了時自動計算の状態を指定します。
	①実行
	② <b>停止</b>

- (注5)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注6)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注7)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注8)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
- 補足

「汎用パラメータ 1」で、開始終了時自動計算について指定します。
 実行:開始終了時自動計算を実行します。
 停止:開始終了時自動計算を停止します。
 省略した場合は、「実行」指定になります。



# ■ 使用例

定義例は、「■画面イメージ」を参照してください。



# 2.49 301:起動モード タスクタイプ属性(政行表示)

■ 機能

dby

タスクタイプ 203、204、205 の改行表示(「改行なし」/「改行あり」)の初期値を制御します。 (省略時は、「改行なし」です。)タスクタイプ 203、204、205 で改行表示が定義されない場合はこ の初期値が優先されます

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

1		タスク定義編集画面の範				ė
1	A	В	C	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4120		
З	タスク名		*	起動モード(改行表示)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	改行表示		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
20	汎用バラメータ1	改行表示	a a a a a a a a a		改行なし	補足①

項目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"301"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>改行表示</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	
	<ol> <li>① 改行なし</li> </ol>
	② 改行あり

- (注9)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注10) ····・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照して ください。
- (注11) ····・・・・・・・・・・・・・・・・・・・詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』 を参照してください。
- (注12) ·····・・・・・・・・・・・・・・・・・・詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照して ください。

■ 補足

db

② 「汎用パラメータ1」で、タスクタイプ203、204、205の改行表示(「改行なし」/「改行あり」)の初期値を制御します。。
 改行なし:タスクタイプ203、204、205の改行表示(「改行なし」)で初期値を定義します。。
 改行あり:タスクタイプ203、204、205の改行表示(「改行あり」)で初期値を定義します。
 省略した場合は、「改行なし」指定になります。

■ 使用例

定義例は、「■画面イメージ」を参照してください。



# 2.50 301:起動モード タスクタイプ属性(ショートカットキー制御)

# ■ 機能

dby

「ショートカットキー制御」の制御します。

(開発版のデバッグ実行では、ショートカットキーの制御は行っておらず、全て使用可能になるので 開発版の場合は、ログイン画面の「実行」から立ち上げて確認してください。。

# ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4120		
3	タスク名		*	起動モード(Excel最大化)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	ショートカットキー制御		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	右クリック制御		ONOFF	ON	補足①
16	汎用バラメータ2	Ctrl+C		ONOFF	ON	補足②
17	汎用バラメータ3	Ctrl+V		ONOFF	ON	補足③
18	汎用バラメータ4	Ctrl+X		ONOFF	ON	補足④
19	汎用バラメータ5	Ctrl+G		ONOFF	OFF	補足⑤
20	汎用バラメータ6	Ctrl+K		ONOFF	OFF	補足⑥
21	30月パラメータ7	Ctrl+Shift+9		ONOFF	OFF	補足⑦
22	汎用バラメータ8	Ctrl+Shift+O		ONOFF	OFF	補足圖
23	汎用パラメータ9	Shift+F11		ONOFF	OFF	補足⑨

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"301"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>起動モード</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>ショートカットキー制御</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> " =実行する、" <b>False</b> " =実行しない

di X

定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	「右クリック」の制御を指定します。※起動直後は利用可能
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 2	「コピー」の制御を指定します。※起動直後は利用可能
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 3	「貼り付け」の制御を指定します。※起動直後は利用可能
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 4	「切り取り」の制御を指定します。※起動直後は利用可能
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 5	「ジャンプ」の制御を指定します。※起動直後は利用不可
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 6	「ハイパーリンク挿入」の制御を指定します。※起動直後は利用不可
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 7	「行の再表示」の制御を指定します。※起動直後は利用不可
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 8	「列の再表示」の制御を指定します。※起動直後は利用不可
	① <b>ON</b>
	2 OFF
汎用パラメータ 9	「シートの挿入」の制御を指定します。※起動直後は利用不可
	① <b>ON</b>
	2 OFF

dbSheetClient

- (注5)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注6)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注7)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注8)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ④ 起動直後に設定を変更させたい場合は、「開始終了定義」で本タスクタイプを定義してください。
  - ⑤ 本タスクタイプで dbSheetClient 実行画面を隠し Excel 画面のみにした場合、メニューやボタン 表示がなくなるため、通常の操作からのタスク実行ができなくなります。この場合、ハイパータス ク実行の機能(タスクタイプ 426)を利用して、Excel 画面(セル上)に設定したボタンからタス クを実行させる必要があります。
- 補足
  - ⑦ 「汎用パラメータ 1」で、「右クリック」の制御を指定します。
     ON :可能にします。
     OFF:不可にします。
     省略した場合は、可能になります。
  - ⑧ 「汎用パラメータ 2」で、「コピー」の制御を指定します。
     ON :可能にします。
     OFF:不可にします。
     省略した場合は、可能になります。
  - ⑨ 「汎用パラメータ3」で、「貼り付け」の制御を指定します。
     ON :可能にします。
     OFF:不可にします。
     省略した場合は、可能になります。
  - 「汎用パラメータ4」で、「切り取り」の制御を指定します。
     ON :可能にします。
     OFF:不可にします。
     省略した場合は、不可になります。
     「汎用パラメータ5」で、「ジャンプ」の制御を指定します。
  - ON :可能にします。
     OFF:不可にします。
     省略した場合は、不可になります。
     「汎用パラメータ6」で、「ハイパーリンク挿入」の制御を指定します。
  - ON : 可能にします。
     OFF: 不可にします。
     省略した場合は、不可になります。

- 「汎用パラメータ7」で、「行の再表示」の制御の制御を指定します。
   ON:可能にします。
   OFF:不可にします。
   省略した場合は、不可になります。
   「汎用パラメータ8」で、「列の再表示」の制御を指定します。
   ON:可能にします。
   OFF:不可にします。
   GFF:不可にします。
   省略した場合は、不可になります。
   「汎用パラメータ9」で、「シートの挿入」の制御を指定します。
  - **ON** :可能にします。

db

**OFF**:不可にします。

省略した場合は、不可になります。
# **dbSheetClient**

Ver. 5. 0. 3. 0

# 2.51 301:起動モード タスクタイプ属性(タイムアクト秒数)

■ 機能

db

Web サービスのタイムアウト秒数を制御します。

(省略時は、100秒になります。)

■ 画面イメージ

3		タスク定義編集画面の	範囲			
ст. Г	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4120		
З	タスク名		*	タイムアウト秒数		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	改行表示		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ		a a a a d			
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
20	汎用バラメータ1	タイムアウト秒数			100	補足①

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) タスクタイプ属性......"タイムアウト秒数"を指定します。(省略不可) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) シート名......タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2) 処理条件判定セル.......タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接 汎用パラメータ1......タイムアウト秒数を指定します。

- (注13) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第
  - 4章 4.7各定義の編集方法のシート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注14) ····・・・・・・・・・・・・・・・・・・・詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照して ください。
- (注15) ····・・・・・・・・・・・・・・・・・・・詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』 を参照してください。
- 使用上の注意

■ 補足

dby

- 「汎用パラメータ 1」で、Web サービスのタイムアウト秒数を変更できるように制御します。
   省略した場合は、100になります。
- 使用例

定義例は、「■画面イメージ」を参照してください。



# 2.52 301:起動モード タスクタイプ属性(Ekaling)

■ 機能

dby

圧縮通信方式を制御します。

(省略時は、ONになります。)

# ■ 画面イメージ

1		タスク定義編集画面の	範囲			8
	A	В	C	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4120		
З	タスク名		*	起動モード(圧縮通信方式)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	301		
6	タスクタイプ名		*	起動モード		
7	タスクタイプ属性		*	<b>王縮通信方式</b>		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	ON/OFF	enemente de la contre	OFF	ON	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

Ver. 5. 1. 0. 0

**dbSheetClient** 

# 項目説明 TASKNO.....任意。(省略不可)(注1、2) タスクタイプ NO......"301"を指定します。(省略不可)(注1、3) BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) シート名......タスク実行時に表示するシートを指定します。(注1、2) 処理条件判定セル.......タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4) セルの値: "True" =実行する、 "False" =実行しない カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 (アドレス)指定の属性を指定します。(注4) ① 直接 ③ 間接アドレス 2 間接 汎用パラメータ 1.....ON/OFF を指定します。

- (注18) ·····・·・·・·・· 詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照して ください。
- (注19) ····・・・・・・・・・・・・・・・・・・・詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』 を参照してください。
- 使用上の注意

■ 補足

dby

「汎用パラメータ 1」で、を変更できるように制御します。
 ログインの「環境設定画面」に「④圧縮通信方式を利用しない」チェックが付いていない場合に有効になります。
 省略した場合は、ON になります。

■ 使用例

定義例は、「■画面イメージ」を参照してください。



# 2.53 302:メニュー制御 タスクタイプ属性(ウィンドウ)

■ 機能

db

dbSheetClient 実行画面左のメニューウィンドウに対する制御を行います。

- ウィンドウ: 汎用パラメータ1に"開く" or "閉じる"を指定してメニューウィンドウのON/OFF を制御します。
- ② 起動: **タスクタイプ属性(起動)**を参照してください。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4230		
3	タスク名		*	メニュー制御_ウィンドウ(閉)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	302		
6	タスクタイプ名		*	メニュー制御		
7	タスクタイプ属性		*	ウィンドウ		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			メニュー制御		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	メニューウィンドウ		閉じる	開<	補足①
18	汎用パラメータ2	横幅			省略時または0の時は215	補足②
19	汎用パラメータ3	メニューボタン			汎用パラ1の指定に基づく	補足③

項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	"302"を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	" <b>メニュー制御</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	メニューウィンドウへの操作を指定します。
	① 開<
	② 閉じる
汎用パラメータ 2	メニューウィンドウを開いた時の横幅をピクセル(数値)で指定しま
	す。
汎用パラメータ 3	メニューウィンドウ用ボタンを表示するか非表示にするかを指定し
	ます。
	2 OFF

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

■ 使用上の注意

db🟏

- メニューウィンドウを"閉じる"時と"開く"時に、汎用パラメータ3が省略された場合は、以下のように動作が違うので注意してください。
  - 閉じた状態→開く:
     メニューウィンドウが表示される時はメニューウィンドウ用のボタンも表示します。
  - 開いた状態→閉じる:
     メニューウィンドウが閉じる時はメニューウィンドウ用のボタンも非表示にします。

## ■ 補足

- ① 汎用パラメータ1:
  - 開く : メニューウィンドウを開きます。
  - 閉じる: メニューウィンドウを閉じます。
- ② 汎用パラメータ2:省略時または0の時は215となります。
- ③ 汎用パラメータ3:汎用パラメータ1の指定内容により動作が異なります。
  - 汎用パラメータ1が"**開く**"の時:
    - ON or 省略 :表示する
    - OFF :非表示
  - 汎用パラメータ1が"閉じる"の時:
    - ON :表示する
    - OFF or 省略 :非表示

# ■ 使用例

実例としてメニューウィンドウが開いている場合と閉じた場合の画面を示します。

メニューウィンドウが開いている場合の画面です。

🥝 DMOF サンプル集(入門編) Ver	4 user:Manual6	: 43							
ファイル(E) ヘルプ(H)	(復旧) プロジ:	ェクト: DMOF サンブル集	《入門編》Ver4	~	<	100 % O 50	0 75 0 10	00 🔘 150 🔵 範囲ズーム	
終了 標準サイズ ・ 画面リフレ	יעז 📕	<mark>ı−(SQL/照会へ)</mark>	メニュー(閉じる) メニュ	-(\$)	テーション)				
		<mark>メニューウィ</mark>	ンドウ用ポタン						
> 2)メニュー制御(302)									
Menu	4 dbS.43 -	Sample 9, 2094 JV4	4.xls L記の収り専用」	_					
▼メニューを選択してください。▼			E	F	Gi	Н	1	J	<u> </u>
げ(サンプル集・入門編) 🔨	2	302. メニュー#	則御						
データベース制御用タスクタイプ	3								
■ 1. SQL(201)	4	機能:	実行画面左のメニュー	ウィンドウに対する制	御を行いる	ます。			
- 1/照宏 - 2)更新カード型	5		& カフ カカイゴ属 性で下	「下の制御ができます					
3)更新リスト型	7	- C	、シスシントウの制御:沪	【用バラメータ1に「閉	。 (Jor「閉し	る」を指定してメニュ	ーウィンド	ウのON/OFFを制御	する
- 4)指定更新			ことができます。						
		( ) (	シメニューをタスクから	直接選択して起動:(	MNO を打	指定します) ミキナ			
- 7)トランザクション(223)	8		ホタン兼旧たけて指述	モメニューに切合へる		. d. y .			
■ 2.データ照会	9	49.00	11 01 101 175 lbr	はさわ グレスギ かっち	hu hi -	7 中午年日本110月11日	7 3. 11	. 75	
- 1)データ照会(203)	11	j≇TF:	absneetClient CTF.	成されている小ダブを	20900	し、夫打箱木で確認し	いみまし	-z-)。	
□ 2) 使采付7 = 9 照会(2) 文字·教字·口時·範囲λ力	12	)	に」-(SQL/照会へ)	「SQL/照会」の画	面を 直接	開きます。			
└ 1)入力画面(202)	13			切替後は、メニュー	ウィンドウ	から、「302-メニュ・	-制御」を	選択して戻ってくださ	い。)
自動作成	14		J(P91-Z)	メーリーウ かだうち	問います				
- 1)集計表自動作成(230) 加速なり知道の田からかくつ	10								
◎ 1. Xニュー関係	1/		メニュー( 開く )	メニューワイントワを	「別でより。				E
1)起動モード(301)	19								
- 2)メニュー制御(302) -	20								
- 3)終了処理(303儿新) - 4)ハイパー実行制御(5	21		メニュー(ローナーション)	メニューウィンドウク	)開閉を交	互に実行します。			
5)スクリーン制御(319)	23		定義:	(@メニュー制御トグ)	(با	(@メニュー制御 前の	値)	(@メニュー制御 区分	)
■ 2. タスク制御	24			閉じる	.,	開人		2	開く
<ul> <li>1)メインボタン・サブボタ:</li> <li>2)多件判定分岐(217)</li> </ul>	25		<mark>※</mark> タスク定	(義から直接展開(表示)され	ています。			【開始判定セル】	閉じる
- 3)メッセージ表示(318	26								
- 4)ループ処理(315)【新	28								
- 5)タイマー処理(316)【 の)サブクスト(ま)(	29								
<ul> <li>・ ロノサノタスク夫1丁(320)</li> <li>… 7)ログ情報書込み(32)</li> </ul>	30								
- 8)メール送信(325)	32								
9)画像PDF表示(330	33								
Excel制御用タスクタイブ 占 1 屋間	34								
1)直接展開(401)	35								
- 2)コピー(410)行タイプ	37								
L 3)クリア(411)	38								
	39						1		~
				Ш				NUM	21
<u>ان (الا</u>	1 13721							NOM	

タスク定義の例

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	4230
3	タスク名		*	メニュー制御_ウィンドウ(閉)
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	302
6	タスクタイプ名		*	メニュー制御
7	タスクタイプ属性		*	ウィンドウ
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			メニュー制御
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント欄			
16	セル指定属性			
17	汎用パラメータ1	メニューウィンドウ		閉じる
18	汎用パラメータ2	橫幅		
19	汎用パラメータ3	メニューボタン		

A·····汎用パラメータ1(メニューウィンドウ)に"閉じる"を指定したので、メニューを閉じます。

B·····汎用パラメータ 1 が "閉じる" で、かつ汎用パラメータ 3(メニューボタン)の指定を省略しているので、メニューボタンは非表示となります。

このタスク定義を実行すると、次の画面になります。

メニューウィンドウを閉じた場合の例です。

ib<mark>%</mark>

🥝 DMOF サンプル集	€(入門編)Ve	r4 user:Ma	anual6 <b>#</b> 3										
ファイル(E) ヘルプ(H)	)	復旧	プロジェクト: DM	OF サンブル集(入門編)Ve	4	*	<	100 % 🔿	50 🔿 75 🔿 100	) 🔿 150 🔿 🕷	御スーム		
終了 標準サイス	<ul> <li>画面リフレ</li> </ul>	<i>か</i> シュ	J_1-(SQL/	/照会へ) (パート)	(S)	ニュー(開() ) メニュー(ロ	ーテーション)	$\mathbf{N}$					
$\bigcirc$													
		ľ	,										
📕 dbS.#3 - Sam	npleタスクタイプ	₩4.xls [読i	み取り専用]				I			1			
A B	3 C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	0
2 30	)2. メニュー	制御											
3	静能・	宝行雨雨	±m√=	ウノルウに対する無	御を行い								
5	10K HC -	21100	10/-1	24212129.00	10001101	a.y.							
6	_	※タスクタ	マイブ属性でよ 「ウの制御: 汎	以下の制御ができます し用バラメータ1に「開	「。 く Ior「閉I	る」を指定してメニュ	ーウィンド	ウのON/OFFを制御	はる		-		
		ことかで	さます。										
		(2)メニュー ボタン技	-をタスクから 『作たけで指う	直接選択して 起動:・ 定メニューに切替える	、MNO を ことがでる	指定します) きます。							
8													
10	操作	: dbShee	etClientで作	成されているボタンを	クリックし	て、実行結果を確認	してみまし	ょう。					
11		x=1-(SC	과/昭全へ)	「SQL/賢会」の通	面を 直接	き 開きます。							
13		/ (00	all mich y	切替後は、メニュー	ウィンドウ	から、「302.メニュ	一制御」を	選択して戻ってくださ	い。)				
14			(LZ)	メニューウィンドウを	閉じます								
17		×===(		メニューウィンドウを	閉ぎます								
18													
20													
21		1)-r=x	コーテーション)	メニューウィンドウの	)開閉をう	を互に実行します。							
22			定義:	(@メニュー制御トグ	ル)	(@メニュー制御_前の	(値)	(@メニュー制御区分	)				
24					 	開く		2	開火	1			
25			★タ人クル	=義から旦接機開(表示)さ(	いにます。			「用始刊定ビル」	rila Ite	2			
27													
29													
30													
32													
33													
35													
36													
38											1		
39													×
אעדב											NUM	м	

メニューウィンドウおよびメニューウィンドウ用ボタンが非表示となっています。

	A	В	C	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	4231
3	タスク名		*	メニュー制御_ウィンドウ(開)
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	302
6	タスクタイプ名		*	メニュー制御
7	タスクタイプ属性		*	ウィンドウ
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			メニュー制御
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント欄			
16	セル指定属性			
17	汎用パラメータ1	メニューウィンドウ		開<
18	汎用パラメータ2	横幅		
19	汎用パラメータ3	メニューボタン		

この画面をもとに戻すためのタスク定義の例を、次に示します。

A·····汎用パラメータ1(メニューウィンドウ)に "開く"を指定したので、メニューを開きます。

B·····汎用パラメータ 1 が "**開く**" で、かつ汎用パラメータ 3(メニューボタン)の指定を省略しているので、メニューボタンは表示されます。



**dbSheetClient** 

# 2.54 302:メニュー制御 タスクタイプ属性(起動)

■ 機能

dby

dbSheetClient 実行画面左のメニューウィンドウに対する制御を行います。

- ① ウィンドウ: タスクタイプ属性(ウィンドウ)を参照してください。
- ② 起動: メニューの MNO を指定して、タスクを直接起動します。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4200		
3	タスク名		*	メニュー制御_起動		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	302		
6	タスクタイプ名		*	メニュー制御		
7	タスクタイプ属性		*	起動		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			メニュー制御		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	MNO	起動/ニュ-NO		4	何も実行しない	補足①、②
14	処理条件判定セル	実行判定				
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					
17	セル指定属性					
18	汎用パラメータ1	メニュー実行			実行しない	補足③、④

■ 項	目説明	
	TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	" <b>302</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
	タスクタイプ名	"メニュー制御"は自動表示します。(省略不可)
	タスクタイプ属性	"起動"を入力します。(省略不可)
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)
	シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
		定します。(注2)
	MNO	起動させるメニュー定義の MNO を指定します。
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有效
		② 無效
	コメント欄	
	セル指定属性	
		<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
		② 間接
	汎用パラメータ 1	「開始終了」 定義でメニュークリック時に実行するように指定されて
		いるタスクの実行有無を指定します。
		① 実行する
		② 実行しない

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

■ 使用上の注意

ib🏏

特にありません。

#### ■ 補足

- ① メニュー定義には表示 NO だけが表示されており、MNO は内部管理番号として表示されていない ため、13.MNO の設定時には参照(F4)から選択画面を表示して選択してください。
- ② MNO はメニューを作成した順番で自動的に割り当てられる番号であるため、メニューが表示される順番とは一致しません。参照(F4)の選択画面では MNO の昇順で表示されますので、選択を間違えないようにしてください。
- ③ 汎用パラメータ1は、メニュー定義の MNO が指定され、「開始終了」定義の「メニュークリック時」 が指定されている時に有効となります。
- ④ タスクから「メニュー制御」でメニューを起動した時に、デフォルトでは、メニュークリック時の タスクは実行しません。マウスでメニューをクリックした場合と同様に、「開始終了」のメニューク リック時のタスクを実行させたい時には、"実行する"を指定してください。

#### ■ 使用例

dby

メニュー制御(起動)を使用すると、マウスでメニューをクリックするのと同等動作をさせることができ ます。

現在のメニュー上の位置からメニューウィンドウ上の別のメニューを起動します。



タスク定義の例

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	4200	
3	タスク名		*	メニュー制御_起動	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	302	
6	タスクタイプ名		*	メニュー制御	
7	タスクタイプ属性		*	起動	
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			メニュー制御	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	MNO	起動メニュ-NO		4	
14	処理条件判定セル	実行判定			
15	定義有効無効フラグ				
16	コメント欄				
17	セル指定属性				
18	汎用パラメータ1	メニュー実行			

A·····MNO:4を指定したので、それに該当するメニューをクリックする時と同様に起動します。

# 2.55 303:終了処理 タスクタイプ属性(終了、ログインに戻る)

■ 機能

db

- ① dbSheetClient を終了します。
- ② タスクタイプ属性の指定により、直ちに終了させるか、ログイン画面に戻るかを指定することが可 能です。
  - 終了 : dbSheetClient を終了します。
  - ログインに戻る : dbSheetClient を終了せず、ログイン画面に戻ります。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	終了処理		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	303		
6	タスクタイプ名		*	終了処理		
7	タスクタイプ属性			ログインに戻る	終了	
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名				現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		@終了処理開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					

#### ■ 項目説明

db

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>303</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	" <b>終了処理</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	" <b>終了</b> "か"ログインに戻る"を入力します。(省略時は"終了")
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

特にありません。

■ 補足

特にありません。

#### ■ 使用例

① タスクタイプ属性:"終了"

「開始メッセージ」項目を設定することにより、確認メッセージを表示することが可能です。

🗖 dbSheetClient (確認) 🛛 🔣
(2) dbSheetClientを終了します。
はいの いいえゆ

「はい」を選択すると、dbSheetClientを終了します。

② タスクタイプ属性:"ログインに戻る"

「開始メッセージ」項目を設定することにより、確認メッセージを表示することが可能です。



「はい」を選択すると、dbSheetClientを終了せずにログイン画面に戻ります。

🥰 dbSheetClient (開発版) <135> 韓ニューコム dbSheetClientプロジェクト開発サーバ 🔚 🗌 🔀
ユーザID manual2 ヘルプ パスワード ######## ログイン 環境設定
<b>処理(プロジェクト)を選択してください。</b> DMOF タスクタイプサンプル(リファレンス) Ver4 DMOF サンプル集(人門編) V4 DMOF サンプル集(基本編) Ver3 DMOF サンプル集2 – 2(応用編) Ver3 SMOF セミナー開発(完成) Ver3 サンプルアプリケーション サンプルWebアプリケーション データベース保守サンプル セミナー開発(演習) Ver4 Excel-SQL活用マニュアル
実行 開発 口 プロジェクトIDを表示する ログオフ 終了



定義するシート:

- タスク定義 (タスクー覧を含む)
- Excel シート(任意)

#### タスク定義の例

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	99	
3	タスク名		*	終了処理	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	303	
6	タスクタイプ名		*	終了処理	
7	タスクタイプ属性			終了	 А
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	 В
10	シート名				
11	シート保護有無				С
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	開始時メッセージセル				
17	開始時メッセージ			dbSheetClientを終了します。-	 D

A……… タスクタイプ属性で、①"終了"か、②"ログインに戻る"を指定します。

B …… このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名("Sample.xls")です。

C……… 実行時に表示するシートを指定省略すると、表示するシートはかわりません。

D........ 開始時メッセージを入力すると、終了処理前に確認ダイアログを表示します。

# 2.56 304:ハイパー実行制御 タスクタイプ属性(有効、無効)

■ 機能

db

「タスクNO」を指定した「ハイパータスク実行」(タスクタイプ 426 で設定)を有効にするか無効に するかを指定します。

⇒「タスクタイプ属性」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	B	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	空白時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1000		
3	タスク名		*	ハイパータスク実行制御		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	304		
6	タスクタイプ名		*	ハイパー実行制御		
7	タスクタイプ属性		*	有効		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名				開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>304</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプNO設定により" <b>ハイパー実行制御</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	①" <b>有効</b> ":「タスクNO」による「ハイパータスク実行」を有効にする場合
	②" <b>無効</b> ":「タスクNO」による「ハイパータスク実行」を無効にする場合
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

を制御する必要があります。

「ボタン名」による「ハイパータスク実行設定」(タスクタイプ 426 で設定)はボタンの権限がそのまま有効になりますが、「タスク NO」による「ハイパータスク実行」(タスクタイプ 426 で設定)では、ボタンやメニューの権限が利用できません。
 そのため、本来権限のないユーザまで実行できる可能性があるので、本機能を使用して有効/無効

有効にした場合:「タスクNO(DBS#999)」による「ハイパータスク実行」を許可します。 無効にした場合:「タスクNO(DBS#999)」による「ハイパータスク実行」を禁止します。

- 補足
  - ① dbSheetClientの初期起動時には、本機能は「無効」状態になっています。

#### ■ 使用例

ihS

◎「有効」ボタン、「無効」ボタンにより、セル(c12)上に設定したハイパータスク実行用ボタン(「文字 入力」ボタン)を有効にしたり、無効にしたりする使用例を示します。

有効の場合は、押されるとセル参照先 (G13) に設定されている「DBS#5430」(タスクNOによる ハイパータスク実行)を実行します。実行すると「文字入力画面」を表示し、入力したデータを所定の セル (G15) へ展開するようになっています。

無効の場合は、押しても何も動作しません。

ஜ サンプルアプリケーション【デバッグ】user:Manual5 ≉1									
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	(復日) プロジェクト: サンプルアプリケーション	×		> 100 % ○ 50	○ 75 ○ 100 ○ 150 ○ 範囲ス~ム				
終了 標準サイズ · 画面リフレッ メニュー 再 ステップ停止	791 有效 無效	「有効」ボ	タンを押すと"	'有効"、					
<ul> <li></li></ul>	Sample xla     (株み取り)     (株み取り)     (株み取り)     (株み取り)     (株本の)     (株本の)     (株本の)     (株本の)     (ままま)     (まま)	- F) - doS 「無効」ボ 表示が切り 「タクNO」を指 、1. 「メタン名」」 「タクNO」による そのため、本来催開 有効/流り、利用す ※2. dbShuertOviento 学入力 東行する:	タンを押すと" 替わります。 バータスク実行」をオ パータスク実行」では、ポ ーサまで実行できる があります。 起動時には「黒効」サ	?無効"に 物にするか無效 ボタンの権限がその ので能性があるの 戦闘になっていま 「決定」ボ 巨のセルへ	I J J K のまま有効になりますが、 2 で、本欄能を使って、 す。				
22次小しより。				り形成用で	110.90				
<b>◎</b> 入: 文 文	dbS-文字入力画面 <b>力画面(文字)</b> (字(列)を入力してください <b>(字データ1</b>	<b>v</b>	× キャンセル 決定						

◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3)タスク定義
- 4) 展開定義
- 5) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
545 4	4)ハイバー実行制御	1	Sample.xls	ハイバー実行制御	0	540

2)ボタン定義の例

BSNO	ホタンNO ホタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
540	1 有効	5410	ハイバー実行制御(304)_有効			
540	2 無効	5420	ハイバー実行制御(304) 無効			

<u>dy</u>

#### 3) タスク定義の例 **タスク名** 5410 ハイパー実行制御(304),有効 5410 ハイパー実行制御(304),有効 5420 ハイパー実行制御(304),無効 5420 ハイパー実行制御(304),無効 5420 ハイパー実行制御(304),無効 処理願NO タスクタイプNO タスクタイプ名 タスクタイプ属性 BKNO ブック名 1 304 ハイパー実行制御 有効 1 Sample xls ハ · ブック名 シート名 Sample xls ハイパー実行制御 Sample xls ハイパー実行制命 Sample xls ハイパー TASKNO 304 ハイバー 401 直接展開 304 ハイパー身 401 直接展開 202 入力画面 , 実行制御 無効 5430 文字用 文字 Sample.xls ハイバー実行制御 力画面 ※5410(直接展開)定義の詳細(縦型表示の内容) ※5420(直接展開)定義の詳細(縦型表示の内容) タイトル | サブ 内容 ቃብኑ ル サブ \* 内容 941 TASKNO タスク名 処理順NO タスクタイブNO タスクタイブ名 マイT TAS CNO タスク名 処理順NO タスクタイプNO タスクタイプ名 541.0 いイバー実行制御(304)\_有効 いイバー実行制御(304)\_無効 401 直接展開 直接展開 タスクタイブ名 BKNO ブック名 シート名 DNO 処理条件判定セル 定義有効無効フラグ コメント欄 9人り9477名 BKNO ブック名 シート名 DNO 処理発条件判定セル 定義有効無効フラグ コメント欄 1 Sample.xls ハイバー実行制御 ı Sample.xls ハイバー実行制御 5420 いイバ 5410 実行判定 実行判定 4) 展開定義の例 ※DNO5410 定義の詳細(縦型表示の内容) ※DNO5420 定義の詳細 (縦型表示の内容) タイトル タイトル 内容 サブォ 内宏 タイトル DNO データ展開名 処理順NO 定義区分 タイトル DNO データ展開名 処理順NO 定義区分 タイプ 数式OR値 字完有効無対 5420 |展開<mark>\_ハイパー実行制御(304)\_</mark>無効 5410 展開\_ハイバー実行制御(304)\_有効 -タスク定義 <u>直接展開</u> 無効 タスク定義 タイプ 数式OR値 直接展開 有効 数式OR値 定義有効無効フラグ コメント欄 シート名 セル指定属性 セル範囲 シート保護有無 シート保護有無 シート保護存在 ハイバー実行制御 いイバー実行制御 @ハイバー実行制御設定 @ハイバー実行制御設定 自動計算方法 自動計算方法 「名前の定義」で定義した"有効" '無効"を表示するセルの名 前を指定します。 5) Excel シートの定義(Excel ファ イル:「Sample.xls」/シート 「ハイパー実行制御」) B C K I A D 1 ハイバー実行制御 2 З 機能 :「タスクNO」を指定する「ハイパータスク実行」を有効にするか無効にするかを指定します。 4 ※1.「ボタン名」による「ハイバータスク実行」はボタンの権限がそのまま有効になりますが、 5 ~1:カンノコルにある「ハイバータスク実行」でオンノンで加速な「ひめを用効になりない。 「タスクNO」による「ハイバータスク実行」では、ボタンやメニューの権限が利用できません。 そのため、本来権限のないユーザまで実行できる可能性があるので、本礎能を使って、 6 ていため、年末市政のないエーラムに入口してる可能はかのるのし、 有効/無効を制度する必要があります。 ※2. dbSheetClientの初期起動時には「無効」状態になっています。 7 8 9 10 11 文字入力 ハイバータスク実行の制御をします。 12 **煮効**、 DBS#5430 13 実行するタスク 14 15 入力デー ち 16 17 セル(C12)上にハイパータスク実行用ボタ "有効"/"無効"を表示するセルを Excel の 「名前の定義」で、"ハイパー実行制御設定" ンを作成し、ハイパーリンクでセル参照先 を G13 に設定します。G13 のセルには という名前を定義しておきます。 「DBS#5430」を入力しておきます。

# 2.57 310:メインボタン表示 タスクタイプ属性(有効、無効、隠す、ボタン切替) 機能 メインボタンのボタン表示を有効、無効(グレイ表示)、隠す、に切り替えます。 「ボタン切替」で、メインボタン自体を変更します。 メインボタンがクリックされた後、メインボタンを無効にしてサブボタンを表示した時や、メインボタン を隠してサブボタンだけを表示する時などに使用します。 起動モードでメニューエリアやボタンエリアを非表示にした時や、Excel 最大化の表示をおこなって dbSheetClient の実行画面を隠し、Excel だけの表示にした時等、メインボタンを切り替えたい場合に 効果的に利用できます。 ※403.シート切替のタスクタイプを利用すると、シートの切替→メインボタンの無効化/隠す→サブタス クの表示を、一度におこなうことができます。 ① 有効: メインボタン(ボタン NO1~20) を有効にします。 ② 無効: メインボタンを無効表示(グレイ)にし、クリックできないようにします。サブボタンを 表示した時に利用します。

- ③ 隠す: メインボタンを隠し、サブボタンのみを表示します。
- ④ ボタン切替: メインボタン(セット)を別のメインボタン(BSNO)に切り替えます。
- 画面イメージ

db🟏

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	506		
3	タスク名		*	メインボタン表示_有効		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	310		
6	タスクタイプ名		*	メインボタン表示		
7	タスクタイプ属性		*	有効		補足①
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名					
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	BSNO	メインBSNO		0	何もしない	補足②
14	処理条件判定セル	実行判定				
15	定義有効無効フラグ					
16	コメント欄					

項目	目説明		
	TASKNO	…任意(省略不可) (注	1,2)
	タスク名	…自動表示します。(省	略不可)
	処理順 NO	…任意(省略不可) 同一	タスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	…" <b>310</b> "を入力します	。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	…"メインボタン表示"は	は自動表示します。(省略不可)
	タスクタイプ属性	…次から指定します。(	省略不可)
		① 有効	<ol> <li>3 隠す</li> </ol>
		② 無効	④ ボタン切替
	BKNO	… タスク実行する Exce	el ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
		BKNO はブック運用	定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりフ	「ック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	…タスク実行時に表示	するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)	
	シート保護有無	シートに保護がかけ	られている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
		① (空白)	
		② <b>有り</b>	
	シート保護解除 PW	シートの保護解除に	パスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
		定します。(注2)	
	BSNO	メインボタンとして	表示させたい BSNO を指定します。
	処理条件判定セル	…タスク実行を条件に。	より制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	…タスクを実行させた。	くない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)	
		① 有効	
		② 無効	
	コメント欄	…開発時のメモ書きや	修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- メインボタンのボタン NO は1~10(上段)と11~20(下段)、サブボタンのボタン NO は 21~30(上段)と31~40(下段)となります。
- ② メインボタンの切替をしても、メニュー選択直後に表示されるメインボタン(BSNO)が最上位のメインボタンとして扱われます。403.シート切替の汎用パラメータ2でメインボタンを有効にした場合、最上位のメインボタンが有効となりますので注意が必要です。

### ■ 補足

- ① タスクタイプ属性が"隠す"の場合、
  - サブボタンを表示する処理を実行しない場合、"**無効**"と同様にグレイ表示となります。
  - サブボタンは上段、下段共に全体に表示されます。
- ② BSNO: 「タスクタイプ属性」が"**ボタン切替**"の時のみ有効です。

■ 使用例

もとになるメインボタンの画面を示します。

メインボタン無効メインボタン隠すメインボタン切替

次にメインボタンを"無効"にして、サブボタンを表示した場合の画面を示します。

メインボタン無効メインボタン隠すメインボタン切替

メインボタン有効

このときのタスク定義の例です。

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	504	
3	タスク名		*	メインボタン表示_無効	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	310	
6	タスクタイプ名		*	メインボタン表示	
7	タスクタイプ属性		*	無効	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名				
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	BSNO	メインBSNO		0	
14	処理条件判定セル	実行判定			
15	定義有効無効フラグ				
16	コメント欄				

A·····タスクタイプ属性に"無効"を指定したので、メインボタンがグレイ表示になります。

次にメインボタンを "隠す"にして、サブボタンを表示した場合の画面を示します。

メインボタン有効

db

このときのタスク定義の例です。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	1
2	TASKNO		*	505	1
3	タスク名		*	メインボタン表示_隠す	1
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	310	
6	タスクタイプ名		*	メインボタン表示	
7	タスクタイプ属性		*	隠す	<u> </u>
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名				
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	BSNO	メインBSNO		0	1
14	処理条件判定セル	実行判定			
15	定義有効無効フラグ				
16	コメント欄				

A·····タスクタイプ属性に"**隠す**"を指定したので、メインボタンが非表示となり、サブボタンが全体 表示になります。

次にメインボタンを"ボタン切替"にして、別のボタンセットを表示した場合の画面を示します。

このときのタスク定義の例です。

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	507	
3	タスク名		*	メインボタン表示_切替	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	310	
6	タスクタイプ名		*	メインボタン表示	
7	タスクタイプ属性		*	ボタン切替	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名				
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	BSNO	メインBSNO		52	— В
14	処理条件判定セル	実行判定			
15	定義有効無効フラグ				
16	コメント欄				

A·····タスクタイプ属性に"ボタン切替"を指定します。

B·····BSNOに別のボタンセットの番号を指定したので、ボタン全体が切り替わっています。

## 2.58 311:サブボタン表示 タスクタイプ属性(表示、クリア)

■ 機能

db

指定されたボタンセット No(BSNO)のボタンを、サブボタン領域に表示またはクリアします。 通常は、310.メインボタン表示のタスクタイプと組み合わせて使用します。

- ① 表示: BSNOで指定されたボタンセットを、サブボタン No21~30:上段右側、サブボタン No31~40:下段右側 に表示します。
- ② クリア: 表示中のサブボタン No21~30:上段右側、サブボタン No31~40:下段右側
   をクリアします。
- ③ 指定した左からの表示開始位置よりボタンを表示します。(省略時:480 ピクセル)
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	504		
3	タスク名		*	サブボタン表示		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	311		
6	タスクタイプ名		*	サブボタン表示		
7	タスクタイプ属性		*	表示		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名					
11	BSNO	サプBSNO		51	何もしない	補足①
12	処理条件判定セル	実行判定				
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					
15	セル指定属性					
16	汎用パラメータ1	上段開始位置			480	
17	汎用パラメータ2	下段開始位置			480	

**dbSheetClient** 

項目説明					
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)				
タスク名	自動表示します。(省略不可)				
処理順 NO	任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。				
タスクタイプ NO	"311"を入力します。(省略不可) (注1、3)				
タスクタイプ名	" <b>サブボタン表示</b> "は自動表示します。(省略不可)				
タスクタイプ属性					
	① 表示				
	② <b>クリア</b>				
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。				
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)				
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)				
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。				
	(注1、2)				
BSNO	表示するサブボタンのボタンセット NO (BSNO)を指定します。				
処理条件判定セル					
定義有効無効フラグ					
	カです。(注1、2)				
	① 有效				
	② 無效				
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。				
セル指定属性					
	① 直接 ③ 間接アドレス				
	② <b>間接</b>				
汎用パラメータ 1					
	指定します。				
汎用パラメータ 2					

- ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- メインボタンのボタン NO は1~10(上段)と11~20(下段)、サブボタンのボタン NO は 21~30(上段)と31~40(下段)となります。
- ② メインボタンを "隠す"にすると、サブボタンは上段、下段共に全体に表示されます。
- ③ サブボタンをクリアする時は、タスクタイプ310.メインボタン表示でメインボタンを"有効"にしてください。

- 補足
  - ① BSNO: 「タスクタイプ属性」が"表示"の時のみ有効です。
- 使用例

もとになるメインボタンの画面を示します。

メインボタン厚す	メインボタン切替	
	メインボタン隠す	メインボタン隠す メインボタン切替

次にメインボタンを"無効"にして、サブボタンを"表示"にした場合の画面を示します。

メインボタン無効」メインボタン隠す」メインボタン切替

メインボタン有効

このときのタスク定義の例です。

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	504	
3	タスク名		*	サブボタン表示	
4	処理順NO		*	2	
5	タスクタイプNO		*	311	
6	タスクタイプ名		*	サブボタン表示	
7	タスクタイプ属性		*	表示	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名				
11	BSNO	サブBSNO		51 ———	— В
12	処理条件判定セル	実行判定			
13	定義有効無効フラグ				
14	セル指定属性				
15	汎用パラメータ1	上段開始位置			
16	汎用パラメータ2	下段開始位置			
17	コメント欄				

A·····タスクタイプ属性に "表示"を指定したので、サブボタンが表示されます。

B·····BSNO に表示させるサブボタンセットの番号を指定します。

次にメインボタンを"有効"にして、サブボタンを"クリア"することで最初の画面に戻ります。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	506	
3	タスク名		*	サブボタンクリア	
4	処理順NO		*	2	
5	タスクタイプNO		*	311	
6	タスクタイプ名		*	サブボタン表示	
7	タスクタイプ属性		*	クリア ―――	⊢ A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名				
11	BSNO	サブBSNO		0	
12	処理条件判定セル	実行判定			
13	定義有効無効フラグ				
14	セル指定属性				
15	汎用パラメータ1	上段開始位置			
16	汎用パラメータ2	下段開始位置			
17	コメント欄				

そのときのタスク定義の例です。

A·····タスクタイプ属性に "クリア"を指定したので、サブボタンが非表示となります。



### 2.59 315:ループ処理 タスクタイプ属性(ループ開始位置)

■ 機能

db

- ① ループ処理の開始位置を示します。
- ② タスクの中で、タスクタイプ属性「ループ終了位置」と組み合わせ、ループ開始位置とループ終了 位置のタスクタイプに挟まれているタスクを繰返し実行します。
- ③ ループ処理の形態は、汎用パラメータ1(ループ処理形態)で指定し、「回数指定」、「前判定ループ」、「後判定ループ」の3とおりです。
- ④ ループ処理から強制的に抜け出す条件を2種類指定することができます。
  - 汎用パラメータ7~9(EXIT 判定1関連)、汎用パラメータ10~12(EXIT 判定2関連)の どちらかが真の時、ループ処理を終了します。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	ループ処理		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	315		
6	タスクタイプ名		*	ループ処理		
7	タスクタイプ属性		*	ループ開始位置		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定		@ループ処理実行判定		
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄			ループ開始		
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	ループ処理形態	*	回数指定		補足①、②
16	汎用パラメータ2	ループ回数		100	00	補足②
17	汎用パラメータ3	判定セル				補足③
18	汎用パラメータ4	条件式				補足②
19	汎用パラメータ5	条件値				11
20	汎用パラメータ6	無限ループ防止制限回数			1,000回 (千回)	11
21	汎用パラメータ7	EXIT判定セル1			判定しない	補足③
22	汎用パラメータ8	EXIT条件式1			判定しない	補足②
23	汎用パラメータ9	EXIT条件值1			判定しない	11
24	汎用パラメータ10	EXIT判定セル2			判定しない	補足③
25	汎用パラメータ11	EXIT条件式2			判定しない	補足②
26	汎用パラメータ12	EXIT条件值2			判定しない	11
27	汎用パラメータ13	処理制御画面			表示しない	11
28	汎用パラメータ14	表示メッセージ			処理中	11

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>315</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	. " <b>ループ処理</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	. " <b>ループ開始位置</b> "を入力します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNOはブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)

db 2

dbSheetClient

シート名	.タスク実行時に表示す	するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)	
処理条件判定セル	.タスク実行を条件によ	いり制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたく	、ない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① 有効	
	② 無效	
コメント欄	.開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
セル指定属性	.汎用パラメータの設定	この仕方を、下記から指定します。(注4)
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ 1	.ループ処理形態:ルー	-プ処理の形態を ① <b>回数指定、</b> ② <b>前判定、③後</b>
	<b>判定</b> から指定します	。(注4)
	① 回数指定	③ 後判定
	②前判定	
汎用パラメータ 2	.ループ回数:ループ処	理形態(汎用パラメータ 1)が① <b>回数指定</b> の時、
	ループ処理対象のタス	スクを実行する回数を指定します。(セル指定属
	性に「間接」、「間接ア	<b>?ドレス</b> 」を指定することで、セルの値で実行回
	数を指定することがで	できます。)(注4、5)
汎用パラメータ3	.判定セル:ループ処理	毘形態(汎用パラメータ 1)が② <b>前判定、③後判</b>
	定の時、条件式(汎用	パラメータ4)で判定する値の入ったセルのア
	ドレスを指定します。	(注4)
汎用パラメータ 4	.条件式:ループ処理刑	/態(汎用パラメータ 1)が パ の時、判
	定セル(汎用パラメー	-タ3)と条件値(汎用パラメータ5)と関係を
	示す記号を以下から推	錠します。(注4、6)
	1 <	④ >=
	2 =<	5 >
	3 =	6 <>
汎用パラメータ 5	.条件値:判定セル(泳	汎用パラメータ 4)に対応する値を指定します。
汎用パラメータ6	.無限ループ防止制限回	回数:無限ループを防止するために、ループ処理
	を実行する回数の上随	<b>閾値を指定します。(注</b> 4)
汎用パラメータ7	.EXIT 判定セル1:ノ	レープ処理を強制的に抜け出す条件を判定する
	EXIT 条件式1(汎用	パラメータ 8)で判定する値の入ったセルのア
	ドレスを指定します。	(注4)
汎用パラメータ8	.EXIT 条件式1:EXIT	「判定セル1(汎用パラメータ7)とEXIT 条件
	値1(汎用パラメータ	9 9)と関係を示す記号を以下から指定します。
	(注4、6)	
	1 <	④ >=
	2 =<	5 >
	3 =	6 <>
汎用パラメータ 9	.EXIT 条件值1:EXIT	▼判定セル1(汎用パラメータ7)に対応する値
------------	-----------------	-----------------------------
	を指定します。	
汎用パラメータ 10	.EXIT 判定セル2:ル	ループ処理を強制的に抜け出す条件の判定する
	EXIT 条件式2(汎用	目パラメータ 11)で判定する値の入ったセルの
	アドレスを指定します	す。(注4)
汎用パラメータ 11	.EXIT 条件式2:EXIT	T 判定セル2(汎用パラメータ 10)と EXIT 条
	件値2(汎用パラメ-	-タ 12)と関係を示す記号を以下から指定しま
	す。(注4、6)	
	1 <	④ >=
	2 =<	© >
	3 =	© <>
汎用パラメータ 12	.EXIT 条件值2:EXIT	T 判定セル2(汎用パラメータ 10)に対応する
	値を指定します。	
汎用パラメータ 13	.処理制御画面表示:『	『表示する』を選択すると処理制御画面(処理を
	途中で一時停止した	り、中止したりしてループ処理を制御する画面)
	を表示します。	
	① (空白)	
	② 表示する	
汎用パラメータ 14	.表示メッセージ:処理	理制御画面に表示するメッセージを指定します。

(注4)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5) ループ回数は、1~2147483647(2<sup>31-1</sup>)です。指定した数値に小数点以下の数がある 場合、小数点以下の数値は切り捨てた回数分、ループ処理を繰返します。
- (注6) それぞれの記号は、小さい (<)、以下 (=<)、等しい (=)、以上 (>=)、より大きい (>)、等し<ない (◇)を表します。
  - 判定セルの値と条件値がどちらも数値表現になっている時の条件判定は、両方を単精度浮動小数点数に変換して比較し、判定します。
  - ② 判定セルの内容と条件値のどちらか一方、または、両方が数値ではない時の条件判定は、 判定セルの内容と条件値を文字列として比較し、判定します。 (ただし、どちらか一方が論理値の時の条件判定は、常に論理値が大きいと判定し、どちらも論理値の時の条件判定は、TRUE が大きいと判定します。)

■ 使用上の注意

dby

- 同一のタスク NO 内で「315:ループ処理(開始処理)」、「315:ループ処理(終了処理)」の組み合わせを2組以上定義することはできません。
  - ループ処理のネスト(入れ子)をおこないたい時は、別タスクでループ処理を設定し、ループ
     内からループ処理を設定したタスクをサブタスク実行で呼び出します。
- ② ループ回数の最大値は、2147483647(2^31-1)です。
- ③ ループ処理形態が前判定、または、後判定の場合、セルの値と条件値との数値比較は、単精度浮動 小数点数に変換し比較します。このとき、丸め誤差のため、セルの値と条件値との比較結果と条件 判定結果に違いが生ずる可能性があります。
  - 単精度浮動小数点数の負の値は -3.4028235E+38 ~ -1.401298E-45、正の値は
     1.401298E-45 ~ 3.4028235E+38 です。

#### ■ 補足

① ループ処理の形態は以下の通りです。



- 回数指定:「ループ処理」「ループ開始位置」と「ループ終了位置」の間に定義したタスクを「ル ープ回数」で指定した回数だけ実行します。(BASIC の For ~ Next に相当)
- 前判定:「判定セル」、「条件式」、「条件値」で定義した条件が真の時、「ループ処理」「ループ
   開始位置」と「ループ終了位置」の間に定義したタスクを繰返します。条件の判定は、タスク
   実行前におこないます。

(BASICの Do While ~ Loop に相当)

後判定:「判定セル」、「条件式」、「条件値」で定義した条件が真の時、「ループ処理」「ループ開始位置」と「ループ終了位置」の間に定義したタスクを繰返します。条件の判定は、タスク実行後におこないます。

(BASICの Do~ Loop While に相当)

- 2 セル指定属性が「間接指定」の時は、アドレス、または、名前定義を設定します。
- ③ セル指定属性が「**間接指定**」の時は、「間接アドレス」の動作となるため、指定したアドレス、また は、名前定義が示すセルに判定するセルのアドレスを設定します。
- ④ 317.条件判定分岐、320.サブタスク実行、406.印刷(連続印刷)の処理は、再帰処理を利用しているため、315.ループ処理を実行すると処理スピードは低下します。
  - 317.条件判定分岐や 320.サブタスク実行、406.印刷(連続印刷)など他のタスクを実行するタスクは、再帰処理を利用しているため、実行回数(再帰処理回数)が100回以上連続して続く時は、極端にスピードが落ちる場合があります。このとき、315.ループ処理を利用することで、処理スピードの低下を回避できます。

- ⑤ タスクタイプ「ループ開始位置」の開始メッセージ、終了メッセージは、ループ処理を開始する時に表示します。
- 使用例

db🟏

以下は、「タスクタイプ:ループ処理(ループ開始位置)」の使用例です。 定義するシート

• タスク定義(タスクー覧を含みます)

タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイプNO	タスクタイプ名	タスクタイプ属性	BKNO	ブック名	シート名
1 1	ループ処理(315)_計算開始	1	317	条件判定分岐		1	Sample.xls	ループ処理
2 1	ループ処理(315)_計算開始	2	401	直接展開		1	Sample.xls	ループ処理
3 1	ループ処理(315)_計算開始	3	319	スクリーン制御	停止	1	Sample.xls	1
4 1	ルーフ処理(315)_計算開始	4	315	ループ処理	ループ開始位置	1	Samplexis	ループ処理
5 1	ループ処理(315)_計算開始	5	410	コピー		1	Sample.xls	ループ処理
6 1	ループ処理(315)_計算開始	6	315	ループ処理	ループ終了位置	1	Sample.xla	
7 1	ループ処理(315)_計算開始	7	319	スクリーン制御	更新	1	Sample.xls	
8 1	ループ処理(315) 計算開始	8	318	メッセージ表示		1	Samplexis	ループ処理

処理順 NO:3「タスクタイプ:ループ処理(ループ開始位置)」で指定回数、または、判定条件に従い、 処理順NO:5「タスクタイプ:コピー」を繰返し実行します。

下記の例は、繰返し回数を10回に指定したタスク定義「タスクタイプ:ループ処理(ループ開始位置)」 です。

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	ループ処理
4	処理順NO		*	3
5	タスクタイプNO		*	315
6	タスクタイプ名		*	ループ処理
7	タスクタイプ属性		*	ループ開始位置
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	処理条件判定セル	実行判定		\$ループ処理実行判定
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント欄			ループ開始
14	セル指定属性			
15	汎用パラメータ1	ループ処理形態	*	回数指定
16	汎用パラメータ2	ループ回数		10
17	汎用パラメータ3	判定セル		
18	汎用パラメータ4	条件式		
19	汎用パラメータ5	条件値		
20	汎用パラメータ6	無限ループ防止制限回数		
21	汎用パラメータ7	EXIT判定セル1		
22	汎用パラメータ8	EXIT条件式1		
23	汎用パラメータ9	EXIT条件值1		
24	汎用パラメータ10	EXIT判定セル2		
25	汎用パラメータ11	EXIT条件式2		
26	汎用パラメータ12	EXIT条件值2		
27	汎用パラメータ13	処理制御画面		
28	汎用パラメータ14	表示メッセージ		

下記の例は、Excel シートに定義したループ終了回数と判定値 10 を比較するタスク定義「タスクタイ プ:ループ処理(ループ開始位置)」の例です。

#### タスク定義(前判定)の例

db)

	A	B	C	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	ループ処理
4	処理順NO		*	3
5	タスクタイプNO		*	315
6	タスクタイプ名		*	ループ処理
7	タスクタイプ属性		*	ループ開始位置
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	処理条件判定セル	実行判定		\$ループ処理実行判定
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント欄			ループ開始
14	セル指定属性			
15	汎用パラメータ1	ループ処理形態	*	前判定
16	汎用パラメータ2	ループ回数		
17	汎用パラメータ3	判定セル		@ループ終了回数
18	汎用パラメータ4	条件式		=<
19	汎用パラメータ5	条件値		10
20	汎用パラメータ6	無限ループ防止制限回数		
21	汎用パラメータ7	EXIT判定セル1		
22	汎用パラメータ8	EXIT条件式1		
23	汎用パラメータ9	EXIT条件值1		
24	汎用パラメータ10	EXIT判定セル2		
25	汎用パラメータ11	EXIT条件式2		
26	汎用パラメータ12	EXIT条件值2		
27	汎用パラメータ13	処理制御画面		
28	汎用パラメータ14	表示メッセージ		

A……条件判定の対象となるセル、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。



Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」

A·····タスク定義の判定セル、名前定義= "ループ終了回数"

下記の例は、セル指定属性を間接指定とし、ループ処理形態、ループ回数、判定セル、条件式、条件値を Excel シートに定義したタスク定義「タスクタイプ:ループ処理(ループ開始位置)」の例を示します。 (Excel シートのループ処理形態を変更することにより、ループ処理の形態を変えることができます。)

-	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	ループ処理
4	処理順NO		*	3
5	タスクタイプNO		*	315
6	タスクタイプ名		*	ループ処理
7	タスクタイプ属性		*	ループ開始位置
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	処理条件判定セル	実行判定		\$ループ処理実行判定
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント欄			ループ開始
14	セル指定属性			間接
15	汎用パラメータ1	ループ処理形態	*	@ループ処理形態 ――――
16	汎用パラメータ2	ループ回数		@ループ回数
17	汎用パラメータ3	判定セル		@判定セル指定
18	汎用パラメータ4	条件式		@条件式
19	汎用パラメータ5	条件値		@条件値
20	汎用パラメータ6	無限ループ防止制限回数		
21	汎用パラメータ7	EXIT判定セル1		
22	汎用パラメータ8	EXIT条件式1		
23	汎用パラメータ9	EXIT条件值1		
24	汎用パラメータ10	EXIT判定セル2		
25	汎用パラメータ11	EXIT条件式2		
26	汎用パラメータ12	EXIT条件值2		
27	汎用パラメータ13	処理制御画面		
28	汎用パラメータ14	表示メッセージ		

セル指定属性に間接を指定したタスク定義(回数指定)の例

dby

B····ループ処理形態を示すセル、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。 C····ループ回数を示すセル、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。



Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」

B·····タスク定義のループ処理形態、名前定義="ループ処理形態"

C……タスク定義のループ回数、名前定義="ループ回数"



セル指定属性に間接を指定したタスク定義(前判定)の例



B・・・・ルーブ処理形態を示すセル、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。
 D・・・・判定セルを示すセル、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。
 E・・・・、条件式を示すセル、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。
 F・・・・、条件値を示すセル、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



B·····タスク定義のループ処理形態、名前定義= "ループ処理形態"

D·····タスク定義の判定セル、名前定義= "判定セル指定"

E・・・・タスク定義の条件式、名前定義= "条件式"

F・・・・タスク定義の条件値、名前定義= "条件値"

# 2.60 315:ループ処理 タスクタイプ属性(ループ終了位置)

■ 機能

db

- ① ループ処理の終了位置を示します。
- ② タスクの中で、タスクタイプ属性「ループ開始位置」と組み合わせ、ループ開始位置とループ終了 位置のタスクタイプに挟まれているタスクを繰返し実行します。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	ループ処理		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	315		
6	タスクタイプ名		*	ループ処理		
7	タスクタイプ属性		*	ループ終了位置		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄			ループ終了位置		

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>315</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	." <b>ループ処理</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	. " <b>ループ終了位置</b> "を入力します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	カです。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

■ 使用上の注意

特にありません。

■ 補足

db

- タスクタイプ「ループ終了位置」の開始メッセージ、終了メッセージは、EXIT 判定条件1または、 EXIT 判定条件2が真となりループ処理から脱出した時、およびループ処理を終了した時に表示します。
- 使用例

「タスクタイプ:ループ処理(ループ終了位置)」の使用例です。

定義するシート

• タスク定義(タスクー覧を含みます)

#### タスク定義の例

	TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイプNO	タスクタイプ名	タスクタイプ属性	BKNO	ブック名	シート名
1	1	ループ処理(315)_計算開始	1	317	条件判定分岐		1	Sample.xls	ループ処理
2	1	ループ処理(315)_計算開始	2	401	直接展開		1	Sample.xls	ループ処理
3	1	ループ処理(315) 計算開始	3	310	スクリーン制御	停止	1	Sample.xls	
4	1	ルーフ処理(315)_計算開始	4	315	ループ処理	ループ開始位置	1	Sample.xls	ループ処理と
-5<	1	ループ処理(315)_計算開始	5	410	コピー		1	Sample.xls	ループ処理
6	1	ループ処理(315) 計算開始	6	315	ループ処理	ループ終了位置	1	Samplexis	
7	1	ループ処理(315)_計算開始	7	319	スクリーン制御	史新	1	Sample.xls	
8	1	ループ処理(315)_計算開始	8	318	メッセージ表示		1	Sample.xls	ループ処理

タスク定義の例(縦型)

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	ループ処理
4	処理順NO		*	6
5	タスクタイプNO		*	315
6	タスクタイプ名		*	ループ処理
7	タスクタイプ属性		*	ループ開始位置
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント欄			ループ終了位置

# 2.61 317:条件判定分岐 タスクタイプ属性(なし)

■ 機能

dby

「開始判定セル」の値を 1~10 に変化させることで、値に対応した TASKJUMP1~10 のタスクを実行させます。

呼び出したタスク実行後は、次の処理へ移行します。

「開始判定セル」の値が0の場合は、そのまま次の処理へ移行します。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	5100		
3	タスク名		*	条件判定分岐		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	317		
6	タスクタイプ名		*	条件判定分岐		
7	BKNO		*	1		
8	ブック名		*	Sample.xls		
9	シート名					
10	処理条件判定セル	実行判定				
11	定義有効無効フラグ					
12	コメント欄					
13	セル指定属性					
14	汎用パラメータ1	自動計算			再計算しない	補足2、3
15	汎用パラメータ2	エラー表示			エラー	補足④
16	開始判定セル	判定分岐NO		@条件判定分岐_判定区分	(実行時にエラー)	補足⑤、⑥、⑦
17	TASKJUMPNO1	判定実行1		5110	自動的に〇が設定される	
18	TASKJUMPNO2	判定実行2		5120	同上	
19	TASKJUMPN03	判定実行3		5130	同上	
20	TASKJUMPNO4	判定実行4		5140	同上	
21	TASKJUMPN05	判定実行5		0	同上	
22	TASKJUMPNO6	判定実行6		0	同上	
23	TASKJUMPN07	判定実行7		0	同上	
24	TASKJUMPN08	判定実行8		0	同上	
25	TASKJUMPN09	判定実行9		0	同上	
26	TASKJUMPNO10	判定実行10		0	同上	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

di X

項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	"317"を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	"条件判定分岐"は自動表示します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	
セル指定属性	
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	本タスクタイプの実行前後の再計算方法を設定します。(注5)
	① 前再計算 ④ ジート前再計算
	② 後再計算 ⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ 2	「開始判定セル」の値が 0~10 以外の場合にエラーにするか無視す
	るかを設定します。
	① <b>エラー</b>
	② 無視
開始判定セル	条件判定のための 1~10 に変化するセル位置を指定します。
TASKJUMPNO1	「開始判定セル」が1の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO2	「開始判定セル」が2の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO3	「開始判定セル」が3の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO4	「開始判定セル」が 4 の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO5	「開始判定セル」が5の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO6	「開始判定セル」が6の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO7	「開始判定セル」が7の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO8	「開始判定セル」が8の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO9	「開始判定セル」が9の場合に処理するタスク NO を指定します。
TASKJUMPNO10	「開始判定セル」が 10 の場合に処理するタスク NO を指定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

 TASKJUMP1~10 に指定するタスク NO は、必ずしも異なる必要はありません。同一のタスク NO を任意に指定できます。

#### ■ 補足

- 条件判定分岐から更に条件判定分岐を呼ぶことができますが、無限ループと処理速度の低下を防止 するため、メイン処理に戻るまでの最大処理数は、300までに制限しています。
- ② 汎用パラメータ1:自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	9.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	9.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	9.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

③ 一連のタスク実行の途中で条件判定を行う場合には、事前に再計算を行っている必要があります。 条件判定の実行前あるいは実行後に再計算を実行させたい時には、汎用パラメータ1を指定してく ださい。

- ④ 汎用パラメータ2:
  - エラー: 実行時に「開始判定セル」の値が0~10以外の場合にはエラーにします。
  - 無視: 実行時に「開始判定セル」の値が0~10以外の場合には無視します。
- 5 「開始判定セル」の値は 1~10 が有効で、0 の時は分岐処理を実行しないで条件判定分岐のタス クを終了し、次の処理に移ります。
- ⑥ 「開始判定セル」の値が 0~10 以外の値の場合はエラーとなります。ただし汎用パラメータ 2 を 「無視」にすると、エラーを無視して次の処理に移ります。
- ⑦ 「開始判定セル」が指定されていない場合は、実行時にエラーとなります。

#### ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	B	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	5100	
3	タスク名		*	条件判定分岐	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	317	
6	タスクタイプ名		*	条件判定分岐	
7	BKNO		*	1	
8	ブック名		*	Sample.xls	
9	シート名				
10	処理条件判定セル	実行判定			
11	定義有効無効フラグ				
12	コメント欄				
13	セル指定属性				
14	汎用パラメータ1	自動計算		シート前再計算	— A
15	汎用パラメータ2	エラー表示			— в
16	開始判定セル	判定分岐NO		@条件判定分岐_判定区分 ——	—— C
17	TASKJUMPNO1	判定実行1		5110	
18	TASKJUMPNO2	判定実行2		5120	
19	TASKJUMPN03	判定実行3		5130 ———	— D
20	TASKJUMPNO4	判定実行4		5140	
21	TASKJUMPN05	判定実行5		0	—— E
22	TASKJUMPNO6	判定実行6		0	
23	TASKJUMPN07	判定実行7		5110 ———	— F
24	TASKJUMPN08	判定実行8		0	
25	TASKJUMPN09	判定実行9		0	
26	TASKJUMPNO10	判定実行10		0	

A·····汎用パラメータ1(自動計算)に"シート前再計算"を指定しました。「開始判定セル」等に数式が 使用されている場合のように、条件分岐実行前に数式の計算をさせる必要がある時に使用します。

- B·····汎用パラメータ 2(エラー表示)の指定を省略しているので、「開始判定セル」の値が O~10 以外の場合はエラーとなります。O~10 以外の値を無視したい時は、"無視"を指定します。
- C·····開始判定セルの値にしたがってタスク NO を実行します。この例では、名前定義を使用してセル を指定しています。
- D・・・・「開始判定セル」の値が1 であれば、タスク NO:5110のタスクが実行され、3 であればタス ク NO:5130のタスクが実行される・・・というように、処理が振り分けられます。
- E·····TASKJUMPNO に何も指定しない場合は自動でOが設定され、この例で言えば「開始判定セル」の値が5や6の場合、何も実行せずに次の処理へ移ります。
- F·····TASKJUMPNO に指定するタスク NO は重複可能です。この例では TASKJUMPNO1 と TASKJUMPNO7 で同じタスク NO を指定しています。また、この例のようにタスク NO を指 定する項目と指定しない項目が混在することも可能です。

# 2.62 318:メッセージ表示 タスクタイプ属性((空白))

■ 機能

db

- ① (空白): 指定されたメッセージを表示します。
- ② エラー判定: タスクタイプ属性(エラー判定)を参照してください。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	5200		
3	タスク名		*	メッセージ表示		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	318		
6	タスクタイプ名		*	メッセージ表示		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			メッセージ表示		
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性			間接		
15	汎用パラメータ1	表示メッセージ		@メッセージ表示_正常	(実行時にエラー)	補足①、②
16	汎用パラメータ11	自動計算			再計算しない	補足③

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目詞	说明					
T	ASKNO	.任意(省略不可) (注1	1,2)			
5	マスク名	.自動表示します。(省日	各不可)			
処	]理順 NO	.任意(省略不可) 同一ダ	マスク内で処理する順番を指定します。			
5	マスクタイプ NO	." <b>318</b> "を入力します。	。(省略不可)(注1、3)			
5	マスクタイプ名	" <b>メッセージ表示</b> "は自	動表示します。(省略不可)			
5	マスクタイプ属性	(空白)のままにしてお	きます。			
В	KNO	タスク実行する Exce	ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。			
		BKNO はブック運用類	定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)			
フ	「ック名	BKNO 設定によりブ	ック名は自動表示します。(省略不可)(注1)			
シ	/ート名	.タスク実行時に表示す	るなど、基準とするシートを選択します。			
		(注1、2)				
処	通理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)				
定	2義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	ない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入			
		力です。(注1、2)				
		① <b>有効</b>				
		② <b>無効</b>				
=	]メント欄	開発時のメモ書きや修	死記録などに使用します。			
せ	2ル指定属性	、汎用パラメータの設定	の仕方を、下記から指定します。(注4)			
		① 直接	③ 間接アドレス			
		② <b>間接</b>				
沂	〕用パラメータ 1	.表示するメッセージを	設定します。			
沂	〕用パラメータ 11	.本タスクタイプの実行	前後の再計算方法を設定します。(注5)			
		① 前再計算	<ol> <li>シート前再計算</li> </ol>			
		2後再計算	⑤ シート後再計算			
		③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算			

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。
- 使用上の注意

特にありません。

# ■ 補足

dby

- ① 汎用パラメータ1: 設定されていない時は、実行時にエラーとなります。
- ② 汎用パラメータ1:
  - 「セル指定属性」が"直接": メッセージを設定します。
  - 「セル指定属性」が"間接": メッセージのセル位置を設定します。
- ③ 汎用パラメータ 11:自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

#### ■ 使用例

「セル指定属性」が"直接"の時のタスク定義の例です。

	A	В	C	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	5200
3	タスク名		*	メッセージ表示
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	318
6	タスクタイプ名		*	メッセージ表示
7	タスクタイプ属性			
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			メッセージ表示
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント欄			
14	セル指定属性			直接
15	汎用パラメータ1	表示メッセージ		テストメッセージです <del>。</del>
16	汎用パラメータ11	自動計算		

A····セル指定属性に"直接"を指定します。

B·····汎用パラメータ1(表示メッセージ)には、ダイアログで表示するメッセージ文字列を直接指定します。

次に、「セル指定属性」が"間接"の時のタスク定義の例です。

	A	B	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	5200	
3	タスク名		*	メッセージ表示	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	318	
6	タスクタイプ名		*	メッセージ表示	
7	タスクタイプ属性				
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			メッセージ表示	
11	処理条件判定セル	実行判定			
12	定義有効無効フラグ				
13	コメント欄				
14	セル指定属性			間接	— A
15	汎用パラメータ1	表示メッセージ		@メッセージ表示_正常	— в
16	汎用パラメータ11	自動計算		シート前再計算	— с

A····セル指定属性に"間接"を指定します。

- B·····汎用パラメータ1(表示メッセージ)には、ダイアログで表示するメッセージ文字列が格納されているセルを指定します。この例では、名前定義を使用してセルを指定しています。
- C·····汎用パラメータ 11(自動計算)に"**シート前再計算**"を指定しました。「汎用パラメータ 1」で指定したメッセージの格納先で、数式でメッセージを組み立てている場合のように、メッセージ表示前に数式の計算をさせる必要がある時に使用します。

# 2.63 318:メッセージ表示 タスクタイプ属性(エラー判定)

■ 機能

db

- ① (空白): タスクタイプ属性((空白))を参照してください。
- ② エラー判定: 「開始判定セル」の値が1~10の場合に、汎用パラメータ1~10に設定されたメ ッセージを表示して処理を中断します。

本機能の「エラー判定」はシステムが検知するエラーではないため、タスク定義のエラー判定処理ではエ ラーとならないケースでも、処理を中断させたい時などに利用できます。

例えば、指定したセルに正しい入力値が入力されていない時などに、エラーメッセージを表示して中断す るといった入力値チェックなどで利用することができます。

本機能を利用した時には、エラーが発生したとみなして処理を中断します。 分岐などをおこないたい時に は、条件判定分岐を利用してください。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	5210		
3	タスク名		*	メッセージ表示_エラー判定		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	318		
6	タスクタイプ名		*	メッセージ表示		
7	タスクタイプ属性			エラー判定		
8	BKNO		*	1		
9	プック名		*	Sample.xls		
10	シート名			メッセージ表示		
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性				直接	
15	汎用パラメータ1	メッセージ1		エラー判定1(テスト1)		補足①、②
16	汎用パラメータ2	メッセージ2		エラー判定2(テスト2)		同上
17	汎用パラメータ3	メッセージ3		エラー判定3 (テスト3)		同上
18	汎用パラメータ4	メッセージ4		エラー判定4(テスト4)		同上
19	汎用パラメータ5	メッセージ5		エラー判定5(テスト5)		同上
20	汎用パラメータ6	メッセージ6		エラー判定6(テスト6)		同上
21	汎用パラメータ7	メッセージ7				同上
22	汎用パラメータ8	メッセージ8				同上
23	汎用パラメータ9	メッセージ9				同上
24	汎用パラメータ10	メッセージ10				同上
25	汎用パラメータ11	自動計算			再計算しない	補足③
26	開始判定セル	メッセージNO		@メッセージ表示_判定	(実行時にエラー)	補足④、⑤、⑥

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(db)

■ 項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	…自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	…任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	…" <b>318</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	…" <b>メッセージ表示</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	…" <b>エラー判定</b> "を入力します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	…タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	…汎用パラメータの設定の仕方を、下記から指定します。(注4)
	① 直接     ③ 間接アドレス
	② 間接
汎用パラメータ 1	「開始判定セル」が1の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 2	「開始判定セル」が2の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 3	「開始判定セル」が3の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 4	「開始判定セル」が4の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 5	「開始判定セル」が5の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 6	…「開始判定セル」が6の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 7	「開始判定セル」が7の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 8	「開始判定セル」が8の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 9	「開始判定セル」が9の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 10	「開始判定セル」が 10 の時に表示するメッセージを設定します。
汎用パラメータ 11	本タスクタイプの実行前後の再計算方法を設定します。(注5)
	① 前再計算 ④ ④ シート前再計算
	<ol> <li>② 後再計算</li> <li>⑤ シート後再計算</li> </ol>
	③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算
開始判定セル	エラー判定のための 1~10 に変化するセル位置を指定します。
(注1)詳細は、『開発版リファし	ノンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ
ート名を使っている定義	」を参照して下さい。。
<ul><li>(注2)詳細は、『2.1 タスク定調</li></ul>	義の全項目について』を参照してください。
(注3)詳細は、『2.2 タスクター	イフの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

(注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

■ 使用上の注意

ib🏏

- ① 「セル指定属性」が"直接"か"間接"かによって、「開始判定セル」の動作が変わります。
  - 直接:「開始判定セル」にはエラー判定のための1~10に変化するセル位置を直接指定します。
  - 間接:「開始判定セル」にはエラー判定のための1~10に変化するセルのアドレス(A5、 \$B\$11 等)が記述してあるセルを指定します。(「間接アドレス」の動作となります。)
- 補足
  - ① 汎用パラメータ1~10:
    - 「セル指定属性」が"**直接**": メッセージを設定します。
    - 「セル指定属性」が"間接": メッセージのセル位置を設定します。
  - ② 汎用パラメータ 1~10 にメッセージの設定がない場合は、エラーなしと判定して、次の処理に移ります。
  - ③ 汎用パラメータ 11:自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

④ 開始判定セルの値が0の場合はエラーなしと判定して、次の処理に移ります。

- ⑤ 開始判定セルの値が1~10以外の場合は、Oの場合と同等となります。
- ⑥ 開始判定セルが指定されていない場合は、実行時にエラーとなります。

#### ■ 使用例

「セル指定属性」が"直接"の時のタスク定義の例です。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	5210	
3	タスク名		*	メッセージ表示_エラー判定	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	318	
6	タスクタイプ名		*	メッセージ表示	
7	タスクタイプ属性			エラー判定	
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			メッセージ表示	
11	処理条件判定セル	実行判定			
12	定義有効無効フラグ				
13	コメント欄				
14	セル指定属性			直接	<u> </u>
15	汎用パラメータ1	メッセージ1		エラー判定1(テスト1)	
16	汎用パラメータ2	メッセージ2		エラー判定2(テスト2)	
17	汎用パラメータ3	メッセージ3		エラー判定3(テスト3) ―	<u> </u>
18	汎用パラメータ4	メッセージ4		エラー判定4(テスト4)	
19	汎用パラメータ5	メッセージ5		エラー判定5(テスト5)	
20	汎用パラメータ6	メッセージ6			
21	汎用パラメータ7	メッセージア		エラー判定了(テスト7) ―	<u> </u>
22	汎用パラメータ8	メッセージ8			
23	汎用パラメータ9	メッセージ9			1
24	汎用パラメータ10	メッセージ10			
25	汎用パラメータ11	自動計算			1
26	開始判定セル	メッセージNO		@メッセージ表示_判定 ―	<u> </u>

A····・セル指定属性に"直接"を指定します。

B·····汎用パラメータ 1~10(メッセージ 1~10)には、ダイアログで表示するメッセージ文字列を直接 指定します。「開始判定セル」の値が 3 の場合は、メッセージ 3 を表示して処理をそこで中断し ます。

C·····汎用パラメータ1~10(メッセージ1~10)に設定しない場合、「開始判定セル」の値が6の場合 は、何もしないで次の処理に移ります。

D·····汎用パラメータ 1~10(メッセージ 1~10)に設定する項目と設定しない項目が混在することも 可能です。

E・・・・・開始判定セルには 1~10 の値が設定されるセルを指定します。この例では、名前定義を使用して セルを指定しています。 「セル指定属性」が"間接"の時のタスク定義の例です。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	5211	
3	タスク名		*	メッセージ表示_エラー判定	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	318	
6	タスクタイプ名		*	メッセージ表示	
7	タスクタイプ属性			エラー判定	
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			メッセージ表示	
11	処理条件判定セル	実行判定			
12	定義有効無効フラグ				
13	コメント欄				
14	セル指定属性			間接	— A
15	汎用パラメータ1	メッセージ1		@エラーメッセージ1	
16	汎用パラメータ2	メッセージ2		@エラーメッセージ2	
17	汎用パラメータ3	メッセージ3		@エラーメッセージ3 ―	— E
18	汎用パラメータ4	メッセージ4		@エラーメッセージ4	
19	汎用パラメータ5	メッセージ5		@エラーメッセージ5	
20	汎用パラメータ6	メッセージ6			—— c
21	汎用パラメータ7	メッセージ7		@エラーメッセージ7 ―	—— C
22	汎用パラメータ8	メッセージ8			
23	汎用パラメータ9	メッセージ9			
24	汎用パラメータ10	メッセージ10			
25	汎用パラメータ11	自動計算			
26	開始判定セル	メッセージNO		@メッセージ表示_判定2 ―	—— E

A····セル指定属性に"間接"を指定します。

- B·····汎用パラメータ 1~10(メッセージ 1~10)には、ダイアログで表示するメッセージ文字列が格納 されたセルを指定します。「開始判定セル」の値が 3 の場合は、メッセージ 3 を表示して処理を そこで中断します。
- C·····汎用パラメータ 1~10(メッセージ 1~10)に設定しない場合、「開始判定セル」の値が 6 の場合 は、何もしないで次の処理に移ります。
- D·····汎用パラメータ 1~10(メッセージ 1~10)に設定する項目と設定しない項目が混在することも 可能です。
- E・・・・・開始判定セルには 1~10 の値が設定されるセルを「間接アドレス」で指定します。この例では、 名前定義を使用してセルを指定しています。



# 2.64 319:スクリーン制御 タスクタイプ属性(更新、停止)

■ 機能

db

Excelの画面更新を停止または再開(更新)します。

- ① 更新: Excelの画面更新を常に実行する状態にします。
- ② 停止: Excelの画面更新を停止状態にします。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4300		
3	タスク名		*	スクリーン制御_更新		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	319		
6	タスクタイプ名		*	スクリーン制御		
7	タスクタイプ属性		*	更新		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	処理条件判定セル	実行判定				
11	定義有効無効フラグ					
12	コメント欄					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

## ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	."319"を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	." <b>スクリーン制御</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	.以下から指定します。(省略不可)
	① 更新
	② 停止
BKNO	. タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - ① 画面更新の停止状態の時には Excel の画面は何も変化しなくなり、他のウィンドウが前に来ると、 その部分が消えた状態になります。

## ■ 補足

- Excel では、文字や数値を入力したり表示シートを変更したりすると直ちに画面が更新されますが、 タスク処理中は画面のちらつきの原因となるため、dbSheetClient ではタスク処理の開始時に画面 更新を停止し、終了時に再開しています。
- ② タスクの途中で画面更新をおこなう時には、この機能で"更新"を指定してください。

#### ■ 使用例

ー連のタスク定義の途中で、「スクリーン制御」を使用している例を示します。(「スクリーン制御」説明 のためのタスクなので、タスクとしての意味は特にありません。)

	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	
1	TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイプNO	タスクタイプ名	タスクタイプ属性	BKNO	ブック名	シート名	
2	580	スクリーン制御_Demo	1	419	ジャンプ	カーソル移動	1	Sample.xls	Demo	
3	580	スクリーン制御_Demo	2	319	スクリーン制御	更新	1	Sample.xls		— A
4	580	スクリーン制御_Demo	3	201	SQL	照会	1	Sample.xls	Demo	
5	580	スクリーン制御_Demo	4	319	スクリーン制御	停止	1	Sample.xls		— в
6	580	スクリーン制御_Demo	5	410	コピー	き式	1	Sample.xls	Demo	
7	580	スクリーン制御_Demo	6	410	コピー	値	1	Sample.xls	Demo	
8	580	スクリーン制御_Demo	7	401	直接展開		1	Sample.xls	Demo	
9	580	スクリーン制御_Demo	8	319	スクリーン制御	更新	1	Sample.xls		— c
10	580	スクリーン制御_Demo	9	419	ジャンプ	先頭	1	Sample.xls	Demo	

A·····タスク起動時は、画面が更新されないモードとなっています。「スクリーン制御(更新)」が指定されているので、以降の処理は常に画面が更新されるモードとなります。

- B·····「スクリーン制御(停止)」が指定されているので、以降の処理は再び画面が更新されないモードに 戻ります。
- C·····「スクリーン制御(更新)」が指定されているので、以降の処理は常に画面が更新されるモードとなります。

この例では、タスクの起動からAまで画面は停止、AからBまでは画面更新、BからCまでは画面停止、 Cからタスク終了までは画面更新、となります。

# 2.65 320:サブタスク実行 タスクタイプ属性(なし)

#### ■ 機能

db

最大10個のサブタスクを指定して実行します。

指定された番号に従って、サブタスクを順次実行します。

何度も同じ処理が繰り返される時には、サブルーチンのように別のタスクとして定義しておき、サブタス クとして実行させることでタスク定義の定義行数を削減することができます。

## ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	5300		
3	タスク名		*	サプタスク実行		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	320		
6	タスクタイプ名		*	サプタスク実行		
7	BKNO		*	1		
8	ブック名		*	Sample.xls		
9	シート名					
10	処理条件判定セル	実行判定				
11	定義有効無効フラグ					
12	コメント欄					
13	TASKJUMPNO1	サプタスク1		5310	自動的に〇が設定される	補足2、3
14	TASKJUMPNO2	サプタスク2		5320	同上	同上
15	TASKJUMPN03	サプタスク3		5350	同上	同上
16	TASKJUMPNO4	サプタスク4		0	同上	同上
17	TASKJUMPN05	サプタスク5		0	同上	同上
18	TASKJUMPN06	サプタスク6		0	同上	同上
19	TASKJUMPN07	サプタスクイ		0	同上	同上
20	TASKJUMPN08	サプタスク8		0	同上	同上
21	TASKJUMPN09	サプタスク9		0	同上	同上
22	TASKJUMPNO10	サプタスク10		0	同上	同上

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項	目説明	
	TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	" <b>320</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
	タスクタイプ名	" <b>サブタスク実行</b> "は自動表示します。(省略不可)
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有効
		② 無効
	コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
	TASKJUMPNO1	サブタスクの1番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPNO2	サブタスクの 2 番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPNO3	サブタスクの 3 番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPNO4	サブタスクの 4 番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPN05	サブタスクの 5 番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPNO6	サブタスクの 6 番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPN07	サブタスクの 7 番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPNO8	サブタスクの 8 番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPNO9	サブタスクの 9 番目に実行するタスク NO を指定します。
	TASKJUMPNO10	サブタスクの10番目に実行するタスク NO を指定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

## ■ 使用上の注意

特にありません。

- 補足
  - サブタスク実行とは、タスクからサブルーチンとして指定した別のタスクを実行することを意味します。
  - ② TASKJUMPNO1~10 に指定されたタスクを順に実行します。
  - ③ TASKJUMPNO1~10 のどこかでサブタスク指定をしない場合、デフォルトでタスク NO O が 設定され、実行時はサブタスクなしとみなし次の TASKJUMPNO に移行します。

#### ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	5300	
3	タスク名		*	サブタスク実行	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	320	
6	タスクタイプ名		*	サブタスク実行	
7	BKNO		*	1	
8	ブック名		*	Sample.xls	
9	シート名				
10	処理条件判定セル	実行判定			
11	定義有効無効フラグ				
12	コメント欄				
13	TASKJUMPNO1	サブタスク1		5310	— A
14	TASKJUMPNO2	サブタスク2		5320	
15	TASKJUMPN03	サブタスク3		0	— E
16	TASKJUMPNO4	サブタスク4		0	
17	TASKJUMPN05	サブタスク5		5350	c
18	TASKJUMPN06	サブタスク6		0	
19	TASKJUMPN07	サブタスクて		5310 ———	—— C
20	TASKJUMPN08	サブタスク8		0	
21	TASKJUMPN09	サブタスク9		0	
22	TASKJUMPN010	サブタスク10		0	

A·····TASKJUMPNO1~10に設定されている順番に、サブタスクを実行します。

- B·····TASKJUMPNO に何も指定しない場合は自動で O が設定され、その行はサブタスクの設定なし と判断し、次の TASKJUMPNO へ移ります。
- C・・・・この例では、TASKJUMPNO2 を実行後、TASKJUMPNO3 および 4 には設定が無いので TASKJUMPNO5 へ移行します。
- D·····TASKJUMPNO に指定するタスク NO は重複可能です。この例では TASKJUMPNO1 と TASKJUMPNO7 で同じタスク NO を指定しています。また、この例のようにタスク NO を指 定する項目と指定しない項目が混在することも可能です。ただし、上から順番に実行するので途 中を空けることにあまり意味はありません。



# 2.66 321:ログ情報書込 タスクタイプ属性(なし)

■ 機能

db

サーバのログ情報に、メッセージを書き込みます。

特別なタスクを実行した時などに、随時ログ情報として書き込むことができます。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	5400		
3	タスク名		*	ログ情報書込み		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	321		
6	タスクタイプ名		*	ログ情報書込		
7	BKNO		*	1		
8	ブック名		*	Sample.xls		
9	シート名			ログ情報書込		
10	シート保護有無					
11	シート保護解除PW					
12	処理条件判定セル	実行判定				
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					
15	セル指定属性			直接		
16	汎用パラメータ1	タイトル		ログOUTタイトル	空文字	
17	汎用パラメータ2	詳細		ログOUT固定情報	同上	
18	汎用パラメータ3	詳細可変セル		H19	設定なし	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>321</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	" <b>ログ情報書込</b> "は自動表示します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	
セル指定属性	
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	ログ情報の「タイトル欄」に表示する内容を入力します。
汎用パラメータ 2	ログ情報の「詳細欄」に表示する内容を入力します。
汎用パラメータ3	ログ情報の「詳細欄」に追加させる可変情報を記載したセル位置を指
	定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

## ■ 使用上の注意

- ① 汎用パラメータ 1~3 に設定する文字の中に、HTML でタグとして使われる文字や特殊記号を使用 すると、正しく表示されないことがあります。
- ② 改行コードは無視されるので、途中で改行させたい時には 〈BR〉 を入力してください。
- ③ サーバへのログ情報書き込みが終了しても、ユーザからは完了したかどうかの判断がつかないので、 必要に応じて「正常終了時メッセージ」を使用してください。
- ④ サーバのログ情報を見る方法については、『サーバ版 操作マニュアル』を参照してください。

## ■ 補足

- ① dbSheetClient では下記の操作がおこなわれた時に、ログ情報として自動的に書込みをおこなって います。
  - (1) ログイン処理の時
  - (2) ログオフ処理の時
  - (3) プロジェクトを実行した時
  - (4) 開発版を実行した時
  - (5) プロジェクト情報をサーバにアップした時
  - (6) 保存処理を実行した時
  - (7) 印刷処理を実行した時
  - (8) ファイルをアップロードした時
  - (9) ファイルをダウンロードした時

本タスクタイプを利用してログ情報の書込みをおこなう場合は、上記以外の処理(タスク)が実行 される時に実行してください。

#### ② 汎用パラメータ3:

- 「セル指定属性」が"直接":
   メッセージが格納されたセルを指定します。
- 「セル指定属性」が"間接": メッセージが格納されたセルのアドレス(A5、\$B\$11等)が記述してあるセルを指定します。
- 「セル指定属性」が"間接アドレス":
   メッセージが格納されたセルのアドレス(A5、\$B\$11 等)が記述してあるセル、のアドレスが 記述してあるセルを指定します。(二重の参照)

#### ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	B	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	5400	
3	タスク名		*	ログ情報書込み	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	321	
6	タスクタイプ名		*	ログ情報書込	
7	BKNO		*	1	
8	ブック名		*	Sample.xls	
9	シート名			ログ情報書込	
10	シート保護有無				
11	シート保護解除PW				
12	処理条件判定セル	実行判定			
13	定義有効無効フラグ				
14	コメント欄				
15	セル指定属性			直接	
16	汎用パラメータ1	タイトル		ログOUTタイトル ――	
17	汎用パラメータ2	詳細		<ul> <li>ログOUT固定情報</li> </ul>	
18	汎用パラメータ3	詳細可変セル		@ログ詳細 可変 ―――	

A····セル指定属性に"直接"を指定します。汎用パラメータ3の設定方法に影響を与えます。

B·····汎用パラメータ1(タイトル)には、ログに表示させたいタイトルを直接指定します。

C……汎用パラメータ2(詳細)には、ログの詳細に表示する固定の文字列を直接指定します。

D·····汎用パラメータ3(詳細可変セル)には、ログの詳細に表示する文字列が格納されたシート上のセル

を指定します。この例では、名前定義を使用してセルを指定しています。

セル指定属性と、汎用パラメータ3(詳細可変セル)との関係について補足します。

	Α	В	С	D	
1					
2		サンプルメッセージ			— E
3					
4		B2			- F
5					
6		B4			- 0
7					

E・・・・「セル指定属性」が"直接"の場合、汎用パラメータ3にはメッセージが格納されたセル "B2" を指定します。

- F・・・・「セル指定属性」が"間接"の場合、メッセージが格納されたセルのアドレス(B2)が記述してあるセル "B4"を指定します。
- G……「セル指定属性」が"間接アドレス"の場合、メッセージが格納されたセルのアドレス(B2)が記述してあるセル(B4)、のアドレスが記述してあるセル"B6"を指定します。

セルの指定には名前定義を使用可能です。

# 2.67 322:ファイルアップロード タスクタイプ属性(画像、EXCELブック、テキスト、実行ファイル以外、ユーザ指定)

■ 機能

db

- 任意のファイルをWebサーバやローカルPCの指定されたフォルダにアップロード(もしくは保存) します。ファイルホストに「DBS サーバ」を指定することにより、IIS で公開されていないフォル ダに対してもアップロードすることが可能です(ファイルホストに「ネットワーク」を指定した場 合は、クライアントから見えるフォルダのみ)。
- ② アップロード(もしくは保存)するファイル名は予め固定値を設定しておくことも、ダイアログを 使用して任意のファイル名を入力させることも可能です。
- ③ タスクタイプ属性を指定することにより、ファイルの種類を指定することが可能です。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	ファイルアップロード		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	322		
6	タスクタイプ名		*	ファイルアップロード		
7	タスクタイプ属性		*	ユーザ指定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			ファイルアップロード	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		@アップロード開始判定		
14	定義有効無効フラグ			有効		
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	元・ファイル名		@アップロード_パス名		補足①
18	汎用パラメータ2	元・ダイアログ表示		@アップロード_ダイアログ表示	無し	補足②
19	汎用パラメータ3	ファイルのホスト		@アップロード_ファイルのホス	DBSサーバ	補足③
20	汎用パラメータ4	アップロード先		@アップロード_アップロード先		補足④
21	汎用パラメータ5	上書き確認		@アップロード_上書き確認	確認	補足⑤
22	汎用パラメータ6	先フォルダ名格納セル		@アップロード_フォルダ名		補足⑥
23	汎用パラメータ7	先ファイル名格納セル		@アップロード_ファイル名		補足⑥
24	汎用パラメータ8	初期フォルダ		@アップロード_表示フォルダ	前回のフォルダ	補足⑦
23	汎用パラメータ9	指定フォルダ名		@アップロード_ダイアログ用フ	マイドキュメント	
24	汎用パラメータ10	ファイルの種類		@アップロード_ファイルの種類	実行ファイル以外(*.*) *.*	補足8

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

∎ I	<b>〔</b> 目説明	
	TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	" <b>322</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
	タスクタイプ名	" <b>ファイルアップロード</b> "は自動表示します。(省略不可)
	タスクタイプ属性	アップロードするファイルの種類を指定します。 (省略不可)
		① 画像 ④ 実行ファイル以外
		② EXCEL ブック ⑤ ユーザ指定
		③ テキスト
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)
	シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
		定します。(注2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有効
		② 無効
	コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
	セル指定属性	
		<ol> <li>         ① 直接         ③ 間接アドレス     </li> </ol>
		② 間接
	汎用パラメータ 1	元・ファイル名: アップロードするファイルのファイル名(パスを
		含む)を指定します。(補足①)
	汎用パラメータ 2	
		します。(補足②)
		① (空白)
		② 有り 2 うり
	汎用パラメータ3	ファイルのホスト: ファイルをアップロードするホストのタイプを
		指定します。(補足③)
		① <b>ネットワーク</b>
	汎用バラメータ 4	アッフロード先: アッフロード先のフォルダ名(もしくはフォルダ
		名+ファイル名)を指定します。(補足(4))

汎用パラメータ 5	…上書き確認: 同名のファイルが存在している場合の処理を指定しま
	す。
	① 上書許可 ③ 確認
	2 IJ-
汎用パラメータ6	…先フォルダ名格納セル: アップロードが成功した時に、アップロー
	ドしたファイルのフォルダ名をセットするセル名を指定します。(補
	足⑥)
汎用パラメータ7	…先ファイル名格納セル: アップロードが成功した時に、アップロー
	ドしたファイル名(パスは含まない)をセットするセル名を指定しま
	す。(補足⑥)
汎用パラメータ8	…初期フォルダ: ファイル選択ダイアログを表示する場合、どのフォ
	ルダを初期表示するかを指定します。(補足⑦)
	① 前回のフォルダ ③ デスクトップ
	② マイドキュメント ④ 指定フォルダ
汎用パラメータ9	…指定フォルダ名: 「初期フォルダ」で"④ 指定フォルダ"が指定
	された時に有効で、初期フォルダのパスを指定します。
汎用パラメータ 10	ファイルの種類: タスクタイプ属性が⑤"ユーザ指定"の時に有効
	で、ファイルの種類のフィルタ情報を指定します。(補足⑧)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - オープンしているファイルを指定してアップロードすることはできません(既存のファイルを上書 き更新するかどうかの指定については、汎用パラメータ5の説明を参照)。
  - ② 「DBS サーバ」経由を指定した場合のアップロードできるファイルの最大サイズは、Web.config で設定したサイズ(標準は16MB)までです。また、アップロードしたファイルは、「DBS サー バ」内のファイルの作成日付や更新日付になるので注意してください。

## ■ 補足

- ① アップロードするファイル名をフルパスで指定します。
  - ダイアログ表示する場合は、フォルダ名の部分を除外したファイル名が、初期ファイル名となります。
  - ダイアログを表示しない場合、存在しないファイルを指定するとエラーになります。
  - タスクタイプ属性で指定したファイルの種類に合致しない拡張子のファイルはアップロード できません。

タスクタイプ属性別のファイル種類に対する該当拡張子は次の通りです。

タスクタイプ属性	拡張子
画像	*.gif、*.jpg、*.jpeg、*.tif、*.tiff
EXCEL ブック	*,xls、*,xlsx
テキスト	*.csv、*.tsv、*.txt
実行ファイル以外	(*.exe, *.bat, *.cgi, *.dll,*.com, *.cmd)以外
ユーザ指定	任意の拡張子

- http プロトコルには対応していません。ファイル名は、ドライブ名表記(ドライブ名:¥フォ ルダ名¥・・・)、もしくはUNC表記(¥¥サーバ名¥共有名¥フォルダ名¥・・・)で指定し てください。
- ② 汎用パラメータ 1「元・ファイル名」が空白の場合は、指定の有無に関わらずダイアログを表示します。
- ③ アップロード先のホストが、DBS サーバ(Web サーバ)内のフォルダの場合には "DBS サーバ" を指定してください。(省略時は "DBS サーバ"が初期値なので注意!)
- ④ ファイル名を指定した時には、アップロードしたファイルの名称は指定したファイル名に置き換わります。フォルダ名のみ指定した場合は指定したファイル名で登録されます。
- ⑤ 「上書き確認」の選択肢と内容は以下のとおりです。
  - 1. 上書許可:常に上書きを許可します。
  - 2. **エラー** :常にエラーとします。
  - 3. 確認 : 確認メッセージを表示します。
- ⑥ ファイル選択ダイアログで選択したファイルのファイル名を Excel シート上に格納させたい時などに使用します。「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します。
- ⑦ ファイル選択ダイアログが表示された時のみ有効となります。
- ⑧ ガイド文字列と拡張子文字列をペアにし繰り返し列挙します。(区切り文字は"|") 書式:「ガイド文字列1|拡張子文字列1|ガイド文字列2|拡張子文字列2|・・・」 拡張子文字列は、複数の拡張子を指定できます。(区切り文字列は";")

書式:「拡張子 1;拡張子 2;|拡張子 3;・・・」

例)「画像ファイル|\*.gif;\*.jpg;\*.jpeg;\*.tif;\*.tiff|全てのファイル|\*.\*」

省略時は「EXCEL ブック(\*.xls,\*.xlsx)|\*.xls:\*.xlsx」が指定されたものとして処理します。
「322:ファイルアップロード」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

	A	В	С	D	1	
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	ファイルアップロード		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	322		
6	タスクタイプ名		*	ファイルアップロード		
7	タスクタイプ属性		*	ユーザ指定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			ファイルアップロード		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		Α
17	汎用パラメータ1	元・ファイル名		@アップロード_パス名	D	
18	汎用パラメータ2	元・ダイアログ表示		@アップロード_ダイアログ表示		
19	汎用パラメータ3	ファイルのホスト		@アップロード_ファイルのホスト	]	
20	汎用パラメータ4	アップロード先		@アップロード_アップロード先		R
21	汎用パラメータ5	上書き確認		@アップロード_上書き確認	5	Б
22	汎用パラメータ6	先フォルダ名格納セル		@アップロード_フォルダ名	lí	
23	汎用パラメータ7	先ファイル名格納セル		@アップロード_ファイル名		
24	汎用パラメータ8	初期フォルダ		@アップロード_表示フォルダ	[]	
25	汎用パラメータ9	指定フォルダ名		@アップロード_ダイアログ用フォルダ	[]	
26	汎用パラメータ10	ファイルの種類		@アップロード_ファイルの種類 -	Y	

A·····この例では、セル指定属性= "間接"により、シート上に設定した定義名に該当するセルの値で 処理条件を指定しています。

B……それぞれの処理条件をシート上の定義名で指定します。

Excel シートの定義	Excel ファイル:  Sample.xls」/シ	/ート:  アップロード」

Ļ	A B	С	D	E	F	G	Н	Ι	J
1									
2	322.7	ップロード							
3		(							
4		機能:	任意のファイルをWebサー	バやローカルの指定されたフォルタにアップロード(もしくは食	存)します	•			
5			ファイルホストに「DBSサ・	- バ」を指定することにより、IISで公開されていないフォルダド	対しても	アッブロード	することが	可能で	す。
6								_	
7									
8					$\sim$				
9			- バス名			-			
10			ダイアログ衣示						
10			ファイルの小スト フェブロード生	イットワーク VVSan ar/VDataVLiebool dat					
19			レンジンロードノル	1年50日11日日1日日日1日日日1日日1日日1日日1日日1日日1日日1日日1日日1日					
14				\$E\$21					
15			ファイル名	\$E\$22	- 入				
16			表示フォルダ	マイドキュメント					
17			ダイアログ用フォルダ			<b>`</b>			
				EXCELブックl*.xls:*.xlsxl文書ファイルl*.do.c.*.do.cxlテキスト		N			
			ファイルの 種類	*.csv;*.tsv;*.txt 画像ファイル *.gif;*.jpg;*.jpe.g:*.tif;*.tiff 全ての		$  \rangle$			
18				ファイル **					
19					-				
20					_				
21			アップロードフォルダ名						
22			アップロードファイル名		<u>_</u> ل ا		<u>۱</u>		
23							$\land$		
24						N I	$  \rangle =$		
						$\mathbf{X}$			
							$\neg$	۸	
						•	B .	A	

A····・セルの定義名:「アップロード\_パス名」~「アップロード\_ファイルの種類」 B···・・間接的に指定された「フォルダ名」、「ファイル名」のセル(E21、E22)



# 2.68 323:ファイルダウンロード タスクタイプ属性(画像、EXCEL ブック、テキスト、実行ファイル以外、ユーザ指定)

■ 機能

db

- Web サーバやLAN上のサーバからファイルを指定されたフォルダにダウンロード(もしくはコピーして保存)します。ファイルホストに「DBS サーバ」を指定することにより、IIS で公開されていないフォルダからダウンロードすることが可能です(ファイルホストに「ネットワーク」を指定した場合は、クライアントから見えるフォルダのみとなり、結果的にはファイルコピーと同様の処理)。
- ② ダウンロードする複写元のファイル名や複写先のファイル名は、予め固定値を設定しておくことも、 ダイアログを使用して任意のファイル名を入力させることも可能です(複写元のファイル名につい ては、ファイルホストに「ネットワーク」を指定した場合のみ)。
- ③ タスクタイプ属性を指定することにより、ファイルの種類を指定することが可能です。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	ファイルダウンロード		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	323		
6	タスクタイプ名		*	ファイルダウンロード		
7	タスクタイプ属性		*	ユーザ指定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			ファイルダウンロード	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		@ダウンロード開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	元・ファイル名		@ダウンロード_元・ファイル名		補足①
18	汎用パラメータ2	元・ダイアログ表示		@ダウンロード_元・ダイアログ表示	無し	補足②
19	汎用パラメータ3	ファイルのホスト		@ダウンロード_ファイルのホスト	DBSサーバ	補足③
20	汎用パラメータ4	先・ダイアログ表示		@ダウンロード_先・ダイアログ表示	無し	
21	汎用パラメータ5	先・フォルダ名		@ダウンロード_先・フォルダ名		
22	汎用パラメータ6	先・ファイル名		@ダウンロード_先・ファイル名		補足④
23	汎用パラメータ7	上書き確認		@ダウンロード_上書き確認	確認	補足⑤
24	汎用パラメータ8	フォルダ表示		@ダウンロード_フォルダ表示	表示しない	
25	汎用パラメータ9	元・初期フォルダ		@ダウンロード_元・表示フォルダ	前回のフォルダ	補足⑥
26	汎用パラメータ10	元・指定フォルダ名		@ダウンロード_元・ダイアログ用フォルダ	マイドキュメント	
27	汎用パラメータ11	先・初期フォルダ		@ダウンロード_先・表示フォルダ	前回のフォルダ	補足⑦
28	汎用パラメータ12	先・指定フォルダ名		@ダウンロード_先・ダイアログ用フォルダ	マイドキュメント	
29	汎用パラメータ13	ファイルの種類		@ダウンロード_ファイルの種類	実行ファイル以外(*.*) *.*	補足8

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注:	1,2)
タスク名	自動表示します。(省日	路不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同一	タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>323</b> "を入力します	。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	<b>"ファイルダウンロー</b>	▶"は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	ダウンロードするファ	マイルの種類を指定します。(省略不可)
	① 画像	④ 実行ファイル以外
	② EXCEL ブック	⑤ ユーザ指定
	③ テキスト	

di X

BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	<ol> <li>(2) 有り</li> </ol>
シート保護解除 PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	カです。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	.下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	<ol> <li>         ① 直接         ③ 間接アドレス     </li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	.元・ファイル名: ダウンロードするファイルのファイル名 (パスを
	含む)を指定します。(補足①)
汎用パラメータ 2	.元・ダイアログ表示: ダウンロードするファイルのファイル選択の
	ダイアログ表示の有無を指定します。(補足②)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
汎用パラメータ 3	.ファイルのホスト: ファイルをダウンロードするホストのタイプを
	指定します。(補足③)
	① ネットワーク
	② DBS サーバ
汎用パラメータ 4	.先・ダイアログ表示: ダウンロード先ファイルのファイル選択のダ
	イアログ表示の有無を指定します。
	① (空白)
	② <b>有り</b>
汎用パラメータ 5	.先・フォルダ名: ダウンロード先のフォルダ名を指定します。
汎用パラメータ 6	.先・ファイル名: ダウンロード先のファイル名を指定します。
	(補足④)
汎用パラメータ7	.上書き確認: 同名のファイルが存在している場合の処理を指定しま
	す。
	① 上書許可 ③ 確認
	② エラー

汎用パラメータ8	フォルダ表示: 保	存後のフォルダ表示を指定します。「表示する」
	を選択した場合は、	保存後エクスプローラを起動してフォルダを表示
	します。	
	① 表示する	
	② 表示しない	
汎用パラメータ 9	.元・初期フォルダ:	ダウンロード元のファイル選択ダイアログを表
	示する場合、どのフ:	ォルダを初期表示するかを指定します。(補足⑥)
	① 前回のフォルダ	③ デスクトップ
	② マイドキュメン	▶ ④ 指定フォルダ
汎用パラメータ 10	元・指定フォルダ名	: 「元・初期フォルダ」(汎用パラメータ 9)
	で"指定フォルダ"	が指定された時に有効で、ダウンロード元の初期
	フォルダのパスを指	定します。
汎用パラメータ 11	先・初期フォルダ:	ダウンロード先のファイル選択ダイアログを表
	示する場合、どのフ:	ォルダを初期表示するかを指定します。(補足⑦)
	① 前回のフォルダ	③ デスクトップ
	② マイドキュメン	ト ④ 指定フォルダ
汎用パラメータ12	先・指定フォルダ名	: 「先・初期フォルダ」(汎用パラメータ 11)
	で"指定フォルダ"	が指定された時に有効で、ダウンロード先の初期
	フォルダのパスを指	定します。
汎用パラメータ 13	ファイルの種類:	タスクタイプ属性が⑤ "ユーザ指定"の時に有効

で、ファイルの種類のフィルタ情報を指定します。(補足⑧)

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- オープンしているファイルを複写先に指定してダウンロードすることはできません(既存のファイ ルを上書き更新するかどうかの指定については、汎用パラメータ7の説明を参照)。
- ② 「DBS サーバ」経由を指定した場合のダウンロードできるファイルの最大サイズは、Web.config で設定したサイズ(標準は16MB)までです。

# ■ 補足

- ① ダウンロードするファイル名をフルパスで指定します。
  - ダイアログ表示する場合は、フォルダ名の部分を除外したファイル名が、初期ファイル名となります。
  - ダイアログを表示しない場合、存在しないファイルを指定するとエラーになります。
  - タスクタイプ属性で指定したファイルの種類に合致しない拡張子のファイルはダウンロード できません。

タスクタイプ属性別のファイル種類に対する該当拡張子は次の通りです。

タスクタイプ属性	拡張子
画像	*.gif、*.jpg、*.jpeg、*.tif、*.tiff
EXCEL ブック	*,xls、*,xlsx
テキスト	*.csv、*.tsv、*.txt
実行ファイル以外	(*.exe, *.bat, *.cgi, *.dll,*.com, *.cmd) 以外
ユーザ指定	任意の拡張子

- http プロトコルには対応していません。ファイル名は、ドライブ名表記(ドライブ名:¥フォ ルダ名¥・・・)、もしくはUNC表記(¥¥サーバ名¥共有名¥フォルダ名¥・・・)で指定し てください。
- ② 汎用パラメータ 1「元・ファイル名」が空白の場合は、指定の有無に関わらずダイアログを表示します。

但し、汎用パラメータ3「ファイルのホスト」が "DBS サーバ"の場合はダイアログを表示することはできません。

- ③ ダウンロード元のホストが、DBS サーバ(Web サーバ)内のフォルダの場合には "DBS サーバ"
   を指定してください(省略時は "DBS サーバ"が初期値なので注意!)。
- ④ 「先・ファイル名」(汎用パラメータ6)を指定した場合には、ダウンロードしたファイルの名称は 指定したファイル名に置き換わります。指定しない場合はダウンロード元のファイル名で登録され ます。
- ⑤ 「上書き確認」の選択肢と内容は以下のとおりです。

4. 上書許可:常に上書きを許可します。

- 5. **エラー** :常にエラーとします。
- 6. 確認 : 確認メッセージを表示します。
- ⑥ 汎用パラメータ2でダウンロード元の「元・ダイアログ表示」に"**有り**"が指定された時のみ有効 となります。
- ⑦ 汎用パラメータ4 でダウンロード先の「先・ダイアログ表示」に"**有り**"が指定された時のみ有効 となります。
- ⑧ ガイド文字列と拡張子文字列をペアにし繰り返し列挙します。(区切り文字は"|")

書式:「ガイド文字列1|拡張子文字列1|ガイド文字列2|拡張子文字列2|・・・」

拡張子文字列は、複数の拡張子を指定できます。(区切り文字列は";")

書式:「拡張子 1;拡張子 2;|拡張子 3;・・・」

例)「画像ファイル|\*. gif;\*.jpg;\*.jpeg;\*.tif;\*.tiff|全てのファイル|\*.\*」

省略時は「EXCEL ブック (\*. xls, \*. xlsx) |\*. xls; \*. xlsx」が指定されたものとして処理します。

db

「323:ファイルダウンロード」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	ファイルダウンロード		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	323		
6	タスクタイプ名		*	ファイルダウンロード		
7	タスクタイプ属性		*	ユーザ指定		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			ファイルダウンロード		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		Α
17	汎用パラメータ1	元・ファイル名		@ダウンロード_元・ファイル名	N	
18	汎用パラメータ2	元・ダイアログ表示		@ダウンロード_元・ダイアログ表示		
19	汎用パラメータ3	ファイルのホスト		@ダウンロード_ファイルのホスト		
20	汎用パラメータ4	先・ダイアログ表示		@ダウンロード_先・ダイアログ表示		
21	汎用パラメータ5	先・フォルダ名		@ダウンロード_先・フォルダ名		
22	汎用パラメータ6	先・ファイル名		@ダウンロード_先・ファイル名		B
23	汎用パラメータ7	上書き確認		@ダウンロード_上書き確認		
24	汎用パラメータ8	フォルダ表示		@ダウンロード_フォルダ表示		
25	汎用パラメータ9	元・初期フォルダ	_	@ダウンロード_元・表示フォルダ		
26	汎用パラメータ10	元・指定フォルダ名		@ダウンロード_元・ダイアログ用フォルダ		
27	汎用パラメータ11	先・初期フォルダ		@ダウンロード_先・表示フォルダ		
28	汎用パラメータ12	先・指定フォルダ名		@ダウンロード_先・ダイアログ用フォルダ	U	
29	汎用パラメータ13	ファイルの種類		@ダウンロード_ファイルの種類・・	r	

A·····この例では、セル指定属性= "間接"により、シート上に設定した定義名に該当するセルの値で 処理条件を指定しています。

B……それぞれの処理条件をシート上の定義名で指定します。

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「ダウンロード」



A····・セルの定義名:「ダウンロード\_元・ファイル名」~「ダウンロード\_ファイルの種類」



# 2.69 324:ファイル属性取得

■ 機能

db

- 指定したファイルの属性(ファイルサイズ、タイムスタンプ等)を取得し、所定のセルに展開します。
- ② ファイルホストに「DBS サーバ」を指定することにより、IIS で公開されていないフォルダのファ イルに対してもファイル属性の取得が可能です(ファイルホストに「ネットワーク」を指定した場 合は、クライアントから見えるファイルのみ取得可能)。
- ③ ファイル選択機能が利用可能です。ダイアログを使用して任意のファイル名を入力させることができます。汎用パラメータの指定により、ファイルの種類を指定できます。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	イメージ保存		
4	処理順NO		*	4		
5	タスクタイプNO		*	324		
6	タスクタイプ名		*	ファイル属性取得		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			イメージ保存	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	ファイル名		@イメージ保存_保存ファイル名		補足①
18	汎用パラメータ2	ダイアログ表示			無し	補足②
19	汎用パラメータ3	ファイルのホスト		@イメージ保存_ファイルのホス	DBSサーバ	補足③
20	汎用パラメータ4	初期フォルダ			前回のフォルダ	補足④
21	汎用パラメータ5	指定フォルダ名			マイドキュメント	
22	汎用パラメータ6	ファイルの種類			実行ファイル以外(*.*) *.*	補足⑤
23	汎用パラメータ7	フォルダ名				補足⑥
24	汎用パラメータ8	ファイル名				補足⑥
25	汎用パラメータ9	ファイルサイズ		@イメージ保存_ファイルサイズ		補足⑦
26	汎用パラメータ10	ファイル作成日		@イメージ保存_作成時刻		補足⑦
27	汎用パラメータ11	ファイル更新日		@イメージ保存_更新時刻		補足⑦
28	汎用パラメータ12	ファイル最終アクセス日時		@イメージ保存_アクセス時刻		補足⑦

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>324</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	. " <b>ファイル属性取得</b> "は自動表示します。 (省略不可)
タスクタイプ属性	.指定不可
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNOはブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)

di X

シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	ファイル名: ファイル属性を取得するファイルのファイル名(パス
	を含む)を指定します。(補足①)
汎用パラメータ 2	ダイアログ表示: ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定しま
	す。(補足②)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
汎用パラメータ 3	ファイルのホスト: 取得するファイルの格納されたホストのタイプ
	を指定します。(補足③)
	① ネットワーク
	② DBS サーバ
汎用パラメータ 4	初期フォルダ: ファイル選択ダイアログを表示する場合、どのフォ
	ルダを初期表示するかを指定します。(補足④)
	① 前回のフォルダ ③ デスクトップ
	② マイドキュメント ④ 指定フォルダ
汎用パラメータ 5	指定フォルダ名: 「初期フォルダ」で"指定フォルダ"が指定され
	た時に有効で、初期フォルダのパスを指定します。
汎用パラメータ 6	ファイルの種類: ファイルの種類のフィルタ情報を指定します。
	(補足⑤)
汎用パラメータ 7	フォルダ名: ファイルのフォルダ名(ファイル名は含まない)をセ
	ットするセルを指定します。(補足⑥)
汎用パラメータ 8	ファイル名: ファイル名 (パスは含まない)をセットするセルを指
	定します。(補足⑥)
汎用パラメータ 9	ファイルサイズ: ファイルサイズ(KB)をセットするセルを指定
	します。(補足⑦)
汎用パラメータ 10	ファイル作成日: ファイル作成日時をセットするセルを指定します。
	(補足⑦)

るセルを指定します。(補足⑦)

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

① ファイルホストに「DBS サーバ」を指定する場合や、ファイル選択機能を使用しない場合は、指定 するファイル名はパス名を含めて指定します。存在しないファイルを指定することはできません。

# ■ 補足

- ① ファイル属性を取得するファイル名をフルパスで指定します。
  - ダイアログ表示する場合は、フォルダ名の部分を除外したファイル名が、初期ファイル名となります。
  - ダイアログを表示しない場合、存在しないファイルを指定するとエラーになります。
  - http プロトコルには対応していません。ファイル名は、ドライブ名表記(ドライブ名:¥フォ ルダ名¥・・・)、もしくはUNC表記(¥¥サーバ名¥共有名¥フォルダ名¥・・・)で指定し てください。
- ② 汎用パラメータ 1「ファイル名」が空白の場合は、指定の有無に関わらずダイアログを表示します。
- ③ アップロード先のホストが、DBS サーバ(Web サーバ)内のフォルダの場合には "DBS サーバ"
   を指定してください(省略時は "DBS サーバ"が初期値なので注意が必要!)。
- ④ ファイル選択ダイアログが表示される場合のみ有効となります。
- ⑤ ガイド文字列と拡張子文字列をペアにし繰り返し列挙します。(区切り文字は")") 書式:「ガイド文字列1|拡張子文字列1|ガイド文字列2|拡張子文字列2|・・・」

拡張子文字列は、複数の拡張子を指定できます。(区切り文字列は";")

書式:「拡張子 1;拡張子 2;|拡張子 3;···」

例)「画像ファイル|\*.gif;\*.jpg;\*.jpeg;\*.tif;\*.tiff|全てのファイル|\*.\*」

省略時は「EXCEL ブック(\*.xls,\*.xlsx)|\*.xls;\*.xlsx」が指定されたものとして処理します。

- ⑥ ファイル選択ダイアログで選択したファイルのファイル名を Excel シート上に格納させたい時などに使用します。「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します。
- ⑦ 取得した属性情報を格納するセルを指定します。「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接 アドレス」の動作に変化します。

「324:ファイル属性取得」の使用例です。

この例では、タスクタイプ「イメージ保存」で保存したファイルの属性を取得しています。 定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	イメージ保存		
4	処理順NO		*	4		
5	タスクタイプNO		*	324		
6	タスクタイプ名		*	ファイル属性取得		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			イメージ保存		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		А
17	汎用パラメータ1	ファイル名		@イメージ保存_保存ファイル名	Ν	
18	汎用パラメータ2	ダイアログ表示				
19	汎用パラメータ3	ファイルのホスト		@イメージ保存_ファイルのホスト		
20	汎用パラメータ4	初期フォルダ				
21	汎用パラメータ5	指定フォルダ名				П
22	汎用パラメータ6	ファイルの種類			$\sum$	D
23	汎用パラメータ7	フォルダ名			1	
24	汎用パラメータ8	ファイル名				
25	汎用パラメータ9	ファイルサイズ		@イメージ保存_ファイルサイズ		
26	汎用パラメータ10	ファイル作成日		@イメージ保存_作成時刻		
27	汎用パラメータ11	ファイル更新日		@イメージ保存_更新時刻		
28	汎用パラメータ12	ファイル最終アクセス日時		@イメージ保存_アクセス時刻	ľ	

A·····この例では、セル指定属性="間接"により、シート上に設定した定義名に該当するセルの値で 処理条件を指定しています。

B····・それぞれの処理条件をシート上の定義名で指定します。

「ファイル名」が正しく取得できない時など、自動的にダイアログを表示しますので注意してく ださい。

「ファイルのホスト」は、指定なしの場合は"DBSサーバ"扱いとなるので注意してください。 汎用パラメータ9~汎用パラメータ12で取得した情報を格納するセルのアドレスを指定します。

A	B C	D	E	F	G	н	I
1							
2 4	27. イメージ保	存					
3							
4	機能	: 指定した範囲のセルのイ	メージを画像ファイルに保存します。				
5		保存できる画像フォーマッ	トは、JPEG形式もしくはBMP形式です。				
6							
7							
8							
9		保存先	C:¥Temn¥TestImage ing				
10		ダイアログ表示	mail,				
11		表示フォルダ					
12		ダイアログ田フォルダ	C:¥Temp				
13		ファイルの種類	our only				-
14		保存形式	JPFG				
15		,IPFG压缩率	80				
16		イメージ化セル範囲	A1 F21				
17		ト書き確認					
18		保存先のフォルダ名セル	イメージ保存(\$F\$23				
19		保存したファイル名セル	イメージ保存\$F\$24				
20		保存後のフォルダ表示	表示しない				
21			The second s				
22							
23		フォルダ名		1			
24		ファイル名					
25							
26		保存ファイル名					
27		ファイルのホスト		<u>ار</u> ا			
28		ファイルサイズ(KB)		$\square \land$	E28	ר ה	-
29		ファイル作成日時		t t	E29	1 L 🗌	-
30		ファイル更新日時		א ו	E30	T I	-
31		ファイル最終アクセス		† J \ _ `	VE31	1 J 🔪 🗌	-
32					N		
33	/				1	\	
					D /	В	

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「イメージ保存」

A……「イメージ保存」のサンプルに対して、定義を追加した領域

B・・・・セルの定義名:「イメージ保存\_保存ファイル名」と「イメージ保存\_ファイルのホスト」
 「イメージ保存\_保存ファイル名」は、保存ファイル名のフォルダ名とファイル名を連結
 C・・・・セルの定義名:「イメージ保存\_ファイルサイズ」~「イメージ保存\_アクセス時刻」
 D・・・・ファイル属性の取得結果を表示(Cによって、間接的に指定されている)

#### 補足

イメージ保存の処理後、ファイル属性を実行しますが、必要に応じて「シート切替」や「自動計算」 を実行する必要があります。

タスク名	処理順NO	タスクタイプNO	タスクタイプ名	タスクタイプ属性
イメージ保存	1	427	イメージ保存	
イメージ保存	2	403	シート切替	
イメージ保存	3	417	自動計算	再計算実行
イメージ保存	4	324	ファイル属性取得	



# 2.70 325:メール送信

■ 機能

db

- ① メールを送信します。
- ② セル指定属性を「間接」に設定することで、本文や宛先などを可変にしてメールを送信することができます。

⇒「セル指定属性」、「汎用パラメータ3~7」の設定。

- ③ 繰り返し回数(セル指定属性が「間接」の時のみ有効)を指定することにより、宛先のアドレスを 順に変更しながら、繰り返してメールを送信することができます。
   ⇒「汎用パラメータ2」の設定。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	5500		
3	タスク名		*	メール送信		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	325		
6	タスクタイプ名		*	メール送信		
7	BKNO		*	1		
8	ブック名		*	Samplexls		
9	シート名			メール送信例	開始時のシート名	
10	シート保護有無					
11	シート保護解除PW					
12	処理条件判定セル	実行判定				
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					
15	セル指定属性			直接		
16	汎用パラメータ1	送信者アドレス		user1@abcd.co.jp	送信者アドレスなしとする	
17	汎用パラメータ2	繰返し回数			1 (0)	補足①
18	汎用パラメータ3	件名		ご挨拶	件名なしとする	
19	汎用パラメータ4	本文		こんにちは、お元気ですか。	本文なしとする	
20	汎用パラメータ5	宛先		user2@efgh.co.jp	宛先なしとする	補足②
21	汎用パラメータ6	00		user3@efgh.co.jp	OCなしとする	補足②
22	汎用パラメータ7	BCC			BCCなしとする	補足②

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■ 項目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により"メール送信"が自動設定されます。
タスクタイプ属性	何も指定しません。
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	送信者の <b>メールアドレス</b> を指定します。
汎用パラメータ 2	メール送信の <b>繰り返し回数</b> を指定します。
汎用パラメータ 3	メールの <b>件名</b> を指定します。
汎用パラメータ 4	メールの <b>本文</b> を指定します。
汎用パラメータ 5	宛先の <b>メールアドレス</b> を指定します。
汎用パラメータ 6	
汎用パラメータ 7	BCCの <b>メールアドレス</b> を指定します。
(注1)詳細は、『開発版リコ	<sup>1</sup> ァレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ
ート名を使っている	定義」を参照して下さい。。
(注2)詳細は、『2.1 タスク	フ定義の全項目について』を参照してください。
(注3)詳細は、『2.2 タス?	フタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - メール送信を行うためには、あらかじめサーバ版の管理者画面で、DBSサーバからメールを送信 するためのSMTPの接続設定やパスワードの設定を行っておく必要があります。
  - ② 送信者のアドレス(「汎用パラメータ1」の設定)は、迷惑メール防止のため直接設定(定義)のみ有効になっています。
  - ③ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
- 補足
  - 「汎用パラメータ 2」の繰り返し回数は、メールサーバの設定により同報メール送信ができない場合などに有効です。
  - ② 宛先(「汎用パラメータ5」)、CC(「汎用パラメータ6」)、BCC(「汎用パラメータ7」)は、;(セミコロン)を区切り記号にして複数を列挙して指定することができます。

db🟏

- ◎「メール送信」ボタンを押すと、以下の内容のメールを送信する使用例を示します。
  - ・送信者:<u>user1@abc.co.jp</u>
  - 件名:ご挨拶
  - 本文:お世話になっています。
  - ・ 宛先:sales.si@ncm07.jp
  - CC:なし
  - ・BCC:なし

🥺 サンプルアプリケーション【デバッグ】。	iser: Manual5									
ファイル(E) デバッグ( <u>D</u> ) ヘルプ( <u>H</u> )	復旧 プロ:	ジェクト: サンブル	ルアプリケーション			<	> 10	0 % 🔿 50 🔿	75 🔿 100 🔿	)150 〇 範囲ズー
終了 標準サイズ ・ 画面リフレッ:	<b>_</b>	メール送信								
メニュー 再 ステップ停止										
>8)メール送信(325)	Sample.x	s [読み取り専	:用] [互換モー	·ド] - dbS.#1						_ = ×
Menu	A	в	С	D	E	F	G	Н	I	J
▼メニューを選択してください。▼	1									
- 8)メール送信(325) 🔼	2	メール送	信							
9)画像PDF表示(33C	3									
Excel制御用タスクタイプ	4		機能:メ	!ールを送	信します。					
□ 1.展開	5			_						
- 1)直接展開(401)	6		メール送信	ニー ポタン	を押すと、」	以下の内容	でメール	を送信します	•	
2)コピー(410)行タイプ	7									
- 3)クリア(411)	8									
□ 2. セル・シート	9		××	ール送信	する内容					
	10			NA 15 44						
	11		1)	达信者:	user1@abc	.co.jp				
- 3)ソード 切留(403)	12		2)	11-名:	こ挨拶	-71,++				
5) 範囲取得(421)	1.0		(1)	平义: 完生。	0) LE 27 C/9	っています。 	)			
6)行列指定(414)	15		4) 5)	ッセ元・ CC・	tri.	<u>p</u>				
7)行列表示(415_416~	16		6)	BOC:	なし					
	17		0/	500.						
					1				1	
,:i										

「メール送信」ボタンを押すと、メールを送信します。

◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
680 4	8)メール送信(325)	1	Sample.xls	メール送信	0	680

2)ボタン定義の例

 BSNO
 ボタンNO
 ボタン名表示名
 TASKNO
 タスク名
 権限レベル
 定義有効気効フラグ
 ガイダンス

 680
 1
 メール送信
 6800
 メール
 6800
 メール
 6800
 メール
 6800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800
 4800

#### 3) タスク定義の例

TASKNO タスク名	↓ 処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
6800 メール送	言 1	325	メール送信		1	Sample.xls	メール送信

#### ※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイトル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	6800
3	タスク名		ж	メール送信
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	325
6	タスクタイブ名		ж	メール送信
7	BKNO		ж	1
8	ブック名		ж	Sample.xls
9	シート名			メール送信
10	シート保護有無			
11	シート保護解除PW			
12	処理条件判定セル	実行判定		
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント 欄			
15	セル指定属性			直接
16	汎用パラメータ1	送信者アドレス		user1@abc.co.jp
17	汎用バラメータ2	繰返し回数		
18	汎用バラメータ3	件名		ご挨拶
19	汎用バラメータ4	本文		お世話になっています。
20	汎用バラメータ5	宛先		sales.si@ncm07.jp
21	汎用バラメータ6	CC		
22	汎用バラメータ7	BCC		

#### 330:画像 PDF 表示 2.71 タスクタイプ属性(内部プラウザ、外部プラウザ、内部プラウザ閉じる)

機能

db

- ① 画像ファイル、PDF ファイル等を画面に表示します。
- ② タスクタイプ属性で表示方式を指定します。
  - (ア) 内部ブラウザ : dbSheetClient のサブウィンドウを起動します。
  - (イ)外部ブラウザ:マイクロソフト社のInternetExplorerを起動します。
- ③ 表示するファイル (ページ) はパラメータで指定します。ローカルディスクのパス名及びファイル 名、Web サイトの URL 等により指定が可能です。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲		6		
	A	В	C	D		
1	<u> </u>	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	画像PDF表示		
4	処理順NO		*	2		
5	870817N0		*	330		
6	タスクタイプ名		*	画像PDF表示		
7	タスクタイプ属性	s Parkinin and hand hand hand hand hand hand hand		外部ブラウザ	内部ブラウザ	
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			画像PDF表示	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		@PDF表示開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄	t Tyrkakakakakakakakakakakakakakakakakakaka				
16	セル指定属性			間接		
17	汎用バラメータ1	パス名		@画像PDF表示_WebDir		補足①
18	汎用バラメータ2	ファイル名		@画像PDF表示_WebFile		補足①、補足②
19	汎用バラメータ3	アドレス表示				

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

項目説明 

TASKNO	.任意(省略不可) (注	1、2)
タスク名	.自動表示します。(省)	略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同一;	タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>330</b> "を入力します	。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	"画像 PDF 表示"は自	動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	以下から指定します。	(省略不可)
	① (空白)	③ 外部プラウザ
	② 内部ブラウザ	④内部ブラウザ閉じ
		3
BKNO	.タスク実行する Exce	Aファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用	定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブ	ック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示す	するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)	

シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	<ol> <li>         ・         ・         ・</li></ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	表示するファイル(ページ)のパス名、URL等を指定します。
汎用パラメータ 2	表示するファイル(ページ)のファイル名を指定します。汎用パラメ
	ータ1でフルパスを指定した場合は省略が可能です。
汎用パラメータ3	表示しない:アドレスが見えないようにします。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ① PDF ファイルを表示させるには、クライアント環境に AcrobatReader 等をインストールする必要 があります。
  - ② 内部ブラウザで PDF ファイルを開いた時は、dbSheetClient 終了時に AcrobatReader の終了を 待つために、外部ブラウザで開いた場合よりも若干時間が長くかかります。
- 補足
  - 通常、汎用パラメータ1でパス名を、汎用パラメータ2でファイル名を指定しますが、汎用パラメ ータ1でフルパスを指定した場合は、汎用パラメータ2の指定を省略できます。
     また、汎用パラメータ1でパス名を指定する場合、パス名末尾の"/"や"¥"は省略できます。
  - ② タスクタイプ属性で"内部ブラウザ"を指定した場合、表示できるファイルの拡張子は次のものです。
     *".txt"*, *".htm"*, *"html"*, *".pdf"*, *".jpg"*, *".gif"*, *"jpeg"*, *".ini"*, *".log"*

また、下記の Excel や Word 関連のファイルは表示できません。

".xls", ".xlt", "xlsx", ".doc", "docx", ".csv", ".tsv"

db

「タスクタイプ:画像 PDF 表示」の使用例です。

タスクタイプ属性で"内部ブラウザ"指定時

OMOF サンナル集(入門編)Ver	4【デバック	Juser:ma	inual8 #1											
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧	ブロジェクト	: DMOF サン	ブル集(入門組	≣)Ver4	×		<	> 100 x 🔿 50 (	0 75 (	) 100 ()	150 〇 節囲	Z <sup>2</sup> −4	
終了 標準サイズ ・ 画面リフレ	1 1 1	0~	<b>л</b> н )	Web										
メニュー 再 ステップ停止					_									
> 9)画像PDF表示(330)														
Menu	💌 Sa	impleタスクタ	イブV4.xls [読	み取り専用]	[互換モード	] - dbS.#1								- = ×
: ▼J====*深切  7(#\$() ▼		A E	в с		D			E		F	G	Н	ΙJ	K L
	2	3	20 再像	DE表示										
- 3)終了 伽理(303)【新	3	Ŭ		01 32070										
- 4)ハイパー実行制御(5	4		機能	: 西	像ファイル	,または PDFファ・	イルなどを、db	SheetClient©	)第二ウィンドウ	・(ブラ	ウザ用	ウィンドウ	)12	
- 5)スクリーン制御(319)	5			表	示します。									
■ 2. タスク制御	6			<b></b>	ームペーシ	クのアドレスを指定	<b>ヹすると、ホー</b>	ムページか開る	きます。	_				
<ul> <li>1/X12/mX2*サフ/mX</li> <li>の)条件判定分岐(017)</li> </ul>	/		12,00	distant	101-17	かけさわているオ	こか ホカリッカ	1 7 中に共り	甲丸成熟してい	#1 x 3	2			
- 3)メッセージ表示(318)	9		DRIF	. ubsnee	stonent c	TERRETTOCION	*****	000 £11 <b>8</b> 0	ACC DE LISU U PA	aur.	<i>)</i> 。			=
- 4)ループ処理(315)【新	10			ローカル	[PD	FO-JUJO-	カルPCのPDF	ファイルを第二	ウィンドウに表	示しま	. J .			
5)タイマー処理(316)【	11										セル定	義名】		
- 6)サブタスク実行(320)	12			5	ディレクトリー	<ul> <li>C:¥dbSheetCli</li> </ul>	ient¥Sample			+	(@画像P	PDF表示_	PDFDir)	
- 7)ログ情報書込み(32) 8)メール送信(325)	13				ファイル名	dbSheetClient	pdf			+	(@画像F	PDF表示	PDFFile)	
9)画像PDF表示(330	13													
Excel制御用タスクタイプ	14			Web	TWO		JU- FORD	ロマイルを表示	モリキオ					
□ 1.展開	16						Tour Di	i v v v v v cata	100.78					
- 1)直接展開(401)	17				アドレス	http://www.no	om07.ip/nomte:	st002/		-	(@画像)	PDF表示	NebDir)	
- 2)_E -(410/(T94)) - 3)/UP(411)	17				ファイルタ					+	രകൾ	DDE表示。	No bEilo )	
自 2. セル・シート	18				271764		1					DI BOJC	neur nez	
- 1)セル保護(412)	1													
- 2)シート保護(413)	URLØ	988 19												
- 3)シート(引替(403)	: 閉じる	5 左右分響	1 戻る が	「更新										
- 5)範囲取得(421)	アドレス	> C:¥dbShe	etClient¥Sampl	le¥dbSheetCl	ient.pdf									
6)行列指定(414)	: D	EN A	A. 1 /A		1 1 0 0	50% - : L								
7)行列表示(415、416	· •			~ · ·		JUN					_			
8)ブック制御(407)【新														1
- 9/シートコピー(409/L来 - 3 Excol制御														
- 1)自動計算(417)														
- 2)並べ替え(418)	66						======	のデスト PDF です。						
- 3)ピボットテーブル(402								1.1						
- 4)Exceロマンド(430)	?													
6)保存(406)														
- 7)一括入出力(405)人							<b>•</b>	<b>T</b>						
- 8)一括入出力(405)出														
- 9)図の挿入・クリア(42:							NEV	VLUM						
-10)行列挿人(424)【新														
-177190/190人設定( -12)ハイパーね7万室行言														
	Ø													
< >														
>	<b>~</b>													

#### タスクタイプ属性で"外部ブラウザ"指定時



定義するシート:

dby

- タスク定義 (タスクー覧を含む)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	1	
3	タスク名		*	画像PDF表示	
4	処理順NO		*	2	
5	タスクタイプNO		*	330	
6	タスクタイプ名		*	画像PDF表示	
7	タスクタイプ属性			内部ブラウザー	 А
8	BKNO		*	3	_
9	ブック名		*	Sample.xls	 В
10	シート名			画像PDF表示 ———	~
11	シート保護有無				С
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性			間接	 D
17	汎用パラメータ1	パス名		@画像PDF表示_WebDir	
18	汎用パラメータ2	ファイル名		@画像PDF表示_WebFile	

A······ タスクタイプ属性で内部ブラウザか外部ブラウザを指定します。

B·····・ このタスクで使用するブック定義に登録済のブックファイル名("Sample.xls")です。

- C……… 実行時に表示するシートを指定省略すると、表示するシートはかわりません。
- D・・・・・・ セル指定属性で「間接」を指定した例です。汎用パラメータ1と汎用パラメータ2でそれぞれパス名とファイル名を指定しますが、この例では、値の格納された Excel シート登録済のセル定義名を指定しています。<定義名選択>で選択した場合は、「@」が先頭に付加されます。(◆ Excel シート参照)
- Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」 / シート:「画像 PDF 表示」



A······ タスク定義のパラメータ 1 = "画像 P D F 表示\_PDFDir"

B······ タスク定義のパラメータ 2= "画像 PD F 表示\_PDFFile"

# 2.72 340:ファイル選択ダイアログ タスクタイプ属性(読込用、保存用)

■ 機能

dby

- ファイル選択ダイアログを表示し、選択したファイルのファイル名を Excel シート上の指定のセル に展開します。
- ② タスクタイプ属性を指定することにより、読込用か保存用かを指定することが可能です。
- ③ 汎用パラメータの指定により、ファイルの種類を指定することが可能です。

### ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲			1	8
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
З	タスク名		*	ファイル選択ダイアログ		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	340		
6	タスクタイプ名		*	ファイル選択ダイアログ		
7	タスクタイプ属性			読込用		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			ファイル選択ダイアログ	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		©ファイル選択開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	初期フォルダ		@ファイル選択_初期フォルダ	前回選択のフォルダ	補足①
18	汎用バラメータ2	ファイルの種類		@ファイル選択_ファイルの種類	実行ファイル以外	補足②
19	汎用バラメータ3	フィルター		@ファイル選択_フィルタ条件	**	補足③
20	汎用バラメータ4	複数指定		@ファイル選択_複数選択	一つのみ選択可	補足④
21	汎用パラメータ5	フォルダ名		@ファイル選択_フォルダ名セル		補足⑤
22	汎用パラメータ6	ファイル名		@ファイル選択_ファイル名セル		補足⑤
23	30用パラメータ7	初期表示ファイル名				補足⑤

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>340</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	." <b>ファイル選択ダイアログ</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	.動作モードを指定します。(省略不可)
	① 読込用
	② 保存用
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指

db

# **dbSheetClient**

	定します。(注2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	. 下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	① 直接     ③ 間接アドレス
	② 間接
汎用パラメータ 1	.初期フォルダ: 初期表示するフォルダを指定します。(補足①)
汎用パラメータ 2	.ファイルの種類: ファイルの種類を指定します。(補足②)
	① 画像 ④ 実行ファイル以外
	② EXCEL ブック ⑤ ユーザ指定
	③ テキスト
汎用パラメータ 3	.フィルタ: 汎用パラメータ 2 で" <b>ユーザ指定</b> "を指定した時のフィ
	ルタを指定します。(補足③)
汎用パラメータ 4	.複数指定: 複数選択を許可する時には「複数」を指定します。
	(補足④)
	① 複数
汎用パラメータ 5	.フォルダ名格納セル: 選択したファイルのフォルダ名をセットする
	セル名を指定します。(補足⑤)
汎用パラメータ 6	.ファイル名格納セル: 選択したファイル名(パスは含まない)をセ
	ットするセル名を指定します。(補足⑤)
汎用パラメータ 7	.初期表示ファイル名: セットされているときには、イニシャルファ
	イルとして、ダイアログに表示できるようにした。(補足⑤)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- タスクタイプ属性の"保存用"を選択した場合は、新規ファイル名の入力が可能です。"読込用"を 選択した場合は、既存のファイルしか指定できません。
- ② タスクタイプ属性の"保存用"を選択した場合で、新規ファイル名の入力時、拡張子を省略すると 拡張子を自動的に付加します。ファイルの種類に対する付加される暗黙の拡張子は次の通りです。

ファイルの種類	拡張子
画像	*.gif
EXCEL ブック	*,xls
テキスト	*.txt
実行ファイル以外	なし
ユーザ指定	フィルタで指定した拡張子(複数あれば先頭に定義した拡張子)

### ■ 補足

 ファイル選択ダイアログを表示した時の初期フォルダを指定します。省略した場合は、前回の選択 フォルダを表示します。

ファイルの種類	拡張子				
画像	*.gif、*.jpg、*.jpeg、*.tif、*.tiff				
EXCEL ブック	*.xls、*.xlsx				
テキスト	*.csv、*.tsv、*.txt				
実行ファイル以外	(*.exe, *.bat, *.cgi, *.dll,*.com, *.cmd) 以外				
ユーザ指定	「汎用パラメータ3」で任意の拡張子を指定				

2 ファイル種類に対する該当拡張子は次の通りです。

③ ガイド文字列と拡張子文字列をペアにし繰り返し列挙します。(区切り文字は"|")
 書式:「ガイド文字列1|拡張子文字列1|ガイド文字列2|拡張子文字列2|・・・」
 拡張子文字列は、複数の拡張子を指定できます。(区切り文字列は";")

書式:「拡張子 1;拡張子 2;|拡張子 3;···」

例)「画像ファイル!\*.gif:\*.jpg:\*.jpeg:\*.tif:\*.tiff|全てのファイル!\*.\*」 省略時はすべてのファイルを表示します。

- ④ "複数"を指定した時は、選択したファイルのパス名及びファイル名を、汎用パラメータ 5 (フォ ルダ名)及び汎用パラメータ6 (ファイル名)で指定したセルからそれぞれ行方向に展開します。 タスクタイプ属性で"読込用"を指定した時だけ指定が可能です。"保存用"を指定した時は複数フ ァイルの選択ができません。
- 5 「セル指定属性」で"**間接**"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します。

「340:ファイル選択」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

		タスク定義編集画面の筆	ÔĦ			
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
З	タスク名		*	ファイル選択ダイアログ		
4	処理順NO		*	1		
5	970917N0		*	340		
6	タスクタイプ名		*	ファイル選択ダイアログ		
7	タスクタイプ属性		inini inini ini Pini	読込用		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			ファイル選択ダイアログ		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		©ファイル選択開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄		initiation and a state			
16	セル指定属性			間接		Α
17	汎用パラメータ1	初期フォルダ		@ファイル選択_初期フォルダ う	1	, ,
18	汎用パラメータ2	ファイルの種類		@ファイル選択_ファイルの種類		_
19	汎用パラメータ3	フィルター		@ファイル選択_フィルタ条件		В
20	汎用パラメータ4	複数指定		@ファイル選択_複数選択	r	
21	汎用パラメータ5	フォルダ名		@ファイル選択_フォルダ名セル		
22	汎用バラメータ6	ファイル名		@ファイル選択_ファイル名セル」		
23	汎用バラメータ7	初期表示ファイル名				

A······ この例では、セル指定属性= "間接"により、シート上に設定した定義名に該当するセルの 値で処理条件を指定しています。

B……… それぞれの処理条件をシート上の定義名で指定します。

	А	В	С	D	Ē	F	G	Н	I
1									
2		340.7	ァイル選択						
3									
4			機能 :	ファイル 選択ダイアログを	表示し、選択したファイルのファイル名をExcelシート 上の指定	のセルに	展開します。		
5				タスクタイブ属性を指定す	ることにより、読込用か保存用かを指定することが可能です。				
6				汎用バラメータの 指定によ	り、ファイルの種類を指定することが可能です。				
7									
8									
9									
10					ir				
11				初期フォルダ名	C:¥Temp	J)			
12				ファイルの 種類	ユーザ指定				
					画像ファイル *.gif,*.jpg;*.jpeg;*.tif;*.tiff EXCELブック *.xls;*.xlsx				
				フィルタ条件	文書ファイル *.doc;*.docx テキスト *.csv;*.tsv;*.txt 全てのファ	≻.			
13				In the NR Let	イル *.*	+1			_
14				複数選択		$   \rangle$			_
15				フォルダ名セットセル	E18	$   \rangle$			_
16				ファイル 名セット セル	E19	$\nu$ $\gamma$			_
17				199 1		<b>n</b>	$\land$		_
18				選択ファイル・フォルダ名		╡┝╴╮			_
19				選択ファイル・ファイル名		$\downarrow$ $\setminus$			_
20	_					$  \rangle$			+
21						· ·			_
22					<u> </u>				_
							$\langle \rangle$		
								$\backslash$	
							\	1	
								П	

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「ファイル選択ダイアログ」

A·····・ セルの定義名:「ファイル選択\_初期フォルダ」~「ファイル選択\_ファイル名セル」

B······ 間接的に指定された「フォルダ名」、「ファイル名」のセル(E18、E19)

※この例では、「複数指定」の指定が無いものと想定しています。

# 2.73 341:サーバフォルダ削除 タスクタイプ属性(フォルダ削除、ファイル削除)

■ 機能

db

- ① DBSサーバやネットワーク上(ローカルも含む)のフォルダの削除、またはファイルの削除を行います。フォルダ削除の場合、指定したフォルダ以下のサブフォルダやファイルを全て削除します。
   ⇒「タスクタイプ属性」、「汎用パラメータ1~4」の設定。
- ② 削除対象のフォルダ内にサブフォルダやファイルが存在した時の動作(無条件削除/エラー/確認 メッセージ)を指定することができます。
   ⇒「汎用パラメータ5」の設定。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9610		
3	タスク名		*	サーパフォルダ削除(ファイル削除)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	341		
6	タスクタイプ名		*	サーバフォルダ削除		
7	タスクタイプ属性			ファイル削除		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SamplexIs		
10	シート名			ファイル操作例	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	ホスト指定		ネットワーク	DBSサーバ	
18	汎用パラメータ2	削除対象		C:¥dbSClient¥ProjA¥*.txt	エラー	
19	汎用パラメータ3	ファイルの種類			実行ファイル以外	補足①
20	汎用パラメータ4	ユーザ指定			*.*	補足②
21	汎用パラメータ5	削除確認		無条件削除	確認	補足③

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>341</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により"サーバフォルダ削除"が自動設定されま
	す。
タスクタイプ属性	①" <b>フォルダ削除</b> ":フォルダ削除を行う場合
	②" <b>ファイル削除</b> ":ファイル削除を行う場合
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)

db

シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	カです。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	、汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	① 直接     ③ 間接アドレス
	② 間接
汎用パラメータ 1	.削除するフォルダ/ファイルが存在するホストを指定します。
	① ネットワーク
	② DBS サーバ
汎用パラメータ 2	.削除対象のフォルダ/ファイルの <b>パス名</b> を指定します。
汎用パラメータ 3	ファイル削除の場合、ファイルの種類を指定します。
	① <b>画像</b> ④ 実行ファイル以外
	② EXCEL ブック ⑤ ユーザ指定
	③ テキスト
汎用パラメータ 4	. 「汎用パラメータ3」で「ユーザ指定」を指定した場合の <b>ファイルの</b>
	<b>種類の記述(フィルタ)</b> を指定します。
汎用パラメータ 5	.削除対象のフォルダ内にサブフォルダやファイルが存在した時の動
	作を指定します。
	① <b>無条件削除</b> ③ 確認
	② エラー

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- 「ファイル操作」(タスクタイプ 342)のタスクタイプ属性(フォルダ削除、ファイル削除)で、 本タスクタイプと同等の機能が利用できるようになりましたので、そちらの利用を推奨します。
- ② 「汎用パラメータ2」で削除するフォルダやファイルの指定は、C:¥・・・、D:¥・・・のようにパス名で 指定してください。ホスト指定(「汎用パラメータ1」の設定)で"DBS サーバ"を指定した場合も 同様です。

(DBS サーバのアドレスが公開されていても、http://・・・のアドレス指定は不可です。)

- ③ 「汎用パラメータ 2」で削除するフォルダやファイルの指定で、ファイル削除の場合は\*.txt、\*.xlsのように\*(ワイルドカード)を指定して該当するファイルの一括指定が可能ですが、フォルダ削除の場合は\*(ワイルドカード)は使用できません。
- ④ 「汎用パラメータ3」(ファイル種類の指定)と、「汎用パラメータ4」(ユーザ指定の時のファイル 種類の記述指定)は、ファイル削除の時のみ有効です。
- ⑤ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除 PW」の設定)を行う必要があります。
- ⑥ dbSheetClientからタスクを利用してアップロードしたファイルは削除可能ですが、「DBSサーバ」 内で「NT AUTHORITY¥NETWORK SERVICE」でアクセス可能な権限が設定されていない手動 でコピーしたフォルダやファイルは、削除できない場合がありますので注意してください。

### ■ 補足

① 「汎用パラメータ3」のファイル種類の指定は以下から選択可能です。

ファイルの種類	拡張子			
画像    *.gif、*.jpg、*.jpeg、*.tif、*.tiff				
EXCEL プック *.xls、 *.xlsx				
テキスト	*.csv、*.tsv、*.txt			
実行ファイル以外	(*.exe, *.bat, *.cgi, *.dll,*.com, *.cmd)以外			
ユーザ指定	「汎用パラメータ4」で任意の拡張子を指定			

- ② 上記ファイル種類の指定で「ユーザ指定」を選択した場合、「汎用パラメータ4」でファイル種類の 記述指定(フィルタ)を下記の例のように、ガイド文字列と拡張子の区切りを |、拡張子間を:で 区切って指定します。
  - 例) "EXCEL ブック(\*.xls,\*.xlsx) |\*.xls;\*.xlsx"
- ③ 「汎用パラメータ5」の設定は、以下から選択可能です。

・無条件削除:フォルダ内にサブフォルダやファイルが存在した時でも無条件に削除

- ・エラー : フォルダ内にサブフォルダやファイルが存在した時には、常にエラー
- ・確認 :フォルダ内にサブフォルダやファイルが存在した時には、確認メッセージを表示

dby

- ① 「フォルダ削除」ボタンを押すと、フォルダ "C:¥Work¥Folder1"を削除する。
- ② 「ファイル削除」ボタンを押すと、ファイル "C:¥Work¥Folder2¥\*.\*"を削除する。

これらの使用例を示します。



◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 1)メニュー定義の例

		J BSNU
1150  3 5)サーバフォルダ削除  1 Sample.x	。サーバフォルダ削除 (	1150

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
1150	1	フォルダ削除	11500	サーバフォルダ削除_フォルダ削除			
1150	2	ファイル削除	11510	サーバフォルダ削除_ファイル削除			

3) タスク定義の例

TASE	〈NO タスクキ	3	処理順NO	タスクタイブNO	タス ク	フタイブ名	タスクタイプ	「属性 BI	KNO 🗌	ブック名	シート名
11	500 サーバフォルダ削除	フォルダ削除	1	341	サーバ	フォルダ削除	フォルダ削防	È	1 5	Sample.xls	サーバフォルダ削除
144	510 サーバフォルダ削除	ファイル削除	1	341	サーバー	フォルダ削除	ファイル削除	,	1.5	ample xls	サーバフォルダ削除
		_ / / / / / / / / / /				- 976 × 11104	e / 17011114			- arrighter	1
_\		-									
· \			-								
- 🔀	タマク定盖の詳細	佃 (縦型)	表示の内容	<del>家</del> )							
1	タイトル	サブ *		内安		91	トル	<b>サ</b> プ	7 3	ĸ	内容
2	TASKNO	*	11500	1.10	2	TASKNO			*	11510	
3	タスク名	*	サーバフォルダ貨	削除 フォルダ削除	3	タスク名			*	< サーバフォ	・ルダ削除 ファイル削除
4	処理順NO	*	1	and a state of the state	4	処理順NO			*	< 1	
5	タスクタイプNO	*	341		5	タスクタイプNC	)		*	< 341	
6	タスクタイプ名	*	サーバフォルダ肖	喩	6	タスクタイブ名			*	< サーバフォ	・ルダ削除
7	タスクタイプ属性		フォルダ削除		7	タスクタイブ属	性			ファイル削	除
8	BKNO	*	1		8	BKNO			*	< 1	
9	ブック名	*	Sample.xls		9	ブック名			*	< Sample.xls	;
10	シート名		サーバフォルダ肖	川除	10	シート名				サーバフォ	トルダ削除
11	シート 保護有無				11	シート保護有無	Ę.				
12	シート保護解除PW				12	シート保護解除	¥ΡW		_		
13	処理条件判定セル	実行判定			13	処理条件判定	セル	美行判决	E I		
14	定義有効無効フラグ				14	定我有幼燕幼	レック				
15	コメント 欄				15	コメント個					
16	セル指定属性				10	ゼル指定周性	14	++65			5
17	汎用バラメータ1	ホスト指定	ネットワーク		1.0	「汎用ハラメータ」	10	小人下拍动	E	イットワー	1) Ta lala 2017 W. W
18	川田ハラメータ2	削除対家	C:¥Work¥Folder1		10	加用バラメーク	12	日明ホバホ	新新米酒	C.#WUTK#I	-010812 ##.#
19	バ用ハラメニッ5	門防衛進設	9年62		20	汎用パラマーク	и	フーザち	空気		
					20	汎用パラマーな	5	当時な確認	~ <u> </u>	毎条件削	诠

# 2.74 342:ファイル操作 タスクタイプ属性(フォルダコピー、フォルダ移動、フォルダ削除、ファイルコピー、ファイル移動、ファイル削除)

■ 機能

db

- ① コピー(移動)元やコピー(移動/削除)先のフォルダ/ファイルが両方とも、クライアントPCを基 点とするネットワーク内(ローカルも含む)にあるか、DBSサーバを基点とするネットワーク内 にある場合に、フォルダやファイルのコピー(移動)または削除を行います。
   ⇒「タスクタイプ属性」、「汎用パラメータ1~8」の設定。
- ② コピー(移動/削除)先フォルダ内に同一名のサブフォルダやファイルが存在した時の動作(強制実行/エラー/確認メッセージ)を指定することができます。
   ⇒「汎用パラメータ9」の設定。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		•
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9620		
3	タスク名		*	ファイル操作(フォルダコピー)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	342		
6	タスクタイプ名		*	ファイル操作		
7	タスクタイプ属性		*	フォルダコピー		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			ファイル操作例	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	ホスト指定		ネットワーク	ネットワーク	
18	汎用パラメータ2	ダイアログ表示		有り	無し	
19	汎用パラメータ3	表示フォルダ		前回のフォルダ	前回のフォルダ	
20	汎用パラメータ4	表示フォルダパス名				
21	汎用パラメータ5	ファイルの種類			実行ファイル以外	補足①
22	汎用パラメータ6	ユーザ指定			*.*	補足②
23	汎用パラメータ7	コピー元				
24	汎用パラメータ8	コピー先				
25	汎用パラメータ9	強制実行確認			確認	補足③
26	汎用パラメータ10	先フォルダ名			コピー元フォルダ名	
27	汎用パラメータ11	先ファイル名			コピー元ファイル名	
28	汎用パラメータ12	結果の表示			表示しない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	. TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	.任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	." <b>342</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	.タスクタイプ NO 設定により"ファイル操作"が自動設定されます。
タスクタイプ属性	.①" <b>フォルダコピー</b> ":フォルダコピーを行う場合
	②" <b>フォルダ移動</b> " :フォルダ移動を行う場合
	③" <b>フォルダ削除</b> " :フォルダ削除を行う場合
	④" <b>ファイルコピー</b> ":ファイルコピーを行う場合
	⑤" <b>ファイル移動</b> " :ファイル移動を行う場合
	⑥" <b>ファイル削除</b> " :ファイル削除を行う場合

di X

BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。					
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)					
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)					
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。					
	(注1、2)					
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)					
	① (空白)					
	② <b>有り</b>					
シート保護解除PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指					
	定します。(注2)					
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し					
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)					
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない					
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、"無効"を指定します。通常は未入					
	カです。(注1、2)					
	① 有効					
	② 無効					
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。					
セル指定属性						
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)					
	<ol> <li>         ① 直接 ③ 間接アドレス      </li> </ol>					
	② 間接					
汎用パラメータ 1	② 間接 .コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定しま					
汎用パラメータ 1	② <b>間接</b> .コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定しま す。					
汎用パラメータ 1	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> </ul>					
汎用パラメータ 1	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2 汎用パラメータ 3	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2 汎用パラメータ 3	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>① アイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>.ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> <li>① 前回のフォルダ ③ デスクトップ</li> </ul>					
汎用パラメータ 1汎用パラメータ 2汎用パラメータ 3	<ul> <li>② 間接</li> <li>ユピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>.ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>.ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> <li>① 前回のフォルダ ③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント ④ 指定フォルダ</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2 汎用パラメータ 3 汎用パラメータ 4	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② アイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> <li>① 前回のフォルダ</li> <li>③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント</li> <li>④ 指定フォルダ」を指定した場合のダイアログ</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2 汎用パラメータ 3 汎用パラメータ 4	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>② 有り</li> <li>ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> <li>① 前回のフォルダ ③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント ④ 指定フォルダ」を指定した場合のダイアログで表示するフォルダのパス名を指定します。</li> </ul>					
<ul> <li>汎用パラメータ 1</li> <li>汎用パラメータ 2</li> <li>汎用パラメータ 3</li> <li>汎用パラメータ 4</li> <li>汎用パラメータ 5</li> </ul>	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> <li>① 前回のフォルダ ③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント ④ 指定フォルダ</li> <li>「汎用パラメータ3」で「指定フォルダ」を指定した場合のダイアログで表示するフォルダのパス名を指定します。</li> <li>ファイルコピー/移動/削除の場合、ファイルの種類を指定します。</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2 汎用パラメータ 3 汎用パラメータ 4 汎用パラメータ 5	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定しまま</li> <li>す。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント</li> <li>④ 指定フォルダ</li> <li>⑤ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント</li> <li>④ 指定フォルダ」を指定した場合のダイアログで表示するフォルダのパス名を指定します。</li> <li>ファイルコピー/移動/削除の場合、ファイルの種類を指定します。</li> <li>④ 面像</li> <li>④ 実行ファイル以外</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2 汎用パラメータ 3 汎用パラメータ 4 汎用パラメータ 5	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定しまま</li> <li>す。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> <li>① 前回のフォルダ</li> <li>③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント</li> <li>④ 指定フォルダ」を指定した場合のダイアログで表示するフォルダのパス名を指定します。</li> <li>ファイルコピー/移動/削除の場合、ファイルの種類を指定します。</li> <li>① 画像</li> <li>④ 実行ファイル以外</li> <li>② EXCEL ブック</li> <li>⑤ ユーザ指定</li> </ul>					
汎用パラメータ 1 汎用パラメータ 2 汎用パラメータ 3 汎用パラメータ 4 汎用パラメータ 5	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定しまます。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> <li>① 前回のフォルダ ③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント ④ 指定フォルダ</li> <li>② マイドキュメント ④ 指定フォルダ」を指定した場合のダイアログで表示するフォルダのパス名を指定します。</li> <li>⑦ 画像 ④ 実行ファイル以外</li> <li>② EXCEL ブック ⑤ ユーザ指定</li> <li>③ テキスト</li> </ul>					
<ul> <li>汎用パラメータ 1</li> <li>汎用パラメータ 2</li> <li>汎用パラメータ 3</li> <li>汎用パラメータ 4</li> <li>汎用パラメータ 5</li> <li>汎用パラメータ 6</li> </ul>	<ul> <li>② 間接</li> <li>□ピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有0</li> <li>ファイル選択のダイアログで表示するフォルダを指定します。</li> <li>① 前回のフォルダ</li> <li>③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント</li> <li>④ 指定フォルダ」を指定した場合のダイアログで表示するフォルグのバス名を指定します。</li> <li>ファイルコピー/移動/削除の場合、ファイルの種類を指定します。</li> <li>① 画像</li> <li>④ 実行ファイル以外</li> <li>② EXCEL ブック</li> <li>⑤ ユーザ指定</li> <li>③ テキスト</li> <li>「汎用パラメータ5」で「ユーザ指定」を指定した場合のファイルの</li> </ul>					
汎用パラメータ1 汎用パラメータ2 汎用パラメータ3 汎用パラメータ5 汎用パラメータ5	<ul> <li>② 間接</li> <li>コピー/移動/削除するフォルダ/ファイルが存在する基点を指定します。</li> <li>① ネットワーク</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>② DBS サーバ</li> <li>ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。</li> <li>① (空白)</li> <li>② 有り</li> <li>② 有り</li> <li>⑦ 前回のフォルダ ③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント ④ 指定フォルダ</li> <li>③ デスクトップ</li> <li>② マイドキュメント ④ 指定フォルダ」を指定した場合のダイアロ グで表示するフォルダのパス名を指定します。</li> <li>⑦ 画像 ④ 実行ファイル以外</li> <li>② EXCEL ブック ⑤ ユーザ指定</li> <li>③ テキスト</li> <li>「汎用パラメータ5」で「ユーザ指定」を指定した場合のファイルの</li> <li>種類の記述(フィルタ)を指定します。</li> </ul>					

が用ハリス - 9 8	
汎用パラメータ 9	同一名のサブフォルダやファイルが存在した時の動作を指定します。
	① 強制実行 ③ 確認
	② エラ <b>ー</b>
汎用パラメータ 10	ファイルフォルダのコピー(移動/削除)が成功した時に、コピー(移動)
	先のフォルダ名または削除した <b>フォルダ名をセットするセル</b> を指定
	します。
汎用パラメータ 11	ファイルフォルダのコピー(移動/削除)が成功した時に、コピー(移動)
	先のファイル名 (パスは含まない) または削除した <b>ファイル名をセッ</b>
	<b>トするセル</b> を指定します。
汎用パラメータ 12	コピー(移動)後にコピー(移動)先のフォルダを表示(エクスプローラ
	を起動)するかどうかを指定します。
	① 表示する

(投動) 牛のフュルダ/ファノルのパフち 地中にます

② 表示しない

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

河田パーノ カロ

- コピー(移動)元とコピー(移動)先の基点が異なる、クライアントPC⇔DBSサーバ間のフォルダ やファイルのコピー(移動)はできません。このような場合は、タスクタイプ322(ファイルアップ ロード)またはタスクタイプ323(ファイルダウンロード)を利用してください。
- ② コピー(移動/削除)元のフォルダやファイルの指定(「汎用パラメータ7」)は、C:ギ・・・、D:ギ・・・のようにパス名で指定してください。ホスト指定(「汎用パラメータ1」)で"DBS サーバ"を指定した場合も同様です。

(DBS サーバのアドレスが公開されていても、http://…のアドレス指定は不可です。)

- ③ コピー(移動/削除)元のフォルダやファイルの指定(「汎用パラメータ7」)で、ファイルコピー(移動/削除)の場合は\*.txt、\*.xlsのように\*(ワイルドカード)を指定して該当するファイルの一括指定が可能ですが、フォルダコピー(移動/削除)の場合は\*(ワイルドカード)は使用できません。
- ④ コピー(移動/削除)元のフォルダやファイルの指定(「汎用パラメータ7」)で、空白を指定した場合、 ファイル選択のダイアログを表示します。(ホスト指定(「汎用パラメータ1」)で、"ネットワーク" を指定した場合のみ有効で、"DBS サーバ"を指定時はエラーとなります。)
- ⑤ ファイル種類の指定(「汎用パラメータ5」)と、ユーザ指定の時のファイル種類の記述指定(「汎用 パラメータ6」)は、ファイルコピー(移動/削除)の時のみ有効です。
- ⑥ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除 PW」項目の設定)を行う必要があります。
- ⑦ コピー(移動)するフォルダやファイルにアクセス権限が与えられていない場合は、エラーになりま

すので注意してください。

- ⑧ dbSheetClientからタスクを利用してアップロードしたファイルは削除可能ですが、「DBSサーバ」 内で「NT AUTHORITY¥NETWORK SERVICE」でアクセス可能な権限が設定されていない手動 でコピーしたフォルダやファイルは、移動や削除ができない場合がありますので注意してください。
- 補足
  - ① 「汎用パラメータ5」のファイル種類の指定は以下から選択可能です。

ファイルの種類	拡張子				
画像 *.gif、*.jpg、*.jpeg、*.tif、*.tiff					
EXCEL ブック	7         *.xls、*.xlsx				
テキスト	*.csv、*.tsv、*.txt				
<b>実行ファイル以外</b> (*.exe, *.bat, *.cgi, *.dll,*.com, *.cmd) 以外					
ユーザ指定	「汎用パラメータ6」で任意の拡張子を指定				

- 2 上記ファイル種類の指定で「ユーザ指定」を選択した場合、「汎用パラメータ6」でファイル種類の 記述指定(フィルタ)を下記の例のように、ガイド文字列と拡張子の区切りを |、拡張子間を;で 区切って指定します。
  - 例) "EXCEL ブック(\*.xls,\*.xlsx) |\*.xls;\*.xlsx"
- ③ 「汎用パラメータ9」の設定は、以下から選択可能です。
  - ・強制実行:フォルダ内にサブフォルダやファイルが存在した時でも上書きコピー・移動・削除を 許可
  - ・エラー : フォルダ内にサブフォルダやファイルが存在した時には、常にエラー
  - ・確認 :フォルダ内にサブフォルダやファイルが存在した時には、確認メッセージを表示

dby

- 「フォルダコピー」ボタンを押すと、フォルダ選択ダイアログで選択したフォルダ以下のファイル を「汎用パラメータ8」で設定した場所ヘコピーします。
- ② 「フォルダ移動」ボタンを押すと、フォルダ選択ダイアログで選択したフォルダ以下のファイルを 「汎用パラメータ8」で設定した場所へ移動します。
- ③ 「フォルダ削除」ボタンを押すと、フォルダ選択ダイアログで選択したフォルダを削除します。
- ④ 「ファイルコピー」ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログで選択したファイルを「汎用パラメー タ8」で設定した場所ヘコピーします。
- ⑤ 「ファイル移動」ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログで選択したファイルを「汎用パラメータ 8」で設定した場所へ移動します。
- ⑥ 「ファイル削除」ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログで選択したファイルを削除します。 これらの使用例を示します。



を行います。



db)

- ◎定義するシート:
  - 1)メニュー定義
  - 2)ボタン定義
  - 3) タスク定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO	フック名	シート名	TASKNO	BSNO
1160 3	6)ファイル操作	1	Sample.xls	ファイル操作	0	1160

#### 2)ボタン定義の例

<b>BSNO</b>	ボタンNO	ポタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
1160	1	フォルダコビー	11600	ファイル操作_フォルダコビー			
1160	2	フォルダ移動	11610	ファイル操作_フォルダ移動			
1160	3	フォルダ削除	11620	ファイル操作_フォルダ削除			
1160	4	ファイルコピー	11630	ファイル操作_ファイルコビー			
1160	5	ファイル移動	11640	ファイル操作_ファイル移動			
1160	6	ファイル削除	11650	ファイル操作_ファイル削除			

3) タスク定義の例


# 2.75 401:直接展開

■ 機能

db

展開定義で数式または値と Excel シートのセル位置を指定し、直接展開します。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	6100		
3	タスク名		*	直接展開(文字)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	401		
6	タスクタイプ名		*	直接展開		
7	BKNO		*	1		
8	プック名		*	Sample.xls		
9	シート名			直接展開		
10	DNO			6100	(実行時にエラー)	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>401</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	. " <b>直接展開</b> "は自動表示します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
DNO	.実行時にExcelに展開するセル位置が定義してあるDNOを指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - タスク定義時点では、DNO を未指定にしても警告が出るのみで続行可能ですが、未指定のまま実行するとエラーになります。必ず DNO を指定するようにしてください。
- 補足

db

- ① 展開先・展開内容については、展開定義に複数定義することが可能です。
- 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	В	C	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	6100
3	タスク名		*	直接展開_Demo
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	401
6	タスクタイプ名		*	直接展開
7	BKNO		*	1
8	ブック名		*	Sample.xls
9	シート名			直接展開
10	DNO			6100 ———
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント欄			

A·····DNO に展開定義を指定します。

展開定義の例を示します。

	В	С	D	E	F	G	Н	I	L	М	N
1	DNO	データ展開名	処理順NO	定義区分	タイプ	タスク・展開属性	データ項目名	数式OR值	シート名	セル指定属性	セル範囲
2	6100	直接展開_Demo	1	タスク定義	直接展開			40026	Demo		@直接展開_A
3	6100	直接展開_Demo	2	タスク定義	直接展開			文字データ	Demo		@直接展開_B
4	6100	直接展開_Demo	3	タスク定義	直接展開			=NOW()	Demo		@直接展開_C
5	6100	直接展開_Demo	4	タスク定義	直接展開			=B5+D5/2	Demo		@直接展開_D
6											
7											
8											
9											
10											

このようにひとつの展開定義(DNO)の中に、複数の数式や値をそれぞれ別個の場所に展開することができます。

# 2.76 402:ピボットテーブル タスクタイプ属性(ウィザード、更新)

■ 機能

(db)

Excel のピボットテーブルのウィザードを開いたり、既に作成済みのピボットテーブルの値を更新したりします。

- ① ウィザード: ピボットテーブル作成のウィザードが表示されます。
- ② 更新 : 既に作成済みのピボットテーブルを更新します。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	8300		
3	タスク名		*	ピボットテーブル(更新)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	402		
6	タスクタイプ名		*	ピボットテーブル		
7	タスクタイプ属性		*	更新		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			ピボットテーブル		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	ピボットテーブル名		ピボットテスト1	(実行時にエラー)	補足2、3

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

**dbSheetClient** 

項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	"402"を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	" <b>ピボットテーブル</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	
	<ol> <li>ウィザード</li> </ol>
	② 更新
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	① 直接     ③ 間接アドレス
	② <b>間接</b>
汎用パラメータ 1	ピボットテーブル名を指定します。

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

■ 使用上の注意

特にありません。

#### ■ 補足

- ウィザードによるピボットテーブル名は、Excelの機能として自動でピボットテーブル 1・・・ に なりますが、後から変更することが可能です。
- ② 汎用パラメータ1: タスクタイプ属性が "**更新**"の時のみ有効です。
- ③ ピボットテーブル名は、ピボットテーブル上で右クリックしたのちウィザード→オプションで確認します。

### ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	В	C	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	8300
3	タスク名		*	ピボットテーブル(更新)
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	402
6	タスクタイプ名		*	ピボットテープル
7	タスクタイプ属性		*	更新
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			ピボットテーブル
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント欄			
16	セル指定属性			
17	汎用パラメータ1	ピボットテーブル名		ピボットテスト1

A・・・・セル指定属性が空白の場合は、"直接"を指定することと同様となります。

B·····汎用パラメータ 1(ピボットテーブル名)には、ピボットテーブルの名前を指定します。「セル指定

属性」が"**直接**"なので、直接指定しています

セル指定属性と、汎用パラメータ1(ピボットテーブル名)との関係について補足します。

	Α	В	С	D	
1					
2		ピボットテスト1			- c
3					
4		B2			– D
5					
6					
7					

C·····「セル指定属性」が"間接"の場合、汎用パラメータ1にはピボットテーブル名が格納されたセル "B2"を指定します。

D·····「セル指定属性」が"間接アドレス"の場合、ピボットテーブル名が格納されたセルのアドレス (B2)が記述してあるセル"B4"を指定します。

セルの指定には名前定義を使用可能です。



# 2.77 403:シート切替

■ 機能

db

表示中のシートの切り替え、および指定したセルへのジャンプをします。 シート切り替えにあわせて、メインボタンとサブボタンの表示を切り替えます。

■ 画面イメージ

_						
		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	7300		
3	タスク名		*	シート切替1		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	403		
6	タスクタイプ名		*	シート切替		
7	BKNO		*	1		
8	ブック名		*	Sample.xls		
9	シート名			シート切替子		補足②
10	シート保護有無					
11	シート保護解除PW					
12	BSNO			731		
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	移動設定			カーソル移動	補足③
18	汎用パラメータ2	メインボタン表示		無効	何もしない	補足④
19	汎用パラメータ3	サプクリア			何もしない	
20	汎用パラメータ4	複数シート表示番号			1(メインシート)	補足⑤
21	汎用パラメータ5	スクリーン制御			何もしない	補足⑥、⑦
22	ジャンプ先セル	カーソル位置			A1	補足8

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>403</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	." <b>シート切替</b> "は自動表示します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	. シート切り替えで表示するシートを選択します。(注1、2)
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	<ol> <li> <sup>2</sup> 有り  </li> </ol>
シート保護解除 PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
BSNO	.サブボタンを表示する時に、ボタンセット NO (BSNO)を指定しま
	す。
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)

定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたく	、ない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未み
	力です。(注1、2)	
	① 有効	
	② 無效	
コメント欄	. 開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
セル指定属性	.汎用パラメータの設定	この仕方を、下記から指定します。(注4)
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ 1	カーソルの移動方法を	を指定します。
	① カーソル移動	③ 保持
	② <b>先頭</b>	
汎用パラメータ 2	.メインボタンの表示を	を変更する時に指定します。
	① 有効	<ol> <li>3 隠す</li> </ol>
	② 無効	
汎用パラメータ3	サブボタンをクリアす	する時に"クリア"を指定します。
	① クリア	
汎用パラメータ 4	複数シート表示時に位	位置付けるウィンドウの番号を指定します。
汎用パラメータ 5	.スクリーン制御を一時	的に有効にするかどうかを指定します。
	① 更新	
ジャンプ先セル	カーソルを位置付けた	EN Excel 上のセル位置を指定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- ① Excel シート上で「ウィンドウ枠の固定」がされている場合、カーソル移動後の表示状態が想定通 りにならないことがあります。
- ② 310.メインボタン表示(ボタン切替)を使用して、メニュー選択直後のボタンセット(BSNO[I]とする)とは別のボタンセット(BSNO[I]とする)が表示されている状態で本タスクタイプを使用し、汎用パラメータ2にて一旦無効化したメインボタンを再度有効に戻す場合、実際に有効化されるのはメニュー選択直後のボタン(IではなくI)となります。 よって、BSNO[I]表示状態から本タスクタイプを使用してシートを切り替える際のボタン表示/ 非表示では汎用パラメータ2ではなく、310.メインボタン表示(ボタン切替)を使用したほうが良い

場合があります。

#### ■ 補足

- シートの切り替えに伴い、メインボタンを無効/隠すにしてサブボタンを表示させたい場合は、 BSNO、汎用パラメータ2を指定してください。
- ② シート名: 他のタスクタイプでは基準となるシート名を指定しますが、本タスクタイプでは切り 替え先のシート名を指定します。指定なし、または表示済みのシートを指定した場合にはシートは 切り替えられません。但し、「ジャンプ先セル」にシート名を含めて指定することでシートの切り替 えも可能です。
- ③ 汎用パラメータ1(移動設定):
  - カーソル移動: 指定したセルにカーソル位置を移動します。「汎用パラメータ5:」に指定が ない時は、画面は移動しません。"更新"を指定すると画面を移動します。
    - 先頭 : 画面の左上が指定したセルになるようスクロールし、カーソルも移動します。
  - 保持 : カーソルは移動しないで表示状態を保持します。(ジャンプ先セルが指定されていても、無視します。)
- ④ 汎用パラメータ2(メインボタン表示):
  - 有効: メインボタン (ボタン NOO1 から 20) を有効にします。
  - 無効: メインボタンを無効表示(グレイ)にします。
  - 隠す: メインボタンを隠します。
- ⑤ 汎用パラメータ4: 407.ブック制御で複数シートが表示されている時に有効です。
- ⑥ 汎用パラメータ5: "更新"でスクリーン制御を一時的に有効にします。
- ⑦ 汎用パラメータ1で"カーソル移動"を指定した時に、タスク終了時点でカーソルを移動した位置がシートの表示範囲外のままの時には、汎用パラメータ5を"更新"にしてください。
   ※ "更新"にすると、スクリーン表示を更新するため、画面が一時的にちらつくことがあります。
- ・ 同ーシート内で単純にカーソルをジャンプさせたい場合は、ジャンプ先セルのみを指定してください。
   ・ (419.ジャンプと同様の動作をさせることができます。)

### ■ 使用例

シートを切り替え、メインボタンを無効化してサブボタンを表示するタスクの定義例を示します。

		A	B	C	D	
	1	タイトル	サプ	*	内容	
	2	TASKNO		*	7300	
	3	タスク名		*	シート切替1	
	4	処理順NO		*	1	
	5	タスクタイプNO		*	403	
	6	タスクタイプ名		*	シート切替	
	7	BKNO		*	1	
	8	ブック名		*	Sample.xls	
1	9	シート名			シート切替子 ――――	— A
1	0	シート保護有無				
1	1	シート保護解除PW				
1	2	BSNO			731	— В
1	3	処理条件判定セル	実行判定			
1	4	定義有効無効フラグ				
1	5	コメント欄				
1	6	セル指定属性				C
1	7	汎用パラメータ1	移動設定			D
1	8	汎用パラメータ2	メインボタン表示		無効	—— E
1	9	汎用パラメータ3	サブクリア			
2	20	汎用パラメータ4	複数シート表示番号			
2	21	汎用パラメータ5	スクリーン制御			
2	22	ジャンプ先セル	カーソル位置			— F

A····シート名に指定されたシートに切り替えます。

B·····BSNO に指定されたサブボタンを表示します。

- C····セル指定属性が空白の場合は、"直接"を指定することと同様となります。
- D·····汎用パラメータ 1(移動設定)に指定が無いので、"カーソル移動"を選択した場合と同様になります。
- E・・・・汎用パラメータ 2(メインボタン表示)に"**無効**"を指定したので、メインボタンを無効にします。 B とあわせることで、メインボタンの無効化とサブボタンの表示をすることとなります。
- F・・・・ジャンプ先セルが空白の場合は、"A1"を指定することと同様となります。D とあわせてシート 切り替え後の "A1" セルに位置付けされます。

次に前の例から戻る、すなわちシートを再度切り替え、サブボタンをクリアしてメインボタンを有効化す るタスクの定義例を示します。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	7330	
3	タスク名		*	シート切替_戻り	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	403	
6	タスクタイプ名		*	シート切替	
7	BKNO		*	1	
8	ブック名		*	Sample.xls	
9	シート名			シート切替 ――――	—— G
10	シート保護有無				
11	シート保護解除PW				
12	BSNO			0	
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性				
17	汎用パラメータ1	移動設定		先頭	— н
18	汎用パラメータ2	メインボタン表示		有効	— I
19	汎用パラメータ3	サブクリア		クリア ―――	— J
20	汎用パラメータ4	複数シート表示番号			
21	汎用パラメータ5	スクリーン制御			
22	ジャンプ先セル	カーソル位置			

- G・・・・シート名に指定されたシートに切り替えます。この例では、もとのシートに戻るように指定して います。
- H·····汎用パラメータ1(移動設定)に"先頭"を指定したので、シート切り替え後にシートの先頭にセル が位置付けされます。
- 1 ·····汎用パラメータ2(メインボタン表示)に"有効"を指定したので、メインボタンを有効化します。

J·····汎用パラメータ3(サブクリア)に"クリア"を指定したので、サブボタンをクリア(非表示に)します。I とあわせることで、サブボタンを消しメインボタンを有効化します。



# 2.78 404:保存 タスクタイプ属性(空白)

- 機能
  - ① 表示中の Excel ファイルを保存します。
  - ② 保存するファイル名は予め固定値を設定しておくことも、ダイアログを使用して任意のファイル名 を入力させることも可能です。
  - ③ ブック全体や、予め設定したシートのみを保存させることができます。ブック全体を保存する場合は、特定のシートのみを表示させることができます。(指定以外のシートは非表示)
  - ④ 読み取りパスワードや書き込みパスワードの設定が可能です。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	シート保存		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	404		
6	タスクタイプ名		*	保存		
7	BKNO		*	1		
8	ブック名		*	Sample.xls		
9	シート名			保存	現在のシートを表示します	
10	処理条件判定セル	実行判定		@保存処理開始判定		
11	定義有効無効フラグ					
12	コメント欄					
13	セル指定属性					
14	汎用パラメータ1	保存先		C:¥Temp¥sample.xls	ダイアログを表示	補足①
15	汎用パラメータ2	ダイアログ表示		有り	なし	補足②
16	汎用パラメータ3	保存対象		指定シート	プック全体	補足③
17	汎用パラメータ4	表示シート名		印刷;保存	全シート	補足④
18	汎用パラメータ5	読取パスワード			なし	
19	汎用パラメータ6	書込パスワード			なし	
20	汎用パラメータ7	保存後のフォルダ表示		表示しない	表示する	
21	汎用パラメータ8	保存方法		数式を保持	値に変更	補足⑤
22	汎用パラメータ9	フォルダの処理		マイドキュメントに変更	フォルダ自動作成	補足⑥
23	汎用パラメータ10	初期フォルダ		デスクトップ	前回のフォルダ	
24	汎用パラメータ11	指定フォルダ名			マイドキュメント	
25	汎用パラメータ12	上書き確認		上書許可	上書許可	補足⑦

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■ 項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	"404"を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	"保存"は自動表示します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
汎用パラメータ 1	保存先: 保存先のブックファイル名(パスを含む)を指定します。
	(補足①)
汎用パラメータ 2	…ダイアログ表示:ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。
	(補足②)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
汎用パラメータ 3	保存対象: 保存対象を指定します。(補足③)
	①ブック全体      ③ブックー部保存
	②指定シート
汎用パラメータ 4	表示シート名: 保存したブックで表示するシートを指定します。複
	数のシートがある場合はセミコロンで区切り列挙します。(補足④)
汎用パラメータ 5	読取パスワード: 保存するファイルの「読取パスワード」を設定し
	ます。
汎用パラメータ 6	書込パスワード: 保存するファイルの「書込パスワード」を設定し
	ます。
汎用パラメータ 7	保存後のフォルダ表示: 保存後のフォルダ表示を指定します。「表
	示する」を選択した場合は、保存後エクスプローラを起動しフォルダ

を表示します。

- 1) 表示する
- ② 表示しない

汎用パラメータ 8	.保存方法: 数式で入力さ	れたセルの値の変換方法を指定します。
	(補足⑤)	
	① <b>値に変換</b>	③ シートコピー
	② 数式を保持	
汎用パラメータ 9	.フォルダの処理: 保存先	で指定されたフォルダが存在しない場合の
	処理を指定します。(補足@	<b>)</b> )
	① フォルダ自動作成	③ マイドキュメントに変更
	② エラー表示	
汎用パラメータ 10	.ファイル選択ダイアログの	フォルダ表示: ファイル選択ダイアログ
	表示時に、最初に表示する	フォルダを指定します。
	<ol> <li>前回のフォルダ</li> </ol>	③ デスクトップ
	② マイドキュメント	④ 指定フォルダ
汎用パラメータ 11	.ファイル選択ダイアログの	指定フォルダ: 汎用パラメータ 10 で「指
	定フォルダ」を指定した時	に有効で、ファイル選択ダイアログで表示
	するフォルダのパスを指定	します。
汎用パラメータ 12	.上書き確認: 同名のファ	イルが存在している場合の処理を指定しま
	す。	
	① 上書許可	③ 確認
	2 エラ <b>ー</b>	

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ① dbSheetClient では、情報流出防止のため、Excelのメニューや「Ctrl+S」キーなどの操作による「保存」の実行を禁止しています。Excelのブックファイルを保存するためには当機能を利用します。(実行版)
  - ② オープンしている Excel ファイルと同一名称のファイル名を指定して保存することはできません。
  - ③ 制限事項:
    - 「保存方法」が"値に変換"と"数式を保持"の場合、シートは保護されません。
    - 「保存方法」が"値に変換"で、値変換で失敗したとき、結果的には配布できないブックになるため、エラーとして保存しないようにしました。
    - Excel2000 で「保存方法」が"値に変換"の場合、正しく変換されない場合があります。
    - Excel2007 で元ファイルが 2003 形式の場合、かつ保存先のファイル名の拡張子が指定されていない場合は、正しく保存されない場合があります。
  - ④ 「ブックー部保存」の場合は、「指定シート」に比べて保存時間が長くなります。

#### ■ 補足

- ① ファイル名や初期フォルダを指定することが可能です。
  - 保存先のファイル名を指定する時は、フルパスで指定してください。
  - フォルダだけを指定する時は、「C:¥・・・¥」のように、最後に¥を付けます。
- ② 汎用パラメータ1「保存先」が空白の場合は、指定の有無に関わらずダイアログを表示します。
  - 保存のダイヤログを表示しないようにするには、汎用パラメータ1で、「フルパスでファイル 名を指定」し、汎用パラメータ2を「空白」、汎用パラメータ7を「表示しない」汎用パラメ ータ12を「上書許可」を指定します。
- ③ 「ブック全体」を指定した場合は、全てのシートを保存しますが、汎用パラメータ 4「表示シート 名」で指定したシートだけを表示し、それ以外のシートは非表示で保存します。
   「ブックー部保存」を指定した場合は、汎用パラメータ 4「表示シート名」を必ず指定してください。
- ④ 汎用パラメータ 3「保存対象」で"ブック全体"を指定した場合は、指定されたシートのみを表示し、それ以外のシートは非表示にします。
   "全シート"を指定した場合は、汎用パラメータ3の保存対象で"ブック全体"が指定されたと見なします。
- ⑤ 「保存対象」が"指定シート"になっている場合のみ有効です。下記の点にご注意ください。
  - 値に変換
     : 数式を値に変換します。(名前や書式などに数式が設定されている時など、変換できない場合やリンクが設定されることがあります)
  - 数式を保持 : 数式をそのまま保持します。(ブックやシートを参照している場合、リンクが 設定されることがあります)
  - シートコピー : 元のブックからシートをそのままコピーします。(元のブックにリンクが設定 されることがあります)
- ⑥ 汎用パラメータ1「保存先」に指定されたパスのフォルダが存在しない時の動作を選択します。
  - **フォルダ自動作成** :指定フォルダを自動作成します。
  - **エラー表示** : エラーを表示して処理を中断します。
  - マイドキュメントに変更 :マイドキュメントのルートに保存フォルダを変更します。
- ⑦ 「上書き確認」の選択肢と内容は以下のとおりです。
  - **上書許可**:常に上書きを許可します。
  - エラー :常にエラーとします。
  - 確認 : 確認メッセージを表示します。
- ⑧ 「保存モード」が"シート指定"の場合
  - 仕様:新ブックに全シート保存後、指定シート以外を削除します。

#### ■ 使用例

dby

「404:保存」の使用例です。

定義するシート:

● タスク定義(タスクー覧を含みます)

#### タスク定義の例

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	保存(4O4)Excel
4	処理順NO		*	2
5	タスクタイプNO		*	404
6	タスクタイプ名		*	保存
7	BKNO		*	3
8	ブック名		*	Sample.xls
9	シート名			保存
10	処理条件判定セル	実行判定		
11	定義有効無効フラグ			
12	コメント欄			
13	セル指定属性			直接
14	汎用パラメータ1	保存先		C:¥Sample¥testsample.xls
15	汎用パラメータ2	ダイアログ表示		有り
16	汎用パラメータ3	保存対象		ブック全体
17	汎用パラメータ4	表示シート名		保存
18	汎用パラメータ5	読取パスワード		
19	汎用パラメータ6	書込パスワード		
20	汎用パラメータ7	保存後のフォルダ表示		表示しない
21	汎用パラメータ8	保存方法		数式を保持
22	汎用パラメータ9	フォルダの処理		マイドキュメントに変更
23	汎用パラメータ10	初期フォルダ		
24	汎用パラメータ11	指定フォルダ名		
25	汎用パラメータ12	上書き確認		上書許可

#### 実行例





# 2.79 405:一括入出力 タスクタイプ属性(CSV 入力)

■ 機能

dby

- ① CSV、TSV 形式等の外部テキストデータを読み込みます。
- ② ダイアログを使用して任意のファイルを選択することが可能です。
- ③ 読み込んだデータは、シート上の任意のセルに展開が可能です。
- 画面イメージ

	A	A B C D				
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	一括入出力_CSV入力		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	405		
6	タスクタイプ名		*	一括入出力		
7	タスクタイプ属性			CSV入力		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			一括入出力(入力)	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無				保護なし	
12	シート保護解除PW				空白のパスワードとみなす	
13	処理条件判定セル	実行判定		@CSV入力開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	ファイル名		@一括入力_フォルダ指定		補足①
18	汎用パラメータ2	ダイアログ		@一括入力_ダイアログ	無し	補足②
19	汎用パラメータ3	エンコード			Shift_JIS	補足③
20	汎用パラメータ4	区切り文字			カンマやタブ等	補足④
21	汎用パラメータ5	入力開始行			1	
22	汎用パラメータ6	入力終了行			65536	
23	汎用パラメータ7	展開範囲名		@一括入力_入力範囲	dbs_ {シート名}	
24	汎用パラメータ9	フィルタ		@一括入力_フィルター	CSVファイル(*.csv,*.tsv,*	補足⑤
25	汎用パラメータ10	初期フォルダ			前回のフォルダ	
26	汎用パラメータ11	指定フォルダ名			マイドキュメント	
27	処理対象セル範囲	展開開始位置	*	@一括入力_入力位置	エラー	
28	空白文字処理方法	空白文字処理			何もしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>405</b> "を入力します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ名	" <b>一括入出力</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	" <b>CSV 入力</b> "を指定します。
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)

dbS

処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)				
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入				
	カです。(注1、2)				
	① 有効				
	② 無効				
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。				
セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)				
	<ol> <li>直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>				
	② <b>間接</b>				
汎用パラメータ 1	.ファイル名: 入力となるファイル名(パスを含む)を指定します。				
汎用パラメータ 2	.ダイアログ:ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。				
	(補足②)				
	① (空白)				
	② <b>有り</b>				
汎用パラメータ 3	.エンコード: 入力データの文字エンコードを指定します。(補足③)				
汎用パラメータ 4	.区切り文字: 入力データの区切り文字を指定します。(補足④)				
汎用パラメータ 5	.入力開始行: ファイルの読込み開始行を指定します。				
汎用パラメータ 6	.入力終了行: ファイルの読込み終了行を指定します。				
汎用パラメータ 7	.展開範囲名: Excel シート上のデータ展開範囲に付けられる名前を				
	指定します。				
汎用パラメータ 9	.フィルタ: ファイル選択ダイアログのフィルタを設定します。				
	(補足⑤)				
汎用パラメータ 10	.ファイル選択ダイアログのフォルダ表示: ファイル選択ダイアログ				
	表示時に、最初に表示するフォルダを指定します。				
	① 前回のフォルダ ③ デスクトップ				
	② マイドキュメント ④ 指定フォルダ				
汎用パラメータ 11	.ファイル選択ダイアログの指定フォルダ: 汎用パラメータ 10で「指				
	定フォルダ」を指定した時に有効で、ファイル選択ダイアログで表示				
	するフォルダのパスを指定します。				
処理対象セル範囲	.ファイルから読み込んだデータの展開開始位置を指定します。				
	(省略不可)				
空白文字処理方法	.データの前後にある半角空白文字を除外する場合の方法を指定しま				
	す。(注1、5)				
	① (空白) ③ 右削除(RTRIM)				
	② 左削除(LTRIM) ④ 左右削除(TRIM)				

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

(注5)詳細は、『2.8 空白文字処理方法について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - オートフィルタを設定している領域にデータを展開すると、正常にデータが展開されないことがあります。オートフィルタの設定/解除機能を用い、事前にデータ展開範囲のオートフィルタを解除してください。(・タスクタイプ 430: EXCEL コマンド参照)
- 補足
  - ① ファイル名は、フルパスで指定してください。制限事項は下記の通りです。
    - FTP には対応していません。
    - Web サーバ(http 指定) から入力用ファイルを取得することは可能ですが、Web サーバの セキュリティ設定には十分注意してください。
    - ローカルファイル(ドライブ名表記、UNC表記)については入出力とも対応しています。
  - ② 汎用パラメータ1「フォルダ指定」が空白の場合は、指定の有無に関わらずダイアログを表示します。
  - ③ Shift\_JIS 以外の文字コードの名称等については、下記のページを参考にしてください。 http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/system.text.encoding(VS.80).aspx
  - ④ タブ(TAB)を指定する時は、<sup>(\*^</sup>TAB<sup>(\*</sup>と入力します。
     省略した時の処理は次の通りです。
    - 出力ファイルの拡張子が<sup>~</sup>\*.tsv<sup>~</sup>の場合、タブ(TAB)
    - 出力ファイルの拡張子が″\*.tsv″でない場合、カンマ(,)
  - ⑤ ガイド文字列と拡張子文字列をペアにし繰り返し列挙します。(区切り文字は"|")

書式:「ガイド文字列 1|拡張子文字列 1|ガイド文字列 2|拡張子文字列 2|・・・」

拡張子文字列は、複数の拡張子を指定できます。(区切り文字列は";")

書式:「拡張子 1;拡張子 2;|拡張子 3;···」

例)「入力ファイル(\*.csv,\*.tsv)|\*.csv;\*.tsv|テキストファイル(\*.txt)|\*.txt」

省略時は「CSVファイル(\*.csv,\*.tsv,\*.txt)|\*.csv:\*.tsv:\*.txt」が指定されたものとして処理します。

#### ■ 使用例

「405:一括入出力/CSV入力」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D	1	
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	一括入出力_CSV入力		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	405		
6	タスクタイプ名		*	一括入出力		
7	タスクタイプ属性			CSV入力		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			一括入出力(入力)		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		А
17	汎用パラメータ1	ファイル名		@一括入力_フォルダ指定		
18	汎用パラメータ2	ダイアログ		@一括入力_ダイアログ		
19	汎用パラメータ3	エンコード				
20	汎用パラメータ4	区切り文字				
21	汎用パラメータ5	入力開始行				
22	汎用パラメータ6	入力終了行				
23	汎用パラメータ7	展開範囲名		@一括入力_入力範囲		
24	汎用パラメータ9	フィルタ		@一括入力_フィルター		
25	処理対象セル範囲	展開開始位置	*	@一括入力_入力位置 ————		B
26	空白文字処理方法	空白文字処理				2

A·····この例では、セル指定属性= "間接"により、シート上に設定した定義名に該当するセルの値で 処理条件を指定しています。

B……処理対象セル範囲は、シート上の定義名「@一括入力\_入力位置」を指定しています。

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「一括入出力(入力)」

	A	В	С	D	E	F	G	н	I	J	K	L
1												
2		40	5. 一括入出力(	(入力)の使用方法								
3										-		
4			_ 機能: CSV形:	式の外部テータの入力な	きおこり	<b>よいます。</b>						
5			* タフクタ	イブ属性坊 めにらいせつ	น=-วเ	1711 A05 - H	入业力(2)つ	「「「「「」」「「」」				
7			~~~~		JIC 21	, (18, 400. 18)	КШЛЭСЭ					
8			操作: 1. 一抵	入出力(入力) をクリ	ックし	ŧt.		入力フォルダ】:	C:¥dbSheetClient¥S	ample¥sampledb.csv		
9								【ダイアログ】:	有り			
10			2. CSV	形式のデータが表示され	ます。			【入力位置】:	C15			
11								【入力範囲】:	一括入力_取得績			
12								【フィルター】:	人力ファイル(*.csv.*	.tsv) *.csv;*.tsv テキフ	くトファイル(*.txt) *.txt	
14			商具った物	商具々	単位	<b>油</b> (赤	公署	DRS STATUS	DBS OPTATE USER	DRS ORFATE DATE	DBS LIPDATE LISED	DBS LIPDATE DATE
15				19100-10			/J 大見	000 014100	1 DOD ON ATLE COLIN	DO ORCHIE DHIE	DOD OF DATE OUCK	
16												
17												
18									<u> </u>			
19			<u> </u>						└─── <b>\</b> ──			
20			<u> </u>						<u>├</u>			
22			-						$\vdash$			
23												
			\						`	\		
			1	R						\ <u>Δ</u>		
			•	D						A		

A····・セルの定義名:「一括入力\_入力位置」

B……間接的に指定された入力開始位置(C15)

# 2.80 405:一括入出力 タスクタイプ属性(CSV出力)

■ 機能

dby

- ① Excel シートの指定範囲のデータを、CSV、TSV 形式のテキストデータに出力します。
- ② ダイアログを使用して出力先のフォルダを指定することが可能です。

# ■ 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	一括入出力_CSV出力		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	405		
6	タスクタイプ名		*	一括入出力		
7	タスクタイプ属性			CSV出力		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			一括入出力(出力)	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無				保護なし	
12	シート保護解除PW				空白のパスワードとみなす	
13	処理条件判定セル	実行判定		@CSV出力開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	ファイル名		@一括出力_フォルダ指定		補足①
18	汎用パラメータ2	ダイアログ		@一括出力_ダイアログ	無し	補足②
19	汎用パラメータ3	エンコード		@一括出力_エンコード	Shift_JIS	補足③
20	汎用パラメータ4	区切り文字		@一括出力_区切り文字	カンマ、タブ等	補足④
21	汎用パラメータ5	出力開始行		@一括出力_出力開始行	1	
22	汎用パラメータ6	出力終了行		@一括出力_出力終了行	範囲の最終行	
23	汎用パラメータ7	出力モード		@一括出力_出力モード	初期化	
24	汎用パラメータ8	フォルダ表示		@一括出力_フォルダー表示	表示しない	
25	汎用パラメータ9	フィルタ			CSVファイル(*.csv,*.tsv,*	補足⑤
26	汎用パラメータ10	初期フォルダ			前回のフォルダ	
27	汎用パラメータ11	指定フォルダ名			マイドキュメント	
28	汎用パラメータ12	ダブルコーテーション			囲む	
29	汎用パラメータ13	上書き確認			上書許可	補足⑥
30	処理対象セル範囲	データ出力範囲	*	@一括出力_出力範囲	エラー	
31	空白文字処理方法	空白文字処理		右削除(RTRIM)	何もしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■ 頂	自説明	
	TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	
	タスクタイプ名	" <b>一括入出力</b> "は自動表示します。(省略不可)
	タスクタイプ属性	"CSV 出力"を指定します。
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)
	シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
		定します。(注2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)(補足①)
		① 有効
		② 無効
	コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
	セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
		① 直接     ③ 間接アドレス
		② 間接
	汎用パラメータ 1	ファイル名: 入力となるファイル名(パスを含む)を指定します。
	汎用パラメータ 2	ダイアログ:ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。
		(補足②)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	汎用パラメータ 3	エンコード: 入力データの文字エンコードを指定します。(補足③)
	汎用パラメータ 4	
	汎用パラメータ 5	出力開始行: 処理対象範囲内での出力開始行を指定します。
	汎用パラメータ 6	出力終了行: 処理対象範囲内での出力終了行を指定します。
	汎用パラメータ 7	出力モード: 出力時の初期化の有無を指定します。
		①初期化
		②追加

db🟏

汎用パラメータ 8	.フォルダ表示: CS\	√出力後のフォルダ表示を指定します。「表示
	する」を選択した場合に	は、保存後エクスプローラを起動しフォルダを
	表示します。	
	① 表示する	
	② 表示しない	
汎用パラメータ 9	.フィルタ: ファイル選	選択ダイアログのフィルタを設定します。
	(補足⑤)	
汎用パラメータ 10	.ファイル選択ダイアログ	ブのフォルダ表示: ファイル選択ダイアログ
	表示時に、最初に表示す	するフォルダを指定します。
	① 前回のフォルダ	③ デスクトップ
	② マイドキュメント	④ 指定フォルダ
汎用パラメータ 11	.ファイル選択ダイアログ	ブの指定フォルダ: 汎用パラメータ 10 で「指
	定フォルダ」を指定した	こ時に有効で、ファイル選択ダイアログで表示
	するフォルダのパスを推	旨定します。
汎用パラメータ 12	.ダブルコーテーション:	: 項目を"(ダブルコーテーション)で囲む
	か囲まないかを指定しま	ます。
	① 囲む	
	② 囲まない	
汎用パラメータ 13	.上書き確認: 同名のフ	7ァイルが存在している場合の処理を指定しま
	す。	
	① 上書許可 (3)	3 確認
	2 エラー	
処理対象セル範囲	.CSV ファイルに出力す	る Excel 上のデータ範囲を指定します。
	(省略不可)	
空白文字処理方法	データの前後にある半角	角空白文字を除外する場合の方法を指定しま
	す。(注1、5)	
	① (空白) (3)	③ 右削除(RTRIM)
	② 左削除(LTRIM)	④ 左右削除(TRIM)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.8 空白文字処理方法について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- 出力先は、ローカル PC でも Web サーバでも可能ですが、Web サーバに出力する場合は、予めディレクトリへのアクセスやセキュリティの設定を行っておく必要があります。
- ② Excel やその他のアプリケーションでオープンしているファイルを指定し、保存することはできません。

# ■ 補足

- ファイル名は、フルパスで指定してください(空白は許されません。フォルダ名を省略した場合はマイドキュメントのフォルダが初期フォルダとなります)。
   制限事項は下記の通りです。
  - FTP には対応していません。
  - Web サーバ(http 指定)から入力用ファイルを取得することは可能ですが、Web サーバのセキュリティ設定には十分注意してください。
  - ローカルファイル(ドライブ名表記、UNC表記)については入出力とも対応しています。
- ② 汎用パラメータ1「ファイル名」で指定したファイル名は変更できません。当パラメータで「有り」を指定することにより、フォルダを選択して出力が可能です。
- ③ Shift\_JIS 以外の文字コードの名称等については、下記のページを参考にしてください。 http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/system.text.encoding(VS.80).aspx
- ④ タブ(TAB)を指定する時は、 <sup>(\*\*</sup>TAB<sup>(\*)</sup>と入力します。
   省略した時の処理は次の通りです。
  - 1. 出力ファイルの拡張子が<sup>~</sup>\*.tsv<sup>~</sup>の場合、タブ(TAB)
  - 2. 出力ファイルの拡張子が"\*.tsv"でない場合、カンマ(,)
- ⑤ ガイド文字列と拡張子文字列をペアにし繰り返し列挙します。(区切り文字は"|")

書式:「ガイド文字列 1|拡張子文字列 1|ガイド文字列 2|拡張子文字列 2|・・・」

拡張子文字列は、複数の拡張子を指定できます。(区切り文字列は";")

書式:「拡張子 1;拡張子 2;|拡張子 3;・・・」

例)「入力ファイル(\*.csv,\*.tsv)|\*.csv;\*.tsv|テキストファイル(\*.txt)|\*.txt」
 省略時は「CSVファイル(\*.csv,\*.tsv,\*.txt)|\*.csv;\*.tsv;\*.txt」が指定されたものとして処理します。

- ⑥ 「上書き確認」の選択肢と内容は以下のとおりです。
  - 上書許可:常に上書きを許可します。
  - エラー :常にエラーとします。
  - 確認 :確認メッセージを表示します。

#### ■ 使用例

dby

「405:一括入出力/CSV出力」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D	[	
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	一括入出力_CSV出力		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	405		
6	タスクタイプ名		*	一括入出力		
7	タスクタイプ属性			CSV出力		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			一括入出力(出力)		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					•
16	セル指定属性			間接		А
17	汎用パラメータ1	ファイル名		@一括出力_フォルダ指定		
18	汎用パラメータ2	ダイアログ		@一括出力_ダイアログ		
19	汎用パラメータ3	エンコード		@一括出力_エンコード		
20	汎用パラメータ4	区切り文字		@一括出力_区切り文字		
21	汎用パラメータ5	出力開始行		@一括出力_出力開始行		
22	汎用パラメータ6	出力終了行		@一括出力_出力終了行		
23	汎用パラメータ7	出力モード		@一括出力_出力モード		
24	汎用パラメータ8	フォルダ表示		@一括出力_フォルダー表示		
25	処理対象セル範囲	データ出力範囲	*	@一括出力_出力範囲		В
26	空白文字処理方法	空白文字処理		右削除(RTRIM)	ļ	_

A·····この例では、セル指定属性= "間接"により、シート上に設定した定義名に該当するセルの値で 処理条件を指定しています。

B……処理対象セル範囲は、シート上の定義名「@一括出力\_出力範囲」を指定しています。

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「一括入出力(出力)」



B・・・・間接的に指定された出力範囲(C20:G45)





#### ■ 機能

dby

- ① Excel シートの印刷処理を行います。
- ② ダイアログ表示、プレビュー表示などの印刷形態を選択できます。
- ③ 直接印刷では、"連続印刷"を指定することにより、差し込み的な印刷処理を実行することが 可能です。

# ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	直接印刷		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	406		
6	タスクタイプ名		*	印刷		
7	タスクタイプ属性			直接印刷		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			印刷	現在のシートを表示します	
11	処理条件判定セル	実行判定		@印刷開始判定		
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	印刷範囲		@印刷_セル指定1	シートに設定された印刷範疇	補足①
16	汎用パラメータ2	連続指定			なし	補足②
17	汎用パラメータ3	自動計算			行わない	補足③
18	汎用パラメータ4	複数シート指定			なし	補足④
19	汎用パラメータ5	非表示シート指定			なし	補足⑤
20	開始判定セル					補足⑥
21	TASKJUMPNO1			0	0とみなす	補足⑦
20	TASKJUMPNO2			0	11	11
21	TASKJUMPN03			0	11	11
22	TASKJUMPNO4			0	11	11
23	TASKJUMPN05			0	11	11
24	TASKJUMPN06			0	11	11
25	TASKJUMPN07			0	11	11
26	TASKJUMPN08			0	11	11
21	TASKJUMPN09			0	11	11
22	TASKJUMPNO10			0	11	11
27	TASKJUMPNO10			0	11	11

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■  項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>406</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	
タスクタイプ属性	"ダイアログ"を表示するか、"プレビュー"を表示するか、いずれも出
	さないで"直接印刷"をするかを指定します。(省略不可)
	① ダイアログ ③ 直接印刷
	② プレビュー
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	
定義有効無効フラグ	
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	
セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	
汎用パラメータ 2	連続指定: 連続印刷(繰り返し印刷)を行いたい場合は"連続印刷"
	を指定します。(補足②)
	① 連続印刷
汎用パラメータ 3	
	なりますが、再計算のための処理方式を指定します。(補足③)
	① 前再計算 ④ ジート前再計算
	② 後再計算 ⑤ シート後再計算
	③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算
汎用パラメータ 4	
汎用パラメータ 5	非表示シート指定: 印刷ダイアログで印刷対象を"ブック全体"に
	指定した時の非表示シートを列挙します。(補足⑤)
開始判定セル	連続印刷の繰り返し判定用のセルを指定します。(補足⑥)
TASKJUMPNO1	「連続印刷」の時、開始判定セルの値が 1 の時に処理するタスク NO
	を指定します。(補足⑦)
TASKJUMPNO2	「連続印刷」の時、開始判定セルの値が 2 の時に処理するタスク NO
	を指定します。(補足⑦)

 TASKJUMPNO3
 「連続印刷」の時、開始判定セルの値が3の時に処理するタスクNO

 を指定します。(補足⑦)

(途中略)

 TASKJUMPN1O
 「連続印刷」の時、開始判定セルの値が 10 の時に処理するタスク

 NO を指定します。(補足⑦)

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

出力先のプリンタを指定する場合は、タスクタイプ属性「プリンター覧取得」、「プリンタ設定」
 及び「デフォルトプリンタ制御」の頁を参照してください。

■ 補足

- 印刷範囲を印刷時に変更できます。指定のない場合は、シートに設定された印刷範囲が出力されます。
- ② "連続印刷"を指定した場合は、「開始判定セル」の値がOになるまで印刷を繰り返します。
   例えば、カード型の印刷フォームで 100 人分の会員カードを連続的に印刷したい時などに利用できます。指定方法は、100 人目が印刷されるまで、TASKJUMNPO1 に指定したタスクで会員コードを変更し、100 人目の印刷が終わった時にセルの値をOに変更し印刷を終了させます。
   変化した開始判定セルの値を取得するには、事前に再計算が行なわれている必要があります。
   汎用パラメータ3 に「後再計算」を指定し実行すると、連続印刷の処理後に再計算が行われます。
   また、汎用パラメータ3を指定せずに TASUKJUMP999 を実行することで、そのタスク実行後の時点で再計算を行わせることが可能です。

※ 連続印刷処理は、タスクタイプ315:「ループ処理」を使っても実現することが可能です。

③ 汎用パラメータ3:自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	連続印刷の繰り返しの直前に再計算を実行します。
後再計算	連続印刷の繰り返しの直後に再計算を実行します。
前後再計算	連続印刷の繰り返しの直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

④ 複数のシートがある場合はセミコロンで区切り列挙します。

使用できるタスクタイプ属性は、① "ダイアログ"、② "プレビュー"です。③ "直接印刷"では使 用できません。

- 「複数シート指定」と同様に、複数のシートがある場合はセミコロンで区切り列挙します。
   使用できるタスクタイプ属性は、① "ダイアログ"、② "プレビュー"です。③ "直接印刷"では使用できません。
- ⑥ 開始判定セルの値が1~10の場合、その値に対応した TASKJUMP\*\* のタスクが実行されます。

# **dbSheetClient**

## ■ 使用例

「406:印刷」の使用例です。

この例では、セルに設定した印刷範囲を出力しています。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	1	
3	タスク名		*	印刷_印刷(セル指定)	
4	処理順NO		*	2	
5	タスクタイプNO		*	406	
6	タスクタイプ名		*	ED周J	
7	タスクタイプ属性			プレビュー	
8	BKNO		*	3	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名				
11	処理条件判定セル	実行判定			
12	定義有効無効フラグ				
13	コメント欄				
14	セル指定属性			間接	
15	汎用パラメータ1	印刷範囲		@印刷_セル指定1	 А
16	汎用パラメータ2	連続指定			
17	汎用パラメータ3	自動計算			
18	汎用パラメータ4	複数シート指定			
19	汎用パラメータ5	非表示シート指定			
20	開始判定セル				
21	TASKJUMPNO1			0	
22	TASKJUMPNO2			0	
23	TASKJUMPN03			0	
24	TASKJUMPNO4			0	
25	TASKJUMPN05			0	
26	TASKJUMPN06			0	
27	TASKJUMPN07			0	
28	TASKJUMPN08			0	
29	TASKJUMPN09			0	
30	TASKJUMPNO10			0	

A·····シート上の定義名を指定します。

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「印刷」

cloth.	レゼル指	百正し	•	<b>%</b> GT7:H20									
	A	в	С	D	E	F	G	н	I	J	K	L	M
1													
2		406	. EDA	別の使用方法									
3											-		
4			観台	E: Excelシートの	の印刷処理をおこない	います。							
5				Excelと同様	に三通りの指定方法	かあり、タスク	タイフの属住す	で設定でき	ます。				
6				印刷範囲の	指定も可能です(※こ	ニのシートはあ	ວກະບອ, Exc	BI77111X=:	1~111刷靴	囲の設定」を行っています)。			
7													
8				操作:dbShee	etClientの 各ボタンを	押すと、以下の	)ような「印刷	」の操作が	できます。				
			Γ	Excelで範囲指定				1	タスク定義で:	範囲指定			
9				(nPl/nthis)					CO BI/ +		S CO PAIAS B	14 7	
H I						achua 9.				21/11年7 )*** ビル(317)で指定した範囲の	). Chymel 467 B	#20 L .	
12				印刷(直接印刷)	・・・ すぐ印刷が開始	されます。				ブレビュー表示されます。			
14				白戸(タイアロケン)	・・・エクセルの印刷	ダイアログが表	示されます.		L				
15			L									-	
16									ブリ	ノンタ取得 ・・・ 実行環境に繋がっているブ	ノンター覧	を取得し	ます。
17			No.	商品コード	商品名	単位	単価	分類					
18									7.	リンタ設定 通常ブリンタを出力ブリンタ	こ変更しま	す。	
19										15 - (5-577-10			
20										ノンダ初期 ・・・ 起動時のデホルトプリンタに	戻します。		
21												-	
22						_			-				
23			-			-			-	【わしお空心(印刷範囲を直接お空)】			
25						_				017:H20			
26										0.7.120			
27										↓【セル指定②(印刷範囲を直接指定)】			
28			· · · ·							C17:H45			
29													
30										↓【 出力先ブリンターの 選択 】	_		
31										Canon LASER SHOT LBP-1820	$\mathbf{V}$		
32											1		
		1 [							1		•		

A・・・・セルの定義名:「印刷\_セル指定1」



db



- ① 「プリンター覧取得」により、クライアントPCで出力可能なプリンタの一覧を取得できます。
- ② 「プリンタ設定」により、出力先となるデフォルトプリンタ(OS 上では「通常使うプリンタ」) を変更できます。デフォルトプリンタ変更時に「ダイアログ」や「プレビュー」実行時の用紙 サイズ、用紙方向を変更することが可能です。また、「デフォルトプリンタ制御」で指定可能 な用紙サイズや給紙方法の一覧を取得します。
- ③ 「デフォルトプリンタ制御」は、「直接印刷」を実行する際の用紙サイズと給紙方法を設定します。「ダイアログ」や「プレビュー」実行時の設定には影響しません。

■ 画面イメージ

db

「プリンタ設定」の場合

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	3		
3	タスク名		*	プリンタ設定		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	406		
6	タスクタイプ名		*	印刷		
7	タスクタイプ属性			プリンタ設定		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			印刷	現在のシートを表示します	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性			間接		
15	汎用パラメータ1	プリンタ名		@印刷_指定プリンタ	現在の設定値	補足②
16	汎用パラメータ2	用紙サイズ		@印刷_用紙サイズ	現在の設定値	補足③
17	汎用パラメータ3	印刷方向		@印刷_印刷方向	現在の設定値	補足④
18	汎用パラメータ4	用紙サイズ展開セル		@印刷_用紙サイズ展開セル		
19	汎用パラメータ5	用紙トレイ展開セル		@印刷_用紙トレイ展開セル		

「プリンター覧取得」の場合

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	2		
3	タスク名		*	プリンター覧取得		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	406		
6	タスクタイプ名		*	印刷		
7	タスクタイプ属性			プリンター覧取得		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			印刷	現在のシートを表示します	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	一覧の展開セル		@印刷_一覧取得		補足①

「デフォルトプリンタ制御」の場合

-	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	4		
3	タスク名		*	デフォルトプリンタ制御		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	406		
6	タスクタイプ名		*	ED刷		
7	タスクタイプ属性			デフォルトプリンタ制御		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			印刷	現在のシートを表示します	
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性			間接		
15	汎用パラメータ1	用紙サイズ		@印刷_直接印刷用紙サイズ		補足⑤
16	汎用パラメータ2	用紙トレイ		@印刷_直接印刷用紙トレイ		補足⑤
17	汎用パラメータ3	用紙の向き		@印刷_直接印刷印刷方向		

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。 (省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>406</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>印刷</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	次から指定します。(省略不可)
	④ プリンタ設定 ⑥ デフォルトプリンタ制御
	⑤ プリンター覧取得
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
※タスクタイプ属性が"プリン?	9設定"の場合

汎用パラメータ 1	.プリンタ名: 「通常	き使うプリンタ」に設定するプリンタ名(及びポ
	ート名)を指定します	す。(補足②)
汎用パラメータ 2	用紙サイズ: アクラ	ティブシートの用紙サイズを指定します。
	(補足③)	
	1 A5	5 B4
	2 <b>B5</b>	© A3
	3 A4	⑦ 10x14
	4 A4Small	8 11x17
汎用パラメータ 3	印刷方向: アクティ	イブシートの用紙方向を指定します。(補足④)
	① 縦	
	2 横	
汎用パラメータ 4	用紙サイズ展開セル:	「通常使うプリンタ」に設定するプリンタの
	使用可能な用紙サイス	べの一覧を展開するセルを指定します。
汎用パラメータ 5	用紙トレイ展開セル:	「通常使うプリンタ」に設定するプリンタの
	使用可能な用紙トレー	((給紙方法)の一覧を展開するセルを指定しま
	す。	
		39

#### ※タスクタイプ属性が"プリンター覧取得"の場合

※タスクタイプ属性が"デフォルトプリンタ制御"の場合				
汎用パラメータ 1		設定する用紙サイズ	を指定します	。(補足⑤)
汎用パラメータ 2		設定する用紙トレイ	(給紙方法)	を指定します。
	(補足⑥)			
汎用パラメータ 3		設定する用紙の向きを	指定します。	
	①縦			
	②横			

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- 印刷処理に関しては、タスクタイプ属性「ダイアログ」、「プレビュー」、「直接印刷」の頁を参照してください。
- ② 「プリンタ設定」で指定する用紙サイズと「デフォルトプリンタ制御」で変更する用紙サイズの名称は微妙に異なることがあります。これは、前者が Excel、後者が OS の機能を使用して処理を行っていることに起因します。

「プリンタ設定」で切り替えられる特性値は主に「ダイアログ」や「プレビュー」を使った印刷処理に、「デフォルトプリンタ制御」で切り替えられる特性値は、「直接印刷」の印刷処理に 関係します(一旦、別のプリンタに切り換えた後、再度、元のプリンタに戻すことにより、「プ レビュー」、「ダイアログ」の設定値としても反映が可能)。

それぞれの処理仕様の関係で、意図した動作にならない(例えば、指定した用紙サイズに切り 替わらない等)ことがあります。

③ 「プリンタ設定」で指定する「用紙サイズ」と「印刷方向」は、表示されているシートに対してのみ適用されます。したがって、複数のシートを印刷する場合には、それぞれのシートに対して個別に設定をおこなう必要があります。
#### ■ 補足

- プリンター覧を展開するセルを指定します。「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します(使用例では、"間接"を指定せずに展開するセルの定義名を指定)。
- 2 指定したプリンタを通常使うプリンタに設定します。dbSheetClient 以外のアプリケーションを実行している場合、この処理の影響を受けることがありますので注意してください。 プリンタ名は、 プリンタ名ペポート名》の書式で指定します。
   起動時のプリンタに戻したい時は、"起動時プリンタ"と指定するだけで変更できます。
   dbSheetClient を終了する時点で、通常使うプリンタを起動時のプリンタに戻します。
   起動時のプリンタの情報は、シート「dbS\_パラメータ」の17番目の項目「^SYS\_DefaultPrinter^」より取得できます(C列:設定値によりプリンタ名、D列:書式によりポート名をそれぞれ取得)。
   3 指定可能な用紙サイズは、"A5"、"B5"、"A4"、"A4Small"、"B4"、"A3"、"10x14"、"11x17"
- です。 ※変更できるのはアクティブシートの特性値のみです。 ※指定したプリンタによっては変更できないケースがあります。
  - ※汎用パラメータ4で取得した用紙サイズ名は「直接印刷」時の設定を行うためのものなので、このパラメータの値としては指定できません。
- ④ 印刷の向き(①「縦」、②「横」)を指定します。
   ※変更できるのはアクティブシートの特性値のみです。
- ⑤ 正しい用紙サイズの名称を指定してください。タスクタイプ属性"プリンタ設定"で使用可能な用紙サイズの名称一覧を取得できます。
- ⑥ 正しい用紙トレイ(給紙方法)の名称を指定してください。タスクタイプ属性"プリンタ設定"で 使用可能な用紙トレイ(給紙方法)の名称一覧を取得できます。
- ⑦ タスクタイプ属性が "プリンタ設定"の場合、最初の切り替え時にデフォルトプリンタの取得が行われるため、遅く感じる場合があります。

## ■ 使用例

db

「406:印刷」(プリンター覧取得、プリンタ設定)の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例(プリンター覧取得)

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	印刷_プリンター覧取得
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	406
6	タスクタイプ名		*	印刷
7	タスクタイプ属性			プリンター覧取得
8	BKNO		*	3
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			印刷2
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント欄			
14	セル指定属性			
15	汎用パラメータ1	一覧の展開セル		@印刷_一覧取得

A·····プリンター覧を展開するセルを指定します。この例では「セル指定属性」の指定が "間接"でな いことに注意してください。

タスク定義の例(プリンタ設定)

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	2		
3	タスク名		*	印刷_プリンタ設定		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	406		
6	タスクタイプ名		*	ED刷		
7	タスクタイプ属性			プリンタ設定		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			印刷2		
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性			間接	L	
15	汎用パラメータ1	プリンタ名		@印刷_指定プリンタ	l)	
16	汎用パラメータ2	用紙サイズ		@印刷_用紙サイズ		_
17	汎用パラメータ3	印刷方向		@印刷_印刷方向	≻	В
18	汎用パラメータ4	用紙サイズ展開セル		@印刷_用紙サイズ展開セル	]	
19	汎用パラメータ5	用紙トレイ展開セル		@印刷_用紙トレイ展開セル	μ	

B・・・・シート上の定義名を指定します。

タスク定義の例(デフォルトプリンタ制御)

	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	3		
3	タスク名		*	印刷_デフォルトプリンタ制御		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	406		
6	タスクタイプ名		*	ED图		
7	タスクタイプ属性			デフォルトプリンタ制御		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名					
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性			間接		
15	汎用パラメータ1	用紙サイズ		@印刷_直接印刷用紙サイズ	ר	
16	汎用パラメータ2	用紙トレイ		@印刷_直接印刷用紙トレイ	≺	
17	汎用パラメータ3	用紙の向き		@印刷_直接印刷印刷方向 .	L L	

C····シート上の定義名を指定します。

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「印刷2」



A····セルの定義名:「印刷」一覧取得」

db

取付したノヘー こ、 足我ロ・ ノノノノ 見 に以足しな	取得したリストを、	定義名:	"プリンター覧"	に設定します
------------------------------	-----------	------	----------	--------

名前の定義	
名前₩∷	ОК
プリンター覧	問じる
フリンを用紙サイズ	
2028年後104 約2-ジ表示正常	
メニュー制御上グル	削除( <u>D</u> )
メニュー制御前の値	
ループエラー区分	
参照範囲( <u>R</u> ):	
=OFFSET(印刷2!\$D\$19,0,0,COUNTA(印刷2!\$D\$19:\$D\$49),1	) 🔣

B····・セルの定義名:「印刷\_指定プリンタ」

データの入力規則で、"=プリンター覧"(Aを参照)を指定します。

データの入力規則	
該定 入力時メッセージ エラ 条件の設定 入力値の種類(Δ): リスト データ(D): 次の値の間 元の値(S): =ブリンター覧	<ul> <li>&gt;&gt; メッセージ 日本語入力</li> <li>● 空白を無視する(£)</li> <li>● ドロップダウン リストから選択する(2)</li> <li>■ ドロップダウン リストから選択する(2)</li> </ul>
同じ入力規則が設定されたす すべてクリア(2)	tべてのセルに変更を適用する(P) OK キャンセル

C・・・・セルの定義名:「印刷\_用紙サイズ」

データの入力規則で、"A5,B5,A4,A4Small,B4,A3,10x14,11x17"を指定します。

D・・・・セルの定義名:「印刷\_印刷方向」

データの入力規則で、"縦,横"を指定します。

E・・・・セルの定義名:「印刷\_用紙サイズ展開セル」

F・・・・セルの定義名:「印刷\_用紙トレイ展開セル」

G・・・・定義名:「印刷\_用紙サイズ展開セル」で間接指定されたセル

「プリンタ設定」により、用紙サイズの一覧が展開されます。この例では、取得したリストを、 定義名: "プリンタ用紙サイズ"に設定しています。 H・・・・定義名:「印刷\_用紙トレイ展開セル」で間接指定されたセル

「プリンタ設定」により、給紙方法の一覧が展開されます。この例では、取得したリストを、定 義名: "プリンタ用紙トレイ"に設定しています。

|・・・・セルの定義名:「印刷\_直接印刷用紙サイズ」

dbS

データの入力規則で、"=プリンタ用紙サイズ"(Gを参照)を指定することにより、取得した用紙 サイズをリスト表示します。

名前の定義	×
名前しり: フリンタ用紙サイズ フリンク用紙サイズ フリンク用紙サイズ マリンク用 マリンク マリンク マリンク マーン表示 マリン マーン表示 マーン表示 マーン表示 マーン マーン マーン マーン マーン マーン マーン マーン	OK 閉じる 追加( <u>A</u> ) 削除( <u>D</u> )
=OFFSET(印刷2!\$G\$19,0,0,COUNTA(印刷2!\$G\$19:\$G\$49),1)	₹.

J····セルの定義名:「印刷\_直接印刷用紙トレイ」

データの入力規則で、"=プリンタ用紙トレイ"(Hを参照)を指定することにより、取得した給紙 方法をリスト表示します。

名前の定義	×
名前 (型): フリンタ用紙トレイ フリンタ用紙トレイ フリンク用紙トレイ スパセーン表示エ加定 メッセーン表示エ加定 メニュー制御 戸がル メニュー制御 「ア・ メーカ メーカ マーク	OK 閉じる 追加( <u>A</u> ) 削除( <u>D</u> )
● REFEET (年)局別2!\$1\$19,0,0,COUNTA (年)局別2!\$1\$19.\$1\$49),1)	<b>*</b>

K……セルの定義名:「印刷\_直接印刷印刷方向」

データの入力規則で、"縦,横"を指定します。

# 2.83 407:ブック制御 タスクタイプ属性(参照用オープン)

■ 機能

db

- メイン処理ブックが開いている時に、別ウィンドウで参照用ブックをオープンします。
   ⇒「汎用パラメータ 1~5」の設定。
- ② 参照用ブックをオープンする時のウィンドウの整列方法(並べて表示/上下に並べて表示/左右に 並べて表示/重ねて表示)を指定することができます。
   (整列は Excel の「ウィンドウ」-「整列」の機能に基づいています。)
   ⇒「汎用パラメータ6」の設定。
- 画面イメージ

タスク定義編集画面の範囲						
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9420		
3	タスク名		*	ブック制御(参照用オープン)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	407		
6	タスクタイプ名		*	ブック制御		
7	タスクタイプ属性		*	参照用オープン		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	ブックファイル名		C:¥dbSClient¥参照ブック1.xk	ファイル選択のダイアログ	長示
18	汎用パラメータ2	ダイアログ表示			無し	
19	汎用パラメータ3	ホスト指定		ネットワーク	DBSサーバ	
20	汎用パラメータ4	パスワード解除				
21	汎用パラメータ5	初期表示シート名			アクティブシート	補足①
22	汎用パラメータ6	整列方法		並べて表示	並べて表示	補足②
23	汎用パラメータ7	オープン制御指定		強制オープン	不可	補足③
24	汎用パラメータ8	メッセージ			表示しない	補足④
25	汎用パラメータ10	サブウィンドウ可否		許可		補足⑤
26	汎用パラメータ11	移動設定		先頭	カーソル移動	補足⑥
27	汎用パラメータ12	参照用ブックシート		表示する	表示する	補足⑦
28	汎用パラメータ13	ブックNO指定		参照用ブック1	昇順に開く	補足⑧
29	ジャンプ先セル				位置付けしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

項目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"407"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>ブック制御</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	"参照用オープン"を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:"True"=実行する、"False"=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	オープンする参照用ブックの <b>パス名</b> を指定します。
汎用パラメータ 2	ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。「有り」を指定
	した場合、「汎用パラメータ 1」でパス名が指定されていてもファイ
	ル選択のダイアログを表示します。
	① (空白)
	② <b>有り</b>
汎用パラメータ 3	オープンする参照用ブックが存在するホストを指定します。
	① ネットワーク
	② DBS サーバ
汎用パラメータ 4	ブックに保護がかかっている時に、保護解除のための <b>パスワード</b> を指
	定します。
汎用パラメータ 5	

**dbSheetClient** 

汎用パラメータ6	ウィンドウの整列方法を推	定します。
	① 再前面に表示	④ 左右に並べて表示
	② 並べて表示	⑤ 重ねて表示
	③ 上下に並べて表示	
汎用パラメータ7	オープン制御指定が「不可	J」状態の時に、サブウィンドウを追加で開
	くかどうかを指定します。	
	① 不可	
	② 強制オープン	
汎用パラメータ8	オープン制御指定が「不可	J」状態の時に表示する <b>メッセージ</b> を指定し
	ます。	
汎用パラメータ 10	サブウィンドウをこれ以上	開かなくするかどうかを指定します。
	① 不可	
	② 許可	
汎用パラメータ 11	ブックオープン後のカーン	ルの移動先を指定します。
	① カーソル移動	
	② 先頭	
汎用パラメータ 12	参照用ブックをオープンし	した時のシート見出し表示の有無を指定し
	ます。	
	① 表示する	
	<ol> <li>隠す</li> </ol>	
汎用パラメータ 13	オープンする参照用ブック	7の NO を指定します。
	① (空白)	⑤ 参照用ブック3
	2 昇順	⑥ 参照用ブック4
	③ 参照用ブック1	⑦ 参照用ブック5
	④ 参照用ブック2	⑧ 参照用ブック6
ジャンプ先セル	「汎用パラメータ 11」で	カーソルを位置付けたい Excel 上の <b>セル位</b>
	置を指定します。	

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ・参照用ブックがオープンしても(開いても)、処理(メニューやタスクの制御)の対象はメイン処理 用ブックのまま変更はありません。ただし、別タスク(タスクタイプ属性:処理対象ブック切替) の設定により、参照用ブックに処理の制御を移すことができます。この機能を利用することで、参 照用ブックの保存や印刷、メインブックと参照用ブック間のコピーなどを行うことができます。
- ② 参照用ブックは同時に6個までオープンすることができます。

- ③ 「汎用パラメータ 1」でオープンする参照用ブックの指定は、C:¥・・・、D:¥・・・のようにパス名で指定してください。「汎用パラメータ3」のホスト指定で"DBS サーバ"を指定した場合も同様です。 (DBS サーバのアドレスが公開されていても、http://・・・のアドレス指定は不可です。)
- ④ 「汎用パラメータ 1」でオープンする参照用ブックの指定を省略した場合は、ファイル選択のダイ アログ表示となります。
- ⑤ オープンする参照用ブックに保護がかかっている場合は、「汎用パラメータ 4」でパスワード入力の 指定を行ってください。
- ⑥ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。

#### ■ 補足

ib🏏

- 「汎用パラメータ 5」で初期表示シート名の指定を省略した場合は、ブックが保存された時のアク ティブシートがそのまま表示されます。
- ② 「汎用パラメータ6」でウィンドウの整列方法の指定を省略した場合は、「並べて表示」のモードに なります。

Ver. 5. 0. 5. 1

「最前面に表示」の設定を可能にし、「参照用ブック」のみ表示させることが出来るようなりました。 但し、「参照用オープン」の直後に続けて、407.ブック制御「処理対象ブック切替」で「参照用ブ ック」に切り替えておく必要があります。

もし、処理対象ブック切り替えをおこなわず、メインブックのままの場合には、メインブックが最前面に表示され参照用ブックは表示されません。

※これは、タスク終了時に、現在処理対象になっているブックのシートをアクティブ化しているため、参照用ブックが隠れてしまうためですので注意してください。

- ③ 「汎用パラメータ 7」で、別タスク(タスクタイプ属性:オープン制御指定)の設定によりオープン制御が「不可」状態の時にもサブウィンドウを開くかどうかの指定を行います。
  - **不可**: オープン制御指定が「許可」状態になるまで、サブウィンドウを追加で開くことができません。
  - **強制オープン**: サブウィンドウを追加して開きますが、サブウィンドウは最大6個までに制限されています。
- ④ 「汎用パラメータ 8」で、オープン制御指定が「不可」状態の時に表示するメッセージを指定します。
   省略した場合、メッセージは表示しません。
- ⑤ 「汎用パラメータ 10」で、別タスク(タスクタイプ属性:オープン制御指定)の設定と同じ設定 が行えます。省略した場合は、現状維持(何もしない)になります。
  - **不可**:本タスクタイプ実行後に、これ以上サブウィンドウを開かないように制御します。この後 オープン制御指定が「許可」状態になるまで、サブウィンドウを追加で開くことができなく なります。尚、クローズ処理には影響しません。
  - 許可 :本タスクタイプ実行前にサブウィンドウを追加で開くことを「許可」状態に変更した上で、 本タスクのブックをオープンします。

- ⑤ 「汎用パラメータ 11」で、ブックオープン後のカーソルの移動先を指定します。
   カーソル移動 : 画面の移動は最小限で、指定したセルにカーソルを移動します。
   先頭 : 画面の左上が指定したセルになるようにスクロールし、カーソルも移動します。
   尚、カーソルを位置付けたい Excel 上のセル位置は、「ジャンプ先セル」で指定します。
- ⑦ 「汎用パラメータ 12」で、参照用ブックをオープンした時のシート表示の有無を指定します。シート表示をする場合は"表示する"、表示しない(隠す)場合は"隠す"を指定します。指定を省略した場合は「表示する」になります。
- ⑧ 「汎用パラメータ 13」で、参照用ブックをオープンする時に NO(1~6)を指定してオープンしたい場合に、その NO を指定します。"昇順"を指定した場合は、まだオープンされていない参照用ブック NO の一番小さい NO の参照用ブックとしてオープンします。指定を省略した場合は「昇順」になります。

#### ■ 使用例

dby

◎「参照用オープン」ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログで選択した参照用ブックを別ウィンドウ にオープンする使用例を示します。

尚、「参照用クローズ」ボタンの動作については、本マニュアルの「タスクタイプ属性(参照用クローズ)」の「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。



※ファイル選択ダイアログで参照用ブック(参照用ブック.xls)を選択後の画面



◎定義するシート:

dby

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
885 4	9)ブック制御_参照用ブック	1 Sample.xls	ブック制御_参照用ブック	0	885

2)ボタン定義の例

BSNO ボタン	NO ポタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
885	1 参照用オーブン	8960	ブック制御_参照用オーブン			
885	2 参照用クローズ	8970	ブック制御_参照用クローズ			

3) タスク定義の例(「参照用オープン」ボタンのタスク(TASKNO:8960)のみ)

 TASKNO
 タスク名
 処理願NO
 タスクタイブNO
 タスクタイブ名
 タスクタイプ風性
 BKNO
 ブック名
 シート名

 8960
 ブック制御\_参照用オープン
 1
 407
 ブック制御
 参照用オープン
 1
 Sample.xls
 ブック制御\_参照用ガック

 8970
 ブック制御\_参照用クローズ
 1
 407
 ブック制御
 参照用カローズ
 1
 Sample.xls

※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容		
2	TASKNO		ж	8960		
3	タスク名		ж	ブック制御_参照用オーブン		
4	処理順NO		ж	1		
5	タスクタイブNO		ж	407		
6	タスクタイブ名		ж	ブック制御		
-7-	タスクタイブ属性		ж	参照用オーブン		
8	BKNO		ж	1		
9	ブック名		ж	Sample.xls		
10	シート名			ブック制御_参照用ブック		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント 欄					
16	セル指定属性					
17	汎用バラメータ1	ブックファイル 名				
18	汎用バラメータ2	ダイアログ 表示		有り		
19	汎用バラメータ3	ホスト指定		ネットワーク		
	汎用バラメータ4	バスワード解除				
21	汎用バラメータ5	初期表示シート名				
22	汎用バラメータ6	整列方法				
23	汎用バラメータ7	オーブン制御指定				
24	汎用バラメータ8	メッセージ				
25	汎用バラメータ10	サブウィンドウ可否				
26	汎用バラメータ11	移動設定				
27	汎用バラメータ12	参照用ブックシート見出し				
	汎用バラメータ13	ブックNO指定		参照用ブック1		
29	ジャンプ先セル					

## 2.84 407:ブック制御 タスクタイプ属性(参照用クローズ)

■ 機能

db

指定した参照用ブックをクローズします。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9430		
3	タスク名		*	ブック制御(参照用クローズ)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	407		
6	タスクタイプ名		*	ブック制御		
7	タスクタイプ属性		*	参照用クローズ		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	ブックNO指定		参照用ブック1	降順に閉じる	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)					
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。					
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)					
タスクタイプ NO	." <b>407</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)					
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>ブック制御</b> "が自動設定されます。					
タスクタイプ属性	" <b>参照用クローズ</b> "を指定します。(省略不可)					
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。					
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)					
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)					
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。					
	(注1、2)					
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)					
	① (空白)					
	② <b>有り</b>					
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指					
	定します。(注2)					
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し					
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)					
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない					

定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	、ない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入					
	力です。(注1、2)						
	① 有効						
	② 無効						
コメント欄	開発時のメモ書きや修	逐正記録などに使用します。					
セル指定属性	汎用パラメータの各項	頁目をセル上から指定する場合、そのセル位置					
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)						
	① 直接	③ 間接アドレス					
	2 間接						
汎用パラメータ 1	クローズする参照用に	ブックの NO を指定します。					
	① (空白)	⑥ 参照用ブック3					
	2 ALL	⑦ 参照用ブック4					
	③降順	⑧ 参照用ブック5					
	④ 参照用ブック1	<ol> <li> <b>参照用ブック6</b> </li> </ol>					
	5 参照用ブック2						

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- ① 参照用ブックがオープンしていない状態で、本タスクタイプを実行した場合は、何もしません。
- ② 参照用クローズは、参照用ブックのみを閉じます。他のメイン処理ブックやサブ処理用ブックには 影響しません。

#### ■ 補足

「汎用パラメータ 1」で、クローズする参照用ブックの NO を指定します。ここで"降順"を指定した場合は、オープンされている参照用ブック NO の一番大きい NO の参照用ブックをクローズします。指定を省略した場合は「降順」になります。

■ 使用例

ib🏏

◎「参照用クローズ」ボタンを押すと、「参照用オープン」ボタンで別ウィンドウに表示している参照用 ブックをクローズする使用例を示します。

尚、「参照用オープン」ボタンの動作については、本マニュアルの「タスクタイプ属性(参照用オープン)」の「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。

※「参照用オープン」ボタンで参照用ブックを別ウィンドウに表示している状態の画面

	ッグ】user:Manual5 #1				
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(E	<ul> <li>街田 プロジェクト: サンブルアプリケーション</li> </ul>	~	<	▶ 100 % ○ 50 ○ 75 ○ 100 ○ 150 ○ 範囲スーム	ي ت ت
終了 標準サイズ - 画面.	リフレッシュ 参照用オープン 参照用クローズ		10.0		
メニュー 再 ステップ停止					
> 9)ブック制御_参照用ブック Menu	🔁 dbS.#1		,		- = ×
	🖼 Sample.xis [読み取り専用] [互換モード]	_ = X	参照用ブック.xls	[読み取り専用] [互換モード]	
- 1)セル保護(412) へ	A B C D E	F G H	A	B C D E F	G
- 2)シート保護(41)		参昭田クロープ)	2		
- 3)シート切替(40)	3		3		
<ul> <li>4)ゼル位置取得(</li> <li>5)範囲取得(421)</li> </ul>	4 機能:メイン処理ブック	が開いているときに、別ウイ	4		
6)行列指定(414	5 オープンしたり、	クローズしたりすることが出り	5		
- 7)行列表示(415	□ 7 Excelの同等機	能[ファイル1→[閉く1→[閉	7	サンプル集(入門	編・タスクシ
- 8)ブック制御_複数	8		8		
- 10)シートコピー(4	9 操作: 1. (参照用オープン	ボタンを押すと、ファイル	9		
■ 3. Excel制御		キケッズ地オと「参照日	11		
- 1)自動計算(417	12	小メノを押りて、「参照用」	12		デ
- 2)亚代替え(418) 3)ピボットテーブル	13		13		
	14		14		
		► []	KAPH XII	- / 便い方 / 照会 / 更新力-ド型 / 更新リスト型」	n/更新リスト型/



※「参照用クローズ」ボタンを押した後の画面(別ウィンドウの参照用ブックがクローズした状態)

🥺 サンプルアプリケーション【デバッ																
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(E	1) (復	18 70	ジェクト: サンプ		ケーション		~		<	> 100	<b>%</b> () 50 ()	75 🔿 100 🔿	150 () 範囲;	<i>х`</i> —А		
終了 標準サイズ • 画面リ	フレッシュ		参照用オープン		が照用クローズ											
メニュー 再 ステップ停止																
> 9)ブック制御_参照用ブック	💽 San	nple.xls [#	売み取り専用]	[互換·	モード]- dbS.#1											×
Menu		A	вс	D	E	F	G	н	I	J	К	L	М	N	0	
	1	_	. 50118m /	40.077	<b>□</b> → →.	全國미수요										
- 1)セル保護(412) 🔺	2	2	ツン利用い	参照	<u>用オーフノ、</u>	参照用クロ										-
- 3)シート切替(40)	4		機能	: メ	イン処理フック	が開いてい	るときに、	別ウ インドウ	つで参照用	ブックを		1				-
- 4)セル位置取得(	5			オ	ーブンしたり、	クローズした	こりすること	が出来ます	•							-
- 5)範囲取得(421 - 6)行列指定(414	7		-	Б	ccelの同等機	能「ファイル	」→「開く」	→「閉じる」								-
7)行列表示(415	8											2				
<ul> <li>8)ブック制御_複数</li> <li>0)ブック制御_複数</li> </ul>	9		操作:	1.	参照用オーナン	ボタンを持	単すと、フ:	マイル選択	ダイアログ	で選択し	こ参照用つ	ックを別ウ	ィンドウに	オープン	<b>します。</b>	
- 97クタク制御」参照 - 10)シートコピー(4	10			2.	参照用クローズ	ボタンを持	₽すと 「参	昭田オー	ナハでオ	ーナルた	別ウインド	ウの参昭	ヨブックを	クローズレ	च.	
l⊟ 3. Excel制御	12					J.1.2.2 C1		· ······	///		112121	, . , . , . , . , . , . , . , . , . , .			~ · · ·	
- 1)自動計算(417⊻	13															
	14					1	Ш	1		1	1	1			- • •	
r				_												_

◎定義するシート:

dby

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO	階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
885	4	9)ブック制御_参照用ブック	1	Sample.xls	ブック制御_参照用ブック	0	885

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ポタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
885	1	参照用オーブン	8960	ブック制御_参照用オーブン			
885	2	参照用クローズ	8970	ブック制御_参照用クローズ			

3) タスク定義の例(「参照用クローズ」ボタンのタスク(TASKNO:8970)のみ)

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO タスクタイプ	名タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
8960 🕫	ック制御_参照用オープン	1	407 ブック制御	参照用オーブン	1	Sample.xls	ブック制御_参照用ブック
8970 🕽	シック制御_参照用クローズ	1	407 ブック制御	参照用クローズ	1	Sample.xls	

※タスク定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	8970
3	タスク名		ж	ブック制御_参照用クローズ
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイブNO		ж	407
6	タスクタイブ名		ж	ブック制御
- 7	タスクタイプ属性		ж	参照用クローズ
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	ブックNO指定		参照用ブック1



- ② 複数シートを表示する時のウィンドウの整列方法(並べて表示/上下に並べて表示/左右に並べて 表示/重ねて表示)を指定することができます。
   (整列は Excel の「ウィンドウ」-「整列」の機能に基づいています。)
   ⇒「汎用パラメータ6」の設定。
- ③ 複数シートを表示する時のサブウィンドウのサイズ変更やメインとサブのシートの位置関係(上下、 左右)を反転することができます。
   (この機能は2つ目のシートを表示する時のみ有効です。)
   ⇒「汎用パラメータ9」、「汎用パラメータ14」の設定。
- 画面イメージ

ib🏏

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9440		
3	タスク名		*	ブック制御(複数シート表示)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	407		
6	タスクタイプ名		*	ブック制御		
7	タスクタイプ属性		*	複数シート表示		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ5	初期表示シート名		データ照会画面	アクティブシート	補足①
18	汎用パラメータ6	整列方法		左右に並べて表示	並べて表示	補足②
19	汎用パラメータ7	オープン制御指定			不可	補足③
20	汎用パラメータ8	メッセージ			表示しない	補足④
21	汎用パラメータ9	サブウィンドウ表示幅			0.5(比率)	補足⑤
22	汎用パラメータ10	サブウィンドウ可否				補足⑥
23	汎用パラメータ11	移動設定			カーソル移動	補足⑦
24	汎用パラメータ14	位置関係			反転しない	補足8
25	ジャンプ先セル	カーソル位置			位置付けしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

**dbSheetClient** 

dby

■ 項目説明	
TASKNO	
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一夕スク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>407</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>ブック制御</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>複数シート表示</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	<ol> <li>(2) 有り</li> </ol>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② <b>間接</b>
汎用パラメータ 5	
汎用パラメータ 6	ウィンドウの整列方法を指定します。
	① 並べて表示 ③ 左右に並べて表示
	② 上下に並べて表示 ④ 重ねて表示
汎用パラメータ 7	オープン制御指定が「不可」状態の時に、サブウィンドウを追加で開
	くかどうかを指定します。
	① 不可
	② 強制オープン
汎用パラメータ 8	オープン制御指定が「不可」状態の時に表示するメッセージを指定し
	ます。

汎用パラメータ 9	.2つ目のサブウィンドウのサイズを指定します。指定方法は「表示比
	率」(1以下の値)または「ピクセル値」(1よりも大きい値)で指定
	します。
汎用パラメータ 10	.サブウィンドウをこれ以上開かなくするかどうかを指定します。
	① 不可
	② 許可
汎用パラメータ 11	.ブックオープン後のカーソルの移動先を指定します。
	① カーソル移動
	② 先頭
汎用パラメータ 14	.メインとサブのシートの位置関係 (上下、左右)を反転するかどうかを
	指定します。
	① (空白)
	② 反転
ジャンプ先セル	. 「汎用パラメータ 11」でカーソルを位置付けたい Excel 上の <b>セル位</b>
	置を指定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

## ■ 使用上の注意

- ① 複数シートを表示するためのサブウィンドウは全体で合計6個まで開くことができます。
- ② 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。

#### ■ 補足

db🟏

- 「汎用パラメータ 5」で初期表示シート名の指定を省略した場合は、ブックが保存された時のアク ティブシートがそのまま表示されます。
- ② 「汎用パラメータ6」でウィンドウの整列方法の指定を省略した場合は、「並べて表示」のモードになります。
- ③ 「汎用パラメータ 7」で、別タスク(タスクタイプ属性:オープン制御指定)の設定によりオープン制御が「不可」状態の時にもサブウィンドウを開くかどうかの指定を行います。
  - **不可**:オープン制御指定が「許可」状態になるまで、サブウィンドウを追加で開くことができません。
  - **強制オープン** : サブウィンドウを追加して開きますが、サブウィンドウは最大6個までに制限されています。
- ④ 「汎用パラメータ 8」で、オープン制御指定が「不可」状態の時に表示するメッセージを指定します。省略した場合、メッセージは表示しません。
- ⑤ 「汎用パラメータ9」で、2つ目のサブウィンドウのサイズを指定します。指定方法は「表示比率」 (全体に対する比率)または「ピクセル値」(サブウィンドウ幅のピクセル値)で、設定値が1以下 の場合に「表示比率」、1より大きい場合に「ピクセル値」とみなします。省略した場合、「表示比 率」で0.5になります。

尚、このサイズ指定は「汎用パラメータ 6」でウィンドウの整列方法を"**重ねて表示**"以外を指定している時に有効となります。また、3つ目以降のサブウィンドウ開いた時には、Excelの標準機能の表示状態(通常50%)に自動的に変更されます。

◎表示比率について:

※比率<=0 が指定された時には、比率=0.5 として処理します。

例1)「左右に並べて表示」の指定で、0.3を指定すると、左ウィンドウ:右ウィンドウ=7:3 の比率で、右ウィンドウの横幅を設定します。

◎ピクセル値について:

- ※「左右に並べて表示」で1<設定値<=100の値が指定された時は、ピクセル値=100 として処理します。(100より狭いピクセル幅では表示されないため)
  - 例2)「左右に並べて表示」の指定で、50 を指定すると、右ウィンドウの横幅=100 となります。
- ※「左右に並べて表示」で100以上の値が指定された時は、右ウィンドウの横幅=設定値 として処理します。
  - 例3)「左右に並べて表示」の指定で、200 を指定すると、右ウィンドウの横幅=200 となります。
- ※「上下に並べて表示」で1<設定値<=80の値が指定された時は、ピクセル値=80 として処理します。
  - 例4)「上下に並べて表示」の指定で、50 を指定すると、下ウィンドウの縦幅=80 となります。
- ※「上下に並べて表示」で80以上の値が指定された時は、下ウィンドウの縦幅=設定値 として処理します。
  - 例5)「上下に並べて表示」の指定で、150 を指定すると、下ウィンドウの縦幅=150 となります。

- ⑥ 「汎用パラメータ 10」で、別タスク(タスクタイプ属性:オープン制御指定)の設定と同じ設定 が行えます。省略した場合は、現状維持(何もしない)になります。
  - **不可**:本タスクタイプ実行後に、これ以上サブウィンドウを開かないように制御します。この後 オープン制御指定が「許可」状態になるまで、サブウィンドウを追加で開くことができなく なります。尚、クローズ処理には影響しません。
  - 許可 :本タスクタイプ実行前にサブウィンドウを追加で開くことを「許可」状態に変更した上で、 本タスクのブックをオープンします。
- ⑦ 「汎用パラメータ 11」で、ブックオープン後のカーソルの移動先を指定します。

カーソル移動 : 画面の移動は最小限で、指定したセルにカーソルを移動します。

**先頭** : 画面の左上が指定したセルになるようにスクロールし、カーソルも移動します。 尚、カーソルを位置付けたい Excel 上のセル位置は、「ジャンプ先セル」で指定します。

 ⑤ 「汎用パラメータ 14」で、メインとサブのシートの位置関係(上下、左右)を反転するかどうかを 指定します。

**空白**(省略時も含む):メインが上または左、サブが下または右になります。

反転 :メインが下または右、サブが上または左になります。

尚、この反転指定は「汎用パラメータ6」でウィンドウの整列方法を"上下に並べて表示"/"左右に 並べて表示"を指定している時で、2つ目のシートを表示する時のみ有効となります。

#### ■ 使用例

dby

◎「複数シート表示」ボタンを押すと、別ウィンドウで「ブック制御\_サブシート」を表示します。
 ボタンを押すごとに別ウィンドウで「ブック制御\_サブシート」を表示しますが、ウィンドウの合計が
 6個になると、それ以上はボタンを押しても何もしない、そのような使用例を示します。
 尚、「複数シート閉じる」ボタンの動作については、本マニュアルの「タスクタイプ属性(複数シート
 閉じる)」の「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。



※「複数シート表示」ボタンを1回押した時の画面



※「複数シート表示」ボタンを5回押した時の画面

🥰 サンブルアプリケーション【デバッグ】。			
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	(株旧) プロジェクト: サンブルアブリケーション	× (	100 x ○ 50 ○ 75 ○ 100 ○ 150 ○ 範囲ズーム
終了 標準サイズ ・ 画面リフレッ	シュ 複数シート表示 複数シート閉じる		
メニュー 再 ステップ停止			
> 8)ブック制御_複数シート表示	dbS.#1		_ = ×
Menu	Sample visi1 (読み取り専用) (互換モード) _ ー ×	Sample visit (読み取り専用) (互換モード)	× Sample xix3 (読み取)専用) (互換モード)
▼メニューを選択してください。▼ ■・1・メニュー関係 ・1)起動モード(301) - 2)メニュー制御(302)	7 F G H I 7 打ファイル」→「開く」→「閉じる」 8 まなバを拥すと 別ウアルウ(サブィー	A B C	
- 3)終了処理(303)【新 - 4)ハイパー実行制御 - 5)スクリーン制御(313) - 6)足動モード(サーバ時	10 11 ボタンを押すと、別ウィンドウのサブシー <sup>=</sup> 13	4 5 6	です。  4   サブシートです。 5 6
<ul> <li>3-2. タスク制御</li> <li>- 1)メインボタン・サブボタ</li> <li>- 2)条件判定分岐(317</li> <li>- 3)メッセージ表示(318</li> <li>- 4)ルーブ処理(315)【新</li> </ul>	14 ※複数シートの表示状態 ※ウィンド 15 6 開くフラグ: FALSE 16 7	7 8 9 10	7 8 9 10
- 5)タイマー処理(316)【 - 6)サブタスク実行(320)	Sample xis:6 [読み取)専用] [互換モード]	Sample.xis:2 [読み取り専用] [互換モード]	Sample.xlw5 [読み取)専用] [互換モード]
- 7)ログ情報書込み(32	A B C D	A B C	D A B C D
<ul> <li>8)メール送信(325)</li> <li>9)画像PDF表示(33C</li> <li>Excel制御用タスクタイプ</li> </ul>	1 2 3	1 2 3	1 2 3
<ul> <li>日・展開</li> <li>1)直接展開(401)</li> <li>2)コピー(410)行タイプ</li> </ul>	4 5	<u>4</u> サブシートで	です。 4 サブシートです。
- 3)クリア(411) = 2. セル・シート - 1)セル保護(412) - 2)		7 8	7 8
	10 11	10 11	10 11



db

#### ◎定義するシート:

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 4) 展開定義
- 5) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO	階層	メニュー名	BKNO	フック名	シート 名	TASKNO	BSNO
880	4	8)ブック制御_複数シート表示	1	Sample.xls	ブック制御_複数シート表示	0	880

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
880	1	複数シート 表示	8920	ブック制御_複数シート表示			
880	2	複数シート閉じる	8930	ブック制御_複数シート閉じる			

3) タスク定義の例(「複数シート表示」ボタンのタスク(TASKNO:8920)のみ)

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイプNO タスク	クタイブ名タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
8920	ブック制御_複数シート表示	1	407 ブック	7制御 複数シート表示	1	Sample.xls	ブック制御_複数シート表示
8920	ブック制御_複数シート表示	2	410 コピー	- 値	1	Sample.xls	ブック制御_複数シート表示

※処理順 NO:1 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	8920
3	タスク名		ж	ブック制御_複数シート表示
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	407
6	タスクタイブ名		ж	ブック制御
- 7 -	タスクタイブ属性		*	複数シート表示
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			ブック制御_複数シート表示
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		@ブック制御_開く
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	ブックファイル 名		
18	汎用バラメータ2	ダイアログ表示		
19	汎用バラメータ3	ホスト指定		
20	汎用バラメータ4	バスワード解除		
21	汎用バラメータ5	初期表示シート名		ブック制御_サブシート
22	汎用バラメータ6	整列方法		
23	汎用バラメータ7	オーブン制御指定		
24	汎用バラメータ8	メッセージ		
25	汎用バラメータ9	サブウィンドウ 表示幅		
26	汎用バラメータ10	サブウィンドウ可否		
27	汎用バラメータ11	移動設定		
28	汎用バラメータ14	位置関係		
29	ジャンプ先セル			

#### ※処理順 NO:2 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	ቃイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	8920
3	タスク名		*	ブック制御_複数シート表示
4	処理順NO		ж	2
5	タスクタイブNO		ж	410
6	タスクタイプ名		*	コピー
- 7 -	タスクタイプ属性			値
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			ブック制御_複数シート表示
11	DNO			8920
12	処理条件判定セル	実行判定		@ブック制御_開く
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント 欄			
15	セル指定属性			
16	汎用バラメータ1	空白セル無視		
17	汎用バラメータ2	行列入替		
18	汎用バラメータ3	ブック間コビー		

4)展開定義の例

db 🛛

※DNO8920 定義の詳細(縦型表示の内容)



5) Excel シートの定義(Excel ファイル 「Sample.xls」/シート:「ブック制御\_複数シート表示」)

	A	В	С	D	E		F	G	Н	I	J	K	L
1													
2		ブッ	2制御(	复数	シート表示、	復数	シート	乳しる)					
3													
4			<b>楼</b> 能:	: ×	イン処理フック	が限	肌てい	るときに、	別ウインドウ	つで複数レ	ートを表示	たり、	
5				閉	じたりすること	:⊅\:	出来ます	•					
6						1							
7				Ð	ccelの同等機	能巾	フォイル	」→「開く」	→「閉じる」				
8													
9			操作:	1.	複数シート表示	市	タンを押	甲すと、別	ウィンドウル	こサブシー	トを表示し	ます。	
10						5	M						
11				2.	複数シート閉じる	ーボ	タレをサ	甲すと、別	ウィンドウク	りサブシー	トが全て閉	じます。	
12						_	11						
13							11						
14						*	複数シー	トの表示	状態	※ウィンド	つの 合計に	t6個までて	?す。
15				4	の表示枚数	:	1		第くフラグ:	TRUE			
16					次回:		<b>∕</b> ⊿2						
17						1	1						
						_ /	/						

※Excelの「名前の定義」で、以下のセルに名前を定義しておきます。

	名前	参照範囲	(セル)	セルの内容(値または数式)
	ブック制御_枚数	F15 /		1(初期值)
ĺ	ブック制御_枚数次回	F16		=ブック制御_枚数+1
ĺ	ブック制御_開く	l15 <b>´</b>		=IF(OR(F16>6),FALSE,TRUE)

## 2.86 407: ブック制御 タスクタイプ属性(複数シート閉じる)

■ 機能

db

現在開いている複数シートを全て閉じます。

⇒「汎用パラメータ」に設定する内容はありません。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9450		
3	タスク名		*	ブック制御(複数シート閉じる)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	407		
6	タスクタイプ名		*	ブック制御		
7	タスクタイプ属性		*	複数シート閉じる		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	.任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	.任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	."407"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	.タスクタイプ NO 設定により" <b>ブック制御</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	." <b>複数シート閉じる</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- 参照用クローズ(別タスクタイプ属性)のように、指定したブック(シート)のみを閉じるような ことはできません。
- ② 現在開いている複数シートがない状態で、本タスクタイプを実行した場合は、何もしません。
- 補足
  - 本タスクタイプ属性(複数シートを閉じる)は、複数シート表示(別タスクタイプ属性)で表示したブック(シート)のみを閉じます。他のメイン処理ブック、サブ処理用ブックや参照用ブックには影響しません。

#### ■ 使用例

dby

- ◎「複数シート閉じる」ボタンを押すと、「複数シート表示」ボタンで表示した別ウィンドウの 「ブック制御\_サブシート」を全て閉じる使用例を示します。
- 尚、「複数シート表示」ボタンの動作については、本マニュアルの「タスクタイプ属性(複数シート表示)」の「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。

※「複数シート表示」ボタンを3回押した状態の画面

፼ サンプルアプリケーション【デバッグ】	user: Manual6 #1	
ファイルビ デバッグ(10) ヘルプ(11)	復旧 プロジェクト: サンブルアプリケーション 🚽	<ul> <li>100 x ○ 50 ○ 75 ○ 100 ○ 150 ○ 範囲ストム</li> </ul>
終了 標準サイス ・ 画面リフレッ	シュ 被数シート表示 複数シート閉じる	
メニュー 再 ステップ停止		
> 8)ブック制御_複数シート表示	R db5.#1	_ = x
Menu		Sample vie 2 「読み取り重田」「万地キード」
▼メニューを選択してください。▼		
🕒 1.メニュー関係 🔼	7 Excelの同等機能「ファイル」→「閉く」→「閉じる」	1
- 1)起動モード(301)		2
3)終了如理(303)【新	9 1. (複数シート表示)ボタンを押すと、別ウィンドウにサブシートを表示	3
4)ハイパー実行制御		4 <i>サブシートです。</i>
- 5)スクリーン制御(319)	11 2. Rear Harro (12)	5
- 6)起動モード(サーバ時 - 0 ねつり知道の	13	6
5-2・ス人ク中国中 - 1)メインボタン・サブボタ	14 ※複数シートの表示状態 ※ウィンドウの合	7
2)条件判定分岐(317	15 今の表示枚数: <u>4</u> 開くフラグ: <u>TRUE</u>	9
- 3)メッセージ表示(318)		10
- 4)ルーブ処理(315)【第 5)カイフー加速(315)【第		11
6)サブタスク軍(〒(320)	Sample.xis:4 [読み取り専用] [互換モード]	Sample.xis:3 [読み取り専用] [互換モード]
- 7)ログ情報書込み(32	A B C D E F G	A B C D E F G
8)メール送信(325)	1	1
		3
□ 1.展開	$\mu$ - $i$ : $1 = \pi + 1$	エージン レズナ
1)直接展開(401)	4 <i>9/2-rc9</i>	
- 2)コピー(410)行タイプ	5	5
- 3)/01/7(411)	7	7
1)ヤル保護(412)	8	8
2)シート保護(413) 🞽	9	9
	10	10
<u>ان (ا</u>		



※「複数シート閉じる」ボタンを押した後の画面





db

- ◎定義するシート:
  - 1)メニュー定義
  - 2)ボタン定義
  - 3) タスク定義
  - 4) 展開定義
  - 5) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO	階層	メニュー名	BKNO	フック名	シート名	TASKNO	BSNO
880	4	8)ブック制御_複数シート表示	1	Sample.xls	ブック制御_複数シート表示	0	880

2)ボタン定義の例

<b>BSNO</b>	ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラク	ガイダンス
880	1	複数シート 表示	8920	ブック制御_複数シート表示			
880	2	複数シート閉じる	8930	ブック制御_複数シート閉じる			

3)タスク定義の例(「複数シート閉じる」ボタンのタスク(TASKNO:8930)のみ)

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイプNO	タスクタイプ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
8930	ブック制御_複数シート閉じる	1	407	ブック制御	複数シート閉じる	1	Sample.xls	
8930	ブック制御_複数シート閉じる	2	401	直接展開		1	Sample.xls	ブック制御_複数シート表示

※処理順 NO:1 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	8930
3	タスク名		ж	ブック制御_複数シート閉じる
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	407
6	タスクタイブ名		ж	ブック制御
7	タスクタイプ属性		ж	複数シート閉じる
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			

※処理順 NO:2 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	8930
3	タスク名		ж	ブック制御_複数シート閉じる
4	処理順NO		ж	2
5	タスクタイプNO		ж	401
6	タスクタイプ名		ж	直接展開
- 7 -	BKNO		ж	1
8	ブック名		ж	Sample.xls
9	シート名			ブック制御_複数シート表示
10	DNO			8930
11	処理条件判定セル	実行判定		
12	定義有効無効フラグ			
13	コメント 欄			

4)展開定義の例

db

※DNO8930 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイトル	サブ	*	内容
2	DNO		ж	8930
3	データ展開名			展開_ブック制御_複数シート閉じる
4	処理順NO			0
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			直接展開
- 7	数式OR値			1
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント 欄			
10	シート名			
11	セル指定属性			
12	セル範囲			@ブック制御_枚数
13	シート保護有無			
14	シート保護解除PW			
15	自動計算方法			シート後再計算

5) Excel シートの定義(Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「ブック制御\_複数シート表示」)

	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L
1												
2		ブッ	<u>ク制御(</u> )	複数	シート表示	\複数シート	<u>閉じる)</u>					
3												
4			<b>楼</b> 能	: メ	イン処理フィ	ックが閉いてい	るときに、	別ウインドウ	で複数シ	ートを表示し	<i>」た</i> り、	]
5				聞	したりする。	ことが出来ます	•					
6						1						
7				E	xcelの同等	機能  ファイル	·」→「開く」·	→「閉しる」				
8												
9			操作:	1.	複数シート表	読 ポタンを打	甲すと、別	ウィントウレ	こサブシー	トを表示し	ます。	
10						$\equiv 1$						
11				2.	複数シート開	る ポタンを持	甲すと、別に	ウィンドウの	りサブシー	トが全て閉	じます。	
12												
13												
14						※ 複数シ	トの表示	状態	※ウィンド	ウの合計に	は6個までで	です。
15				4	の表示枚	数: 1		<b>氷フラグ:</b>	TRUE			
16					次	0: 🖊 🖌 🖌 2			<u> </u>			
17												

※Excelの「名前の定義」で、以下のセルに名前を定義しておきます。

名前	参照範囲(セル)	セルの内容(値または数式)
ブック制御_枚数	F15	1(初期値)
ブック制御_枚数次回	F16	=ブック制御_枚数+1
ブック制御_開く	115	=IF(OR(F16>6),FALSE,TRUE)



## 2.87 407: ブック制御 タスクタイプ属性(オープン制御指定)

■ 機能

db

別タスクタイプ属性の「サブ処理用オープン」、「参照用オープン」、「複数シート表示」実行時に、サブウィンドウをこれ以上開かなくするかどうかを制御します。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9460		
3	タスク名		*	ブック制御(オープン制御指定)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	407		
6	タスクタイプ名		*	ブック制御		
7	タスクタイプ属性		*	オープン制御指定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SamplexIs		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	サブウィンドウ制御		許可	現状維持	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

任意。(省略不可)(注1、2)
TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
." <b>407</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ NO 設定により" <b>ブック制御</b> "が自動設定されます。
" <b>オープン制御指定</b> "を指定します。(省略不可)
タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
(注1、2)
シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
① (空白)
② <b>有り</b>
シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
定します。(注2)
タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
セルの値:"True"=実行する、"False"=実行しない

定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	、ない場合は、"	無効"を指定します	す。通常は未入
	力です。(注1、2)			
	① 有効			
	② 無効			
コメント欄	開発時のメモ書きや修	S正記録などに依	使用します。	
セル指定属性	汎用パラメータの各項	頁目をセル上か	ら指定する場合、	そのセル位置
	(アドレス)指定の属性	を指定します。	(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレ	<i>'</i> ス	
	2 間接			
汎用パラメータ1	サブウィンドウをこれ	い以上開かなくる	するかどうかを指定	<b>主します</b> 。
	① 不可			
	2 許可			

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- 本タスクタイプでサブウィンドウを開く設定(「許可」の状態)になっていても、開けるサブウィンドウ全体の合計は6個までとなります。
- ② 本タスクタイプと同様の機能が、別タスクタイプ属性の「サブ処理用オープン」、「参照用オープン」、 「複数シート表示」のそれぞれ「汎用パラメータ 10」で設定することが可能です。
- ③ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。

#### ■ 補足

- 「汎用パラメータ1」で、サブウィンドウをこれ以上開かなくするかどうかを指定します。
   不可:サブウィンドウをこれ以上追加で開かない状態に変更します。
   許可:サブウィンドウを追加で開ける状態に変更します。
- ② 本タスクタイプの設定により、クローズ処理には影響しません。

#### ■ 使用例

dby

◎リファレンスマニュアルの「タスクタイプ属性(複数シート表示)」の「■ 使用例」に、「オープン 制御(不可)」ボタンと「オープン制御(許可)」ボタンを追加し、オープン制御指定の動作確認を 行う使用例を示します。

尚、「複数シート表示」ボタン及び「複数シート閉じる」ボタンの動作については、それぞれのリファ レンスマニュアルの「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。

①「複数シート表示」ボタンを1回押した状態の画面で「オープン制御(不可)」ボタンを押します。





②「複数シート表示」ボタンを押すと、タスクは実行されますがサブウィンドウは開かなくなります。



③「オープン制御(許可)」ボタンを押してから「複数シート表示」ボタンを押すと、サブウィンドウ

😟 サンプルアプリケーション【デバッグ】user:M		
ファイル(E) デパッグ(D) ヘルプ(H) 譲旧	プロジェクト: サンプルアプリケーション 🔹 🚽 🚺 🗴 50 0 75 0 100 0 150 0 第回スーム	
終了 標準サイズ ・ 画面リフレッシュ	複数シート表示 複数シート開ける サーブン制御(不可) オープン制御(注可)	
メニュー 再 ステップ停止		
	C d5 f     C d	F
<ul> <li>6)保存(404)</li> <li>7)一括入出力(405)入力</li> <li>8)一括入出力(405)出力</li> <li>9)因り挿入りり7(422)(423)</li> <li>10)可引持人(424)(第1,条件)</li> <li>11) チェックボックス設定(425)(4</li> <li>12)ハイ(-&gt;32)定行(52)(42)(42)(42)(42)(42)(42)(42)(42)(42)(4</li></ul>	8 9 1. 酸酸シーモ素元 ポタンを押すと、別ウィンドウにサラシートを 1 1 1 2 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	F

が再度開けるようになります。



#### ◎定義するシート:

- 1)ボタン定義
- 2) タスク定義
- 1)ボタン定義の例

	BSNO ボタンN	0 ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラク	ガイダンス
	880	1 複数シート表示	8920	ブック制御_複数シート表示			
	880	2 複数シート閉じる	8930	ブック制御」複数シート閉じる			
	880	<ol> <li>オーブン制御(不可)</li> </ol>	8940	ブック制御[オーブン制御(不可)	Lam	白加したボクン	
	880	4 オーブン制御(許可)	8950	ブック制御 オーブン制御(許可)		回加しにホタノ	

2) タスク定義の例(「オープン制御(不可)」ボタン、「オープン制御(許可)」ボタンの分のみ)

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO ブック名	シート名
8940	ブック制御_オーブン制御(不可)	1	407	ブック制御	オーブン制御指定	1 Sample.xls	ブック制御_複数シート表示
8950	ブック制御_オーブン制御(許可)	1	407	ブック制御	オーブン制御指定	1 Sample.xls	ブック制御_複数シート表示

※TASKNO:8940 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	8940
3	タスク名		ж	ブック制御_オーブン制御(不可)
-4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	407
6	タスクタイプ名		ж	ブック制御
-7	タスクタイブ属性		ж	オープン制御指定
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			ブック制御_複数シート表示
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	サブウィンドウ 制御		不可

※TASKNO:8950 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	8950
3	タスク名		ж	ブック制御_オーブン制御(許可)
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	407
6	タスクタイプ名		ж	ブック制御
7	タスクタイブ属性		ж	オープン制御指定
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート 名			ブック制御_複数シート表示
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	サブウィンドウ 制御		許可

## 2.88 407: ブック制御 タスクタイプ属性(処理対象ブック切替)

■ 機能

db

タスク処理の対象となるブック(「メインブック」、「参照用ブック1~6」)を切替えます。

⇒「汎用パラメータ1」の設定。

■ 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	空白時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9470		
3	タスク名		*	ブック制御(処理対象ブック切替)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	407		
6	タスクタイプ名		*	ブック制御		
7	タスクタイプ属性		*	処理対象ブック切替		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	処理対象ブック		参照用ブック1	既定の動作	補足①②

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

頁目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"407"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>ブック制御</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	<ol> <li> <sup>2</sup> 有り  </li> </ol>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> " =実行する、" <b>False</b> " =実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ1	タスク処理の対象となるブックを指定します。
	① メインブック ⑤ 参照用ブック4
	② 参照用ブック1 ⑥ 参照用ブック5
	③ 参照用ブック2 ⑦ 参照用ブック6
	④ 参照用ブック3

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① 本タスクタイプにより、タスク処理の対象を「サブ処理用ブック」に切替えることはできません。
- ② 参照用ブックが開いていない状態で、タスク処理の対象を「参照用ブック1~6」に切替えること はできません。
- ③ タスク処理の対象を「参照用ブック1~6」に切替えた場合、再度「メインブック」に切替えるか、 参照用ブックが全て閉じられるまで、タスク定義で定義された処理対象ブックは、切替え後のブッ クに対して行われます。これは、ブック制御の処理対象ブック切替(参照用ブック)~ブック制御 の処理対象ブック切替(メインブック)の間にあるタスクは全て参照用ブックが処理対象ブックと いうことになります。 ただし、例外としてタスク定義の中の、処理条件判定セル、開始メッセージセル、正常終了時メッ

セージセル、エラー判定セル、エラーメッセージセル、キャンセルメッセージセルについては、メ インブックのセルを参照します。

- ④ 処理対象を参照用ブックに切替えた場合、タスクタイプNOが300番台のタスクタイプ(317: 条件判定分岐、318:メッセージ表示など)も、参照用ブックが処理対象になるので、セルを指定 している時には、その参照用ブックに指定のシートやセルがあるか、値が入っているかを必ずチェ ックしてください。
- ⑤ メニュー定義に定義されているシート名については、常にメインブックに対して動作します。この ため、処理対象を参照用ブックに切替えた後シートの変更をする場合は、ボタン定義に定義したタ スクを実行するか、シート切替のタスクを実行してください。
- ⑥ 定義編集(作成)時に、参照用ブックのシート名は自動的に取得することができません。このため、 参照用ブックを設定(定義)する時は、シート名を正しく手動で入力してください。尚、参照用ブ ックを対象に制御しているタスク定義で、シート名が省略されている時は参照用ブックのアクティ ブシートが適用されます。
- ⑦ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
- 補足
  - ① 「汎用パラメータ 1」で、タスク処理の対象となるブック("メインプック"/"参照用ブック1"/"参
     照用ブック2"/"参照用ブック3"/"参照用ブック4"/"参照用ブック5"/"参照用ブック6")を指定します。
  - ② メインブックと参照用ブック間のコピーは、以下の2つの方法で行うことができます。
    - 1)タスクタイプ410:コピーを利用する

タスク定義の「汎用パラメータ3」に"ブック間コピー"を指定します。

※尚、ブック間コピーを行う際には、対象となる参照用ブックが開かれており、かつ、「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定されている時のみ可能です。参照用ブックが開かれていても、「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定されていない時は、メインブック同士のままになるので注意してください。

- コピーのタイプとしては
- 1.空白:以下のような既定のコピー動作となります。

「処理対象ブック切替」でメインブック指定時:メインーメイン

「処理対象ブック切替」で参照用ブック指定時:参照用ー参照用

- 2.メイン-メイン:メインブック間のコピー(「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定さ れていても、メインブック間でコピーを行う)
- 3.メインー参照用:メインと参照用間のコピー(「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定 されている時に、メインブック→参照用ブック間でコピーを行う)
- 4.参照用-メイン:参照用とメイン間のコピー(「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定 されている時に、参照用ブック→メインブック間でコピーを行う)
- 5.参照用ー参照用:参照用と参照用間のコピー(「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定 されている時に、参照用ブック→参照用ブック間でコピーを行う)
- 2) タスクタイプ 502: クリップボード操作を利用する

手順は以下のようになります。

- 1. コピー元のブックに切替えます。
- 2.クリップボード操作の「コピー」を実行します。
- 3.コピー先のブックに切替えます。
- 4.クリップボード操作の「貼り付け」を実行します。

この時、Excel ブック間のコピーでは「汎用パラメータ1」で、コピーのタスクタイプ属性 と同じ、「全部」「数式」「値」「書式」.....を指定してください。

「テキスト」「Unicode テキスト」「Csv」「HTML」は、ホームページや他のアプリ

ケーションからの時のコピー&貼り付けの時にのみ有効です。

#### ■ 使用例

dby

◎リファレンスマニュアルの「タスクタイプ属性(参照用オープン)」の「■ 使用例」に、「処理対象ブック切替」ボタンと「参照用ブック(使い方へ)」ボタンを追加し、「処理対象ブック切替」の動作確認 を行う使用例を示します。

尚、「参照用オープン」ボタン及び「参照用クローズ」ボタンの動作については、それぞれのリファ レンスマニュアルの「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。

①「参照用オープン」ボタンで参照ブック表示後、「処理対象ブック切替」ボタンを押します。





③ 参照用ブック(使い方へ)」ボタンを押すと、参照用ブックの「使い方」シートが表示されます。



ブックの	「使い方」	シートが表	示され、	参照用ブッ
クが処理対	対象になっ	ていること	が確認で	きます。



db

- ◎定義するシート:
  - 1) ブック定義
  - 2)ボタン定義
  - 3) タスク定義
- 1) ブック定義の例

BKNO	ブック名	ブック保護有無	ブック読込解除PW	ブック書込解除PW	ホスト 指定	リンク先	コメント 棚
1	Sample.xls					C:¥dbSheetClient¥Sample	
2	参照用ブック.xls					C:¥work¥参照用ブック	

2)ボタン定義の例

BSNO 7	ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
885	1	参照用オープン	8960	ブック制御_参照用オープン			
885	2	参照用クローズ	8970	ブック制御_参照用クローズ 🔔			
885	3	処理対象ブック切替	8980	ブック制御_処理対象ブック切替		白加したボタン	
885	4	参照用ブック(使い方へ)	15000	参照用ブック_シート 切替		旦加しにホタン	

3) タスク定義の例(「処理対象ブック切替」ボタン、「参照用ブック(使い方へ)」ボタンの分のみ)

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性	BKNO	ブック名	シート名
8980 ブック制御_	処理対象ブック切替	1	407	ブック制御	処理対象ブック切替	1	Sample.xls	
15000 参照用ブッ	ク_シート 切替	1	403	シート 切替		2	参照用ブック.xls	使い方

※TASKNO:8980 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	ያብኑ ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	8980
3	タスク名		ж	ブック制御_処理対象ブック切替
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	407
6	タスクタイブ名		ж	ブック制御
- 7	タスクタイプ属性		ж	処理対象ブック切替
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	処理対象ブック		参照用ブック1

#### ※TASKNO:15000定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	15000
3	タスク名		ж	参照用ブック_シート 切替
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	403
6	タスクタイブ名		ж	シート 切替
7	BKNO		*	2
8	ブック名		ж	参照用ブック.xls
9	シート名			使い方
10	シート保護有無			
11	シート 保護解除PW			
12	BSNO			0
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	移動設定		
18	汎用バラメータ2	表示変更		
19	汎用バラメータ3	サブクリア		
	汎用バラメータ4	複数シート 表示番号		
21	汎用バラメータ5	スクリーン制御		
22	ジャンブ先セル			

# 2,89 407:ブック制御 タスクタイプ属性(サブ処理用オープン)

■ 機能

db

- メイン処理ブックが開いている時に、別ウィンドウでサブ処理用ブックをオープンします。
   ⇒「汎用パラメータ 1~5」の設定。
- ② サブ処理用ブックをオープンする時のウィンドウの整列方法(最前面に表示/並べて表示/上下に 並べて表示/左右に並べて表示/重ねて表示)を指定することができます。
   (整列は Excel の「ウィンドウ」-「整列」の機能に基づいています。)
   ⇒「汎用パラメータ6」の設定。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9400		
3	タスク名		*	ブック制御(サブ処理用オープン)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	407		
6	タスクタイプ名		*	ブック制御		
7	タスクタイプ属性		*	サブ処理用オープン		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	ブックファイル名		C:¥dbSClient¥サブ処理ブック	ファイル選択のダイアログ表	長示
18	汎用パラメータ2	ダイアログ表示			無し	
19	汎用パラメータ3	ホスト指定		ネットワーク	DBSサーバ	
20	汎用パラメータ4	パスワード解除				
21	汎用パラメータ5	初期表示シート名		使い方	アクティブシート	補足①
22	汎用パラメータ6	整列方法		上下に並べて表示	最前面に表示	補足②
23	汎用パラメータ7	オープン制御指定		不可	不可	補足③
24	汎用パラメータ8	メッセージ		サブウィンドウが開けません。	表示しない	補足④
25	汎用パラメータ10	サブウィンドウ可否		不可		補足⑤
26	汎用パラメータ11	移動設定		先頭	カーソル移動	補足⑥
27	ジャンプ先セル				位置付けしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

項目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"407"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>ブック制御</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	" <b>サブ処理用オープン</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:"True"=実行する、"False"=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	① 直接 ③ 間接アドレス
	② 間接
汎用パラメータ 1	オープンするサブ処理用ブックの <b>パス名</b> を指定します。
汎用パラメータ 2	ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定します。「有り」を指定
	した場合、「汎用パラメータ 1」でパス名が指定されていてもファイ
	ル選択のダイアログを表示します。
	① (空白)
	② <b>有り</b>
汎用パラメータ 3	オープンするサブ処理用ブックが存在するホストを指定します。
	① ネットワーク
	② DBS サーバ
汎用パラメータ 4	ブックに保護がかかっている時に、保護解除のための <b>パスワード</b> を指
	定します。
汎用パラメータ 5	

汎用パラメータ 6	. ウィンドウの整列方法を指	定します。
	①最前面に表示	④ 左右に並べて表示
	2 並べて表示	⑤ 重ねて表示
	③ 上下に並べて表示	
汎用パラメータ7	.オープン制御指定が「不可	」状態の時に、サブウィンドウを追加で開
	くかどうかを指定します。	
	① <b>不可</b>	
	2 強制オープン	
汎用パラメータ8	.オープン制御指定が「不可	」 状態の時に表示するメッセージを指定し
	ます。	
汎用パラメータ 10	.サブウィンドウをこれ以上	開かなくするかどうかを指定します。
	① 不可	
	2 許可	
汎用パラメータ 11	.ブックオープン後のカーソ	ルの移動先を指定します。
	① カーソル移動	
	② <b>先頭</b>	
ジャンプ先セル	. 「汎用パラメータ 11」でス	カーソルを位置付けたい Excel 上の <b>セル位</b>
	置を指定します。	

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- 本タスクタイプ属性は、V3までの限定機能になっています。V4からはタスクタイプ属性「参照用 オープン」(クローズは「参照用クローズ」)を使用してください。
- ② サブ処理用ブックがオープンした(開いた)時には、メニューやタスクの制御の対象はサブ処理用ブ ックに移ります。
- ③ サブ処理用ブックは同時には1個だけオープンすることができます。
- ④ 「汎用パラメータ 1」でオープンするサブ処理用ブックの指定は、C:¥・・・、D:¥・・・のようにパス名で指定してください。「汎用パラメータ 3」のホスト指定で"DBS サーバ"を指定した場合も同様です。

(DBS サーバのアドレスが公開されていても、http://・・・のアドレス指定は不可です。)

- ⑤ 「汎用パラメータ 1」でオープンするサブ処理用ブックの指定を省略した場合は、ファイル選択の ダイアログ表示となります。
- あープンするサブ処理用ブックに保護がかかっている場合は、「汎用パラメータ4」でパスワード入力の指定を行ってください。
- ⑦ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保 護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を

行う必要があります。

- 補足
  - 「汎用パラメータ 5」で初期表示シート名の指定を省略した場合は、ブックが保存された時のアク ティブシートがそのまま表示されます。
  - ② 「汎用パラメータ 6」でウィンドウの整列方法の指定を省略した場合は、サブ処理用ブックが最前面に表示されます。
  - ③ 「汎用パラメータ 7」で、別タスク(タスクタイプ属性:オープン制御指定)の設定によりオープン制御が「不可」状態の時にもサブウィンドウを開くかどうかの指定を行います。
    - **不可**: オープン制御指定が「許可」状態になるまで、サブウィンドウを追加で開くことができません。

**強制オープン**: サブウィンドウを追加して開きますが、サブウィンドウは最大6個までに制限されています。

- ④ 「汎用パラメータ 8」で、オープン制御指定が「不可」状態の時に表示するメッセージを指定します。
   省略した場合、メッセージは表示しません。
- ⑤ 「汎用パラメータ 10」で、別タスク(タスクタイプ属性:オープン制御指定)の設定と同じ設定 が行えます。省略した場合は、現状維持(何もしない)になります。
  - 不可 :本タスクタイプ実行後に、これ以上サブウィンドウを開かないように制御します。この後 オープン制御指定が「許可」状態になるまで、サブウィンドウを追加で開くことができなく なります。尚、クローズ処理には影響しません。
  - 許可 :本タスクタイプ実行前にサブウィンドウを追加で開くことを「許可」状態に変更した上で、 本タスクのブックをオープンします。
- ⑥ 「汎用パラメータ 11」で、ブックオープン後のカーソルの移動先を指定します。

カーソル移動 : 画面の移動は最小限で、指定したセルにカーソルを移動します。

先頭 : 画面の左上が指定したセルになるようにスクロールし、カーソルも移動します。尚、カーソルを位置付けたい Excel 上のセル位置は、「ジャンプ先セル」で指定します。

# 2.90 407: ブック制御 タスクタイプ属性(サブ処理用クローズ)

■ 機能

db

サブ処理用ブックをクローズします。

⇒「汎用パラメータ」に設定する内容はありません。

※ 本タスクタイプ属性は、V3までの限定機能になっています。V5 はタスクタイプ属性「参照用クロ ーズ」(オープンは「参照用オープン」)を使用してください

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9410		
3	タスク名		*	ブック制御(サブ処理用クローズ)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	407		
6	タスクタイプ名		*	ブック制御		
7	タスクタイプ属性		*	サブ処理用クローズ		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明		
TASKNO	f	E意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	Τ	ASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	f	E意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ	NO"	<b>407</b> "を指定します。(省略不可) (注1、3)
タスクタイプ	名	マスクタイプ NO 設定により" <b>ブック制御</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ	属性"	<b>サブ処理用クローズ</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO		タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	E	3KNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	E	KNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名		9スク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
		(注1、2)
シート保護有護	₩	ノートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	Ć	〕(空白)
	(Z	② <b>有り</b>
シート保護解	除PWミ	ノートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	反	きします。(注2)
処理条件判定	セルダ	マスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	E	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	t	2ルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効	フラグ	マスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	ナ	つです。(注1、2)
	Ć	〕有効
	(Z	2 無效
コメント欄		<b>報発時のメモ書きや修正記録などに使用します。</b>

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - 本タスクタイプ属性は、V3までの限定機能になっています。V5はタスクタイプ属性「参照用クロ ーズ」(オープンは「参照用オープン」)を使用してください。
  - ② サブ処理用ブックがオープンしていない状態で、本タスクタイプを実行した場合は、何もしません。
- 補足
  - サブ処理用クローズは、サブ処理用のブックのみを閉じます。他のメイン処理ブックや参照用ブックには影響しません。

# 2.91 408:位置合わせ印刷 タスクタイプ属性(ダイアログ、プレビュー、直接印刷)

■ 機能

db

- ④ Excel シートの印刷処理を行います。
- ⑤ ダイアログ表示、プレビュー表示などの印刷形態を選択できます。
- ⑥ 直接印刷では、"連続印刷"を指定することにより、差し込み的な印刷処理を実行することが 可能です。

# ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				6
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
З	タスク名		*	直接印刷		
4	処理順NO		*	<u>í</u>		
5	タスクタイプNO		*	408		
6	タスクタイプ名		*	位置合わせ印刷		
7	タスクタイプ属性			直接印刷		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			位置合わせ印刷	現在のシートを表示します	1
11	処理条件判定セル	実行判定		@位置合わせ印刷開始判定		
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	シート名		@位置合わせ印刷_セル指定1	10のシート名	×1
16	汎用パラメータ2	印刷範囲		@印刷範囲_セル指定1	Excelの印刷範囲	*2
17	汎用パラメータ3	用紙サイズ名	2000	◎用紙サイズ名_セル指定1	汎用パラメータ4と5で指定	*3
18	汎用パラメータ4	用紙サイズの縦幅		@用紙サイズの縦幅_セル指定1	デフォルトの縦幅	×4
19	汎用パラメータ5	用紙サイズの樹幅		@用紙サイズの橫幅_セル指定1	デフォルトの横幅	×4
20	汎用パラメータ6	印刷の向き		@印刷の向き_セル指定1	既存設定のまま	*5
21	汎用パラメータ7	左余白調整値			0.0	×6
20	汎用パラメータ8	上余白調整値			0.0	×6
21	汎用パラメータ9	画像データの印刷	1		無し	*7
22	汎用バラメータ10	罫線の印刷			無し	*8
23	汎用パラメータ11	印刷の拡大/縮小率	2000		[100	×9
24	汎用パラメータ12	印刷する部数			1	
25	汎用パラメータ13	書式情報の読込制御			OFF	×10
26	汎用バラメータ14	ダイアログ画面の制御			全て使用不可	×11

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

∎ Ij	頁目説明	
	TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	"408"を入力します。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	" <b>位置合わせ印刷</b> "は自動表示します。(省略不可)
	タスクタイプ属性	"ダイアログ"を表示するか、"直接印刷"をするかを指定します。(省略
		不可)
		① ダイアログ
		②直接印刷
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有效
		② 無效
	コメント欄	
	セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
		① 直接 ③ 間接アドレス
		② 間接
	汎用パラメータ 1	シート名を指定します。(補足①)
	汎用パラメータ 2	
	汎用パラメータ 3	
	汎用パラメータ 4	
	汎用パラメータ 5	
	汎用パラメータ6	
	汎用パラメータ 7	
	汎用パラメータ 8	上余白調整値を指定します。(補足⑥)
	汎用パラメータ 9	
	汎用パラメータ 10	
	汎用パラメータ 11	
	汎用パラメータ 12	
	汎用パラメータ 13	書式情報の読込制御を指定します。(補足⑪)
	汎用パラメータ 14	ダイアログ画面の制御を指定します。(補足⑪)

- (注5)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注6)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注7)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注8)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- ① 省略時は、シート名を使用します。
- ② 印刷範囲を印刷時に変更できます。指定のない場合は、シートに設定された印刷範囲が出力されます。
- ③ 用紙サイズ名を省略した場合は、汎用パラメータ4と5の用紙サイズの縦幅と横幅で指定した 用紙サイズとなります。
   用紙サイズ名の指定は、汎用パラメータ4と5の用紙サイズの縦幅と横幅の指定よりも優先さ れます。
   指定した用紙サイズ名が、印刷先のプリンタで使用可能な用紙サイズとして存在しなかった場 合は、印刷先プリンタでデフォルト設定されている用紙サイズとなります。
- ④ 用紙サイズ名が省略されており、用紙サイズの縦幅と横幅も省略した場合は、印刷先プリンタ でデフォルト設定されている用紙サイズの縦幅と横幅になります。
   用紙サイズの縦幅と横幅の指定を有効にする場合、汎用パラメータ3の用紙サイズ名の指定は 省略(指定しないように)しておく必要があります。
   用紙サイズの縦幅と横幅の指定により、指定したサイズが収まる最小の用紙サイズが自動的に 選択されます。
- ⑤ 印刷の向きを省略した場合は、印刷先プリンタでデフォルト設定されている印刷の向きとなり ます。
- ⑥ 左余白調整値と上余白調整値を省略した場合は、0.0(余白調整なし)の値となります。マイ ナスの値を指定することにより、印刷開始位置をマイナス方向(さらに左、さらに上)に指定 することが可能です。
- ⑦ 「有り」を指定することにより、シートに貼り付けている図などの画像データも印刷すること が可能です。
- ⑧ 「有り」を指定することにより、Excelのセルの書式設定で設定している罫線も印刷することが可能です。
- ⑨ 100を指定することにより等倍(1倍)、100より小さい値で縮小率、100より大きい値で拡 大率の値となります。

- 通常、同一ブック名且つ同ーシート名指定(汎用パラメータ1)で2回以上本タスクタイプを 実行した場合、2回目以降は印刷処理のパフォーマンスを上げるためにシートから書式情報等 は読込まず、データ(値)のみ読込んで処理するようになっています。
   「ON」を指定することにより、同一ブック名且つ同一シート名指定の場合でも、毎回シート から書式情報も読込むようになります。
   ただし、この場合パフォーマンスは1回目実行時と同等になります。
   尚、同一シート名指定(汎用パラメータ1)でも、ブック名が変更された場合は、そのタイミ ングで書式情報も再度読込むようになっています。

	「印刷の向き」項目の制御(0:使用不可/1:使用可)	
	「用紙の横幅」項目の制御(0:使用不可/1:使用可)	
	「用紙の縦幅」項目の制御(0:使用不可/1:使用可)	
	「画像データの印刷」項目の制御(0:使用不可/1:使用可)	
	「罫線の印刷」項目の制御(0:使用不可/1:使用可)	

12 補足

db

13 キャンセル

汎用パラメータ14で、キャンセルボタンの項目を「使用可」指定した場合は、キャンセルボタン が使用可能になります。

[キャンセル]ボタン(位置合わせ印刷画面の20)押下で、ダイアログを閉じた後、本タスクタイプの実行をキャンセルします。

キャンセルした場合、キャンセルエラーとなり、タスクタイプ共通のエラー処理(エラー判定セル 等)と同等のエラー処理をさせることができます。

⑧ 自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	連続印刷の繰り返しの直前に再計算を実行します。
後再計算	連続印刷の繰り返しの直後に再計算を実行します。
前後再計算	連続印刷の繰り返しの直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

# **dbSheetClient**

# ■ 使用例

dby

「408:位置合わせ印刷」の使用例です。

この例では、セルに設定した印刷範囲を出力しています。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

	A	B	C	D	
1	タイトル	サブ	*	内容	
2	TASKNO		*	1	
З	タスク名		*	位置合わせ印刷_印刷(セル指定)	
4	処理順NO		*	2	
5	970917N0		*	408	
6	タスクタイプ名		*	位置合わせ印刷	
7	タスクタイプ属性			フレビュー	
8	BKNO		*	3	
9	ブック名		*	Samplexis	
10	シート名				
11	処理条件判定セル	実行判定			
12	定義有効無効フラグ				
13	コメント欄				
14	セル指定属性			間接	
15	汎用パラメータ1	シート名		@位置合わせ印刷_セル指定1	 Δ
16	汎用パラメータ2	印刷範囲		@印刷範囲_セル指定1	<i>,</i> ,
17	汎用バラメータ3	用紙サイズ名		@用紙サイズ名_セル指定1	
18	汎用パラメータ4	用紙サイズの縦幅	2010-0010 000 0000 0000 0000 0000 0000 0	◎用紙サイズの縦幅_セル指定1	
19	汎用パラメータ5	用紙サイズの横幅		◎用紙サイズの橫幅_セル指定1	
20	汎用パラメータ6	印刷の向き		@印刷の向き_セル指定1	
21	汎用パラメータ7	左余白調整値			
22	汎用バラメータ8	上余白調整値		1.	
23	汎用パラメータ9	画像データの印刷			
24	汎用バラメータ10	罫線の印刷			
25	汎用パラメータ11	印刷の拡大/縮小率			
26	汎用パラメータ12	印刷する部数	anon an		
27	汎用パラメータ13	書式情報の読込制御			
28	汎用パラメータ14	ダイアログ画面の制御			

A・・・・シート上の定義名を指定します。

Excel シートの定義	Excel ファイル:「Sample.xls」	/シー	ト:「印刷」
--------------	-------------------------	-----	--------

408.	位置	合わせ印刷(	ダイマロガ古接印刷)								
408.	包直	合わせり馴し	タイアログ南陸日間日								-
	構包	<ul> <li>Even R v. 1</li> </ul>	のた業へたせの別が通っ	とにいます						1	
	TEC HE	- Excel/ Ek	の世間 ロリビ 中側処理の 判に二通り(ダイマログー港	定日日の	。 )指空ち注がな	あい カフカ	カイブ屋性	で歩空します。			
_		印刷範囲の	)指定も可能です(※この	シートでは	あらかじめ. F	xcel774	メニュー「印屋	創範囲の設定しを行って	います)。		
	1										
	-	操作: 下記の	各ボタンをクリックすると	. ₹n₹n	0 FEI DIO	彙作ができ	ます。				
	П	Fuello 新田也安				7	[ね7カ字第7	2 第1日七日			
		EXCELC BRIMITALE	,			-	()入/注载(				
)		印刷(直接印刷)	・・・ すぐ印刷が開始され	ます。			印刷(セ)	レ指定①) ・・・ セル(J	7)で指定した範囲がブ	レビュー表示	<b>示されま</b>
2	1	印刷(ダイアロクジ)	・・・ Excelの印刷ダイアロ	コグが表示	されます。		印刷(セル	レ指定の) ・・・ セル(よ	20)で指定した範囲がブ	レビュー表示	<b>R</b> ana
3	L					3					
+		and an and a set	100 FT	557 F.F.	11.1 Aug	11.00.00		↓【セル指定①(印刷)	範囲を直接指定)】		
2	No.	商品コード	商品名	単位	单1曲	分類		C1	7:H20	-	
7	-					-		し たい指定の(印刷)	節囲を直接指空)]		
3	- 1							C1	7 H45		
3			8				1	20 A.A.			
2								↓【ブリンタ指定】			
						-		ブリンタ名	<u>}</u>		
	-	_				8	8	「田純井ノブ]	1		
4						2		A4			
5								P 53			
5								↓【印刷方向】			
								縦			
	_									-	
	-					-	3.		1	-	
	-	-				8	3		1		

A・・・・セルの定義名:「印刷\_セル指定1」

and the second sec					
印刷対象フック名	C#dbSheetClient	¥Sample¥ le	est_GEN2.xls	1	
印刷対象シート名	画像+データ		ED局障匪	\$A\$1.5B	A\$27
		回菌体		2	)*
印刷先プリンタ名	EPSON VP-4300	ESC/P (5)	ý.		~
6					
用紙サイズ更新	用紙の縦幅(m	im) 297	○ 用紙の	)横幅(mm)	210 🚓
用紙サイズ名	潮	RENTUSE	用紙サイズの	従幅と横幅	(mm)
A4 (9)	✓ 新芝村	重=297 材	相當 = 210 🧃	•	
プリンタの左マ 左余白調	ージン(mm) 0.0 製造(mm) 0.0		リンタの上マ・ 上余白調	ージン(mm) 整値(mm)	
印刷の向き 0 8	拉大/彩	s-J-00 🌃	*	印刷語時数	<b>0</b> *
	印刷プレビ	1-	印刷実行	1 +	:AUN
	18		(9		<b>@</b> *

db



db 2

2. 詳細説明 <ol> <li>印刷対象ブック名と印刷対象シート名</li> <li>印刷対象ブック名は、dbSheetClientで現在アクティブ(処理対象ブック)になっているExcelのブック名を表示します。</li> <li>印刷対象シート名は、<u>汎用パラメータ1</u>(省略時はシート名項目)で指定したシート名を表示します。</li> <li>ブック名とシート名(上記①)は、ダイアログ画面では表示(確認)のみで、変更することはできません。</li> </ol>	
<ul> <li>2)印刷範囲</li> <li><u>汎用バラメータ2</u>(省略時はExcelの印刷範囲設定で指定されている範囲)で指定した印刷範囲(上記②)を を表示します。</li> <li><u>汎用バラメータ14</u>で、印刷範囲の項目を「使用可」指定した場合は、一時的(現在実行中のタスクタイプ1回のみ)</li> <li>に印刷範囲を入力変更することが可能です。</li> <li>通常、同一ブックで且つ同一のシート名で、2回以上本タスクタイプを実行すると、印刷処理のパフォーマンスが上がる ようになっていますが、2回目以降の実行で印刷範囲を変更した場合、対象シートの書式情報を再度読み込むため、 パフォーマンスは1回目と同等になります。</li> </ul>	
3) 印刷形式 <u>汎用バラメータ14</u> で、罫線の印刷、画像データの印刷の項目を「使用可」指定した場合は、一時的(現在実行中の タスクタイブ1回のみ)に、以下の印刷形式の変更が可能です。 ①Excelの「セルの書式設定」の「罫線」タブで設定した罫線の印刷。 ( <u>汎用バラメータ10</u> で指定した罫線の印刷の有無(ON/OFF)をチェックボックス(上記 <sup>(3)</sup> )に表示します。) ②画像データの印刷。(位置合わせ用の帳票等の画像も印刷して、実際の帳票との確認などに利用できます。) ( <u>汎用バラメータ9</u> で指定した画像データの印刷の有無(ON/OFF)をチェックボックス(上記 <sup>(4)</sup> )に表示します。)	
<ul> <li>4) 印刷先ブリンタ</li> <li>通常、印刷先ブリンタはデフォルトプリンタ(通常使うブリンタ)を表示しますが、コンボボックス(上記事)から 動作中のPCICインストールされている任意のプリンタを選択して、変更できるようになっています。</li> <li>一度印刷先プリンタを変更した場合、dbSheetOlientが終了するまで、又は再度ダイアログ画面で変更するまで、 本タスクタイプで使用するプリンタのみが変更となります。(システムや他のアプリのプリンタ設定には影響しません。) また、プリンタを変更すると、その時点で変更先プリンタでサポートされている用紙サイズ情報を再度取得し、 現在指定されている用紙の縦幅と横幅から、適切な用紙サイズを自動的に再選択するようになっています。</li> </ul>	
5)用紙サイズ選択 用紙サイズは、縦幅(上記 <sup>の</sup> )と横幅(上記 <sup>®</sup> )、または用紙サイズ名(上記 <sup>®</sup> )で指定します。 縦幅と横幅については、 <u>汎用パラメータ14</u> で、該当する項目を「使用可」指定にした場合に、変更が可能となります。 縦幅は <u>汎用パラメータ4</u> 、横幅は <u>汎用パラメータ5</u> で指定した値を初期表示します。 また、用紙サイズ名は <u>汎用パラメータ3</u> で指定した用紙サイズ名を初期表示し、テキストボックス(上記 <sup>®</sup> )には、 その用紙サイズの縦幅と横幅を表示します。 [用紙サイズ更新]ボタン(上記 <sup>®</sup> )は通常無効状態になっていますが、縦幅又は横幅の値を変更すると、 有効になります。縦幅又は横幅の値を変更後、[用紙サイズ更新]ボタンを押下で、変更した縦幅と横幅が 収まる最小の用紙サイズが自動的に選択され、用紙サイズ名のコンボボックス(上記 <sup>®</sup> )に表示されます。 尚、縦幅(上記 <sup>®</sup> )と横幅(上記 <sup>®</sup> )の値を変更しなくても、直接用紙サイズ名のコンボボックス(上記 <sup>®</sup> )を 変更して、用紙サイズを選択することも可能です。	
<ul> <li>6)印刷開始位置調整 左余白調整値(上記④)と上余白調整値(上記④)により、印刷の開始位置を±0.5mm単位で調整できます。 左余白調整値は<u>汎用パラメータ7</u>、上余白調整値は<u>汎用パラメータ8</u>で指定した値を初期表示します。 ブリンタの左マージン(上記●)とブリンタの上マージン(上記④)の値は、印刷先ブリンタより取得した ブリンタのハードウェアマージンをmm単位で表示します。 左または上余白調整値をハードウェアマージンの値よりも小さく指定した場合は、印刷開始位置をマイナス方向へ 調整することになります。</li> <li>例)上記画面レイアウトの場合、ブリンタの上マージンが30mmと表示されており、それに対して上余白調整値は、 00mmに指定しています。この場合、上に=3.0mm分印刷開始位置を差し引いて印刷することになります。</li> <li>尚、ダイアログで設定した左及び上余白調整値は、同一ブック且つ同一シートの指定が続く限り有効となります。</li> <li>(その間の汎用パラメータ7と8は無視されることになります。)</li> <li>また、同一ブック且つ同一シートが続く状態で、再度ダイアログ(2回目以降)を表示する場合、直前のダイアログで 設定した余白調整値を初期表示します。</li> </ul>	
<ul> <li>7)印刷方法指定</li> <li><u>汎用パラメータ14</u>で、印刷の向き、拡大/縮小、印刷部数の項目を「使用可」指定した場合は、以下の 印刷方法の変更が可能です。</li> <li>①印刷の向きを縦、又は横の指定ができます。</li> <li>(<u>汎用パラメータ6</u>で指定した「印刷の向き」(縦/横)をラジオボタン(上記(の)に初期表示します。)</li> <li>②印刷データ全体の拡大/縮小率を±1%単位で調整できます。</li> <li>(<u>汎用パラメータ11</u>で指定した「印刷の拡大/縮小率」を数値アップダウン(上記(の)に初期表示します。)</li> <li>③印刷部数が指定できます。(同じ印刷データを複数枚印刷する時に使用します。)</li> <li>(<u>汎用パラメータ12</u>で指定した「印刷する部数(コビー数)」を数値アップダウン(上記(の)に初期表示します。)</li> </ul>	

#### 8)印刷プレビュー

[印刷ブレビュー]ボタン(上記(16))押下で、印刷データをブレビュー表示します。 ブレビュー表示した時に赤い枠線も表示されますが、この赤い枠線の外側の部分がブリンタのハードウェアマージン を意味しています。実際に印刷可能なデータは、この赤い枠線の範囲内のデータとなります。 <u>汎用パラメータ14</u>で、印刷ブレビュー画面上の「印刷」ボタンの項目を「使用可」指定した場合は、印刷ボタンが 使用可能となり、印刷ブレビュー画面が開いたまま、印刷先ブリンタへ印刷をおこなうことができます。 印刷ブレビュー画面を閉じると、再度本ダイアログ画面に戻ります。

9)印刷実行

[印刷]ボタン(上記(19)押下で、ダイアログを閉じた後、実際に印刷データを印刷先プリンタへ出力します。 印刷実行後は、次のタスクタイプの処理へ移行します。

#### 10)キャンセル

<u>汎用バラメータ14</u>で、キャンセルボタンの項目を「使用可」指定した場合は、キャンセルボタンが使用可能になります。 [キャンセル]ボタン(上記♥)押下で、ダイアログを閉じた後、本タスクタイプの実行をキャンセルします。 キャンセルした場合、キャンセルエラーとなり、タスクタイプ共通のエラー処理(エラー判定セル等)と同等の エラー処理をさせることができます。

# 2.92 409:シートコピー タスクタイプ属性(なし)

■ 機能

db

- メインブック内でのシートのコピー、メインブックと参照用ブック間でのシートのコピー、または 参照用ブック内でのシートのコピーを行います。
   ⇒「汎用パラメータ 1~4」の設定。
- ② コピー後のシート名を指定することができます。
   ⇒「汎用パラメータ5」の設定。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9490		
3	タスク名		*	シートコピー		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	409		
6	タスクタイプ名		*	シートコピー		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	コピータイプを指定		メインー参照用	既定の動作	補足①
18	汎用パラメータ2	コピー元のシート名		サンプルシート	エラー	補足②
19	汎用パラメータ3	シートの挿入先		シート1	先頭	補足③
20	汎用パラメータ4	挿入位置		後	手前	補足④
21	汎用パラメータ5	コピー後のシート名		挿入シート	コピー元シート名	補足⑤

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	" <b>409</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>シートコピー</b> "が自動設定されます。
タスクタイプ属性	何も指定しません。
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>

dbS

シート保護解除PW	.シートの保護解除にパ	スワードが必要な場合に、そのパスワードを指			
	定します。(注2)				
処理条件判定セル	.タスク実行を条件によ	り制御する場合にシートのセル位置を指定し			
	ます。セルの値によっ	てタスクの実行制御を行います。(注1、4)			
	セルの値:" <b>True</b> " =	実行する、" <b>False</b> " =実行しない			
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたく	ない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入			
	力です。(注1、2)				
	① 有効				
	② 無效				
コメント欄	.開発時のメモ書きや修	正記録などに使用します。			
セル指定属性	. 汎用パラメータの各項	目をセル上から指定する場合、そのセル位置			
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)				
	① 直接	③ 間接アドレス			
	2 間接				
汎用パラメータ 1	.ブック間シートコピー	のコピータイプ (空白:規定動作/"メインーメイ			
	ン"/"メインー参照用"	/" <b>参照用ーメイン</b> "/ <b>"参照用ー参照用</b> ")を指定			
	します。				
	① (空白)	④ <b>参照用ーメイン</b>			
	② メインーメイン	⑤ 参照用一参照用			
	③ メインー参照用				
汎用パラメータ 2	.コピー元の <b>シート名</b> を	指定します。			
汎用パラメータ 3	.コピー先の基準となる	<b>シート名</b> を指定します。			
汎用パラメータ 4	. 「汎用パラメータ3」	で指定したシートへの挿入方法を指定します。			
	① 後				
	2 手前				

汎用パラメータ 5.....コピー後のシート名を指定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

## ■ 使用上の注意

- メインブックと参照用ブック間でシートのコピーを行う際には、事前に別タスク(407:ブック制 御の「参照用オープン」及び「処理対象ブック切替」)で、参照用ブックをオープンし、タスク処理 の対象が参照用ブックになっていることが必要です。
- ② メインブックと参照用ブック間でシートのコピーを行うと、数式などの設定によってはブック間で リンクが張られてしまうことがあるので注意してください。
- ③ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
- ④ シートコピーを30回以上連続的に実行すると、メモリーオーバフローで異常終了する。(Excel 側の制限)
- ⑤ Excel2007 以上のバージョンでは、シートコピーは非常に時間がかかります。(Excel 側の制限)
- 補足
  - ① 「汎用パラメータ 1」でブック間シートコピーのコピータイプを指定します。
    - 空白を指定した場合:以下のような規定のコピー動作となります。
       「処理対象ブック切替」でメインブックが指定されている時:メインーメイン
       「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定されている時:参照用ー参照用
    - 2. "メイン-メイン"を指定した場合:メインブック内でのコピー動作となります。 「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定されていても、メインブック間でコピーを行い ます。
    - 3. "**メインー参照用**"を指定した場合:メインブックから参照用ブックへのコピー動作となります。 「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定されている必要があります。
    - \*参照用-メイン"を指定した場合:参照用ブックからメインブックへのコピー動作となります。
       「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定されている必要があります。
    - 5. **"参照用ー参照用**"を指定した場合:参照用ブック内でのコピー動作となります。 「処理対象ブック切替」で参照用ブックが指定されている必要があります。
  - ② 「汎用パラメータ2」で、コピー元のシート名を指定します。
  - ③ 「汎用パラメータ3」で、コピー先の基準となるシート名を指定します。省略した場合は、コピー 先ブックの先頭にコピーします。
  - ④ 「汎用パラメータ4」で、「汎用パラメータ3」で指定したシートへの挿入方法("手前"/"後")を指定します。
     省略した場合は、「手前」に挿入します。
  - ⑤ 「汎用パラメータ5」で、コピー後のシート名を指定します。省略した場合は、コピー元のシート 名(「汎用パラメータ2」で指定)になります。尚、コピー先のブックに同一のシート名がすでに存 在する時は、Excelの機能と同様に、自動的にシート名の最後に(1)(2)・・・が付加されます。

# ■ 使用例

dbs

- ① 「シート見出表示」ボタンを押すと、ブックのシート見出表示をする。
- ② 「シートコピー」ボタンを押すと、シート「使い方」をシート「シートコピー」の後に 「シートコピーTest」というシート名でコピーする。

これらの使用例を示します。



◎定義するシート:

dby

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO	階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
890	4	9)シートコピー(409)	1	Sample.xls	シートコピー	0	890

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラク	ガイダンス
890	1	シート見出表示	8900	シートコピー_シート見出し表示			
890	2	シートコピー	8910	シートコピー」シートコピー			

3)タスク定義の例

TASKNO タスク名	処理順NO	タスク	タイブNOタスクター	イブ	名 タスクタイブ属性	BKNO ブック名	シート名
8900 シートコピー_シート見出表示	1		430 EXCELT	マン	ド ツール_シート見出し表示	1 Sample.xls	
↓ 8910 シートコピー シートコピー	1		409 シートコピ	. —		1 Sample.xls	
	+	<u> </u>					
※久入り定義の詳細(縦型	表示の内	谷)					
1 タイトル	サブ *		内容				
2 TASKNO	*	8900					
3 タス 2名	*	シート	コピー シート見出え	表示			
4 処理MINO	*	1					
5 タスク <b></b> ▼イプNO	*	430					
6 タスクタイブ名	*	EXCE	ELコマンド				
7 タスクタイブ属性		ツーノ	レシート見出し表示				
8 BKNO	*	1					
<u>9</u> ブック名	*	Samp	ile.xls				
<u>10</u> シート名							
11 シート保護有無							
12 シート 1 朱 該 所 派 PW							
<u>13</u> 処理条件判定セル	美仃判定						
14 正義有効悪効メフク							
$\mathcal{L}$							
4	カフレル		+	4	中容		
	ジョトル			*	PJ <del>D</del>		
2 TASNIO 3 タフクタ				*			
	1			*	1		
5 92 794-	ว้พด			*	409		
6 92.097	プ名			*	シートコピ <i>ー</i>		
7 92,094	ブ属性						
8 BKNO				ж	1		
9 ブック名				ж	Sample.xls		
10 シート名							
11 シート 保護	有無						
12 シート 保護	解除PW		when it we also been a				
13 処理条件	判定セル		実行判定				
14 定義有効;	無効フラク						
	z.v+						
<u>10</u> ゼル指定	5月1日 「二 力1		っピーカノゴを把中		101-101		
10 20 円 パニッ	- 20		コピージインで指定		オコンピメコン 値にて		
	メム   二 力3		コニールのシート石 シートの挿入先				
20 汎田パラマ	シ5 「一句4		」 「♡」 〒/// 10 挿入位置		ショーロー		
20 川市パラス 21 汎田パラス	- 25		コピー後のシート名		Nuclear Contract		
21 // // 10/11/ 22/	20		2000 110		у <u>не</u> 1650		





り付け、と同等のコピー処理をおこないます。

「空白セルを無視する」コピーと、「行列を入れ替える」コピーが可能です。

シート間のコピーおよびブック間のコピーが可能です。

①全部 ②数式 ③値 ④書式 ⑤入力規則 ⑥コメント ⑦罫線を除くすべて ⑧列幅

⑨数式と数値の書式 ⑩値と数値の書式 ⑪書式・コメント・入力規則・列幅

■ 画面イメージ

db

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	6240		
3	タスク名		*	コピー_全部		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	410		
6	タスクタイプ名		*	コピー		
7	タスクタイプ属性			全部	展開定義に依存	
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名					
11	DNO			6240	(実行時にエラー)	
12	処理条件判定セル	実行判定				
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					
15	セル指定属性					
16	汎用パラメータ1	空白セル無視			無視しない	
17	汎用パラメータ2	行列入替			入替えない	
18	汎用パラメータ3	ブック間コピー			既定の動作	補足⑥

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注	È1、2)				
タスク名	.自動表示します。(省	曾略不可)				
処理順 NO	.任意(省略不可) 同-	-タスク内で処理する順番を指定します。				
タスクタイプ NO	" <b>410</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)					
タスクタイプ名	"コピー"は自動表示	します。(省略不可)				
タスクタイプ属性	以下から指定します	•				
	① 全部	⑦ 罫線を除くすべて				
	<ol> <li>2 数式</li> </ol>	⑧ 列幅				
	③ 値	⑨ 数式と数値の書式				
	④ 書式	⑩値と数値の書式				
	⑤ 入力規則	⑪ 書式・コメント・入力規則・列幅				
	⑥ コメント					
BKNO	.タスク実行する Exc	cel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。				
	BKNO はブック運用	用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)				
ブック名	.BKNO 設定により	ブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)				
シート名	.タスク実行時に表示	するなど、基準とするシートを選択します。				
	(注1、2)					

**dbSheetClient** 

DNO	実行時にExcelに展開	するセル位置が定義してある DNO を指定しま
	す。DNO は展開定義	にて登録します。(注1、5)
処理条件判定セル	タスク実行を条件によ	この制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	、ない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① 有効	
	② 無効	
コメント欄	開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
セル指定属性	汎用パラメータの設定	この仕方を、下記から指定します。(注4)
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
汎用パラメータ 1	"空白セル無視"を推	定します。
	空白(省略):無視し	ません。
	① Y : 無視しる	ます。
汎用パラメータ 2	"行列入替"を指定し	<i>、</i> ます。
	空白(省略):入替な	ι).
	① Y :入替ます	す。
汎用パラメータ 3	ブック間コピーのコヒ	ピータイプを指定します。
	① (空白)	④ 参照用ーメイン
	② メインーメイン	⑤ 参照用一参照用
	③ メインー参照用	

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

(注5) 詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

- 使用上の注意
  - Excel2000利用時には、⑨数式と数値の書式 ⑩値と数値の書式 については、使用することが できません。(使用するとエラーが発生します。
  - ② 以下のケースでは Excel の制限で、コピーができない場合があります。
    - (1) コピー元と、コピー先の範囲のサイズが違う場合。
    - (2) コピー元やコピー先が連結セルになっていて、連結セルの範囲が一致しない場合(この場合には、 コピー範囲を調整することによってコピーできる場合があります。
  - ③ 値のコピーができない時には数式のコピーでできる場合があります。
  - ④ コピー処理の動作は、Excel機能の「コピー」&「形式を選択して貼り付け」に準じていますので、 コピーができない場合には Excel の標準機能でできるかどうかを確認してください。

- ⑤ コピー元およびコピー先については、単一セルまたはひとつの連続した矩形範囲についてのみ対応 しています。
- ⑥ タスク定義時点では、DNO を未指定にしても警告が出るのみで続行可能ですが、未指定のまま実行するとエラーになります。必ず DNO を指定するようにしてください。

#### ■ 補足

- ② 複数のコピーをおこないたい時は、同一 DNO の展開定義内でタスク・展開属性をタスクタイプ属 性と同じにする必要は無く、属性を自由に変更することが可能です。
- ③ タスクタイプ属性は展開定義に引き継がれますが、展開定義側で変更が可能です。
- ④ タスクタイプ属性の①~⑩は、Excel機能の「形式を選択して貼り付け」と同等の機能です。
- ⑤ タスクタイプ属性の ⑪書式・コメント・入力規則・列幅 は、一度に書式・コメント・入力規則・列幅 をコピーします。(Excel 標準機能にはありません)
- ⑥ 汎用パラメータ3にて、メインブックと参照用ブック間のコピーが可能です。ただし、タスクタイ プ属性 407.ブック制御の ⑧処理対象ブック切替 で参照用ブックが指定された時のみに限定さ れます。
  - (1)空白: 以下のような既定のコピーの動作となります。
     処理対象ブック切替でメインブックが指定されている時:メインーメイン
     処理対象ブック切替で参照用ブックが指定されている時:参照用-参照用
  - (2) メインーメイン: メインブック間のコピー(処理対象ブック切替で参照用ブックが指定されていても、メインブック間でコピーをおこないます)
  - (3) メインー参照用: メインと参照用間のコピー(処理対象ブック切替で参照用ブックが指定されている時に、メインブック→参照用ブック間でコピーをおこないます)
  - (4)参照用-メイン: 参照用とメイン間のコピー(処理対象ブック切替で参照用ブックが指定されている時に、参照用ブック→メインブック間でコピーをおこないます)
  - (5)参照用-参照用: 参照用と参照用間のコピー(処理対象ブック切替で参照用ブックが指定されている時に、参照用ブック→参照用ブック間でコピーをおこないます)

# ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

		A	B	C	D	
	1	タイトル	サプ	*	内容	
	2	TASKNO		*	6240	
	3	タスク名		*	コピー_全部	
	4	処理順NO		*	1	
	5	タスクタイプNO		*	410	
	6	タスクタイプ名		*	コピー	
	7	タスクタイプ属性			全部	
	8	BKNO		*	1	
	9	ブック名		*	Sample.xls	
	10	シート名				— A
	11	DNO			6240 ———	— В
	12	処理条件判定セル	実行判定			
	13	定義有効無効フラグ				
	14	コメント欄				
	15	セル指定属性				
1	16	汎用パラメータ1	空白セル無視			— c
	17	汎用パラメータ2	行列入替			— D
1	18	汎用パラメータ3	ブック間コピー			

A·····コピー元、コピー先のシートは展開定義にて明確化するため、タスク定義上のシート名指定はあ まり重要ではありません。この例では設定を省略しています。

B·····DNO に展開定義を指定します。

C·····汎用パラメータ 1 (空白セル無視)に指定が無いので、空白セルを無視しません。

D·····汎用パラメータ2(行列入替)に指定が無いので、行と列の入れ替えをしません。

展開定義の例を示します。

	В	C	D	E	F	G	L	М	N	U	V	W
1	DNO	データ展開名	処理順NO	定義区分	タイプ	ヲスク・展開属性	シート名	ル指定属	セル範囲	先シート名	セル指定属	先セル範囲
2	6200	コピー_Demo	1	タスク定義	コピー	書式	Demo_元1		@コピー_元1	Demo_先1		@コピー_先A
3	6200	⊐ピー_Demo	2	タスク定義	コピー	数式	Demo_元1		@コピー_元1	Demo_先1		@コピー_先B
4	6200	コピー_Demo	3	タスク定義	コピー	値	Demo_元1		@コピー_元1	Demo_先2		@コピー_先C
5	6200	コピー_Demo	4	タスク定義	コピー	入力規則	Demo_元2		@コピー_元2	Demo_先2		@コピー_先D
6	6200	コピー_Demo	5	タスク定義	コピー	全部	Demo_元2		@コピー_元2	Demo_先3		@コピー_先E
7												
8												
9												
10												

このようにひとつの展開定義(DNO)の中で、異なった「タスク・展開属性」、異なった「シート名」および「セル範囲」、異なった「先シート名」および「先セル範囲」の指定をして、それぞれ別個に展開する ことができます。

タスク定義での「タスクタイプ属性」は"**全部**"ですが、展開定義での「タスク・展開属性」ではそれに とらわれず自由に属性を選択することができます。



■ 機能

db

展開定義にてクリアしたい範囲を指定することで、Excelのクリアと同等のクリア処理をおこないます。

- ① 全部: 2~④をすべて実行するのと同等となります。
- ② 数式と値: 設定済みの数式または値をクリアします。
- ③ 書式 : 設定済みの書式をクリアして、デフォルト状態に戻します。
- ④ コメント: 設定済みのコメントをクリアします。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	B	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	6310		
3	タスク名		*	クリア_書式		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	411		
6	タスクタイプ名		*	クリア		
7	タスクタイプ属性			走書	展開定義に依存	
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			クリア		
11	DNO			6310	(実行時にエラー)	
12	処理条件判定セル	実行判定				
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# 項目説明 TASKNO ......任意(省略不可) (注1、2) タスク名......自動表示します。(省略不可) 処理順 NO ......任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。 タスクタイプ NO ...... "411" を入力します。(省略不可) 注1、3) タスクタイプ名....."クリア"は自動表示します。(省略不可) ① 全部 (3) 書式 ② 数式と値 ④ コメント BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) (注1、2) DNO......実行時にExcelに展開するセル位置が定義してあるDNOを指定しま す。DNOは展開定義にて登録します。(注1、5) カです。(注1、2) ① 有効 2 無効

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5) 詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。
- 使用上の注意
  - タスク定義時点では、DNO を未指定にしても警告が出るのみで続行可能ですが、未指定のまま実行するとエラーになります。必ず DNO を指定するようにしてください。

### ■ 補足

- ② 複数の範囲をクリアしたい時は、同一 DNO の展開定義内でタスク・展開属性をタスクタイプ属性 と同じにする必要は無く、属性を自由に変更することが可能です。
- ③ タスクタイプ属性は展開定義に引き継がれますが、展開定義側で変更が可能です。
- ④ 同一 DNO の展開定義内では、クリアする対象のシートが変わってもクリアすることができます。

# ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	Α	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	6310	
3	タスク名		*	クリア_書式	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	411	
6	タスクタイプ名		*	クリア	
7	タスクタイプ属性			書式	
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			クリア ―――	— <i>I</i>
11	DNO			6310	—— E
12	処理条件判定セル	実行判定			
13	定義有効無効フラグ				
14	コメント欄				

A·····クリア範囲のシートは展開定義にて明確化するため、タスク定義上のシート名指定はあまり重要

ではありません。省略可能です。

B·····DNO に展開定義を指定します。

展開定義の例を示します。

	В	С	D	E	F	G	L	М	Ν
1	DNO	データ展開名	処理順NO	定義区分	タイプ	タスク・展開属性	シート名	セル指定属性	セル範囲
2	6310	クリア_Demo	1	タスク定義	クリア	書式	Demo_1		@クリア_A
3	6310	クリア_Demo	2	タスク定義	クリア	数式と値	Demo_1		@クリア_B
4	6310	クリア_Demo	3	タスク定義	クリア	コメント	Demo_1		@クリア_C
5	6310	クリア_Demo	4	タスク定義	クリア	全部	Demo_2		@クリア_D
6									
7									
8									
9									
10									

このようにひとつの展開定義(DNO)の中で、異なった「タスク・展開属性」、異なった「シート名」および「セル範囲」の指定をして、それぞれ別個にクリアすることができます。

タスク定義での「タスクタイプ属性」は"**書式**"ですが、展開定義での「タスク・展開属性」ではそれに とらわれず自由に属性を選択することができます。



# 2.95 412:セル保護 タスクタイプ属性 (ON, OFF)

■ 機能

db

- ① 展開定義で指定したセルの保護/保護解除をおこないます。
  - タスクタイプ属性 **ON** : セルを保護する

OFF: セルの保護を解除する

- 展開定義で複数のセル範囲を定義することができます。
- ② セルの保護/保護解除をおこなうとともに、数式を数式バーに表示しないようにできます。
- ③ 同一 DNO の展開定義内で定義した複数の展開定義毎にタスク・展開属性を自由に変更できます。
- ④ 同一 DNO の展開定義内で定義した複数の展開定義毎に別シートの範囲を指定できます。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	セル保護		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	412		
6	タスクタイプ名		*	セル保護		
7	タスクタイプ属性			ON	展開定義に依存	補足①
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	DNO			4		
12	処理条件判定セル	実行判定		@セル保護実行判定		
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					
15	汎用パラメータ1				値や式を表示する	補足②

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>412</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>セル保護</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	以下から指定します。
	① <b>ON</b>
	2 OFF
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
DNO	セルの保護/保護解除を行うセル範囲を定義した展開定義のDNOを
	指定します。DNO は展開定義にて登録します。(注1、5)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)

- ① 表示しない
- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- ① セルに保護をかけるためには、シート全体に保護がかかっている必要があります。
- ② 数式を数式バーに表示しないようにするためには、①と同様、シート全体に保護がかかっている必要があります。
- 補足
  - ① タスクタイプ属性は、展開定義に引き継ぎます。
    - タスク定義のタスクタイプ属性と展開定義のタスク・展開定義とが違っている場合、対象となるセルの保護/保護解除は、展開定義のタスク・展開属性を優先します。
  - ② 複数の範囲のセルをセル保護/保護解除をおこなう場合、複数のタスク定義でそれぞれのセル保護/ 保護解除を定義するより、一つのタスク定義の展開定義ですべてのセル保護/保護解除を定義するほうが、タスク定義の読込みなどのオーバーヘッドが少なくなるため、処理スピードが改善します。
  - ③ 汎用パラメータ1が空白のままタスク定義を保存した場合でも、通常入力表示エリアを表示していないため、(実行版)実行時の Excel エリアの表示に支障はありません。

■ 使用例

dby

۲41	2 :	セル保護	ŧ_	を実行した結果	果で	す。		
A	В	C	D	E	F	G	Η	I J K
15		セル保護						
16		(実行セル)		(保護タブの設定)		(セル保護設定) 実行時)		セル保護解除 実行時 )
18	1	aaaa		ロック: ON	$\rightarrow$	編集不可	] →	編集可能
20	2	7777	Z	ロック: OFF	$\rightarrow$	編集可能	→	編集可能
22		$\overline{)}$		\				
24 25		$\setminus$	、 、	▲ · 炉焦不可		<ul><li>(実行セル位置)</li></ul>	1	(実行セル位置アドレス)
26 27			/	A・襦未个り	L	\$C\$19	]	\$G\$26
28 29			編	集可能		\$C\$21		\$G\$28
30								
Α···	٠٠t	2ル保護/	保	護解除の対象の	とな	るセル		
		(セ タ	ル	保護解除/ クタイプ属性 OFF)			保 記 ク:	獲設定/ タイプ属性 ON)
A	В	C	D	E	F	G	Η	I J K
15 16		保護解除						
17 18		<ul><li>(実行セル)</li></ul>	_	(保護タブの設定)		(セル保護設定)実行時)	_	【セル保護解除】 実行時 )
19 20	1	aaaa 🕨		ロック: ON	∣→l	編集不可	<b>→</b>	編集可能
21 22	2	TTTT	Y	ロック: OFF	$\rightarrow$	編集可能	$\rightarrow$	編集可能
23			1			(実行セル位置)		(実行セル位置アドレス)
25 26		نظ	59	のセルも編集可能		\$C\$19	]	\$G\$26
27 28						\$C\$21	]	\$G\$28
29 30					-			

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- 展開定義(展開一覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	セル保護
4	処理順NO		*	2
5	タスクタイプNO		*	412
6	タスクタイプ名		*	セル保護
7	タスクタイプ属性			ON
8	BKNO		*	3
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	DNO			4
12	処理条件判定セル	実行判定		\$セル保護実行判定
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			
15	汎用パラメータ1			

展開定義の例

dby

	A	AB		D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	4
3	データ展開名			セル保護(412)設定
4	処理順NO			1
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			セル保護
7	タスク・展開属性			ON
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			セル保護
11	セル指定属性			
12	セル範囲			@セル保護_実行セル1
13	シート保護有無			有り
14	シート保護解除PW			
15	自動計算方法			

A……セル保護の対象となるセル範囲、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



デモシート:シート保護

A·····展開定義のセル範囲、名前定義= "セル保護\_\_実行セル1"

次の例は、セル指定属性を間接で指定し、対象となるセル範囲が同じ(A)となる展開定義の例です。

展開定義(セル指定属性:間接)の例

dby

	^	D	C	D
- 1				
			•	
2	DNO		*	4
3	データ展開名			セル保護(412)設定
4	処理順NO			1
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			セル保護
7	タスク・展開属性			ON
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			セル保護
11	セル指定属性			間接
12	セル範囲			@セル保護_実行セル1位置 ―
13	シート保護有無			<b>有</b> り
14	シート保護解除PW			
15	白動計質方法			

B・・・・セル指定属性に間接を指定

C……セル保護の対象となるセル、<定義名選択>で選択した場合は、先頭に「@」を付加します。

A B C D E F G H I J K 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 セル保護 (実行セル) (保護タブの設定) (セル保護設定)実行時) セル保護解除 実行時 ) ロック:ON → 編集不可 → 編集可能 2 7777 ロック:OFF → 編集可能 → 編集可能 (実行セル位置) (実行セル位置アドレス) \$G\$26 \$G\$28 \$C\$21 А С

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」

デモシート:シート保護

シート全体をシート保護します。

A····セル保護/保護解除の対象セル(アドレス\$C\$19)

C……展開定義のセル範囲、名前定義= "セル保護\_\_実行セル1位置"

(セル指定属性が間接のため、指定したセルに対象の範囲を指定)


**dbSheetClient** 

# 2.96 413:シート保護 タスクタイプ属性 (ON, OFF)

■ 機能

dby

- ① タスクタイプ属性の指定に従い、シートの保護/保護解除をおこないます。
  - タスクタイプ属性 ①**ON** : 保護する
  - タスクタイプ属性 ②**OFF**: 保護解除する
- ② 最大7つのシートに対し、シートの保護/保護解除することが可能です。

### ■ 画面イメージ

タスク定義編集画面の範囲						
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	シート保護		
4	処理順NO		*	2		補足①
5	タスクタイプNO		*	413		
6	タスクタイプ名		*	シート保護		
7	タスクタイプ属性			ON	直前のシートの状態を保持	補足①
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	シート保護有無			有り	保護無し	
12	シート保護解除PW				空白のパスワードとみなす	
13		実行判定		@シート保護判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性		0 0000000			
17	汎用パラメータ1	第2シート名				補足②、③
18	汎用パラメータ2	第2シート保護有無			保護無し	
19	汎用パラメータ3	第2シート保護解除PW			空自のパスワードとみなす	
20	汎用パラメータ4	第3シート名				補足②、③
21	汎用パラメータ5	第3シート保護有無			保護無し	
22	汎用パラメータ6	第3シート保護解除PW			空白のパスワードとみなす	
23	汎用パラメータ7	第4シート名				補足②、③
24	汎用パラメータ8	第4シート保護有無			保護無し	
25	汎用パラメータ9	第4シート保護解除PW			空白のパスワードとみなす	
26	汎用パラメータ10	第5シート名				補足②、③
27	汎用パラメータ11	第5シート保護有無			保護無し	
28	汎用パラメータ12	第5シート保護解除PW			空自のパスワードとみなす	
29	汎用パラメータ13	第6シート名				補足2、3
30	汎用パラメータ14	第6シート保護有無			保護無し	
31	汎用パラメータ15	第6シート保護解除PW			空白のパスワードとみなす	
32	汎用パラメータ16	第7シート名	<u> </u>			補足2、3
33	汎用パラメータ17	第7シート保護有無			保護無し	
34	汎用パラメータ18	第7シート保護解除PW			空白のパスワードとみなす	

dby

**dbSheetClient** 

■ 項E	目説明	
	TASKNO	…任意(省略不可) (注1 <b>、</b> 2)
	タスク名	…自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	…任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	…" <b>413</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	…" <b>シート保護</b> "は自動表示します。(省略不可)
	タスクタイプ属性	…以下から指定します。
		① <b>ON</b>
		2 OFF
	BKNO	…タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	…BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	シート保護/保護解除をおこなうシートを指定します。
	シート保護有無	…シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
		定します。(注2)
	処理条件判定セル	…タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	…タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有効
		② 無効
	コメント欄	…開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
	セル指定属性	…汎用パラメータの設定の仕方を、下記から指定します。(注4)
		① 直接     ③ 間接アドレス
		② 間接
	汎用パラメータ 1	…シート保護、保護解除をおこなう第2シートを指定します。(注2)
	汎用パラメータ 2	…第2シートに対するシート保護有無を指定します。(注2)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	汎用パラメータ 3	…第2シートに対するシート保護解除PWを指定します。(注2)
	汎用パラメータ 4~6	…第3シートに対するシート名、シート保護有無、シート保護解除PW
		を指定します。(注2)
	汎用パラメータ 7~9	…第4シートに対する パ を指定します。(注2)
	汎用パラメータ 10~12	…第5 シートに対する 11 を指定します。(注2)
	汎用パラメータ 13~15	…第6シートに対する ハ を指定します。(注2)
	汎用パラメータ 16~18	…第7 シートに対する 11 を指定します。(注2)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意

db

- タスク定義のシート名(第2シート名~第7シート名を含む)で指定したシートに保護をかけるためには、(実行版)実行時に対象となるシート全体に保護がかかっている必要があります。
- ② シート保護は、dbSheetClientを実行前にシート保護が掛けられた状態のシートに対しタスク定義でのシート保護のOFFは可能、上記でのシート保護のONも可能ですが、dbSheetClientを実行前の状態でシート保護がOFFの状態のシートには、シート保護のONは、機能しません。(制限事項)シートに保護を掛けて運用するシートは、必ず、シート保護が掛った状態のシートにしてから実行してください。
- 補足
  - 一連のタスクがすべて終了した時、保護をかけたシートをシート保護解除させたい場合は、シート 保護解除を最初に定義する必要があります。
  - ② 第2シート~第7シートのシート名が間違っているなど、該当シートの保護処理が失敗した場合は 無視して、次のシートの保護処理をおこないます。
  - ③ 第2シート名~第7シート名を省略し、保護有無、保護解除PWを指定した場合は、シート名で指定したシートをシート保護/保護解除の対象とします。
- 使用例

「413:シート保護」を実行した結果です。



定義するシート:

db

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例

1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	シート保護
4	処理順NO		*	2
5	タスクタイプNO		*	413
6	タスクタイプ名		*	シート保護
7	タスクタイプ属性			ON
8	BKNO		*	3
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	シート保護有無			有り
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		@シート保護判定
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント欄			
16	セル指定属性			
17	汎用パラメータ1	第2シート名		
18	汎用パラメータ2	第2シート保護有無		
19	汎用パラメータ3	第2シート保護解除PW		
20	汎用パラメータ4	第3シート名		
21	汎用パラメータ5	第3シート保護有無		
22	汎用パラメータ6	第3シート保護解除PW		
23	汎用パラメータ7	第4シート名		
24	汎用パラメータ8	第4シート保護有無		
25	汎用パラメータ9	第4シート保護解除PW		
26	汎用パラメータ10	第5シート名		
27	汎用パラメータ11	第5シート保護有無		
28	汎用パラメータ12	第5シート保護解除PW		
29	汎用パラメータ13	第6シート名		
30	汎用パラメータ14	第6シート保護有無		
31	汎用パラメータ15	第6シート保護解除PW		
32	汎用パラメータ16	第7シート名		
33	汎用パラメータ17	第7シート保護有無		
34	汎用パラメータ18	第7シート保護解除PW		

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



デモシート:シート保護

A·····シート保護時に編集不可となるセル(保護タブのロックがONのセル)

B・・・・シート保護時に編集できるセル(保護タブのロックがOFFのセル)

# 2.97 414: 行列指定 タスクタイプ属性(高さ、列幅、複数指定)

■ 機能

db

- 展開定義で指定した行の高さ(タスクタイプ属性:①高さ)、列の幅(タスクタイプ属性:②列幅)
   を変更、または、自動調整します。
  - 行や列の範囲は、展開定義で複数の範囲を定義することができます。
- ② タスクタイプ属性:③複数指定にすると、展開定義で指定した行・列を表示しないようにしたり、 再表示したりします。(415.行表示、416.列表示と同様の機能)
- ③ 同一DNOの展開定義内で定義した複数の展開定義毎にタスク・展開属性を自由に変更できます。
- ④ 同一DNOの展開定義内で定義した複数の展開定義毎に別シートの範囲を指定できます。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	Excelコマンド		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	414		
6	タスクタイプ名		*	行列指定		
7	タスクタイプ属性			高さ	展開定義に依存	補足①
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			デモシート		
11	DNO			4		
12	処理条件判定セル	実行判定		@行列指定実行判定		
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	…自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	…任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	…" <b>414</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	…" <b>行列指定</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	…以下から指定します。
	① 高さ : 行の高さを変更
	② <b>列幅</b> : 列の幅を変更
	③ 複数指定:高さ、列幅、行・列の非表示/再表示を複数実行
BKNO	…タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	…BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	…タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
DNO	実行時に Excel に展開するセル位置が定義してある DNO を指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1、5)
処理条件判定セル	…タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	…タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4) 詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

#### ■ 補足

- ① タスクタイプ属性は、展開定義に引き継ぎます。
  - タスク定義のタスクタイプ属性と展開定義のタスク・展開定義とが違っている場合、展開定義 を優先します。

# ■ 使用例

dby

「414:行列指定(高さ)」を実行した結果です。



#### 定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- 展開定義(展開一覧を含みます)
- Excel シート

### タスク定義の例

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	Excelコマンド
4	処理順NO		*	2
5	タスクタイプNO		*	414
6	タスクタイプ名		*	行列指定
7	タスクタイプ属性			高さ
8	BKNO		*	3
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	DNO			4
12	処理条件判定セル	実行判定		\$行列指定実行判定
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			

#### 展開定義の例

dby

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	4
3	データ展開名			展開_行列指定(414)1列目
4	処理順NO			1
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			行列指定
7	タスク・展開属性			高さ
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			デモシート
11	セル指定属性			
12	シート保護有無			
13	シート保護解除PW			
14	自動計算方法			
15	複数展開指定			
16	高さ列幅設定			30
17	開始位置			25 J
18	終了位置			30 5

#### A·····変更する行の高さを指定

B……行の高さを変更する範囲の開始位置、終了位置を指定

```
Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」
```



A・・・・行の高さ

B····行の高さを変更する範囲

Ν

#### 展開定義(間接)の例

dby

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	4
3	データ展開名			展開_行列指定(414)1列目
4	処理順NO			1
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			行列指定
7	タスク・展開属性			高さ
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			デモシート
11	セル指定属性			間接
12	シート保護有無			
13	シート保護解除PW			
14	自動計算方法			
15	複数展開指定			
16	高さ列幅設定			30
17	開始位置			@行列指定_高さ開始行 ―――
18	終了位置			@行列指定_高さ終了行 ————

A·····変更する行の高さを指定

B····行の高さを変更する範囲の開始位置を指定

C・・・・行の高さを変更する範囲の終了位置を指定





A・・・・行の高さ

B・・・・行の高さを変更する範囲の開始行

C・・・・行の高さを変更する範囲の終了行

#### 展開定義(間接アドレス)の例

dby

	A	B	C	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	4
3	データ展開名			展開_行列指定(414)1列目
4	処理順NO			1
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			行列指定
7	タスク・展開属性			高さ
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			デモシート
11	セル指定属性			間接アドレス
12	シート保護有無			
13	シート保護解除PW			
14	自動計算方法			
15	複数展開指定			
16	高さ列幅設定			30
17	開始位置			@行列指定_高さ開始行位置
18	終了位置			@行列指定_高さ終了行位置

A·····変更する行の高さを指定

B····行の高さを変更する範囲の開始位置を指定

C・・・・行の高さを変更する範囲の終了位置を指定

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



A·····変更する行の高さを指定

B……行の高さを変更する範囲の開始位置を示すセルのアドレスを指定

C……行の高さを変更する範囲の終了位置を示すセルのアドレス指定

「414:行列指定(複数指定:行表示しない)」を実行した結果です。



定義するシート:

dby/

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- 展開定義(展開一覧を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義(複数指定)の例

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	Excelコマンド
4	処理順NO		*	2
5	タスクタイプNO		*	414
6	タスクタイプ名		*	行列指定
7	タスクタイプ属性			複数指定
8	BKNO		*	3
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	DNO			4
12	処理条件判定セル	実行判定		\$行列指定実行判定
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			

#### 展開定義の例

dby

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	4
3	データ展開名			展開_行列指定(414)2列目
4	処理順NO			1
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			行列指定
7	タスク・展開属性			複数指定
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			行列指定
11	セル指定属性			
12	シート保護有無			
13	シート保護解除PW			
14	自動計算方法			
15	複数展開指定			行表示しない
16	高さ列幅設定			
17	開始位置			25 J
18	終了位置			30 /

#### A·····タスク・展開属性:複数指定

B・・・・複数展開指定 : 行表示しない

C・・・・行を表示しないようにする範囲の開始位置、終了位置を指定

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



C・・・・行を表示しないようにする範囲

行の再表示と列の再表示を同じタスクでおこなうには以下のように同一DNOの展開定義に複数の展開 定義を定義します。

# タスク定義(行表示、列表示を同じタスクでおこなう)の例

	А	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	Excelコマンド
4	処理順NO		*	2
5	タスクタイプNO		*	414
6	タスクタイプ名		*	行列指定
7	タスクタイプ属性			複数指定
8	BKNO		*	3
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	DNO			4
12	処理条件判定セル	実行判定		\$行列指定実行判定
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			

#### 展開定義の例

dby

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	4
3	データ展開名			展開_行列指定(414)初期化
4	処理順NO			1
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			行列指定
7	タスク・展開属性			複数指定
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			行列指定
11	セル指定属性			
12	シート保護有無			
13	シート保護解除PW			
14	自動計算方法			
15	複数展開指定			行再表示
16	高さ列幅設定			
17	開始位置			25 J
18	終了位置			30 <b>J</b>

	A	В	C	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	4
3	データ展開名			展開_行列指定(414)1列目
4	処理順NO			2
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			行列指定
7	タスク・展開属性			複数指定
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			行列指定
11	セル指定属性			
12	シート保護有無			
13	シート保護解除PW			
14	自動計算方法			
15	複数展開指定			列幅
16	高さ列幅設定			30
17	開始位置			10 <b>ך</b>
18	終了位置			12 <b>5</b>

A・・・・処理順NO:**1**を指定

B·····タスク・展開属性: 複数指定

C·····複数展開指定 :**行再表示** 

D・・・・行を再表示する範囲の開始位置、終了位置を指定

A' ····処理順NO:2を指定

B'・・・・タスク・展開属性: 複数指定

E·····複数展開指定 :**列再表示** 

F·····列を再表示する範囲の開始位置、終了位置を指定

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」





# 2.98 415: 行表示 タスクタイプ属性(表示しない、再表示)

■ 機能

dby

- タスクタイプ属性に従い、展開定義で指定した範囲の非表示の行を表示したり、表示している行を 非表示にしたりします。
  - タスクタイプ属性 ①再表示 : 非表示の行を表示します。
  - *11* ②**表示しない**: 表示している行を非表示にします。
  - 展開定義に複数の範囲を定義することができます。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	行表示(415)		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	415		
6	タスクタイプ名		*	行表示		
7	タスクタイプ属性			再表示	展開定義に依存	補足①
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			デモシート		
11	DNO			4		
12	処理条件判定セル	実行判定		@列表示実行判定		
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可)同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>415</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>行表示</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	以下から指定します。
	① 再表示 : 非表示の行を再表示する場合
	② 表示しない: 行を非表示にする場合
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
DNO	実行時に Excel に展開するセル位置が定義してある DNO を指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1、5)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4) 詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5) 詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- 複数の範囲の非表示の行を表示したり、複数の範囲の表示している行を非表示にしたりする場合、
   タスク定義情報の読み込みなどのオーバーヘッドのため、タスクで指定する同一DNOの展開定義
   に複数の展開定義を定義するほうが、個々の範囲毎に複数のタスク定義を定義するよりも処理スピ
   ードが速くなります。
- ② 同一 DNO の展開定義内で定義した複数の展開定義毎にタスク・展開属性を自由に変更できます。
- ③ 同一 DNO の展開定義内で定義した複数の展開定義毎に別シートの範囲を指定できます。
- 補足
  - ① タスクタイプ属性は、展開定義に引き継ぎます。
    - タスク定義のタスクタイプ属性と展開定義のタスク・展開定義とが違っている場合、対象とな

る範囲の行の再表示、非表示は、展開定義のタスク・展開属性を優先します。

■ 使用例

dby

「415:行表示(行表示しない)」を実行した結果です。



定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- 展開定義(展開一覧を含みます)

タスク定義の例

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	行表示(415)(行表示)
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	415
6	タスクタイプ名		*	行表示
7	タスクタイプ属性			表示しない
8	BKNO		*	2
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			デモシート
11	DNO			3
12	処理条件判定セル	実行判定		
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			

展開定義の例

dby

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	3
3	データ展開名			展開_行表示(415)(行表示)
4	処理順NO			1 ———
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			行表示
7	タスク・展開属性			表示しない
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			デモシート
11	セル指定属性			
12	シート保護有無			
13	シート保護解除PW			
14	自動計算方法			_
15	開始位置			25
16	終了位置			30

A·····処理順NO:**1**を指定

B・・・・タスク・展開属性:表示しない

C……行を表示しない範囲の開始位置、終了位置を行番号(25,30)で指定

(行番号の表記法は、25、\$25のようにしてください)

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



C····行を表示しない範囲

# 2.99 416:列表示 タスクタイプ属性(表示しない、再表示)

■ 機能

dby

- タスクタイプ属性に従い、展開定義で指定した範囲の非表示の列を表示したり、表示している列を 非表示にしたりします。
  - タスクタイプ属性 ①再表示 : 非表示の列を表示します。
  - *11* ②**表示しない**: 表示している列を非表示にします。
  - 展開定義に複数の範囲を定義できます。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	列表示(416)		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	416		
6	タスクタイプ名		*	列表示		
7	タスクタイプ属性			再表示	展開定義に依存	
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			デモシート	開始時のシート名	
11	DNO			4		
12	処理条件判定セル	実行判定		@列表示実行判定		
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>416</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>列表示</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	以下から指定します。
	① 再表示 : 非表示の列を再表示する場合
	② 表示しない:列を非表示にする場合
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
DNO	実行時に Excel に展開するセル位置が定義してある DNO を指定しま
	す。DNO は展開定義にて登録します。(注1、5)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4) 詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5) 詳細は、『【展開定義リファレンス編】』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- 複数の範囲の非表示の列を表示したり、複数の範囲の表示している列を非表示にしたりする場合、
   タスク定義情報の読み込みなどのオーバーヘッドのため、タスクで指定する同一DNOの展開定義
   に複数の展開定義を定義するほうが、個々の範囲毎に複数のタスク定義を定義するよりも処理スピ
   ードが速くなります。
- ② 同一 DNO の展開定義内で定義した複数の展開定義毎にタスク・展開属性を自由に変更できます。
- ③ 同一 DNO の展開定義内で定義した複数の展開定義毎に別シートの範囲を指定できます。
- 補足
  - ① タスクタイプ属性は、展開定義に引き継ぎます。
    - タスク定義のタスクタイプ属性と展開定義のタスク・展開定義とが違っている場合、対象とな

る範囲の列の再表示、非表示は、展開定義のタスク・展開属性を優先します。

■ 使用例

dby

「415:行表示(行表示しない)」を実行した結果です。



定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- 展開定義(展開一覧を含みます)

タスク定義の例

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	列表示(416)(列表示)
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	416
6	タスクタイプ名		*	列表示
7	タスクタイプ属性			表示しない
8	BKNO		*	2
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			行列表示
11	DNO			3
12	処理条件判定セル	実行判定		
13	定義有効無効フラグ			
14	コメント欄			

展開定義の例

dby

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	3
3	データ展開名			展開_列表示(416)(列表示)
4	処理順NO			1
5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			列表示
7	タスク・展開属性			表示しない ――――
8	定義有効無効フラグ			
9	コメント欄			
10	シート名			行列表示
11	セル指定属性			
12	シート保護有無			
13	シート保護解除PW			
14	自動計算方法			_
15	開始位置			10
16	終了位置			12

A・・・・処理順NO:**1**を指定

B·····タスク・展開属性:表示しない

C·····列を表示しない範囲の開始位置、終了位置を列番号(10,12)で指定

(列番号の表記法は、10、J、\$Jのようにしてください)

Excel シートの定義 Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「デモシート」



C····列を表示しない範囲

# 2.100 417:自動計算 タスクタイプ属性(再計算実行)

■ 機能

db

Excel の計算方式の制御として、本タスクタイプ実行時に再計算を実行します。

Excel では通常、計算方式は自動計算モードになっていますが、データが Excel に入力されるたびに再計 算されるため、タスク実行中に大量のデータを処理している時には処理スピードが著しく遅くなることが あります。そのため、dbSheetClient ではタスク実行中は自動計算を OFF に切り替え、タスク終了時に ON に戻しています。

- ① 再計算実行: 指定された時だけ再計算を実行します。
- ② ON : タスクタイプ属性(ON、OFF)を参照してください。
- ③ OFF: タスクタイプ属性(ON、OFF)を参照してください。

■ 画面イメージ

	A	B	D			
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	8100		
3	タスク名		*	自動計算_再計算実行		
4	処理順NO		*	6		
5	タスクタイプNO		*	417		
6	タスクタイプ名		*	自動計算		
7	タスクタイプ属性		*	再計算実行		
8	BKNO			1		
9	ブック名			Sample.xls		
10	処理条件判定セル	実行判定				
11	定義有効無効フラグ					
12	コメント欄					
13	セル指定属性				直接	
14	汎用パラメータ1	再計算対象		指定シート	プック全体	補足③
15	汎用パラメータ2	再計算シート		自動計算_1;自動計算_2	再計算しない	補足④

]	項目説明	
	TASKNO	
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	
	タスクタイプ名	
	タスクタイプ属性	" <b>再計算実行</b> "を指定します。(省略不可)
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有效
		② 無效
	コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
	セル指定属性	
		<ol> <li>         ① 直接         ③ 間接アドレス     </li> </ol>
		② 間接
	汎用パラメータ 1	
		① ブック全体
		② 指定シート
	汎用パラメータ 2	
		するシート名を列挙して指定します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - "ブック全体"に再計算を実行すると、場合により非常に時間が掛かることがあります。可能な限り
     "指定シート"にて対象を絞り込むようにしてください。
- 補足
  - 複数のタスクを連続的に実行している時には自動計算処理が停止しているため、一連の処理の途中 でタスクがシートに展開した後の値や計算結果を参照する場合には、直前で再計算を実行する必要 があります。
  - ② 他のタスク定義に自動計算のパラメータがある、あるいは展開定義にて計算方法を指定できる場合は、そちらで指定した方がタスク定義情報の読込みなどのオーバーヘッドが少なくなり、処理スピードが改善されます。

但し、本タスクタイプでは複数のシートを指定して一括で再計算を実行できるため、複数のシート にデータを展開したあとで最後にまとめて再計算するような場合には有利です。

- ③ 汎用パラメータ 1: ブック全体を対象に再計算を実行するか、指定したシートのみ再計算を実行 するかを指定します。
- ④ 汎用パラメータ 2: シートを複数列挙する時にはセミコロン(;)で区切ってください。汎用パ ラメータ 1 が"指定シート"でかつ汎用パラメータ 2 が指定なしの場合、再計算は行われません。

# ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	8100	
3	タスク名		*	自動計算_再計算実行	
4	処理順NO		*	6	
5	タスクタイプNO		*	417	
6	タスクタイプ名		*	自動計算	
7	タスクタイプ属性		*	再計算実行	
8	BKNO			1	
9	ブック名			Sample.xls	
10	処理条件判定セル	実行判定			
11	定義有効無効フラグ				
12	コメント欄				
13	セル指定属性				
14	汎用パラメータ1	再計算対象		指定シート ―――	I
15	汎用パラメータ2	再計算シート		自動計算_1;自動計算_2	

A····・セル指定属性が空白の場合は、"直接"を指定することと同様となります。セル指定属性は「汎用 パラメータ 1」と「汎用パラメータ 2」に対して有効です。

B·····汎用パラメータ 1(再計算対象)に"**指定シート**"が指定されたので、「汎用パラメータ 2」が有効 となります。

C……汎用パラメータ2(再計算シート)の指定内容が、再計算実行の対象シートとなります。

別のタスク定義の例を示します。

	A	В	С	D	1
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	8100	
3	タスク名		*	自動計算_再計算実行	
4	処理順NO		*	6	
5	タスクタイプNO		*	417	
6	タスクタイプ名		*	自動計算	
7	タスクタイプ属性		*	再計算実行	
8	BKNO			1	
9	ブック名			Sample.xls	
10	処理条件判定セル	実行判定			
11	定義有効無効フラグ				
12	コメント欄				
13	セル指定属性				
14	汎用パラメータ1	再計算対象			ł
15	汎用パラメータ2	再計算シート		自動計算_1;自動計算_2	t

- D·····汎用パラメータ1(再計算対象)に指定が無いので、"**ブック全体**"を選択した場合と同様になります。
- E·····汎用パラメータ2(再計算シート)は「汎用パラメータ1」により無効なので、設定内容は無視されます。

# 2.101 417:自動計算 タスクタイプ属性 (ON, OFF)

■ 機能

ib🏏

Excel の計算方式の制御として、自動計算モードの ON/OFF をおこないます。 Excel では通常、計算方式は自動計算モードになっていますが、データが Excel に入力されるたびに再計 算されるため、タスク実行中に大量のデータを処理している時には処理スピードが著しく遅くなることが あります。そのため、dbSheetClient ではタスク実行中は自動計算を OFF に切り替え、タスク終了時に ON に戻しています。

- ① 再計算実行: タスクタイプ属性(再計算実行)を参照してください。
- ② ON : 自動計算が ON になり、セルにデータが展開されるたびに再計算されます。そのため、
   処理スピードが遅くなります。
- ③ OFF : 自動計算が OFF になり、再計算指示があるまでは再計算されません。そのため、処理ス ピードが上がります。但し、数式の参照に影響するため注意が必要です。
- 画面イメージ

		<b>クックウギ炉作両支の焼田</b>					
		ダベクル我補未回回の耙囲					
	A	В	C	D			
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処	理	特記事項
2	TASKNO		*	8110			
3	タスク名		*	自動計算_OFF			
4	処理順NO		*	2			
5	タスクタイプNO		*	417			
6	タスクタイプ名		*	自動計算			
7	タスクタイプ属性		*	OFF			
8	BKNO			1			
9	プック名			Sample.xls			
10	処理条件判定セル	実行判定					
11	定義有効無効フラグ						
12	コメント欄						

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。 (省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>417</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>自動計算</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	以下から指定します。(省略不可)
	① <b>ON</b>
	2 OFF
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- ・自動計算モードを ON にして大量のデータをシート上に展開すると、処理スピードが著しく低下す るため、自動計算の ON は必要な時に限定して使用してください。
- 補足

  - ② 他のタスク定義に自動計算のパラメータがある、あるいは展開定義にて計算方法を指定できる場合は、そちらで指定した方がタスク定義情報の読込みなどのオーバーヘッドが少なくなり、処理スピードが改善されます。一定の処理の間、自動計算をONにする必要がある場合に使用します。

# ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	8110	
3	タスク名		*	自動計算_OFF	
4	処理順NO		*	2	
5	タスクタイプNO		*	417	
6	タスクタイプ名		*	自動計算	
7	タスクタイプ属性			OFF	— A
8	BKNO			1	
9	ブック名			Sample.xls	
10	処理条件判定セル	実行判定			
11	定義有効無効フラグ				
12	コメント欄				

A·····させたい処理に合わせて"ON"と"OFF"を指定します。

ー連のタスク定義の途中で、「自動計算(ON、OFF)」を使用している例を示します。(「自動計算」説明の ためのタスクなので、タスクとしての意味は特にありません。)

	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	
1	TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイプNO	タスクタイプ名	タスクタイプ属性	BKNO	プック名	シート名	
2	590	自動計算_Demo	1	417	自動計算	ON	1	Sample.xls		— В
3	590	自動計算_Demo	2	401	直接展開		1	Sample.xls		
4	590	自動計算_Demo	3	410	コピー	数式	1	Sample.xls		
5	590	自動計算_Demo	4	419	ジャンプ	カーソル移動	1	Sample.xls	Demo	
6	590	自動計算_Demo	5	410	コピー	値	1	Sample.xls	Demo	
7	590	自動計算_Demo	6	417	自動計算	OFF	1	Sample.xls		— c
8	590	自動計算_Demo	7	419	コピー	値	1	Sample.xls		
9										
10										

B·····「自動計算(ON)」が指定されましたので、以降の処理は常に自動計算を行うモードとなります。

C·····「自動計算(OFF)」が指定されましたので、以降のタスク処理を終了するまで自動計算を行わな いモードとなります。



# 2.102 418:並べ替え タスクタイプ属性(ダイアログ、自動)

■ 機能

dby

- ① Excel の並べ替え機能を実行します。
- ② タスクタイプ属性の指定により、自動モードか、ダイアログを使用するモードかを選択することができます。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	А	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	並べ替え(商品CD)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	418		
6	タスクタイプ名		*	並べ替え		
7	タスクタイプ属性			自動		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			並べ替え	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		@並べ替え開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	優先キー1		@並べ替え_商品CD		補足①
18	汎用パラメータ2	昇順降順1			昇順	
19	汎用パラメータ3	優先キー2				補足①
20	汎用パラメータ4	昇順降順2			昇順	
21	汎用パラメータ5	優先キー3				補足①
22	汎用パラメータ6	昇順降順3			昇順	
23	汎用パラメータ7	設定確認			何もしない	
24	汎用パラメータ8	並べ替えの方向			行	
25	汎用パラメータ9	先頭行指定			データ	
26	汎用パラメータ10	ふりがなを使う			使う	
27	処理対象セル範囲			@並べ替え_取得域	エラー	補足2

dby

目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	"418"を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>並べ替え</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	
	① ダイアログ
	② 自動
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	
セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	① <b>直</b> 接 ③ 間接アドレス
	② 間接
※ 以下の汎用パラメータ	1~10の設定はタスクタイプ属性が"自動 "の時のみ有効です。
汎用パラメータ 1	優先キー1:最優先されるキーの列の先頭セルを指定します。
	(補足①)
汎用パラメータ 2	
	① 昇順
	② 降順
汎用パラメータ 3	優先キー2: 2番目に優先されるキーとなる列の先頭セルを指定し
	ます。(補足①)
汎用パラメータ 4	
	① 昇順
	② 降順
汎用パラメータ 5	優先キー3: 3番目に優先されるキーとなる列の先頭セルを指定し
	ます。(補足①)
汎用パラメータ 6	
	① 昇順
	② 降順

汎用パラメータ7	.設定確認: デバッグ用の機能です。並べ替えを行った後にダイアロ
	グを表示します。
	① 設定確認
汎用パラメータ 8	.並べ替えの方向:並べ替えを行う方向を指定します。
	① (空白) ③ 列
	② 行
汎用パラメータ 9	.先頭行指定: データ範囲の先頭を指定します。
	① タイトル行
	② データ
汎用パラメータ 10	.ふりがなを使う: ふりがなの使用を指定します。
	<ol> <li>使う</li> </ol>
	② 使わない
処理対象セル範囲	.並べ替えを行うセル範囲のアドレスまたはセル範囲の定義名を指定
	します。(補足②)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

Excel で複数のセルを参照しながら数式を利用して計算を行っている時に、並べ替えをおこなうと、数式が崩れてしまって、予期せぬ計算結果になることがあります。並べ替えをおこなう際には、十分注意してください。

# ■ 補足

- 先頭セル値としては、たとえば3行2列~10行10列のデータ範囲を並べ替える時に、3行5 列目をキーとする場合には、列の指定ではなく、"R3C5"または"E3"と先頭のセルを指定してください。
- ② 並べ替えを行うセル範囲を指定しますが、「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します。

# ■ 使用例

「418:並べ替え」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例(タスクタイプ属性が"自動"の場合)

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	1	
3	タスク名		*	並べ替え_自動(商品CD)	
4	処理順NO		*	2	
5	タスクタイプNO		*	418	
6	タスクタイプ名		*	並べ替え	
7	タスクタイプ属性			自動	
8	BKNO		*	3	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			並べ替え	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性				
17	汎用パラメータ1	優先キー1		@並べ替え_商品CD	
18	汎用パラメータ2	昇順降順1			
19	汎用パラメータ3	優先キー2			
20	汎用パラメータ4	昇順降順2			
21	汎用パラメータ5	優先キー3			
22	汎用パラメータ6	昇順降順3			
23	汎用パラメータ7	設定確認			
24	汎用パラメータ8	並べ替えの方向			
25	汎用パラメータ9	先頭行指定			
26	汎用パラメータ10	ふりがなを使う			
27	処理対象セル範囲			@並べ替え_取得域	

A……商品コード列の先頭行にセットした定義名を指定します。

B……並べ替えを行う領域に付けられた定義名を指定します。

Excel シート

並べ	:替え_取	得域	•	fx					_				
	A	В	С	D	E	F	G	н	I	J	K	L	
1													
2		418	3. 並べ	替えの使用	用方法								
3													
4			機能:	Excelの前	べ替え機能を利用し	て並べ替え	をおこなうこと	ができます	0				
5				¥ Excel ר	複数のセルを参照した	ながら数式	を利用して計算	をおこなっ	ているとぎ	に、並べ替	えをおこな	うと、数式カ	『崩
6				まって、子	刺せぬ計算結果にな	こることがあ	りますので、並	べ替えをお	こなう際に	は、十分注	意する必	要があります	す。
7													
8			操作:	dbSheetC	ientの 各ボタンをクリー	ックして、表	長中のデータが	並べ替えさ	れるのを確	認しましょう	5.		
9				ボタン名の	項目名順に並べ替え	ます。また	エクセルの「並	べ替えダイ	アログ」が著	表示されます	す。		
10													
11													
12			No.	商品コード	商品名	単位	単価	分類					
13		_								— В			
14													
15													
16			-							∧			
1/			-							A			
18			-										
19			-										
20			-										
21			_										

A・・・・セルの定義名:「並べ替え\_商品 CD」

B・・・・セル領域の定義名:「並べ替え\_取得域」

クエリー処理の展開定義「セル展開範囲定義名」で同名の定義名が指定されるために、読み込ん だデータ領域が並べ替え領域の範囲となります。

А

# タスク定義の例(タスクタイプ属性が"ダイアログ"の場合)

	Α	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	並べ替え_ダイアログ
4	処理順NO		*	2
5	タスクタイプNO		*	418
6	タスクタイプ名		*	並べ替え
7	タスクタイプ属性			ダイアログ
8	BKNO		*	3
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			並べ替え
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント欄			
16	セル指定属性			
17	汎用パラメータ1	優先キー1		
18	汎用パラメータ2	昇順降順1		
19	汎用パラメータ3	優先キー2		
20	汎用パラメータ4	昇順降順2		
21	汎用パラメータ5	優先キー3		
22	汎用パラメータ6	昇順降順3		
23	汎用パラメータ7	設定確認		
24	汎用パラメータ8	並べ替えの方向		
25	汎用パラメータ9	先頭行指定		
26	汎用パラメータ10	ふりがなを使う		
27	処理対象セル範囲			@並べ替え_取得域

A……並べ替えを行う領域に付けられた定義名を指定します。

### 実行例

dby

	A	В	C	D	E	F	G	Н	I	J	К	L	
1		_											
2		418	B. 亚^	「替えの使」	11方法								
3			(										
4			機能:	Excelのす	もべ替え機能を利用し	て並べ替え	.をおこなうこと	いできます	D				
5				¥ Excel ₹	複数のセルを参照し	こから数式	を利用して計算	をおこなっ	ているとぎ	に、並べ替	えをおこな	うと、数式か	崩
6				まって、予	朝せぬ計算結果にな	こることかあ	りますので、並	べ替えをお	こなう際に	は、十分済	E意する必要	要かあります	•
7													
8			操作:	dbSheetC	lientの 各ボタンをクリ・	ックして、表	ミ中のデータがす	位べ替えさ	れるのを確	認しましょう	ō		
9				ボタン名の	項目名順に並べ替え	ます。また	ェクセルの「並⁄	、替えタイ	アログ」が著	表示されま	す。		
10													
11													
12			No.	商品コード	商品名	単位	単価	分類					
13			1	27	商品27	箱	2500	1					
14			2	15	商品15	箱	2350	2					
15		_	3	20	商品20	箱	2310	2					
16			4	13	商品13	箱	2150	2					
17			5	14	商品14	箱	2000	2					
18			6	16	商品16	箱	2000	2					
19			7	19	商品19	箱	2000	2					
20			8	21	商品21	箱	並べ替え			? × —			
21			9	23	商品23	箱	是個先される	ut-					
22			10	24	商品24	箱	現象元代は	- 10	○ 昱 順(A)				
23			11	25	商品25	箱		*	○ 好相(D)				
24			12	26	商品26	箱	2 乗日(- 値4	<b>キ</b> キカスキー					
25			13	7	商品7	箱		ECHION -	◎見順(○)				
26			14	11	商品11	箱	19100-6	•	● 発順( <u>)</u>				
27			15	6	商品6	箱	2 米日/-/西本	t*nzk_	C Patrole (11)				
28			16	9	商品9	箱	3番日に優り	EC11077-	◎見順の	_			
29			17	17	商品17	箱		¥	○ 升加eΨ	_			
30		_	18	. 5	商品5	箱			→ // 1 → //				
31			19	4	商品4	箱	データ範囲の	)先頭行		_			
32			20	22	商品22	箱	● タイト	И́т́(В) О́т	r —タ(₩)	_			
33		_	21	. 3	商品3	箱	オプション(	0)	K +++	ンセル			
34		_	22	2	商品2	箱							
35		_	23	10	商品10	箱	1280	2					
36			24	8	商品8	箱	1260	2					
37		_	25	1	商品1	個	1250	1					
38		_	26	18	商品18	箱	1150	2					
39			27	12	商品12	箱	1000	2	ļ				
40													


**dbSheetClient** 



■ 機能

db

指定したセルにカーソルを移動(ジャンプ)します。

- ① カーソル移動: 画面の移動は最小限で、指定したセルにカーソル位置を移動します。
- ② 先頭 : 画面の左上が指定したセルになるようスクロールし、カーソルも移動します。
- ③ 保持 : カーソルは移動しないで表示状態を保持します。

(※ジャンプ先セルが指定されていても、無視します。)

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	8120		
3	タスク名		*	ジャンプ_カーソル移動		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	419		
6	タスクタイプ名		*	ジャンプ		
7	タスクタイプ属性			カーソル移動	カーソル移動	
8	BKNO		*	1		
9	プック名		*	Sample.xls		
10	シート名			ジャンプ		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	複数シート表示番号			1 (メインシート)	補足①
18	汎用パラメータ2	スクリーン制御		更新	何もしない	補足②
19	ジャンプ先セル	カーソル位置		@ジャンプ先	A1	補足③

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	"419"を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>ジャンプ</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	以下から指定します。
	① カーソル移動 ③ 保持
	② 先頭
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>

シート保護解除 PW	シートの保護解除にハ	パスワードが必要な場合に	、そのパスワードを指
	定します。(注2)		
処理条件判定セル	タスク実行を条件によ	り制御する場合に指定し	ます。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	〔ない場合は、" <b>無効</b> "を選	沢します。通常は未入
	力です。(注1、2)		
	① <b>有効</b>		
	② <b>無効</b>		
コメント欄	開発時のメモ書きや修	逐正記録などに使用します。	0
セル指定属性	、汎用パラメータの設定	この仕方を、下記から指定	します。(注4)
	① 直接	③ 間接アドレス	
	② <b>間接</b>		
汎用パラメータ 1	複数シート表示時に位	Z置付けるウィンドウの番	号を指定します。
汎用パラメータ 2	(空白) <b>、"更新</b> "にて、	スクリーン制御方法を指	定します。
	① 更新		
ジャンプ先セル	カーソルを位置付けた	い Excel 上のセル位置を	指定します。(注4)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- ボタンの表示などの制御を伴うシートを切り替えての移動の場合には、「403.シート切替」のタス クタイプを利用すると、一度に処理を実行することができます。(推奨)
- ② タスクタイプ属性で「カーソル移動」を指定した時に、タスク実行後にその位置が画面に表示されない場合には、汎用パラメータ2で"更新"を指定してください。
   ※ "更新"にすると、スクリーンを更新するため、画面が一時的にちらつくことがあります。
- ③ Excel シート上で「ウィンドウ枠の固定」がされている場合、カーソル移動後の表示状態が想定通りにならないことがあります。
- ④ 本タスク機能は、旧 Ver 互換です。次期 Ver では削除される可能性がありますのでご注意下さい。

#### ■ 補足

- ① 汎用パラメータ1: 複数シート表示時に位置付けるウィンドウの番号を指定します。
- ② 汎用パラメータ2: タスクタイプ属性で"カーソル移動"を指定した時に有効となります。
- ③ ジャンプ先セル : タスクタイプ属性で "保持"を指定した時は無視されます。

タスク定義の例を示します。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	8120	
3	タスク名		*	ジャンプ_カーソル移動	
4	処理順NO		*	1	1
5	タスクタイプNO		*	419	
6	タスクタイプ名		*	ジャンプ	1
7	タスクタイプ属性			カーソル移動 ―――	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			ジャンプ ―――	— в
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				]
16	セル指定属性				— c
17	汎用パラメータ1	複数シート表示番号			
18	汎用パラメータ2	スクリーン制御		更新	— D
19	ジャンプ先セル	カーソル位置		@ジャンプ先	— Е

A·····タスクタイプ属性に"**カーソル移動**"を指定しているので、「ジャンプ先セル」の指定に従ってセルを位置付けます。

- B····シート名には通常ジャンプする先のシート名を指定しますが、「ジャンプ先セル」にシート名も含めたセル位置をしてした場合、省略可能です。
- C····・セル指定属性が空白の場合は、"**直接**"を指定することと同様となります。セル指定属性は「汎用 パラメータ 1」、「汎用パラメータ 2」および「ジャンプ先セル」に対して有効です。
- D·····汎用パラメータ2(スクリーン制御)に"更新"を指定しているので、カーソルのジャンプ直後に画面を更新します。
- E・・・・ジャンプ先セルに指定したセル位置にジャンプします。ジャンプ先セルが空白の場合は、"A1" を指定することと同様となります。

パラメータの違いによるジャンプ実行後の状態の差を模式的に示します。

どの例も B3 セルにカーソルがある状態から、F50 セルにジャンプしています。

### ① タスクタイプ属性: "**カーソル移動**"、汎用パラメータ2: (空白)

	А	В	С	D	E	F			Α	В	С	D	E	F
1								1						
2								2						
3								3						
4								4						
5								5						
6							/	6						
7								7						
8								8						
9								9						
10								10						
11								11						
12								12						
13								13						

ジャンプ後に F5O セルに移動はしていますが、画面更新が無いので表示範囲の外にあり見えなくなっています。

	A	В	C	D	E	F			A	B	C	D	E	F
1								38						
2								39						
3								40						
4							1.	41						
5								42						
6							/	43						
7								44						
8								45						
9								46						
10								47						
11								48						
12								49						
13								50						

#### ② タスクタイプ属性: "**カーソル移動**"、汎用パラメータ2: "更新"

ジャンプ後に画面更新したので、ジャンプ先のF50 セルが表示範囲内に収まっています。

#### ③ タスクタイプ属性: "先頭"、汎用パラメータ2: (空白)

	A	В	С	D	E	F			F	G	H	I	J	K
1								50						
2								51						
3								52						
4								53						
5								54						
6							, v	55						
7								56						
8								57						
9								58						
10								59						
11								60						
12								61						
13								62						

タスクタイプ属性が"先頭"なので、ジャンプ後の F50 セルが左上となるように表示されています。汎用パラメータ2は特に指定する必要はありません。

# 2.104 420: セル位置取得 タスクタイプ属性(なし)

■ 機能

db

選択されているセルの位置(シート名、行、列)の情報を取得し、シート上の指定された位置にセットします。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	7410		
3	タスク名		*	セル位置取得		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	420		
6	タスクタイプ名		*	セル位置取得		
7	BKNO		*	1		
8	ブック名		*	Sample.xls		
9	シート名			セル位置取得		
10	シート保護有無					
11	シート保護解除PW					
12	処理条件判定セル	実行判定				
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					
15	セル指定属性					
16	汎用パラメータ1	取得シート名		@セル位置取得_シート名	設定しない。	
17	汎用パラメータ2	取得行番号		@セル位置取得_行NO	設定しない。	
18	汎用パラメータ3	取得列番号		@セル位置取得_列NO	設定しない。	
19	汎用パラメータ4	自動計算			再計算しない。	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

## ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	…自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	…任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	…" <b>420</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	…" <b>セル位置取得</b> "は自動表示します。(省略不可)
BKNO	…タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	…BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	…タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	…シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	…タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	…タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	カです。(注1、2)
	① 有效
	② 無効

コメント欄	.開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。
セル指定属性	汎用パラメータの設定	Eの仕方を、下記から指定します。(注4)
	① 直接	③ 間接アドレス
	② <b>間接</b>	
汎用パラメータ 1	取得したセル位置のシ	ソート名をセットするセルを指定します。
汎用パラメータ 2	.取得したセル位置の行	5番号をセットするセルを指定します。
汎用パラメータ 3	取得したセル位置の列	」番号をセットするセルを指定します。
汎用パラメータ 4	.本タスクタイプ実行前	前後の再計算方法を指定します。(注5)
	① 前再計算	④ シート前再計算
	②後再計算	⑤ シート後再計算

③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

(注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

 本タスクタイプにてセル位置を取得した後、そのセル位置を元に計算した結果を引き続き別の処理 で利用するばあいは、汎用パラメータ4で再計算を指定してください。

## ■ 補足

① 汎用パラメータ4:自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	9.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	9.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	9.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

ib🏏

タスク定義の例を示します。

		A	B	C	D	
	1	タイトル	サプ	*	内容	
	2	TASKNO		*	7410	
	3	タスク名		*	セル位置取得	
	4	処理順NO		*	1	
	5	タスクタイプNO		*	420	
	6	タスクタイプ名		*	セル位置取得	
	7	BKNO		*	1	
	8	ブック名		*	Sample.xls	
	9	シート名			セル位置取得	
	10	シート保護有無				
	11	シート保護解除PW				
	12	処理条件判定セル	実行判定			
	13	定義有効無効フラグ				
	14	コメント欄				
	15	セル指定属性				— A
	16	汎用パラメータ1	取得シート名		@セル位置取得_シート名 ――	— в
I	17	汎用パラメータ2	取得行番号		@セル位置取得_行NO	<u>⊢</u> с
	18	汎用パラメータ3	取得列番号		@セル位置取得_列NO	— D
	19	汎用パラメータ4	自動計算			

A····・セル指定属性が空白の場合は、"直接"を指定することと同様となります。セル指定属性は「汎用 パラメータ 1~4」に対して有効です。

- B·····汎用パラメータ 1(取得シート名)には、取得したセル位置のシート名("Sheet1"等)を格納す るセルを指定します。
- C·····汎用パラメータ2(取得行番号)には、取得したセル位置の行番号(数値)を格納するセルを指定します
- D·····汎用パラメータ3(取得列番号)には、取得したセル位置の列番号(数値)を格納するセルを指定します

実際のセル位置取得の例を模式的に示します。





この例では、"ABC"という名前のシートの "B3" セルが選択されています。

汎用パラメータ1(取得シート名):D8

汎用パラメータ 2(取得行番号): D9

汎用パラメータ3(取得列番号):D10

上記のように指定して「セル位置取得」タスクを実行すると、右側のようにシート名、行番号、列番号を 取得してシート上に展開します。 複数セルを選択している場合の例です。

dby



	А	В	С	D	E	F
1						
2						
3						
4						
5						
6				1		
7						
8			シート名	ABC		
9			行番号	3		
10			列番号	2		
11						
12						
13						
	ABC /					

この例では"B3:C5"のセルが選択されており、"B3"セルがアクティブになっています。 この場合「セル位置取得」タスクを実行すると、右側のように"B3"セルのシート名、行番号、列番号 を取得してシート上に展開します。

	Α	В	С	D	E	F	1		Α	В	С	D	E	F
1							1	1						
2								2						
3								3						
4								4						
5								5						
6							, v	6						
7								7						
8			シート名					8			シート名	ABC		
9			行番号					9			行番号	5		
10			列番号					10			列番号	3		
11								11						
12								12						
13							J	13						
7	<u>ABC</u>													

この例では"B3:C5"のセルが選択されており、"C5"セルがアクティブになっています。 この場合「セル位置取得」タスクを実行すると、右側のように"C5"セルのシート名、行番号、列番号 を取得してシート上に展開します。

# 2.105 421:範囲取得 タスクタイプ属性(選択、名前)

■ 機能

db

選択されている範囲または名前定義されている範囲のアドレス(シート名、行、列)の情報を取得し、シ ート上の指定された位置にセットします。

- ① 選択: 指定されたシートの選択されている範囲を取得します。
- ② 名前: 名前定義されている範囲を取得します。

# ■ 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	7500		
3	タスク名		*	範囲取得_範囲選択		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	421		
6	タスクタイプ名		*	範囲取得		
7	タスクタイプ属性			選択	選択	
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			範囲取得		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	範囲定義名			(実行時にエラー)	補足①
18	汎用パラメータ3	取得範囲フルアドレス		@範囲取得_取得範囲フルアドレ	設定しない。	
19	汎用パラメータ4	取得範囲シート名		@範囲取得_取得範囲シート名	設定しない。	
20	汎用パラメータ5	先頭アドレス左上		@範囲取得_先頭アドレス	設定しない。	
21	汎用パラメータ6	最終アドレス右下		@範囲取得_最終アドレス	設定しない。	
22	汎用パラメータ7	先頭アドレス左上行番号		@範囲取得_先頭アドレス行	設定しない。	
23	汎用パラメータ8	先頭アドレス左上列番号		@範囲取得_先頭アドレス列	設定しない。	
24	汎用パラメータ9	最終アドレス右下行番号		@範囲取得_最終アドレス行	設定しない。	
25	汎用パラメータ10	最終アドレス右下列番号		@範囲取得_最終アドレス列	設定しない。	
26	汎用パラメータ11	自動計算			再計算しない。	補足②

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

**dbSheetClient** 

∎ Ij	頁目説明	
	TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	"421"を入力します。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	
	タスクタイプ属性	
		① 選択
		② 名前
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)
	シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
		定します。(注2)
	処理条件判定セル	
	定義有効無効フラグ	
		力です。(注1、2)
		① 有效
		② 無效
	コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
	セル指定属性	
		<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
		② 間接
	汎用パラメータ 1	範囲取得をする範囲名(定義名)を指定します。
	汎用パラメータ 3	
		を指定します。
	汎用パラメータ 4	
	汎用パラメータ 5	取得した範囲の先頭アドレス(左上)をセットするセルを指定します。
	汎用パラメータ 6	取得した範囲の最終アドレス(右下)をセットするセルを指定します。
	汎用パラメータ 7	取得した範囲の先頭アドレス(左上)の「行番号」をセットするセルを
		指定します。
	汎用パラメータ 8	取得した範囲の先頭アドレス(左上)の「列番号」をセットするセルを
		指定します。
	汎用パラメータ 9	取得した範囲の最終アドレス(右下)の「行番号」をセットするセルを
		指定します。

汎用パラメータ11 ......本タスクタイプ実行前後の再計算方法を指定します。(注5)

- ① 前再計算
   ④ シート前再計算
- ② 後再計算⑤ シート後再計算
- ③ 前後再計算
   ⑥ シート前後再計算
- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- (注5) 詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- 選択範囲については、単一セルまたは連続した矩形範囲のセルのみ対応しています。隣接している 場合を含め、複数の範囲には対応していません。
- ② 名前定義された範囲については、単一セルまたは連続した矩形範囲のセルのみ対応しています。カンマで区切られた複数の範囲には対応していません。
- ③ 矩形範囲において、常に左上を先頭、右下を最終と認識します。セルのアクティブ・非アクティブ とは関係ありません。
- ④ タスクタイプ属性が「名前」の時、汎用パラメータ 1 (範囲定義名)を未指定のまま実行するとエ ラーになります。必ず指定するようにしてください。

#### ■ 補足

- ① 汎用パラメータ1: タスクタイプ属性が「名前」の時に有効となります。
   名前定義だけでなく、"B4:F8"のようなセル範囲も指定可能です。
- ② 汎用パラメータ11:自動計算の選択値とその処理は次の通りです。

設定内容	説明
前再計算	本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行します。
後再計算	本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行します。
前後再計算	本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を実行します。
シート前再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前に再計算を実行し
	ます。
シート後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行した直後に再計算を実行し
	ます。
シート前後再計算	10.シート名のシートのみ、本タスクタイプを実行する直前と直後に再計算を
	実行します。

タスク定義の例を示します。

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	7500	
3	タスク名		*	範囲取得_範囲選択	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	421	
6	タスクタイプ名		*	範囲取得	
7	タスクタイプ属性			選択	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			範囲取得	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性				— В
17	汎用パラメータ1	範囲定義名			
18	汎用パラメータ3	取得範囲フルアドレス		@範囲取得_取得範囲フルアドレ	<u>र</u>
19	汎用パラメータ4	取得範囲シート名		@範囲取得_取得範囲シート名	$\mathbf{X}$
20	汎用パラメータ5	先頭アドレス左上		@範囲取得_先頭アドレス	$\mathbf{i}$
21	汎用パラメータ6	最終アドレス右下		@範囲取得_最終アドレス	) c
22	汎用パラメータ7	先頭アドレス左上行番号		@範囲取得_先頭アドレス行	
23	汎用パラメータ8	先頭アドレス左上列番号		@範囲取得_先頭アドレス列	
24	汎用パラメータ9	最終アドレス右下行番号		@範囲取得_最終アドレス行	/
25	汎用パラメータ10	最終アドレス右下列番号		@範囲取得_最終アドレス列	
26	汎用パラメータ11	自動計算			

A·····タスクタイプ属性に"選択"を指定しているので、シート上で選択されているセル範囲からアド レスを取得します。

B····・セル指定属性が空白の場合は、"**直接**"を指定することと同様となります。セル指定属性は「汎用 パラメータ 1 および 3~11」に対して有効です。

C·····汎用パラメータ3~11 には、取得したセル位置の情報を格納するセルを指定します

実際の範囲取得の例を模式的に示します。

	Α	В	С	D	E	F	G	Н	Ι
1									
2		シート名	開始セル 位置	終了セル 位置	開始行	開始列	終了行	終了列	
3		ABC	\$C\$8	\$F\$12	8	3	12	6	
4		取得	範囲フルアト	ドレス					
5		ABC!\$C\$8	3:\$F\$12						
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
	ABC /	·							

これは、"ABC"という名前のシートの"C8:F12"セルが選択されている時に範囲取得を実行した場合の例です。

汎用パラメータ3~10にて設定したセルに取得した情報が展開されます。

#### もうひとつ別のタスク定義の例を示します。

db

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	7510	
3	タスク名		*	範囲取得_名前	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	421	
6	タスクタイプ名		*	範囲取得	
7	タスクタイプ属性			名前	— D
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			範囲取得	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性				
17	汎用パラメータ1	範囲定義名		@範囲取得_取得域	—— E
18	汎用パラメータ3	取得範囲フルアドレス		@範囲取得_取得範囲フルアドレ	3
19	汎用パラメータ4	取得範囲シート名		@範囲取得_取得範囲シート名	$\mathbf{i}$
20	汎用パラメータ5	先頭アドレス左上		@範囲取得_先頭アドレス	$\backslash$
21	汎用パラメータ6	最終アドレス右下		@範囲取得_最終アドレス	) f
22	汎用パラメータ7	先頭アドレス左上行番号		@範囲取得_先頭アドレス行	
23	汎用パラメータ8	先頭アドレス左上列番号		@範囲取得_先頭アドレス列	/
24	汎用パラメータ9	最終アドレス右下行番号		@範囲取得_最終アドレス行	/
25	汎用パラメータ10	最終アドレス右下列番号		@範囲取得_最終アドレス列 /	
26	汎用パラメータ11	自動計算			

D·····タスクタイプ属性に"名前"を指定しているので、シート上に定義されている名前定義からアド

レスを取得します。また、汎用パラメータ1(範囲定義名)が有効になります。

E……汎用パラメータ1(範囲定義名)に取得する範囲の名前を指定します。

F・・・・汎用パラメータ3~11 には、取得したセル位置の情報を格納するセルを指定します

実際の範囲取得の例を模式的に示します。

	Α	В	С	D	E	F	G	Н	I
1									
2		シート名	開始セル 位置	終了セル 位置	開始行	開始列	終了行	終了列	
3		ABC	\$D\$7	\$G\$13	7	4	13	7	
4		取得	範囲フルアト	ジレス					
5		ABC!\$D\$7	7:\$G\$13						
6		1							
7									
8									
9									
10					@範囲取征	导_取得域			
11									
12									
13									
14									
	ABC /	,							

これは、"ABC"という名前のシートに"範囲取得\_取得域"という名前が定義されている時に、その名前定義範囲の取得を実行した場合の例です。

汎用パラメータ3~10にて設定したセルに取得した情報が展開されます。



**dbSheetClient** 

# 2.106 422: 図の挿入 タスクタイプ属性 (ピクセル指定、ミリ指定、セルサイズ)

■ 機能

db

- ① 指定したセルに図の挿入(画像ファイルの挿入)を行います。
- ② 指定できる画像ファイルのフォーマットは、GIF、JPEG、TIFF です。
- ③ 幅、高さなど、サイズの指定が可能です。
- ④ 複数のファイルの一括挿入が可能です。
- ⑤ ハイパーリンクの設定が可能です。

# ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	図の挿入(422)_複数		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	422		
6	タスクタイプ名		*	図の挿入		
7	タスクタイプ属性			ミリ指定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名				現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		@図の挿入開始判定		
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	ファイル名		@図の挿入_複数_ファイル名		補足①
18	汎用パラメータ2	ダイアログ表示			無し	補足②
19	汎用パラメータ3	ホストを指定		ネットワーク	ネットワーク	補足③
20	汎用パラメータ4	図の横幅		@図の挿入_複数_横幅	元図のサイズ	補足④
21	汎用パラメータ5	図の縦サイズ		@図の挿入_複数_縦高	元図のサイズ	補足④
22	汎用パラメータ6	複数画像数		@図の挿入_複数_個数	1	補足⑤
23	汎用パラメータ7	セルの表示位置		中央	左上	補足⑥
24	汎用パラメータ8	画像のクリア指定		残す	クリア	補足⑦
25	汎用パラメータ9	画像が存在しない時			中断	補足⑧
26	汎用パラメータ10	図のオブジェクト名		@図の挿入_複数_オブジェクト名	自動	補足⑨
27	汎用パラメータ11	ハイパーリンクの設定先		@図の挿入_複数_リンク設定先		
28	汎用パラメータ12	セル名		@図の挿入_複数_セル名		補足10
29	汎用パラメータ13	ファイル名		@図の挿入_複数_リンクファイル		
30	汎用パラメータ14	ヒント設定		@図の挿入_複数_ヒント設定	自動	
31	汎用パラメータ15	セルサイズ比率			1	補足⑪
32	汎用パラメータ16	ミリ調整倍率(横)			1	補足⑫
33	汎用パラメータ17	ミリ調整倍率(縦)			1	補足⑫
34	汎用パラメータ18	縦横比保持			保持しない	補足13
35	処理対象セル範囲		*	@図の挿入_複数_挿入セル	エラー	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■ 項目説明	
TASKNO	
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>422</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	"図の挿入"は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	
	① (空白) ③ ミリ指定
	② ピクセル指定 ④ セルサイズ
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	① 直接 ③ 間接アドレス
	② 間接
汎用パラメータ 1	ファイル名: 画像ファイルのファイル名(パスを含む)を指定しま
	す。(補足①)
汎用パラメータ 2	ダイアログ表示: ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定しま
	す。(補足②)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
汎用パラメータ 3	
	① ネットワーク
	② DBS サーバ
汎用パラメータ 4	図の横幅: 図の横幅サイズを指定します。(補足④)
汎用パラメータ 5	
汎用パラメータ 6	
	ます。(補足⑤)

dby

汎用パラメータ 7	. セルの表示位置:	挿入する際のセル内の基	準となる位置を指定しま
	す。(補足⑥)		
	① 左上	④ 中央上	⑦右上
	② 左中央	⑤ 中央	⑧ 右中央
	③ 左下	⑥ 中央下	⑨ 右下
汎用パラメータ 8	.画像のクリア指定:	事前に挿入済みの画像	<b>寮をクリアするか、そのま</b>
	ま残すかを指定しま	ます。(補足⑦)	
	① クリア		
	② <b>残す</b>		
汎用パラメータ 9	.画像が存在しない問	寺: ファイルがなかった	こ時の動作を指定します。
	(補足⑧)		
	① (空白)	③ 継続	
	② <b>中断</b>		
汎用パラメータ 10	.図のオブジェクト名	る: 図に付けるオブジュ	c クト名を指定します。
	(補足⑨)		
汎用パラメータ 11	.ハイパーリンクの話	設定先: ハイパーリング	つの設定先を指定します。
	① このドキュメン	ト内	
	② ファイルまたは	Web ページ	
汎用パラメータ 12	.セル名: 「ハイノ	ペーリンクの設定先」が、	"このドキュメント内"
	の時、リンク先のも	2ル名を指定します。(補	足⑩)
汎用パラメータ 13	.ファイル名: 「ノ	ヽイパーリンク設定先」た	が"ファイルまたは Web
	<b>ページ</b> "の時、UR	Lまたはファイルパス名	を指定します。
汎用パラメータ 14	.ヒント設定: ハィ	イパーリンクのヒント設定	官文字を指定します。
汎用パラメータ 15	.セルサイズ比率:	タスクタイプ属性が「セル	ルサイズ」の時に有効で、
	セルに対する比率を	を指定します(1.00 のと	さセルサイズと同じ、小
	数点での入力が可能	影。(補足⑪)	
汎用パラメータ 16	.ミリ調整倍率(横)	: タスクタイプ属性が	「ミリ指定」の時に有効
	で、横方向の調整個	音率を指定します。(指定	したサイズどおりに印刷
	されない場合など、	調整するための倍率を挑	旨定します)(補足12)
汎用パラメータ 17	.ミリ調整倍率(縦)	:「ミリ調整倍率(横)」	と同様に、縦方向の調整
	倍率を指定します。	(補足12)	
汎用パラメータ 18	. 縦横比保持: 沉用	ヨパラメータ 4、5 が両方	うとも指定された時に、値
	の小さいほうを基準	崖に縦横比を保持するか、	しないかを指定します。
	(補足⑬)		
	① 保持しない		
	② 保持する		
処理対象セル範囲	.図を挿入するセルを	毛指定します。(省略不可)	(補足⑪)
(注1)詳細は、『開発版リファレ	シスマニュアル』	「第2部 第4章 4.	7各定義の編集方法のシ
ート名を使っている定義	」を参照して下さい。	0	

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - ① 複数ファイルの一括挿入を行う場合は、配列となる領域をシート上に作成して行います。
     → 「セル指定属性」は、"間接"または"間接アドレス"で指定します。
- 補足
  - 存在しないファイルを指定した場合はエラーになります。
     挿入できる図のファイルの拡張子は、「\*.gif」、「\*.jpg」、「\*.jpg」、「\*.tif」、「\*.tif」です。
  - ② 汎用パラメータ1「ファイル名」が指定されていない場合は、「有り」が指定されたものとして処理します。このときの初期フォルダは「マイドキュメント」です。
  - ③ 挿入する図のファイルの保存場所が、DBS サーバ(Web サーバ)内のフォルダの場合には DBS サーバを指定してください。(省略値が"ネットワーク"なので注意!!)
     汎用パラメータ1「ファイル名」が"http://"または"https://"で始まる時は、そのままアドレスとしてファイルを取得します。
  - ④ 横または縦のサイズだけが指定されている時には、元画像の縦横比を自動調整します。
  - ⑤ 「セル指定属性」が"間接"または"間接アドレス"の時だけ画像数を設定することが可能です。 画像数が複数の時は、汎用パラメータ1「ファイル名」、汎用パラメータ4「横幅サイズ」、汎用パ ラメータ5「縦サイズ」、汎用パラメータ10「オブジェクト名」、「ハイパーリンク設定先」(汎用 パラメータ11~13)、「処理対象セル範囲」が行方向に画像数だけ連続して指定されているものと して処理します。(ファイル名が空白の時にはそのままスキップし、指定された画像数まで処理を繰 り返します。)
  - ⑥ "左上"を指定した時は、画像の左上を、セルの左上に合わせます。
  - ⑦ "クリア"指定時は、シート名で指定されている同一シート内の挿入済み画像を一旦クリアした後、
     再度、画像を挿入します。挿入済の画像をそのまま残し、別のセルに画像を挿入させたい時は "残
     す"を指定してください。
  - ⑧ 複数画像の挿入で"中断"を指定した時に、ファイルが1つも見つからなかった場合は、処理の最後でエラー中断します。
  - ⑨ 自動で設定されるオブジェクト名は、「DBSIMG\_シート名\_挿入図ファイル名」です。(ファイル名は パスを除く拡張子までの部分)
  - ⑩ 「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します。
  - 10 タスクタイプ属性が「セルサイズ」の時に有効です。1の時にセルサイズと同じになり、0.9 を指定すると、セルの縦と横に対してそれぞれ 0.9 倍の比率になります。
  - 12 タスクタイプ属性が「ミリ指定」の時に有効です。Excel で印刷した時には、Excel 自体が用紙サイズやプリンタなどに合わせて自動倍率をかけてしまう場合があるため、指定したミリサイズで印刷されないことがあります。また、Excel では横方向と縦方向の比率が異なる場合がありますので、横方向と縦方向それぞれに対して、調整倍率を指定することができます。
  - ③ 汎用パラメータ4「図の横幅」、汎用パラメータ5「図の縦サイズ」がいずれも指定された時に有効です。縦型の画像と横型の画像が混在する時など、縦横比を保持した状態で、指定した縦横のサイズの範囲内に収まるように表示させたい場合があります。そのときに、"保持する"を指定すると縦横比を保持した状態で値をセットします。

ihS

「422:図の挿入」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1	1	
3	タスク名		*	図の挿入(422)_複数	1	
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	422	1	
6	タスクタイプ名		*	図の挿入		
7	タスクタイプ属性			ミリ指定	1	
8	BKNO		*	1	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	1	
10	シート名				1	
11	シート保護有無				1	
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		@図の挿入開始判定	1	
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄				1	
16	セル指定属性			間接	l	А
17	汎用パラメータ1	ファイル名		@図の挿入_複数_ファイル名	Ь	
18	汎用パラメータ2	ダイアログ表示			1	
19	汎用パラメータ3	ホストを指定		ネットワーク	$  \geq$	
20	汎用パラメータ4	図の横幅		@図の挿入_複数_横幅	$   \rangle$	
21	汎用パラメータ5	図の縦サイズ		@図の挿入_複数_縦高	$P \setminus$	
22	汎用パラメータ6	複数画像数		@図の挿入_複数_個数	$\vdash$	В
23	汎用パラメータ7	セルの表示位置		中央		
24	汎用パラメータ8	画像のクリア指定		残す		
25	汎用パラメータ9	画像が存在しない時				С
26	汎用パラメータ10	図のオブジェクト名		@図の挿入_複数_オブジェクト名	Ь /	
27	汎用パラメータ11	ハイパーリンクの設定先		@図の挿入_複数_リンク設定先		
28	汎用パラメータ12	セル名		@図の挿入_複数_セル名	$\succ$	
29	汎用パラメータ13	ファイル名		@図の挿入_複数_リンクファイル		
30	汎用パラメータ14	ヒント設定		@図の挿入_複数_ヒント設定	μ	
31	汎用パラメータ15	セルサイズ比率				
32	汎用パラメータ16	ミリ調整倍率(横)				
33	汎用パラメータ17	ミリ調整倍率(縦)			1	
34	汎用パラメータ18	縦横比保持				
35	処理対象セル範囲		*	@図の挿入_複数_挿入セル		

A・・・・「セル指定属性」に"間接"を指定します。

B……複数画像数には配列となる領域の件数の格納されたセルの定義名を指定します。

C……配列となる領域のそれぞれの位置を定義名で指定します。

#### Excel シート

dby



A····セルの定義名:「図の挿入\_複数\_個数」

- → 式:「=COUNTA(\$D\$23:\$D\$31)」を定義
- B・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_ファイル名」
- C・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_横幅」
- D・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_縦高」
- E・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_挿入セル」
- F・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_オブジェクト名」
- G……セルの定義名:「図の挿入\_複数\_リンク設定先」
- H・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_セル名」
- |・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_リンクファイル」
- J……セルの定義名:「図の挿入\_複数\_ヒント設定」

# 2.107 423: 図のクリア タスクタイプ属性 (ALL、個別)

■ 機能

dby

- ① 図の挿入で Excel シート上に挿入した図をクリアします。
- ② タスクタイプ属性で① "ALL"を指定すると、起動後に作成した図を全てクリアします。② "個別"を指定すると、指定した図だけをクリアすることができます。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
-	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	図のクリア		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	423		
6	タスクタイプ名		*	図のクリア		
7	タスクタイプ属性			個別		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			図の挿入	全シートの挿入図を削除	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定			@図のクリア開始判定	
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	クリア数		@図の挿入_複数_個数		補足①
18	汎用パラメータ2	オブジェクト名		@図の挿入_複数_オブジェクト名		補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

貝曰詋叻	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>423</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	"図のクリア"は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	挿入した全ての図をクリアするか、個別の図をクリアするかを指定し
	ます。(省略不可)
	1 ALL
	② 個別
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	
セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	クリア数: クリアするオブジェクトの個数を指定します。(補足①)
汎用パラメータ 2	オブジェクト名: クリアするオブジェクトの名称を指定します。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

# ■ 使用上の注意

- ① 手動で挿入した図はクリアの対象外です。
- ② シートを指定した場合は、該当シートの図が対象です。省略した場合は全シートの図が対象となります。
- 補足

dby

クリアする画像が複数であっても、オブジェクト名が全て同一の場合は「1」を指定します。
 オブジェクト名の異なる複数の画像を削除するためには、Excel シート上に、削除するオブジェクト名を行方向に列挙し、一番上のセルを、汎用パラメータ2で指定します。
 汎用パラメータ1で指定する個数と、列挙するオブジェクト名の個数は一致するように指定してください。

db

「423:図のクリア」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	図のクリア
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	423
6	タスクタイプ名		*	図のクリア
7	タスクタイプ属性			個別
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			図の挿入
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント欄			
16	セル指定属性			間接
17	汎用パラメータ1	クリア数		@図の挿入_複数_個数
18	汎用パラメータ2	オブジェクト名		@図の挿入_複数_オブジェクト名

A・・・・クリアする画像の個数の格納されたセルを指定します。

B……クリアする画像のオブジェクト名の格納されたセルを指定します。





A・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_個数」

→ 式:「=COUNTA(\$D\$23:\$D\$31)」を定義

B・・・・セルの定義名:「図の挿入\_複数\_オブジェクト名」

# 2.108 424: 行列挿入 タスクタイプ属性(行挿入、列挿入、セル行挿入、セル列挿入)

■ 機能

db

指定された開始位置に、行(列)を挿入します。

同時に、挿入された行(列)に対して、指定されている範囲の書式や数式をコピーすることが可能です。

- ① 行挿入: 指定された行の"後"または"手前"に指定された分の行を挿入します。
- ② 列挿入: 指定された列の"後"または"手前"に指定された分の列を挿入します。
- ③ セル行挿入: 指定された範囲の "後" または "手前" に指定された分の行を挿入します。
- ④ セル列挿入: 指定された範囲の "後" または "手前" に指定された分の列を挿入します。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	524		
3	タスク名		*	行挿入		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	424		
6	タスクタイプ名		*	行列挿入		
7	タスクタイプ属性		*	行挿入		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			テスト		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			直接		
17	汎用パラメータ1	開始位置	*	5	(省略不可)	補足①
18	汎用パラメータ2	挿入回数		3	1	補足②
19	汎用パラメータ3	挿入方向		後	後	補足③
20	汎用パラメータ4	コピー元範囲		4	コピーしない	補足①、④
21	汎用パラメータ5	コピー属性		書式	コピーしない	補足④

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注	1、2)
タスク名	.自動表示します。(省日	格不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同一会	タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>424</b> "を入力します	。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>行列挿入</b> "は自動表示	します。(省略不可)
タスクタイプ属性	.以下から指定します。	(省略不可)
	① 行挿入	③ セル行挿入
	② 列挿入	④ セル列挿入
BKNO	.タスク実行する Exce	lファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用:	定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブ	ック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示す	「るなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)	
シート保護有無	シートに保護がかけら	られている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)	
	② 有り	

**dbSheetClient** 

シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを		
	定します。(注2)		
処理条件判定セル	.タスク実行を条件に	より制御する場合に指定します。(注1、4)	
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させた	くない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入	
	カです。(注1、2)		
	① 有効		
	② 無効		
コメント欄	.開発時のメモ書きや	修正記録などに使用します。	
セル指定属性	. 汎用パラメータの設	定の仕方を、下記から指定します。(注4)	
	① 直接	③ 間接アドレス	
	2 間接		
汎用パラメータ 1	.「アクティブセル」	or 開始行 or 開始列 or 開始セル範囲:開始位	
	置を指定します。		
汎用パラメータ 2	.挿入回数:挿入処理	を実行する回数を指定します。	
汎用パラメータ 3	.挿入方向を指定しま	す。	
	① 後		
	② <b>手前</b>		
汎用パラメータ 4	.「アクティブセル」	or コピー元の範囲:コピー元範囲を指定します。	
汎用パラメータ 5	.コピー属性を指定し	ます。(410.コピーのタスクタイプ属性で指定で	
	きる内容を全て指定	できます。)	
	① 全部	⑦ 罫線を除くすべて	
	2 数式	⑧ 列幅	
	③ <b>値</b>	③ 数式と数値の書式	
	④ 書式	⑩ 値と数値の書式	
	⑤ 入力規則	⑪ 書式・コメント・入力規則・列幅	

⑥ コメント

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- コピー元の範囲は、行や列を挿入後に範囲を取得するため、挿入後に位置が変わるような場合には 注意が必要です。
- ② 汎用パラメータ5で"全部"、"数式"が指定されている時には、指定された範囲の数式以外の文字 や値もコピーされるので注意が必要です。
- ③ 連結されたセルが含まれる行や列の書式をコピーすると、コピー元範囲が複数行(列)に拡張され るので注意が必要です。
- ④ 挿入される範囲とコピーされる範囲が不整合の場合、挿入範囲を超えてコピーが行われ、結果として元からあったセルの内容を上書いて消してしまうことや、逆に挿入範囲のうち一部にしかコピーがされないことがあります。(Excelの機能に準じています。)
   挿入の範囲とコピーの範囲は、整合が取れるように注意してください。
- ⑤ 汎用パラメータ1および4において、5:5のように\$を付けずに数字とコロン(!)のみの組み合わせの形式は使用できません。
- ⑥ その他コピーに伴う注意事項は、「410:コピー」を参照してください。

## ■ 補足

- ① 汎用パラメータ 1,4:
  - 「アクティブセル」: 実行直前に選択されているセルまたは行(列)が対象となります。
     名前定義を使用しないで指定する場合は、以下のように指定してください。
  - ①行挿入の時: 5行目に挿入→ 5 または \$5 または \$5:\$5 (行全体を指定します)
  - ②列挿入の時: C列目(3列)に挿入 → \$C または \$C:\$C または 3 (列全 体を指定します)
  - ③セル行挿入、④セル列挿入: セルの範囲を指定します。
- ② 汎用パラメータ2: 汎用パラメータ1が1行(列)の場合は、そのまま挿入行(列)数に一致します。
   汎用パラメータ1が複数行(列)の時には、[開始行(列)数×挿入回数]になります。
- ③ 汎用パラメータ3: 汎用パラメータ1で指定された行(列)の"後"に挿入するか、"手前"に 挿入するかを指定します。
   Excelでは行や列の挿入は選択された行や列の"手前"に挿入されますが、汎用パラメータ3が未 指定の時には"後"に挿入します。
- ④ 汎用パラメータ 4,5: 汎用パラメータ 4、5 が未指定の場合でも、Excel と同様挿入処理時に手前の行(列)の書式が自動的にコピーされます。

行挿入のタスク定義の例を示します。

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	524	
3	タスク名		*	行挿入	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	424	
6	タスクタイプ名		*	行列挿入	
7	タスクタイプ属性		*	行挿入 ————————————————————————————————————	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			テスト1	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性			直接	— В
17	汎用パラメータ1	開始位置	*	\$6:\$7	— c
18	汎用パラメータ2	挿入回数		2	— D
19	汎用パラメータ3	挿入方向		後	— Е
20	汎用パラメータ4	コピー元範囲		\$2:\$3	F
21	汎用パラメータ5	コピー属性		全部	G

A·····タスクタイプ属性に"行挿入"を指定しているので、開始位置から行単位でセルを挿入します。

- B····・セル指定属性に"**直接**"を指定します。セル指定属性は「汎用パラメータ 1~5」に対して有効で す。
- C·····汎用パラメータ 1 (開始位置)には「行挿入」を開始する位置を指定します。この例では "\$6:\$7" と2行を指定したので、2行単位で挿入されます。
- D・・・・汎用パラメータ2(挿入回数)には「行挿入」を実行する回数を指定します。この例では"2"と指定したので、「汎用パラメータ1」と合わせて2×2=4 行挿入されます。
- E·····汎用パラメータ3(挿入方向)には挿入する際に開始位置の後に挿入するか、開始位置の手前に挿入 するかを指定します。この例では"後"を指定したので、開始位置の後(下)から挿入されます。
- F・・・・汎用パラメータ4(コピー元範囲)には挿入された行に対してコピーする範囲を指定します。この例 では"\$2:\$3"と2行を指定したので、2行単位でコピーされます。
- G·····汎用パラメータ5(コピー属性)にはコピーを実行する際の属性を指定します。この例では"全部" を指定したので、コピー元範囲の内容が全部コピーされます。

実際の行挿入の例を模式的に示します。





"\$6:\$7"の下に4行分が挿入され、挿入された行には "\$2:\$3"が「全部」コピーされています。

列挿入のタスク定義の例を示します。

db

	A	B	C	D	1
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	524	
3	タスク名		*	行挿入	
4	処理順NO		*	2	
5	タスクタイプNO		*	424	
6	タスクタイプ名		*	行列挿入	
7	タスクタイプ属性		*	列挿入	— A'
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			テスト1	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				i i
16	セル指定属性			直接	—— B'
17	汎用パラメータ1	開始位置	*	\$D	—— C'
18	汎用パラメータ2	挿入回数		1	— D'
19	汎用パラメータ3	挿入方向		後	—— E'
20	汎用パラメータ4	コピー元範囲		\$C	—— F'
21	汎用パラメータ5	コピー属性			—— G'

A'…・タスクタイプ属性に"列挿入"を指定しているので、開始位置から列単位でセルを挿入します。

B····セル指定属性に"直接"を指定します。セル指定属性は「汎用パラメータ1~5」に対して有効です。

- C····汎用パラメータ 1(開始位置)には「列挿入」を開始する位置を指定します。この例では"\$D"と 指定したので、1 列単位で挿入されます。
- D····汎用パラメータ 2(挿入回数)には「列挿入」を実行する回数を指定します。この例では"1"と指定したので、「汎用パラメータ 1」と合わせて 1×1=1 列挿入されます。
- E·····汎用パラメータ3(挿入方向)には挿入する際に開始位置の後に挿入するか、開始位置の手前に挿入 するかを指定します。この例では"後"を指定したので、開始位置の後(右)から挿入されます。
- F<sup>2</sup>····汎用パラメータ4(コピー元範囲)には挿入された列に対してコピーする範囲を指定します。この例では "SC"と指定したので、1列単位でコピーされます。
- G····汎用パラメータ 5(コピー属性)にはコピーを実行する際の属性を指定します。この例では"書式" を指定したので、コピー元範囲の書式のみがコピーされます。

実際の列挿入の例を模式的に示します。



"\$D"の右に1行分が挿入され、挿入された行には "\$C"の「書式」 がコピーされています。

セル行挿入のタスク定義の例を示します。

db

	Α	B	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	524	
3	タスク名		*	行挿入	
4	処理順NO		*	3	
5	タスクタイプNO		*	424	
6	タスクタイプ名		*	行列挿入	
7	タスクタイプ属性		*	セル行挿入 ――――	—— A"
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			テスト1	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性			直接	— В"
17	汎用パラメータ1	開始位置	*	\$C\$4:\$D\$5	—— C"
18	汎用パラメータ2	挿入回数		2	—— D"
19	汎用パラメータ3	挿入方向		手前 ————	—— E"
20	汎用パラメータ4	コピー元範囲		\$B\$2:\$C\$3	–––– F"
21	汎用パラメータ5	コピー属性		書式	—— G"

- A"・・・・タスクタイプ属性に"セル行挿入"を指定しているので、開始位置で指定した範囲から行方向で セルを挿入します。
- B"・・・・セル指定属性に"**直接**"を指定します。セル指定属性は「汎用パラメータ 1~5」に対して有効です。
- C"・・・・汎用パラメータ 1(開始位置)には「セル行挿入」を開始する位置を指定します。この例では "\$C\$4:\$D\$5" と2行に渡って指定したので、2行単位で挿入されます。
- D"・・・・汎用パラメータ2(挿入回数)には「列挿入」を実行する回数を指定します。この例では"2"と指定したので、「汎用パラメータ1」と合わせて2×2=4行分挿入されます。
- E"……汎用パラメータ3(挿入方向)には挿入する際に開始位置の後に挿入するか、開始位置の手前に挿入 するかを指定します。この例では"**手前**"を指定したので、開始位置の手前(上)から挿入され ます。
- F"・・・・汎用パラメータ4(コピー元範囲)には挿入された列に対してコピーする範囲を指定します。この例 では "\$B\$2:\$C\$3" と2行に渡って指定したので、2行単位でコピーされます。
- G"・・・・汎用パラメータ 5(コピー属性)にはコピーを実行する際の属性を指定します。この例では"書式" を指定したので、コピー元範囲の書式のみがコピーされます。

実際のセル行挿入の例を模式的に示します。





"\$C\$4:\$D\$4"の上から4行分(\$C\$4:\$D\$7)が挿入され、挿入された行には "\$B\$2:\$C\$3"の「書 式」がコピーされています。

# 2.109 425:チェックボックス設定 タスクタイプ属性(追加)

■ 機能

dby

チェックボックスを指定セルに挿入します。

→ チェックボックスの削除については、タスクタイプ属性(削除)を参照してください。

■ 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	チェックボックス設定		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	425		
6	タスクタイプ名		*	チェックポックス設定		
7	タスクタイプ属性			追加		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			チェックボックス設定	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定		@チェックボックス設定開始判定	2	
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		
17	汎用パラメータ1	挿入位置	*	@チェックボックス・挿入位置	エラー	補足①
18	汎用パラメータ2	表示文字列		@チェックボックス・表示文字を	なし	補足②
19	汎用パラメータ3	リンクセル		@チェックボックス・リンクセ/	エラー	補足③
20	汎用パラメータ4	横幅サイズ		@チェックボックス・横幅サイス	セル幅に合わせる	補足④
21	汎用パラメータ5	初期値		@チェックボックス・初期値	O (FALSE)	補足⑤
22	汎用パラメータ6	チェックボックス数		@チェックボックス・ボックス*	1	補足⑥
23	汎用パラメータ7	挿入方向		@チェックボックス・挿入方向	行	
24	汎用パラメータ8	挿入ステップ数		@チェックボックス・挿入ステ	1	補足⑦
25	汎用パラメータ9	セル内位置		@チェックボックス・セル内位置	左中央	補足8
26	汎用パラメータ10	オブジェクト名		@チェックボックス・オブジェク	自動	補足⑨

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>425</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	. " <b>チェックボックス設定</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	. " <b>追加</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	<ol> <li>(2) 有り</li> </ol>
シート保護解除 PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)

db

定義有効無効フラグ	タスクを実行させたく	くない場合は、" <b>無効</b> "を	選択します。通常は未入				
	力です。(注1、2)						
	① 有効						
	② 無効						
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。						
セル指定属性	…下記からセルの指定方式を選択します。(注4)						
	<ol> <li>         ① 直接         ③ 間接アドレス     </li> </ol>						
	2 間接						
汎用パラメータ 1	…挿入位置: チェック	フボックスを挿入するセ	2ルを指定します。				
	(省略不可)(補足①)						
汎用パラメータ 2	表示文字列: チェッ	ックボックスに表示する	る文字列を入力します。				
	(補足②)						
汎用パラメータ3	リンクセル: リング	2するセルを指定します	す。(補足③)				
汎用パラメータ 4	横幅サイズ: チェックボックスの横幅サイズのピクセルを指定しま						
	す。(補足④)						
汎用パラメータ 5	初期値: チェックオ	ドックスの初期値を指定	ミします。(補足⑤)				
汎用パラメータ 6	チェックボックス数	: 挿入するチェック7	ドックスが複数ある時に、				
	数を指定します。(補	足⑥)					
汎用パラメータ 7	挿入方向: 複数挿2	い時に行方向か列方向た	)を指定します。				
	① (空白)	③ 列					
	② 行						
汎用パラメータ 8	挿入ステップ数: 褚	夏数挿入時にステップ数	ጷ(次の行 or 列までの増				
	分)を指定します。(補足⑦)						
汎用パラメータ 9	セル内位置: チェッ	クボックスをセル内の	どの位置を基点として挿				
	入するかを指定します	す。(補足⑧)					
	① 左上	④ 中央上	⑦右上				
	② 左中央	⑤ 中央	⑧ 右中央				
	③ 左下	⑥ 中央下	⑨ 右下				
汎用パラメータ 10	オブジェクト名: チ	- ェックボックスにつけ	るオブジェクト名を指定				
	します。(補足⑨)						

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

## ■ 使用上の注意

- チェックボックスの追加には処理時間を要しますので、事前に必要な数量を作成しておくなど、 自動設定する数量が大量にならないようにしてください。
   下記の時間は、作成するチェックボックスの個数に対する処理時間の目安です。
  - 10個:1~2秒
  - 100 個:10~20 秒

### ■ 補足

- チェックボックスをどのセルに挿入するかを指定します。「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します。
- ② 文字列がない場合は、チェックボックスだけを表示します。文字列が長すぎると、セルからはみ出 すことがあります。
- ③ リンクするセルには、チェックボックスをクリックすると、ON: "TRUE"、OFF: "FALSE"の 文字が表示されます。「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します
- ④ チェックボックスの横幅のサイズを指定します。文字が入力されている場合には、必ずしも、指定したサイズにはなりません。
- ⑤ チェックボックスの初期値(0、1、9)の意味は、次の通りです。
  - O: チェックされていない状態 (FALSE)
  - ・ 1: チェックされた状態(TRUE)
  - 9: リンクセルの値が FALSE の場合はチェックされていない状態に、TRUE の場合はチェックされた状態に設定
- ⑥ 3を入力した時には、汎用パラメータ7で指定された行または列方向に、汎用パラメータ8のステ ップ数に従って3個のチェックボックスを連続的に挿入します。
- ⑦ 3を指定すると、3行(列)ずつカウントアップしながら、2行(列)分、間隔を空けてチェックボックスを挿入します。
- 8 指定できる値は、①"左上"、②"左中央"、③"左下"、④"中央上"、⑤"中央"、⑥"中央下"、
   ⑦"右上"、⑧"右中央"、⑨"右下"です。

「425:チェックボックス設定(追加)」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	チェックボックス設定		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	425		
6	タスクタイプ名		*	チェックボックス設定		
7	タスクタイプ属性			追加		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			チェックボックス設定		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接		А
17	汎用パラメータ1	挿入位置	*	@チェックボックス・挿入位置	)	
18	汎用パラメータ2	表示文字列		@チェックボックス・表示文字列		
19	汎用パラメータ3	リンクセル		@チェックボックス・リンクセル		
20	汎用パラメータ4	横幅サイズ		@チェックボックス・横幅サイズ		
21	汎用パラメータ5	初期値		@チェックボックス・初期値	$\searrow$	R
22	汎用パラメータ6	チェックボックス数		@チェックボックス・ボックス数	(	U
23	汎用パラメータ7	挿入方向		@チェックボックス・挿入方向		
24	汎用パラメータ8	挿入ステップ数		@チェックボックス・挿入ステップ数		
25	汎用パラメータ9	セル内位置		@チェックボックス・セル内位置	J	
26	汎用パラメータ10	オブジェクト名		@チェックボックス・オブジェクト名	/	

A……「セル指定属性」を"間接"で指定します。

B……挿入するチェックボックスの処理条件を定義名で指定します。

- @チェックボックス・挿入位置
- @チェックボックス・表示文字列
- @チェックボックス・リンクセル
- @チェックボックス・初期値
- @チェックボックス・ボックス数
- @チェックボックス・挿入方向
- @チェックボックス・挿入ステップ数
- @チェックボックス・セル内位置
- @チェックボックス・オブジェクト名

Excel シート

dby



A……処理条件に対して、それぞれの定義名を設定した領域

- B·····「@チェックボックス・挿入位置」で間接的に指定されたセル 赤枠の領域にチェックボックスが挿入されます。
- C·····「@チェックボックス・リンクセル」で間接的に指定されたセル 赤枠の領域のセルにチェックボックスの値がリンク付けられます。
- D・・・・チェックボックスのリンクセルの値により、値を表示させています。
  - → 式の定義:「=IF(D18=<sup>///</sup>,<sup>///</sup>,IF(D18=TRUE,<sup>/</sup>開く<sup>/</sup>,<sup>/</sup>閉じる<sup>/</sup>))」

💌 di	5. <b>≇1</b> −	Samp	leタスクタイ:	7V4_ΡΙι	ıs.xls [読み	取り専用]							
	A	В	С		D	E	F	G	н	I	J	К	
1			_										
2		425	. チェック	7ボック	ス設定								
3													
4									-				
5			│ 機能:Excelの機能「ツールバー」の「フォーム」にある「チェックボックス」を指定されたセルに挿入し、リンクセルネ										
6			追加したチェックボックスを削除することができます。										
7													
8													
9			操作:	チェッ	ク作成	ボタンをク	リックすると	、チェックボ	ックスを作り	或します。			
10							L						
11				チェッ	ク削除	ボタンをク	リックすると	、チェックボ	ックスを削り	除します。			
12													
13													
14													
10													47
17			£	.h	絵田		Mo	da sola	中國合	<b><i><b>¬</b>=<i>H</i></i></b>	债书		141 人位:
18			<u> </u>	<u>м</u> л			1	内容401	内容801		備表 🗛		1年八位 表テ文:
19				ック ック	FALSE		2	内容A01	内容802	問じる	備老山山		エンクセ
20				<u>ארי</u> איל	TRUE		3	内容A03	内容B03	<u>                                    </u>	備老山山		構幅サ
21			Γ Ŧτ	 ック	FALSE		4	内容A04	内容B04	閉じる	備者AA		初期值
22			₩ fi	ック	TRUE		5	内容AO5	内容B05	開く	備考 AA		チェック
23			∏ fr	ック	FALSE		6	内容A06	内容B06	閉じる	備考AA		挿入方
24			🔽 Ŧ1	ック	TRUE		7	内容A07	内容B07	開く	備考AA		挿入ス
25			🗌 🗐 🗐	ック			8	内容A08	内容B08		備考_AA		セル内
26			∏ <del>∫</del> fr	ック			9	内容A09	内容B09		備考_AA		オブジェ
27			∏ fī	ック			10	内容A10	内容B10		備考_AA		
28			🗆 🗖 Ŧī	ック			11	内容A11	内容B11		備考_AA		
29			🗆 🗆 Ŧī	ック			12	内容A12	内容B12		備考_AA		


#### 2.110 425:チェックボックス設定 タスクタイプ属性(削除)

■ 機能

db

- チェックボックス設定で追加したチェックボックスを削除します。(チェックボックスの追加 については、タスクタイプ属性(追加)を参照してください。)
- ② 汎用パラメータ1(削除モード)で① "ALL"を指定すると、起動後に追加したチェックボックスを全てクリアします。② "個別"を指定すると、指定したチェックボックスだけをクリアします。

#### ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	2		
3	タスク名		*	チェックボックス設定_削除		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	425		
6	タスクタイプ名		*	チェックボックス設定		
7	タスクタイプ属性			削除		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			チェックボックス設定	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	削除モード		ALL		補足①
18	汎用パラメータ2	削除数				補足②
19	汎用パラメータ3	オブジェクト名				補足②

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

#### ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>425</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	. " <b>チェックボックス設定</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	. " <b>削除</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)

- カです。(注1、2) ① 有効 2 無効 セル指定属性......下記からセルの指定方式を選択します。(注4) ③ 間接アドレス ① 直接 2 間接 汎用パラメータ1......削除モード: 削除モードを指定します。(補足①) 1 ALL 2 個別 す。(補足2) 汎用パラメータ 3.....クステレン オブジェクト名: 削除するチェックボックスのオブジェクト名を指 定します。(補足③)
  - (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
  - (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
  - (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
  - (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① 予めシート上に作成してあったチェックボックスは削除の対象外です。
- ② シートを指定した場合は、該当シートのチェックボックスが対象です。省略した場合は全シートのチェックボックスが対象となります。

#### ■ 補足

- ① 削除モードの意味は次のとおりです。
  - ALL : 起動後に描画した全てのチェックボックスを削除します。(シート名が指定されている 場合は、指定シート内のチェックボックスを削除します)
  - 個別 :オブジェクト名を指定して個別にチェックボックスを削除します。(シート名が指定されている場合は、指定シート内のチェックボックスを削除します)
- ② 削除するチェックボックスが複数であっても、オブジェクト名が全て同一の場合は「1」を指定します。オブジェクト名の異なる複数のチェックボックスを削除するためには、Excelシート上に、削除するオブジェクト名を行方向に列挙し、一番上のセルを、汎用パラメータ3で指定します。 汎用パラメータ2で指定する個数と、列挙するオブジェクト名の個数は一致するように指定してください。
- 使用例

省略(類似例として、「423:図のクリア」等を参照してください。)

#### 2.111 426:ハイパータスク実行設定 タスクタイプ属性(セルにリンク設定)

■ 機能

db🟏

- ① セルにハイパーリンクを設定して、ハイパータスクの実行可能なセルを自動作成します。
   ⇒「汎用パラメータ 1~5」の設定。
- ② 同一設定のハイパーリンクのセルを行方向または列方向に複数の自動作成が可能です。
   ⇒「汎用パラメータ6~8」の設定。
- ③ ハイパーリンクのセルの表示形式(表示位置、フォントサイズや色など)の指定が可能です。
   ⇒「汎用パラメータ9」、「汎用パラメータ11~14」の設定。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		_
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9220		
3	タスク名		*	ハイパータスク実行設定(セルにリン	ンク設定)	
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	426		
6	タスクタイプ名		*	ハイパータスク実行設定		
7	タスクタイプ属性		*	セルにリンク設定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			ハイパータスク実行設定例	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	実行ボタン挿入位置		@セルリンク1設定位置	エラー	
18	汎用パラメータ2	表示文字列		SQL照会へ	なし	
19	汎用パラメータ3	セル参照先			汎用パラメータ1と同じ	補足①
20	汎用パラメータ4	セル参照先の文字列			汎用パラメータ2と同じ	補足②
21	汎用パラメータ5	ヒント設定			汎用パラメータ2と同じ	補足③
22	汎用パラメータ6	同時設定数			1	補足④
23	汎用パラメータア	挿入方向			行	補足⑤
24	汎用パラメータ8	挿入ステップ数			1	補足⑥
25	汎用パラメータ9	設定位置		左中央	中央	補足⑦
26	汎用パラメータ10	セルの識別名			自動	補足⑧
27	汎用パラメータ11	表示文字列のフォントサイズ			自動	補足⑨
28	汎用パラメータ12	表示文字列の色		3	0(自動)	補足10
29	汎用パラメータ13	参照先フォントサイズ			自動	補足①
30	汎用パラメータ14	参照先色番号			0(自動)	補足⑫

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目	目説明					
	TASKNO	任意。(省略不可)(氵	主1、2)			
	タスク名	TASKNO 設定によ	りタスク名は自動設定されます。			
	処理順 NO	任意。同一タスク内	で処理する順番を指定します。(省略不可)			
	タスクタイプ NO	" <b>426</b> "を指定します	。(省略不可)(注1、3)			
	タスクタイプ名	タスクタイプNO設	定により" <b>ハイパータスク実行設定</b> "が自動設定さ			
		れます。				
	タスクタイプ属性	"セルにリンク設定"	を指定します。(省略不可)			
	BKNO	タスク実行する Exc	ael ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。			
		BKNO はブック運用	l定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)			
	ブック名	BKNO 設定によりこ	ブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)			
	シート名	タスク実行時に表示	するなど、基準とするシートを指定します。			
		(注1、2)				
	シート保護有無	シートに保護がかけ	られている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)			
		① (空白)				
		② 有り				
	シート保護解除PW	シートの保護解除に	パスワードが必要な場合に、そのパスワードを指			
		定します。(注2)				
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し				
		ます。セルの値によ	ってタスクの実行制御を行います。(注1、4)			
		セルの値:"True"=実行する、"False"=実行しない				
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、"無効"を指定します。通常は未入				
		力です。(注1、2)				
		① 有効				
		② 無効				
	コメント欄	開発時のメモ書きや	修正記録などに使用します。			
	セル指定属性	汎用パラメータの各	項目をセル上から指定する場合、そのセル位置			
		(アドレス)指定の属	生を指定します。(注4)			
		① <b>直接</b>	③ 間接アドレス			
		<ol> <li>② 間接</li> </ol>				
	汎用パラメータ 1	ハイパーリンクを設	定する <b>セル</b> を指定します。(省略不可)			
	汎用パラメータ 2	ハイパーリンクを設	定するセルに <b>表示する文字列</b> を指定します。			
	汎用パラメータ 3	ハイパーリンクでリ	ンクされる先( <b>セル参照先</b> )を指定します。			
	汎用パラメータ 4	セル参照先に <b>表示す</b>	<b>る文字列</b> を指定します。			
	汎用パラメータ 5	ハイパーリンクのΓ	<b>ヒント設定」の文字列</b> を指定します。			
	汎用パラメータ 6	同時に作成する <b>ハイ</b>	<b>パーリンクの数</b> を指定します。			
	汎用パラメータ 7	複数作成する場合の	行列方向を指定します。			
		① (空白)	③ 列			
		② 行				
	汎用パラメータ 8	複数作成する場合の	<b>ステップ数</b> (次の行または列までの増分)を指定			
		します。				

汎用パラメータ 9	.表示する文字列のセル	のの基点とする位置を	E指定します。
	① 左上	④ 中央上	⑦ 右上
	② <b>左中央</b>	⑤ 中央	⑧ 右中央
	③ 左下	⑥ 中央下	9 右下
汎用パラメータ 10	.作成するハイパータス	スクの実行可能なセル	に任意の <b>識別名</b> を指定し
	ます。		
汎用パラメータ 11	. 「汎用パラメータ2」	に設定する文字列の <b>フ</b>	<b>ォントサイズ</b> を指定しま
	す。		
汎用パラメータ 12	. 「汎用パラメータ2」	に設定する文字列の <b>フ</b>	<b>ォントの色番号</b> を指定し
	ます。		
汎用パラメータ 13	. 「汎用パラメータ 4」	に設定する文字列の <b>フ</b>	<b>ォントサイズ</b> を指定しま
	す。		
汎用パラメータ 14	. 「汎用パラメータ 4」	に設定する文字列の <b>フ</b>	<b>ォントの色番号</b> を指定し
	ます。		

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ハイパータスクの実行可能なセルを作成するのには処理時間(10個:1~2秒、100個:10 ~20秒)を要します。このため、あらかじめシート上に作成するなどして、本タスクタイプから 自動作成する数量が多くならないようにしてください。
- ② 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。

#### ■ 補足

- 「汎用パラメータ3」で、ハイパーリンクでリンクされる先(セル参照先)を指定します。省略した場合は、「汎用パラメータ1」と同じセルになります。
   参照先のセルは、必ず同じシート内に指定してください。
- ② 「汎用パラメータ4」で、セル参照先に表示する文字列を指定します。省略した場合は、「汎用パラ メータ2」と同じ文字列になります。
- ③ 「汎用パラメータ 5」で、ハイパーリンクの「ヒント設定」の文字列を指定します。省略した場合は、「汎用パラメータ 2」と同じ文字列になります。
- ④ 「汎用パラメータ 6」で、同時に作成するハイパーリンクの数を指定します。省略した場合は、1
   (個)になります。
- 5 「汎用パラメータ7」で、複数作成する場合の行列方向("行"/"列")を指定します。省略した場合 は、「行」になります。
- ⑥ 「汎用パラメータ 8」で、複数作成する場合のステップ数(次の行または列までの増分)を指定します。省略した場合は、1(ステップ)になります。
- ⑦ 「汎用パラメータ 9」で、表示する文字列のセル内の基点とする位置を指定します。省略した場合は、「左中央」になります。
- ⑧ 「汎用パラメータ 10」で、作成するハイパータスクの実行可能なセルに任意の識別名を指定します。省略した場合は、自動で "DBSHYPCell\_シート名\_連番"(連番はタスク実行ごとに 1 からスタート)の識別名になります。 この識別名は、別タスク(タスクタイプ属性:セルのリンク削除)で、個別に削除する場合に必要となります。
- 「汎用パラメータ 11」で、「汎用パラメータ 2」に設定する文字列のフォントサイズを指定します。
   省略した場合は、「自動」(システムが自動調整)になります。
- 「汎用パラメータ12」で、「汎用パラメータ2」に設定する文字列のフォントの色番号(O:自動/
   1:黒/2:白/3:赤/4:黄緑/5:青...)を指定します。省略した場合は、「O:自動」になります。(指定可能な全てのフォントの色番号は「表1.文字フォントの色 No」を参照)
- ① 「汎用パラメータ 13」で、「汎用パラメータ 4」に設定する文字列のフォントサイズを指定します。
   省略した場合は、「自動」(システムが自動調整)になります。
- ① 「汎用パラメータ14」で、「汎用パラメータ4」に設定する文字列のフォントの色番号(O:自動/
   1:黒/2:白/3:赤/4:黄緑/5:青...)を指定します。省略した場合は、「O:自動」になります。(指定可能な全てのフォントの色番号は「表1.文字フォントの色 No」を参照)

N	0		NC	)	NC	)	NC	)	NC	)	NC	D
1	index1	黒	11	index11	21	index21	31	index31	41	index41	51	index51
2		白	12	index12	22	index22	32	index32	42	index42	52	index52
3	index3	赤	13	index13	23	index23	33	index33	43	index43	53	index53
4	index4	黄緑	14	index14	24	index24	34	index34	44	index44	54	index54
5	index5	青	15	index15	25	index25	35	index35	45	index45	55	index55
6	index6	黄色	16	index16	26	index26	36	index36	46	index46	56	index56
7	index7	紫	17	index17	27	index27	37	index37	47	index47		
8	index8	水色	18	index18	28	index28	38	index38	48	index48		
9	index9	茶	19	index19	29	index29	39	index39	49	index49		
10	index10	緑	20	index20	30	index30	40	index40	50	index50		

表1. 文字フォントの色 No

#### ■ 使用例

◎「セルにリンク設定」ボタンを押すと、リンクセル作成場所(セル位置G14)にハイパータスク実行 用リンクセルを作成します。このリンクセルをクリックすると、Excelの「ページ設定」画面を表示す るような使用例を示します。リンクセルの動作は、画面上部のボタンエリアにある「ページ設定」ボタ ンを押した時と同じ動作をするようになっています。

尚、「セルのリンク削除」ボタンの動作については、本マニュアルの「タスクタイプ属性:セルのリンク削除」の「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。

🗭 サンブルアブリケーション【デパッグ】user:Manual5 🕴	
ファイル(圧) デバッグ(型) ヘルプ(圧) 御旧 プロジェクト: サンプルアプリケーション 🔍 💉 🚺 10	0 % ○ 50 ○ 75 ○ 100 ○ 150 ○ 範囲ス〜ム
メニュー 再 2万ップ停止	
>12)ハイパータスク実行(セルリンク)	
▲ www. 「 Sample.xis [読み取り専用] [互換モード] - dbS.#1	- = ×
A B C D E F G H	I J K L M
▼メニューを選択してください。▼ 1	
-12)ハイパータスク実行設定(セルにリンク設定、セルのリンク削除)	
13)ハイパータスク実行(33)	
ファイル操作タスクタイプ 4 4	
- 1)ファイルアッフロード(322.) 5 機能:セルにハイパーリンクを設定して、ハイパータスク実行用リンクセル	を自動作成したり、作成したリンクセルを削除します。
- 5)サーバフォルボ制度(341 9) 撮作・ セルにリンク設定 まかった押すと ハイパータフク定行用リンクセ	しを作成します
6)ファイルフォルダコピー(34 10	
外部接続用タスクタイプ 11 セルのリンク削除 ボタンを押すと、ハイパータスク実行用リンクセ	ルを削除します。
- 1)外部アプリ起動(501)【3 12	
- 2)クリップボード(502)【新】 13	
- 3)マクロ起動(503) リンクセル作成場所→	
	の「ページ設定」画面を表示します



🥺 サンブルアプリケーション【デバッグ】ロ		
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧 プロジェクト: サンブルアプリケーション	🗴 🔿 50 🔿 75 🔘 100 🔘 150 🔘 範囲ス~ム
終了 標準サイス ・ 画面リフレッ	ッシュ ページ設定 セルルコンク設定 セルのリンク削除	
メニュー 再 ステップ停止		
>12)ハイパータスク実行(セルリンク)	「Ri Sample vis [辞礼] [万地子ード] - あS #1	
Menu		
▼メニューを選択してください。▼		
-12)ハイパータスク実行( A -13)ハイパータスク実行( A	2 パークスク美行設定(ビルにリンク設定、ビル 「セルにリンク	フ設定」ボタンを押す 🛑 📗
ファイル操作タスクタイプ	4	
- 1)ファイルアッフロード(322. - 2)ファイルダウンロード(323	■ ■ 機能:セルにハイバーリンクを設定して、ハーと、"ページ設定	ごというハイパータスク  ます。
- 3)ファイル属性(324)【新】		
- 5)サーバフォルダ削除(341	■ <sup>●</sup> 操作: セルにリンク設定 ボタンを 関す 美行用リンクセ	ルを作成します。
- 6)ファイルフォルダコピー(34	10 20001205000 ポタンを増えた いイバータフク実行用リンクセ	しを削除します
「ページ設定」		
を押した時も、		
	リンクセルをクリックするとExcel	の「ページ設定」画面を表示します。
の「ページ設定		
	m	• I
	ページ設定 ? 🗙	
	ページ設定 <sup>*</sup>	"をクリックすると、Excel
		愛定」 画面を表示します。
	拉大縮小印刷	
	◎ 拡大/縮小(△): 100 ♥ %	
	○ 次のページ数に合わせて印刷(E): 横 1 ♥ × 縦 1 ♥	
	(日本) 10 年 17 (日本) 10 (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11)	
	牛頭パージ番号(R) 自動	
	OK ++>>tz/L	



db

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3)タスク定義
- 4) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
1020 4	12)ハイバータスク実行(セルリンク)	1	Sample.xls	ハイバータスク実行_セルリンク	0	1020

#### 2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラグ	ガイダンス
1020	1	ページ設定	1 0 2 0 0	ハイバータスク実行_ページ設定			
1020	2	セルにリンク設定	10210	ハイバータスク実行」セルにリンク設定			
1020	3	セルのリンク削除	1 0 2 2 0	ハイパータスク実行」セルのリンク削除			

3) タスク定義の例(「ページ設定」ボタン、「セルにリンク設定」ボタンのタスクのみ)

※TASKNO:10200 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	1 02 00
3	タスク名		ж	ハイバータスク実行_ページ設定
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	430
6	タスクタイブ名		*	EXCELコマンド
- 7	タスクタイプ属性			ファイル_ページ設定
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			

※TASKNO:10210 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイトル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	10210
3	タスク名		ж	ハイバータスク実行_セルにリンク設定
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	426
6	タスクタイブ名		ж	ハイバータスク実行設定
- 7	タスクタイプ属性		*	セルにリンク設定
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート 名			ハイバータスク実行」セルリンク
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	実行ボタン挿入位置	ж	@リンクセル作成位置
18	汎用バラメータ2	表示文字列		ページ設定
19	汎用バラメータ3	セル参照先		
20	汎用バラメータ4	セル参照先の文字列		
21	汎用バラメータ5	ヒント 設定		
22	汎用バラメータ6	同時設定数		
23	汎用バラメータ7	挿入方向		
24	汎用バラメータ8	挿入ステップ数		
25	汎用バラメータ9	設定位置		中央
26	汎用バラメータ10	セルの識別名		
27	汎用バラメータ11	表示文字列のフォントサイズ		
28	汎用バラメータ12	表示文字列の色		3
29	汎用バラメータ13	参照先フォントサイズ		
30	汎用バラメータ14	参照先色番号		

4) Excel シートの定義(Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「ハイパータスク実行\_セルリンク」)

	A	В	C	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	M
1													
2		ハイ	バータス	ク実行設定(	セルにリン	ノク設定、も	zルのリンク削除)						
3													
4													1
5													
6			一 礎能:	セルにハイバ	ニリンクを	設定して、ノ	ヽイバータスク実行用!	リンクセルを	自動作成し	たり、作成	したリンクも	≥ルを削除	します。
7													
0													
0			18.45.	セルコレック	課 <del>会</del> まん	かった切すと	いてきこわった実行	用いったわ	した作成しま	ंत			
10			<b>*</b> IF•	27012323		× / °C 1T 9 C		mode	V C IF JAC A	. 9 .			
11			1	セルのリンク	御除 まれ	ケッを掴すと	いえばニタフク実行	田山っカセー	山友削除山	a d			
10				210 05 55 5	Table 1	2261190		m)///	C Hibro a				
19													
10													
14					リンクセル	作成場所⇒	▲						
15													
16							リンカセルをクリックで	るとExcel	の「ページ』	安定 画面を	表示します		
17									<b>_</b>			ľ.	
						/							
ЖE	Exce	el の	「名育	前の定義_	」で、」	以下 <b>/</b> Dt	こルに名前を知	È義して	こおきま	す。			

名前	参照範囲(セル)	セルの内容(値または数式)
リンクセル作成位置	G14	なし





# 2.112 426:ハイパータスク実行設定

■ 機能

dby

別タスクの「タスクタイプ属性(セルにリンク設定)」で作成したハイパータスク実行用リンクセルのリ ンク設定を削除(全て削除または個別削除)します。

⇒「汎用パラメータ1~4」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	B	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9230		
3	タスク名		*	ハイパータスク実行設定(セルのリ)	ンク削除)	
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	426		
6	タスクタイプ名		*	ハイパータスク実行設定		
7	タスクタイプ属性		*	セルのリンク削除		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SamplexIs		
10	シート名			ハイパータスク実行設定例	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	削除モード		ALL	ALL	補足①
18	汎用パラメータ2	削除数			1	補足②
19	汎用パラメータ3	削除リンクセル識別名				補足③
20	汎用パラメータ4	クリアモード		値	値	補足④

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

項目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"426"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプNO設定により" <b>ハイパータスク実行設定</b> "が自動設定さ
	れます。
タスクタイプ属性	"セルのリンク削除"を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>         ① 直接         ③ 間接アドレス     </li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	削除モードを指定します。
	1 ALL
	② 個別
汎用パラメータ 2	個別削除の場合の <b>削除する数</b> (識別名単位)を指定します。
汎用パラメータ 3	削除するハイパータスク実行用リンクセルの <b>識別名(セル位置)</b> を指
	定します。
汎用パラメータ 4	セル参照先のセルのクリアモードを指定します。
	<ol> <li>全て</li> </ol>
	2 <b>値</b>

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - 「シート名」の項目でシート名が指定されている場合は、そのシート内のみが削除対象になります。
     シート名が省略された場合は、ブックの全シートが削除対象になります。
  - ② 個別削除で数を指定する場合、削除するハイパータスク実行用リンクセルが複数でも、作成時の識別名が同一の時は、それで1つとなります。(削除する数の単位は識別名となります。)
  - ③ 個別削除で複数の識別名を指定する場合、Excel シートのセル上に削除する識別名を行方向(1行 目、2行目...)に列挙し、1行目のセルを「汎用パラメータ3」で指定するようにします。このた め、「セル指定属性」の項目は、「間接」か「間接アドレス」を設定してください。
  - ④ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保 護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を 行う必要があります。

#### ■ 補足

- 「汎用パラメータ1」で、削除モードの指定をします。
   ALL: 起動後に作成したハイパータスク実行用リンクセルをシート名に応じて全て削除します。
   個別:識別名を指定して、識別名単位ごとに個別に削除します。
   省略した場合は、「ALL」になります。
- ② 「汎用パラメータ2」で、個別削除の場合の数(識別名単位)を指定します。省略した場合は 1 になります。
- ③ 「汎用パラメータ 3」で、削除するハイパータスク実行用リンクセルの識別名(セル位置)を指定します。削除する識別名が1つの場合は、直接識別名を指定できますが、複数ある場合は、Excelシートのセル上に識別名を行方向(1行目、2行目...)に列挙し、1行目のセル位置を指定するようにします。
- ④ 「汎用パラメータ 4」で、セル参照先のセルのクリアモードを指定します。
   値 :書式はそのままで値のみをクリアします。
   全て:書式と値などの全てをクリアします。
   省略した場合は、「値」になります。

#### ■ 使用例

◎「セルのリンク削除」ボタンを押すと、「セルにリンク設定」ボタンで作成したハイパータスク実行用 リンクセル(セル位置 G14)を削除する使用例を示します。

尚、「セルにリンク設定」ボタン、「ページ設定」ボタンの動作については、本マニュアルの「タスクタ イプ属性(セルにリンク設定)」の「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。

🤓 サンプルアプリケーション【デバッグ】			#1												
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧	プロジ	ェクト: サン	ペルアプリケー	ション		~		<	> 100	) x 🔿 50 🔿 '	75 🔿 100 🔿	150 🔿 範囲ス	-4	
終了 標準サイス • 画面リフレッ	91		《ージ設定	) (tuu	コンク設定	セルのリンク削	lîr 🗎								
メニュー 再 ステップ停止															
>12)ハイパータスク実行(セルリンク)	💽 Sa	ample.xls	[読み 取)	0専用][互	換モード] - dt	oS.#1									x
		A	в	С	D	E	F	0	à	Н	I	J	K	L	M 🕎
: ▼メニューを選択してくたさい。▼	1		1. 7.3		⇔∕≕∌∿⇔	(Jan (=11))	,万利中 。	211001107	5818金)						
	2		<u>//1//</u>	-275	天门这正	(ビルにワノ		-100975							
	4														
- 1)ファイルアップロード(322	5			-			B. 1751								
- 2)ファイルダウンロード(323	6			飯配で	1012/17	ハーリンクをi	設定して、ノ	111-92	ГЬ	11-1	12,53	лф I	*		÷,
- 3)ファイル属性(324)【新】	7								12	ルに」	ノンショ	这正」	ホタン	「CTFP	
- 4)ファイル選択ダイアログ(:	8			_											
	9		技	¢fF: _t	21レビリンク	設定する	シを押すと	、ハイバー	たハ	イパー	-タスク	7実行師	ヨリン	クセル	
- 6/ノアイルノオルタコピー(34) 外部注続田均2月27~	10			C +	21601127	遺服会 まる	いた切すと		/C/ ·		////		577	/ _//	0
- 1)外部アプリ記動(501)[3	12				_10 07 57 7	Training 11.2	2. C 1T 9 C			7		<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>			
- 2)クリップボード(502)【新】	13									$\sim$					
- 3)マクロ起動(503)						リンクセルチ	乍成提所⇒	12-2	/##						
- 4)外部DLL呼び出し	14					127001	F104-98171 - 1		C BXAE						
オンライン保守	15							115-042-0	たわけ、カゴ	ZYE	ID Fot 27	24 cm ( an an A		-	
- 1)ケータ(米寸(601)【新】オ ギカンキリ約	17							92960	200909	SCEXCE	1001-1-21	않た! @Ш~	ACTION 9	•	
C miller >	18														
	1					1	ш					1	1	1	▶ [
<u>ا</u> ن ا															



🥺 サンブルアプリケーション【デバッグ】u	user: Manual5 #1
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルブ(H)	(項目) プロジェクト: サンプルアプリケーション ダ 【 】 ● 100 % ○ 50 ○ 75 ○ 100 ○ 150 ○ 範囲ス〜ム
終了 標準サイズ ・ 画面リフレッジ	201 (ページ設定) セルロリンク制定 セルのリング制除
メニュー 再 ステップ停止	
>12)ハイパータスク実行(セルリンク)	■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
Menu	
12)ハイパータスク実行( 🔺	2 ハイバータスク実行設定(セルにリンク設定、セルのリンク削除)
	3
ファイル操作タスクタイプ	_ 4 \
- 1)ファイルアップロード(322.	5 機能:セルにハイバーリンクを設定して、ハイバータ
- 2)ファイルタウンロード(323	
- 3)ファイル周1王(324)【新】	(1)
- 4/2/11/2番/(スイアロク)(3 5)サーバフォルガ省/(除(341	
6)ファイルフォルダコピー(34	10 年行日リンクセルが削除されます
外部接続用タスクタイプ	
- 1)外部アプリ起動(501)【3	12
2)クリップボード(502)【新】	13
3)マクロ起動(503)	リンクセル作成場所⇒
- 4)外部DLL呼び出し	
オンフイン保守	10 11 10 11 12 小力セルをクリックオスをたいのの低くった静空に画面を実生します
- 1 / テーダ1米寸(601 / 1和] オー ギカン車(約)	10 17 17
<	18



db

- ◎定義するシート:
  - 1)メニュー定義
  - 2)ボタン定義
  - 3) タスク定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO	階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
1020	4	12)ハイバータスク実行(セルリンク)	1	Sample.xls	ハイバータスク実行_セルリンク	0	1020

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO	ポタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラク	ガイダンス
1020	1	ページ設定	1 0 2 0 0	ハイパータスク実行_ページ設定			
1020	2	セルにリンク設定	10210	ハイバータスク実行_セルにリンク設定			
1020	3	セルのリンク削除	10220	ハイバータスク実行_セルのリンク削除			

3)タスク定義の例(「セルのリンク削除」ボタンのタスクのみ)

※TASKNO:10220 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	ቃብኑ ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	10220
3	タスク名		ж	ハイバータスク実行_セルのリンク削除
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	426
6	タスクタイブ名		*	ハイバータスク実行設定
-7-	タスクタイブ属性		*	セルのリンク削除
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			ハイパータスク実行_セルリンク
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	削除モード		ALL
18	汎用バラメータ2	削除数		
19	汎用バラメータ3	削除リンクセル識別名		
20	汎用バラメータ4	クリアモード		



## 2.113 426:ハイパータスク実行設定

■ 機能

db🟏

- ① セルにハイパーリンクを設定して、ハイパータスク実行用のボタンを自動作成します。
   ⇒「汎用パラメータ 1~5」の設定。
- ② 同一設定のハイパータスク実行用のボタンを行方向または列方向に複数の自動作成が可能です。
   ⇒「汎用パラメータ6~8」の設定。
- ③ ハイパータスク実行用のボタンの表示形式(表示位置、ボタン文字のフォントサイズや色、ボタンサイズや色など)の指定が可能です。
   ⇒「汎用パラメータ9」、「汎用パラメータ11~16」、「汎用パラメータ18~20」の設定。
- ④ ハイパータスク実行用ボタン(「タスク NO」方式)を自動作成します。
   ⇒「汎用パラメータ 17= "タスク NO"」と「TASKJUMPNO1」、の設定。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9240		
3	タスク名		*	ハイパータスク実行設定(実行ボタ)	ン追加)	
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	426		
6	タスクタイプ名		*	ハイパータスク実行設定		
7	タスクタイプ属性		*	実行ボタン追加		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	SamplexIs		
10	シート名			ハイパータスク実行設定例	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	実行ボタン挿入位置		@ボタンリンク1設定位置	エラー	
18	汎用パラメータ2	表示文字列		SQL照会へ	なし	
19	汎用パラメータ3	セル参照先		@ボタンリンク1設定位置	汎用パラメータ1と同じ	補足①
20	汎用パラメータ4	セル参照先の文字列		DBS#4200	汎用パラメータ2と同じ	補足②
21	汎用パラメータ5	ヒント設定			汎用パラメータ2と同じ	補足③
22	汎用パラメータ6	同時設定数			1	補足④
23	汎用パラメータ7	挿入方向			行	補足⑤
24	汎用パラメータ8	挿入ステップ数			1	補足⑥
25	汎用パラメータ9	設定位置		中央	左中央	補足⑦
26	汎用パラメータ10	オブジェクト名			自動	補足⑧
27	汎用パラメータ11	表示文字列のフォントサイズ			自動	補足⑨
28	汎用パラメータ12	表示文字列の色			O (自動)	補足⑪
29	汎用パラメータ13	参照先フォントサイズ			自動	補足⑪
30	汎用パラメータ14	参照先色番号			O (自動)	補足⑫
31	汎用パラメータ15	ボタンの形状			ボタン形式	補足(3)
32	汎用パラメータ16	ボタンの色番号		2	67(灰色)	補足⑭
33	汎用パラメータ17	起動方法			ボタン	補足15
34	汎用パラメータ18	サイズの指定方法		ピクセル	比率	補足16
35	汎用パラメータ19	横サイズ		72	セルの横*0.8	補足⑪
36	汎用パラメータ20	縦サイズ		24	セルの縦*0.8	補足18
37	TASKJUMPNO1			0	実行しない	補足⑲

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

項目説明	
TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	"426"を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	タスクタイプNO設定により" <b>ハイパータスク実行設定</b> "が自動設定さ
	れます。
タスクタイプ属性	"実行ボタン追加"を指定します。(省略不可)
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② <b>間接</b>
汎用パラメータ 1	ハイパーリンクを設定してハイパータスクの実行可能なボタンを設
	定する <b>セル</b> を指定します。(省略不可)
汎用パラメータ 2	
汎用パラメータ 3	ハイパーリンクでリンクされる先( <b>セル参照先</b> )を指定します。
汎用パラメータ 4	セル参照先に <b>表示する文字列</b> を指定します。
汎用パラメータ 5	ハイパーリンクの「 <b>ヒント設定」の文字列</b> を指定します。
汎用パラメータ 6	
汎用パラメータ 7	複数作成する場合の行列方向を指定します。
	① (空白) ③ 列
	② 行

db

汎用パラメータ8	.複数作成する場合のス	<b>、テップ数</b> (次の行また	は列までの増分)を指定
	します。		
汎用パラメータ9	.作成するボタンのセル	内の基点とする位置を	指定します。
	① 左上	④ 中央上	⑦ 右上
	② <b>左中央</b>	⑤ 中央	⑧ 右中央
	③ 左下	⑥ 中央下	9 右下
汎用パラメータ 10	.ハイパータスク実行す	「能なボタンに任意のス	オブジェクト名(識別名)
	を指定します。		
汎用パラメータ 11	. 「汎用パラメータ2」	に設定する文字列の <b>フ</b>	<b>ォントサイズ</b> を指定しま
	す。		
汎用パラメータ 12	. 「汎用パラメータ2」	に設定する文字列の <b>フ</b>	<b>ォントの色番号</b> を指定し
	ます。		
汎用パラメータ 13	. 「汎用パラメータ 4」	に設定する文字列の <b>フ</b>	<b>ォントサイズ</b> を指定しま
	す。		
汎用パラメータ 14	. 「汎用パラメータ 4」	に設定する文字列の <b>フ</b>	<b>ォントの色番号</b> を指定し
	ます。		
汎用パラメータ 15	.ボタンの形状を指定し	<i>、</i> ます。	
	① ボタン	③ <b>角丸め</b>	
	② <b>矩形</b>	④ 楕円	
汎用パラメータ 16	. <b>ボタンの色番号</b> を指定	言します。	
汎用パラメータ 17	.ハイパーリンクで起動	するタスクの起動方法	を指定します。
	① ボタン	③ ボタン名	
	② タスク NO		
汎用パラメータ 18	.ボタンサイズの設定方	ī法(" <b>比率</b> "/"ピクセル	")を指定します。
	① 比率		
	② ピクセル		
汎用パラメータ 19	.ボタンの横サイズ( <b>比</b>	(率またはピクセル値)	を指定します。
汎用パラメータ 20	.ボタンの縦サイズ( <b>出</b>	<b>二率またはピクセル値</b> )	を指定します。
TASKJUMPNO1	.「汎用パラメータ 17	」で「タスク NO」が	指定された時の実行する
	タスク NO を指定しま	ます。	

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ハイパータスクの実行可能なボタンを作成するのには処理時間(10個:2~3秒、100個:2 0~30秒)を要します。このため、あらかじめシート上に作成するなどして、本タスクタイプから自動作成する数量が多くならないようにしてください。
- ② ハイパータスク実行可能なボタンに指定する識別名は、オートシェイプや図を特定するための「オ ブジェクト名」として管理されます。これにより、Excelの数式バーの左端の「名前ボックス」で 確認や変更したりすることが可能になります。
- ③ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を行う必要があります。
- ④ ハイパータスク実行用ボタン(「タスク NO」方式)を有効するには、本タスク前に「304.ハイパー実行制御」の設定で、"有効"にする必要があります。

#### ■ 補足

- 「汎用パラメータ 3」で、ハイパーリンクでリンクされる先(セル参照先)を指定します。省略した場合は、「汎用パラメータ 1」と同じセルになります。参照先のセルは、必ず同じシート内に指定してください。
- ② 「汎用パラメータ4」で、セル参照先に表示する文字列を指定します。文字列の形式は "DBS!ボタン名"または"DBS#タスクNO"の形式で指定してください。省略した場合は、"DBS!{汎用パラメータ2の文字列}"になります。
- ③ 「汎用パラメータ 5」で、ハイパーリンクの「ヒント設定」の文字列を指定します。省略した場合は、「汎用パラメータ 2」と同じ文字列になります。
- ④ 「汎用パラメータ6」で、同時に作成するハイパーリンクの数を指定します。省略した場合は、1
   (個)になります。
- ⑤ 「汎用パラメータ7」で、複数作成する場合の行列方向("行"/"列")を指定します。省略した場合 は、「行」になります。
- ⑥ 「汎用パラメータ 8」で、複数作成する場合のステップ数(次の行または列までの増分)を指定します。省略した場合は、1(ステップ)になります。
- ⑦ 「汎用パラメータ9」で、作成するボタンのセル内の基点とする位置("左上"/"左中央"/"左下"/"
   中央上"/"中央"/"中央下"/"右上"/"右中央"/"右下")を指定します。省略した場合は、「左中央」
   になります。
- ⑧ 「汎用パラメータ 10」で、作成するハイパータスク実行可能なボタンに任意の識別名(オブジェ クト名)を指定します。省略した場合は、自動で "DBSHYP\_シート名\_連番"(連番はタスク実行 ごとに 1 からスタート)の識別名になります。 この識別名は、別タスク(タスクタイプ属性:実行ボタン削除)で、個別に削除する場合に必要と なります。
- ⑤ 「汎用パラメータ 11」で、「汎用パラメータ 2」に設定する文字列のフォントサイズを指定します。
   省略した場合は、「自動」(システムが自動調整)になります。
- ① 「汎用パラメータ12」で、「汎用パラメータ2」に設定する文字列のフォントの色番号(O:自動/
   1:黒/2:白/3:赤/4:黄緑/5:青...)を指定します。省略した場合は、「O:自動」になります。(指定可能な全てのフォントの色番号は「表1.文字フォントの色No」を参照)

- ① 「汎用パラメータ 13」で、「汎用パラメータ 4」に設定する文字列のフォントサイズを指定します。
   省略した場合は、「自動」(システムが自動調整)になります。
- ① 「汎用パラメータ 14」で、「汎用パラメータ 4」に設定する文字列のフォントの色番号(O:自動/
   1:黒/2:白/3:赤/4:黄緑/5:青...)を指定します。省略した場合は、「O:自動」になります。(指定可能な全てのフォントの色番号は「表1.文字フォントの色 No」を参照)
- 「汎用パラメータ 15」で、ボタンの形状("ボタン"/"矩形"/"角丸め"/"楕円")を指定します。
   省略した場合は、「ボタン」形式になります。
- ① 「汎用パラメータ 16」で、ボタンの色番号(1:白/2:赤/3:黄緑/4:青/5:黄...)を指定します。
   省略した場合は、「67:灰色」になります。(指定可能な全てのボタンの色番号は「表2.ハイパータ スク実行ボタンの色 No」を参照)
- 「汎用パラメータ 17」で、ハイパーリンクで起動するタスクの起動方法("ボタン"/"タスク NO")
   を指定します。省略した場合は、「ボタン」(ボタン名)になります。
- 16 「汎用パラメータ 18」で、ボタンサイズの設定方法("**比率**"/"**ピクセル**")を指定します。省略した場合は、「比率」(セルのサイズに対する比率)になります。
- ① 「汎用パラメータ 19」で、ボタンの横サイズ(比率またはピクセル値)を指定します。省略した
   場合は、「比率」(0.8:セルの横\*0.8)になります。
- 「汎用パラメータ 20」で、ボタンの縦サイズ(比率またはピクセル値)を指定します。省略した
   場合は、「比率」(0.8:セルの縦\*0.8)になります。
- 「TASKJUMPNO1」で、「汎用パラメータ 17」で「タスク NO」が指定された時の実行するタス ク NO を指定します。省略した場合は、何も実行しません。

N	)		NC	)	NC	)	N	D C	NC	)	NC	)
1	index1	黒	11	index11	21	index21	31	index31	41	index41	51	index51
2		白	12	index12	22	index22	32	index32	42	index42	52	index52
3	index3	赤	13	index13	23	index23	33	index33	43	index43	53	index53
4	index4	黄緑	14	index14	24	index24	34	index34	44	index44	54	index54
5	index5	青	15	index15	25	index25	35	index35	45	index45	55	index55
6	index6	黄色	16	index16	26	index26	36	index36	46	index46	56	index56
7	index7	紫	17	index17	27	index27	37	index37	47	index47		
8	index8	水色	18	index18	28	index28	38	index38	48	index48		
9	index9	茶	19	index19	29	index29	39	index39	49	index49		
10	index10	緑	20	index20	30	index30	40	index40	50	index50		

表1. 文字フォントの色 No

<u>dþ</u>

### dbSheetClient



#### ■ 使用例

◎「実行ボタン追加」ボタンを押すと、実行ボタン作成場所(セル位置G14)にハイパータスク実行用 ボタンを作成します。この実行ボタンをクリックすると、Excelの「ページ設定」画面を表示するよう な使用例を示します。実行ボタンの動作は、画面上部のボタンエリアにある「ページ設定」ボタンを押 した時と同じ動作をするようになっています。

尚、「実行ボタン削除」ボタンの動作については、本マニュアルの「タスクタイプ属性(実行ボタン削除)」の「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。

🤒 サンブルアプリケーション【デバッグ】										
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧 プロジェク	ト: サンブルアブリ	ケーション		× ()	> 100 % (	50 75 0	100 () 150 ()	範囲ズーム	
終了 標準サイズ 👻 画面リフレッ	->>	ジ設定 男	行ボタン追加	実行ボタン削除						
メニュー 再 ステップ停止	i i									
>13)ハイパータスク実行(実行ボタ										
Menu	Sample.xls []	読み取り専用]	[互換モード] - dbS	#1						- = ×
	A	B C	D	E F	G	Н	I	J	K	L
: ▼メニューを選択してくたさい。▼	1									
- 13)ハイパータスク実行( 🔺	2 /	177-92	ク実行設定し	美行ホタノ追加、	美行ホタノ則除し					
ファイル操作タスクタイプ	3	r								
− 1)ファイルアッフロード(322. 0)ファイルドウンロード(322.	4	_								
- 2/J71/J/S/J/U-P(323 9)ファイル属性(904)【新】	5	- <b>後</b> 能:	セルにハイバ	ーリンクを設定して	、ハイバータスク実行月	目ボタンを自動	動作成したり	、作成したフ	ドタンを削り	余します。
4)ファイル違根ダイアログ(5)	7									
- 5)サーバフォルダ削除(341	8									
6)ファイルフォルダコピー(34	9	操作:	実行ボタン道	加ポタンを押	すと、ハイパータスク実	行用ボタンを	作成します。			
外部接続用タスクタイプ	10			=						
- 1)外部アプリ起動(501)【5	11		実行ボタン剤	除 ボタンを押	すと、ハイバータスク実	行用ボタンを	削除します。			
- 2)クリップボード(502)【新】	12									
- 3)マクロ起動(503)	13					_				
ー 47%h的ULL呼び出し	14		実	行ボタン作成場所	i⇒					
↓ 1)データ保守(601)【新】ま	15				t					
ボタン制御	16				実行ボタンをクリッ	クするとExce	の「ページ」	没定」画面を	表示します	r
1. ボタン表示	17									
	18									<b>~</b>
				ш						
	1									
				マッ	7					



😢 サンプルアプリケーション【デパッグ】user:Manual5 #1	
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H) 復旧 プロジェクト: サンプルアプリケーション 🗸	▲ 100 % ○ 50 ○ 75 ○ 100 ○ 150 ○ 範囲ズーム
終了 標準サイズ 画面リフレッシュ ページ設定 実行ポタン追加 実行ポタン利除	
メニュー 再 ステップ停止	
>13)/\イパータスク実行(実行ポタ	
Menu A B C D E E	
▼メニューを選択してください。▼ 1	
13)ハイパータスク実行(2) 2 ハイバータスク実行設定(実行ホタン追加、実	<sup>11</sup> 「実行ボタン追加」ボタンを押すと、
- 1)ファイルアップロード(322) 4	
<ul> <li>2)ファイルダウンロード(323</li> <li>5</li> <li>3)ファイル属性(324)【新】</li> <li>6</li> <li>機能:セルにハイバーリンクを設定して、</li> </ul>	ハ1 "ページ設定"というハイパータスク ┃
- 4)ファイル選択ダイアログ(C 7 5)サービュールが声明な(201	
6)ファイルフォルダコピー(34 9 操作: 実行ボタン追加 ボタンを架す	実行用ホタンを作成します。
外部接続用タスクタイブ 10 実行ボタン削除 ボタンを押す	トーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
「ページ設定」ボタン	
実行式女/作成場所=	
↑ を押した時も、Excel	
	実行・ケンをクリックするとExcelの「ページ設定」画面を表示します。
ページ設定 ? 🗙	"ページ設定"実行ボタンをクリックす
ページ 余白 ヘッダー/フッター シート	ハージ設定 美打ホタノをクリックタ
印刷の向き (税)	ると、Excel の「ページ設定」画面を
A	
	表示します。
<ul> <li>         ・</li></ul>	
用紙サイズ(2): A4	
ED刷品質(②): 600 dpi	
先頭ページ番号(B): 自動	
[印刷(P)][印刷(アレビュー(W)] オブション(Q)]	
OK キャンセル	



db

- ◎定義するシート:
  - 1)メニュー定義
  - 2)ボタン定義
  - 3) タスク定義
  - 4) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階	福 メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
1030	4 13)ハイバータスク実行(実行ボタン)	1	Sample.xls	ハイバータスク実行_実行ボタン	0	1030

2)ボタン定義の例

<b>BSNO</b>	ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラク	ガイダンス
1030	1	ページ設定	1 0 2 0 0	ハイバータスク実行_ベージ設定			
1030	2	実行ボタン追加	10310	ハイバータスク実行_実行ボタン追加			
1030	3	実行ボタン削除	10320	ハイバータスク実行。実行ボタン削除			

3) タスク定義の例(「ページ設定」ボタン、「実行ボタン追加」ボタンのタスクのみ)

※TASKNO:10200 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		ж	10200
3	タスク名		ж	ハイバータスク実行_ページ設定
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイブNO		ж	430
6	タスクタイブ名		*	EXCELコマンド
- 7 -	タスクタイプ属性			ファイル_ページ設定
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			

※TASKNO:10310 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイトル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	10310
3	タスク名		*	ハイバータスク実行_実行ボタン追加
- 4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		*	426
6	タスクタイプ名		*	ハイバータスク実行設定
7	タスクタイプ属性		*	実行ボタン追加
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			ハイパータスク実行_実行ボタン
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	実行ボタン挿入位置		@実行ボタン作成位置
18	汎用バラメータ2	表示文字列		ベージ設定
19	汎用バラメータ3	セル参照先		
20	汎用バラメータ4	セル参照先の文字列		DBS!ページ設定
21	汎用バラメータ5	ヒント設定		
22	汎用バラメータ6	同時設定数		
23	汎用バラメータ7	挿入方向		
24	汎用バラメータ8	挿入ステップ数		
25	汎用バラメータ9	設定位置		中央
26	汎用バラメータ10	オブジェクト 名		
27	汎用バラメータ11	表示文字列のフォントサイズ		
28	汎用バラメータ12	表示文字列の色		5
29	汎用バラメータ13	参照先フォントサイズ		
30	1 汎用バラメータ14	参照先色番号		
31	汎用バラメータ15	ボタンの形状		
32	汎用バラメータ16	ボタンの色番号		2
33	汎用バラメータ17	起動方法		
34	汎用バラメータ18	サイズの指定方法		
35	汎用バラメータ19	横サイズ		
36	汎用バラメータ20	縦サイズ		
37	TASKJUMPNO1			

4) Excel シートの定義(Excel ファイル:「Sample.xls」/シート:「ハイパータスク実行\_実行ボタン」)

	A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J	K	L	М	N
1														
2		111	バータスク	実行設定(	実行ホタン	<u>/追加、実行</u>	<u>テポタン削除)</u>							
3														
4														
5			楼能:+	ルにハイバ	トーリンクを	設定して、ノ	ヽイバータスク実行用フ	マンを自重	h作成したり	作成したえ	ポタンを削り	金します。		
6														
7				1		1								
8			12.05	中にまたい	6 the _ + 1	ha ar imate la		mat he at t	h-eP1 -+-+					
9			TE:	夫(丁小ツノ)		メノを押すて	、ハイハーダスク美行	用小ダンで1	FDXします。					
11			ſ	宝行ボケバ	ille t	いた畑すと	いイパータフク実行	田ポタッを調	細胞にます					
12					114 J 111		Control Provident	in a second	inne o o y a					
13														
					実行ボタン	作成場所⇒								
14							<b>1</b>							
16							実行ポタノをクリック	まるとExcel	の「ページョ	会会! 雨雨な	表示します	-		
17										~~		•		
						/								
ЖE	Exce	el の	「名前	の定義	て、」	以下øt	こルに名前を知	È義して	こおきま	す。				

名前	参照範囲(セル)	セルの内容(値または数式)
実行ボタン作成位置	G14 <b>′</b>	なし



# 2.114 426:ハイパータスク実行設定

■ 機能

dby

別タスクの「タスクタイプ属性(実行ボタン追加)」で作成したハイパータスク実行用ボタンを削除(全 て削除または個別削除)します。

⇒「汎用パラメータ1~4」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9250		
3	タスク名		*	ハイパータスク実行設定(実行ボタ)	ン削除)	
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	426		
6	タスクタイプ名		*	ハイパータスク実行設定		
7	タスクタイプ属性		*	実行ボタン削除		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexls		
10	シート名			ハイパータスク実行設定例	開始時のシート名	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	削除モード		ALL	ALL	補足①
18	汎用パラメータ2	削除数			1	補足②
19	汎用パラメータ3	削除オブジェクト名				補足③
20	汎用パラメータ4	クリアモード		值	値	補足④

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

項目説明	
TASKNO	…任意。(省略不可)(注1、2)
タスク名	… TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
処理順 NO	…任意。同一タスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
タスクタイプ NO	…" <b>426</b> "を指定します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	…タスクタイプNO設定により" <b>ハイパータスク実行設定</b> "が自動設定さ
	れます。
タスクタイプ属性	… " <b>実行ボタン削除</b> "を指定します。 (省略不可)
BKNO	…タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	…BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	…タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
	(注1、2)
シート保護有無	…シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② 有り
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	…タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
	ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
	セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
定義有効無効フラグ	…タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	…汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセル位置
	(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	…削除モードを指定します。
	1 ALL
	② 個別
汎用パラメータ 2	…個別削除の場合の <b>削除する数</b> (識別名単位)を指定します。
汎用パラメータ 3	…削除するハイパータスク実行用ボタンの <b>識別名(セル位置)</b> を指定し
	ます。
汎用パラメータ 4	… セル参照先のセルのクリアモードを指定します。
	<ol> <li>全て</li> </ol>
	2 <b>值</b>

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - 「シート名」の項目でシート名が指定されている場合は、そのシート内のみが削除対象になります。
     シート名が省略された場合は、ブックの全シートが削除対象になります。
  - ② 個別削除で数を指定する場合、削除するハイパータスク実行用ボタンが複数でも、作成時の識別名 (オブジェクト名)が同一の時は、それで1つとなります。(削除する数の単位は識別名となります。)
  - ③ 個別削除で複数の識別名を指定する場合、Excel シートのセル上に削除する識別名を行方向(1行 目、2行目...)に列挙し、1行目のセルを「汎用パラメータ3」で指定するようにします。このた め、「セル指定属性」の項目は、「間接」か「間接アドレス」を設定してください。
  - ④ 汎用パラメータの各項目をセル上から指定する場合、そのセルにデータを書き込む際に、セルに保 護がかかっている時は、保護の解除指定(「シート保護有無」/「シート保護解除PW」の設定)を 行う必要があります。

#### ■ 補足

- 「汎用パラメータ 1」で、削除モードの指定をします。
   ALL: 起動後に作成したハイパータスク実行用ボタンをシート名に応じて全て削除します。
   個別:識別名を指定して、識別名単位ごとに個別に削除します。
   省略した場合は、「ALL」になります。
- ② 「汎用パラメータ2」で、個別削除の場合の数(識別名単位)を指定します。省略した場合は 1 になります。
- ③ 「汎用パラメータ 3」で、削除するハイパータスク実行用ボタンの識別名(セル位置)を指定します。削除する識別名が1つの場合は、直接識別名を指定できますが、複数ある場合は、Excel シートのセル上に識別名を行方向(1行目、2行目...)に列挙し、1行目のセル位置を指定するようにします。
- ④ 「汎用パラメータ4」で、セル参照先のセルのクリアモードを指定します。
   値 :書式はそのままで値のみをクリアします。
   全て:書式と値などの全てをクリアします。
   省略した場合は、「値」になります。

#### ■ 使用例

db

◎「実行ボタン削除」ボタンを押すと、「実行ボタン追加」ボタンで作成したハイパータスク実行用ボタン(セル位置G14)を削除する使用例を示します。

尚、「実行ボタン追加」ボタン、「ページ設定」ボタンの動作については、本マニュアルの「タスクタイ プ属性(実行ボタン追加)」の「■ 使用例」で説明していますので、そちらを参照してください。

🧟 サンプルアプリケーション【デバッグ】										
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧 ブ	ロジェクト: サンブルアプ	リケーション	~	<	> 100 g (	50 75 0	100 🔿 150 🔿	範囲ズーム	
終了 標準サイス • 画面リフレッ	1	ページ設定	実行ボタン追加 実行:	ボタン削除						
メニュー 再 ステップ停止										
>13)ハイパータスク実行(実行求タ										
Manu	💽 Sample	xls [読み取り専用]	[互換モード] - dbS.#1							- = ×
Meriu	<i>4</i>	A B C	D	E F	G	н	I	J	K	L
. ▼メニューを選択してください。▼	1									
	2	ハイバータフ	<u>、ク実行設定(実行</u>	ホタン追加、実行	<u> ポタン削除)</u>					
ファイル操作タスクタイプ	3	(r								
- 1)ファイルアップロード(322	4									
- 2)ファイルダウンロード(323	5	機能	:セルにハイバーリ:	シクを設定して、ハ					\. <u>~</u> _/	
- 3)ファイル周性(324)【新】	6				実1	(J小グ)	ン垣川	」 小 ク	ンで1	F戍しに
- 4ノノアイル)運伏ダイアロクに	/									
- 57リーハフオルタ目明末(341 6)ファイルフォルガラピー(24	8	15.00	実行またが自知	モケーた用まと	111	パー ター	フク宝な	行用ボ	$\nabla$	
小 37771ルフォルタコビー 34	10	17711-	美山小ジノ道加	1 x x / erry c.	<u>,,,,</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1-97	ヘノ大	JHJW.	<i>、</i> ノ。	
1)外部アプリ記動(501)【	11		宝行ボケノ削除	ポケッを押すと	ハイパータフク実行	,				
- 2)クリップボード(502)【新】	12		×1110221144	J # 22 CH 3 C						
3)マクロ記動(503)	13				L	_				
- 4)外部DLL呼び出し			<b>\$</b>	たみたまで	ページ指字					
オンライン保守	14		美11/1	マンド成場の一	- V DX ME					
- 1)データ保守(601)【新】オ	15				1					
ボタン制御	16				実行ホタンをクリック	フするとExce	ゆレベージ	設定」画面を	表示しまう	۶.
- 1. ボタン表示	1/									
	18			100						
,;;				111						

※「実行ボタン削除」ボタンを押した後の画面

♥ サンフルアフリケーション(テハック]user: Manual5 #1							
ファイル(E) デパッグ(D) ヘルブ(H) 復旧 プロジェクト:サンブルアプリケーション 🗸					🔇 📗 🔰 100 🕺 0 50 🔿 75 🔿 100 🔿 150 〇 範囲ズーム		
メニュー 再 <u>ステップ停止</u>							
>13)ハイパータスク実行(実行ボタ	- Sam	nle vie 「添み	Ton 専田1	「万逸モード」 - dhS #1	1	= X	
Menu		A B	C				
▼メニューを選択してください。▼	1	A U	0	U L			
-13)ハイパータスク実行( 🔨	2	ハイ	バータス	くク実行設定(実行ホ	タン追加、実行ボタ	「宝行ボタン削除」ボタンを押すと	
ファイル操作タスクタイプ	3		( <u> </u>				
- 1)ファイルアップロード(322. 0)ファイルガウンロード(322.	4						
- 3)ファイル属性(324)【新】	6		機能:	・セルにハイパーリング	を設定して、ハイバ	j ~ヘーン設定~といつハイハータスク	
- 4)ファイル選択ダイアログ(:	7						
- 5)サーバフォルダ削除(341	8			Critical In Mater		1 実行用ボタンを削除します。	
- 67ノアイルノオルダコビー(34 外部接続田均1万万イイ	9		课作:	美行ホタン追加	TA A A A A A A A A A A A A A A A A A A		
1)外部アプリ起動(501)【5	11			実行ボタン削除	ボタンを押すと ハイ	イバータスク実行用ボタンを削除します。	
- 2)クリップボード(502)【新】	12						
3)マクロ起動(503)	13						
オンライン保守	14			実行ボタ	ン作成場所⇒		
- 1)データ保守(601)【新】オ	15						
ボタン制御	16				実行	テボタンをクリックするとExcelの「ページ設定」画面を表示します。	
	18						
×	1				III.		

◎定義するシート:

db

- 1)メニュー定義
- 2)ボタン定義
- 3) タスク定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO	階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
1030	4	13)ハイパータスク実行(実行ボタン)	1	Sample.xls	ハイバータスク実行_実行ボタン	0	1030

2)ボタン定義の例

BSNO	ボタンNO ボタ	ン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有効煮効フラク	ガイダンス
1030	<mark>1</mark> ペー:	ジ設定	1 0 2 0 0	ハイバータスク実行_ベージ設定			
1030	2 実行	ボタン追加	10310	ハイバータスク実行_実行ボタン追加			
1030	<mark>3</mark> 実行:	ボタン削除	1 0 3 2 0	ハイパータスク実行_実行ボタン削除			

3) タスク定義の例(「実行ボタン削除」ボタンのタスクのみ)

※TASKNO:10320 定義の詳細(縦型表示の内容)

1	タイト ル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	10320
3	タスク名		ж	ハイバータスク実行_実行ボタン削除
4	処理順NO		ж	1
5	タスクタイプNO		ж	426
6	タスクタイプ名		ж	ハイバータスク実行設定
- 7	タスクタイプ属性		*	実行ボタン削除
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		ж	Sample.xls
10	シート名			ハイバータスク実行_実行ボタン
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント 欄			
16	セル指定属性			
17	汎用バラメータ1	削除モード		ALL
18	汎用バラメータ2	削除数		
19	汎用バラメータ3	削除オブジェクト 名		
20	汎用バラメータ4	クリアモード		



## 2.115 427:イメージ保存

■ 機能

db

- ① 指定した範囲のセルのイメージを画像ファイルに保存します。
- ② 保存できる画像フォーマットは、JPEG 形式もしくは BMP 形式です。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲	ŧ			
1	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	イメージ保存		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	427		
6	タスクタイプ名		*	イメージ保存		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			dbS_パラメータ		
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性			間接		
15	汎用パラメータ1	保存先		@イメージ保存_保存先		
16	汎用パラメータ2	ダイアログ表示		@イメージ保存_ダイアログ表示		補足①
17	汎用パラメータ3	初期フォルダ		@イメージ保存_表示フォルダ	前回のフォルダ	補足②
18	汎用パラメータ4	指定フォルダ名		@イメージ保存_ダイアログ用フォルダ	マイドキュメント	補足③
19	汎用パラメータ5	ファイルの種類		@イメージ保存_ファイルの種類		補足④
20	汎用パラメータ6	保存形式		@イメージ保存_保存形式	JPEG	
21	汎用パラメータ7	JPEG圧縮率		@イメージ保存_JPEG圧縮率	100	
22	汎用パラメータ8	イメージ化セル範囲	*	@イメージ保存_セル範囲	エラー	
23	汎用パラメータ9	上書き確認		@イメージ保存_上書き確認	確認	補足⑤
24	汎用パラメータ10	保存先のフォルダ名		@イメージ保存_保存先フォルダ名		補足⑥
25	汎用パラメータ11	保存したファイル名		@イメージ保存_保存先ファイル名		補足⑥
26	汎用パラメータ12	保存後のフォルダ表示		@イメージ保存 フォルダ表示	表示しない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■  項目説明	
TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	…自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	…任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	…" <b>427</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	…" <b>イメージ保存</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	…入力しません。
BKNO	…タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	…BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	…タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	…タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	…タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	…開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	…下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
汎用パラメータ 1	…保存先: 保存するファイルのファイル名(パスを含む)を指定しま
	す。(補足①)
汎用パラメータ 2	…ダイアログ表示: ファイル選択のダイアログ表示の有無を指定しま
	す。(補足②)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
汎用パラメータ 3	…初期フォルダ: ファイル選択ダイアログを表示する場合、どのフォ
	ルダを初期表示するかを指定します。(補足③)
	① 前回のフォルダ ③ デスクトップ
	② マイドキュメント ④ 指定フォルダ
汎用パラメータ 4	…指定フォルダ名: 「初期フォルダ」で"指定フォルダ"が指定され
	た時に有効で、初期フォルダのパスを指定します。
汎用パラメータ 5	…ファイルの種類: ファイルの種類のフィルタ情報を指定します。
	(補足④)
汎用パラメータ 6	…保存形式: 保存形式を指定します。省略時の値は"JPEG"です。
	① JPEG
	2 BMP
汎用パラメータ 7	…JPEG 圧縮率: 品質レベル(0~100)を指定します。数値が大
	きいほど画質が上がり、圧縮率が下がります。省略時の値は100で
	す。保存形式に"JPEG"を選択した場合のみ有効です。

汎用パラメータ 8	イメージ化セル範囲: イメージ化するシートのセル範囲を指定しま
	す。(イメージ化するシートは、「シート名」で指定します。)
	(省略不可)
汎用パラメータ 9	上書き確認: 同名のファイルが存在している場合の処理を指定しま
	す。(補足⑤)
	① <b>上書許可</b> ③ 確認
	2 IJ-
汎用パラメータ 10	保存先のフォルダ名: イメージの保存が成功した時に、ファイルの
	フォルダ名をセットするセル名を指定します。(補足⑥)
汎用パラメータ 11	.保存したファイル名: イメージの保存が成功した時に、ファイル名
	(パスは含まない)をセットするセル名を指定します。(補足⑥)
汎用パラメータ 12	保存後のフォルダ表示: 保存後のフォルダ表示を指定します。「表
	示する」を選択した場合は、保存後エクスプローラを起動しフォルダ
	を表示します。
	① 表示する
	② 表示しない

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

 オープンしているファイルを指定して保存することはできません(既存のファイルを上書き更新す るかどうかの指定については、汎用パラメータ9の説明を参照)。
#### ■ 補足

- 保存するファイル名をフルパスで指定します。
  - ダイアログ表示する場合は、フォルダ名の部分を除外したファイル名が、初期ファイル名となります。
  - ダイアログを表示しない場合、存在しないファイルを指定するとエラーになります。
- ② 汎用パラメータ1「パス名」が空白の場合は、指定の有無に関わらずダイアログを表示します。
- ③ ファイル選択ダイアログが表示された時のみ有効となります。
- ④ ガイド文字列と拡張子文字列をペアにし繰り返し列挙します。(区切り文字は"|")
   書式:「ガイド文字列1|拡張子文字列1|ガイド文字列2|拡張子文字列2|・・・」
   拡張子文字列は、複数の拡張子を指定できます。(区切り文字列は";")

書式:「拡張子1;拡張子2;|拡張子3;・・・」

省略時は保存形式毎にそれぞれ「JPEG(\*.jpeg,\*.jpg)|\*.jpeg;\*.jpg」、

「ビットマップ(\*.bmp)|\*.bmp」が指定されたものとして処理します。

保存するファイル名の入力時、拡張子を省略した場合は、選択しているフィルタ情報の先頭に定 義したものが付加されます。自動的に付加される拡張子と保存形式に食い違いの起きないよう、フ ィルタ情報を設定してください。

- ⑤ 「上書き確認」の選択肢と内容は以下のとおりです。
  - **上書許可**:常に上書きを許可します。
  - エラー :常にエラーとします。
  - 確認 :確認メッセージを表示します。
- ⑥ ファイル選択ダイアログで選択したファイルのファイル名を Excel シート上に格納させたい時などに使用します。「セル指定属性」で"間接"を指定した時は「間接アドレス」の動作に変化します。

#### ■ 使用例

ib🏏

「427:イメージ保存」の使用例です。

シート「dbS\_パラメータ」のシステム情報をイメージとして指定ファイルに保存します。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	イメージ保存		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	427		
6	タスクタイプ名		*	イメージ保存		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			dbS_パラメータ		Α
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					_
14	セル指定属性			間接		В
15	汎用パラメータ1	保存先		@イメージ保存_保存先	N	
16	汎用パラメータ2	ダイアログ表示		@イメージ保存_ダイアログ表示	1	
17	汎用パラメータ3	初期フォルダ		@イメージ保存_表示フォルダ	11	
18	汎用パラメータ4	指定フォルダ名		@イメージ保存_ダイアログ用フォルダ		
19	汎用パラメータ5	ファイルの種類		@イメージ保存_ファイルの種類	11	_
20	汎用パラメータ6	保存形式		@イメージ保存_保存形式		С
21	汎用パラメータ7	JPEG圧縮率		@イメージ保存_JPEG圧縮率	1	
22	汎用パラメータ8	イメージ化セル範囲	*	@イメージ保存_セル範囲	11	
23	汎用パラメータ9	上書き確認		@イメージ保存_上書き確認		
24	汎用パラメータ10	保存先のフォルダ名		@イメージ保存_保存先フォルダ名		
25	汎用パラメータ11	保存したファイル名		@イメージ保存_保存先ファイル名	11	
26	汎用パラメータ12	保存後のフォルダ表示		@イメージ保存_フォルダ表示	ľ	

A・・・・イメージ化する領域の存在するシートを指定します。

この例では、実行時のシートとイメージを保存するシートが異なることに注意してください。

- B·····この例では、セル指定属性="間接"により、シート上に設定した定義名に該当するセルの値で処理 条件を指定しています。
- C・・・・それぞれの処理条件をシート上の定義名で指定します。



db)



A·····セルの定義名:「イメージ保存\_保存先」~「イメージ保存\_フォルダ表示」

この例では、イメージ化するセル範囲は、シート "dbS\_パラメータ"の "A1:E21"の領域です。 B・・・・間接的に指定された「フォルダ名」、「ファイル名」のセル (実行中はシートが切り替わるので"イ メージ保存!\$E\$23"、"イメージ保存!\$E\$24"のように、シート名が指定されていることに注意)。

実行すると、下記のようなイメージの画像ファイルを保存します。

SNO	変数名	設定値	書式	備考
1	^SYS_UserID^	manual8		ログインID
2	^SYS_PcName^	PM750		使用PC名
3	^SYS_Login Date Time^	2009/7/7 8:08		ログイン時刻
4	^SYS_ProjStartDateTime^	2009/7/7 10:31		ブロジェクト 開始時刻
5	^SYS_ProjName^	DMOF サンブル集(入門編)Ver4		ブロジェクト 名
6	^SYS_ProjDefVersion^	00300		ブロジェクト 定義仕様バージョン
7	^SYS_Path^	C:¥dbSheetClient¥Develop¥run¥s4Demo	開発デバッグ	システムフォルダ名
8	^SYS_LastLogin^	2009/7/6 15:51		前回ログイン時刻
9	^SYS_UserAuth^	1 002		ユーザ権限レベル
10	^SYS_UserCorp^	135		会社ID(組織ID)
11	^SYS_DataVer^	1		定義データVer
12	^SYS_DBSVer^	4.0.0.0		dbSheetOlientバージョン
13	^SYS_ExcelVer^	2003		Excelバージョン
14	^SYS_PhysicalMemory^	1038768		物理メモリ量(KB)
15	^SYS_AvailableMemory^	76928		使用可能メモリ量(KB)
16	^SYS_Session^	切断	1	セッション接続状態
17	^SYS_DefaultPrinter^	Acrobat PDFWriter	LPT1:	
18	^SYS_Schema^			
19	^SYS_TimeLag^			
20				

### 2.116 429:イメージクリア タスクタイプ属性(なし)

■ 機能

dby

手動で描画したイメージ(オブジェクト:図やクリップアート、オートシェイプ、コントロール、ワード アート等)をクリア(消去)します。

そのほか、422.図の挿入、425.チェックボックス設定、426.ハイパータスク実行設定で挿入した図に 対してもクリア(消去)します。

■ 画面イメージ

タスク定義編集画面の範囲							
	A	В	С	D	1		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の	の処理	特記事項
2	TASKNO		*	8970			
3	タスク名		*	イメージクリア_実行			
4	処理順NO		*	1			
5	タスクタイプNO		*	429			
6	タスクタイプ名		*	イメージクリア			
7	タスクタイプ属性						
8	BKNO		*	1			
9	ブック名		*	Sample.xls			
10	シート名			イメージクリア			
11	シート保護有無			有り			
12	シート保護解除PW						
13	処理条件判定セル	実行判定					
14	定義有効無効フラグ						
15	コメント欄						
16	セル指定属性						
17	汎用パラメータ1	クリアモード		ALL	ALL		補足①
18	汎用パラメータ2	イメージ名			指定なし		補足②
19	汎用パラメータ3	シート名			指定なし		補足③

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

■ 項	目説明	
	TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	" <b>429</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	" <b>イメージクリア</b> "は自動表示します。(省略不可)
	タスクタイプ属性	
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)
	シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
		定します。(注2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有効
		② 無効
	コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
	セル指定属性	下記からセルの指定方式を選択します。(注4)
		<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
		② 間接
	汎用パラメータ 1	クリアモード: クリアする対象のモードを下記から指定します。
		(補足①)
		① ALL ③ 除外
		② <b>含む</b>
	汎用パラメータ 2	イメージ名: クリア(除外)対象となるイメージ名を入力します。
		(補足②)
	汎用パラメータ 3	シート名: クリア実行対象のシート名を指定します。(補足③)
	(注1)詳細は、『開発版リファ	·レンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ
	ート名を使っている定義	義」を参照して下さい。。
	(注2)詳細は、『2.1 タスクロ	E義の全項目について』を参照してください。
	(注3)詳細は、『2.2 タスクタ	タイプの機能分類と概要について』を参照してください。
	(注4)詳細は、『2.7 セルのフ	?ドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - 汎用パラメータ1でALLを指定すると、422.図の挿入、425.チェックボックス設定、426.ハイ パータスク実行設定で挿入した図も消去します。消去したくない場合は、「含む」または「除外」を 指定し、汎用パラメータ2にイメージ名を指定してください。
  - ② 423.図のクリアは、422.図の挿入で挿入した図のクリア(消去)だけをおこないますので、機能 が異なります。
  - ③ 描画したイメージを選択した状態で dbSheetClient の処理を実行しようとすると、「Excel がビジ ー状態です。」というメッセージ・ダイアログが表示されることがあります。その場合は、Esc キー を押下する等して選択を解除してください。

#### ■ 補足

- ① クリアモードの意味は次のとおりです。
  - ALL : シートに存在する、全てのイメージ(オブジェクト)を消去します。
     422.図の挿入、425.チェックボックス設定、426.ハイパータスク実行設定で挿入した
     図も全て消去されます。
  - 含む :シートに存在するイメージの中で、汎用パラメータ2で指定された「イメージ名」の文字を含むイメージを全て消去します。
     422.図の挿入、425.チェックボックス設定、426.ハイパータスク実行設定で挿入した
     図に指定したイメージ名が含まれているときには、本タスクタイプで同時に消去されます。したがって、消去したくないときには、イメージ名が含まれないように指定してください。
    - 除外 :シートに存在するイメージの中で、汎用パラメータ2で指定された「イメージ名」の文字を含むイメージを除外して、その他のイメージを全て消去します。
- ② 「イメージ名」には、イメージ名の一部の文字列だけの指定も可能です。複数のイメージ名を指定したいときには、、(半角セミコロン)で区切って列挙してください。 汎用パラメータ 1(クリアモード)で、「含む」が指定されるか、「除外」が指定されるかによって、 実際に消去されるか残される(除外される)かが決定されます。
- ③ 複数のシート名を指定したいときには、;(半角セミコロン)で区切って列挙してください。
   シートに保護がかかっているときにはイメージの消去はできません。タスク定義項目 10.シート名
   で指定したシートと同じパスワードの時には、11.シート保護有無、12.シート保護 PW の指定にし
   たがって、シート保護の解除/再設定がおこなわれます。
   汎用パラメータ3(シート名)に指定がない場合は、10.シート名のシートがイメージクリアの対象と
   なります。10.シート名にも指定がない場合は、イメージクリアは実行されません。

#### ■ 使用例

dby

「429:イメージクリア」の使用例です。

ユーザが描画したシート上のイメージ(オブジェクト)をクリアします。

事前に Excel メニューと図形描画のツールバーを表示状態にし、シートの保護を OFF にしておきます。



A·····Excel の機能である図形描画ツールバー、フォーム・ツールバー等を利用してイメージ(オブジェクト)を描画します。

B·····描画したイメージの例です。

C……名前ボックスでイメージ(オブジェクト)の名前を、必要に応じて変更します。

D……この例では、汎用パラメータ1~3を間接参照でシート上に設定しています。

#### タスク定義の例

dby

	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容		
2	TASKNO		*	8970		
3	タスク名		*	イメージクリア_実行		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	429		
6	タスクタイプ名		*	イメージクリア		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			イメージクリア		
11	シート保護有無			有り		
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			間接 ————————————————————————————————————	— A	
17	汎用パラメータ1	クリアモード		@イメージクリア_クリアモード ――		— В
18	汎用パラメータ2	イメージ名		@イメージクリア_イメージ名 ―――		— c
19	汎用パラメータ3	シート名		@イメージクリア_シート名		

A·····セル指定属性に"間接"を指定します。セル指定属性は「汎用パラメータ 1~3」に対して有効 です。

B·····この例ではセル指定属性より、シート上に設定した定義名に該当するセルの値で処理条件を指定 しています。

汎用パラメータ1(クリアモード)にはクリアする対象のモードを指定します。この例では、実際に はシート上に"除外"を設定しています。

C·····汎用パラメータ 1 (クリアモード)で "除外" を指定しているので、クリアの対象外となるイメージ の名前(部分)を指定します。 イメージクリア実行後の例です。

db

事前に Excel メニューと図形描画のツールバーを非表示状態にし、シートの保護を ON にしておきます。

A	В	С	D	E	F	G	Н	I
1	]							
2	429	3. イメージクリアの	)使用方法					
3								
4		機能:手動で描画	ノたイメージ(オブミ	フェクト:図やクリッブ	アート、オートシェイ	<u>ヺ、コントロール、ワ</u>	ードアート等)を	
5		クリア(消去	)します。					
6		そのほか、4	22.図の挿入、42	5.チェックボックス 設算	主、426.ハイバータン	<b>スク実行設定で挿</b> 入	した図に	
7		対してもクリ	ア(消去)します。					
8								
9	_	※操作説明	のボタンイメージに	<u> キクリアの対象外です</u>	• •			
10	_							
11	_	操作: 1. イメー:	フ描画準備	をクリックします。				
12							【クリアモード】:	除外
13		2. ExcelØ	)機能を使用してィ	(メージ(オブジェクト)	を描画してください。	<b>)</b>	【イメージ名】:	除外对
14			-1# - 64 -	all has a set of			【シート名】:	-
15		3. [1×-:	/抽画餐了	をクリックします。				
16	_		1017	* 611 6 + 7 5		-		
17	_	4. [1×-:	799¥	をクリックすると、1	メージをクリアします			
18								
19								
20	_							
20	-							
22								
24								
25	_							
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								-
40	_							
41								
				IIII				

E・・・・・この例では、操作説明にイメージ(オブジェクト)を使用していますが、汎用パラメータ 1 及び 2 の設定により、クリア対象外となっています。

「クリアモード」を"ALL"にすることで、それらのイメージもクリア可能です。

#### 2.117 430: EXCEL コマンド タスクタイプ属性(複数指定)

■ 機能

dby

Excelのメニューで提供される標準機能を呼び出してダイアログ画面を表示したり、機能を実行したりします。

- 後数指定: 他のタスクタイプ属性によって提供される機能を、複数まとめて指定するための機能です。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	567		
3	タスク名		*	複数指定(非表示)		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	430		
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド		
7	タスクタイプ属性			複数指定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			EXCELコマンド		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	複数指定O1		表示_ツールバー_図形描画非表示	7	
18	汎用パラメータ2	複数指定O2		ツール_EXCELメニュー非表示		
19	汎用パラメータ3	複数指定O3		ツール_シート見出し非表示		
20	汎用パラメータ4	複数指定O4		ツール_行列番号非表示		
21	汎用パラメータ5	複数指定05		ツール_枠線非表示		
22	汎用パラメータ6	複数指定06		ツール_水平スクロールバー非表	示	
23	汎用パラメータ7	複数指定O7		ツール_垂直スクロールバー非表	示	
24	汎用パラメータ8	複数指定O8		ツール_ステータスバー非表示		
25	汎用パラメータ9	複数指定09				
26	汎用パラメータ10	複数指定1O				
27	汎用パラメータ11	複数指定11				
28	汎用パラメータ12	複数指定12				
29	汎用パラメータ13	複数指定13				
30	汎用パラメータ14	複数指定14				
31	汎用パラメータ15	複数指定15				
32	汎用パラメータ16	複数指定16				
33	汎用パラメータ17	複数指定17				
34	汎用パラメータ18	複数指定18				
35	汎用パラメータ19	複数指定19				
36	汎用パラメータ20	複数指定20				

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

#### ■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>430</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	. " <b>EXCEL コマンド</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	. " <b>複数指定</b> "を指定します。(省略不可)
BKNO	. タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)

dby

シート保護有無	シートに保護カ	がけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)	
	② 有り	
シート保護解除 PW	シートの保護解	除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注)	2)
処理条件判定セル	タスク実行を条	件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行さ	せたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、	. 2)
	① 有効	
	② 無効	
コメント欄		きや修正記録などに使用します。
セル指定属性		の設定の仕方を、下記から指定します。(注4)
	① 直接	③ 間接アドレス
	②間接	
汎用パラメータ 1	実行させたい他	3のタスクタイプ属性の名称を指定します。
汎用パラメータ 2	同上。	
汎用パラメータ 3	同上。	
汎用パラメータ 4	同上。	
汎用パラメータ 5	同上。	
汎用パラメータ 6	同上。	
汎用パラメータ7	同上。	
汎用パラメータ 8	同上。	
汎用パラメータ 9	同上。	
汎用パラメータ 10	同上。	
汎用パラメータ 11	同上。	
汎用パラメータ 12	同上。	
汎用パラメータ 13	同上。	
汎用パラメータ 14	同上。	
汎用パラメータ 15	同上。	
汎用パラメータ 16	同上。	
汎用パラメータ 17	同上。	
汎用パラメータ 18	同上。	
汎用パラメータ 19	同上。	
汎用パラメータ 20	同上。	

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① タスクタイプ属性によっては、組み合わせができない、組み合わせに意味がないケースがあります。
  - 例:「×××表示」と「×××非表示」のような組み合わせは、後から実行する設定が結果として残ります。
  - ダイアログを表示してから実行する機能の場合、別の機能をキャンセルしてしまう場合があります。
- ② タスクタイプ属性の内、汎用パラメータを使用するタイプのものは複数指定することはできません。
- 補足
  - ① 汎用パラメータ 1~20 に設定するタスクタイプ属性については、次項を参照してください。

#### ■ 使用例

A	B	C	D
タイトル	サプ	*	内容
TASKNO		*	567
タスク名		*	複数指定(非表示)
処理順NO		*	1
タスクタイプNO		*	430
タスクタイプ名		*	EXCELコマンド
タスクタイプ属性			複数指定
BKNO		*	1
ブック名		*	Sample.xls
シート名			EXCELコマンド
シート保護有無			
シート保護解除PW			
処理条件判定セル	実行判定		
定義有効無効フラグ			
コメント欄			
セル指定属性			
汎用パラメータ1			表示_ツールバー_図形描画非
汎用パラメータ2	複数指定O2		ツール_EXCELメニュー非表:
汎用パラメータ3	複数指定O3		ツール_シート見出し非表示
汎用パラメータ4	複数指定O4		ツール_行列番号非表示
汎用パラメータ5	複数指定O5		ツール_枠線非表示
汎用パラメータ6	複数指定O6		
汎用パラメータ7	複数指定O7		ツール_水平スクロールバー非
汎用パラメータ8	複数指定O8		ツール_垂直スクロールバー非
汎用パラメータ9	複数指定O9		
汎用パラメータ10	複数指定10		ツール_ステータスパー非表示
汎用パラメータ11	複数指定11		
汎用パラメータ12	複数指定12		
汎用パラメータ13	複数指定13		
汎用パラメータ14	複数指定14		
汎用パラメータ15	複数指定15		
汎用パラメータ16	複数指定16		
汎用パラメータ17	複数指定17		
汎用パラメータ18	複数指定18		
汎用パラメータ19	複数指定19		
汎用パラメータ20	複数指定2O		

B·····汎用パラメータ 1~20(複数指定 01~20)には、実行させたい他の EXCEL コマンドのタスクタ イプ属性の名称を指定します。

C・・・・上記の例のように汎用パラメータに指定する項目と指定しない項目が混在することも可能です。 但し、上から順番に実行するので途中を空けることにあまり意味はありません。また、同一のタ スクタイプ属性を重複して指定することも可能です。



## 2.118\_430: EXCEL コマンド タスクタイプ属性(ファイル\_ページ設定、編集\_検索...その他複数指定可能なタイプ)

機能

(db)

Excelのメニューで提供される標準機能を呼び出してダイアログ画面を表示したり、機能を実行したりし ます。

タスクタイプ属性と各機能については、別表に記載します。

表 1 タスクタイプ属性一覧

No	<b>タフクタイプ</b> 尾性の話新3/1	内容	範囲の	汎用パラ	特記
TNO.	ラスノライノ高圧の性規次イ			使用※3	事項
1	複数指定	下記の2以降のタスクタイプ属性を20個まで	_		<b>※</b> 4
		複数指定します。(一部不可)			
2	ファイル_ページ設定	ページ設定ダイアログを表示します。	(S)		
З	編集_検索	検索ダイアログを表示します。	(S)		
4	表示_標準	シートの表示を標準状態にします。	(S)		
5	表示_改頁プレビュー	シートの表示を改頁プレビュー状態にします。	(S)		
6	表示_ツールバー_図形描画表示	ツールバー「図形描画」を表示します。	(B)		
7	表示_ツールバー_図形描画非表示	ツールバー「図形描画」を隠します。	(B)		
8	表示_ズーム	ズーム設定画面を表示します。	(S)		
9	挿入_グラフ	グラフ挿入ダイアログを表示します。	(S)		
10	挿入_図	図挿入ダイアログを表示します。	(S)		
11	書式_セルの書式設定	セルの書式設定ダイアログを表示します。	O(S)		
10	書式_オートフォーマット	範囲のオートフォーマットダイアログを表示し	O(S)		
12		ます。			
13	書式_条件付き書式	条件付き書式ダイアログを表示します。	(S)		
14	ツール_EXCEL メニュー表示	Excelのメニューを表示します。	(B)		
15	ツール_EXCEL メニュー非表示	Excelのメニューを隠します。	(B)		
16	ツール_シート見出し表示	シートの見出しを表示します。	(B)		
17	ツール_シート見出し非表示	シートの見出しを隠します。	(B)		
18	ツール_行列番号表示	行列番号を表示します。	(S)		
19	ツール_行列番号非表示	行列番号を隠します。	(S)		
20	ツール_枠線表示	シートの枠線を表示します。	(S)		
21	ツール_枠線非表示	シートの枠線を隠します。	(S)		
22	ツール_水平スクロールバー表示	水平スクロールバーを表示します。	(B)		
23	ツール_水平スクロールバー非表示	水平スクロールバーを隠します。	(B)		
24	ツール_垂直スクロールバー表示	垂直スクロールバーを表示します。	(B)		
25	ツール_垂直スクロールバー非表示	垂直スクロールバーを隠します。	(B)		
26	ツール_ステータスバー表示	ステータスバーを表示します。	(B)		
27	ツール_ステータスバー非表示	ステータスバーを隠します。	(B)		

【次頁に続く】

【前頁より続く】

No.	タスクタイプ属性の種類※1	内容	範囲の	汎用パラ	特記
			選択※2	使用※3	事項
28	ツール_Lotus キー操作 ON	Lotus1-2-3 形式のキー操作を ON にします。	(B)		
20	ツール_Lotus キー操作 OFF	Lotus1-2-3 形式のキー操作をOFFにしま	(B)		
29		す。			
30	ツール_入力後のセル移動方向	入力後にセルを移動する方向を指定します。	(B)	0	*5
31	データ_並べ替え	データの並べ替えダイアログを表示します。	(S)		
32	データ_フォーム	フォーム設定のダイアログを表示します。	(S)		
33	データ_集計	集計のダイアログを表示します。	(S)		
34	データ_ピボットテーブル	ピボットテーブルのダイアログを表示します。	(S)		
35	ウィンドウ_新しいウィンドウを開く	新しいウィンドウを開きます。	(B)		
36	ウィンドウ_整列	ウィンドウを整列させます。	(B)		
37	ウィンドウ_ウィンドウ枠の固定	ウィンドウ枠の固定/解除をします。	(S)		
38	データ_オートフィルタ設定	オートフィルタを設定します。	(S)	0	*6
39	データ_オートフィルタ解除	オートフィルタを解除します。	(S)	0	<b>※</b> 6

※1 タスクタイプ属性の \_\_の前の部分はExcelのメニュー名に相当します。(Excel2003以前のバージョン)

※2 範囲の選択にOが付いたタスクタイプ属性の時には、コマンドを実行する前に Excel シートで対象範囲を 指定しておく必要があります。

(B): Excel ブックに対して有効なタスクタイプ属性を示しています。

(S): Excel シートに対して有効なタスクタイプ属性を示しています。

※3 「汎用パラメータ」を使用するタイプは「複数指定」では指定することができません。

※4 EXCEL コマンド:「複数指定」の項を参照してください。

※5 EXCEL コマンド:「ツール\_入力後のセル移動方向」の項を参照してください。

※6 EXCEL コマンド:「データ\_オートフィルタ設定/解除」の項を参照してください。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	532		
3	タスク名		*	ファイル_ページ設定		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	430		
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド		
7	タスクタイプ属性			ファイル_ページ設定	何もしない	
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			EXCELコマンド		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

# 項目説明 TASKNO ......任意(省略不可) (注1、2) タスク名.....自動表示します。(省略不可) 処理順 NO ......任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。 タスクタイプ NO ......"430"を入力します。(省略不可)(注1、3) タスクタイプ名...... "EXCEL コマンド"は自動表示します。(省略不可) タスクタイプ属性......表1のタスクタイプ属性を指定します。 BKNO .....の管理番号 (BKNO) を指定します。 BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2) ブック名......BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1) シート名……………………………………………タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。 (注1、2) シート保護有無......シートに保護がかけられている時は、"有り"を指定します。(注2) ① (空白) ② 有り シート保護解除 PW......シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指 定します。(注2) カです。(注1、2) ① 有効 2 無効

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

■ 使用上の注意

① タスクタイプ属性を未指定の場合、何もしません。エラーにもなりませんので注意してください。

■ 補足

特にありません。

#### ■ 使用例

dh 😪

タスク定義の例を示します。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	532	
3	タスク名		*	ファイル_ページ設定	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	430	
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド	
7	タスクタイプ属性			ツール_行列番号非表示 ――	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			EXCELコマンド	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				

A·····タスクタイプ属性に"ツール\_行列番号非表示"を指定します。

実際の動作例を模式的に示します。

	A	В	С	D	E	F	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							<b>_</b> /
8							
9		1	2	3	4		
10							
11							
12							
13							
14							

Image: state of the state o						
1     2     3     4       1     2     3     4       1     2     3     4       1     1     1     1       1     1     1     1       1     1     1     1       1     1     1     1       1     1     1     1       1     1     1     1       1     1     1     1						
Image: state of the s		1	2	3	4	
Image: Constraint of the second sec						

Excel 部分の「行列番号」が非表示となります。

#### 2.119 430: EXCEL コマンド タスクタイプ属性 (ツール\_入力後のセル移動方向)

■ 機能

db

Excelのメニューで提供される標準機能を呼び出してダイアログ画面を表示したり、機能を実行したりします。

- ツール\_入力後のセル移動方向: セルにデータを入力後、移動する方向を"下"、"右"、"上"、"左" から選択します。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	573		
3	タスク名		*	入力後のセル移動方向_右		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	430		
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド		
7	タスクタイプ属性			ツール_入力後のセル移動方向		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			EXCELコマンド		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	セル移動方向		右	何もしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

∎ Ij	夏目説明	
	TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
	タスク名	自動表示します。(省略不可)
	処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
	タスクタイプ NO	" <b>430</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	"EXCEL コマンド"は自動表示します。(省略不可)
	タスクタイプ属性	" <b>ツール_入力後のセル移動方向</b> "を指定します。(省略不可)
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
		(注1、2)
	シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
		① (空白)
		② <b>有り</b>
	シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
		定します。(注2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有效
		② 無效
	コメント欄	
	セル指定属性	
		① 直接 ③ 間接アドレス
		② 間接
	汎用パラメータ 1	入力後のセル移動方向を指定します。
		① 下     ③ 上
		② 右 ④ 左

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① EXCEL コマンド:「複数指定」の汎用パラメータ 1~20 に指定することはできません。
- ② 汎用パラメータ1を未指定の場合、何もしません。エラーにもなりませんので注意してください。

■ 補足

db

特にありません。

■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	575	
3	タスク名		*	入力後のセル移動方向_左	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	430	
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド	
7	タスクタイプ属性			ツール_入力後のセル移動方向	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			EXCELコマンド	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性				
17	汎用パラメータ1	セル移動方向		左 ————	— В

A·····タスクタイプ属性に"ツール\_入力後のセル移動方向"を指定します。

B·····汎用パラメータ1(セル移動方向)に"左"を指定します。

タスク実行後の動作例を模式的に示します。



"C3" セルに「ABC」を入力して Enter キーを押下すると"左"("B3" セル)に移動します。

もうひとつ例を示します。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	573	
3	タスク名		*	入力後のセル移動方向_右	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	430	
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド	
7	タスクタイプ属性			ツール_入力後のセル移動方向	— A'
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			EXCELコマンド	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性				
17	汎用パラメータ1	セル移動方向		右	— В'

A'…・タスクタイプ属性に"ツール\_入力後のセル移動方向"を指定します。

B'……汎用パラメータ 1(セル移動方向)に"右"を指定します。



"C3" セルに「ABC」を入力して Enter キーを押下すると"右"("D3" セル)に移動します。



#### 2.120 430: EXCEL コマンド タスクタイプ属性(データ\_オートフィルタ設定、データ\_オートフィルタ解除)

■ 機能

db

Excelのメニューで提供される標準機能を呼び出してダイアログ画面を表示したり、機能を実行したりします。

- ① データ\_オートフィルタ設定: 指定された範囲にオートフィルタを設定します。
- ② データ\_オートフィルタ解除: 指定された範囲のオートフィルタを解除します。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	571		
3	タスク名		*	オートフィルタ設定		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	430		
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド		
7	タスクタイプ属性			データ_オートフィルタ設定		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			EXCELコマンド		
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性					
17	汎用パラメータ1	設定範囲		@見出し領域	何もしない	補足①

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>430</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>EXCEL コマンド</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	以下から指定します。(省略不可)
	① データ_オートフィルタ設定
	② データ_オートフィルタ解除
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)

定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたく	、ない場合は、	" <b>無効</b> "を選択します。	通常は未入
	力です。(注1、2)			
	① 有効			
	② 無効			
コメント欄	.開発時のメモ書きや修	8正記録などに	使用します。	
セル指定属性	. 汎用パラメータの設定	この仕方を、下	記から指定します。(	注4)
	① 直接	③ 間接アドし	レス	
	2 間接			
汎用パラメータ 1	.オートフィルタを設定	きする範囲また	は解除する範囲を指定	言します。

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- 「設定範囲」は必ずしもオートフィルタを設定すべき全範囲を指定する必要はありません。1セル を指定すれば、Excelの機能として連続した領域にオートフィルタを設定します。
- ② 連続した領域の中の一部領域だけを「設定範囲」とした場合は、指定された範囲だけにオートフィ ルタが設定されます。
- ③ 「解除範囲」は必ずしもオートフィルタを解除すべき全範囲を指定する必要はありません。1 セル を指定すれば、Excelの機能として設定済みのオートフィルタを解除します。

#### ■ 補足

① 「サブ」の部分には、オートフィルタ設定時は「設定範囲」、オートフィルタ解除時は「解除範囲」 と表示されます。

#### ■ 使用例

タスク定義の例を示します。

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	571	
3	タスク名		*	オートフィルタ設定	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	430	
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド	
7	タスクタイプ属性			データ_オートフィルタ設定	— A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			EXCELコマンド	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性				
17	汎用パラメータ1	設定範囲		@見出し領域	— В

A·····タスクタイプ属性に"データ\_オートフィルタ設定"を指定します。

B……汎用パラメータ1(設定範囲)に「見出し領域」という名前定義を指定します。

タスク実行後の動作例を模式的に示します。

	Α	В	С	D	E	F	]		Α	В	С	D	E	F
1								1						
2								2						
3			А	В	С		1	3		•	Α 🔻	В 🔻	C 🖣	
4		а						4		а				
5		b						5		b				
6		С						6		С				
7		d						7		d				
8		е						8		e				
9		f						9		f				
10								10						
11								11						
_				•			•							

「見出し領域」が"B3:E3"セルである場合、このようにオートフィルタが設定されます。

もうひとつ例を示します。

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	572	
3	タスク名		*	オートフィルタ解除	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	430	
6	タスクタイプ名		*	EXCELコマンド	
7	タスクタイプ属性			データ_オートフィルタ解除 .	A
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			EXCELコマンド	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性				
17	汎用パラメータ1	解除範囲		@見出し領域	—— E

A'…・タスクタイプ属性に"データ\_オートフィルタ解除"を指定します。

B'……汎用パラメータ 1(設定範囲)に「見出し領域」という名前定義を指定します。

	Α	В	С	D	E	F
1						
2						
3		•	Α 🔻	В 🔻	C 🔻	
4		а				
5		b				
6		С				
7		d				
8		е				
9		f				
10						
11						

		A	В	С	D	E	F
	1						
	2						
	3			Α	В	С	
	4		а				
	5		b				
	6		С				
$\neg$	7		d				
	8		е				
	9		f				
	10						
	11						

先ほどの例とは逆に、タスク実行によりオートフィルタが解除されました。尚、この際フィルタ解除する 領域は厳密に指定する必要は無く、例えば「解除範囲」に "C3"セルだけを指定したとしても、設定済 みのオートフィルタは解除されます。



# 2.121 501:外部アプリ起動

■ 機能

dby

- ① 外部アプリを起動します。
- ② ファイル名を指定した場合、関連付けられたアプリケーションを起動します。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の筆	ÔĦ			6
	A	В	C	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
З	タスク名		*	外部アプリケーション実行		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	501		
6	タスクタイプ名		*	外部アプリ起動		
7	BKNO		*	3		
8	ブック名		*	Samplexis		
9	シート名			デモシート	開始時のシート名	
10	処理条件判定セル	実行判定		\$外部アプリ実行開始判定		
11	定義有効無効フラグ					
12	コメント欄					
13	セル指定属性					
14	汎用パラメータ1	起動プログラム名		c¥Sample¥Sample.txt		
15	汎用バラメータ2	5)数			なし	
16	汎用パラメータ3	ファイルのホスト			ネットワーク	
17	汎用パラメータ4	終了メッセージ			表示しない	
18	汎用パラメータ5	画面状態			そのままの状態	
19	汎用バラメータ6	同期非同期		同期	非同期	補足①、②
20	汎用パラメータ7	一時停止時間				補足②
21	汎用バラメータ8	外部アプリの表示				NAMES AND ADDRESS OF ADDRESS ADDRESS OF ADDRESS OF ADDR

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>501</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>外部アプリ起動</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	空白のままにします。
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
セル指定属性	汎用パラメータの設定の仕方を、下記から指定します。(注4)
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接

**dbSheetClient** 

- 汎用パラメータ 2......引数: 起動するプログラムに引き渡す引数を指定します。
- 汎用パラメータ 3......ファイルのホスト: 起動するプログラムあるいはファイルがネットワ ーク内に存在するか、DBSサーバに存在するか指定します。
  - ネットワーク:指定した外部アプリやファイルは、ネットワーク 内(ローカルを含む)のプログラムです。
  - ② DBS サーバ :指定した外部アプリやファイルは、DBSサーバのファイルです。
- 汎用パラメータ 4......終了メッセージ: 起動したアプリケーションが終了した時に通知する メッセージを入力します。(注4)
- - ① 最小化
- - ① 同期 :外部アプリが終了するまで、次の操作を実行できません。
  - ② **非同期**:外部アプリの実行中も、次の操作を実行できます。
- 汎用パラメータ7.....ー時停止時間:外部アプリを起動後に、一時停止する時間をミリ秒単位で指定します。(補足②)
- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

- 使用上の注意
  - DBS サーバ上の外部アプリを起動した場合、起動した外部アプリとは同期が取れません。サーバ上の外部アプリの終了を待って次の処理をおこなう場合、一時停止時間を利用してください。
  - ② 一時停止時間の最大値は、2147483647(約24.8日)です。
- 補足
  - ファイルのホスト(汎用パラメータ3)で「dbSサーバ」を指定し起動したサーバの外部アプリは、 常に非同期で起動します。
  - ② 同期非同期(汎用パラメータ 6)を同期でアプリケーションを起動した場合、一時停止時間(汎用 パラメータ 7)は、外部アプリが終了後の一時停止時間となります。

# **dbSheetClient**

#### ■ 使用例

ib🏏

「501:外部アプリ起動」の使用例です。

(拡張子\*.txt がメモ帳に関連付けられていることが前提です。)



定義するシート

• タスク定義(タスクー覧を含みます)

タスク定義	(C:¥Sample¥Sample.txt を起動)	の例

U.		<u>タスク定義編集画面の</u> :	範囲		
1	A	В	С	D	
1	タイトル	サブ	*	内容	
2	TASKNO		*	1	
З	タスク名		*	外部アプリケーション実行	
4	処理順NO		*	1	
5	970917N0		*	501	
6	タスクタイプ名		*	外部アプリ起動	
7	BKNO		*	3	
8	ブック名		*	Samplexis	
9	シート名			デモシート	
10	処理条件判定セル	実行判定		\$外部アプリ実行開始判定	
11	定義有効無効フラグ				
12	コメント欄				
13	セル指定属性				
14	汎用パラメータ1	起動プログラム名		o¥Sample¥Samp <del>le.bt</del>	Δ
15	汎用パラメータ2	5)数			· · ·
16	汎用バラメータ3	ファイルのホスト			
17	汎用パラメータ4	終了メッセージ			
18	汎用バラメータ5	画面状態			
19	汎用バラメータ6	同期非同期		同期	<u>н</u> В
20	汎用バラメータ7	一時停止時間			
21	汎用パラメータ8	外部アプリの表示			

A·····起動するアプリケーション、または、ファイル名(必須)

("C:¥Sample¥Sample.txt"を指定するとメモ帳が開きます。)

B·····同期:(同期を指定すると、メモ帳を終了するまでdbSheetClientのボタンを押下できません。)



#### 2.122 502:クリップボード操作 タスクタイプ属性 (コピー、貼り付け、クリア)

■ 機能

db

- ① Excel 上の選択した範囲の値をクリップボードにセットし、Excel 上の任意のセルに貼り付けます。
- ② 外部のアプリケーションでコピー操作を行いクリップボードにセットしたデータを Excel 上の任意のセルに貼り付けます。
- ③ クリアにより、クリップボード内のデータをクリアします。

#### ■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D	1	
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	クリップボード_コピー		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	502		
6	タスクタイプ名		*	クリップボード操作		
7	タスクタイプ属性			コピー		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			クリップボード操作	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			直接		
17	処理対象セル範囲	コピー範囲	*	B6:D11		

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	クリップボード_貼り付け		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	502		
6	タスクタイプ名		*	クリップボード操作		
7	タスクタイプ属性			貼り付け		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名			クリップボード操作	現在のシートを表示します	
11	シート保護有無					
12	シート保護解除PW					
13	処理条件判定セル	実行判定				
14	定義有効無効フラグ					
15	コメント欄					
16	セル指定属性			直接		
17	汎用パラメータ1	貼付け形式		全部	テキスト	補足①
18	処理対象セル範囲	貼付け先頭セル	*	B16		

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	…自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	…任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>502</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>クリップボード操作</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	処理に応じて指定します。(省略不可)
	① コピー ③ クリア
	② 貼り付け
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)

ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)					
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。					
	(注1、2)					
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)					
	① (空白)					
	② <b>有り</b>					
シート保護解除 PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指					
	定します。(注2)					
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)					
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入					
	力です。(注1、2)					
	① 有効					
	② 無效					
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。					
セル指定属性	. 下記からセルの指定方式を選択します。(注4)					
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>					
	② 間接					

#### ※タスクタイプ属性が ①コピー の時

処理対象セル範囲…………………………… コピー範囲: クリップボードにコピーする、Excel シート上の範囲 を指定します。(省略不可)

#### ※タスクタイプ属性が ②貼り付け の時

汎用パラメータ 1	.貼付け形式: 貼り付ける	形式を指定します。(補足①)
	① テキスト	③ 入力規則
	② Unicode テキスト	① コメント
	3 Csv	① 罫線を除くすべて
	(4) HTML	12 列幅
	⑤ <b>全部</b>	③ 数式と数値の書式
	⑥ <b>数式</b>	④ 値と数値の書式
	⑦ 値	⑮ 書式・コメント・入力規則・列幅
	<b>た書</b> ⑧	
処理対象セル範囲	.貼付け先頭セル: クリッ	プボードから、Excel シートに貼り付ける
	先頭セルを指定します。(省	<b>路</b> 不可)

※タスクタイプ属性が ③クリアの時 該当項目なし

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

■ 使用上の注意

db🟏

- Excel の内部形式で コピー&貼り付け の処理を実行することができるのは、同一タスク内で処 理を実行した時のみです。また、外部のアプリケーションでコピーしたクリップボードデータを貼 り付けできるのは、貼り付け形式が①"テキスト"、②"Unicode テキスト"、③"Csv"、④"HTML" のいずれかの場合のみです。(詳細は補足①を参照してください。)
- ② コピー範囲が大きすぎる場合には、全体が正しく コピー&貼り付け できない場合があります。 (このときの仕様は Excel 側のルールに従います。)
- ③ 貼り付け処理実行後、貼り付けを行った領域が選択状態になります。

#### ■ 補足

- 「貼り付け形式」は内部的な処理方式に従い、下記の2つの系統に分類できます。
   それぞれの選択可能な形式と注意事項を記載します。
  - 外部の Excel ブックやホームページ、テキストファイルのデータを貼り付ける時は、①"テキスト"、②"Unicode テキスト"、③"Csv"、④"HTML"のいずれかを選択します。
     dbSheetClient 以外のアプリケーションでのいわゆるコピー操作(領域の選択→「Ctrl+C」キー押下)により作成されます。
     コピーした時のデータ情報によっては、CSV や HTML 形式での貼り付けができないことがあります。

貼り付け時の動作は、Excelの機能に従います。

 Excel シート間のデータや、ブック間のデータを貼り付ける時は、⑤"全部"、⑥"数式"、⑦ "値"、⑧"書式"、⑨"入力規則"、⑩"コメント"、⑪"罫線を除くすべて"、⑫"列幅"、⑬ "数式と数値の書式"、⑭"値と数値の書式"、⑮"書式・コメント・入力規則・列幅"のいずれ かを選択します。

Excel の内部データ形式で、数式、値、書式などの複合的な情報を持ちます。 これらのデータは、dbSheetClient のタスク処理の中で生成・処理・破棄されるデータとな るため、貼り付け可能なデータは、タスクタイプ属性 ①"コピー"を使用して取得したもの に限定されると共に、②"貼り付け"も、同一タスク内で実行する必要があります。 貼り付け時の動作は、タスクタイプ410.コピー と同等です。

#### ■ 使用例

「502:クリップボード操作」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

タスク定義の例(コピー)

	A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容
2	TASKNO		*	1
3	タスク名		*	クリップボード_コピー
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	502
6	タスクタイプ名		*	クリップボード操作
7	タスクタイプ属性			コピー
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	Sample.xls
10	シート名			クリップボード操作
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW			
13	処理条件判定セル	実行判定		
14	定義有効無効フラグ			
15	コメント欄			
16	セル指定属性			間接
17	処理対象セル範囲	コピー範囲	*	@クリップボード操作_コピー範囲 -

A・・・・クリップボードへのコピー範囲を設定したセルの定義名を指定します。

#### タスク定義の例(貼り付け)

	A	В	C	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	2	
3	タスク名		*	クリップボード_貼り付け	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	502	
6	タスクタイプ名		*	クリップボード操作	
7	タスクタイプ属性			貼り付け	
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	シート名			クリップボード操作	
11	シート保護有無				
12	シート保護解除PW				
13	処理条件判定セル	実行判定			
14	定義有効無効フラグ				
15	コメント欄				
16	セル指定属性			間接	_
17	汎用パラメータ1	貼付け形式		@クリップボード操作_貼付形式 🚽	 E
18	処理対象セル範囲	貼付け先頭セル	*	@クリップボード操作_貼付先頭セル-	
					 (

B·····クリップボードから貼り付ける際の貼り付け形式を設定したセルの定義名を指定します。 C·····クリップボードから貼り付ける際の貼り付け先頭セルを指定したセルの定義名を指定します。

「コピー」、「貼り付け」のタスクの TASKNO を分け、別個に定義した場合は、タスクタイプ 320. サブタスク実行等を利用し、ひとつのタスク内で処理するようにします。





A·····セル定義名:「クリップボード操作\_コピー範囲」(コピー処理用)

B····・セル定義名:「クリップボード操作\_貼付形式」、「クリップボード操作\_貼付先頭セル」(貼り付け 処理用)

実行結果

dby



「貼り付け形式」を選択して実行すると、結果領域にデータをコピーします。



# 2.123 503:マクロ起動 タスクタイプ属性(なし)

■ 機能

db

Excel ブックに定義したマクロを実行します。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の	范囲			
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	200		
4	処理順NO		*	2		
5	タスクタイプNO		*	503		
6	タスクタイプ名		*	マクロ起動		
7	BKNO		*	3		
8	ブック名		*	Samplexis		
9	シート名			デモシート	開始時のシート名	
10	シート保護有無					
11	シート保護解除PW					
12	処理条件判定セル	実行判定		のマクロ実行開始判定		
13	定義有効無効フラグ					
14	コメント欄					
15	セル指定属性					
16	汎用パラメータ1	マクロ名		(実行するマクロ名)		補足①
17	汎用パラメータ2	一時停止時間			0	
18	汎用パラメータ3	外部アプリの表示				

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

■ 項目説明

TASKNO	.任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	.自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	.任意(省略不可) 同一タスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	." <b>503</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	." <b>マクロ起動</b> "は自動表示します。(省略不可)
BKNO	.タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	.BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除 PW	.シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。(注2)
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
① 直接
 ③ 間接アドレス

2 間接

汎用パラメータ 1.......マクロ名:実行するマクロの名前を指定します。(補足①)

汎用パラメータ 2...........ー時停止時間:マクロを起動後に、一時停止する時間をミリ秒単位で 指定します。(1000 の時 → 1秒)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- このタスクタイプ(503:マクロ起動)は、開始終了処理に「プロジェクトオープン」設定で「301: 起動モード(複数指定)」や「301:起動モード(マクロ実行禁止)」で「マクロ実行禁止:ON」 を指定している場合、および、マクロ実行禁止の状態を OFF から ON に変更後、Excel ブックを 再オープンした場合、利用できません。
- ② -時停止時間の最大値は、2147483647(約24.8日)です。

■ 補足

 マクロの起動は、VBAの run() メソッドを使用しています。このため、指定するマクロ名は、 run() メソッドで起動できるマクロ名(引数の無いプロシージャ名)を指定してください。

# ■ 使用例

「503:マクロ起動」の使用例です。

	А	В	C	D
1				
2			Tab	
3		実行対象マクロ名		
4		dbS_Mcr01		
5		20 20		
6				
7		一時停止時間		
8				
9				
10			ICTOSOTT EXCE	
11			dbSheetClient加户	実行したマクロです。
12				
13			0	K
14				
15				

定義するシート

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート (マクロ)

タスク定義(マクロ dbS\_McrO1 起動)の例

		タスク定義編集画面の	範囲		
	A	В	С	D	
1	タイトル	サブ	+	内容	
2	TASKNO		*	1	
З	タスク名		*	R70	
4	処理順NQ		*	2	
5	タスクタイプNO		*	503	
6	タスクタイプ名		*	マクロ起動	
7	BKNO		*	3	
8	ブック名		*	Samplexis	
9	シート名			デモシート	
10	シート保護有無				
11	シート保護解除PW				
12	処理条件判定セル	実行判定		@マクロ実行開始判定	
13	定義有効無効フラグ				
14	コメント欄				
15	セル指定属性				
16	汎用パラメータ1	マクロ名		(実行するマクロ名)	
17	汎用パラメータ2	一時停止時間	1011011011011011010		
18	汎用バラメータ3	外部アプリの表示			

A·····起動するマクロ名を指定します。

Excel シートに定義したマクロ( Excel ファイル:「Sample.xls」/マクロ:「dbS\_McrO1」)の例

S S	ample.xls - Module1	(J \$)	_ 🗆 🗙
(Ge	eneral)	dbS_Mcr01	•
	Sub_dbS_Mcr01()		
	MsgBox "dbSheetCli	entから実行したマクロです。"	
	End Sub	Microsoft Excel	X
		dbSheetClientから実行したマクロです	<b>j</b> 。
		OK	
		Summunitiement	
			-
= =			► //.

A·····Excel シートに定義したマクロ名



# 2.124 504:外部 DLL 呼び出し タスクタイプ属性(なし)

■ 機能

dby

外部 DLL (DLL ファイル)の関数呼び出し (パラメータ数は最大15まで)を行います。 ⇒「汎用パラメータ1~19」の設定。

■ 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲		6		
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	9500		
З	タスク名		*	DLL呼び出し		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	504		
6	タスクタイプ名		*	外部DLL呼び出し		
7	タスクタイプ属性					
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	シート名			DLL呼び出し例	開始時のシート名	1
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	外部DLL名		C¥work¥D]]Exe.d]]	エラー	補足①
16	汎用バラメータ2	関数名		PlusFunc	エラー	補足②
17	汎用パラメータ3	戻り値		int:F6	戻り値なしとする	補足③
18	汎用バラメータ4	DLLバラメータ1		nt:12:D6	パラメータ1なしとする	補足④
19	汎用バラメータ5	DLLバラメータ2		int3:E6	バラメータ2なしとする	補足④
20	汎用バラメータ6	DLLバラメータ3			バラメータ3なしとする	補足④
21	汎用パラメータ7	DLLバラメータ4		1	パラメータ4なしとする	補足④
22	汎用バラメータ8	DLLバラメータ5			バラメータ5なしとする	補足④
23	汎用バラメータ9	DLLバラメータ6			バラメータ6なしとする	補足④
24	汎用バラメータ10	DLLバラメータイ			パラメータイなしとする	補足④
25	汎用パラメータ11	DLLバラメータ8			パラメータ8なしとする	補足④
26	汎用パラメータ12	DLLバラメータ9			パラメータ9なしとする	補足④
27	汎用バラメータ13	DLLバラメータ10			パラメータ10なしとする	補足④
28	汎用パラメータ14	DLLバラメータ11			パラメータ11なしとする	補足④
29	汎用バラメータ15	DLLバラメータ12			パラメータ12なしとする	補足④
30	汎用バラメータ16	DLLバラメータ13			パラメータ13なしとする	補足④
31	汎用バラメータ17	DLLバラメータ14			パラメータ14なしとする	補足④
32	汎用バラメータ18	DLLバラメータ15			パラメータ15なしとする	補足④
33	汎用パラメータ19	外部アプリの表示				

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

dby

∎ Ij	自説明	
	TASKNO	任意。(省略不可)(注1、2)
	タスク名	TASKNO 設定によりタスク名は自動設定されます。
	処理順 NO	任意。同ータスク内で処理する順番を指定します。(省略不可)
	タスクタイプ NO	"504"を指定します。(省略不可)(注1、3)
	タスクタイプ名	タスクタイプ NO 設定により" <b>外部 DLL 呼び出し</b> "が自動設定されま
		す。
	タスクタイプ属性	何も指定しません。
	BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号(BKNO)を指定します。
		BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
	ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
	シート名	タスク実行時に表示するなど、基準とするシートを指定します。
		(注1、2)
	処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合にシートのセル位置を指定し
		ます。セルの値によってタスクの実行制御を行います。(注1、4)
		セルの値:" <b>True</b> "=実行する、" <b>False</b> "=実行しない
	定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常は未入
		力です。(注1、2)
		① 有效
		② 無效
	コメント欄	
	セル指定属性	
		(アドレス)指定の属性を指定します。(注4)
		<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
		② 間接
	汎用パラメータ 1	外部 DLL 名(ファイル名)を <b>フルパス名</b> で指定します。
	汎用パラメータ 2	DLL の呼び出し <b>関数名</b> を指定します。
	汎用パラメータ 3	
		<b>セットするセル」の形式</b> で指定します。
	汎用パラメータ 4	
		<b>ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
	汎用パラメータ 5	呼び出し関数のパラメータ2を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポイ</b>
		<b>ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
	汎用パラメータ 6	呼び出し関数のパラメータ3を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポイ</b>
		<b>ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
	汎用パラメータ 7	呼び出し関数のパラメータ4を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポイ</b>
		<b>ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
	汎用パラメータ 8	呼び出し関数のパラメータ5を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポイ</b>
		<b>ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
	汎用パラメータ 9	
		<b>ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。

db

汎用パラメータ 10	呼び出し関数のパラメータてを <b>「データ型」;「関数に渡す値」;「ポイ</b>
	<b>ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
汎用パラメータ 11	呼び出し関数のパラメータ8を <b>「データ型」;「関数に渡す値」;「ポイ</b>
	ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式で指定します。
汎用パラメータ 12	呼び出し関数のパラメータ9を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポイ</b>
	ンタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式で指定します。
汎用パラメータ 13	呼び出し関数のパラメータ10を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポ</b>
	<b>インタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
汎用パラメータ 14	呼び出し関数のパラメータ11を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポ</b>
	<b>インタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
汎用パラメータ 15	呼び出し関数のパラメータ12を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポ</b>
	<b>インタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
汎用パラメータ 16	呼び出し関数のパラメータ13を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポ</b>
	<b>インタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
汎用パラメータ 17	呼び出し関数のパラメータ14を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポ</b>
	<b>インタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
汎用パラメータ 18	呼び出し関数のパラメータ15を「 <b>データ型」;「関数に渡す値」;「ポ</b>
	<b>インタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式</b> で指定します。
汎用パラメータ 19	最前面に表示:外部アプリを最前面に表示

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- ① 呼び出し可能な関数は、CやC++で作成されたアンマネージコードのDLL 関数になっています。
- ② 呼び出す DLL 関数は、DLL のエクスポート済み関数として公開されている必要があります。
- ③ 呼び出す関数の形式は、戻り値あり(データの型指定を行う)、なし(void 型)でも可能で、パラメ ータ(引数)は0~15まで指定することができます。パラメータは、個々にデータの型指定/値 渡し/参照渡し(ポインタ渡し)などの指定を行うことができます。実際に呼び出す関数の形式に 合わせて、それぞれ必要な分を指定してください。
- ④ 戻り値やパラメータで指定するデータの型指定は、以下の表を参考にして指定してください。

本タスクタイプで 指定するデータ型	サイズ	意味	範囲
bool	1 バ イト	論理型	true(O 以外)/false(O)
char	1 バ 1ト	文字型	-128 ~ 127
unsigned char	1 バイト	符号なし文字型	0 ~ 255
wchar_t	2 バ イト	ワイド文字型	0 ~ 65535
short	2 バ イト	短長整数型	-32768 ~ 32767
unsigned short	2 / 11	符号なし 短長整数型	0 ~ 65535
int	4 バ1ト	整数型	-2147486948
			~ 2147483647
unsigned int	4 バ1ト	符号なし整数型	0 ~ 4294967295
long	4 バ1ト	長整数型	-2147486948
			~ 2147483647
unsigned long	4 バイト	符号なし	0 ~ 4294967295
		長整数型	
float	4 バイト	単精度浮動	-3.4E+38
		小数点型	$\sim$ 3.4E+38
double	8 バ1ト	倍精度実数型	-1.7E+308
			~ 1.7E+308
long double	8 バ1ト	拡張精度浮動	-1.7E+308
		小数点型	~ 1.7E+308
_int8	1 バイト	拡張整数型	-128 ~ 127
_int16	2 バ 1ト	拡張整数型	-32768 ~ 32767
_int32	4 バイト	拡張整数型	-2147486948
			$\sim$ 2147483647
_int64	8 バ イト	拡張整数型	-9223372036854775808
			~9223372036854775807
char *	可変長	文字列型	文字列

※文字列型の場合は "char \*"を指定し、「ポインタ渡し」の指定も必要になります。

#### ■ 補足

- ① 「汎用パラメータ1」で、外部 DLL 名(ファイル名)をフルパスで指定します。
- ② 「汎用パラメータ2」で、DLL の呼び出し関数名を指定します。
- ③ 「汎用パラメータ3」で、呼び出し関数の戻り値を「データ型」;;「ポインタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式で指定します。 戻り値の場合、「関数に渡す値」(2番目のデータ)は無いので何も指定しません。"ポインタ渡し" は戻り値が参照渡し(ポインタ渡し)の時のみ指定してください。 呼び出し関数が戻り値なし(void型)の場合は、「汎用パラメータ3」は何も指定しないようにしま す。(下記「※汎用パラメータ3(関数の戻り値)と汎用パラメータ4~(関数パラメータ1~)の 指定例」を参照)

 ④ 「汎用パラメータ 4~18」で、呼び出し関数のパラメータ1~15を、「データ型」;「関数に渡す 値」;「ポインタ渡し」;「戻り値をセットするセル」の形式で指定します。
 「関数に渡す値」は、実際に関数に渡す値を指定します。セルの内容の値を渡したい場合は、「セル 指定属性」を"間接"にして、{「データ型」;「関数に渡す値」;「ポインタ渡し」;「戻り値をセットす るセル」}形式の文字式を作成して、その文字式のセルアドレスを指定するようにします。具体的な 方法は、「■使用例」を参考にしてください。

"ポインタ渡し"はパラメータが参照渡し(ポインタ渡し)の時のみ指定してください。また、関数に値を渡すだけで「戻り値をセットするセル」が必要ない場合は、その部分を省略することができます。

個々のパラメータは実際に呼び出す関数のパラメータ数分のみ指定してください。呼び出し関数の パラメータ数がOの場合は、「汎用パラメータ 4~18」は何も指定しないようにします。(下記「※ 汎用パラメータ 3(関数の戻り値)と汎用パラメータ 4~(関数パラメータ1~)の指定例」を参 照)

※汎用パラメータ3	(関数の戻り値)	と汎用パラメータ 4~	(関数パラメータ1~	•)の指定例
-----------	----------	-------------	------------	--------

呼び出し関数の形式	汎用パラメータ3	汎用パラメータ4	汎用パラメータ5	汎用パラメータ6	汎用パラメータ7
void Func0 (short*)	指定なし (空白)	short;; ポインタ渡し;			
		N26			
int Func1 ()	int;;;M26				
int* Func2	int;;	int;15;;	unsigned int;;		
(int, unsigned int*)	ポインタ渡し;		ポインタ渡し;		
	M26		026		
long Func3	long;;;M26	char *;Data1;	char *;Data2;	char *;;	
(char*, char*,		ポインタ渡し;	ポインタ渡し;	ポインタ渡し;	
char*)		;N26	;026	P26	
char* Func4	char *;;	float;21;;	float;;	double;24;;	double;;
(float, float*,	ポインタ渡し;		ポインタ渡し;		ポインタ渡し;
double, double*)	M26		026		Q26

・上記例で、汎用パラメータ3の「戻り値をセットするセル」はM26になっています。

・上記例で、汎用パラメータ4の「戻り値をセットするセル」はN26になっています。

- ・上記例で、汎用パラメータ5の「戻り値をセットするセル」は O26 になっています。
- ・上記例で、汎用パラメータ6の「戻り値をセットするセル」はP26になっています。

・上記例で、汎用パラメータ7の「戻り値をセットするセル」はQ26になっています。

### ■ 使用例

dby

◎「外部 DLL 呼出」ボタンを押して、外部 DLL (C:¥dbSheetClient¥Develop¥bin¥DllExe.dll)の
 四則演算関数 (PlusFunc, MinusFunc, MulFunc, DivFunc)を実行して、戻り値(計算結果)
 を取得する使用例を示します。

♥サンプルアプリケーション【デバラグJuser: Manual5 #1 ★オフラインで実行中★							
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルブ	(日) 復旧 プロジェクト: サンブルアプリケーション	×	< i > 100	🗴 🔿 50 🔿 75 🔿 100 🔿 150 〇 範囲	∎⊼"−ム		
終了 標準サイズ • 画面	<b>別フレッシュ</b> 外部DLU呼出		·				
メニュー         再         ステップ停止           > 4)外部DLL呼び出し         1	Sample xis (掛み取り) 用口換一下) - dbS.#1	「外部 DLL 呼」	出」ボタンを	押すと、選択	_ = x		
Menu - 8)一括入出力」 - 8)同時計上	B C D E F G 1 2 外部DLU呼び出出	されている関数	名で、パラメー . 戸り値を8	タ1とパラメータ 12/2 ます	0		
9)200挿入・ク 10)行列挿入(4 11)行刃挿入(4 12)ハイパータス/ ファイル場作りフカタイご	3 4 5 6 7 7 7 8 能:外部ロムモジュール(ロムファイル	200回之司昇0	、	ストラ し み 9 。 一 うことができます。			
	8 9 10 操作: 外部DLLF出 ボタンを押すとタ	本部DLLの関数にバラメータを	渡し、関数実行結果を	戻り値に設定します。			
5)サーパフォルダ削 6)ファイルフォルダコ 外部接続用タスクタイン 1)外額アプリ起動(	12 関数名 バラメーŷ1 13 14 15 <b>休客のLL名</b> C.VellS Seat Client V De Senv Vil	ヘ*ラメータ2を変更することによ	り、四則演算を計算す	ることが出来ます。			
<ul> <li>2)クリップボード(50</li> <li>3)マクロ起動(503)</li> <li>4)外部DLL呼び出</li> </ul>	16 17 <b>関数名 戻り値</b> 18 PlusFunc ▼ 15 = 12	▲ ▲ 本 ・ ラメータ2 関数名 HusFunc	<u>四則演算 戻り値</u> 加算 int	<u>1の型 パラメータ1の型</u> int	パラメータ2の型		
オンライン保守 ↓ 1)データ保守(601) = ボタン制御 ↓ 1. ボタン表示 —	19 Puscano 20 MinusFunc 21 DivFunc	MinusFunc MulFunc DivPunc	減算 unsigned sh 掛算 unsigned lo 割算 double	ort unsigned short ng unsigned long double	unsigned short unsigned long double		
	22 23 (	处理条件No III	2 [int;;;E18	[int;12;;G18	int;3;;118		

◎定義するシート:

- 3) メニュー定義
- 4)ボタン定義
- 5) タスク定義
- 6) Excel シートの定義
- 1)メニュー定義の例

表示NO 階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO
1240 3	4)外部DLL呼び出し	1	Sample.xls	外部DLL呼び出し	0	1240

2)ボタン定義の例

 BSNO
 ボタンNO
 ボタン名表示名
 TASKNO
 タスク名
 権限レベル
 定義有効無効フラグ
 ガイダンス

 1240
 1
 外部DLL呼出
 12410
 外部DLL呼び出し\_条件分岐
 ロージー
 田
 ロージー
 ロ

3) タスク定義の例

TASKNO	タスク名	処理順NO	タスクタイブNO	タスクタイブ名	タスクタイブ属性 BKNC	リ ブック名	シート名
12410 :	外部DLL呼び出し_条件分岐	1	317	条件判定分岐	1	Sample.xls	外部DLL呼び出し
12420 :	外部DLL呼び出し_実行	1	504	外部DLL呼び出し	1	Sample.xls	外部DLL呼び出し
12430 ;	外部DLL呼び出し_エラーメッセージ	1	318	メッセージ表示	1	Sample.xls	外部DLL呼び 出し



dbX





# 2.125 601:データ保守実行 タスクタイプ属性(開始、終了)

■ 機能

db

- ① 開発版の「データ保守定義」で定義した「データ保守」画面を内部ブラウザに表示します。
- ② タスクタイプ属性の指定により、表示領域を制御します。
  - 開始 : Excel 表示エリアを非表示とし、内部ブラウザを表示します。
  - 終了 : 内部ブラウザを閉じ、Excel表示エリアを再表示します。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	データ保守開始		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	601		
6	タスクタイプ名		*	データ保守実行		
7	タスクタイプ属性			開始	開始	
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	処理条件判定セル	実行判定		@データ保守実行開始判定		
11	定義有効無効フラグ					
12	コメント欄					
13	汎用パラメータ1	管理No		1		補足①
14	汎用パラメータ2	管理名称		商品マスタメンテ		
15	汎用パラメータ3	対象テーブル		商品マスタ		

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

#### ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	"601"を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>データ保守実行</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	以下から指定します。(省略時は"開始"扱い)
	① 開始
	② 終了
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO) を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)
ブック名	BKNO 設定によりブック名は自動表示します。(省略不可)(注1)
処理条件判定セル	タスク実行を条件により制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	タスクを実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。

#### ※タスクタイプ属性が"開始"の場合("終了"の場合は指定項目なし)

汎用パラメータ 1	.管理 No:	データ保守の管理 No を指定します。	(補足①)
汎用パラメータ 2	.管理名称:	選択した管理Noから定義済みの管理	<b>担名称を自動表示し</b>
	ます。(特に	編集する必要はありません)	

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ① 「データ保守実行」を"開始"すると、Excel 画面が非表示になります。データ保守を"終了"するまで、Excel 画面の操作はできなくなりますので、注意してください。
- 補足
  - 「データ保守定義」でデータの保守管理定義を登録すると、データ保守管理 No を自動採番します。 選択画面から作成済みの管理 No.を選択することができます。

# ■ 使用例

「601:データ保守実行」の使用例です。

😂 データベース保守サンブル【デバッグ	]user:manual8 #1		
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧 プロジェクト: データベース保守	サンブル 🕜 🚺 🔰 100 🕺 00 🔿 75 🔿 100 🔿 150 〇 範囲ズーム	
終了 標準サイズ 🔹 画面リフレッ	ジュ データ保守開始 データ	保守終了	
メニュー 再 ステップ停止			
>データ保守	データ保守メンテ		
Menu			^
: ▼メニューを選択してください。▼		◆◆◆【商品マスタメンテ】 ◆◆◆	
	「絞込み検索」の家会っない	***-*** (7)- (***-*** (7)- 中間 - ** (A)- ***(用地学	
	MARCONTRACT (0). JEE BA (1).	an / 3x (4). (2) 3x (3). This 3x (7). Remain a	
	商品CD(1):	検索	
	■ 商品CD:	■ 商品名:	
	■ 簡品CD不変換:		
	更新 初期化		
	<u>商品CD(10)</u>	商品名(255)	
	選択 01121060	マックス ストックバー入り ホッチキス針 No. 10-1M 業務用バック 1バック(21箱入)	
	違択 01121260	マックス ストックハー人り ホッチキス計 No.10-1M 業務用バック 1バック(22箱人)	
	違訳 01121360	マックス ストックハー人り ホッチキス計 No. 10-1M 美務用ハック 1ハック(23箱人)	
	凝釈 01121375	マックス ストックハー人り ホッチキス計 No.10-1M 美務用ハック 1ハック(24箱人)	
	違訳 01121560	マックス ストックハー人り ホッチキス計 No.10-1M 業務用ハック 1ハック(25相人)	
	· 建式 01121575	マックス ストックハー大り ホッナキス計 No.10-1M 業務用ハック 1ハック(26相人)	
	281円 01121660 281円 01101675	マックス ストックハー人り ハッナキスst No.10-1M 東扬用ハック 1ハック(2/相人)	
	通知 U1121675	マックス ストックハー大り ハッナキス計 No.10-11M 未務用ハック 1ハック(28相人)	
	·····································	マックス ストックハースタ ハッチャスst No. TUTIM 未務用ハック Tバック(29相人) ゼブラ エアーフ (4) ペン・ブ ライトブル - MA10-LP	
	選択 01122160		
	選択 01122175		
	選択 01128160	ゼブラ TアーフィットSiveーブ ライトブルー MA22ーLB	-
×	K		>

- 上記の画面は、タスクタイプ属性で"開始"を指定したボタン「データ保守開始」を実行したものです。登録した「データ保守」(上記の画面は「商品マスタメンテ」)を起動することが可能です。
- ② 終了するには、タスクタイプ属性で"終了"を定義したタスクを実行する必要があります。この例では、ボタン「データ保守終了」を押すと戻るようにしてあります。



定義するシート:

- タスク定義 (タスクー覧を含む)
- Excel シート(任意)

#### タスク定義の例

	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	TASKNO		*	1	
3	タスク名		*	データ保守開始	
4	処理順NO		*	1	
5	タスクタイプNO		*	601	
6	タスクタイプ名		*	データ保守実行	
7	タスクタイプ属性			開始	 А
8	BKNO		*	1	
9	ブック名		*	Sample.xls	
10	処理条件判定セル	実行判定			
11	定義有効無効フラグ				
12	コメント欄				
13	汎用パラメータ1	管理No		1 —	 B
14	汎用パラメータ2	管理名称		商品マスタメンテ	0
15	汎用パラメータ3	対象テーブル		商品マスタ	

A·····タスクタイプ属性で、"開始"を指定します。

B……定義済みのデータ保守管理Noを選択します。

# 2.126 701:タイマー処理 タスクタイプ属性(再計算実行、タスク実行、停止、再開、クリア)

■ 機能

dby

- ① 開始時刻や時間間隔を指定することにより、定時的・定期的な処理を行います。
- ② タスクタイプ属性により、実行する処理方法を選択します。
  - **再計算実行**: Excelの再計算を実行します。
  - **タスク実行**: 指定した時間に、特定のタスクを実行します。
  - 停止 : 指定したタイマー処理を一時的に停止します。
  - 再開 : 一時的に停止したタイマー処理を再開します。
  - **クリア** : 設定したタイマー処理を全てクリアし、タイマー処理を無効にします。
- ③ 設定できるタイマーの最大数は10です。
- ④ タイマー処理で指定できる最少の間隔は1秒です。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	タイマー処理_タイマー始動		
4	処理順NO		*	1		
5	タスクタイプNO		*	701		
6	タスクタイプ名		*	タイマー処理		
7	タスクタイプ属性		*	タスク実行		
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名				現在のシートを表示します	
11	処理条件判定セル	実行判定		@タイマー処理開始判定		
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	タイマ管理番号		1	1	補足①
16	汎用パラメータ2	開始日				
17	汎用パラメータ3	開始時刻				
18	汎用パラメータ4	実行間隔		1	0	
19	汎用パラメータ5	実行間隔単位		秒	分	
20	汎用パラメータ6	終了日				
21	汎用パラメータ7	終了時刻				
22	汎用パラメータ8	再計算対象シート			ブック全体	補足②
23	汎用パラメータ9	基準時刻			PC時刻	
24	TASKJUMPN01	実行タスク		100	何もしない	

開始メッセージ以降の項目は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

## ■ 項目説明

TASKNO	任意(省略不可) (注1、2)
タスク名	自動表示します。(省略不可)
処理順 NO	任意(省略不可) 同ータスク内で処理する順番を指定します。
タスクタイプ NO	" <b>701</b> "を入力します。(省略不可)(注1、3)
タスクタイプ名	" <b>タイマー処理</b> "は自動表示します。(省略不可)
タスクタイプ属性	目的となる処理を選択します。(省略不可)
	① 再計算実行 ④ 再開
	② タスク実行 ⑤ クリア
	③ 停止
BKNO	タスク実行する Excel ファイルの管理番号 (BKNO)を指定します。
	BKNO はブック運用定義にて登録します。(省略不可)(注1、2)

dby

ブック名	.BKNO 設定によりブッ	ク名は自動表示します。(省略不可)(注1)
シート名	.タスク実行時に表示する	るなど、基準とするシートを選択します。
	(注1、2)	
処理条件判定セル	.タスク実行を条件により	の制御する場合に指定します。(注1、4)
定義有効無効フラグ	.タスクを実行させたくな	ない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は未入
	力です。(注1、2)	
	① <b>有効</b>	
	② <b>無効</b>	
コメント欄	.開発時のメモ書きや修正	王記録などに使用します。
セル指定属性	. 下記からセルの指定方式	式を選択します。(注4)
	① <b>直接</b> (3)	③ 間接アドレス
	· · · · ·	

2 間接

※タスクタイプ属性が ①再計算実行、②タスク実行 の時

汎用パラメータ 1	タイマー管理番号:	起動するタイマー処理の管理番号を指定します。
	(補足①)	
	1 1	6 6
	22	⑦ 7
	33	88
	<b>4</b>	9 9
	5 <b>5</b>	10
汎用パラメータ 2	…開始日: 開始日を	西暦(書式:「yyyy/mm/dd」)で指定します。
汎用パラメータ 3	…開始時刻: 開始時	刻を時分秒(書式:「hhimmiss」)で指定します。
汎用パラメータ 4	…実行間隔: 実行す	る間隔を1以上の数値で指定します。
汎用パラメータ 5	…実行間隔単位: 実	行間隔の単位を指定します。
	①秒	③ <b>時</b>
	② 分	④ B
汎用パラメータ 6	…終了日: 終了日を	西暦(書式:「yyyy/mm/dd」)で指定します。
汎用パラメータ7	…終了時刻: 終了時	刻を時分秒(書式:「hhimmiss」)で指定します。
汎用パラメータ 8	…再計算対象シート:	再計算の実行の対象となるシート名を指定しま
	す。(タスクタイプ	属性が①"再計算実行"の時のみ有効、補足②)
汎用パラメータ 9	…基準時刻: DBS	サーバの時刻を基準にするか、PCの時刻を基準
	にするかを指定しま	हेंचे.
	① サーバ時刻	
	② PC時刻	
TASKJUMPNO1	…タイマー処理として	実行するタスク NO を指定します。(※タスクタ
	イプ属性が②"タス	くク実行"の時のみ有効)

### ※タスクタイプ属性が ③停止、④再開 の時

汎用パラメータ1 ......タイマー管理番号: 停止または再開する、既に実行中の「タイマー

管理番号」	を指定します。
1 1	6 <b>6</b>
22	77
33	88
<b>4</b>	99
55	10 10

※タスクタイプ属性が ⑤クリア の時

汎用パラメータの指定は特にありません。

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『2.1 タスク定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『2.2 タスクタイプの機能分類と概要について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.7 セルのアドレス指定について』を参照してください。

#### ■ 使用上の注意

- 処理の間隔が短い場合や、タイマー処理の個数が多い場合には、全体のレスポンスが低下しますの で注意してください。
- 補足
  - すでに別のタスクで指定された管理番号を指定した時は、既存のタイマー処理は新しいタイマー処 理に置き換わります。誤動作の原因となるので、重複指定は避けてください。
  - 2 対象となるシート名を指定しますが、複数のシートを指定する時には、シート名を半角セミコロン
     ";"で区切ります。(「複数シート選択」機能を使うことにより、一覧選択が可能です。)

## ■ 使用例

db

「701:タイマー処理」の使用例です。

定義するシート:

- タスク定義(タスクー覧を含みます)
- Excel シート

#### タスク定義の例(①再計算実行)

	A	В	C	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		
2	TASKNO		*	1		
3	タスク名		*	タイマー処理_タイマー始動		
4	処理順NO		*	1	]	
5	タスクタイプNO		*	701	]	
6	タスクタイプ名		*	タイマー処理		
7	タスクタイプ属性		*	再計算実行	<u> </u>	А
8	BKNO		*	1		
9	ブック名		*	Sample.xls		
10	シート名					
11	処理条件判定セル	実行判定				
12	定義有効無効フラグ					
13	コメント欄					
14	セル指定属性					
15	汎用パラメータ1	タイマ管理番号		1		
16	汎用パラメータ2	開始日				
17	汎用パラメータ3	開始時刻			L	
18	汎用パラメータ4	実行間隔		1		В
19	汎用パラメータ5	実行間隔単位		秒	$\square$	
20	汎用パラメータ6	終了日				
21	汎用パラメータ7	終了時刻			ļ	
22	汎用パラメータ8	再計算対象シート			ļ	
23	汎用パラメータ9	基準時刻				

A……「タスクタイプ属性」に"再計算実行"を指定します。

B·····1 秒間隔で実行するように値を設定します。

Excel シート



A……再描画により、セル E16 を再計算します。

B・・・・セル E16 は、現在の時刻値(セルの式:「=NOW()」)を指定しています。

【クエリー定義リファレンス編】

第3章 クエリー定義リファレンス共通事項

第4章 クエリータイプ

# 第3章. クエリー定義リファレンス共通事項

dby

クエリー定義シートの全項目についてなど、クエリー定義全般の共通的な内容を記載しています。

3.1 クエリー定義の全項目について

3.2 クエリータイプについて

# 3.1. クエリー定義の全項目について

dby

クエリー定義では、データベースにアクセス(読み込み、書き込み)するための定義をします。 データベース(SQL Server、ORACLE等)に応じたネイティブな SQL 文を記述したり、ストアドプ ロシージャを実行したりします。

クエリー定義が必要なタスクタイプは、以下のとおりです。

- 201 : SQL
- 203:データ照会画面
- 204:検索付データ照会画面
- 205:検索付データ照会画面Ⅱ
- 230:集計表自動作成

#### クエリー定義で設定する項目は、次の通りです。

項目名	内容			
QNO	クエリー定義を管理する番号です。			
クエリー名	クエリー定義の名前です。			
クエリータイプ	タスクタイプに応じて、クエリータイプを指定します。			
選択 (F4)	F3(初期値)キーで作成した時には、自動的に設定されます。			
	(タスクタイプが SQL ならばタスクタイプ属性と同じもの、それ以外のタ			
	スクタイプでは照会が設定されます。)			
	①照会 ②更新 ③指定更新 ④削除 ⑤SQL 更新			
	② dbSheetClient (選択)     ③     ⑦			
クエリー属性	「Query」が自動設定されます。			
DBNO	DB 運用定義に登録されている DBNO を設定します。			
運用DB 選択(F4)				
エイリアス名	DBNO によりエイリアス名(データベース接続情報の参照名)を自動表示			
運用DB 選択(F4)	します。			

【次ページに続く】

di X

項目名		内容			
テーブル名	クエリータイプ	が「更新」「指定更新」「削除」の時に、更新対象のデータ			
<del>テーブル名。</del> 選択(F4)	ベースのテーブル名を指定します。				
	🞯 dbSheetClie	nt (選択)			
	テーブル名 0001: sysdiagrams 0002: 社員マスタ				
	0003: 集計表デーブル 0004: 商品マスタ				
	0005: 得意 0006: 売上	先マスタ ヘッダ			
	0007: 瓮上	明細			
		△切形式 取ブ(横) ✓ OK キャンセル			
	▲ テーブルの	全項日夕を取得			
	<ul> <li>4 り りんの</li> <li>指定したテー</li> </ul>	ブルの全ての項目名をテキストデータとして取得し、			
	クリップボー	ドにコピーすることができます。			
	◎ 区切形式				
	テキストデー	夕を作成する時の、区切り形式を指定します。			
	選択肢	意味			
	タブ(横)	項目名をタブデータで区切ります。Excel シートのセル			
		で「貼り付け」すると、横方向のセルにデータがセット			
		されます。			
	改行(縦)	項目名を改行データで区切ります。 Excel シートのセル			
		で「貼り付け」すると、縦方向のセルにデータがセット			
		されます。			
	カンマ	項目名をカンマデータで区切ります。Excel シートのセ			
		ルで「貼り付け」すると、全体を1つの文字列としてセ			
	ットされます。				
	<ul> <li>◎ [コピー] ボタン</li> <li>■ dbSheetClient (確認)</li> <li>▲ ひの形式の書式で項目名のテキスト</li> <li>データをクリップボードにコピー</li> <li>○ のK</li> </ul>				
	します。				

【次ページに続く】

dby

```
【前ページより続く】
      項目名
                                            内容
BKNO
                   ブック運用定義に登録されている BKNO を設定します。
                                                             ₩1
運用ブック
選択(F4)
ブック名
                  BKNO によって、ブック名が自動表示されます。
                                                        ×1
運用ブック
選択(F4)
取得データ件数セル
                   データを取得した時のデータ件数を取得するセルを指定します。
                                                                  %1
定義名
選択(F4)
                  旧 Ver 互換用(展開定義の項目「更新行 OR 列数指示セル」が「取得デー
                   タ件数セル」の役割を担っていますので、そちらを指定してください。)
SQL文
                   データベースからのデータ取得、データベースの更新、ストアドプロシー
                   ジャを実行するための SQL 文を指定します。
                   *2, 3, 4
                   詳細は、『第4章 クエリータイプ』を参考にしてください。
                   情報表示 SQL編集
                             SELECT * FROM [商品マスタ]
                    SQL編集
                    クエリー実行
                      書込
                   ・[クエリー実行] ボタンをクリックすると、SQL テスト実行画面が表示
                   されます。SQL 文を編集することができます。
                   ・「SQL テスト実行画面」の [コピー戻] ボタンをクリックすると、「SQL
                   テスト実行画面」で編集した SQL 文が、クエリー定義シートの SQL 編集
                   エリアにコピーされます。
                   SQLテスト実行

・ 開発チ 〇 開発仮 〇 実行本
                                   1 Sample DB
                                            Sample DB
                                                            初期化コピー戻 戻る
                    ତ FROMଶ୍ୱ 🖉 SELECTସ 🌘 JOINସ୍ତ 🚇 WHERE'ସ୍ 🖨 GROUP BYସ୍ 🕲 ORDER BYସ୍
                    [sysdiagrams]
[社員マスタ]
[連計表テーブル]
|時最マスタ]
|時最大マスタ]
|汚上へッタ]
|売上刊報]
                                       テーブル名の編集
                                        Ļ
                                             変更
                                       除外
                    SQL文の自動生成

○ 全項目のとき × で置き換える。
LECT * FROM (商品マスタ)
                                    ※上記録電に応じたSQLを自動生成します。また、自動生成されたSQL文は手動で変更することもできます。 デパッグMSQ クリア
                    SQLのテスト実行 ※上記のSQL文をテスト実行します。
                                     検索結果:
                                             件 🗌 ビューAutoサイズ
                   ・SQL編集エリアに入力したSQL文を設定項目に転送する時には、[書込]
                   ボタンをクリックします。
                   ・SQL 編集エリアで SQL 文に改行を入力して [書込] ボタンをクリック
                   すると、編集欄や SQL 文欄に改行マーク(/*↓*/)が入力されます。
                   (dbSheetClient に限定した使い方です。)
                                                           【次ページに続く】
```

【前ページより続く】

di X

dbSheetClient

項目名	内容				
トランザクション処理	「更新」「指定更新」「削除」の時に、トランザクションをかけるか、かけ				
選択 (F4)	ないかを設定します。				
排他制御タイプ	クエリータイプ(=タスクタイプ属性)が「照会」の時に、同時実行制御				
選択 (F4)	の方式を指定します。				
	1:(空白)、2:楽観ロック				
	取得したサーバ側のレコードの DBS_STATUSフィールドは 1 のま				
	まにします。				
	※ サーバ側のデータ更新時には、楽観ロック制御で更新します。				
	3:悲観ロック				
	取得したサーバ側のレコードの DBS_STATUSフィールドは 3 に変				
	更します。				
	※ 他ユーザはサーバ側の DBS_STATUS フィールドが3のデータに				
	ついて照会はできますが、書込はできません。				
	4:悲観ロック解除				
	取得したサーバ側のレコードの DBS_STATUSフィールドを 1 に変				
	更し、レコードロックを解除します。				
	クエリータイプが「更新」「指定更新」「削除」の時に、それ以前のデータ				
	照会時に「悲観ロック」でデータを取得して「悲観ロック解除」をし				
	はい場合は、必ず「悲観ロック」を指定します。同時に「悲観ロック解				
	QNO」に悲観ロックをかけた QNO を指定してデータベースを更新して<				
	ださい。				
	※「悲観ロック解除 QNO」の指定をしないと、ロックが解除されない				
	レコードが残ることになります。				
	詳細は、『開発版テクニカルリノアレンスマニュアル「第5章 同時実行制				
	御機能(排他制御)について」』を参照してくたさい。				
史新処理形態	クエリーダイノ(=ダスクダイノ属性)か「更新」「指定更新」の時に、更				
(F4)	新処理形態を以下の力式のころらでおこなつかを指定します。				
	EXCEILの更利刈家範囲の主ナータをリーバに送信して更利します。				
	くていしなり。 ※ 修正データとしてけ Evool トの再新対象範囲のデータの				
	99: 削除レコード				

【前ページより続く】

【次ページに続く】

# dbSheetClient タスクタイプ リファレンスマニュアル

dbS

# **dbSheetClient**

項目名	内容
<mark>定義有効無効フラグ</mark> <sup>選択</sup> ( <sup>74)</sup>	この定義を無効にしたい時に"無効"を設定します。
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角 512 文字)
<b>悲観ロック解除 QNO</b> <u> </u>	クエリータイプ(=タスクタイプ属性)が「更新」「指定更新」「削除」の 時に、すでに「悲観ロック」でロックされている場合にロックを解除する ための QNO を指定します。 データ照会時に「排他制御タイプ:悲観ロック」でデータを取得したあと 「悲観ロック解除」をしていない状態でデータベースの更新をする場合は、 「排他制御タイプ」に「悲観ロック」を指定して、同時に「悲観ロック解 除 QNO」に悲観ロックをかけた時の QNO を指定してデータベースを更新
	してください。 詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第5章 同時実行制 御機能(排他制御)について」』を参照してください。
日付時刻 NULL 指定	クエリータイプ(=タスクタイプ属性)が「更新」及び「指定更新」の時 に指定可能です。 シート上でNull値扱いとするセルデータを、データベースにもNull値とし て登録したい時、"NULL"を指定します。 Null値扱いの詳細については、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル
	「5.5.1 Null 値を取り扱うときの注意点」』を参照してください。

※1 旧バージョン(V3以前)との互換性維持のために存在する項目です。

※2 SQL 文については、画面下の SQL 編集エリアで編集することができます。

※3 DBMS (MSSQL や ORACLE など) に対応した SQL 文を書く必要があります。

※4 dbSheetClient が提供する標準の更新、削除処理を行う場合には「UPDATE」のみを指定します。

黄色 の項目は、共通項目です。クエリータイプ(タスク・展開属性)によって、設定項目が 変わります



# 3.2. クエリータイプについて

db🟏

クエリータイプの基本機能は次表の通りです。

クエリー	説明
タイプ	
照会	SQL 文の SELECT にのみ対応しており、データベースからデータを読み込み、それを
	展開定義で指定された Excel シート上のセル位置に展開します。
更新	SQL 文として「UPDATE」を指定するだけで、dbSheetClient が更新用 SQL 文を自
	動生成し、Excel シート上のデータでデータベースの更新、追加、削除を実行します。
	データベースのテーブルの全フィールドが Excel シート上に展開されている必要があり
	ます。
指定更新	「更新」の改良機能で、主キーと DBS 同時実行フィールドおよび変更するフィールドの
	データを Excel シート上に展開しておくだけで、データベースの更新をします。
削除	SQL 文として「UPDATE」を指定するだけで、dbSheetClient が削除用 SQL 文を自
	動生成し、データベースの更新を実行します。
	データベースのテーブルの全フィールドが Excel シート上に展開されている必要があり
	ます。
SQL 更新	SELECT 文だけでは定義できない複雑な SQL 文の実行や、ストアドプロシージャの実
	行を行います。

タスクタイプ、タスクタイプ属性によって、クエリータイプが決定します。

クエリータイプは、初期値(F3)ボタン押下時、タスクタイプが「SQL」の場合はタスクタイプ属性が コピーされ、その他のタスクタイプでは照会が設定されます。

タスクロ	クエリー定義	
タスクタイプ	タスクタイプ属性	クエリータイプ
SQL	照会	照会
	更新	更新
	指定更新	指定更新
	削除	削除
	SQL 更新	SQL 更新
データ照会画面	_	照会
検索付データ照会画面	(空白)	照会
	拡張	照会
検索付データ照会画面Ⅱ	_	照会
集計表自動作成	_	照会

※現バージョンではタスクタイプが「データ照会画面」、「検索付データ照会画面」、「検索付データ照会画 面II」、「集計表自動作成」の場合にクエリータイプで「照会」以外を選択することが可能ですが、「照会」 以外の動作は保障しておりません。 排他制御タイプとクエリータイプと更新処理形態の可能な組み合わせは、次の通りです。

クエリータイプ		排他制御タイ	更新処理形態		
	楽観ロック	悲観ロック	悲観ロック解除	全データ更新	修正データのみ
照会	0	0	0		_
更新	0	0	_	0	0
指定更新	0	0	_	0	0
削除	0	0	_	0	$\bigcirc$ ( $\%$ )
SQL 更新	0	0	0	_	_

〇:組み合わせ可能

※ クエリータイプ「削除」の時に更新処理形態「修正データのみ」の指定は可能ですが、原則として「全 データ更新」だけを使用するようにしてください。

(クエリータイプ「更新」で更新処理形態「修正データのみ」を指定することで、更新・追加とともに 削除も可能です。)



# 第4章. クエリータイプ

(db)

クエリー定義は、クエリータイプによって、設定可能な項目が変わります。定義可能な項目の説明を記載しています。

4.1 クエリータイプ: 照会

4.2 クエリータイプ:更新

4.3 クエリータイプ:指定更新

4.4 クエリータイプ:削除

4.5 クエリータイプ: SQL 更新

# 2.127 クエリータイプ:照会

■ 機能

- データベースからデータを読み込むための SQL 文を定義します。(読み込まれたデータは、別途展 開定義により指定された Excel シート上のセル位置に展開されます。)
- ② SQL 文には SELECT 文、またはデータ取得のストアドプロシージャを指定します。
- ③ 排他制御として、「楽観ロック」と「悲観ロック」を行います。

# ■ 画面イメージ

	クエリー定義編集画面の範囲					
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	クエリー名		*	データ読込		
3	クエリータイプ		*	照会		
4	クエリー属性		*	Query		
5	DBNO		*	1		
6	エイリアス名			SampleDB		
7	テーブル名					
8	BKNO	旧仕様				
9	ブック名	旧仕様				
10	取得データ件数セル	旧仕様				
11	SQL文			SELECT * FROM 商品マスタ		補足①
12	排他制御タイプ				楽観ロック	補足②
13	定義有効無効フラグ				有効	
14	コメント欄					

### ■ 項目説明

クエリー名	クエリーの名称を入力します。(注1)			
クエリータイプ	.初期値(F3)ボタンクリック時は、タスクタイプ及びタスクタイプ属性			
	によって、表示されます。 これに関連するタスクタイプ等が変更し			
	た場合、それに合わせ変更します。(注3)			
クエリー属性	.常に Query と入力します。(予約項目)			
DBNO	このクエリー定義が読込むデータを格納しているデータベースの			
	DBNO を指定します。(注1)			
エイリアス名	.自動表示します。			
テーブル名	「照会」の場合、設定不要です。			
BKNO	.ブック運用定義に登録されている BKNO を設定します。(注1)			
ブック名	.自動表示します。(注1)			
	(ブック運用定義⇒ブック定義を参照し、表示します。)			
取得データ件数セル	. 読込んだデータ件数を表示(出力)するセルを指定します。(注1)			
	ただし、データ照会画面では出力しません。(旧バージョンとの互換			
	性維持のために存在します。)			
SQL文				
	.読込みデータを指定するための SQL 文を設定します。(補足①)			
	. 読込みテータを指定するだめの SQL 文を設定します。(補足①) 例:SELECT * FROM [部署マスタ] WHERE ・・・・・			
排他制御タイプ	.読込みテータを指定するための SQL 文を設定します。(補足①) 例:SELECT * FROM [部署マスタ] WHERE ・・・・・ .次の選択肢から選択します。(注 4)			
排他制御タイプ	.読込みテータを指定するための SQL 文を設定します。(補足①) 例:SELECT * FROM [部署マスタ] WHERE ······ .次の選択肢から選択します。(注 4) ① (空白)     ③ <b>悲観ロック</b>			

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『3.1. クエリー定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『3.2. クエリータイプについて』を参照してください。
- (注4) 詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第5章 同時実行制御機能(排他制御) について」』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ① BKNO、ブック名、取得データ件数セルは、旧バージョンとの互換性維持のために存在します。
- 補足
  - SQL文には、データを読み込むための内容を指定します。
     SQL文をストアドプロシージャとしてサーバに登録し、そのプロシージャ名を SQL 文に設定で きます。
  - ② 排他制御タイプが空白の場合、楽観ロック方式となります。
     悲観ロック方式については、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「5.2 悲観的同時実行制御
     (悲観的ロック方式)」』を参照してください。

# 2.128 クエリータイプ: 更新

機能

ib🏏

- データベースの更新をするための定義をします。
- ② SQL 文として「UPDATE」を指定するだけで、dbSheetClient が更新用 SQL 文を自動生成し、 Excel シート上のデータでデータベースの更新、追加、削除を実行します。(Excel シートとの関連 は、別途展開定義により定義します。)
- ③ Excel シート上のデータの範囲は、展開定義の下記の項目で行い、このデータベース・データを更 新します。
  - ・データ範囲の左上のセル位置(セル範囲)
  - ・データ件数(更新行 OR 列数指示セル)

これらのデータをそのままデータベースに転送し更新する方法(更新処理形態:全データ更新)と 一部のデータをデータベースに転送する方法(更新処理形態:修正データのみ)があります。

ステータスの値	更新処理形態:修正データのみ	更新処理形態:全データ更新		
1	転送されない	更新、追加データ		
2	更新、追加データ			
99	削除データ			
その他〈空白〉	転送されない			

シート上のステータス (DBS STATUS) の値により、データベースへ転送されます

排他制御として、「楽観ロック」と「悲観ロック」に対応します。

画面イメージ

	クエリー定義編集画面の範囲					
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	クエリー名		*	データ更新		
З	クエリータイプ		*	更新		
4	クエリー属性		*	Query		
5	DBNO		*	1		
6	エイリアス名			SampleDB		
7	テーブル名		*	商品マスタ		
8	BKNO					
9	ブック名					
10	SQL文			UPDATE		補足①
11	トランザクション処理				ON	
12	排他制御タイプ				楽観ロック	補足②
13	更新処理形態				全データ更新	補足③
14	定義有効無効フラグ				有効	
15	コメント欄					
16	悲観ロック解除GNO					補足④
17	日付時刻NULL指定	NULL指定		NULL		

dbS

■ 項目説明	
クエリー名	クエリーの名称を入力します。(注1)
クエリータイプ	初期値(F3)ボタンクリック時は、タスクタイプ及びタスクタイプ属性
	によって、表示されます。 これに関連するタスクタイプ等が変更し
	た場合、それに合わせ変更します。(注3)
クエリー属性	常に Query と入力します。(予約項目)
DBNO	このクエリー定義が更新するデータを格納しているデータベースの
	DBNO を指定します。(注1)
エイリアス名	自動表示します。
テーブル名	
BKN0	ブック運用定義に登録されている BKNO を設定します。(注1)
ブック名	自動表示します。(注1)
	(ブック運用定義⇒ブック定義を参照し、表示します。)
SQL 文	常に UPDATE と設定します。(補足①)
トランザクション	処理
	(DB2 iSeries DDS 経由の更新で使用予定)
排他制御タイプ	
	① 楽観ロック
	② <b>悲観ロック</b>
更新処理形態	
	① 全データ更新
	② 修正データのみ
定義有効無効フラ	グこのクエリー定義を無効にしたい場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常
	は未入力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無効
コメント欄	
悲観ロック解除 Q	NO更新準備のために読込んだ時の QNO を指定します。(注4)
日付時刻 NULL 推	諚シートとのセルが空白の場合、データベースにデータを NULL 値と
	して登録したい時、指定します。(注5)
	1 NULL

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『3.1. クエリー定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『3.2. クエリータイプについて』を参照してください。
- (注4) 詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第5章 同時実行制御機能(排他制御) について」』を参照してください。
- (注5) 詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「5.5.1 Null 値を取り扱うときの注意事項」』 を参照してください。

### ■ 使用上の注意

- ① 更新するテーブルには、同時実行制御フィールドが必要です。
   詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第4章 更新系データベースの仕組みについて」』を参照してください。
- ② データベースのテーブルの全フィールドが Excel シート上に展開されている必要があります。

# ■ 補足

- ① SQL 文は、常に UPDATE と設定します。
- 2 排他制御タイプ(楽観ロック、悲観ロック)については、『開発版テクニカルリファレンスマニュア ル「第5章 同時実行制御機能(排他制御)について」』を参照してください。
- ③ 更新処理形態(全データ更新、修正データのみ)については、機能③を参照してください。
- ④ 悲観ロック解除 QNO については、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「5.2 悲観的同時 実行制御(悲観的ロック方式)」』を参照してください。


## 2.129 クエリータイプ: 指定更新

■ 機能

ib🏏

- データベースの更新をするための定義をします。クエリータイプ「更新」の改良機能であり、主キーと DBS 同時実行フィールドおよび変更するフィールドのデータを Excel シート上に展開しておくことで、データベースの更新をします。
- ② SQL 文として「UPDATE」を指定するだけで、dbSheetClient が更新用 SQL 文を自動生成し、 Excel シート上のデータでデータベースの更新、追加、削除を実行します。(Excel シートとの関連 は、別途展開定義により定義します。)
- ③ Excel シート上のデータの範囲は、展開定義の下記の項目で行い、このデータベース・データを更 新します。
  - ・データ範囲の左上のセル位置(セル範囲)
  - ・データ件数(更新行 OR 列数指示セル)

これらのデータをそのままデータベースに転送し更新する方法(更新処理形態:全データ更新)と 一部のデータをデータベースに転送する方法(更新処理形態:修正データのみ)があります。

シート上のステータス(DBS_STATUS)の値により、データベースへ転送されます。
--

ステータスの値	更新処理形態:修正データのみ	更新処理形態:全データ更新	
1     転送されない       2     更新、追加データ       99     削除データ			
		更利、垣加ナータ	
その他〈空白〉	転送されない		

④ 排他制御として、「楽観ロック」と「悲観ロック」に対応します。

■ 画面イメージ

		クエリー定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	クエリー名		*	データ指定更新		
3	クエリータイプ		*	指定更新		
4	クエリー属性		*	Query		
5	DBNO		*	1		
6	エイリアス名			SampleDB		
7	テーブル名		*	商品マスタ		
8	BKNO		*	3		
9	ブック名		*	Samplexis		
10	SQL文			UPDATE		補足①
11	トランザクション処理				ON	
12	排他制御タイプ				楽観ロック	補足②
13	更新処理形態				全データ更新	補足③
14	定義有効無効フラグ				有効	
15	コメント欄					
16	悲観ロック解除QNO					補足④
17	日付時刻NULL指定	NULL指定		NULL		

■ 項目説明

タスクタイプ:更新と同様です。

## ■ 使用上の注意

- 更新するテーブルには、同時実行制御フィールドが必要です。
   詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第5章 同時実行制御機能(排他制御)について」』を参照してください。
- ② クエリータイプ「更新」とは異なり、データベースのテーブルの全フィールドが Excel シート上に展開されている必要はありません。主キーと DBS 同時実行フィールドおよび変更するフィールドが必要となります。

## ■ 補足

- ① SQL 文は、常に UPDATE と設定します。
- ② 排他制御タイプ(楽観ロック、悲観ロック)については、『開発版テクニカルリファレンスマニュア ル「第5章 同時実行制御機能(排他制御)について」』を参照してください。
- ③ 更新処理形態(全データ更新、修正データのみ)については、機能③を参照してください。
- ④ 悲観ロック解除 QNO については、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「5.2 悲観的同時実 行制御(悲観的ロック方式)」』を参照してください。

# 2.130 クエリータイプ:削除

■ 機能

dby

- ① データベースからデータの削除をするための定義をします。
- ② SQL 文として「UPDATE」を指定するだけで、dbSheetClient が削除用 SQL 文を自動生成し、
   Excel シート上のデータでデータベースの更新を実行します。(Excel シートとの関連は、別途展開
   定義により定義します。)
- ③ Excel シート上のデータの範囲は、展開定義の下記の項目で行い、このデータベース・データを削除します。
  - ・データ範囲の左上のセル位置(セル範囲)
  - ・データ件数(更新行 OR 列数指示セル)
- ④ 排他制御として、「楽観ロック」と「悲観ロック」に対応します。
- 画面イメージ

		クエリー定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	クエリー名		*	データ更新		
3	クエリータイプ		*	更新		
4	クエリー属性		*	Query		
5	DBNO		*	1		
6	エイリアス名			SampleDB		
- 7 -	テーブル名		*	商品マスタ		
8	BKNO					
9	ブック名					
10	SQL文			UPDATE		補足①
11	トランザクション処理				ON	
12	排他制御タイプ				楽観ロック	補足(2)
13	更新処理形態				全データ更新	補足③
14	定義有効無効フラグ				有効	
15	コメント欄					
16	悲観ロック解除GNO					補足④
17	日付時刻NULL指定	NULL指定		NULL		

## ■ 項目説明

クエリー名	クエリーの名称を入力します。(注1)				
クエリータイプ	初期値(F3)ボタンクリック時は、タスクタイプ及びタスクタイプ属性				
	によって、表示されます。 これに関連するタスクタイプ等が変更し				
	た場合、それに合わせ変更します。(注3)				
クエリー属性	常に Query と入力します。(予約項目)				
DBNO	このクエリー定義が更新するデータを格納しているデータベースの				
	DBNO を指定します。(注1)				
エイリアス名	自動表示します。				
テーブル名	削除する対象のテーブル名を指定します。				
BKNO	ブック運用定義に登録されている BKNO を設定します。(注1)				
ブック名	自動表示します。(注1)				
	(ブック運用定義⇒ブック定義を参照し、表示する。)				
SQL 文	常に UPDATE と設定します。(補足①)				
トランザクション処理	この設定行のトランザクション処理を設定する。				
	① <b>ON</b>				
	2 OFF				

排他制御タイプ	次の選択肢から選択する。(注4)
	① 楽観ロック
	② 悲観ロック
更新処理形態	更新処理形態は通常 <b>、"全データ更新</b> "とします。(注 4)
定義有効無効フラグ	このクエリー定義を無効にしたい場合は、" <b>無効</b> "を指定します。通常
	は未入力です。(注1、2)
	① 有效
	② 無效
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
悲観ロック解除 QNO	更新準備のために読込んだ時の QNO を指定します。(注4)
日付時刻 NULL 指定	「削除」の場合、無効です。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『3.1. クエリー定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『3.2. クエリータイプについて』を参照してください。
- (注4)詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第5章 同時実行制御機能(排他制御) について」』を参照してください。
- 使用上の注意
  - ① 更新するテーブルには、同時実行制御フィールドが必要です。
     詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第4章 更新系データベースの仕組みについて」』を参照してください。
  - ② データベースのテーブルの全フィールドが Excel シート上に展開されている必要があります。
- 補足
  - ① SQL 文は、常に UPDATE と設定します。(DELETE では、ありません。)
  - 2 排他制御タイプ(楽観ロック、悲観ロック)については、『開発版テクニカルリファレンスマニュア
     ル「第5章 同時実行制御機能(排他制御)について」』を参照してください。
  - ③ 更新処理形態は通常、全データ更新とします。
  - ④ 悲観ロック解除 QNO については、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「5.2 悲観的同時 実行制御(悲観的ロック方式)」』を参照してください。

# 2.131 クエリータイプ: SQL 更新

機能

db

- ① 任意の SQL 文(UPDATE、INSERT、DELETE 文およびストアドプロシージャ実行 等)による データベース上のデータの更新、追加、削除 とデータの読込みが可能です。
- ② その他の事項は、クエリータイプ:照会と同等です。
- 画面イメージ

		クエリー定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	クエリー名		*	データSQL更新		
3	クエリータイプ		*	SQL更新		
4	クエリー属性		*	Query		
5	DBNO		*	1		
6	エイリアス名			SampleDB		
- 7 -	テーブル名					
8	BKNO					
9	ブック名					
10	取得データ件数セル					
11	SQL文			UPDATE 商品マスタ SET 商品名		補足①
12	排他制御タイプ					補足(2)
13	定義有効無効フラグ				有効	
14	コメント欄					

項目説明 

クエリー名	クエリーの名称を入力します。(注1)				
クエリータイプ	初期値(F3)ボタンクリック時は、タスクタイプ及びタスクタイプ属性				
	によって、表示されます。 これに関連するタスクタイプ等が変				
	た場合、それに合わせ変更します。(注3)				
クエリー属性	常に Query と入力します。(予約項目)				
DBNO	このクエリー定義が読込むデータを格納して	いるデータベースの			
	DBNO を指定します。(注1)				
エイリアス名	自動表示します。				
テーブル名	…」「SQL 更新」の場合、設定不要です。				
BKNO	ブック運用定義に登録されている BKNO を設定します。(注1)				
ブック名	自動表示します。(注1)				
	(ブック運用定義⇒ブック定義を参照し、表示します。)				
取得データ件数セル					
SQL文	SQL文を設定します。(補足①)				
	SET 商品名 = '新商品'	データの更新			
	WHERE 商品コード = 123				

SELECT \* FROM 商品マスタ

データの読込み

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『3.1. クエリー定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『3.2. クエリータイプについて』を参照してください。

- 使用上の注意
  - ① 更新するテーブルには、同時実行制御フィールド(5項目)は必要ありません。
  - ② SQL 文に、データ読込みする部分(補足①のb.項)がなく、シートにデータを表示する必要がな い場合、展開定義は不要です。

■ 補足

① SQL文は、クエリータイプ:照会とSQL更新で次の様に違いがあります。

クエリータイプ	照会	SQL 更新
SQL 文	データを読込むための	a.データ更新、追加、削除のための UPDATE、
	SQL 文	INSERT、DELETE 文 等
		b. 更新結果等を確認するために、データを読込
		むための SQL 文

クエリータイプ:SQL 更新の場合、a. に続けて(改行で区切って)b.のSQL 文の設定が可能です。

クエリータイプ:SQL 更新の場合、a.のみの設定の場合、展開定義は、不要です。

いずれの場合でも、SQL 文をストアドプロシージャとしてサーバに登録し、そのプロシージャ名を SQL 文に設定できます。

② 「SQL 更新」の場合、排他制御タイプは無効です。

【展開定義リファレンス編】

第5章 展開定義リファレンス共通事項

第6章 展開定義

# 第5章. 展開定義リファレンス共通事項

展開定義シートの全項目についてなど、展開定義全般の共通的な内容を記載しています。

- 5.1 展開定義の全項目について
- 5.2 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について
- 5.3 セル展開範囲定義名 について

# 5.1. 展開定義の全項目について

dby

展開定義は、SQLクエリーやデータのコピー/クリアを実行する際の、展開先のセル位置や処理範囲を 指示するものです。

利用するタスクタイプにより、クエリー定義に関するものと、タスク定義に関するものに分類できます。 展開定義の定義が必要となるタスクタイプは次のものです。

タスクタイプ	定義区分の表示	
SQL、データ照会画面、検索付データ照会画面、検索付データ照会	クエリー定義	
画面Ⅱ、集計表自動作成		
直接展開、コピー、クリア、セル保護、行列指定、行表示、列表示	タスク定義	

展開定義シートで設定する各項目の説明は、次の通りです。

項目名	説明
DNO	展開定義を管理する番号です。
データ展開名	展開一覧で付けられた名称を表示します。
処理順 NO	DNO 内の処理順 NO を入力します。昇順に処理します。
定義区分	タスク定義 または クエリー定義 を自動表示します。
タイプ	タスクタイプ または クエリータイプ を自動表示します。
タスク・展開属性	タスクタイプ属性 または クエリー定義の展開方式 を指定しま す。
データ項目名	クエリー定義の時にデータ項目名(フィールド名)を指定します。
数式 OR 值	数式または値を直接展開する時に指定します。
	「タスク・展開属性」が"数式"か"値"の時に Excel シートに展開
	する、数式や文字列を直接入力します。
定義有効無効フラグ	この定義を無効にしたい時に"無効"を設定します。
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角 512 文字)
シート名	データを展開するシート名を指定します。
セル指定属性	"直接"、"間接"、"間接アドレス"からセルの指定方式を選択します。
セル範囲	データを展開するセル範囲(または開始セル位置)を指定します。
セル展開範囲定義名	データを展開した範囲に付ける名前(定義名)を指定します。
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、"有り"を指定します。
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指
	定します。
自動計算方法	展開直後に再計算を実行したい時に、再計算方法を指定します。
行列方向	データをシートにセットする方向("行"または"列")を指定します。

【次ページに続く】

#### 【前ページより続く】

dby

項目名	説明
更新行 OR 列数指示セ	クエリー定義(クエリータイプ(=タスクタイプ属性))で照会系(照会/SQL
ル	更新でデータ取得)処理の時は、取得データ件数を格納するセル(取得データ
	件数セル)として指定します。
	クエリー定義(クエリータイプ(=タスクタイプ属性))で更新系(更新/指定更
	新/削除)処理の時は、更新レコード数を格納するセルとして指定します。
先シート名	コピー先のシート名を指定します。
先セル指定属性	コピー先のセル指定方式として 直接、間接、間接アドレス を指定します。
先セル範囲	コピー先のセル範囲を指定します。
先シート保護有無	コピー先のシートに保護がかけられている時は、"有り"を指定します。
先シート保護解除 PW	コピー先のシートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを
	指定します。
複数展開指定	行列指定の時で複数指定の場合にその属性を指定します。
高さ列幅設定	行列指定の時に行の高さ、列幅を指定します。
	"AUTO"を指定すると自動調整された数値が設定されます。
開始位置	行表示、列表示の際の開始位置を、終了行列番号またはセルで指定します。
終了位置	行表示、列表示の際の開始位置を、開始行列番号またはセルで指定します。

黄色の項目は、共通項目です。それ以外の項目は、タスク・展開属性によって、設定する項目とその内容が変わります。

# 5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について

db

表示される「定義区分」と「タイプ」は、タスク定義の設定内容(タスクタイプ、タスクタイプ属性等) によって自動的に設定されます(キー入力不可)。

タスク定義		展開定義				
タスクタイプ	タスクタイプ属性	定義区分の表示	タイプの表示	タスク・展開属性		
SQL	照会	クエリー定義	照会	展開方式を指定		
	更新		更新			
	指定更新		指定更新			
	削除		削除			
	SQL更新		SQL更新			
データ照会画面	—		照会			
検索付データ照会画面	_		照会			
検索付データ照会画面Ⅱ	-		照会			
集計表自動作成	_		集計表自動作成			
直接展開	任意	タスク定義	直接展開	タスクタイプ属性を指		
コピー			コピー	定		
クリア			クリア			
セル保護			セル保護			
行列指定			行列指定			
行表示			行表示			
列表示			列表示			
その他のタスクタイプ	—	※ 展開定義は指定	不可			

※ 設定済みのタスクタイプ、タスクタイプ属性を変更した場合、その内容が「定義区分」と「タイプ」 に反映しない場合があります。この場合は、該当行の DNO をクリックし、表示される展開選択(F4) 画面から同一 DNO を選択することにより再反映させることができます。

### ■ 定義区分: クエリー定義のタスク・展開属性

db🏏

定義区分が「クエリー定義」の場合の「タスク展開属性」の選択値は、次の通りです。

No.	設定値	説明
1	Query	表形式の表示の時、指定します。
		直前に表示したデータをシートからクリア(消去)します。
2	データ	カード形式の表示の時、指定します。データベース・データ1項目の
		表示位置(セル位置)を設定する時、使います。
3	数式	カード形式の表示の時、指定します。
		Excelの数式を設定したいセル位置を設定する時、使います。
4	値	カード形式の表示の時、指定します。
		セルの値を設定したいセル位置を設定する時、使います。
5	全選択データー括	No.1 Query と同一です。
6	全選択データー括保持	表形式の表示の時、指定します。
		直前に表示したデータをシートからクリア(消去)しません。

※②データ、③数式、④値を指定した場合は、クエリー結果の先頭のデータのみを展開します。

#### ■ 定義区分:タスク定義のタスク・展開属性

下記のタスクタイプについては、タスク定義の「タスクタイプ属性」で定義した値と異なる値を、展開定 義の「タスク・展開属性」で指定することが可能です。両者の値が異なる場合は、展開定義の「タスク・ 展開属性」の値を優先して処理します。

タスクタイプ
410:コピー
411:クリア
412: セル保護
414:行列指定
415:行表示
416:列表示

## 5.3. セル展開範囲定義名 について

「セル展開範囲定義名」は、データベースのデータを Excel シートに表形式で展開する場合に利用します。

「セル展開範囲定義名」は、予め Excel シートを編集し、「名前の定義」で設定しておく必要があります。 省略した場合や、Excel シートに存在しない名前を指定した場合の動作は次の通りです。

セル展開範囲定義名の指定方法	dbSheetClientの動作
指定を省略	「dbs_(シート名)」という名前定義名を展開範囲に自動設定します。
存在している名前定義名を指定	指定された名前定義名を展開範囲に自動設定します。
Excel シートに存在しない名前	指定された名前定義名を新規登録し、展開範囲に自動設定します。
定義名を指定	

## ■ 基本的な動作の例

セル展開定義名の基本的な動作の例(シート内に一つの表を設置)について説明します。

No.	設定項目	設定値
1	タスク・展開属性	全選択データー括
2	セル範囲	@展開位置
З	セル展開範囲定義名	@データエリア

Excel シートの編集で"データエリア"と名前定義したセル範囲を、上の表のように、展開定義の「セル 展開範囲定義名」に設定します。

名前定義したセル範囲"データエリア"は、通常下図のような位置に設定します(展開時に「セル範囲」 で指定した位置からの範囲が自動的に設定されるので、実際的にはどこに配置しても構いません)。

商品コード	商品名	単位	単価	分類	
N					データエリア
展開位					<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>

データの読み込みを実行すると、下図のように 展開範囲"データエリア"が広がります。 これは、dbSheetClient が自動的に名前定義の範囲を変更していることによるものです。

商品コード	商品名	単位	単価	分類	
1	商品1	個	1,250	1	
3	商品3	箱	1,450	2	
5	商品5	箱	1,750	2	
7	商品7	箱	2,000	2	
9	商品9	箱	1,985	2	
11	商品11	箱	1 9 9 9	2	

次に、この状態から再度データの取得を行い、読み込みデータ件数が減少して2件になったとしたら、その処理はどのように行われるのでしょうか?(例えば、削除処理後に再表示を実行する場合は、データ件数が減少します。)

まず、dbSheetClientは、2件のデータを表示する前に、「セル展開範囲定義名」に設定している領域"データエリア"のセル範囲の値を自動的にクリアします。

(補足:タスク・展開属性が、"全選択データー括保持"になっている場合はクリアしません)

商品コード	商品名	単位	単価	分類

db

次に、2件のデータを表示しますが、表示した新しいセル範囲を定義名"データエリア"の範囲として再 設定します。

商品コード	商品名	単位	単価	分類
12	商品12	箱	1,000	2
13	商品13	箱	2,150	2
		Ī		

このようにして、dbSheetClient はデータの再表示を実現しています。

セル展開範囲定義名は、次のような場合に有効活用できます。

No.	活用例
1	名前定義名の範囲を VLOOKUP 関数で検索
2	入力規則のリストに指定
3	書式などをクリアする場合に利用

単価

アク

分類

## ■ 同ーシートに複数の表を定義したい場合の例

特殊な例として、同一シート内に複数の表を作成する場合の例を示します。 この例では、複数の「セル展開範囲定義名」を使用します。

表1のための展開定義

db

No.	設定項目	設定値
1	タスク・展開属性	全選択データー括
2	セル範囲	@展開位置1
З	セル展開範囲定義名	@データエリア1

#### 表2のための展開定義

No.	設定項目	設定値
1	タスク・展開属性	全選択データー括
2	セル範囲	@展開位置 2
З	セル展開範囲定義名	@データエリア2

「セル展開範囲定義名」に設定する名前定義を別個に使用し、展開定義を設定します。

表1					表2		
商品コード	商品名	単位	単価	分類	商品コード	商品名	単位
N		9494	9111111	(111)	N		2000
展開位置	<u> 雪1</u>		リア1		展開位	置2 デー	·9I
							-
·						•	

実行時、展開範囲に付加される名前定義名が個別に設定されるため、同じシートであっても、処理を混同 してしまうことがありません。

商品コード	商品名	単位	単価	分類
1	商品1	個	1,250	1
3	商品3	箱	1,450	2
5	商品5	箱	1,750	2
7	商品7	箱	2,000	2
9	商品9	箱	1,985	2
11	商品11	箱	1,999	2

商品コード	商品名	単位	単価	分類
2	商品2	箱	1,350	2
6	商品6	箱	1,998	2
10	商品10	箱	1,280	2
14	商品14 🔨	箱	2.000	2
	データエリ	レア2	]	

# **dbSheetClient**

## 第6章. 展開定義

db

展開定義は、定義区分とタイプによって、設定可能な項目が変わります。定義可能な項目の説明を記載 しています。

6.1 定義区分: クエリー定義 タイプ (照会、SQL 更新)

6.2 定義区分: クエリー定義 タイプ(更新、指定更新、削除)

6.3 定義区分: タスク定義 タイプ(401:直接展開)

6.4 定義区分: タスク定義 タイプ(410: コピー)

6.5 定義区分:タスク定義 タイプ(411:クリア、412:セル保護)

6.6 定義区分: タスク定義 タイプ(414: 行列指定)

6.7 定義区分:タスク定義 タイプ(415:行表示、416:列表示)

## 2.132 定義区分: クエリー定義 タイプ (照会、SQL 更新)

■ 機能

db

- ① クエリー定義(クエリータイプ:照会、SQL 更新)で定義された SQL 文の実行結果のデータを、 Excel シートの指定したセル位置に展開します。
- ② タスク・展開属性の設定内容により、読み込みデータ(レコード)を一括(表形式)で展開したり、 データ項目ごと(カード形式)に展開したりすることができます。

タスク・展開属性の 設定内容	展開形式	機能
Query		<ol> <li>直前に展開したデータ(セル展開範囲定義名のセル範囲)</li> <li>なクリア(消去)します。</li> </ol>
全選択データー括	表形式	<ol> <li>2. 読み込みデータをセル範囲の位置に展開します。</li> <li>注)セル展開範囲定義名のセル範囲は、読み込みデータを展開したサイズに合わせて、自動的に調整(設定)されます。</li> </ol>
全選択データー括保持		読み込みデータをセル範囲の位置に展開します。 (直前に展開したデータはクリア(消去)されません。)
データ	カード	読み込みデータ(レコード)のデータ項目名(設定項目)のデ ータをセル範囲の位置に展開します。
数式	形式	数式 OR 値(設定項目)のデータをセル範囲の位置に展開しま
值		ਰੋ。

※設定内容:Queryは、タスクタイプ:SQLの時、有効です。

※カード形式の展開は、タスクタイプ:データ照会画面などでよく利用します。

③ データを展開する際に、自動計算方法(前再計算/後再計算/前後再計算/シート前再計算/シート後 再計算/シート前後再計算)が指定できます。

■ 画面イメージ

		展開定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	DNO		*	7		
3	データ展開名			データ照会_展開		
4	処理順NO			1		
5	定義区分			クエリー定義		
6	タイプ			照会		
7	タスク・展開属性			Query	Query	
8	データ項目名					補足①
9	数式OR值					
10	定義有効無効フラグ					
11	コメント欄					
12	シート名			デモシート	タスク定義のシート名	補足②
13	セル指定属性					
14	セル範囲			@データ位置	処理しない	補足②
15	セル展開範囲定義名			@データエリア	dbs_{シート名}	補足③
16	シート保護有無					
17	シート保護解除PW					
18	自動計算方法				再計算しない	
19	行列方向	データ行列方向			行	
20	更新行OR列数指示セル	取得データ件数セル				

dby

項目説明	
DNO	展開定義を識別する番号を指定します。(注1)
データ展開名	DNO 設定により展開定義の名称が自動設定されます。(入力不可)
処理順 NO	任意。同一 DNO(展開定義)内の処理する順番を指定します。
定義区分	" <b>クエリー定義</b> "が自動設定されます。(入力不可)(注3)
タイプ	" <b>照会</b> "または" <b>SQL更新</b> "が自動設定されます。(入力不可)(注3)
タスク・展開属性	データの展開方法を、以下の選択肢から指定します。(注 3)
	① Query ④ データ
	<ol> <li>2 全選択データー括</li> <li>5 数式</li> </ol>
	③ 全選択データー括保持 ⑥ 値
データ項目名	タスク・展開属性が「データ」の時に、展開するデータの項目名(フィー
	ルド名)を指定します。
数式 OR 值	タスク・展開属性が「数式」または「値」の時に、展開する数式または値を
	指定します。
定義有効無効フラグ	この展開定義を実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は
	未入力です。(注1、2)
	① 有効
	② 無効
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。
シート名	展開するセル(セル範囲で指定するセル)が存在するシートを設定しま
	ತ್ಲ
セル指定属性	セル位置(アドレス)指定の属性を指定します。
	<ol> <li>① 直接</li> <li>③ 間接アドレス</li> </ol>
	② 間接
セル範囲	展開するデータエリアの左上のセルを指定します。
セル展開範囲定義名	Excel で名前定義した名前を指定します。(注 4)
シート保護有無	シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)
	② <b>有り</b>
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指定
	します。(注2)
自動計算方法	データ展開時の再計算方法を以下の選択肢から指定します。(注5)
	① 前再計算 ④ シート前再計算
	<ol> <li>② 後再計算</li> <li>⑤ シート後再計算</li> </ol>
	③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算
行列方向	タスク・展開属性で「Query」、「全選択データー括」、「全選択データー
	括保持」を指定した場合に、データの展開方向を指定します。
	①"行":シートの1行に1データ(レコード)を展開の場合
	②" <b>列</b> ":シートの1列に1データ(レコード)を展開の場合

**dbSheetClient** 

更新行 OR 列数指示セル…………展開したデータ件数をセット(出力)するセルを指定します。 ※タスクタイプ:検索付データ照会画面、検索付データ照会画面Ⅱで

展開したデータの場合、採用されたデータ件数を出力します。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『5.1. 展開定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『5.3. セル展開範囲定義名 について』を参照してください。
- (注5)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。
- 補足
  - カード形式で展開する場合、通常、下図のようにデータ項目ごとに展開定義を行うため、複数行の 定義になります。

1	DNO	テータ展開名	処理順NO	定義区分	タイブ	タスク 展開属性	データ項目名	シート名	セル指定属性	セル範囲	シート保護有無
2	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	1	クエリー定義	照会	データ	商品ID	商品マスタ		@商品ID	有り
З	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	2	クエリー定義	照会	データ	商品名	商品マスタ		R12C4	有り
4	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	3	クエリー定義	照会	データ	商品名カナ	商品マスタ		R13C4	有り
5	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	4	クエリー定義	照会	データ	仕入価格	商品マスタ		R12C9	有り
6	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	5	クエリー定義	照会	データ	販売価格	商品マスタ		R13C9	有り
7	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	6	クエリー定義	照会	データ	画像名	商品マスタ		R19C4	有り
8	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	7	クエリー定義	照会	データ	添付情報	商品マスタ		R21C4	有り
9	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	8	クエリー定義	照会	データ	DBS_STATUS	商品マスタ		R11C27	有り
10	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	9	クエリー定義	照会	データ	DBS_CREATE_USER	商品マスタ		R11C28	有り
11	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	10	クエリー定義	照会	データ	DBS_CREATE_DATE	商品マスタ		R11C29	有り
12	7 BTS	商品マスタ」選択表示」	11	クエリー定義	照会	データ	DBS_UPDATE_USER	商品マスタ		R11C30	有り
13	7 BTS	_商品マスタ_選択表示_	12	クエリー定義	照会	データ	DBS_UPDATE_DATE	商品マスタ		R11C31	有り

② 展開データの位置(ブック→シート→セル位置)は、次の様に決まります。

NO	決定要素	設定項目
1	ブック	タスク定義の BKNO、ブック名
2	シート	次の優先順位で決まります。
		a. 展開定義のシート名
		b. タスク定義のシート名(a. を設定してない場合)
		c. 今表示している(アクティブ)シート(a、bを設定してない場合)
З	セル位置	展開定義のセル範囲
		ただし、Excelの名前定義の名前を指定した場合、上記のシートは、無視
		され、名前定義で参照されるシートのセル位置になります。

③ セル展開範囲定義名のセル範囲は、展開したデータサイズに合わせて、自動的に調整(設定)されます。タスク・展開属性で「Query」、「全選択データー括」を指定した場合は、この定義名のセル範囲のデータを消去(クリア)してから、データを展開します。 これにより、直前に展開したデータと今回の展開データの混在を防ぐことができます。



## 2.133 定義区分: クエリー定義 タイプ (更新、指定更新、削除)

- 機能
  - クエリー定義(クエリータイプ:更新、指定更新、削除)で定義された SQL 文の処理対象となる Excel シート上の展開データを定義します。
  - ② 展開データを処理する際に、自動計算方法(前再計算/後再計算/前後再計算/シート前再計算/シート後再計算/シート前後再計算)が指定できます。
- 画面イメージ

		展開定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	DNO		*	9		
3	データ展開名			データ更新_展開		
4	処理順NO			1		
5	定義区分			クエリー定義		
6	タイプ			更新		
7	タスク・展開属性			Query	Query	
8	データ項目名					
9	数式OR值					
10	定義有効無効フラグ					
11	コメント欄					
12	シート名	更新専用シート名		デモシート	タスク定義のシート名	補足①
13	セル指定属性					
14	セル範囲	データ更新開始位置		@データ位置	処理しない	補足①
15	セル展開範囲定義名					
16	シート保護有無			有り		
17	シート保護解除PW					
18	自動計算方法				再計算しない	
19	行列方向	データ行列方向			行	補足①
20	更新行OR列数指示セル			@データ数	1	補足①②

■ 項目説明

データ展開名 ........................DNO 設定により展開定義の名称が自動設定されます。(入力不可) 処理順 NO ......任意。同一 DNO (展開定義) 内の処理する順番を指定します。 (注3) タスク・展開属性......"Query"を指定します。(注3) データ項目名......特に指定する必要はありません。 数式 OR 値.......特に指定する必要はありません。 定義有効無効フラグ......この展開定義を実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は 未入力です。(注1、2) ① 有効 2 無効 します。 セル指定属性......セル位置(アドレス)指定の属性を指定します。 ③ 間接アドレス ① 直接 2 間接

セル展開範囲定義名………………特に指定する必要はありません。

シート保護有無.....シートに保護がかけられている時は、"有り"を指定します。(注2)

- ① (空白)
- ② 有り

シート保護解除PW.....シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指定します。(注2)

自動計算方法......展開データ処理時の再計算方法を以下の選択肢から指定します。(注4)

- ① 前再計算
   ④ シート前再計算
- ② 後再計算
   ⑤ シート後再計算
- ③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算

行列方向......展開データの展開方向を指定します。

- ①"行":シートの1行に1データ(レコード)を展開の場合
- ②"列":シートの1列に1データ(レコード)を展開の場合

更新行 OR 列数指示セル.......更新データのレコード数を指定します。セル(定義名)または直接数値 (データ件数)の指定が可能です。

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『5.1 展開定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

■ 補足

① 展開データの位置(ブック→シート→セル位置)とサイズ(行列方向、件数)は、次の様に決まり ます。

NO	決定要素	設定項目
1	ブック	タスク定義の BKNO、ブック名
2	シート	次の優先順位で決まります。
		a. 展開定義のシート名
		b. タスク定義のシート名(a. を設定してない場合)
		c. 今表示している(アクティブ)シート(a、bを設定してない場合)
З	セル位置	展開定義のセル範囲
		ただし、Excel の名前定義の名前を指定した場合、上記のシートは、無視
		され、名前定義で参照されるシートのセル位置になります。
4	1データ(レコー	展開定義の行列方向
	ド)の行列方向	
5	データの件数	展開定義の更新行 OR 列数指示セル

② 更新行 OR 列数指示セルは、更新データのレコード数(占有している行数又は列数)を格納するセルを指定します。更新データの途中に空白の行や列がある場合、その行、列数を含めます。

## 2.134 定義区分: タスク定義 タイプ (401:直接展開)

■ 機能

db

- ① タスク定義(タスクタイプ:直接展開)でExcel シート上に直接展開するデータを定義します。
- ② 展開データを処理する際に、自動計算方法(前再計算/後再計算/前後再計算/シート前再計算/シート後再計算/シート前後再計算)が指定できます。
- 画面イメージ

		タスク定義編集画面の範囲				
	A	В	С	D		_
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	DNO		*	58		
3	データ展開名			BTS_商品マスタ_更新		
4	処理順NO			1		
5	定義区分			タスク定義		
6	タイプ			直接展開		
7	数式OR值			True		補足①
8	定義有効無効フラグ					
9	コメント欄					
10	シート名			納品書	タスク定義のシート名	補足②
11	セル指定属性					
12	セル範囲			@納品書商品M表示FLG	処理しない	補足②
13	シート保護有無			有り		
14	シート保護解除PW					
15	自動計算方法				再計算しない	

■ 項目説明

DNO	展開定義を識別する番号を指定します。(注1)	
データ展開名	.DNO 設定により展開定義の名称が自動設定されます。(入力不	;可)
処理順 NO	.任意。同一 DNO(展開定義)内の処理する順番を指定します。	
定義区分	." <b>タスク定義</b> "が自動設定されます。(入力不可)(注3)	
タイプ	." <b>直接展開</b> "が自動設定されます。(入力不可)(注 3)	
数式 OR 值	セルに展開する数式または値を指定します。	
定義有効無効フラグ	.この展開定義を実行させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。	通常は
	未入力です。(注1、2)	
	① 有效	
	② 無效	
コメント欄	開発時のメモ書きや修正記録などに使用します。	
シート名	.展開するデータのセル(セル範囲で指定するセル)が存在するミ	ソートを
	指定します。	
セル指定属性	.セル位置(アドレス)指定の属性を指定します。	
	<ol> <li>         ① 直接         ③ 間接アドレス     </li> </ol>	
	② 間接	
セル範囲	展開するデータ(数式または値)のセルを指定します。	
シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注	2)
	① (空白)	
	② <b>有り</b>	
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワート	・を指定
	します。(注2)	

- 自動計算方法......展開データ処理時の再計算方法を以下の選択肢から指定します。(注4)
  - 前再計算 ④ シート前再計算
  - 2後再計算 ⑤ シート後再計算
  - ③ 前後再計算 ⑥ シート前後再計算
- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『5.1 展開定義の全項目について』を参照してください。
- (注3) 詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

## 補足

db

- ① 数式 OR 値で、展開するデータとして数式を指定する場合は、"="から始めます。
- ② 展開するデータの位置(ブック→シート→セル位置)は、次の様に決まります。

NO	決定要素	設定項目
1	ブック	タスク定義の BKNO、ブック名
2	シート	次の優先順位で決まります。
		a. 展開定義のシート名
		b. タスク定義のシート名(a. を設定してない場合)
		c. 今表示している(アクティブ)シート(a、bを設定してない場合)
З	セル位置	展開定義のセル範囲
		ただし、Excelの名前定義の名前を指定した場合、上記のシートは、無視
		され、名前定義で参照されるシートのセル位置になります。

# 2.135 定義区分: タスク定義

■ 機能

dby

- ① タスク定義(タスクタイプ:コピー)で Excel シート上に展開する展開データを定義します。
- ② タスク・展開属性の設定により、コピーする内容(全部/数式/値.....)を指定できます。
- ③ 展開データを処理する際に、自動計算方法(前再計算/後再計算/前後再計算/シート前再計算/シート後再計算/シート前後再計算)が指定できます。

## ■ 画面イメージ

A B				D		
1	タイトル	サブ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	DNO		*	118		
3	データ展開名			伝票番号コピー		
4	処理順NO			1		
5	定義区分			タスク定義		
6	タイプ			コピー		
7	タスク・展開属性		*	値		補足①
8	定義有効無効フラグ					
9	コメント欄					
10	シート名			納品書	タスク定義のシート名	補足②
11	セル指定属性					
12	セル範囲		*	@納品書伝票番号	エラー	補足②
13	シート保護有無			有り		
14	シート保護解除PW					
15	自動計算方法			後再計算	実行しない	
16	行列方向					
17	先シート名			dbS_パラメータ		補足②
18	先セル指定属性					
19	先セル範囲		*	R24C3	エラー	補足②
20	先シート保護有無					
21	先シート保護解除PW					

## ■ 項目説明

DNO	展開定義を識別する番号を指定します。(注1)							
データ展開名	DNO 設定により展開定義の名称が自動設定されます。(入力不可)							
処理順 NO	…任意。同一 DNO(展開定義)内の処理する順番を指定します。							
定義区分	" <b>タスク定義</b> "が自動	設定されます。(入力不可)(注3)						
タイプ	"コピー"が自動設定	されます。(入力不可)(注3)						
タスク・展開属性	コピーする内容を、以	以下の選択肢から指定します。(注3)						
	① 全部	⑦ 罫線を除くすべて						
	② 数式	⑧ <b>列幅</b>						
	③ 値	⑨ 数式と数値の書式						
	④ 書式	⑩ 値と数値の書式						
	⑤ 入力規則	① 書式・コメント・入力規則・列幅						
	⑥ コメント							
定義有効無効フラグ	この展開定義を実行る	させたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。 通常は						
	未入力です。(注1、	. 2)						
	① 有効							
	② 無効							
コメント欄	開発時のメモ書きや修	8正記録などに使用します。						

db

シート名	コピー元データのセル	(セル範囲で指定するセル)が存在するシートを
	指定します。	
セル指定属性	コピー元セル位置(アド	レス)指定の属性を指定します。
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
セル範囲	コピー元のセルを指定し	します。
シート保護有無	シートに保護がかけられ	っている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)	
	② <b>有り</b>	
シート保護解除PW	コピー元シートの保護的	解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワー
	ドを指定します。(注	2)
自動計算方法	展開データ処理時の再調	計算方法を以下の選択肢から指定します。(注4)
	① 前再計算	<ol> <li>シート前再計算</li> </ol>
	②後再計算	⑤ <b>シート後再計算</b>
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算
行列方向	特に指定する必要はあり	りません。
先シート名	コピー先データのセル	(先セル範囲で指定するセル)が存在するシート
	を設定します。	
先セル指定属性	コピー先セル位置(アド	レス)指定の属性を指定します。
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
先セル範囲	コピー先のセルを指定し	します。
先シート保護有無	シートに保護がかけられ	れている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)	
	② <b>有り</b>	
先シート保護解除PW	コピー先シートの保護的	解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワー
	ドを指定します。(注	2)

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『5.1 展開定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

## ■ 補足

dby

- タスク・展開属性で指定するコピー内容(全部/数式/値....)と対応するタスク定義(タスクタ イプ410:コピー)のタスクタイプ属性(全部/数式/値....)が異なる場合、本展開定義のタ スク・展開属性の指定内容を優先しコピー処理を行います。
- ② 展開するコピー元(先)データの位置(ブック→シート→セル位置)は、次の様に決まります。

NO	決定要素	
1	ブック	タスク定義の BKNO、ブック名
2	シート	次の優先順位で決まります。
		a. 展開定義のシート名/先シート名
		b. タスク定義のシート名(a. を設定してない場合)
		c. 今表示している(アクティブ)シート(a、bを設定してない場合)
З	セル位置	展開定義のセル範囲/先セル範囲
		ただし、Excelの名前定義の名前を指定した場合、上記のシートは、無視
		され、名前定義で参照されるシートのセル位置になります。



## 2.136 定義区分: タスク定義 タイプ (411:クリア、412:セル保護)

■ 機能

db

- タスク定義(タスクタイプ:クリア、セル保護)で Excel シート上の処理対象となるデータ範囲を 定義します。
- ② タスクタイプが「クリア」の場合、タスク・展開属性の設定により、クリアする内容(全部/数式 と値/書式/コメント)を指定できます。
- ③ タスクタイプが「セル保護」の場合、タスク・展開属性の設定により、セル保護の有無(ON/OFF) を指定できます。
- ④ 展開データを処理する際に、自動計算方法(前再計算/後再計算/前後再計算/シート前再計算/シート後再計算/シート前後再計算)が指定できます。

■ 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	DNO		*	54		
3	データ展開名			BTS_商品マスタ_クリア		
4	処理順NO			2		
5	定義区分			タスク定義		
6	タイプ			クリア		
7	タスク・展開属性			数式と値		補足①
8	定義有効無効フラグ					
9	コメント欄					
10	シート名			商品マスタ	タスク定義のシート名	補足②
11	セル指定属性					
12	セル範囲			@商品   D	エラー	補足23
13	シート保護有無			有り		
14	シート保護解除PW					
15	自動計算方法				実行しない	

■ 項目説明

DNO	展開定義を識別する番	号を指定します。(注1)					
データ展開名	DNO 設定により展開定義の名称が自動設定されます。(入力不可)						
処理順 NO	任意。同一 DNO(展開	開定義) 内の処理する順番を指定します。					
定義区分	" <b>タスク定義</b> "が自動設	定されます。(入力不可)(注3)					
タイプ	" <b>クリア</b> "または" <b>セル保</b>	護"が自動設定されます。(入力不可)(注3)					
タスク・展開属性	タイプが「クリア」の	場合、以下の選択肢から指定します。(注3)					
	① 全部	③ 書式					
	<ol> <li>② 数式と値</li> </ol>	④ コメント					
	タイプが「セル保護」	の場合、以下の選択肢から指定します。					
	1) <b>ON</b>						
	2 OFF						
定義有効無効フラグ	この展開定義を実行さ	せたくない場合は、" <b>無効</b> "を選択します。通常は					
	未入力です。(注1、	2)					
	① 有効						
	②無効						
コメント欄	開発時のメモ書きや修	正記録などに使用します。					
シート名	展開するデータのセル	(セル範囲で指定するセル)が存在するシートを					
	指定します。						

セル指定属性	2ル位置(アドレス)指定	きの属性を指定します。
	① 直接	③ 間接アドレス
	2 間接	
セル範囲	フリアまたはセル保護す	するセル範囲を指定します。
シート保護有無	シートに保護がかけられ	1ている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)
	① (空白)	
	② <b>有り</b>	
シート保護解除PW	シートの保護解除にパン	スワードが必要な場合に、そのパスワードを指定
	します。(注2)	
自動計算方法	展開データ処理時の再調	†算方法を以下の選択肢から指定します。(注4)
	① 前再計算	<ol> <li>シート前再計算</li> </ol>
	②後再計算	⑤ <b>シート後再計算</b>
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『5.1 展開定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

- 補足
  - タスクタイプが「クリア」の場合、タスク・展開属性で指定するクリア内容(全部/数式と値/書 式/コメント)と対応するタスク定義(タスクタイプ411:クリア)のタスクタイプ属性(全部 /数式と値/書式/コメント)が異なる場合、本展開定義のタスク・展開属性の指定内容を優先し クリア処理を行います。
  - ② 展開するデータの位置(ブック→シート→セル位置)は、次の様に決まります。

NO	決定要素	設定項目
1	ブック	タスク定義の BKNO、ブック名
2	シート	次の優先順位で決まります。
		a. 展開定義のシート名
		b. タスク定義のシート名(a. を設定してない場合)
		c. 今表示している(アクティブ)シート(a、bを設定してない場合)
З	セル位置	展開定義のセル範囲
		ただし、Excelの名前定義の名前を指定した場合、上記のシートは、無視
		され、名前定義で参照されるシートのセル位置になります。

③ セル範囲の指定例を以下に示します。

NO	セル範囲の状態	設定例
1	1個のセル	D5、R5C3
2	矩形の範囲	H5:J20、R5C5:R8C8
3	1 個のセルと矩形の複合	D5,H5:J20、R5C3,R5C5:R8C8

## 2.137 定義区分: タスク定義 タイプ (414: 行列指定)

■ 機能

db

- ① タスク定義(タスクタイプ:行列指定)で Excel シート上の処理対象となる行列範囲を定義します。
- ② タスク・展開属性の設定により、行列指定の内容(高さ/列幅/複数指定)を指定できます。
- ③ タスク・展開属性で「複数指定」を指定した場合、展開する内容(高さ/列幅/行表示しない/行 再表示/列表示しない/列再表示)を指定できます。
- ④ 展開データを処理する際に、自動計算方法(前再計算/後再計算/前後再計算/シート前再計算/シート後再計算/シート前後再計算)が指定できます。
- 画面イメージ

	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	DNO		*	82		
3	データ展開名			展開_行列指定(414)1列目		
4	処理順NO			1		
5	定義区分			タスク定義		
6	タイプ			行列指定		
7	タスク・展開属性			列幅		補足①
8	定義有効無効フラグ					
9	コメント欄					
10	シート名			行列指定	タスク定義のシート名	補足②
11	セル指定属性					
12	シート保護有無					
13	シート保護解除PW					
14	自動計算方法				実行しない	
15	複数展開指定					補足③
16	高さ列幅設定			30		補足④
17	開始位置			14		補足②
18	終了位置			16		補足②

## ■ 項目説明

DNO	展開定義を	識別する番号	を指定します。(	注1)	
データ展開名	DNO 設定	により展開定義	義の名称が自動設	定されます。(2	、力不可)
処理順 NO	…任意。同一	- DNO(展開に	官義)内の処理す	る順番を指定し	ます。
定義区分	"タスク定義	義"が自動設定	されます。(入た	」不可)(注3)	
タイプ	…"行列指定"	が自動設定さ	れます。(入力イ	可)(注3)	
タスク・展開属性	行列指定す	る内容を、以	下の選択肢から打	旨定します。(注	3)
	①高さ	(	③ 複数指定		
	② 列幅				
定義有効無効フラグ	…この展開定	義を実行させ	たくない場合は、	" <b>無効</b> "を選択し	ます。通常は
	未入力で	す。(注1、2	)		
	① <b>有効</b>				
	2 無効				
コメント欄	…開発時のメ	モ書きや修正	記録などに使用し	<i>し</i> ます。	
シート名	開始位置、	終了位置で指定	定する行列が存在	Eするシートを指	淀します。
セル指定属性	開始位置、	終了位置のセ	ル位置(アドレス	)指定の属性を指	定します。
	① <b>直接</b>	(.	③ 間接アドレス		
	2 間接				

db

シート保護有無	.シートに保護がかけられている時は、" <b>有り</b> "を指定します。(注2)						
	① (空白)						
	② <b>有り</b>						
シート保護解除PW	シートの保護解除にパスワードが必要な場合に、そのパスワードを指定						
	します。(注2)						
自動計算方法	…展開データ処理時の再計算方法を以下の選択肢から指定します。(注4)						
	① 前再計算	<ol> <li>シート前再計算</li> </ol>					
	② 後再計算	⑤ シート後再計算					
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算					
複数展開指定							
	から指定します。						
	① 高さ	④ 行再表示					
	② 列幅	⑤ 列表示しない					
	③ 行表示しない	⑥ 列再表示					
高さ列幅設定行の高さ または 列幅を数値で指定します。							
開始位置行 または 列数の開始位置を指定します。							
終了位置行 または 列数の終了位置を指定します。							

(注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。

(注2)詳細は、『5.1 展開定義の全項目について』を参照してください。

(注3)詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照してください。

(注4)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

## ■ 補足

- タスク・展開属性で指定する行列指定の内容(高さ/列幅/複数指定)と対応するタスク定義(タ スクタイプ414:行列指定)のタスクタイプ属性(高さ/列幅/複数指定)が異なる場合、本展開 定義のタスク・展開属性の指定内容を優先し処理を行います。
- ② 展開するデータ(行列)の範囲(ブック→シート→行列範囲)は、次の様に決まります。

NO	決定要素	設定項目
1	ブック	タスク定義の BKNO、ブック名
2	シート	次の優先順位で決まります。
		a. 展開定義のシート名
		b. タスク定義のシート名(a. を設定してない場合)
		c. 今表示している(アクティブ)シート(a、bを設定してない場合)
З	行列範囲	展開定義の開始位置、終了位置
		ただし、Excelの名前定義の名前を指定した場合、上記のシートは、無視
		され、名前定義で参照されるシートのセル範囲になります。

	タスク・展開属性	複数展開指定	
百さた世史	高さ	設定なし	
同Cグ旧ル	複数指定	高さ	
別幅ち世史	列幅	設定なし	
刘岫公旧作	複数指定	列幅	



## 2.138 定義区分: タスク定義 タイプ (415: 行表示、416: 列表示)

■ 機能

db

- ① タスク定義(タスクタイプ:行表示、列表示)で Excel シート上の処理対象となる行列範囲を定義 します。
- ② タスク・展開属性の設定により、行列表示の有無(再表示/表示しない)を指定できます。
- ③ 展開データを処理する際に、自動計算方法(前再計算/後再計算/前後再計算/シート前再計算/シート後再計算/シート前後再計算)が指定できます。
- 画面イメージ

	タスク定義編集画面の範囲					
	A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容	省略時の処理	特記事項
2	DNO		*	116		
3	データ展開名			展開_行表示(416)(行表示)		
4	処理順NO			1		
5	定義区分			タスク定義		
6	タイプ			行表示		
7	タスク・展開属性			再表示		補足①
8	定義有効無効フラグ					
9	コメント欄					
10	シート名			行列表示	タスク定義のシート名	補足②
11	セル指定属性					
12	シート保護有無					
13	シート保護解除PW					
14	自動計算方法				実行しない	
15	開始位置			21		補足②
16	終了位置			21		補足②

## ■ 項目説明

- 処理順 NO ......任意。同一 DNO(展開定義)内の処理する順番を指定します。

タスク・展開属性......行列表示の有無を、以下の選択肢から指定します。(注3)

- ① 再表示
- ② 表示しない

定義有効無効フラグ…………この展開定義を実行させたくない場合は、"無効"を選択します。通常は 未入力です。(注1、2)

- ① 有効
- 2 無効

- ① 直接
   ③ 間接アドレス
- 2 間接

シート保護有無.....シートに保護がかけられている時は、"有り"を指定します。(注2)

① (空白)

② 有り
シート保護解除 PW	シートの保護解除にパン	スワードが必要な場合に、そのパスワードを指定		
	します。(注2)			
自動計算方法	展開データ処理時の再計算方法を以下の選択肢から指定します。(注4)			
	① 前再計算	④ シート前再計算		
	②後再計算	⑤ シート後再計算		
	③ 前後再計算	⑥ シート前後再計算		
開始位置符	テまたは 列数の開始値	位置を指定します。		
終了位置	テまたは 列数の終了値	位置を指定します。		

- (注1)詳細は、『開発版リファレンスマニュアル』 「第2部 第4章 4.7各定義の編集方法のシ ート名を使っている定義」を参照して下さい。。
- (注2)詳細は、『5.1 展開定義の全項目について』を参照してください。
- (注3)詳細は、『5.2. 定義区分、タイプ、タスク・展開属性について』を参照してください。
- (注4)詳細は、『2.9 自動計算について』を参照してください。

## ■ 補足

- タスク・展開属性で指定する行列表示の有無(再表示/表示しない)と対応するタスク定義(タス クタイプ415:行表示、416:列表示)のタスクタイプ属性(再表示/表示しない)が異なる場合、 本展開定義のタスク・展開属性の指定内容を優先し処理を行います。
- ② 展開するデータ(行列)の範囲(ブック→シート→行列範囲)は、次の様に決まります。

NO	決定要素	設定項目
1	ブック	タスク定義の BKNO、ブック名
2	シート	次の優先順位で決まります。
		a. 展開定義のシート名
		b. タスク定義のシート名(a. を設定してない場合)
		c. 今表示している(アクティブ)シート(a、bを設定してない場合)
З	行列範囲	展開定義の開始位置、終了位置
		ただし、Excelの名前定義の名前を指定した場合、上記のシートは、無視
		され、名前定義で参照されるシートのセル範囲になります。



## § 付録

## A.改版履歴

dby

バージョン	改版年月日	項番	変更内容
5.0.0.0	2010年5月20日		Ver.5 対応マニュアル公開
5.0.3.0	2010年7月12日		タスクタイプ301にタイムアウト秒数を追加
5.0.5.1	2010年8月23日		タスクタイプ407参照用オープン」に「最前面に表示」を追加
5.1.0.0	2010年11月01日		タスクタイプ 301.起動モード「圧縮通信方式」を追加 301.起動モード「Excel 最大化」の汎用パラメータ3 の初期値を非表示へ変更
5.1.2.7	2010年12月16日		タスクタイプ204、205の「検索結果」を「選択件数」に変更



株式会社ニューコム (c) Copyright 2009-2010 NEWCOM CORPORATION.

本 社 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 7-3-16 ジブラルタ生命浦和ビル TEL:048-815-8460 FAX:048-825-5518

